V90

OWNER'S MANUAL

VÄLKOMMEN!

ボルボ社では、末永くお車をご愛顧いただけることを願っております。お買い上げいただいた車両は、運転者および同乗者の方々に安全で快適なドライビングをご提供できるように設計されています。ボルボ社は、世界でもっとも安全な車両をつくることを目指しています。ボルボ車は、現在の安全・環境基準も満たしています。

ボルボ車をより一層お楽しみいただくために、本オーナーズマニュアルに記載されている説明およびメンテナンス情報をよくお読みになることをお薦めします。オーナーズマニュアルには、モバイルアプリ版(ボルボマニュアル)およびボルボ・カーズサポートサイト(support.volvocars.com)で利用できるウェブ版もあります。

ボルボ社では、車両に乗る全員がつねにシートベルトを着用することを奨励しています。飲酒または薬の服用による影響を受けている場合や、ほかのなんらかの理由により正常に運転できる状態でない場合は運転しないでください。

TP 26128

目次

オーナー情報

オーナーズインフォメーション 18
センターディスプレイのオーナーズマニュアル 19
センターディスプレイによるオーナーズマニュアルの利用 21
モバイル機器対応のオーナーズマニュアル 23
Volvo Cars サポートサイト 23
オーナーズマニュアルを読む 24
オーナーズマニュアルと環境 26

お客様のボルボ車

Volvo ID 28
Volvo ID の作成と登録 28
Drive-E – さらにクリーンに走る喜びを 30
IntelliSafe – 運転者サポート 33
Sensus – オンラインコネクティビティおよびエンターテイメント 34
ソフトウェアアップデート 37
データの記録 37
サービスの利用規約 38
お客様プライバシーポリシー 38
アクセサリーおよび補助装置に関する重要情報 39
アクセサリーの取り付け 39
車両の診断ソケットへ設備を接続する 40
車両の車台番号(VIN)を表示する 41
運転者の注意不足 41

重要です。かならずお読みください。

ご使用に際して！ 44
重要な安全上のご注意！ 45
火災および排気ガスに関するご注意 51
エンジン始動時のご注意！ 54
発進時のご注意！ 56
重要な操作上のご注意！ 56
してはいけないこと！ 61
その他使用上のご注意！ 71
踏切などで動けなくなったとき！ 71
万が一、事故を起こしてしまったら… 72
冬季の運転 73
タイヤ・ホイールについて！ 74
タイヤチェーンについて！ 75
燃料補給時のご注意！ 76
保証とアフターサービス 77

セーフティ

重要な安全上のご注意！ 80
妊娠中の安全確保のために 81
Whiplash Protection System 81
Pedestrian Protection System 83
シートベルト 84
シートベルトの着脱 84
シートベルトテンショナー 86
電動シートベルトテンショナーのリセット 87
ドアおよびシートベルトリマインダー 87
エアバッグ 89
運転席側エアバッグ 90
助手席側エアバッグ 91
助手席側エアバッグのオン/オフ* 92
サイドエアバッグ 94
インフレータブルカーテン 95
セーフティモード 96
セーフティモード起動後の車両の始動/移動 97
チャイルド・セーフティ 98
チャイルドシート 98
チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント 99
チャイルドシート用のロアマウンティングポイント 100
チャイルドシート用 i-Size/ISOFIX マウンティングポイント 101
チャイルドシートの設置 101
チャイルドシートの取り付け 102
車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表 104
i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表 106
ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表 107
インテグレーテッド・チャイルドシート* 110
インテグレーテッド・チャイルドシート*のシートクッションを引き上げる 111
インテグレーテッド・チャイルドシート*のシートクッションを収納する 112

ディスプレイおよび音声認識

計器およびコントロール装置(左ハンドル車) 116
計器およびコントロール装置(右ハンドル車) 117
ドライバーディスプレイ 119
ドライバーディスプレイ設定 123
燃料計 124
トリップコンピューター 124
ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する 126
トリップメーターのリセット 127
センターディスプレイに走行統計を表示する 127
走行統計の設定 128
時刻および日付 129
外気温計 129
ドライバーディスプレイの表示灯 130
ドライバーディスプレイの警告灯 132
ドライバーディスプレイのライセンス契約 133
ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー 140
ドライバーディスプレイでアプリケーションメニューを管理する 141
ドライバーディスプレイのメッセージ 142
ドライバーディスプレイでメッセージを管理する 143

ドライバーディスプレイから保存されたメッセージの管理 144
センターディスプレイの概要 146
センターディスプレイの管理 149
センターディスプレイのオン/オフ 152
センターディスプレイのビュー内での移動 152
センターディスプレイのサブビューを管理する 156
センターディスプレイの機能ビュー 159
センターディスプレイのアプリおよびボタンの移動 161
センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル 161
センターディスプレイのキーボード 163
センターディスプレイのキーボード言語の変更 166
センターディスプレイに手書きで文字や単語を入力する 166
センターディスプレイの外観の変更 168
センターディスプレイでシステムサウンドの音量をオフにする/変更する 168
システム単位の変更 169
システム言語の変更 169
センターディスプレイのトップビューのその他の設定 169
センターディスプレイでコンテンツ連動設定を開く 170
名義変更にともなうユーザーデータのリセット 171
センターディスプレイの設定のリセット 171
センターディスプレイ設定の一覧表 172
運転者プロフィール 173
運転者プロフィールの選択 174
運転者プロフィールの名前の変更 174
運転者プロフィールの保護 175
リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け 175
運転者プロフィールの設定のリセット 177
センターディスプレイのメッセージ 177
センターディスプレイのメッセージを管理する 178
センターディスプレイから保存されたメッセージの管理 178
ヘッドアップディスプレイ* 179
ヘッドアップディスプレイ*のオン/オフ 181
ヘッドアップディスプレイ*の設定 181
音声認識 182
音声認識を使用する 183
電話を音声認識で操作する 184
ラジオおよびメディアの音声認識 185
音声認識の設定 185

ライト

ライトスイッチ 188
センターディスプレイでライト機能を調節する 189
ヘッドライトの高さ調節 190
ポジションランプ 191
デイタイムランニングライト 191
ロービーム 192
ハイビームの使用 193
アクティブハイビーム 193
方向指示器を使用する 195
アクティブベンディングランプ* 196
フロントフォグランプ/コーナリングライト* 196
リアフォグランプ 197
ブレーキランプ 198
アダプティブブレーキランプ 198
非常点滅灯 199
ホームセーフライトの使用 199
アプローチライト点灯 200
ルームランプ 200
ルームランプの調節 202

ウインド、ガラスおよびミラー

ウインド、ガラスおよびミラー 204
ウインドおよびサンブラインドのピンチプロテクション 204
ピンチプロテクションのリセット手順 205
パワーウインド 205
パワーウインドの操作 206
サンブラインド*を使用する 207
ルームミラー/ドアミラー 208
ルームミラー防眩機能の調節 208
ドアミラーの角度調節 209
パノラマルーフ* 211
パノラマルーフ*の操作 212
パノラマルーフ*のサンブラインドの自動閉動作 214
ワイパーブレードおよびウォッシャー液 215
ウインドスクリーンワイパーを使用する 216
レインセンサーを使用する 217
レインセンサーのメモリー機能の使用 218
ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用 219
リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用 220
後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する 221

シートおよびステアリングホイール

フロントマニュアルシート 224
フロントパワー*シート 225
フロントパワー*シートの調節 225
シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する 226
シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する 227
フロントシートのマッサージ設定* 228
フロントシートのマッサージ設定*の調節 229
フロントシートのシートクッションの長さを調節する* 230
フロントシートのサイドサポート*の調節 231
フロントシートのランバーサポート*の調節 232
運転席から助手席シートを調節する* 234
リアシートのバックレストを倒す 235
リアシートのヘッドレストの調節 237
ステアリングホイールのコントロールボタンおよびホーン 239
ステアリングホイールロック 239
ステアリングホイールの調節 240

エアコンディショナー

エアコンディショナー 242
クライメートゾーン 242
エアコンディショナー – センサー 243
体感温度 243
音声認識によるエアコンディショナーの操作 244
空気の質 245
Clean Zone* 245
Clean Zone Interior Package* 246
Interior Air Quality System* 246
エア・クオリティ・センサー*のオン/オフ 247
クリーンエアフィルター 247
エアディストリビューション 247
エアディストリビューションの変更 248
空気吹出口の開閉および向き変更 249
エアディストリビューションオプション一覧表 250
エアコンディショナー 253
フロントシートヒーター*のオン/オフ 255
フロントシートヒーター*の自動起動のオン/オフ 256
リアシートヒーター*のオン/オフ 256
フロントベンチレーションシート*のオン/オフ 257
ヒーテッドステアリングホイール*のオン/オフ 258
ヒーテッドステアリングホイール*の自動起動のオン/オフ 259
オートエアコンディショナーをオンにする 259
エアリサーキュレーションのオン/オフ 260
エアリサーキュレーションのタイマー設定のオン/オフ 260
最大デフロスターのオン/オフ 261
ヒーテッドウインドスクリーン*のオン/オフ 262
ヒーテッドウインドスクリーン*の自動起動のオン/オフ 263
リアウインドおよびドアミラーデフロストのオン/オフ 263
リアウインドおよびドアミラーデフロストの自動起動のオン/オフ 264
フロントシートのファンレベルの調節 264
リアシートのファンレベルの調節* 265
フロントシートの温度調節 266
リアシートの温度調節* 267
温度の同調 268
エアコンディショナーのオン/オフ 268
パーキングエアコンディショナー* 269
プリコンディショニング* 269
プリコンディショニング*のオン/オフ 270
プリコンディショニング*のタイマー設定 271
プリコンディショニング*のタイマー設定を追加および編集する 271
プリコンディショニング*のタイマー設定のオン/オフ 272
プリコンディショニング*のタイマー設定の削除 273
駐車時の快適環境維持機能* 274
駐車時に快適環境維持機能*を起動/停止する 274
パーキングエアコンディショナー*のシンボルおよびメッセージ 275
ヒーター* 277
パーキングヒーター* 278
アディショナルヒーター* 279
アディショナルヒーターの自動起動のオン/オフ 280

キー、ロックおよびアラーム

ロック確認 282
ロック表示設定 283
リモートコントロールキー 283
リモートコントロールキーによるロックおよびロック解除 286
リモートコントロールおよび車内からのロック解除の設定 287
リモートコントロールキーによるテールゲートのロック解除 287
リモートコントロールキーの作動範囲 288
リモートコントロールキーの電池交換 289
リモートコントロールキーの追加注文 292
Red Key - 制限付きリモートコントロールキー* 292
Red Key*設定 293
脱着式キーブレード 294
脱着式キーブレードによるロック/ロック解除 295
イモビライザー 296
リモートコントロールキーシステムの型式認定 297
キーレスおよび感圧面* 306
キーレスロック/ロック解除* 307
キーレスエントリーの設定* 308
テールゲートのキーレスロック解除* 308
スタートおよびロックシステムのアンテナ位置 309
車内からロックおよびロック解除する 310
内側からのテールゲートのロック解除 311
チャイルドロックのオン/オフ 312
走行時の自動ロック 313
パワーテールゲート*の開閉 314
パワーテールゲート*の開口位置を登録する 317
足の動きによるテールゲートの開閉* 317
プライベートロック 319
プライベートロックのオン/オフ 319
アラーム* 321
アラーム*のセット/解除 322
アラーム*の機能解除 324
デッドロック* 324
デッドロック*の一時解除 325

運転者サポート

運転者サポートシステム 328
速度感応式のステアリングホイール操舵力 328
エレクトロニック・スタビリティ・コントロール 329
エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモード 331
エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモードのオン/オフ 331
エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモードの限界 332
エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのシンボルおよびメッセージ 333
速度リミッター 335
速度リミッターの作動と起動 336
速度リミッターの速度を管理する 336
速度リミッターを解除してスタンバイモードにする 337
スタンバイモードからの速度リミッターの再作動 338
速度リミッターを解除する 338
速度リミッターの限界 339
自動速度リミッター 339
自動速度リミッターを作動/解除する 341
自動速度リミッターの許容範囲の変更 342
自動速度リミッターの限界 343

クルーズコントロール 343
クルーズコントロールの作動と起動 344
クルーズコントロールの速度を管理する 345
クルーズコントロールを解除してスタンバイモードにする 346
スタンバイモードからのクルーズコントロールの再作動 347
クルーズコントロールを解除する 348
車間警告機能* 349
車間警告機能のヘッドアップディスプレイ表示 349
車間警告機能のオン/オフ 350
車間警告機能の車間時間の設定 350
車間警告機能の限界 351
アダプティブクルーズコントロール* 352
アダプティブクルーズコントロールおよび衝突の危険警告 355
衝突の危険がある場合のアダプティブクルーズコントロールのヘッドアップディスプレイ表示 356
アダプティブクルーズコントロールの作動と起動 356
アダプティブクルーズコントロールで速度を管理する 358
アダプティブクルーズコントロールの車間時間の設定 359
アダプティブクルーズコントロールの解除/再起動 360
アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシスト 362
アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシストの起動 363
アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシストの限界 363
アダプティブクルーズコントロールでの追従対象車両の変更 364
アダプティブクルーズコントロールによるオートブレーキ 365
アダプティブクルーズコントロールの限界 366
クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替える 366
アダプティブクルーズコントロールのシンボルおよびメッセージ 368
Pilot Assist 370
Pilot Assist および衝突の危険警告 373
衝突の危険がある場合の Pilot Assist のヘッドアップディスプレイ表示 374
Pilot Assist の作動と起動 375
Pilot Assist の速度を管理する 376
Pilot Assist の車間時間の設定 377
Pilot Assist のオフ/オン 379
Pilot Assist による追い越しアシスト 381
Pilot Assist による追い越しアシストの起動 381
Pilot Assist による追い越しアシストの限界 382
Pilot Assist の追従対象車両の変更 382
Pilot Assist による自動ブレーキ 383
Pilot Assist の機能の限界 384
Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ 386
レーダーユニット 387
レーダー機器の限界 388
レーダー機器の推奨メンテナンス 391
レーダー機器の型式認定 392
カメラユニット 396
カメラユニットの限界 397
カメラ機器の推奨メンテナンス 400
City Safety™ 400
City Safety のパラメーターおよび補助機能 401
City Safety の警告距離の設定 403
City Safety による障害物の検知 404
City Safety の横方向の交通への対応 406
City Safety の横方向の交通への対応の限界 407

回避操作ができない場合の City Safety 408
対向車対応 City Safety ブレーキ 409
City Safety の限界 410
City Safety に関するメッセージ 412
Rear Collision Warning 413
Rear Collision Warning の機能の限界 413
BLIS* 414
BLIS を起動/解除する 415
BLIS の機能の限界 416
BLIS の推奨メンテナンス 416
BLIS に関するメッセージ 418
Cross Traffic Alert* 419
Cross Traffic Alert を起動/解除する 420
Cross Traffic Alert の機能の限界 420
Cross Traffic Alert の推奨メンテナンス 421
Cross Traffic Alert に関するメッセージ 422
ロード・サイン・インフォメーション* 423
ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ 424
ロード・サイン・インフォメーションおよび標識表示 425
ロード・サイン・インフォメーションおよび Sensus Navigation 427
ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定 427
ロード・サイン・インフォメーションの速度警告のオン/オフ 429
ロード・サイン・インフォメーションおよびスピード違反取り締まりカメラ情報 429
ロード・サイン・インフォメーションの限界 430
Driver Alert Control 431
Driver Alert Control を起動/解除する 432
Driver Alert Control による警告時の休憩所ガイドを選択する 432
Driver Alert Control の限界 433
レーンアシスト 433
レーンアシストによるステアリングアシスト 435
レーン・キーピング・エイドのオン/オフ 436
レーンアシストのアシストオプションを選択する 436
レーンアシストの限界 436
レーンアシストのシンボルおよびメッセージ 438
ドライバーディスプレイのレーンアシストシンボル 440
衝突回避ステアリングアシスト 441
衝突の危険があるときのステアリングアシストのオン/オフ 441
車道逸脱回避ステアリングアシスト 442
車道逸脱回避ステアリングアシストのレベル 442
車道逸脱回避ステアリングアシストのオン/オフ 443
車道逸脱回避ステアリングアシストの機能の限界 443
正面衝突回避ステアリングアシスト 444
対向車との衝突の危険があるときのステアリングアシストのオン/オフ 445
正面衝突回避ステアリングアシストの機能の限界 445
追突回避ステアリングアシスト* 446
追突回避ステアリングアシスト*のオン/オフ 447
追突回避ステアリングアシストの機能の限界 447
衝突の危険があるときのステアリングアシストのシンボルおよびメッセージ 449
パークアシスト* 450
パークアシスト・パイロット(前方、後方および側方) 451
パークアシスト・パイロットの作動/解除 452
パークアシストの限界 453

パークアシスト・パイロットの推奨メンテナンス 454
パークアシスト・パイロットのシンボルおよびメッセージ 455
パークアシスト・カメラ* 456
パーキングカメラのカメラ画像 457
パーキングカメラのガイドライン 459
パークアシスト・パイロットのパーキングカメラ用センサー視野 461
パークアシスト・カメラの起動 462
パークアシスト・カメラの機能の限界 462
パーキングカメラの推奨メンテナンス 464
パークアシスト・カメラのシンボルおよびメッセージ 465
パークアシスト・パイロット* 467
パークアシスト・パイロットを使用するさまざまな駐車状況 468
パークアシスト・パイロットによる駐車 469
パークアシスト・パイロットを使用して駐車スペースから出る 471
パークアシスト・パイロット*の限界 472
パークアシスト・パイロットの推奨メンテナンス 474
パークアシスト・パイロット*に関するメッセージ 475

運転操作の要領

車両の始動 478
車両をオフにする 479
イグニッション位置 480
イグニッションモードの選択 481
アルコールロック* 482
アルコールロック*のバイパス 482
アルコールロックを使用してエンジンを始動する前に 483
ブレーキ機能 483
フットブレーキ 484
制動力増幅 485
濡れた路面でのブレーキ操作 485
融雪剤が散布された路面でのブレーキ操作 485
ブレーキシステムのメンテナンス 486
パーキングブレーキ 486
パーキングブレーキのオン/オフ 487
自動パーキングブレーキの作動設定 488
坂道での駐車 488
パーキングブレーキに不具合がある場合 489
停車時のオートブレーキ 489
停車時のオートブレーキのオン/オフ 490
坂道発進の補助 491
衝突後のオートブレーキ 491
トランスミッション 491
マニュアルトランスミッション 492
オートマチックトランスミッションのギヤポジション 493
ステアリングホイールパドル*によるギヤチェンジ 494
ギヤセレクターインヒビター 496
オートマチックギヤセレクターインヒビターを解除する 496
キックダウン機能 497
ギヤシフトインジケーター 498
AWD（全輪駆動車)* 499
ドライブモード* 499
ドライブモード*の変更 501
ECO ドライブモード 502
機能ボタンによる ECO ドライブモードのオン/オフ 504
Start/Stop 機能 504
Start/Stop 機能の使用 505
Start/Stop 機能の一時解除 506
Start/Stop 機能の条件 507
オートレベライザー*および衝撃吸収 509
オートレベライザー*の設定 511
経済走行 511
長距離走行の準備 512

冬季の運転 513
水たまりでの運転 514
燃料給油口フラップの開閉 514
燃料の補給 515
燃料の取り扱い 516
ガソリン 516
ガソリン微粒子除去フィルター 517
ディーゼル 518
ディーゼルエンジン車のタンクが空になった場合 519
ディーゼル微粒子除去フィルター 519
AdBlue®による排出ガス制御 520
AdBlue®の取り扱い 521
AdBlue®の点検と補充 521
AdBlue®のシンボルおよびメッセージ 524
エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート 526
メインバッテリーへの過剰な負荷 527
別のバッテリーによるジャンプスタート 527
トウバー* 529
トウバー*の仕様 529
格納式トウバー* 530
トレーラーなどのけん引 532
トレーラー・スタビリティ・アシスト* 534
トレーラーランプの点検 535
トウバーマウント型バイシクルホルダー* 536
けん引 537
けん引フックの取り付け/取り外し 538
車両移動 539
HomeLink®* 540
HomeLink®*のプログラミング 541
HomeLink®*の使用 543
HomeLink®*の型式認定 543
コンパス* 544
コンパス*のオン/オフ 544
コンパス*を校正する 544

サウンド、メディアおよびインターネット

サウンド、メディアおよびインターネット 548
オーディオ設定 548
サウンドエクスペリエンス* 549
アプリ 550
アプリのダウンロード 551
アプリのアップデート 552
アプリの削除 552
ラジオ 553
ラジオを起動する 554
ラジオのバンド(周波数帯)および放送局の変更 554
ラジオ放送局を探す 555
ラジオのお気に入りの設定 556
ラジオの設定 557
メディアプレーヤー 557
メディア再生 558
メディアの操作および変更 560
メディアの検索 561
Gracenote® 561
CD プレーヤー* 562
ビデオ 562
ビデオの再生 563
DivX®の再生 563

ビデオの設定 563
Bluetooth®経由のメディア 564
Bluetooth®経由でデバイスを接続する 564
USB ポート経由のメディア 564
USB ポート経由でデバイスを接続する 565
USB デバイスの技術仕様 565
対応メディア形式 566
テレビ* 567
テレビ*の使用 567
テレビ*の設定 568
Apple® CarPlay®* 569
Apple® CarPlay®*の使用 569
Apple® CarPlay®*の設定 571
Apple® CarPlay®*の使用のヒント 571
Android Auto* 572
Android Auto*の使用 573
Android Auto*の設定 574
Android Auto*の使用のヒント 574
電話 575
Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する 576
Bluetooth を使用して携帯電話を自動的に車両に接続する 577
Bluetooth を使用して手動で携帯電話を車両に接続する 578
Bluetooth 接続されている携帯電話の接続を切断する 579
Bluetooth 接続された携帯電話の切り替え 579
Bluetooth に接続されたデバイスを削除する 579
通話の操作 580
テキストメッセージの操作 581
テキストメッセージの設定 582
電話帳の管理 582
電話の設定 583
Bluetooth デバイスの設定 584
オンライン車両* 584
Bluetooth 対応携帯電話を使用して車両をインターネットに接続する 585
携帯電話(Wi-Fi)を使用して車両をインターネットに接続する 586
カーモデム(SIM カード)を介して車両をインターネットに接続する 587
カーモデムの設定 588
Wi-Fi ホットスポット経由で車両のインターネットアクセスを共有する 588
インターネット接続なし/接続不良 589
Wi-Fi ネットワークを削除する 590
Wi-Fi の技術とセキュリティ 590
ユーザー利用規約およびデータ共有 591
データ共有のオン/オフ 591
ハードディスクの記憶容量 591
オーディオ・メディアのライセンス契約 592

ホイールおよびタイヤ

タイヤ 604
タイヤのサイズ表示 606
ホイールリムのサイズ表示 607
タイヤの回転方向 607
タイヤのトレッド摩耗インジケーター 608
タイヤ空気圧の点検 608
タイヤ空気圧の調整 609
適正タイヤ空気圧 610
タイヤ空気圧モニタリングシステム* 611
タイヤ空気圧モニタリングシステム*の校正 612
センターディスプレイでタイヤ空気圧の状態を確認する* 614
タイヤ空気圧低下警告時の対応 615
タイヤを交換する場合 616
ツールキット 616
ジャッキ* 617
ホイールボルト 617
ホイールの取り外し 618
ホイールの取り付け 620
スペアタイヤ* 622
スペアタイヤの取り出し 623
ウインタータイヤ 623
タイヤチェーン 624
緊急パンクリペアーキット 625
緊急パンクリペアーキットの使用 626
緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる 630

荷物の積み込み、収納および車内

車内インテリア 632
トンネルコンソール 633
電源ソケット 634
電源ソケットの使用 636
グローブボックスの使用 638
サンバイザー 639
カーゴスペース 639
荷物の積み込みに関する推奨事項 640
ルーフ上の荷物およびロードキャリアへの荷物の積載 641
バッグフック 641
荷物固定用アイレット 642
リアシートのスルーロードハッチ 643
ラゲッジカバー*の取り付け/取り外し 643
ラゲッジカバー*の操作 644
スチールガードネット*の取り付け/取り外し 646
カーゴネット*の取り付けおよび取り外し 648
救急用品キット* 649
三角警告板(停止表示板) 650

保守点検

ボルボメンテナンスサービスプログラム 652
Wi-Fi による車両とサービス工場間でのデータ転送 652
ダウンロードセンター 653
ダウンロードセンター経由でシステムアップデートを管理する 653
車両状態 654
コネクテッド・サービス予約 655
車両情報をサービス工場に送信する 656
車両を持ち上げる 658
ボンネットの開閉 660
エアコンディショナーシステムの点検整備 661
ウインドスクリーン交換時のヘッドアップディスプレイ* 662
エンジンルームの概要 662
エンジンオイル 663
エンジンオイルの点検と補充 664
クーラントの補充 666
ランプ交換 668
バルブ交換時のプラスチックカバーの取り外し 669
エクステリアランプの位置 669
ロービームランプ交換 670
ハイビームランプ交換 671
デイタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換 672
フロント方向指示器ランプ交換 673
後退灯のバルブの交換 673
リアフォグランプバルブの交換 674
バルブ仕様 675
バッテリー 676
補助バッテリー 679
バッテリーに表示されているシンボル 680
ヒューズおよびセントラルエレクトリカルユニット 681
ヒューズの交換 682
ヒューズ – エンジンルーム内 683
ヒューズ – グローブボックス下 687
ヒューズ – カーゴスペース内 690
内装の清掃 694
センターディスプレイの清掃 694
ヘッドアップディスプレイ*の清掃 695
布地内装およびヘッドライニングの清掃 696
シートベルトの清掃 696
フロアマットの清掃 696
レザー製内装の清掃 697
レザーステアリングホイールの清掃 698
プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツの清掃 698
エクステリアの清掃 699
磨きおよびワックスがけ 699
手洗い 700
自動洗車機 702
高圧洗浄 703
ワイパーブレードの交換 703
外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネントの清掃 704
ホイールリムの清掃 705
防さび 705
車両の塗装 706
塗装面の小さな損傷の補修 706
カラーコード 707
リアウインドワイパーブレードの交換 707
ウインドスクリーンワイパーブレードの交換 709
サービスポジションのワイパーブレード 710
ウォッシャー液リザーバータンク 711

仕様

タイプの表示 714
寸法 717
重量 719
けん引重量およびボール荷重 720
エンジン – 仕様 722
エンジンオイル – 仕様 723
エンジンオイルに対して過酷な走行条件 725
クーラント – 仕様 726
トランスミッションフルード – 仕様 726
ブレーキフルード – 仕様 726
燃料タンク – 容量 727
AdBlue®タンク – 容量 727
エアコンディショナー – 仕様 727
燃料消費量および CO_2 排出量 729
承認タイヤ空気圧 730

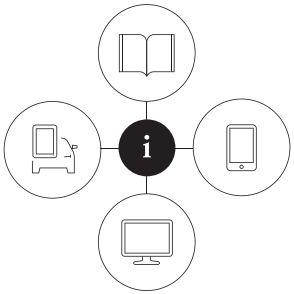
50 音順索引

50 音順索引 731

オーナー情報

オーナーズインフォメーション

オーナーズインフォメーションには数種類の製品形式があり、デジタル版と印刷版の両方で提供されています。オーナーズマニュアルには車両のセンターディスプレイ版、モバイルアプリ版、ボルボ・カーズサポートサイトで利用できるウェブ版があります。グローブボックスには、仕様およびヒューズに関する情報などが記載された SUPPLEMENT TO OWNER'S MANUAL(オーナーズマニュアル付録冊子)と Quick Guide が収納されています。オーナーズマニュアルの印刷版は別売りです。

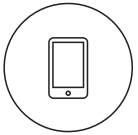


G060053

車両のセンターディスプレイ[1]

センターディスプレイのトップビューを下方向にドラッグして、**オーナーズ マニュアル**をタップします。ここには、車両のエクステリア画像およびインテリア画像を使用したビジュアル操作ガイドのオプションがあります。情報はカテゴリーに分類されており、検索することもできます。

モバイルアプリ



App Store または Google Play で「ボルボマニュアル」を検索してアプリをスマートフォンまたはタブレットにダウンロードし、車両を選択します。アプリには、車両のエクステリア画像およびインテリア画像を使用したビジュアル操作ガイドのビデオチュートリアルおよびオプションがあります。オーナーズマニュアルはセクション間を簡単に移動することができます。また、内容は検索可能です。

ボルボ・カーズサポートサイト

support.volvocars.com のページを表示して、国を選択します。ここでは、オーナーズマニュアルをオンラインおよび PDF ファイル形式で利用することができます。ボルボ・カーズサポートサイトには、ビデオチュートリアルをはじめ、お客様の車両や車両の保有に関して役立つ情報も掲載されています。サポートページは多くの市場で利用することができます。

印刷版のマニュアル

グローブボックスには、仕様およびヒューズに関する情報が記載された SUPPLEMENT TO THE OWNER'S MANUAL(オーナーズマニュアル付録冊子)[1] が収納されています。この付録冊子には、重要情報や実用的な情報もまとめられています。

Quick Guide も印刷版として提供され、車両でよく使われる機能について最初に読んでおくと役立つ情報が記載されています。

選択した装備レベルや市場などにより、ほかにも印刷版で提供される可能性のあるオーナーズインフォメーションがあります。

[1] センターディスプレイのオーナーズマニュアルに対応していない市場向けの車両には、完全版オーナーズマニュアルの印刷版が付属します。

印刷版のオーナーズマニュアルおよび関連の付録は別途注文することができます。注文については、ボルボ・ディーラーにお問い合わせください。

重要

安全運転を行い、適用される法律や規則に従う責任は、つねに運転者にあります。また、オーナーズマニュアルに記載されているボルボの推奨事項に従って、車両の維持および取り扱いを行うことも重要です。

万が一、センターディスプレイの情報とマニュアル(印刷版)の情報が異なる場合、かならず印刷版のマニュアルに記載されている情報に従ってください。

注意

センターディスプレイの言語を変更した場合、一部のオーナー情報が国、または地方自治体の法規に準拠していないことがあります。理解が困難な言語に変更しないでください。画面の構成がわからず、戻りにくくなる場合があります。

関連情報

- センターディスプレイのオーナーズマニュアル (p. 19)
- モバイル機器対応のオーナーズマニュアル (p. 23)
- Volvo Cars サポートサイト (p. 23)
- オーナーズマニュアルを読む (p. 24)

センターディスプレイのオーナーズマニュアル

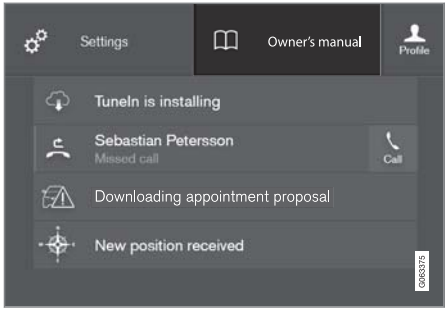
車両のセンターディスプレイでデジタル[2]オーナーズマニュアルを使用することができます。

デジタルオーナーズマニュアルはトップビューから利用でき、状況次第ではコンテンツ連動オーナーズマニュアルもトップビューから利用できます。

注意

走行中にデジタルオーナーズマニュアルを利用することはできません。

オーナーズマニュアル

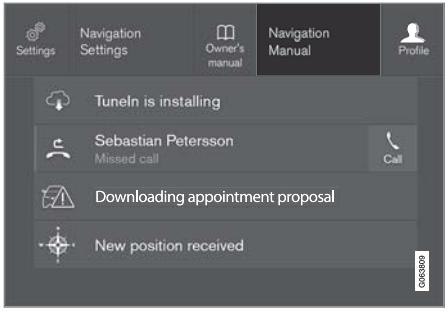


オーナーズマニュアル用ボタンを備えたトップビュー

オーナーズマニュアルを見る – センターディスプレイのトップビューを下方向にドラッグして、**オーナーズ マニュアル** をタップします。

オーナーズマニュアルの情報には、オーナーズマニュアルのホームページまたはそのトップメニューから直接移動できます。

コンテンツ連動オーナーズマニュアル



コンテンツ連動オーナーズマニュアル用ボタンを備えたトップビュー

コンテンツ連動オーナーズマニュアルを使用すると、オーナーズマニュアルの中で、画面に表示されている機能の説明が記載されている項目にすぐに移動することができます。コンテンツ連動オーナーズマニュアルが使用できる場合、トップビューの **オーナーズ マニュアル** の右に表示されます。

コンテンツ連動オーナーズマニュアルをタップすると、オーナーズマニュアルの中で、画面に表示されているコンテンツに関連する項目が表示されます。例えば、**ナビゲーション ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ** をタップすると、ナビゲーション関連の項目が開きます。

これは車両の一部のアプリにのみ適用されます。ダウンロードしたサードパーティー製アプリの場合、アプリ特有の項目などは利用できません。

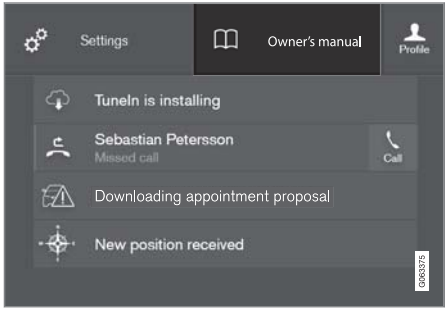
関連情報

- センターディスプレイによるオーナーズマニュアルの利用（p. 21）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 152）
- アプリのダウンロード（p. 551）

[2] ほとんどの市場で利用することができます。

センターディスプレイによるオーナーズマニュアルの利用

デジタルオーナーズマニュアルは車内のセンターディスプレイのトップビューから利用することができます。コンテンツは検索可能で、セクション間の移動も簡単です。



オーナーズマニュアルはトップビューから利用できます。

– オーナーズマニュアルを見る – センターディスプレイのトップビューを下方向にドラッグして、**オーナーズ マニュアル** をタップします。

オーナーズマニュアルには、目的の情報を見つけるためのさまざまなオプションが用意されています。オプションはオーナーズマニュアルのホームページおよびトップメニューから利用することができます。

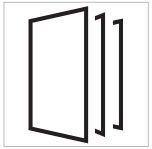
トップメニューでメニューを開く

– オーナーズマニュアルの上部リストで ☰ をタップします。
  › メニューが開き、情報を見つけるためのさまざまなオプションが表示されます。

ホームページ

このシンボルをタップすると、オーナーズマニュアルのスタートページに戻ります。

カテゴリー



オーナーズマニュアルの項目は、メインカテゴリーおよびサブカテゴリーの形式に構成されています。検索性を向上させるために、同じ項目が複数の適切なカテゴリーに分類されています。

1. **カテゴリー** をタップします。
   › メインカテゴリーがリストで表示されます。
2. 任意のメインカテゴリー(❑)をタップします。
   › サブカテゴリー(❑)と項目(🗎)のリストが表示されます。
3. 項目名をタップして項目を開きます。

戻るには、戻るキーをタップします。

Quick Guide

このシンボルをタップすると、車両でもっともよく使用される機能に関して特に役立つ項目と、そのリンクが表示されたページへ移動します。項目はカテゴリーを使用して閲覧することもできますが、ここでは、素早く閲覧できるようにまとめられています。目的の項目をタップすると、全文を読むことができます。

エクステリアおよびインテリアのホットスポット

車両のエクステリアおよびインテリアの概略図。さまざまな箇所がホットスポットとして指定され、各箇所に関する項目と関連付けられています。

1. **エクステリア** または **インテリア** を押します。
   > ホットスポットを特定したエクステリアまたはインテリア画像が表示されます。ホットスポットからは、車両の関連箇所に関する項目に移動できます。画面を横方向にスワイプすると、前後の画像を表示できます。
2. ホットスポットをタップします。
   > その箇所に関する項目のタイトルが表示されます。
3. タイトルをタップすると、項目が開きます。

戻るには、戻るキーをタップします。

お気に入り

このシンボルをタップすると、お気に入りとして保存されている項目に移動します。目的の項目をタップすると、全文を読むことができます。

項目をお気に入りとして保存する/お気に入りから削除する

項目が開いているときに右上の ☆ をタップすると、項目がお気に入りとして保存されます。お気に入りとして保存されると、星印が塗りつぶされます：★。

お気に入りから項目を削除するには、現在の項目の星印をもう一度タップします。

ビデオ

このシンボルをタップすると、車内のさまざまな機能に関する短い説明ビデオが表示されます。

インフォメーション

このシンボルをタップすると、車内で利用できるオーナーズマニュアルのバージョンに関する情報とともに、その他の役立つ情報が表示されます。

トップメニューで検索機能を使用する

1. オーナーズマニュアルのトップメニューの 🔍 をタップします。画面の下側にキーボードが表示されます。
2. キーワード(「シートベルト」など)を入力します。
   > 文字を入力すると、候補の項目とカテゴリーが表示されます。
3. 表示された項目またはカテゴリーをタップすると、その項目またはカテゴリーに移動します。

関連情報

- センターディスプレイのオーナーズマニュアル（p. 19）
- センターディスプレイのキーボード（p. 163）
- オーナーズマニュアルを読む（p. 24）

モバイル機器対応のオーナーズマニュアル

オーナーズマニュアルはモバイルアプリ[3]としてApp StoreおよびGoogle Playからダウンロードすることができます。アプリはスマートフォンおよびタブレット向けに編集されています。

オーナーズマニュアルはモバイルアプリとしてApp StoreまたはGoogle Playからダウンロードすることができます。ここに表示されているQRコードを使用すると、アプリに直接移動できます。App StoreまたはGoogle Playで「Volvo manual」(ボルボマニュアル)を検索する方法もあります。

このアプリには、動画とエクステリア画像およびインテリア画像が含まれており、車両のさまざまな部分が「ホットスポット」として強調され、各箇所に関する項目と関連付けられています。オーナーズマニュアルはセクション間を簡単に移動することができます。また、内容は検索可能です。

モバイルアプリはApp StoreおよびGoogle Playからダウンロードすることができます。

関連情報

- オーナーズマニュアルを読む (p. 24)

Volvo Carsサポートサイト

車両に関する詳しい情報は、ボルボ・カーズのウェブサイトとサポートサイトで入手できます。

インターネットでのサポート

サポートサイトのページを表示するには、support.volvocars.comに移動してください。サポートサイトはほとんどの市場で利用することができます。

Volvo On Call*、ナビゲーションシステム*およびアプリなど、ウェブベースのサービスや機能に関するサポート情報が掲載されています。ビデオやステップ・バイ・ステップの指示で、さまざまな手順(携帯電話経由で車両をインターネットに接続する方法など)について解説します。

ダウンロード可能な情報

地図

Sensus Navigation装備車では、サポートページから地図をダウンロードすることができます。

PDF形式のオーナーズマニュアル

オーナーズマニュアルはPDF形式のファイルとしてダウンロードすることができます。必要に応じてマニュアルをダウンロードするときには、車両モデルおよびモデルイヤーを選択してください。

[3] 一部のモバイル機器のみ。

連絡先
サポートサイトには、カスタマーサポートとお客様の最寄りのボルボ・ディーラーの連絡先が掲載されています。

ボルボ・カーズのウェブサイトにログインする
個人用 Volvo ID を作成して、www.volvocars.com にログインします。ログインが完了すると、サービス、契約および保証などの概要を確認することができます。ここには、お客様の車両モデルに対応するアクセサリーやソフトウェアに関する情報もあります。

関連情報
- Volvo ID (p. 28)

オーナーズマニュアルを読む
運転の前に、ボルボ車についてご理解いただくため、オーナーズマニュアルを十分にお読みください。

オーナーズマニュアルをお読みになると、新しい機能をご理解いただけるとともに、さまざまな状況で適切な判断ができ、また車両のいろいろな機能を十分にご活用いただけます。オーナーズマニュアルに記載されている、注意、警告指示を厳守してください。

本オーナーズマニュアルは、Volvo 車で利用可能なあらゆる機能およびオプションについて説明することを目的としてします。これらの機能およびオプションが、すべての車両に装備されていることを示すまたは保証するものではありません。使用されている用語は、販売資料、マーケティング資料および広告資料で使用されているものと異なる場合があります。

製品改良のため、開発作業はつねに続けられています。改良により、オーナーズマニュアルに記載されている情報、説明および図が実際の車両と異なる場合があります。製造者(メーカー)が予告なく変更する場合があります。

このマニュアルは、車両の外へ持ち出さないでください。問題が発生した場合、専門家によるサポートの提供先や問い合わせ方法に関する必要な情報を見つけることができなくなります。

© ボルボ・カー・コーポレーション

オプション/アクセサリー
標準装備のほかに、オプション装備(メーカーオプション)やアクセサリー装備(ディーラーオプション)などについても記載されています。

このオーナーズマニュアルでは、オプション/アクセサリーにはかならず「*」マークが付いています。

オーナーズマニュアルに記載されていても、車両にその装備がない場合があります。車両の装備は、各市場でのニーズや、国、地域の法規に適合するようになっています。

標準装備またはオプション/アクセサリー装備についてご不明な点は、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

特別なテキスト

⚠ 警告

ケガのおそれがある場合は、警告テキストが表示されます。

重要

損傷のおそれがある場合は、「重要」と表示されます。

注意

「注意」には、装備や機能を使いやすくするためのヒントなどが記載されています。

＊ オプション/アクセサリー。

脚注

オーナーズマニュアルには、ページの下部または表の最後に脚注の形で情報が記載されています。これは、本文中の番号に対応した補足情報です。表内の記載に対応した脚注の場合は、参照先の番号ではなく文字が使用されています。

ディスプレイテキスト

車内には、メニューテキストとディスプレイテキストを表示するディスプレイがあります。オーナーズマニュアルでは、ディスプレイに表示されるテキストと通常のテキストは書体が異なります。メニューテキストおよびディスプレイテキストの例：**電話**、**新しいメッセージ**。

表示ラベル

重要な情報を簡潔かつ明確な方法で表示するように、車内にはさまざまな表示ラベルが使用されています。表示ラベルは、警告/情報の重要度に応じて次のように分類されています。

ケガに対する警告

黄色地に黒の ISO シンボル、メッセージ欄は黒地に白字テキスト/イメージ。危険な状況であることを示すために使用。この警告を無視した場合、大ケガや死亡にいたるおそれがあります。

重大な損傷のおそれ

黒地または青地の警告欄およびメッセージ欄に、白の ISO シンボルおよび白字テキスト/イメージ。危険な状況であることを示すために使用。この警告を無視した場合、物品などが損傷を受けるおそれがあります。

インフォメーション

黒地のメッセージ欄に、白の ISO シンボルおよび白字テキスト/イメージ。

注意

オーナーズマニュアルに掲載されている表示ラベルは、車両の表示ラベルと若干異なっている場合があります。ラベル掲載の目的は、ラベルの概観と車両に貼られている位置を示すことです。お客様の車両に関する情報は、車両内の各ラベルに記載されています。

作業手順のリスト

このオーナーズマニュアルでは、指定の順番で行なうべき作業手順には、番号が付いています。

1 作業手順がステップ・バイ・ステップで図示されている場合は、図の中に手順に対応した番号が付いています。

A 作業手順を指定の順番で行なう必要がない場合は、文字の付いた箇条書きの説明が図の近くにあります。

1 矢印(番号付きの矢印、番号のない矢印の両方があります)は、可動部分の動きを示すためのものです。

A 順序を変えても問題がない場合には、動きをはっきりさせるために文字を伴った矢印が使用されています。

作業手順がステップ・バイ・ステップで図示されていない場合は、手順を示す番号には一般的な字体が使われています。

位置リスト

1 図の中のいろいろなコンポーネントを指し示すには、赤丸付きの番号が使用されています。図のそばに位置リストがあり、それぞれの番号は図の中の番号と対応しています。

箇条書き

オーナーズマニュアルでポイントの一覧を表記するときは、箇条書きが使用されています。

例：

- クーラント
- エンジンオイル

関連情報

密接に関連している情報を含むほかの項目を指しています。

イラストおよびビデオクリップ

オーナーズマニュアルのイラストおよびビデオクリップの映像は特定の機能の例または全体像を示すことが目的であり、略図が使用されていることがあります。イラストおよびビデオクリップの映像は、装備レベルや市場によっては、実際の車両と外観が異なる場合があります。

次ページに続く

▶▶ このシンボルは、項が次ページに続いている場合、ページの右下に表示されます。

前ページから続く

◀◀ このシンボルは、項が前ページから続いている場合、ページの左上に表示されます。

関連情報

- センターディスプレイのオーナーズマニュアル (p. 19)
- モバイル機器対応のオーナーズマニュアル (p. 23)
- Volvo Cars サポートサイト (p. 23)

オーナーズマニュアルと環境

オーナーズマニュアルには、管理森林に由来する紙が使用されています。

森林管理協議会(FSC)®のシンボルは、オーナーズマニュアルに使用されている紙パルプがFSC®が認証した森やその他の管理資源に由来していることを示します。

関連情報

- Drive-E – さらにクリーンに走る喜びを (p. 30)

お客様のボルボ車

Volvo ID

Volvo ID は 1 つのユーザー名とパスワードを使用して幅広いサービスを利用できるようにする個人用 ID です。

サービスの例：

- Volvo On Call アプリ* – 携帯電話で車両を確認する。例えば、燃料残量の確認、最寄りのガソリンスタンドの表示、遠隔操作による車両のロックなどができます。
- コネクテッド・サービス予約 – お気に入りサービス工場/ディーラーを volvocars.com に登録して、サービスを車両から直接予約する。

> **注意**
>
> ひとつのサービス(Volvo On Call など)のユーザー名/パスワードを変更すると、ほかのサービスのものも自動的に変更されます。

Volvo ID は車両、volvocars.com または Volvo On Call アプリ[1]から作成できます。

Volvo ID を車両に登録すると、一部のサービスが利用可能になります。

関連情報

- Volvo ID の作成と登録 (p. 28)
- コネクテッド・サービス予約 (p. 655)

[1] Volvo On Call*の利用契約が必要です。
[2] 特定市場にのみ適用。

Volvo ID の作成と登録

Volvo ID はいくつかの方法で作成することができます。Volvo ID を volvocars.com または Volvo On Call アプリで作成した場合[2]、さまざまな Volvo ID サービスを使用できるようにするには、Volvo ID を車両にも登録する必要があります。

Volvo ID アプリで Volvo ID を作成する

1. センターディスプレイのアプリビューで **ダウンロードセンター** から Volvo ID アプリをダウンロードします。
2. アプリを起動して、個人用メールアドレスを登録します。
3. 指定のメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
   > Volvo ID が作成され、車両に自動的に登録されます。これで Volvo ID サービスを利用することができます。

ボルボ・カーズのウェブサイトで Volvo ID を作成する

1. www.volvocars.com に移動し、右上のアイコンを使用してログインします[3]。Volvo ID の作成を選択します。
2. 個人用メールアドレスを入力します。
3. 指定のメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
   > これで Volvo ID が作成されました。ID を車両に登録する方法については、以下を参照してください。

Volvo On Call アプリ[4]で Volvo ID を作成する

1. App Store、Windows Phone、Google Play などを経由してスマートフォンから最新版の Volvo On Call アプリをダウンロードします。
2. アプリのスタートページから Volvo ID の作成を選択し、個人用メールアドレスを入力します。
3. 指定のメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
   > これで Volvo ID が作成されました。ID を車両に登録する方法については、以下を参照してください。

* オプション/アクセサリー。

Volvo ID を車両に登録する

Volvo ID をウェブまたは Volvo On Call アプリで作成した場合、以下の手順で車両に登録してください。

1. まだダウンロードしていない場合、Volvo ID アプリをセンターディスプレイのアプリビューの **ダウンロードセンター** からダウンロードします。

> **注意**
>
> アプリをダウンロードするには、車両をインターネットに接続する必要があります。

2. アプリを起動し、ご自分の Volvo ID/メールアドレスを入力します。
3. Volvo ID に関連付けられているメールアドレスに自動送信されてくる指示に従います。
   > これで Volvo ID が車両に登録されました。Volvo ID サービスを利用することができます。

関連情報

- Volvo ID (p. 28)
- アプリのダウンロード (p. 551)
- ダウンロードセンター経由でシステムアップデートを管理する (p. 653)
- オンライン車両* (p. 584)

[3] 一部市場でのみ利用可能。
[4] Volvo On Call*装備車

Drive-E – さらにクリーンに走る喜びを

ボルボでは、環境への悪影響を減らすために、より安全でより効率的な製品およびソリューションの開発に取り組み続けています。

環境への配慮はボルボ・カーズの本質的価値であり、すべての事業に影響をおよぼします。環境研究は車両のライフサイクル全体に基づくもので、設計から廃棄およびリサイクルにいたるまでの期間で車両が環境におよぼす影響を考慮します。ボルボ・カーズには、「ボルボの開発する新製品はかならず先代の製品よりも環境への影響が小さいものでなければならない」という基本理念があります。

ボルボで環境管理に取り組んだ結果、環境保護にさらに効果的で、低公害化を実現するドライブライン Drive-E が開発されました。ボルボは個人環境も重視します。例えば、エアコンディショナーシステムの働きにより、車内の空気は車外の空気よりもきれいです。

ボルボ車は厳しい国際環境基準に適合します。ボルボの製造工場はすべて、ISO 14001 認証を取得する必要があります。この認証取得により、事業にともなう環境問題に対して体系的な取り組みが可能になり、環境影響を低減しつつ改善を継続することができます。ISO 認証の取得は、現行の環境法令および規制を順守していることも意味します。ボルボはパートナーにもこの認証の取得を要求しています。

燃費

車両の全体的な環境影響の大部分はその使用によるものであるため、ボルボ・カーズの環境への取り組みでは、燃料消費量、二酸化炭素排出量、その他の空気汚染物質の低減を重視しています。ボルボ車は、非常に効率のよい燃費を誇っています。燃費がよければよいほど、温室

効果の原因となる二酸化炭素の排出量が少なくなります。

環境向上への貢献

エネルギー効率および燃料効率に優れた車両は、環境影響の低減に貢献するだけでなく、維持費の低減にもつながります。運転者は簡単に燃料消費量の低減を図ることができるため、燃料費を節約すると同時に環境の向上に貢献することになります。以下はいくつかのヒントです。

- 効果的な平均速度をあらかじめ想定してください。速度が約 80 km/h (約 50 mph)を超える場合、または 50 km/h (約 30 mph)未満の場合、エネルギー消費量が増加します。
- メンテナンスノート(整備手帳)で推奨されている間隔に従って、車両の点検整備を行なってください。
- 無用なアイドリングは避けてください。長時間停車するときは、エンジンを停止してください。地域の規則に従って、交通法規を遵守してください。
- 計画的に走行してください。何度も不必要に停止したり、走行速度にばらつきがあると、燃料消費量が増加します。
- 寒冷時の始動では、プリコンディショニング*を使用してください。寒冷時の始動性が向上し、摩耗が減少します。エンジンが暖機されるまでの時間が短縮され、燃料消費量と排気ガス量が低減されます。

使用済みのバッテリーやオイルなど、環境に有害な廃棄物は、環境に配慮した適切な方法で処理してください。この種の廃棄物の処理についてご不明な点は、ボルボ指定のサービス工場にご相談ください。

効率のよいエミッションコントロール

ボルボ車は「内も外もクリーン」というコンセプトの基に設計されています。このコンセプトは、車内の空気を清浄に保ち、なおかつ車外に排出されるガスをできるだけ効率よくコントロールすることを指しています。ボルボ車の排気ガスは、現在の排気ガス規制値のほとんどを大幅に下回ります。

車内の空気を清浄に保つ

エアフィルターは、エアインテークから車室部にほこりや花粉が侵入するのを防ぎます。

インテリア・エア・クオリティ・システム(IAQS)*が、車内に取り入れられる空気を外気よりも清浄に保ちます。

このシステムは、車内の空気から、粒子状物質、炭化水素、窒素酸化物、地表オゾンなどの有害物質を除去します。センサーが外気の汚れを感知すると空気取入口を閉じて、内気のリサーキュレーションに切り替えます。このような状況は、渋滞走行時やトンネル通過時などに発生する場合があります。

IAQS はクリーン・ゾーン・インテリア・パッケージ(CZIP)*に含まれています。このパッケージには、車両をリモートコントロールキーでロック解除したときにファンを作動できるようにする機能も含まれています。

インテリア

ボルボ車のインテリアには厳選された素材が使用されており、快適にお使いいただけるように検査を実施しています。細部の中には手製の箇所もあります。ステアリングホイールの継ぎ目などは手で縫合されています。インテリアは、高温や強い光にさらされたときに不快感の原因になる強烈な臭いや化学物質を発することがないようにモニターされます。

ボルボのサービス工場と環境

定期的にメンテナンスを受けることにより、車両の耐用年数が長くなるだけでなく、燃料消費量も低減します。これは、環境保全への貢献にもつながります。ボルボ指定のサービス工場に修理やメンテナンスをご依頼いただければ、ボルボ社のシステムに基づいて適切な整備を実施します。ボルボ社では、サービス工場から出るガス、廃液、廃棄物などはできるだけ環境に悪影響を与えない方法で処理するなど、環境対策を徹底させています。ボルボ指定のサービス工場には、環境対策に関するボルボの教育・訓練を受けたメカニックがおり、必要な機器や工具も揃っておりますので、最善の環境対策をご提供することができます。

リサイクル

ボルボはライフサイクルの視点で取り組んでいるため、環境に優しい方法で車両をリサイクルすることも重要視しています。車両のほとんど

▸▸

◀◀ の部品がリサイクルできます。車両を廃車にされるオーナーの皆様には、ディーラーから認定/承認リサイクル施設の紹介を受けていただくようお願いいたします。

関連情報

- 燃料消費量および CO_2 排出量（p. 729）
- 経済走行（p. 511）
- プリコンディショニング*のオン/オフ（p. 270）
- オーナーズマニュアルと環境（p. 26）
- 空気の質（p. 245）

* オプション/アクセサリー。

IntelliSafe – 運転者サポート

IntelliSafe はボルボ・カーズの車両安全に関するコンセプトです。IntelliSafe には、車両で移動するときの安全性を高め、ケガを予防し、乗員およびほかの道路使用者を保護することを目的とするシステム(標準とオプションの両方)が多数含まれています。

サポート

IntelliSafe には、アダプティブクルーズコントロール*などの運転者サポート機能が含まれます。アダプティブクルーズコントロールは、運転者が一定の速度を維持し、前方を走行している車両との車間時間をあらかじめ選択した時間に維持するのに役立つ機能です。

Pilot Assist[5] は、ステアリングアシストを使用して両側の車線境界線の間を走行するよう運転者を支援するとともに、運転者が一定の速度を維持し、前方を走行している車両との車間時間をあらかじめ選択した時間に維持するのに役立ちます。

パークアシスト・パイロット*は、運転者が駐車スペースから出し入れするときに役立ちます。

ほかにも、運転者支援システムには、アクティブハイビーム、Cross Traffic Alert(CTA)*、および Blind Spot Information (BLIS)*システムなどがあります。

予防

事故の防止に役立つ機能の 1 つが City Safety です。この機能は歩行者、サイクリスト、大型動物または車両との衝突を防止または軽減することができます。衝突の危険がある場合、警告灯、警告音およびブレーキパルス警告で運転者に対処を促します。運転車が警告に反応せず衝突の危険が差し迫っていると判定された場合、City Safety は車両に自動的にブレーキをかけることができます。

レーンアシスト(LKA)は事故防止を支援する機能のもうひとつの例で、高速道路や同様の主要道路を走行中に車両が現在の車線から不意に逸脱する危険を低下させることに役立ちます。

衝突リスク増加中にステアリング支援 機能は、ステアリングを自発的に操作して車両を車線内に戻したり、急ハンドルを切ったりすることで、車両が不意に車線から外れる危険およびほかの車両または障害物と衝突する危険を低減するよう支援します。

保護

運転者と乗員の保護のために、車両には危機的な状況や衝突時にシートベルトのゆるみを取り除くことができるシートベルトテンショナーが装備されています。車両にはエアバッグおよびインフレータブルカーテンと、むち打ち症を予防する Whiplash Protection System (WHIPS)も装備されています。

歩行者との正面衝突事故の際に歩行者が車両から受ける衝撃を軽減するために Pedestrian Protection System (PPS)も用意されています。

関連情報

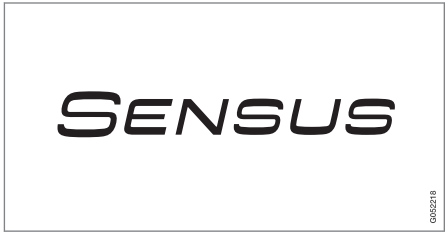
- 運転者サポートシステム (p. 328)
- アクティブハイビーム (p. 193)
- 重要な安全上のご注意！ (p. 80)
- シートベルト (p. 84)
- エアバッグ (p. 89)
- Whiplash Protection System (p. 81)
- Pedestrian Protection System (p. 83)

[5] この機能は標準装備の場合とオプション装備の場合があり、市場によって異なります。

Sensus – オンラインコネクティビティおよびエンターテイメント

Sensus では、インターネットを利用したり、さまざまなタイプのアプリを使用したりすることができます。また、車両を Wi-Fi ホットスポットとして使用することもできます。

Sensus について



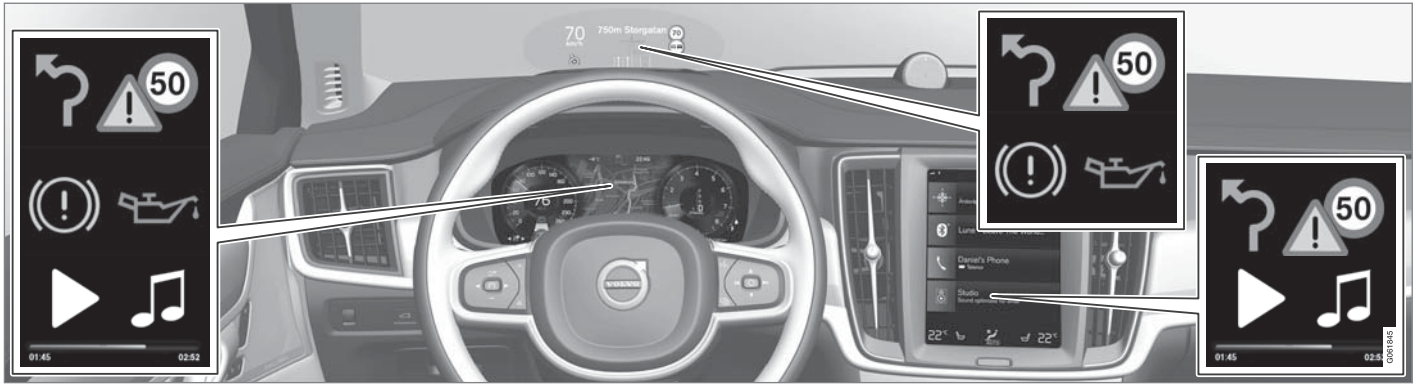
Sensus はデジタル世界との知的インターフェースおよびオンライン接続を提供します。直感的なナビゲーション構成により、必要なときに、運転の邪魔をすることなく、適切なサポート、情報およびエンターテイメントを提供することができます。

Sensus には、エンターテイメント、オンライン接続、ナビゲーション*、運転者と車両とのユーザーインターフェースに関連する車載ソリューションがすべて組み込まれています。お客様と車両と外部の世界をつなぎ、コミュニケーションを可能にするのが Sensus です。

必要なときに、必要な場所で情報を提供

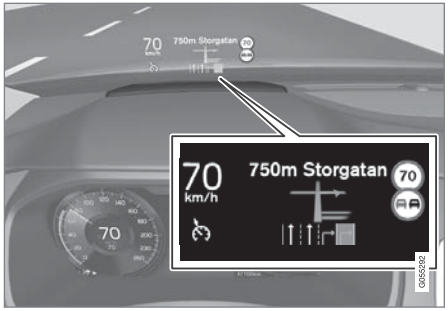
車内の複数のディスプレイにより、適切なタイミングで情報が提供されます。情報の表示される場所は、運転者による情報の優先順位に応じて異なります。

* オプション/アクセサリー。



情報にはさまざまな種類があり、その重要度に応じて、表示されるディスプレイが異なります。

ヘッドアップディスプレイ*



ヘッドアップディスプレイには、運転者がすみやかに対処する必要のある特定の情報が表示されます。このような情報には、交通警告、速度情報およびナビゲーション*情報などが含まれます。ヘッドアップディスプレイには、ロード・サイン・インフォメーションや電話の着信も表示されます。ディスプレイはステアリングホイール右側のステアリングリモコンおよびセンターディスプレイから操作します。

ドライバーディスプレイ

12 インチ*ドライバーディスプレイ

8 インチドライバーディスプレイ

ドライバーディスプレイには、速度や電話の着信、再生中の曲に関する情報などが表示されます。ディスプレイの操作には、ステアリングホイールのステアリングリモコン 2 つを使用します。

センターディスプレイ

車両の主要機能の多くは、センターディスプレイから操作します。センターディスプレイはタッチスクリーンです。したがって、車内のボタンおよびスイッチ類の数は最小限に抑えられています。画面は手袋を着用しているときでも操作することができます。

エアコンディショナーシステム、エンターテイメントシステムおよびシート位置*などは、ここから操作できます。センターディスプレイに表示される情報については、必要に応じて、運転者または車内の乗員が対応することができます。

音声認識システム

音声認識システムは、運転者がステアリングホイールから手を離すことなく使用することができます。このシステムは自然な話し言葉を理解することができます。音声認識は、曲の再生、電話の発信、設定温度の変更、テキストメッセージの読み上げなどに使用することができます。

関連情報

- ヘッドアップディスプレイ*（p. 179）
- ドライバーディスプレイ（p. 119）
- センターディスプレイの概要（p. 146）
- 音声認識（p. 182）
- オンライン車両*（p. 584）
- Wi-Fi ホットスポット経由で車両のインターネットアクセスを共有する（p. 588）

* オプション/アクセサリー。

ソフトウェアアップデート

ボルボでは、お客様に最高の体験をご提供するために、車載システムとサービスの開発につねに取り組んでいます。

車載ソフトウェアは、ご使用のボルボ車を正規ボルボ・ディーラーで点検・整備する際に最新版にアップデートすることができます。最新のソフトウェアにアップデートすると、過去のアップデートに含まれていた機能向上のほかに、新機能および更新された機能を利用できるようになります。

リリースされているアップデートに関する詳細情報およびよくあるご質問については、support.volvocars.com をご覧ください。

注意

更新後の機能性は、市場、モデル、モデルイヤーおよびオプションにより異なることがあります。

関連情報

- Sensus – オンラインコネクティビティおよびエンターテイメント (p. 34)
- ダウンロードセンター経由でシステムアップデートを管理する (p. 653)

データの記録

ボルボ社の安全および品質保証の一環として、車両の作動、機能および事故に関する特定の情報が車両に記録されます。

この車両には「Event Data Recorder」(EDR)が装備されています。この装置の主な目的は、交通事故や、エアバッグが作動する、または車両が路上の障害物にぶつかるといった、衝突に似た状況に関連するデータを記録することです。データは、こういった種類の状況下で車両システムがどのように作動するかについて理解を深めるために記録されます。EDR は車両の運動状態および安全システムに関するデータを、短時間(通常 30 秒以下)記録するよう設計されています。

この車両に搭載された EDR は交通事故、または衝突に似た状況があった場合に、以下に関するデータを記録するよう設計されています。

- 車内のさまざまなシステムがどのように作動したか
- 運転席および助手席のシートベルトは作動したか
- 運転者によるアクセルまたはブレーキペダルの使用
- 車両の走行速度

この情報は、弊社が交通事故、ケガ、車両の損傷が発生する状況をより把握するために役立ちます。EDR は、重大な衝突状況が発生した場合にのみデータを記録します。EDR は、通常の走行状況下では一切データの記録を行いません。同様に、誰が運転しているか、または事故やニアミス状況の地理的な位置に関するデータをシステムが記録することはありません。ただし警察などの第三者が、交通事故後に規定に沿って収集した個人情報の類とともに記録されたデータを使用する場合があります。データを解析するには、車両または EDR にアクセスするための特殊な機器およびアクセス権が必要です。

EDR に加え、車両には車両の機能を継続的に確認しモニターするよう設計された、多数のコンピューターが搭載されています。これらのコンピューターは通常の走行時にデータを記録することができますが、特に車両の操作や機能性に影響する不具合を記録したり、車両の運転者サポート機能(例:City Safety やオートブレーキ機能)が起動したときのデータを記録することができます。

記録された一部のデータは、サービスおよびメンテナンスメカニックが車両に発生した不具合を診断し、修理するために必要です。記録された情報はまた、ボルボが法律および政府当局によって定められた法的要件を満たすために必要です。車両で記録された情報は、該当の車両がサービスまたは修理を受けるまで、車内のコンピューターに保存されます。

上記に加え、記録された情報は、ボルボ車の安全性および品質の継続的な向上を目的とした研

究や製品開発のために、集計形式で使用される場合があります。

車両のオーナー様の同意なしに、ボルボが上述の情報を第三者に開示することはありません。国の法令および規制を順守するため、ボルボはこれらの情報へアクセスする法的権利を行使する警察または当局へ、関わる情報を開示せざるを得ない場合があります。車両のコンピューターに記録された情報を読み取り、解析するためには特殊な機器が必要です。ボルボ社およびボルボ社と契約を結んでいるサービス工場がこの機器へのアクセス権を持っています。ボルボ社は、点検整備時にボルボに転送される情報が、安全な方法で保管ならびに処理され、その処理が適用される法的要件を満たすものであるように保証する責任を負っています。詳しくはボルボ・ディーラーにお問い合わせください。

サービスの利用規約

ボルボでは、お客様にボルボ車をできるだけ安全かつ快適に運転していただくためのサービスを提供しています。

このようなサービスには、緊急時の支援からナビゲーションおよびさまざまなメンテナンスサービスにいたるまでのすべてが含まれます。

サービスを利用する前に、お客様は support.volvocars.com で「サービスの利用規約」をよくお読みになる必要があります。

関連情報

- お客様プライバシーポリシー (p. 38)

お客様プライバシーポリシー

弊社では、弊社のウェブサイトを訪れる人すべての人格を尊重および保護します。

本ポリシーはお客様のデータおよび個人情報の取り扱いに適用されます。目的は、現在、過去および将来のお客様に以下の点について全般的な説明を提供することです。

- 弊社がお客様の個人情報を収集および処理する状況。
- 弊社が収集する個人情報の種類。
- 弊社がお客様の個人情報を収集する理由。
- お客様の個人情報の取り扱い方法。

本方針は support.volvocars.com で全文を読むことができます。

関連情報

- ユーザー利用規約およびデータ共有 (p. 591)
- サービスの利用規約 (p. 38)
- データの記録 (p. 37)

アクセサリーおよび補助装置に関する重要情報

アクセサリーの接続不良または取り付け不良は、車両の電気系統に悪影響をおよぼすおそれがあります。

オーナー様には、ボルボ純正アクセサリーのみを取り付けることと、アクセサリーの取り付けは教育を受けた有資格のボルボサービスメカニックにかならず依頼することを強くお薦めします。一部のアクセサリーは、車両のコンピューターシステムに関連ソフトウェアをインストールしないと正常に作動しません。

オーナーズマニュアルに記載されていても、車両にその装備がない場合があります。車両の装備は、各市場でのニーズや、国、地域の法規に適合するようになっています。

本書に記載されているオプションまたはアクセサリーにはアスタリスクが付いています。標準装備またはオプション/アクセサリー装備についてご不明な点は、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

⚠ 警告

車両を安全に使用し、現行の法律および規則に従う最終責任は、つねに運転者にあります。

また、ボルボの推奨する方法、オーナーズマニュアルおよび整備手帳・保証書に従って車両の点検整備を行なうことも重要です。

デジタル版のオーナーズマニュアルの情報が印刷版と異なる場合、かならず印刷版の情報が優先されます。

関連情報

- アクセサリーの取り付け（p. 39）
- 車両の診断ソケットへ設備を接続する（p. 40）
- オーナーズマニュアルを読む（p. 24）

アクセサリーの取り付け

オーナー様には、ボルボ純正アクセサリーのみを取り付けることと、アクセサリーの取り付けは教育を受けた有資格のボルボサービスメカニックにかならず依頼することを強くお薦めします。一部のアクセサリーは、車両のコンピューターシステムに関連ソフトウェアをインストールしないと正常に作動しません。

- ボルボ純正アクセサリーは、パフォーマンス、安全性および排出ガス処理の点で車両のシステムに適合して確実に機能することが試験で実証されています。また、教育を受けた有資格のボルボサービスメカニックは、ボルボ車でのアクセサリーの適切な取り付け位置について正しい知識を持っています。どのようなアクセサリーを取り付ける場合でも、車両に取り付ける前に、教育を受けた有資格のボルボサービスメカニックにかならずご相談ください。
- ボルボから認定されていないアクセサリーは、お客様の車両での使用を想定した試験を特に受けていない可能性があります。
- ボルボで試験されていないアクセサリーを取り付けた場合、または経験のない人にアクセサリーの取り付けを依頼した場合、車両のパフォーマンスまたは安全装置の一部に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- 承認されていない方法または不適切な方法で取り付けたアクセサリーが原因で生じた損害については、新車保証が一切適用されま

せん。保証情報の詳細については、整備手帳・保証書をご覧ください。純正品以外のアクセサリーを取り付けた結果生じた死亡事故、ケガ、または損失について、ボルボでは一切責任を負いません。

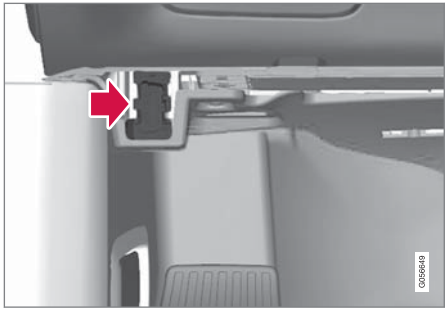
関連情報

- アクセサリーおよび補助装置に関する重要情報（p. 39）

車両の診断ソケットへ設備を接続する

ソフトウェアまたは診断ツールの不適切な接続や取り付け/インストールは、車両の電気系統に支障をきたすおそれがあります。

オーナー様には、ボルボ純正アクセサリーのみを取り付けることと、アクセサリーの取り付けは教育を受けた有資格のボルボサービスメカニックにかならず依頼することを強くお薦めします。一部のアクセサリーは、車両のコンピューターシステムに関連ソフトウェアをインストールしないと正常に作動しません。



故障診断ソケット(On-board Diagnostic、OBDII)は、運転席側のメーター・パネルの下にあります。

注意

On-board Diagnostic ソケット(OBDII)に非承認の装置を接続した場合、その影響に対してボルボ・カーズでは一切責任を負いません。このソケットは、かならず教育を受けた有資格のボルボサービスメカニックが使用する必要があります。

関連情報

- アクセサリーおよび補助装置に関する重要情報（p. 39）

車両の車台番号(VIN)を表示する

Volvo On Call 利用契約の件などでボルボ・ディーラーに問い合わせるときには、車両の車台番号(VIN[6])が必要です。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム情報 ➔ 車台番号** に移動します。
   › 車台番号(VIN)が表示されます。

運転者の注意不足

運転者には、自分自身、乗員およびほかの道路使用者の安全を確保するために可能なあらゆることを行なう責任があります。この責任の中には、運転中に車両の操作と直接関係のない行為を行なうことなど注意力の低下につながる行為を避けることも含まれます。

お客様の新しいボルボ車には、コンテンツの豊富なエンターテイメントおよびコミュニケーションシステムが装備または用意されています。例えば、ハンズフリーの携帯電話やさまざまな機能を備えたナビゲーションシステムおよびオーディオシステムがあります。また、ご自分の意向次第で携帯用電子機器を利用することもできます。正しく使用すると、それらのシステムは安全な方法でドライビングエクスペリエンスを向上させることができます。しかし、誤った方法で使用した場合、それらのシステムは運転者の注意力を低下させるおそれがあります。

ボルボは、お客様の安全に対する懸念を表明するために、上記のシステムに関して以下のように警告します。車内では、注意力が低下して安全運転の妨げになるような方法で機器または機能を使用しないでください。注意不足は重大な事故につながるおそれがあります。このような一般的な警告以外に、ボルボでは、車内に装備される可能性のある最新機能について以下のようにアドバイスします。

⚠ 警告

- 運転中には、絶対に手持ち式の携帯電話を使用しないでください。一部の地域では、走行中に運転者が携帯電話を使用することは禁止されています。
- ナビゲーションシステム装備車の場合、旅程の設定および変更はかならず駐車しているときに行なってください。
- オーディオシステムは、絶対に走行中にプログラムしないでください。ラジオを素早く簡単に使用できるようにするため、駐車しているときにラジオのプリセットをプログラムし、プログラムしたプリセットを使用するようにしてください。
- 走行中には、絶対にノートパソコンや携帯型コンピューターを使用しないでください。

関連情報

- サウンド、メディアおよびインターネット (p. 548)

[6] Vehicle Identification Number

重要です。かならずお読みください。

ご使用に際して！

このオーナーズマニュアルは、標準で取り付けられていない装備品、機能および日本仕様以外の装備品、機能についても記載されています。**このオーナーズマニュアルで説明されていても、車にその装備などが装着されていない/装着できない場合がありますのでご了承ください。**

スウェーデン・ボルボ社の原稿を元に、日本語版を作成していますが、現車と記述内容などが異なる場合は現車が優先されます。

後付けのオプションパーツおよびアクセサリーパーツなどの使用方法、あるいは取付方法については、各製品毎に添付されている取扱説明書(または取付説明書)の指示に従ってください。

詳しくはボルボ・ディーラーにお問い合わせください。

このオーナーズマニュアルに記載されている取扱説明は、一般的な使用状況を想定したものです。したがって、車の使用場所、使用環境、取扱方法により異なる場合がありますので、十分に注意してください。

このオーナーズマニュアルに記載してあるすべての情報、イラスト、および仕様は、最新の製品情報に基づいていますが、製造者(メーカー)が予告なく変更する場合があります。

オーナーズマニュアル内のイラストは、大まかなものであり正確な描写を目的とするものではありませんので、実際の車両と一致しない場合があります。

オーナーズマニュアルのこの部分には、安全・快適なドライブのために知っておいていただきたい項目が記載されています。かならずお読みください。

このオーナーズマニュアルは、車両の一部とみなされます。

車を売却される場合は、次のオーナー様のためにこのマニュアル(印刷版)とメンテナンスノート(整備手帳)および点検整備記録簿を車内に保管しておいてください。

道路運送車両法により、点検整備と日常点検が義務付けられています。

車を適切な状態に維持し、安心してご使用いただくために点検整備をかならずおこなってください。

また、**お客様ご自身で日常点検もかならずおこなってください**。

このオーナーズマニュアルに記載されている取扱方法と異なる使用や、点検整備を実施していないなどの場合は、ボルボ社の保証が適用されないことがありますので十分に注意してください。

また、このオーナーズマニュアルの記載事項を守らなかったために生じた損傷、事故などに関しては、弊社は責任を負うことができませんのでご了承ください。

(オーナーズマニュアル掲載の写真、イラスト、文章の無断転載、複写を禁じます。)

© ボルボ・カー・コーポレーション

⚠ 警告

このオーナーズマニュアルは、ボルボ・カー・ジャパンによる正規の販売ルートで輸入および販売された車両にのみ適用されます。

追加装備品の取り付けについて：

追加装備品を装着する場合は、製品に付属の取付要領書および注意事項に従って装着を行ってください。

詳しくはボルボ・ディーラーにお問い合わせください。

⚠ 警告

ボルボ純正以外の追加装備品の装着や、装置の不適切な取り付けは、運転に悪影響をおよぼし故障や火災の原因となります。

無線機などについて：

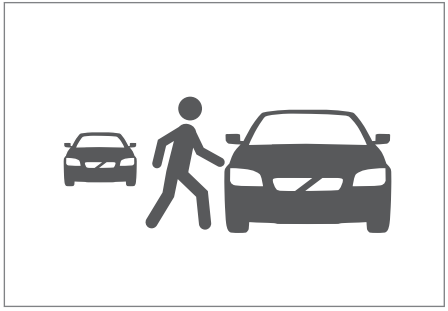
無線機など、アンテナを介して通信する通信機器を車内で使用すると、車両の電子機器(エンジンマネジメントシステム、ABS、エアバッグなど)に影響をおよぼすおそれがあります。

詳しくは、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

関連情報
- 重要な安全上のご注意！（p. 80）

重要な安全上のご注意！

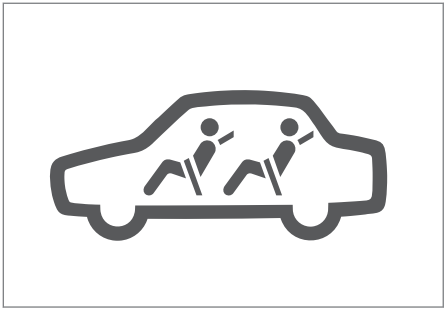
ドアを開ける際は、かならず周囲の安全を確認してください。



特に路上では、後続車やほかの交通に十分注意してください。

- ドアを確実に閉めてください。ドアが確実に閉められていないと、走行中にドアが突然開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

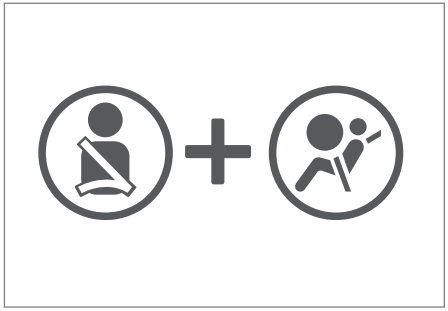
シートベルトは正しい姿勢で、かならず正しく着用してください。



シートベルトを正しく着用できない場所に、同乗者を乗車させないでください。

- シートベルトのロックタブをバックルに確実にロックしてください。同乗者のシートベルトも正しく着用しているか、かならず確認してください。

エアバッグは、シートベルトの補助装置です。



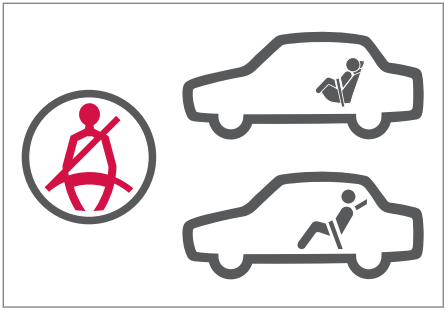
エアバッグが取り付けられていても、シートベルトはかならず着用してください。

- シートベルトを着用していないと、エアバッグが作動した際の衝撃で大ケガをするおそれがあります。
- 同乗者にもエアバッグシステムについての注意事項を、十分に説明してください。
- エアバッグは膨張速度が極めて速く、また、布でできているため、エアバッグ作動時に摩擦熱で皮膚にヤケドや擦過傷を負うおそれがあります。

かならず、助手席側エアバッグとチャイルドシートの取り付け位置に関する安全注意事項に従ってください。

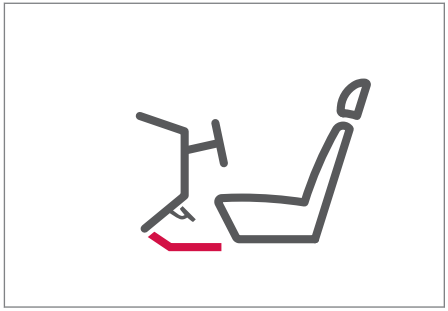
- 助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向き装着タイプのチャイルドシートを使用しないでください。
- 助手席側エアバッグが無効になっている場合、絶対に乗員(お子様および大人)を前向きで助手席に座らせないでください。
- この指示を守らないと、生命に危険がおよぶ、または大ケガをするおそれがあります。

後席であってもシートベルトはかならず正しく着用し、お子様にもシートベルトを着用させてください。



- シートベルトが首やあごに当たるような小さなお子様や幼児を乗車させる際は、チャイルドシートをかならずご使用ください。
- シートベルトが合わないまま使用すると、衝突の際に頭部や腹部などに強い衝撃を受けて大ケガをするおそれがあります。

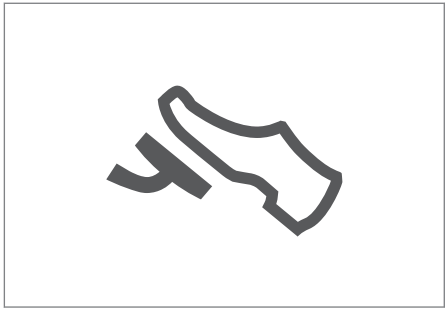
フロアマットは敷く前に運転席用、助手席用をかならず確認してください。



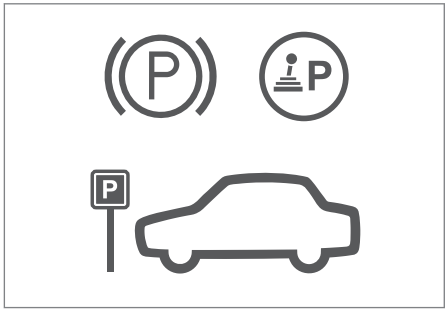
アクセルペダルに引っかからない位置に正しく敷いてください。

- エンジンを始動する前にフロアマットが正しく固定されているか確認してください。
- フロアマットを固定していない状態で使用したり、二重に敷いたり正しく敷かれていないと、運転中にフロアマットが移動してペダルと干渉し、暴走などのおそれがあります。
- アクセルペダルの上に、フロアマットを乗せないでください。ペダルが戻らなくなり、大変危険です。

ペダルの踏み間違いを防ぐため、エンジンを始動する前に右足で各ペダルを踏み、ペダルの位置を確認してください。



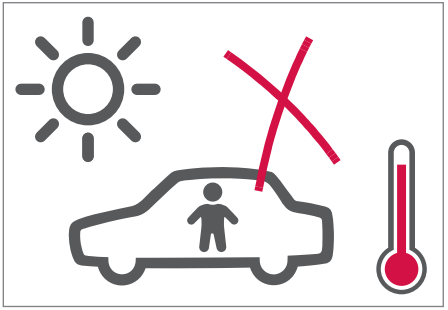
駐停車する場合は傾斜した場所を避けてください。



パーキングブレーキを確実にかけ、セレクターレバーがP(パーキング)の位置に入っていることを確認してください。

- エンジンを止めます。

車から離れる場合は、お子様もご一緒にお連れください。

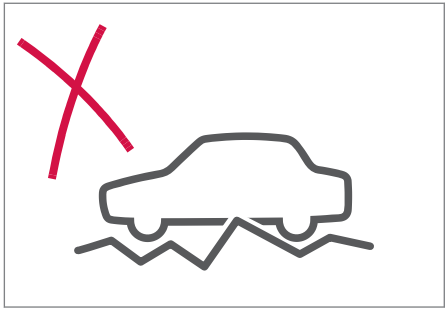


- お子様だけを車内に残すことは危険です。特に炎天下に駐車した場合は、車内およびシートベルトやシートは高温になり、熱射病/熱中症やヤケドなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- お子様がパワーウインドやその他の装置を動かしたり、あるいは車を発進させてしまう場合があり、大ケガをしたり火災や事故につながるおそれがあります。

盗難やいたずらを未然に防ぐためにも、車から離れる際はパーキングブレーキをかけ、かならずエンジンを停止してキーを抜き、施錠してください。

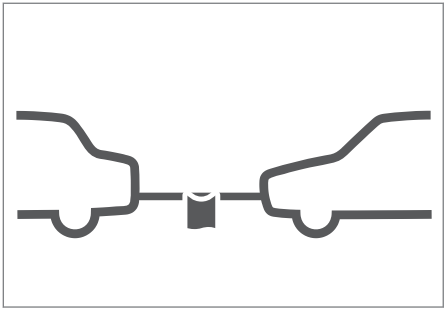
- 車内に、貴重品を置いたままにしないでください。

悪路や未舗装路の走行は、十分に注意してください。



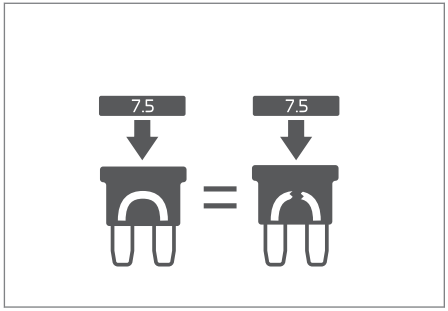
- タイヤ、床下、サスペンションなどを損傷し、さらには障害物に挟まれたり、ぬかるみにはまって脱出できなくなるおそれがあります。
- やむをえず走行する場合は、低速でゆっくり走行してください。
- 走行後、すみやかに車の点検を行ってください。
- AWD 車といっても、万能ではありません。

けん引が必要な場合は、事故を起こさないように十分注意してください。



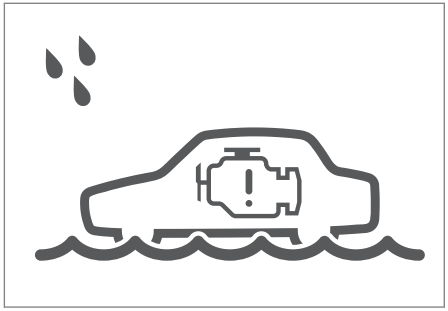
オーナーズマニュアルの「けん引」の項を参照してください。また、周囲の交通状況にも注意してください。

ヒューズを交換する場合はかならず同じ色、同じアンペアのヒューズと交換してください。



高アンペアのヒューズを使用すると過大な電流が流れてもヒューズが切れず、配線や電装品を損傷させて発火し火災が発生するおそれがあり大変危険です。

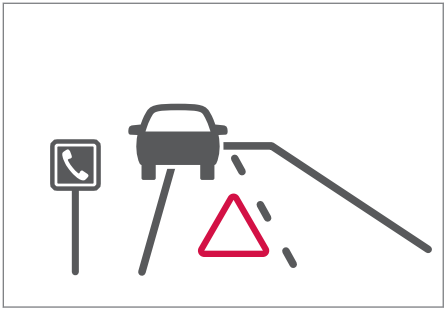
深い水たまりや、極端な冠水路を走行、また、突然の大雨などにより水しぶきを上げて走行した場合は、エンジンルーム内の電気配線やドライブベルト、タイミングベルトに水分が付着しているおそれがあります。



早めに点検を受けてください。

- 水分が付着していると、エンジン不調やベルト類の損傷劣化の原因となります。

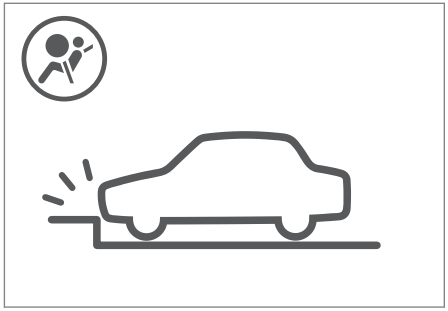
高速道路や自動車専用道路を走行中に故障したときなどは、急ブレーキをかけずに惰力で走行して路肩に車を止めてください。



- 故障やパンクで驚き、急ブレーキを踏むと、衝突されたりスリップするおそれがあります。
- 車を惰性で直進させて、路肩に止めてください。
- 前輪がパンクしたときは、ハンドルが取られて大変危険です。
- 路肩に停車したときは、後続車にわかるように、停止表示器材を置いてください。なお、夜間の場合は、非常点滅灯およびテールランプを点灯してください。
- 非常電話は 1 km おき（トンネル内は 200 m おき）に設置されています。

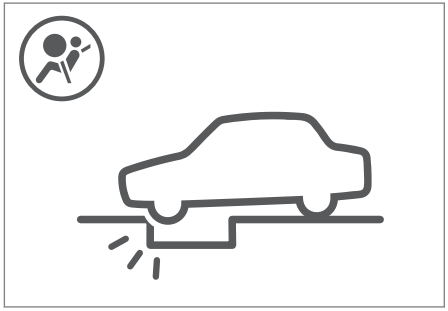
- 近い場所の非常電話で通報しようとして、反対車線へ横断しないでください。
- 通報後は、かならず全員安全な場所に避難してください。

エアバッグ（運転席、助手席、サイドエアバッグ、インフレータブルカーテン）は事故の際にかならず作動するとは限りません。



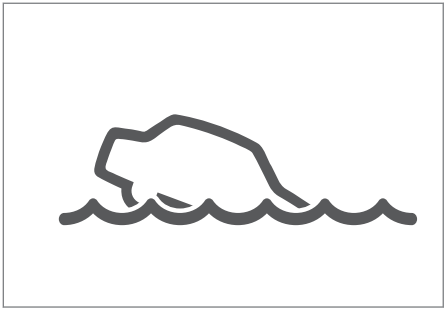
- 衝突の位置/角度、衝撃の度合いによっては、エアバッグが作動しない場合があります。
- 斜めに塀や、ガードレール、車などに衝突したとき。
- トラックなどの荷台の下に潜り込み衝突したとき。
- 衝突されたり、転覆、横転したとき。
- 衝突の方向が、車の中心からずれていたとき。
- 電柱、道路標識などのポールに衝突したとき。
- 前後フェンダー部など、車内部以外に側面から衝突されたとき。
- 電柱などに側面をぶつけたとき。
- 車内部に斜めに衝突されたとき。
- 側面にバイクなどが衝突したとき。

車の外見上の損傷が少なくても、エアバッグが作動する場合があります。



- 道路上の物や車止めなどの縁石にぶつかったとき。
- 穴や溝に落ちる、またはジャンプしたとき。
- 車両の下面に強い衝撃を受けたとき。
- その他、中央分離帯などに衝突したとき。

もしも、川や海などに転落した場合は…



水中に車が転落したときの脱出方法：

- 水中ではドアロックやパワーウインドが使用できず、閉じ込められるおそれがあります。このような場合は、脱出用ハンマーなどを使用してください。（脱出用ハンマーは、カーショップなどで購入することができます。）
- 浮いている車のドアは、水圧で開きません。落ち着いてシートベルトを外し、窓が開けられる状態であれば、窓を開けて脱出してください。
- 窓が開けられない場合は、水面より高い位置の割りやすい側面の窓ガラスを脱出用ハンマーなどで割って脱出します。ドアをロック解除できる場合などには、車両内と車両外の水位がほぼ同じ高さになるまで待ち、ドアを開けて脱出します。

関連情報

- ご使用に際して！（p. 44）
- 火災および排気ガスに関するご注意（p. 51）

火災および排気ガスに関するご注意

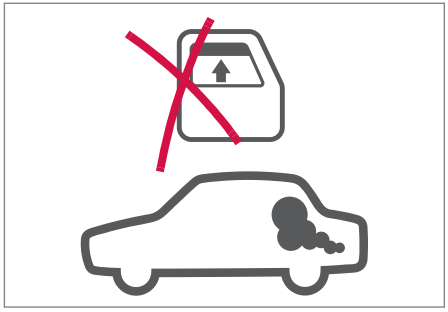
エンジンをかけたまま、車内で仮眠をとることは大変危険です。

- 仮眠中に無意識にアクセルペダルを踏んだり、セレクターレバーを動かすおそれがあり、排気系統の過熱による車両火災や車が走り出して事故が発生する場合があります。
- やむをえず仮眠するときは、かならずエンジンを止めてください。

ガレージのような換気の悪い場所や密閉された場所で、エンジンをアイドリングしないでください。

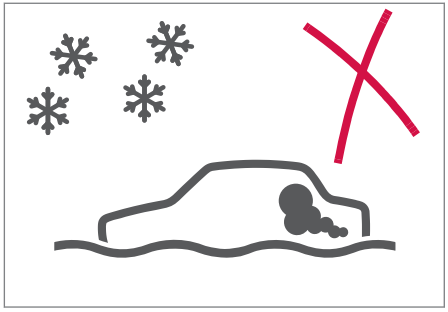
- 人体に有害な排気ガスが充満し、一酸化炭素(CO)中毒を起こすおそれがあります。
- このような場所でエンジンを始動する場合は、その前にかならずガレージのドアや窓を開けてください。

車内を閉めきった状態で、エンジンをアイドリングしないでください。



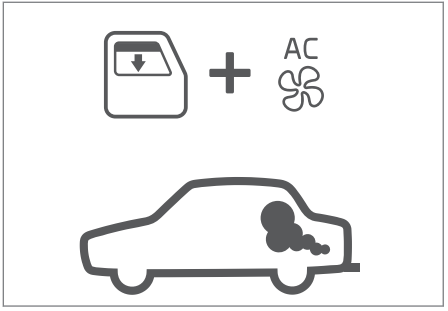
- 排気ガスが車体の水抜き穴や溶接の隙間、マフラーの腐食部から車内に侵入し、一酸化炭素(CO)中毒を起こすおそれがあります。
- 広い場所でも、しばらくアイドリングする必要があるときは、換気のため窓などを開けるか、エアコンディショナーを作動させてください。
- 熱せられた排気系統に接触するような枯れ草や枯葉、紙、木材など燃えやすい物の上に車を駐停車しないでください。風や気象条件によって、排気管や排気ガスの熱により火災になるおそれがあります。

大雪で停車してしまった場合は、車内への排気ガスの侵入に注意してください。



- 車の周囲に積もった雪や、特に排気管の出口を塞いでいる雪を取りはらってください。

排気ガスの臭いがしたり、排気ガスが車内に侵入している疑いがある場合は、すべての窓を開放してエアコンディショナーを作動させて換気してください。

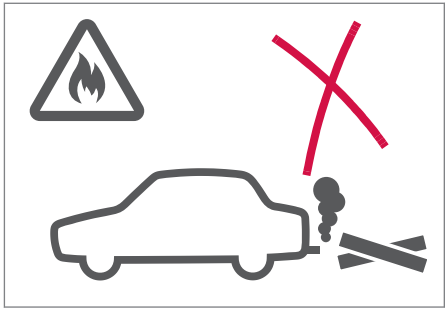


ただちに車の点検、または整備を受けてください。そのまま放置すると、一酸化炭素(CO)中毒を起こすおそれがあります。次のような場合も車内に排気ガスが侵入する原因となりますので、排気系統は点検してください。

- 排気管などの排気系統に異常音が聞こえるとき。
- 車の床下まわりにさびが発生しているとき。
- 衝突などにより車が損傷を受けたとき。
- 走行中、路上の障害物などにより損傷を受けたとき。

- 修理や整備が正しく行われていなかったとき。
- その他、車や排気系統が不適切に改造されているとき。

可燃物の近くに、駐車しないでください。



- 車両後方や排気管付近に燃えやすい物があると、火災になるおそれがあり危険です。
- 木材、ベニヤ板などが車両後方にあるときは、車両後端を 60 cm 以上離して止めてください。木材との距離が短いと排気ガスによって変色や変形したり、火災になるおそれがあります。

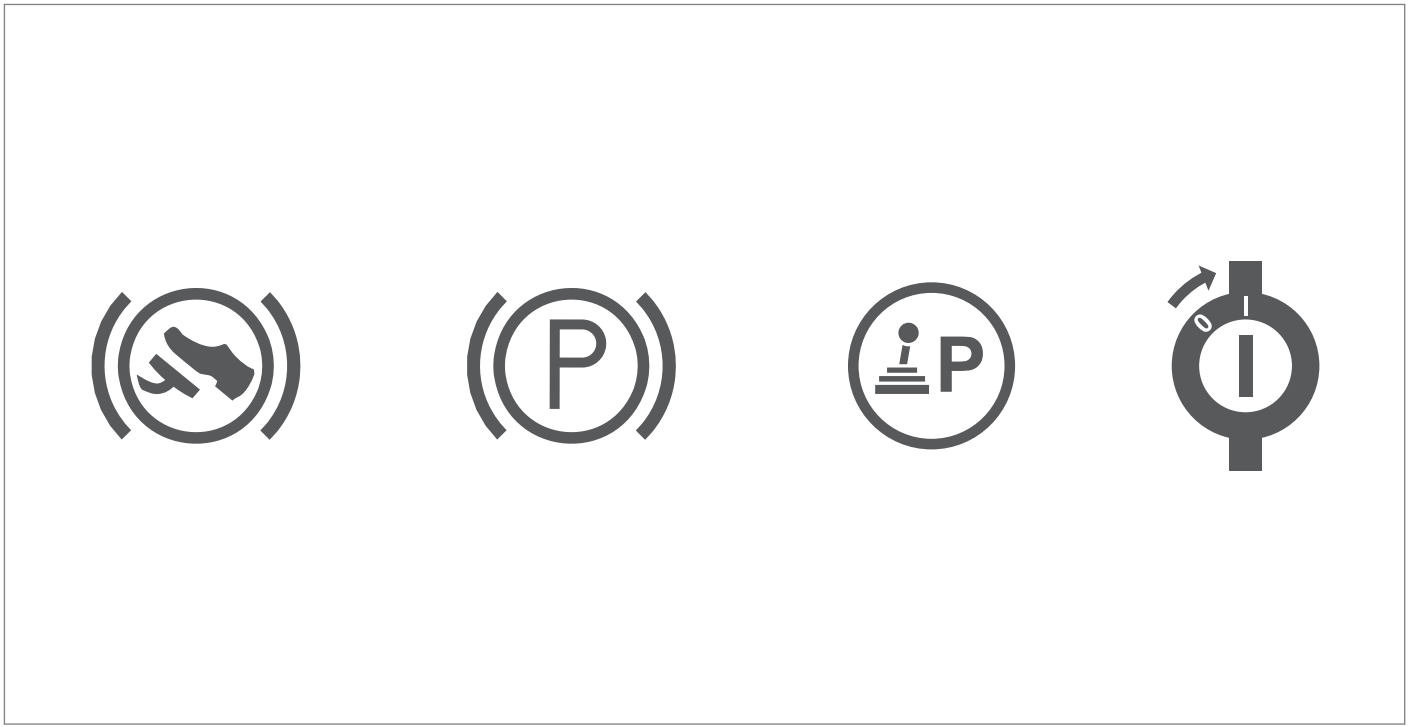
エンジンルーム内に可燃物などがないことを確認してください。

- 走行前にエンジンルーム内に可燃物の置き忘れがないか確認してください。エンジンや排気管の熱により火災になるおそれがあります。
- 車両を長期間使用しなかった場合は、エンジンルーム内に小動物や鳥類によって持ち込まれた小枝などがないことを確認してください。エンジンや排気管の熱により火災になるおそれがあります。
- 走行中に焦げたような異臭などを感じたときは、ただちにエンジンを止めて車両から離れてください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 45)
- エンジン始動時のご注意！ (p. 54)

エンジン始動時のご注意！



エンジン始動時は、ブレーキペダルを踏み、パーキング(駐車)ブレーキをかけて、トランスミッションのセレクターレバーをP(パーキング)の位置にしてください。

関連情報

- 火災および排気ガスに関するご注意 (p. 51)
- 発進時のご注意！ (p. 56)

発進時のご注意！

オートマチック車を発進させるときは、以下の点に注意して正しい方法で操作してください。

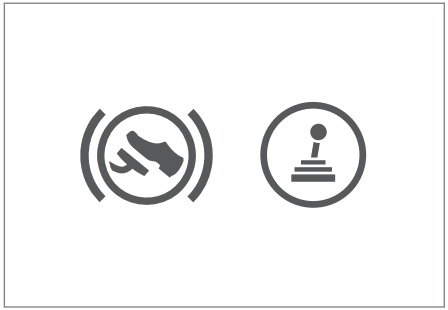
誤った方法で操作すると、思わぬ事故につながります。

セレクターレバーを**P**(パーキング)または**N**(ニュートラル)からほかへシフトするときは、**ブレーキペダルを踏み込んだまま**で操作する必要があります。アクセルペダルは踏まないでください。

- ブレーキペダルを踏まずに、セレクターレバーを**D**(ドライブ)または**R**(リバース)にシフトすると、アクセルペダルを踏まなくても車は動き出しますので注意してください。
- エンジン始動直後やエアコン作動時など、アイドル回転が高いときは、車が動こうとする力が強くなるので特に注意してください。

発進時はブレーキペダルを、ゆっくりとゆるめることをつねに心がけてください。ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキを解除し、アクセルペダルに踏みかえます。

- 急発進を防ぐために、アクセルペダルは徐々に踏み込んでください。ルームミラーやドアミラーで、確認できない死角範囲があります。
- 発進するときは、周りの状況にも十分注意してください。
- 適切な始動方法と運転操作をご理解いただくために、「運転操作の要領」の説明もあわせてご覧ください。

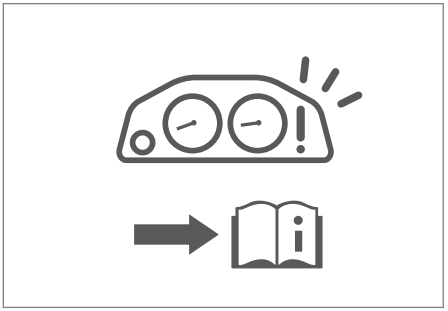


関連情報

- エンジン始動時のご注意！（p. 54）
- 重要な操作上のご注意！（p. 56）

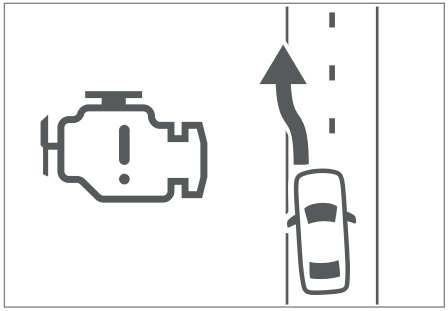
重要な操作上のご注意！

走行中にメーター・パネルにある警告灯が点灯したときは、ただちに安全な場所に停車し、オーナーズマニュアルに従って適切な処理をおこなってください。



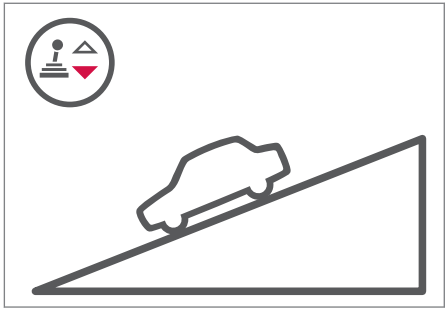
- 走行中の車の状態にも注意し、いつもと違うエンジン、排気系統からの異音、臭い、運転感覚などの違いを感じた場合は、すみやかに点検を行ってください。そのまま走行を続けると、重大な事故につながるおそれがあります。

走行中にエンジンが停止した場合は、安全な場所に停車してください。



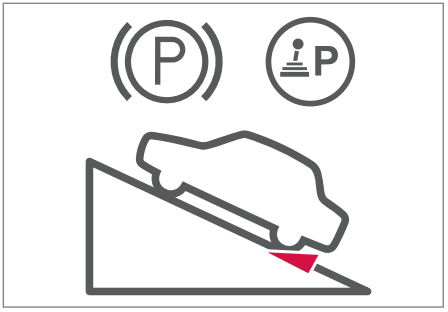
- 特に高速道路などで停車する場合は、後続車両に十分注意してください。
- 走行中にエンジンが停止すると、ブレーキの倍力装置やパワーステアリング装置の倍力補助が正常に作動しなくなるので、ブレーキペダルの踏み込みが硬くなり、ハンドルが重くなります。

長い下り坂や急な坂道を下る場合は、低いシフトレンジにシフトダウンしてエンジンブレーキを併用してください。



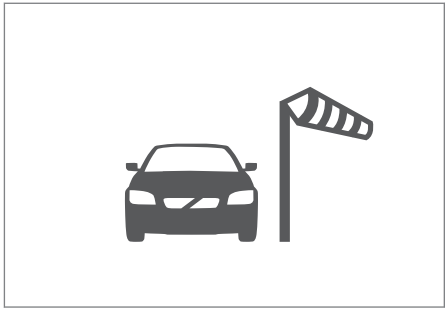
- ブレーキペダルを踏み続けたり急ブレーキを繰り返すと、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、最悪の場合は停止できなくなるおそれもあります。
- エンジンブレーキを使用する際は、車のコントロールを失ってしまうような過度な効かせかたをしないでください。

坂道で駐車する場合は、パーキングブレーキを確実にかけ、セレクターレバーをP(パーキング)に入れてください。



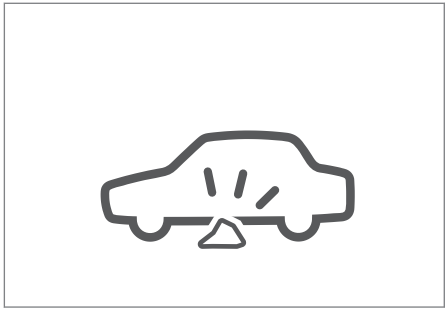
さらに急な坂道では、タイヤに輪止めをしてください。

強風で車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかりと握りスピードはひかえめに走行してください。



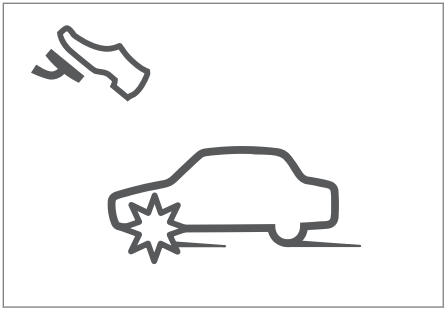
- 特にトンネルの出口や橋、土手の上、山の切り通し、大型車を追い越したり追い越されたりする場合、強い横風が発生しやすいので十分に注意してください。

走行中に路上の障害物によって、車の床下に衝撃を受けた場合は、安全な場所に停車し、車の下にブレーキオイルや燃料などの漏れがないか、また各部に損傷がないかもかならず確認してください。



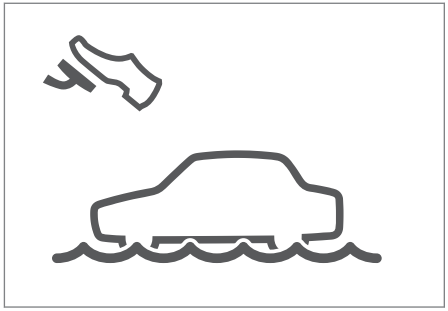
- そのまま走行を続けると、大変危険です。

走行中にタイヤがパンクした場合は、タイヤ、ホイールを損傷させないように徐々にブレーキをかけてゆっくり減速してください。



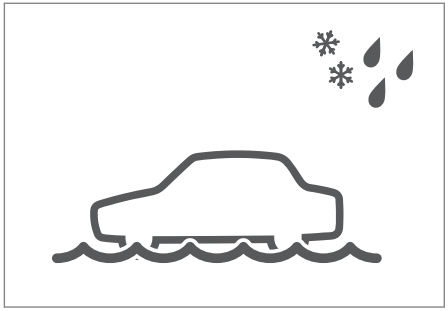
急ブレーキをかけると、ハンドルを取られて大変危険です。

水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。



- ブレーキペダルを軽く踏み、効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪いときは、しばらく低速で走行しながらブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキを乾かしてください。

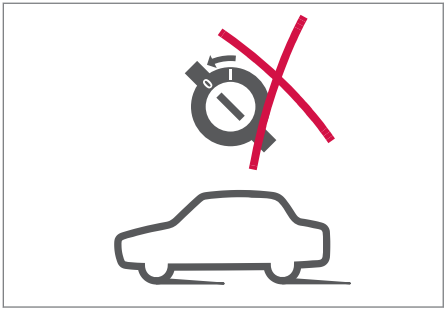
雨天時は路面が滑りやすくなっています。



急加速、急ブレーキ、急ハンドルを避け、スピードをひかえめにして走行してください。

- 積雪路や凍結路など、普段と異なる環境で走行する場合は、特に慎重に運転してください。

走行中は、エンジンを止めないでください。

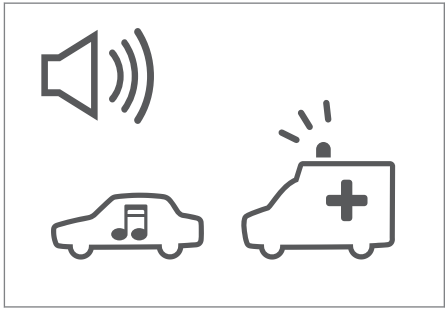


- 走行中にエンジンを止めると、ブレーキペダルの踏み込みが硬くなり、ハンドル操作も非常に重くなって事故につながるおそれがあり危険です。
- リモートコントロールキーをロック位置にしてキーを抜くと、ハンドルがロックされてハンドル操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は、ハンドルやシートの位置を調節しないでください。

- 走行中に調節すると、正しい運転操作ができず重大な事故につながるおそれがあり大変危険です。

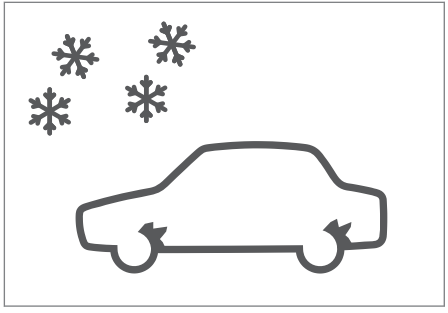
オーディオの音量はほどほどに



テレビやカーナビを見ながらの運転はおやめください。

- 過大な音量で聞いていると、緊急車両が近づいてもわからない場合があります。
- テレビやカーナビを見ながら、あるいは携帯電話を使用しながらの運転も事故につながるおそれがあり大変危険です。また、道路交通法違反にもなります。

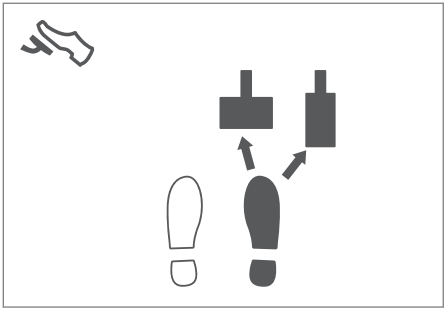
雪路を走行中は、はね上げた雪や氷が車のフェンダーの裏側に少しずつ溜まって氷結し、ハンドルの切れを悪くします。



ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。

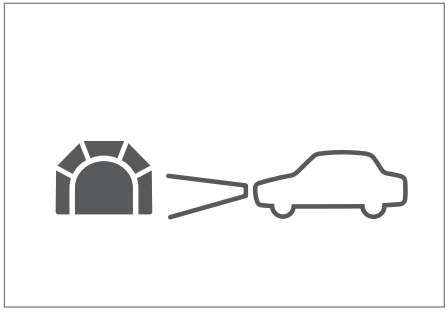
- ブレーキシステムに付着して、ブレーキの効きが悪くなる場合がありますので、ときどき軽くブレーキペダルを踏み、ブレーキの効き具合を確認してください。

ブレーキペダルはアクセルペダルのように、右足で踏む習慣をつけてください。



- 左足でのブレーキ操作は、緊急時の反応が遅れるなど適切なブレーキ操作ができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

トンネル内を走行する際は、ヘッドライトを点灯し、速度を落として進入してください。



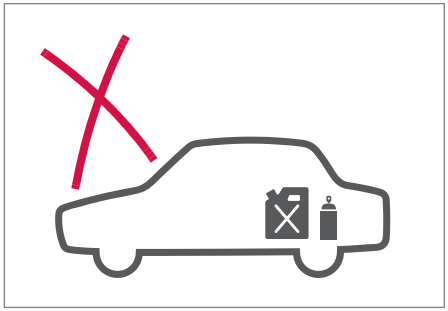
- 照明が暗いトンネルでは､進入直後に急に視界が悪くなる場合がありますので注意してください。また、トンネルを出た後は、ライトの消し忘れにも注意してください。

関連情報

- 発進時のご注意！（p. 56）
- してはいけないこと！（p. 61）

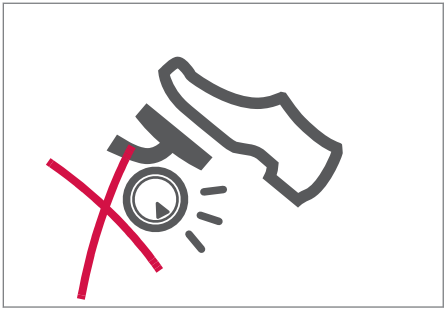
してはいけないこと！

車内やトランクルーム/カーゴスペース内などに、燃料の入った容器やスプレー缶などの可燃物を放置しないでください。



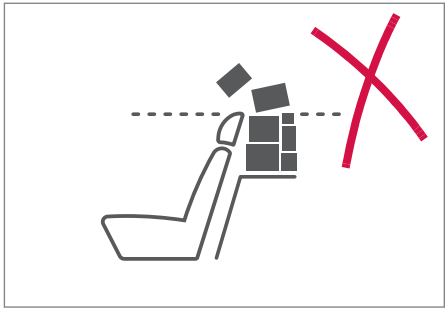
- 特に夏期には可燃物が気化しやすく､膨張して引火、爆発するおそれがあり大変危険です。

運転席の足元付近に、物を置かないでください。



- 空き缶などが足元にあると､アクセルペダルやブレーキペダルの下に挟まって操作の妨げとなり､重大な事故につながるおそれがあります。

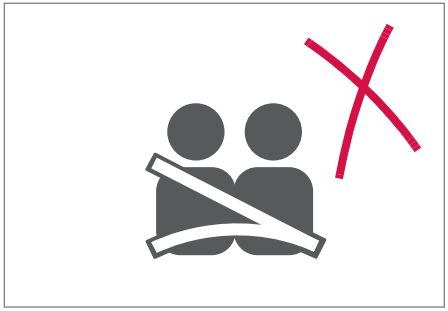
荷物を、シートバックよりも高く積み上げないでください。



また、後席のシートバックの後方にあるハットシェルフの上に、荷物を置かないでください。

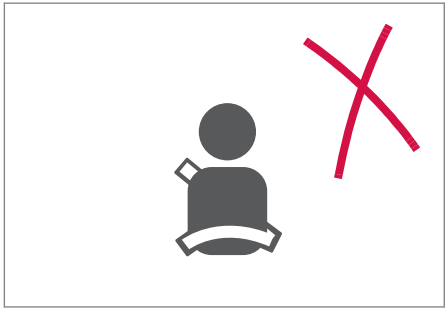
- 急ブレーキや衝突の際に物が移動したり飛び出してケガをしたり、荷物が損傷して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転視界を妨げないためにも、荷物はできるだけトランクルーム/カーゴスペースに載せ、あるいはシートバックの高さよりも低く水平に積み、走行中に荷物が動かないように確実に固定してください。

二人で、同一のシートベルトを使用しないでください。



- 衝突した際に二人が互いにぶつかり合い、大ケガをするおそれがあります。また、シートベルトが本来の機能を発揮しません。

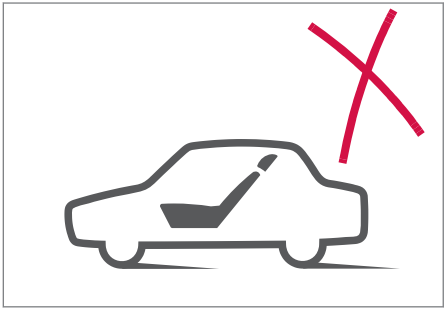
肩ベルトを、肩の後ろに通さないでください。



また、脇の下に通したり、ベルトをねじったり、たるみをつけて着用することもしないでください。

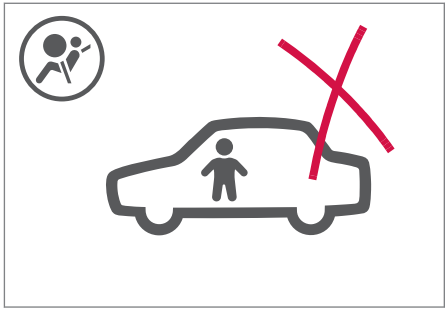
- 衝突の際に、上半身が前方へ移動してベルトの力が直接腹部にかかり、大ケガをするおそれがあります。

走行中はシートバックを、大きくリクライニングさせないでください。



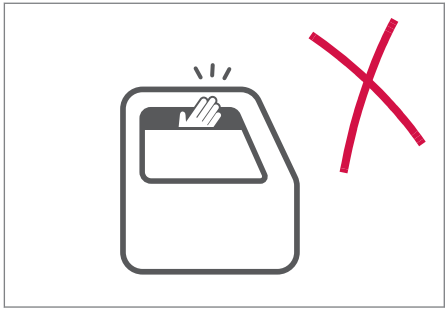
- リクライニングしていると、衝突した際にシートベルトが十分に機能しないため、大ケガをするおそれがあります。

走行中には、絶対にお子様をエアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしないでください。



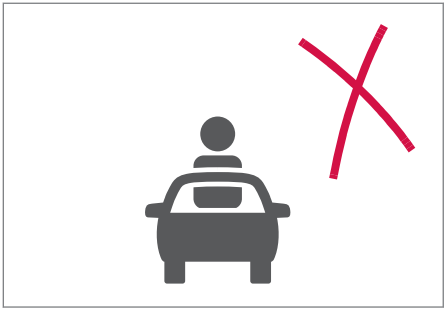
エアバッグが作動した際に衝撃を受け、大ケガをするおそれがあり大変危険です。乗車させる場合は、チャイルドシートをかならず使用してください。

お子様にドアやパワーウインド、パノラマルーフの操作をさせないでください。



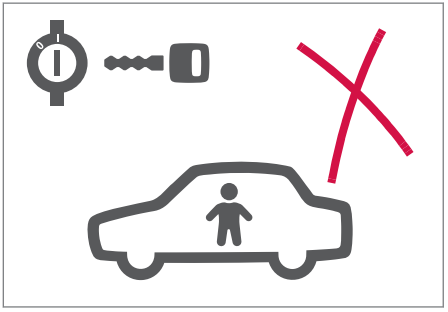
- 閉めるときに手や頭などを挟んで、思わぬケガをするおそれがあり大変危険です。
- 走行中、あるいは後方を確認しないでドアを開けると、大変危険です。

走行中にウインドやパノラマルーフから、顔や手を出さないでください。



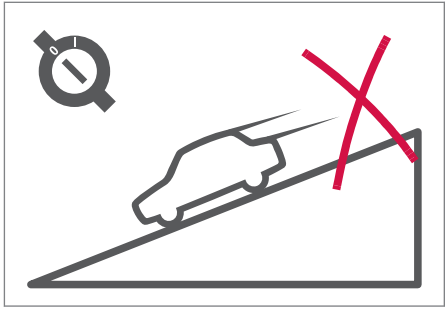
- 車外の障害物に当たったり、急ブレーキの際に車外に投げ出されて、大ケガをするおそれがあります。

リモートコントロールキーを付けたまま、お子様を車内に残さないでください。



- お子様がパワーウインドやその他の装置を動かしたり、あるいは車を発進させてしまう場合があり、大ケガをしたり火災や事故につながるおそれがあります。
- 車から離れる場合は、お子様もご一緒にお連れください。また、リモートコントロールキーをかならず抜いてください。

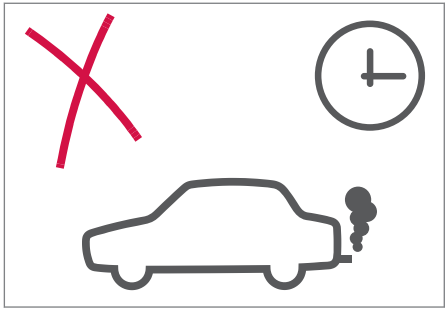
エンジンが停止しているときは、車を移動させないでください。



車を少しでも移動する場合は、かならずエンジンを始動してください。

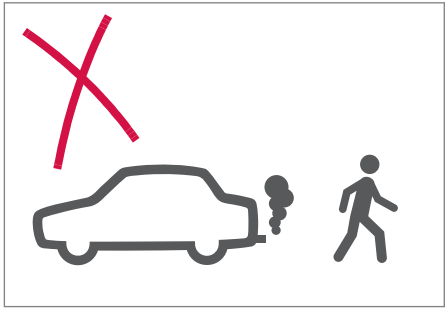
- エンジンが作動していないと、ブレーキペダルの踏み込みが硬くなり、ハンドル操作も重くなって思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 特に坂道を利用しての移動は、事故を起こす可能性が高く危険です。

エンジンを始動したら、長時間アイドリングをしないでください。



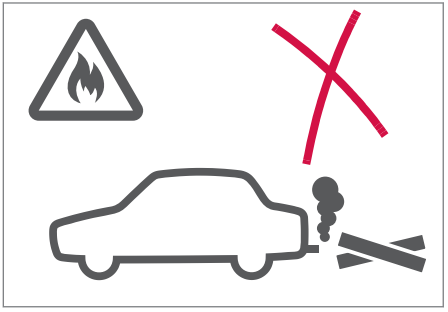
エンジンに悪影響を与え、燃費も悪くなります。

エンジンが作動しているときは、車から離れないでください。



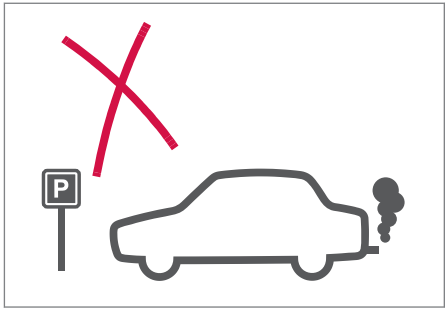
- パーキングブレーキが完全にかけられていない場合や、セレクターレバーが P(パーキング)に確実に入っていない場合、車が急に動き出すおそれがあります。
- 短い時間でも、車から離れたときに車内の貴重品を盗まれたり、車ごと盗難されるおそれがあります。

枯れ草や枯れ葉、紙、木材など、燃えやすい物があるところで駐停車したり、走行したりしないでください。



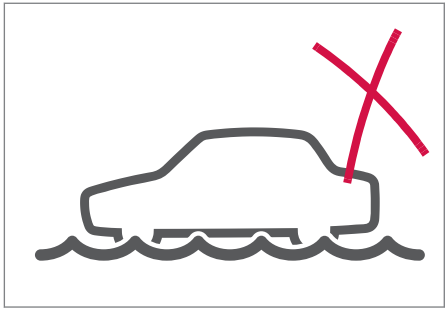
- 排気管や排気ガスの熱により着火し、火災が発生するおそれがあります。
- 木材、ベニヤ板などが車両後方にあるときは、車両後端を 60 cm 以上離して止めてください。木材との距離が短いと排気ガスによって変色や変形したり、火災になるおそれがあります。

停車中に、エンジンを空吹かししないでください。



- セレクターレバーが P(パーキング)または N(ニュートラル)以外にあると、車が動き出して思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。近隣の方の迷惑にもなります。

深い水たまりや冠水路は、走行しないでください。

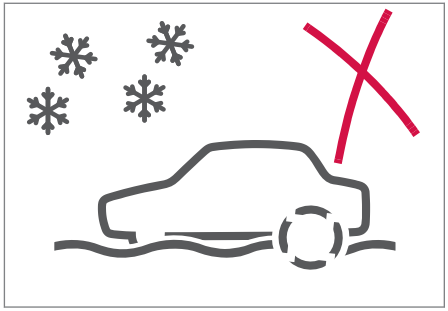


- 水が吸気口や排気管からエンジンに侵入して、エンジンを損傷させるおそれがあります。
- 車内の床面に少しでも水が入ってしまった場合は、ただちに運転を中止してください。浸水した水が車の電子システムの作動に悪影響を与えて、誤作動するおそれがあり大変危険です。
- 冠水してエンジンが停止した場合は、絶対にエンジンを再始動させずに修理を依頼してください。エンジン内部が損傷する原因となります。

河原や砂地は、できる限り走行しないでください。

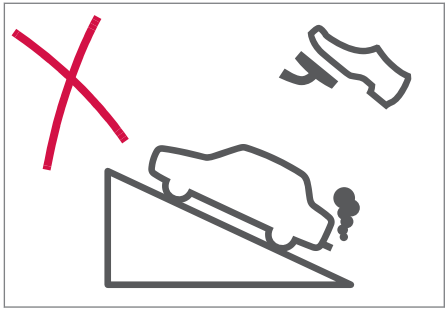
- タイヤ、床下、サスペンションなどを損傷し、さらには砂利石など障害物に挟まれたり、砂地にはまって脱出できなくなるおそれがあります。
- AWD 車といっても、万能ではありません。

車が新雪やぬかるみにはまり込んでしまった場合は、脱出するときに高速で車輪を回転をさせないでください。



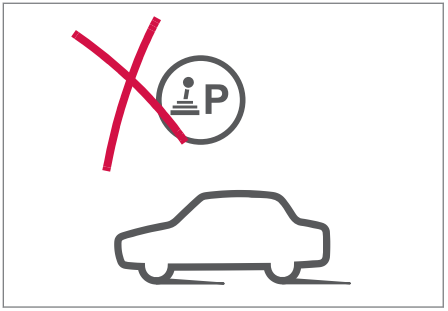
- タイヤを高速で回転させると、タイヤが破裂したり、車体や駆動システムが損傷して思わぬ事故につながるおそれがあります。

上り坂の途中で、ブレーキの代わりにアクセルペダルを踏んで、車を停止状態に保つことはしないでください。



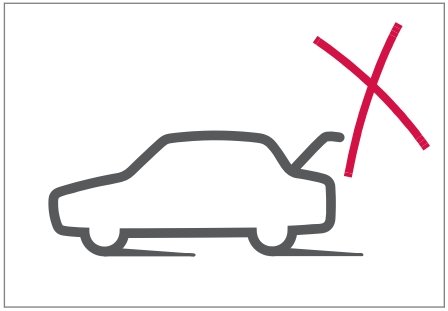
- トランスミッションが損傷する原因となります。

車が動いているときは、セレクターレバーをP(パーキング)に入れないください。



- 車が停止しているときにのみ、**P**(パーキング)にシフトしてください。走行中に**P**にシフトすると、トランスミッションが損傷します。
- 前進中に、**R**(リバース)にシフトしないでください。また、後退中に前進位置にシフトしないでください。トランスミッションが損傷する原因となります。

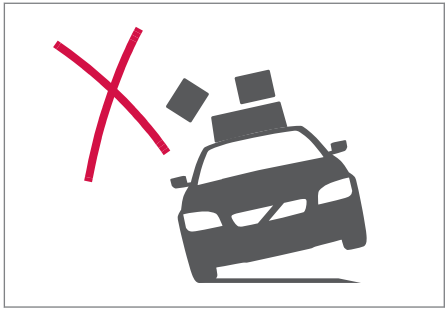
トランクリッドまたはテールゲートを開けたまま、走行しないでください。



排気ガスが車内に侵入するおそれがあり大変危険です。

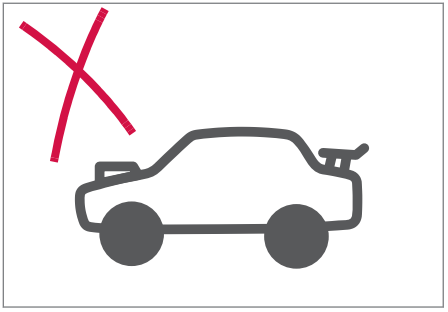
- トランクリッドまたはテールゲートを開けたまま走行すると、車外の物などに当たったり、車内の物が落ちて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ルーフには直接、物を載せないでください。



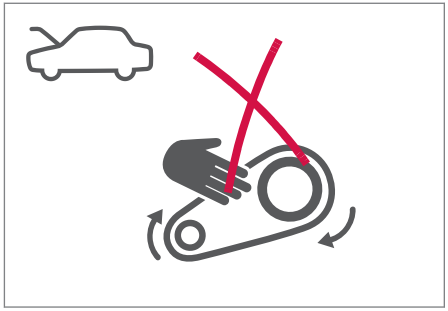
- 荷崩れなどを起こして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ロードキャリアなどを付けた場合でも、重い物や大きな物は載せないでください。重心が高くなり、走行不安定になり大変危険です。

違法改造はししないでください。



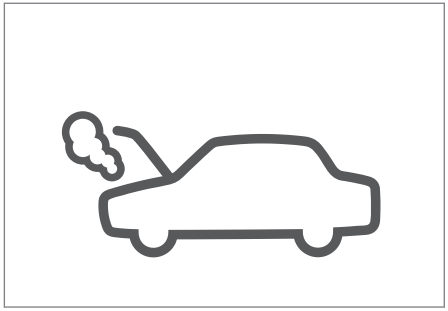
- 車の性能や機能に適さない部品を装着すると故障の原因となったり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ボルボ純正部品を、かならずご使用ください。

エンジン作動中は、ドライブベルトなど回転している部分に手や衣服、髪の毛などを近付けないでください。



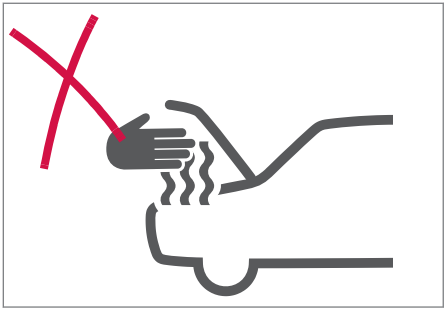
- 電動クーリングファンは､エンジン停止中でも自動的に回転する場合があり大変危険です。注意してください。

過熱したエンジンから噴き出す蒸気によって、ボンネットを開けただけでも大ヤケドをするおそれがあります。



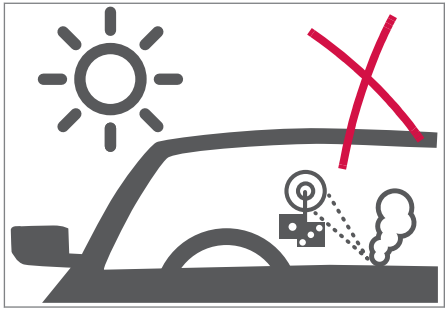
蒸気が噴き出すのが見えたり、噴き出す音が聞こえた場合は、エンジンに近寄らないでください。

エンジンやラジエータが熱いときは、エキスパンションタンクキャップを開けないでください。



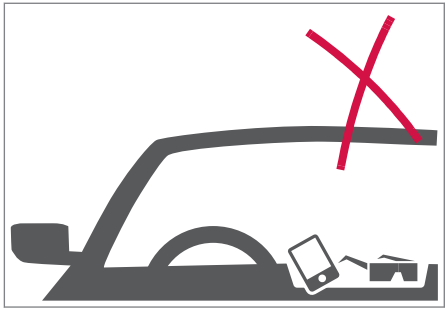
- 沸騰した液体と蒸気が噴き出して､ヤケドをするおそれがあります。冷えるまでお待ちください。

ウインドスクリーンに、アクセサリーなどを取り付けないでください。



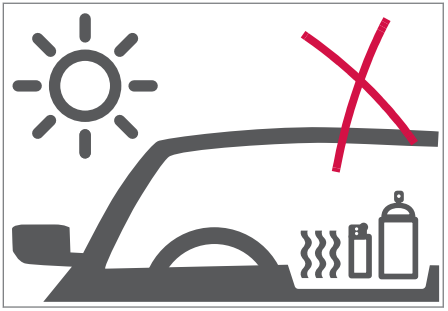
- 運転視界を妨げたり、吸盤などがレンズの役目をして火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

メーター・パネルやダッシュボードの上に、物を置いたまま走行しないでください。



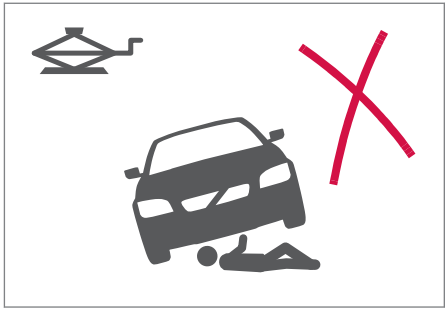
- 運転視界を妨げたり、発進時や走行中にそれらが移動して、安全運転の妨げになります。
- 衝突の際にエアバッグが正常に作動せず、大ケガをするおそれがあります。

車内にライターやスプレー缶、炭酸飲料などの缶類を放置しないでください。



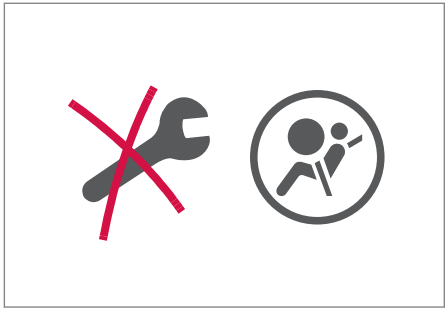
- 炎天下などに駐車していると、車内が高温になり、ライターなどの可燃物が自然発火したり、缶類が破裂するおそれがあり大変危険です。

ジャッキアップした車の下には、絶対に入らないでください。



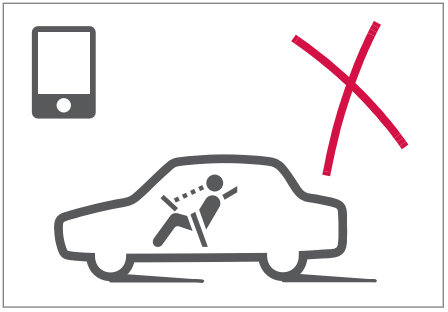
- ジャッキが突然外れて、大ケガをするおそれがあり危険です。また、ジャッキはかならず水平な場所で、正しいジャッキ取り付け位置にあてがってください。
- ジャッキをかけたまま、エンジンをかけないでください。車が突然動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車が動き出さないようにパーキングブレーキをかけ、地面に接しているタイヤの前後に輪止めをしてください。

エアバッグ装置を、ご自分で修理・交換しないでください。



- エアバッグ装置の修理・交換は、かならずボルボ指定のサービス工場にご用命ください。ご自分で不適切な修理・交換を行うと、誤って作動して大ケガをしたり、正常に作動しないおそれがあり大変危険です。

運転中はナビゲーションシステムを眺め続けたり、携帯電話を使用したりしないでください。



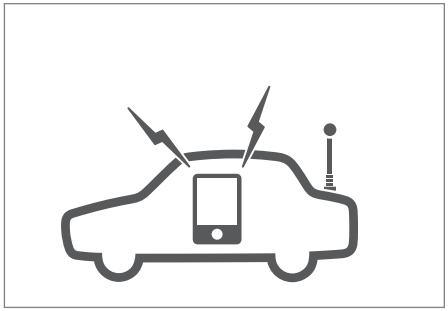
- 運転中のナビゲーションシステム(RTI など)の注視/使用により前方不注意となり、事故を起こす原因となります。
- 携帯電話を探したり、電話の操作に気をとられる、また、会話に夢中になるなどして、運転に集中できず大変危険で、重大な事故を起こす原因となります。また、道路交通法違反にもなります。

関連情報

- 重要な操作上のご注意！ (p. 56)
- その他使用上のご注意！ (p. 71)

その他使用上のご注意！

車に無線機、自動車電話などの電子機器を取り付けると、エンジンなどを制御する電子システムの作動に障害を与える場合があります。



正常な走行ができなくなったり最悪の場合、火災など、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

- このような装置を取り付ける際は、かならずボルボ指定のサービス工場にご相談ください。

走行中の飛び石などによるボディーの傷は、すみやかに補修をしてください。

また、酸性雨、塩害、鳥糞、薬品、鉄粉、煤煙、降灰などがボディーにかかった場合も、すみやかに洗い流すなどして取り除いてください。

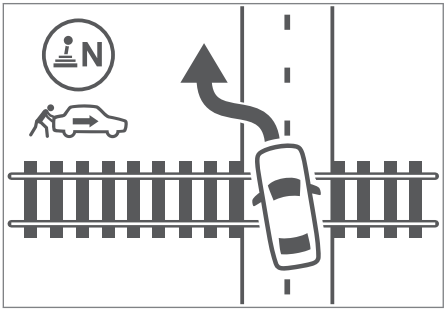
- ボディーの傷をそのままにしておくと、塗装面ばかりではなくボディーそのものを腐食させてしまいます。
- 鳥のフンには急速に塗装面を変色させる成分が含まれています。洗っただけでは取れないシミが残ります。大量の水に浸したスポンジまたはやわらかい紙などを使用してください。

関連情報

- してはいけないこと！（p. 61）
- 踏切などで動けなくなったとき！（p. 71）

踏切などで動けなくなったとき！

安全な場所まで押し出してください（セレクターレバーは、N（ニュートラル）位置にしてください）。



ただし、列車が近づいている場合は、ただちに全員安全な場所に避難してください。

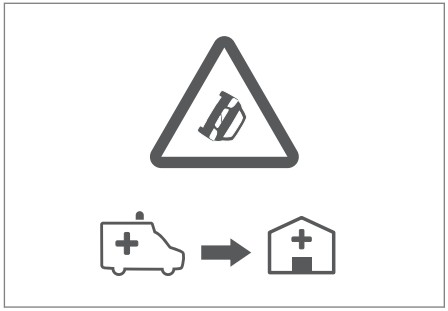
- ただちに、車から全員降りて安全な場所に避難してください。
- 踏切から脱出できない場合は、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがない所では、非常信号用具/懐中電灯や目立ちやすい赤い布などで、安全な場所から列車に合図してください。

関連情報

- その他使用上のご注意！（p. 71）
- 万が一、事故を起こしてしまったら…（p. 72）

万が一、事故を起こしてしまったら…

事故現場での対処法は、次の通りです。



事故発生

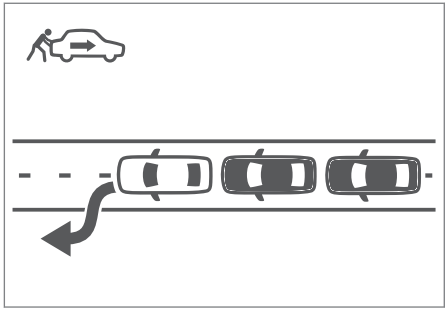
ケガ人を救助する：

- どんなに軽いケガでも病院へ。ただし､むやみにケガ人を動かさない方がよい場合があります。必要であれば救急車を呼んでください。（警察・消防に連絡するときは、場所や目印になるもの、ケガ人の状況、事故の様子などを伝える。）

加害者、被害者に関わらず、相手を確認する。

- 氏名､住所､勤務先､車の登録番号(ナンバープレート)、相手の加入先の保険会社名、証券番号、契約者名などを確認する。

可能であれば、車を安全な場所に移動する。



- 渋滞や二次災害を起こさないように。

事故状況を確認してメモをとる。

- スピード、信号、停車位置などを確認します。目撃者の証言も重要です。忘れないうちにメモしましょう。

かならず警察に連絡する。

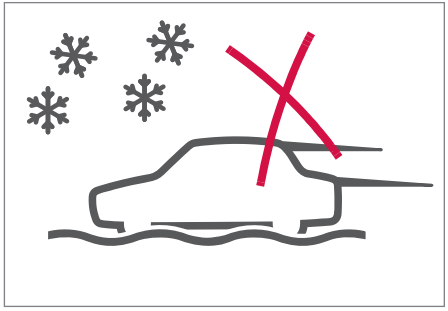
- 警察に事故届を、かならず出してください。

関連情報

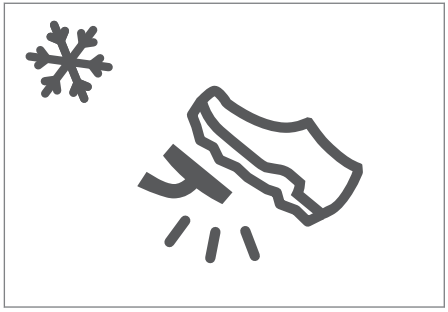
- 踏切などで動けなくなったとき！（p. 71）
- 冬季の運転（p. 73）

冬季の運転

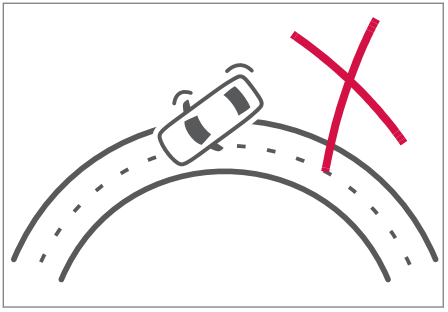
路面の積雪、雪質、凍結状況に応じた適切な運転を行ってください。



- 車に雪が積もっている場合は、雪を落としてから走行してください。
- 車に雪が積もっている場合、ドアの開閉時に車内に入らないように注意してください。
- 降雪時や前走車で巻き上げられる雪煙などで、視界が妨げられるので注意してください。また、ヘッドライトやテールランプに付着した雪は、こまめに取り除いてください。

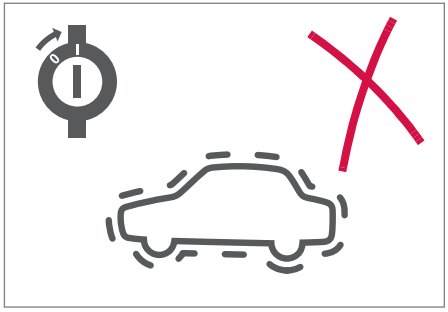


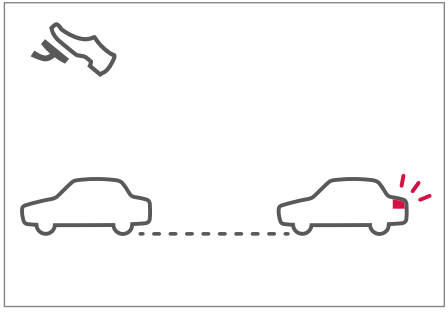
- ペダル操作を誤らないように、靴底の雪などを落としてください。
- ブレーキは一度に強く踏み込まずに、ソフトに踏んでください。
- 急ハンドルは避けて、スムーズなハンドル操作をしてください。
- 交差点付近やカーブの手前では、早めに減速してください。



- 急なアクセル操作によるスリップを避けるため、カーブは一定の速度で走行してください。
- 橋の上や山間部では、凍結やスリップに注意してください。
- 日中でも、日陰などは雪や氷が残っている場合がありますので、十分に注意してください。

急発進は避けてください。





ゆっくり発進してください。

- ブレーキは早めに踏んでください。急ブレーキは避けて、エンジンブレーキを上手に使用してください。
- 下り坂では、エンジンブレーキを有効に使用してください。状況に応じて、シフトダウンしてください。
- 車間距離は十分にとり、車線変更は慎重に行ってください。
- つねに、2〜3 台前の車の動き・状況を見て、判断するようにしてください。
- 車両前部を風下に向けて、**パーキング(駐車)ブレーキ**はかけずに、**P** 位置に入れてください。パーキング(駐車)ブレーキを使用すると、凍り付くおそれがあります。
- ワイパーブレードがウインドスクリーンに凍り付いてしまわないように、注意してください。
- ドアキーシリンダーが凍り付いてしまう場合がありますので、注意してください。

関連情報

- 万が一、事故を起こしてしまったら… (p. 72)
- タイヤ・ホイールについて！ (p. 74)

タイヤ・ホイールについて！

- タイヤローテーションをする場合、タイヤのサイドウォール部にタイヤの回転方向(→)が表示されている際には、前進方向のタイヤの回転方向に合わせて、すべてのタイヤの(→)が前進方向になるように装着してください。
- 積雪路など走行時は、ウインタータイヤの残り溝が新品時の 50%以上ある(トレッドに残り溝マークが出ていない)事を確認してください。溝の深さが 50%未満のウインタータイヤは、ウインタータイヤとしての機能を十分発揮しません。
- スチールおよびアルミホイールに、亀裂、変形などの損傷や著しい腐食があるもの、また溶接や手直しした物は絶対に使用しないでください。
- タイヤやリムの側面を縁石に接触させたり、道路上の物体や段差を乗り越えたりすることを避けてください。タイヤやリムに傷が付くおそれがあります。
- 急発進、急加速、急停止、急旋回は、大変危険ですので絶対にしないでください。特に、積雪路など滑りやすい道路では、事故を起こすおそれがありますので、カーブでは減速するなど道路状況に応じた適切な運転をしてください。
- 走行中は、つねに走行速度に応じた車間距離を取ってください。特に、積雪路など滑りや

すい道路走行時は、十分な車間距離を取ってください。

- 走行中に操縦不安定、または異常な音および振動を感じたときは、すみやかに安全な場所に停車して、車両およびタイヤなどを点検してください。外観上、異常が見当たらなくても、早い時期にボルボ指定のサービス工場に点検を依頼してください。
- 瞬間パンク修理剤、またはタイヤ艶出し剤などで、タイヤに劣化など有害な影響をおよぼすおそれのあるものは、使用しないでください。
- タイヤのタイプやサイズを変更したとき(ウインタータイヤ←→夏タイヤ)などの場合は、タイヤの運動特性・操縦特性が変化しますので、十分注意して運転してください。
- ウインタータイヤで乾燥舗装路を走行する場合は、急発進、急加速、急停止、急旋回を避けて、安全運転を心がけてください。
- 車体と接触する状態で、タイヤを装着しないでください。また、フェンダーからはみ出すタイヤ・ホイールの装着は、違法改造となりますので、絶対にしないでください。なお、フェンダーからはみ出さない場合でも、ホイールハウスの内側、フェンダーの折り返しなどとの干渉にも注意してください。
- タイヤを取り外して保管する場合は、直射日光、雨および水、油類、その他熱源、火花などがかからないようにしてください。
- ホイールバランス調整時は、かならず 4 本調整してください。
- 定期的にホイールボルト・ナットの締め付け状態、ホイールバランスウエートの取り付け状態を確認してください。
- 自動洗車機を使用するとアルミホイールに傷が付くおそれがありますので、なるべく手作業で行ってください。

関連情報

- 冬季の運転 (p. 73)
- タイヤチェーンについて！ (p. 75)

タイヤチェーンについて！

- 装着するタイヤとサイズが合ったタイヤチェーンを装着してください。
- タイヤチェーンの装着を、事前に練習してください。
- タイヤチェーンは、かならず前輪左右に同じ物を装着してください。
- タイヤチェーン装着時、車体との隙間が十分にある事を確認してください。(詳しくは、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。)
- タイヤチェーンの脱着は、安全な場所で行ってください。
- タイヤチェーンを脱着する際に車を動かす場合は、チェーンの金具類をタイヤで踏まないでください。
- タイヤチェーン装着後、約 200 m ほど走行して異常な音、振動などがないか確認し、安全な場所で停車して再度、タイヤチェーンの取り付け状態を確認してください。
- タイヤチェーン装着時は、時速 50 km/h (30 mph)以下で走行してください。
- タイヤチェーン装着時は、急発進、急加速、急停止、急旋回やタイヤを空転させる運転は絶対にしないでください。

- タイヤチェーン装着走行中、異常な音や振動がしたら、安全な場所に車を止めて点検してください。
- 雪のない舗装路面を、タイヤチェーンを装着して連続走行しないでください。

関連情報

- タイヤ・ホイールについて！（p. 74）
- 燃料補給時のご注意！（p. 76）

燃料補給時のご注意！

燃料補給時は、次の事をかならず守ってください。

燃料補給時は、次の事をかならず守ってください。身体に静電気を帯びていると、放電による火花で燃料に引火する場合があり、ヤケドをするおそれがあります。

- **エンジンは、かならず止めてください。**
- 車のドア、窓を閉めてください。
- **タバコなどの火気を、近付けないでください。**
- 燃料の給油口にポンプのノズルを**挿入する前に**、車両のボディまたは給油機などの金属部分に触れて、かならず身体の**静電気除去を行ってください**。
- 給油口のフラップを開くなどの**給油操作はすべて、かならず一人で行ってください**。（複数で行うと、静電気が除去できない場合があります。）
- **給油中、再び車内のシートに戻らないでください。**（座ることで再帯電する場合があります。）
- **給油口に、ほかの人を近付けないでください**。
- ガソリンスタンドの計量器が、最初に自動停止した時点で給油をやめてください。過度に給油すると、気温が高いときに燃料が外に漏れ出すおそれがあり、大変危険です。

その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項をかならず守ってください。

- アルコール系燃料や不適切な燃料添加剤を給油/使用すると、走行性能の悪化、およびエンジン/燃料システムに重大な障害を与え、燃料漏れなどの不具合や火災などの事故にいたる危険性があり、また車を長期間ご使用されずにいた場合、燃料が劣化するおそれがあります。

かならず、適正なガソリンをご使用ください。

- ディーゼルエンジン搭載車にディーゼル以外の燃料の補給は絶対にしないでください。
- ガソリンエンジン搭載車にガソリン以外の燃料の補給は絶対にしないでください。

- 指定グレードの燃料を使用してください。
- 誤った燃料を少量でも使用すると、燃料システムやエンジンが損傷するおそれがあります。

関連情報

- タイヤチェーンについて！（p. 75）
- 保証とアフターサービス（p. 77）

保証とアフターサービス

保証書（別冊）

- 保証書は、かならず「お名前、ご住所、販売店名」などの必要事項が記入され、販売店印が押印されていることをご確認の上、保証規定の内容をよくお読みください。保証書は、大切に保管してください。**保証期間、保証内容などは、保証書（別冊）に記載しています。**

修理を依頼されるとき

- 修理を依頼されるときはお買い上げいただいたボルボ・ディーラー、またはボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。なお、保証期間中に修理を依頼される際は、保証書/メンテナンスノート（整備手帳）、点検整備記録簿をご提示ください。保証規定に示す条件に従って、ボルボ指定のサービス工場で修理させていただきます。

ご不明な点や修理に関するご相談

- 修理などに関するご相談、ご不明な点は、お買い上げいただいたボルボ・ディーラー、またはボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

なお、故障などの緊急時にボルボ・ディーラー、またはボルボ指定のサービス工場に連絡が取れない場合（定休日など）は、ロードサイド・アシスタンス・サービス、JAF などに対応を依頼してください。

関連情報

- 燃料補給時のご注意！（p. 76）

セーフティ

重要な安全上のご注意！

車両には、事故の際に運転者と乗員を保護するために連携して作動する複数のセーフティシステムが装備されています。

車両には、事故の際に反応し、さまざまなセーフティシステム(さまざまなタイプのエアバッグやシートベルトテンショナーなど)を作動させるセンサーが数多く装備されています。さまざまな角度からの衝突、横転または路上からの逸脱など、特定の事故状況に応じて、システムは最善の保護を提供できるよう反応します。

Whiplash Protection System など、機械式のセーフティシステムもあります。また、車両は衝突による衝撃の大半をビーム、ピラー、フロア、ルーフ、ボディのその他の部分に拡散できるよう作られています。

衝突後、車両の重要な機能が損傷した場合は、車両のセーフティモードがオンになることがあります。

ドライバーディスプレイの警告灯

車両の電気系統をイグニッション位置 II にすると、ドライバーディスプレイの警告灯が点灯します。車両のセーフティシステムに不具合がない場合、警告灯は約 6 秒後に消灯します。

⚠ 警告

警告灯が点灯している場合、または走行中に警告灯が点灯し、ドライバーディスプレイに **SRSｴｱﾊﾞｯｸﾞ 至急ｻｰﾋﾞｽが必要 ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟにお越し下さい** というメッセージが表示される場合は、安全システムの一部が正常に機能していないことを表しています。すみやかにボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

⚠ 警告

絶対に、ご自分で車両のさまざまな安全装置の改造や修理をしないでください。システムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

特定の警告灯が損傷している場合は代わりに車両全般用の警告灯が点灯し、ドライバーディスプレイに同じメッセージが表示されます。

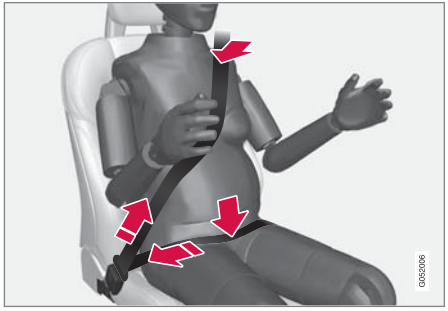
関連情報

- 妊娠中の安全確保のために（p. 81）
- シートベルト（p. 84）
- エアバッグ（p. 89）
- Whiplash Protection System（p. 81）
- Pedestrian Protection System（p. 83）
- セーフティモード（p. 96）
- チャイルド・セーフティ（p. 98）

妊娠中の安全確保のために

妊娠中はシートベルトを正しく使用することが重要です。また、妊娠中の方が運転する場合、正しい着座姿勢をとることも重要です。

シートベルト



肩ベルトは肩から胸の中央を通り、腹部の横にくるようにかけてください。

腰ベルトは、骨盤のできる限り下の位置にかけてください。絶対に腹部を圧迫しないように注意してください。シートベルトは緩みがない状態で、体に確実に密着させてください。さらに、シートベルトがねじれていないことを点検してください。

着座姿勢

妊娠中の運転では、妊娠月が進むにしたがって、フットブレーキやステアリングホイールの操作など車両の操作がしやすいようにシートおよびステアリングホイールを調節してください。

シートを腹部とステアリングホイールの間の距離が最大となる場所に配置してください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 80)
- シートベルト (p. 84)
- フロントマニュアルシート (p. 224)
- フロントパワー*シート (p. 225)

Whiplash Protection System

Whiplash Protection System (WHIPS)は、むち打ち症のリスクを低減します。このシステムは、衝撃を吸収するバックレストおよびシートクッション、そして特別に設計されたフロントシートのヘッドレストで構成されています。

追突されたときに、追突の角度、速度、および追突車の状態などが作動条件に合うと、WHIPS が作動します。

WHIPS が作動すると、フロントシートバックレストが後方に傾斜し、シートクッションが下方向に移動して、運転席および助手席の乗員の着座姿勢を変えます。この動きにより、むち打ち症を引き起こす原因となる衝撃の一部を吸収します。

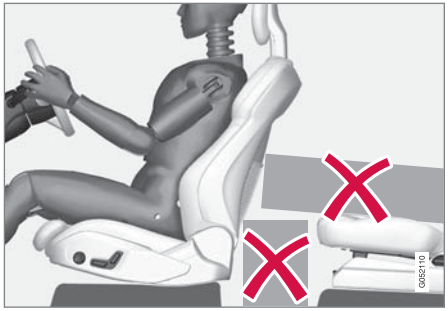
⚠ 警告

WHIPS は、シートベルトの補助機能です。シートベルトをかならず着用してください。

⚠ 警告

ご自身で、シートまたはWHIPSの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

衝突などが原因でフロントシートに大きな力が加わった場合は、かならずシートを交換してください。シートに損傷が見当たらなくても、シートの保護装置の一部が失われているおそれがあります。



WHIPSの作動が妨げられないよう、フロントシートまたはリアシートの後ろまたは下のフロアには、なにも置かないようにしてください。

⚠ 警告

リアシートクッションとフロントシートバックレストの間に、硬い物を置かないでください。

リアシートのバックレストを倒す場合、衝突の際に荷物がフロントシートバックレストまで滑ってこないように荷物を固定する必要があります。

⚠ 警告

リアシートのバックレストを倒す、または後ろ向き装着タイプのチャイルドシートをリアシートで使用する場合、倒したバックレストまたはチャイルドシートと接触しないように、該当する側のフロントシートを前方へ移動させる必要があります。

着座姿勢

WHIPSの保護効果を最大限に引き出すために、運転者と助手席乗員は正しい着座姿勢を保ち、システムの機能を妨げないようにすることが必要です。

走行を開始する前に、フロントシートでの正しい着座姿勢を確認してください。

運転者と助手席乗員は、頭部とヘッドレストの間の隙間ができるだけ小さくなるような姿勢で、シートの中央に座ってください。

WHIPSとチャイルドシート

WHIPSはチャイルドシート/ブースタークッションに座っているお子様の保護効果を損なうものではありません。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 80)
- フロントマニュアルシート (p. 224)
- フロントパワー*シート (p. 225)
- Rear Collision Warning (p. 413)

* オプション/アクセサリー。

Pedestrian Protection System

Pedestrian Protection System (PPS)は、正面衝突事故の際、特定の条件が満たされたときに、歩行者が車両から受ける衝撃を軽減することに役立つシステムです。

歩行者との正面衝突事故の際、特定の条件が満たされると、車両前部のセンサーが反応して、システムが作動します。

PPS が作動すると、以下の動作が行われます。

- ボンネットの後部が持ち上がります。
- Volvo On Call*経由で自動アラームが送信されます。

センサーは速度が約 25～50 km/h (15～30 mph) のときに作動します。

このセンサーは「人の足」の特徴を持つ物体との衝突を感知するように設計されています。

注意

歩行者との衝突時と同様のセンサー信号を発生させる物体が、交通環境に存在する場合があります。このような物体と衝突したときに、システムが起動する可能性があります。

警告

フロント部分にアクセサリーを取り付けたり、変更を加えたりしないでください。フロント部分に不適切な変更がなされるとシステム内の機能の誤作動を引き起こすおそれがあり、深刻なケガや車両への損傷の原因となります。

ボルボでは、純正のワイパーアームや純正のパーツのみを使用するよう推奨します。

警告

ご自身でシステムの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。システムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。

警告

車両の前部が少しでも損傷を受けた場合、システムが無傷であることを確認するために、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	PPS が作動しました。または、システムに不具合が発生しました。推奨される指示に従ってください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 80)

シートベルト

シートベルトを着用していないと、急ブレーキの際に大ケガをしたり、生命に危険がおよぶおそれがあります。

シートベルトの保護機能が最大の効果を発揮するためには、シートベルトが体に密着していることが重要です。バックレストはできるだけ倒さずに、立てた位置で使用してください。シートベルトは、通常の着座姿勢のときに効果を発揮するようにできています。

⚠ 警告

シートベルトをフックまたはその他の車内付属品に留めたり、かけたりしないでください。シートベルトが正しく締まらなくなります。

⚠ 警告

シートベルトとエアバッグの作動は、連動しています。シートベルトを着用していない場合、または着用方法が正しくない場合は、衝突の際にエアバッグの保護機能が最大限に働かないおそれがあります。

⚠ 警告

ご自身で、シートベルトの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

衝突などが原因でシートベルトに大きな力が加わった場合は、かならずシートベルト装置全体を交換してください。シートベルトに損傷が見当たらなくても、体を保持する機能が失われているおそれがありますのでご注意ください。シートベルトがすり切れていたり損傷している場合は、新しいシートベルトと交換してください。新しいシートベルトはかならず認定されたタイプを使用し、交換前と同じ位置に取り付けてください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！（p. 80）
- シートベルトテンショナー（p. 86）
- シートベルトの着脱（p. 84）
- ドアおよびシートベルトリマインダー（p. 87）

シートベルトの着脱

走行を開始する前に、乗員全員がシートベルトを着用していることを確認してください。

シートベルトを着用する

1. シートベルトをゆっくり引き出して、ねじれや損傷がないことを確認します。

ⓘ 注意

以下のような場合には、シートベルトがロックして引き出せなくなります:

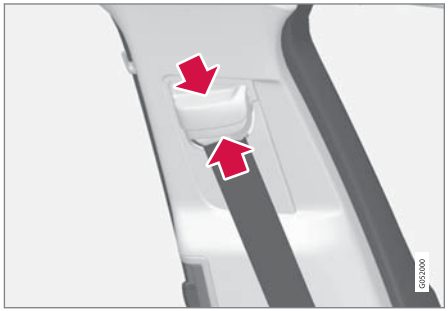
- シートベルトを急激に引き出したとき
- ブレーキ時や加速時
- 車体が大きく傾いたとき

2. ロックタブを専用バックルに差し込んで、シートベルトをロックします。
   > ロックすると、カチッと音がします。

⚠ 警告

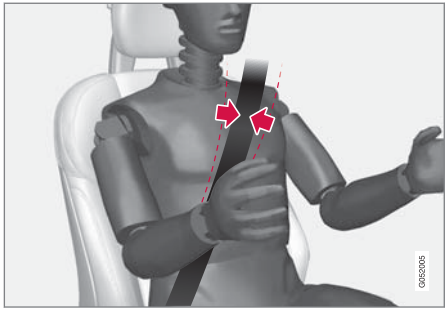
シートベルトは、かならず正しい側のバックルに差し込んでください。これを怠ると、衝突時にシートベルトやバックルが正常に機能しないおそれがあります。大ケガを負うおそれがあります。

3. フロントシートでは、シートベルトの高さを調節することができます。



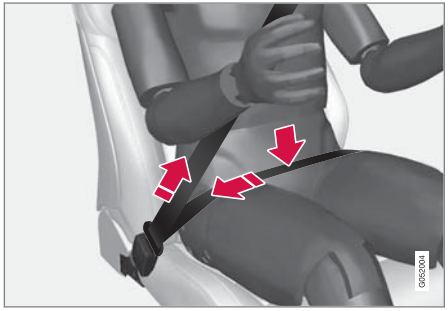
シートマウンティングを押して、シートベルトを上下に動かしてください。

ベルトがのどにかからない範囲で、ベルトをできるだけ高い位置に配置してください。



シートベルトはかならず肩にかかる必要があります(腕にかけないでください)。

4. 斜めにかかった肩ベルトを肩の方に引き上げて、腰ベルトを締めてください。



腰ベルトは、腹部を避け、かならず腰の低い位置にかけてください。

⚠ 警告

各シートベルトは 1 人用です。

⚠ 警告

シートベルトをフックまたはその他の車内付属品に留めたり、かけたりしないでください。シートベルトが正しく締まらなくなります。

⚠ 警告

シートベルトに傷を付けたり、バックルの中に異物を入れたりしないでください。衝突時にシートベルトやバックルが正常に機能しないおそれがあります。大ケガを負うおそれがあります。

シートベルトを外す

1. シートベルトバックルの赤いリリースボタンを押すと、シートベルトは自動的に巻き取られます。
2. シートベルトが完全に巻き取られない場合は、手で押し戻して、ゆるみが残らない状態まで完全に巻き取らせてください。

関連情報

- シートベルト（p. 84）
- シートベルトテンショナー（p. 86）
- ドアおよびシートベルトリマインダー（p. 87）

シートベルトテンショナー

車両には危機的な状況や衝突時にシートベルトのゆるみを取り除くことのできる標準シートベルトテンショナーおよび電動シートベルトテンショナーが装備されています。

標準シートベルトテンショナー

すべてのシートベルトに、標準シートベルトテンショナーが装備されています。

標準シートベルトテンショナーは、衝突により一定以上の力が加わったとき、シートベルトのゆるみを取り除いて、乗員をさらに効果的に拘束します。

電動シートベルトテンショナー

運転席シートベルトと助手席シートベルトには、電動シートベルトテンショナーが装備されています。

シートベルトテンショナーは運転者サポートシステム City Safety および Rear Collision Warning と連携して、一緒に作動する場合があります。パニックブレーキ、道路外への逸脱(溝への脱輪、地面からの浮き上がり、障害物との衝突など)、横滑り、衝突の危険性など、危機的な状況のとき、シートベルトテンショナーの電動モーターがシートベルトのゆるみを取り除きます。

電動シートベルトテンショナーは乗員の位置修正を助け、身体を車内にぶつける危険性を低下させて、安全装置(車両のエアバッグなど)の効果をさらに高めます。

危機的な状況が終わると、シートベルトおよび電動シートベルトプリテンショナーは自動的に元に戻りますが、手動で戻すこともできます。

重要

助手席側エアバッグを無効にすると、助手席側の電動シートベルトテンショナーも無効になります。

警告

ご自身で、シートベルトの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

衝突などが原因でシートベルトに大きな力が加わった場合は、かならずシートベルト装置全体を交換してください。シートベルトに損傷が見当たらなくても、体を保持する機能が失われているおそれがありますのでご注意ください。シートベルトがすり切れていたり損傷している場合は、新しいシートベルトと交換してください。新しいシートベルトはかならず認定されたタイプを使用し、交換前と同じ位置に取り付けてください。

関連情報

- シートベルト（p. 84）
- シートベルトの着脱（p. 84）
- 電動シートベルトテンショナーのリセット（p. 87）

- 助手席側エアバッグのオン/オフ* (p. 92)
- City Safety™ (p. 400)
- Rear Collision Warning (p. 413)

電動シートベルトテンショナーのリセット

電動シートベルトテンショナーは自動的にリセットするようデザインされていますが、ベルトが引き出されたままになっている場合、手動でリセットすることができます。

1. 安全な場所に停車します。
2. シートベルトを一旦外して、再着用します。
   > シートベルトおよび電動シートベルトテンショナーがリセットされます。

⚠ 警告

ご自身で、シートベルトの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

衝突などが原因でシートベルトに大きな力が加わった場合は、かならずシートベルト装置全体を交換してください。シートベルトに損傷が見当たらなくても、体を保持する機能が失われているおそれがありますのでご注意ください。シートベルトがすり切れていたり損傷している場合は、新しいシートベルトと交換してください。新しいシートベルトはかならず認定されたタイプを使用し、交換前と同じ位置に取り付けてください。

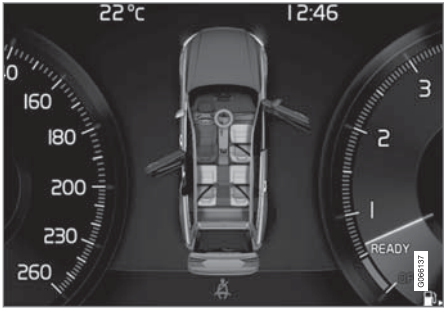
関連情報

- シートベルトテンショナー (p. 86)
- シートベルト (p. 84)

ドアおよびシートベルトリマインダー

システムはシートベルトを着用していない乗員にシートベルトの着用を促します。また、ドア、ボンネットまたはトランクリッド/テールゲートが開いている場合も警告します。

ドライバーディスプレイのグラフィック表示



ドライバーディスプレイのグラフィックとさまざまな種類の警告ドアおよびテールゲートの警告の色は、車速に応じて異なります。

ドライバーディスプレイのグラフィックは、シートベルトを着用している乗員と着用していない乗員が座っているシートを表示します。

ボンネット、テールゲート、またはいずれかのドアが開いている場合も同じグラフィックが表示されます。

グラフィックは右側のステアリングリモコンにある **0** ボタンを押して消すことができます。

シートベルトリマインダー

ルーフコンソールの警告表示

ルーフコンソールに警告が表示され、ドライバーディスプレイにも警告灯が表示されます。

警告音は車速、走行時間および距離に応じて異なります。

運転者および乗員のベルトの状態は、ベルトを着用したとき、または外したときにドライバーディスプレイグラフィックに表示されます。

チャイルドシートは、シートベルトリマインダーの対象外となります。

フロントシート

運転者または助手席乗員がシートベルトを着用していない場合、警告音および警告灯が作動して着用を促します。

リアシート

リアシートのシートベルトリマインダーには、2つの補助機能があります：

- リアシートのシートベルト使用状況を、インフォメーション・ディスプレイに表示します。シートベルトが使用されているときには、ドライバーディスプレイのグラフィックが表示されます。
- 走行中にリアシートのシートベルトが着用されていない場合、警告灯と警告音により着用を促します。このリマインダーは、シートベルトを再度着用すると停止します。

ドア、ボンネット、テールゲートおよび燃料給油口フラップのリマインダー

ボンネット、テールゲート、燃料給油口フラップまたはドアが正しく閉じていない場合、ドライバーディスプレイのグラフィックにより開いている箇所が表示されます。ただちに安全な場所に停車して、警告の対象箇所を閉めてください。

車速が約 10 km/h (6 mph) 未満のときは、ドライバーディスプレイのインフォメーションシンボルが点灯します。

車速が約 10 km/h (6 mph) を超えているときは、ドライバーディスプレイの警告灯が点灯します。

関連情報

- シートベルト (p. 84)
- シートベルトの着脱 (p. 84)

エアバッグ

車両には、運転者および乗員用のエアバッグとインフレータブルカーテンが装備されています。

注意

センサーは、衝突の性質やシートベルトが着用されているかどうかを判断し、それに応じて作動条件が変化します。どの座席にも該当します。

そのためエアバッグ 1 つだけが作動する場合や、1 つも作動しない場合があります。センサーは、車両が受けた衝撃の強さを感知して、必要なエアバッグだけを作動させます。

警告

エアバッグコントロールモジュールは、センターコンソールの中にあります。センターコンソールに、水その他の液体が入った場合は、メインバッテリーへのケーブルの接続を外してください。エアバッグが展開するおそれがありますので、エンジンを始動しないでください。この場合、車両を回収します。積載車に載せて搬送してください。

作動後のエアバッグ

いずれかのエアバッグが作動したときは、次の指示に従ってください。

- 車両移動をします。ボルボ指定のサービス工場に搬送してください。エアバッグ作動後は、絶対に自走しないでください。
- ボルボ指定のサービス工場に、車両のセーフティシステム部品の交換を依頼してください。
- 医師の診察をかならず受けてください。

警告

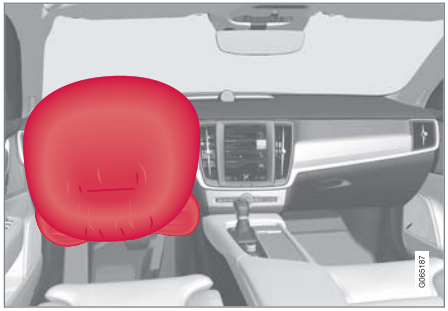
エアバッグ作動後は、絶対に自走しないでください。エアバッグによってハンドル操作が妨げられるおそれがあります。ほかのセーフティシステムも損傷を受けているおそれがあります。エアバッグ作動時に放出された煙やほこりが原因で、目や皮膚に傷や炎症を起こす場合があります。炎症を起こした場合は、冷水でよく洗ってください。エアバッグの展開速度は極めて速く、エアバッグの布との摩擦熱で皮膚にヤケドや擦過傷を負うおそれがあります。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！（p. 80）
- 運転席側エアバッグ（p. 90）
- 助手席側エアバッグ（p. 91）
- サイドエアバッグ（p. 94）
- インフレータブルカーテン（p. 95）

運転席側エアバッグ

シートベルトの補助として、車両には運転席にステアリングホイール・エアバッグおよびニーエアバッグ[1]が装備されています。



運転席側のステアリングホイール・エアバッグおよびニーエアバッグ[1]

正面衝突の際、運転席側エアバッグは運転者の頭部、頸部、顔面、胸部と膝および脚を衝撃から保護します。

衝突によって一定レベル以上の衝撃を受けると、センサーが作動してエアバッグが展開します。エアバッグにより、衝突時に乗員に対する当初の衝撃が緩和されます。エアバッグは、衝突による圧力がかかると内部のガスが抜け、収縮します。このとき、車内に煙が放出されますが、これは異常ではありません。エアバッグが膨張・収縮する一連の動作は、瞬間的に行われます。

⚠ 警告

シートベルトとエアバッグの作動は、連動しています。シートベルトを着用していない場合、または着用方法が正しくない場合は、衝突の際にエアバッグの保護機能が最大限に働かないおそれがあります。

エアバッグ作動時にケガをする危険を減らすため、乗員は背中全体がバックレストに接するように背筋を伸ばしてまっすぐに座り、足はフロアに置いてください。

⚠ 警告

修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。エアバッグシステムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。

ステアリングホイール・エアバッグの位置

このエアバッグは、ステアリングホイールの中央に収納されています。ステアリングホイールに **AIRBAG** の文字が表示されています。

ニーエアバッグ[1]の位置

このエアバッグは運転席側のメーター・パネルの下部に収納されています。パネルに、**AIRBAG** の文字が表示されています。

⚠ 警告

ニーエアバッグが格納されているパネルの前面または上部に物を置いたり、取り付けたりしないでください。

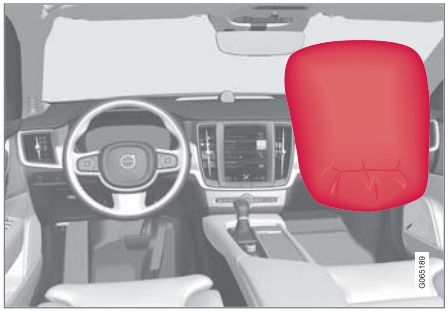
関連情報

- エアバッグ（p. 89）
- 助手席側エアバッグ（p. 91）

[1] ニーエアバッグは一部の市場でのみ装備されます。

助手席側エアバッグ

シートベルトの補助として、車両には助手席にエアバッグが装備されています。



助手席側エアバッグ

正面衝突の際、助手席側エアバッグは助手席乗員の頭部、頸部、顔面、胸部と膝および脚を衝撃から保護します。

衝突によって一定レベル以上の衝撃を受けると、センサーが作動してエアバッグが展開します。エアバッグにより、衝突時に乗員に対する当初の衝撃が緩和されます。エアバッグは、衝突による圧力がかかると内部のガスが抜け、収縮します。このとき、車内に煙が放出されますが、これは異常ではありません。エアバッグが膨張・収縮する一連の動作は、瞬間的に行われます。

⚠ 警告

シートベルトとエアバッグの作動は、連動しています。シートベルトを着用していない場合、または着用方法が正しくない場合は、衝突の際にエアバッグの保護機能が最大限に働かないおそれがあります。

エアバッグ作動時にケガをする危険を減らすため、乗員は背中全体がバックレストに接するように背筋を伸ばしてまっすぐに座り、足はフロアに置いてください。

⚠ 警告

修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。エアバッグシステムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。

助手席側エアバッグの場所

このエアバッグは、グローブボックス上のパネル内に収納されています。パネルに、**AIRBAG** の文字が表示されています。

⚠ 警告

助手席側エアバッグが装着されているダッシュボードの前や上には、絶対に物を置いたりアクセサリーなどを取り付けないでください。

助手席側エアバッグラベル

助手席側サンバイザーのラベル

助手席側エアバッグの警告ラベルは、前図の位置に表示されています。

⚠ 警告

車両に助手席エアバッグのオン/オフスイッチが装備されていない場合、エアバッグは常に作動可能な状態です。

⚠ 警告

助手席シートの前には、絶対に誰も立たせたり座らせたりしないでください。

助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。

助手席側エアバッグが無効になっている場合、絶対に乗員(お子様および大人)を前向きで助手席に座らせないでください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

関連情報

- エアバッグ（p. 89）
- 運転席側エアバッグ（p. 90）
- 助手席側エアバッグのオン/オフ*（p. 92）

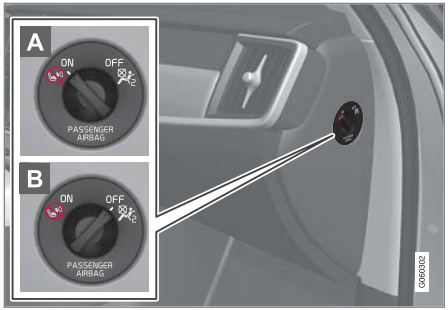
助手席側エアバッグのオン/オフ*

車両に助手席側エアバッグ・カットオフ・スイッチ、Passenger Airbag Cut Off Switch (PACOS)スイッチが装備されている場合、助手席側エアバッグはオフにすることができます。

スイッチ

助手席側エアバッグのスイッチは、メーター・パネルの助手席側端にあります。助手席ドアを開けて操作します。

スイッチが希望の位置になっているか確認してください。



A **ON** – エアバッグがオン(作動可能状態)で、前方を向いて着座する乗員(お子様あるいは大人)が助手席に安全に座ることができます。

B **OFF** – エアバッグがオフ(非作動状態)で、助手席の後ろ向き装着タイプのチャイルドシートに、お子様が安全に座ることができます。

⚠ 警告

車両に助手席エアバッグのオン/オフスイッチが装備されていない場合、エアバッグは常に作動可能な状態です。

* オプション/アクセサリー。

助手席側エアバッグをオンにする

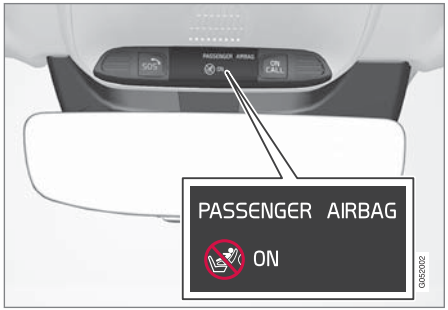
1 スイッチを引き出して、**OFF** (B)位置から **ON** (A)位置に回します。

› ドライバーディスプレイにメッセージ **助手席ｴｱﾊﾞｯｸﾞ オン 了承して下さい** が表示されます。

注意

イグニッション位置が I 以下のときに助手席側エアバッグをオン/オフにした場合、車両の電気系統を II 以上のイグニッション位置にしてから約 6 秒後に、ドライバーディスプレイにメッセージが表示され、ルーフコンソールに以下のインジケーターが表示されます。

2. ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの **0** ボタンを押して、メッセージを確認します。



› ルーフコンソールにテキストおよびシンボルが表示され、助手席側エアバッグがオン(作動可能状態)になったことが示されます。

警告

助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。

助手席に乗員(お子様および大人)を前向きで座らせるときには、かならず助手席側エアバッグを有効にしてください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

助手席側エアバッグをオフにする

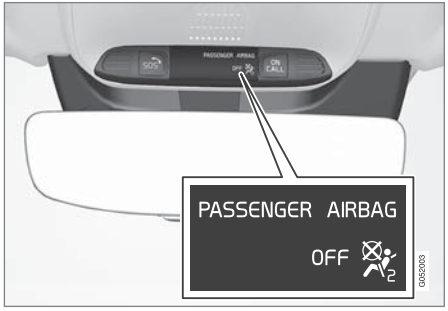
1 スイッチを引き出して、**ON** (A)位置から **OFF** (B)位置に回します。

› ドライバーディスプレイにメッセージ **助手席ｴｱﾊﾞｯｸﾞ オフ 了承して下さい** が表示されます。

注意

イグニッション位置が I 以下のときに助手席側エアバッグをオン/オフにした場合、車両の電気系統を II 以上のイグニッション位置にしてから約 6 秒後に、ドライバーディスプレイにメッセージが表示され、ルーフコンソールに以下のインジケーターが表示されます。

2. ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの **0** ボタンを押して、メッセージを確認します。



› ルーフコンソールにテキストおよびシンボルが表示されれば、助手席側エアバッグがオフ(非作動状態)であることを示します。

⚠ 警告

助手席側エアバッグが無効になっている場合、絶対に乗員(お子様および大人)を前向きで助手席に座らせないでください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

重要

助手席側エアバッグを無効にすると、助手席側の電動シートベルトテンショナーも無効になります。

関連情報

- シートベルトテンショナー (p. 86)
- チャイルドシート (p. 98)

サイドエアバッグ

運転席および助手席のサイドエアバッグは、衝突の際に乗員の胸部と腰回りを保護する役割を果たします。

サイドエアバッグはフロントシートの外側バックレストフレームに備えられており、フロントシートの運転者と乗員を保護します。

側面からの衝突によって一定レベル以上の衝撃を受けるとセンサーが反応し、サイドエアバッグが膨張します。サイドエアバッグは、乗員とドアの間で膨張して衝突の衝撃を和らげます。エアバッグは、衝突による圧力がかかると内部のガスが抜け、収縮します。作動するのは、側面から衝撃を受けた側のエアバッグのみです。

⚠ 警告

修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。サイドエアバッグシステムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

シートの外側とドアパネルの間に、なにも物を置かないでください。このスペースは、サイドエアバッグの作動に必要です。

シートカバーは、ボルボ社が認可した製品以外は使用しないでください。それ以外のシートカバーは、サイドエアバッグの作動の妨げになるおそれがあります。

⚠ 警告

サイドエアバッグは、シートベルトの補助装置です。シートベルトをかならず着用してください。

サイドエアバッグおよびチャイルドシート

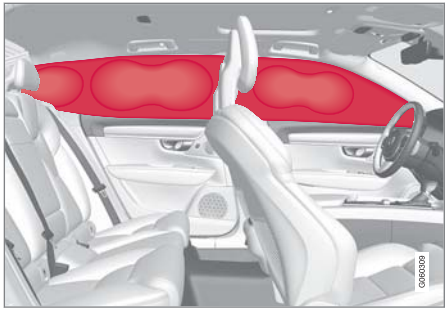
サイドエアバッグはチャイルドシート/ブースタークッションに座っているお子様の保護効果を損なうものではありません。

関連情報

- エアバッグ（p. 89）

インフレータブルカーテン

インフレータブルカーテン、Inflatable Curtain（IC）は、衝突時に運転者および乗員の頭部を車内部品との衝撃から保護するのに役立ちます。



インフレータブルカーテンは、ルーフ内張りの左右に取り付けられており、運転者とドア側のシートに着座している乗員を保護します。パネルには **IC AIRBAG** と表示されています。

衝突によって一定レベル以上の衝撃を受けると、センサーが作動してインフレータブルカーテンが展開します。

⚠ 警告

修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。インフレータブルカーテンシステムへの作業に不具合があると、誤作動につながり、大ケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

ルーフのハンドルに、絶対に重い物を吊り下げたり取り付けないでください。フックは、軽量の衣服のみをかけるために設計されたものです(傘などの硬い物はかけないでください)。

ヘッドライニング、ドアピラー、およびサイドパネルに、スクリューをねじ込んだり物を取り付けないでください。保護効果が損なわれるおそれがあります。この部分への取り付けが認められているボルボ純正品のみを使用してください。

⚠ 警告

ドアウインドの上端よりも上まで荷物を積載する場合、荷物とパワーウインドの間には、10 cm (4 インチ)の空間を確保してください。荷物を積むと、ヘッドライニングの内側に装着されているインフレータブルカーテンの保護効果が損なわれるおそれがあります。

⚠ 警告

インフレータブルカーテンは、シートベルトの補助装置です。シートベルトをかならず着用してください。

関連情報

- エアバッグ（p. 89）

セーフティモード

セーフティモードは、燃料パイプ、セーフティシステムのセンサー、ブレーキシステムなどの重要な機能が損傷を受けた可能性があるときに作動する保護機能です。

車両が衝突事故に遭った場合、ドライバーディスプレイに **セーフティーモード オーナーズマニュアルを 参照して下さい** というメッセージが警告表示とともに表示されることがあります。ただし、ドライバーディスプレイに損傷がなく、車両の電気系統が正確に作動している場合に限ります。このメッセージは、車両の機能が低下していることを意味します。

⚠ 警告

ドライバーディスプレイに **セーフティーモードオーナーズマニュアルを 参照して下さい** メッセージが表示されているときに燃料の臭いを感じた場合は、絶対にエンジンの始動を試みないでください。ただちに、車両から離れてください。

危険な交通状況などで車両がセーフティモードになった場合、システムをリセットしてエンジンを始動し、車両を少し離れた場所に移動させることが可能です。

⚠ 警告

車両がセーフティモードになっているときは、絶対にご自身で車を修理したり、電子機器のリセットをしないでください。ケガをするおそれがあり、また不具合の原因となります。**セーフティーモードオーナーズマニュアルを 参照して下さい** が表示された場合には、ボルボ指定のサービス工場で車両の点検修理をかならず行ってください。

⚠ 警告

車両がセーフティモードになっているときは、絶対に車両をけん引しないでください。ボルボ指定のサービス工場に積載車に載せて搬送してください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！（p. 80）
- セーフティモード起動後の車両の始動/移動（p. 97）
- 車両移動（p. 539）

セーフティモード起動後の車両の始動/移動

危険な交通状況などで車両がセーフティモードになった場合、システムをリセットしてエンジンを始動し、車両を少し離れた場所に移動させることが可能です。

セーフティモード後の車両の始動

1. 全般的な車両の損傷状況と燃料漏れの有無を確認します。燃料の臭いがしていないことを、かならず確認してください。

   わずかな損傷しか見つからず、燃料漏れもなければ、エンジンを始動してください。

⚠ 警告

ドライバーディスプレイに **セーフティーモードオーナーズマニュアルを 参照して下さい** メッセージが表示されているときに燃料の臭いを感じた場合は、絶対にエンジンの始動を試みないでください。ただちに、車両から離れてください。

2. 車両をオフにします。
3. エンジンを始動します。

   › 車両の電子機器がシステムチェックを実行し、通常の状態への回復を試みます。

! 重要

ディスプレイにメッセージ **セーフティーモードオーナーズマニュアルを 参照して下さい** が表示され続ける場合は、絶対に走行またはけん引をしないでください。レッカーサービスを使用してください。隠れた損傷があった場合、移動中に車両を制御できなくなるおそれがあります。

セーフティモード後の車両の移動

1. エンジンの始動を試みた後、ドライバーディスプレイにメッセージ **Normal mode The vehicle is now in normal mode** が表示され、車両が危険な場所に停止している場合は、車両を慎重に移動させてください。
2. 必要以上に移動させないでください。

⚠ 警告

車両がセーフティモードになっているときは、絶対に車両をけん引しないでください。ボルボ指定のサービス工場に積載車に載せて搬送してください。

関連情報

- セーフティモード（p. 96）
- 車両の始動（p. 478）
- 車両移動（p. 539）

チャイルド・セーフティ

走行中は、お子様を適切な固定装置を使用して正しく座らせてください。

ボルボでは、ボルボ車専用に設計されたチャイルドセーフティ装置(チャイルドシートおよび取付アタッチメント)を取り揃えております。ボルボのチャイルド・セーフティ装置を使用することにより、お子様を乗せて安全に走行するために最適な状態を得ることができます。また、チャイルド・セーフティ装置はしっかりと固定することができ、使用方法も簡単です。

使用する必要のある装置は、お子様の体重と身長を考慮して選択されています。

ボルボでは、小さいお子様(少なくとも 3〜4 歳ごろまで)に対しては、できるだけ後ろ向きチャイルドシートを使用するよう推奨しています。その後身長 140 cm (4 フィート 7 インチ)までは、前向きのチャイルドシートをご使用ください。

注意

お子様の年齢および身長に応じて使用する必要のあるチャイルドシートのタイプを規定した法律は、国ごとに異なります。適用される法律や規則を確認してください。

注意

チャイルドセーフティ用具をご使用になる場合は、付属の取付説明書をよくお読みください。

チャイルドセーフティ用具の取り付けに関してご不明な点は、その用具の製造元(メーカー)にお問い合わせください。

お子様は、年齢や体格に関わらず、かならず適切な固定装置を使用して正しく座らせてください。お子様を、けっして乗員のひざの上に座らせないでください。

関連情報

- 重要な安全上のご注意！ (p. 80)
- チャイルドシート (p. 98)
- チャイルドロックのオン/オフ (p. 312)

チャイルドシート

お子様を乗せて走行する際は、かならず適切なチャイルドシートを使用してください。

お子様が、快適で安全な姿勢になるように座らせてください。チャイルドシートが適切な位置に正しく取り付けられていることを確認し、正しく使用してください。

正しい取り付け方法に関しては、チャイルドシートの取付説明書をご覧ください。

注意

チャイルドセーフティ用具をご使用になる場合は、付属の取付説明書をよくお読みください。

チャイルドセーフティ用具の取り付けに関してご不明な点は、その用具の製造元(メーカー)にお問い合わせください。

注意

絶対にチャイルドシートを未固定のまま車内に放置しないでください。お子様が座らないときでも、かならずチャイルドシートの取扱説明書に従って固定してください。

関連情報

- チャイルド・セーフティ (p. 98)
- インテグレーテッド・チャイルドシート* (p. 110)

* オプション/アクセサリー。

- チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント（p. 99）
- チャイルドシート用のロアマウンティングポイント（p. 100）
- チャイルドシート用 i-Size/ISOFIX マウンティングポイント（p. 101）
- チャイルドシートの設置（p. 101）
- 助手席側エアバッグのオン/オフ*（p. 92）

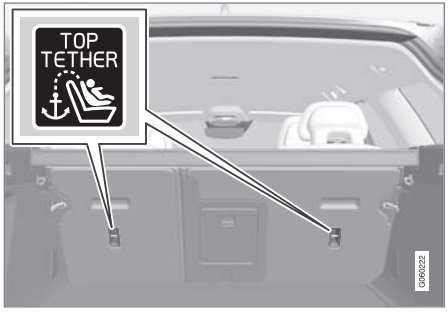
チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント

車両には、リアシートのドア側シートにチャイルドシート用のアッパーマウンティングポイントが装備されています。

アッパーマウンティングポイントは、前向きに装着するチャイルドシート用です。

チャイルドシートをアッパーマウンティングポイントに取り付けるときは、シートの製造元(メーカー)の取扱説明書にかならず従ってください。

マウンティングポイントの位置



マウンティングポイントの位置はバックレスト後部のシンボルで示されています。

マウンティングポイントはリアシートのドア側シートの後部にあります。

⚠ 警告

チャイルドシートのアッパーストラップは、かならずヘッドレスト脚部の穴に通してから、マウンティングポイントで張力を調節してください。この方法を使用できない場合、チャイルドシートメーカーの推奨方法に従ってください。

ⓘ 注意

ドア側シートに折りたたみ式ヘッドレストが装備されている場合には、このタイプのチャイルドシートが取り付けやすくなるように、ヘッドレストを折りたたんでください。

ⓘ 注意

トランクルーム/カーゴスペースにラゲッジカバーが付いている車両は、マウンティングポイントにチャイルドシートを取り付ける前に、ラゲッジカバーを取り外してください。

関連情報

- チャイルドシート（p. 98）
- チャイルドシート用のロアマウンティングポイント（p. 100）

- チャイルドシート用 i-Size/ISOFIX マウンティングポイント（p. 101）
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表（p. 104）

チャイルドシート用のロアマウンティングポイント

車両には、フロントシート*とリアシートにチャイルドシート用のロアマウンティングポイントが装備されています。

ロアマウンティングポイントは、後向きに装着するチャイルドシート用です。

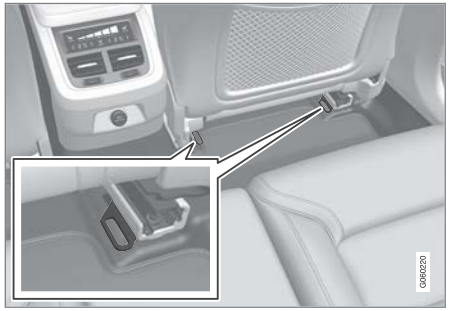
チャイルドシートをロアマウンティングポイントに取り付けるときは、シートの製造元(メーカー)の取扱説明書にかならず従ってください。

マウンティングポイントの位置

フロントシートのマウンティングポイント位置

フロントシートのマウンティングポイントは助手席のレッグルームの側面にあります。

フロントシートのマウンティングポイントは、車両に助手席側エアバッグのオン/オフスイッチ*が装備されている場合にのみ取り付けられています。



リアシートのマウンティングポイント位置

リアシートのマウンティングポイントは、フロントシートのフロアレールの後部にあります。

関連情報

- チャイルドシート（p. 98）
- チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント（p. 99）
- チャイルドシート用 i-Size/ISOFIX マウンティングポイント（p. 101）
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表（p. 104）

* オプション/アクセサリー。

チャイルドシート用 i-Size/ISOFIX マウンティングポイント

車両には、リアシートにチャイルドシート用の i-Size/ISOFIX[2] マウンティングポイントが装備されています。

i-Size/ISOFIX は国際標準規格に基づくチャイルドシート固定システムです。

チャイルドシートを i-Size/ISOFIX マウンティングポイントに取り付けるときは、シートの製造元(メーカー)の取扱説明書にかならず従ってください。

マウンティングポイントの位置

マウンティングポイントの位置はバックレストカバーのシンボル [2] で示されています。

i-Size/ISOFIX のマウンティングポイントは、ドア側リアシートのバックレストの下部にあるカバーの裏側にあります。

マウンティングポイントを使用するには、カバーを持ち上げてください。

関連情報

- チャイルドシート (p. 98)
- チャイルドシート用のアッパーマウンティングポイント (p. 99)
- チャイルドシート用のロアマウンティングポイント (p. 100)
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 106)
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 107)

チャイルドシートの設置

チャイルドシートは車内の適切な場所に設置することが重要です。適切な場所は、チャイルドシートのタイプと助手席側エアバッグの作動の可否などによって異なります。

後ろ向き装着タイプのチャイルドシートとエアバッグを一緒に使用することはできません。

助手席側エアバッグがオン(作動可能状態)になっているときは、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートはかならずリアシートに取り付けてください。お子様を助手席に座らせると、エアバッグ作動時に大ケガを負うおそれがあります。

助手席側エアバッグがオフ(非作動状態)になっているときは、後ろ向き装着タイプのチャイル

[2] 名前およびシンボルは市場により異なります。

ドシートをフロントの助手席に取り付けることができます。

注意

お子様を乗せる位置に関する規則は、国により異なります。適用される法律や規則を確認してください。

警告

助手席シートの前には、絶対に誰も立たせたり座らせたりしないでください。

助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。

助手席側エアバッグが無効になっている場合、絶対に乗員(お子様および大人)を前向きで助手席に座らせないでください。

この指示を守らないと、命を危険にさらす、または大ケガをするおそれがあります。

助手席側エアバッグラベル

助手席側サンバイザーのラベル

助手席側エアバッグの警告ラベルは、前図の位置に表示されています。

関連情報

- チャイルドシート (p. 98)
- チャイルドシートの取り付け (p. 102)
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 104)
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 106)
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表 (p. 107)

チャイルドシートの取り付け

チャイルドシートを取り付けて使用するときには、チャイルドシートの取り付け位置に応じて多くのことに留意する必要があります。

警告

シートベルトバックルのリリースボタンに当たるようなタイプのスチール製ブレース付きブースタークッション/チャイルドシートなどは、絶対に使用しないでください。シートベルトバックルが、突然外れるおそれがあります。

チャイルドシートのストラップは、シートの前後方向調節バーやシート下のスプリング、レールまたはビームに固定しないでください。これらの部分には鋭い角があるため、ストラップが損傷するおそれがあります。

チャイルドシート上部を、ウインドスクリーンに当てないでください。

注意

チャイルドセーフティ用具をご使用になる場合は、付属の取付説明書をよくお読みください。

チャイルドセーフティ用具の取り付けに関してご不明な点は、その用具の製造元(メーカー)にお問い合わせください。

注意

絶対にチャイルドシートを未固定のまま車内に放置しないでください。お子様が座らないときでも、かならずチャイルドシートの取扱説明書に従って固定してください。

フロントシートへの取り付け

- 後ろ向き装着タイプのチャイルドシートを取り付ける場合、助手席側エアバッグがオフ(非作動状態)になっていることを確認します。
- 前向き装着タイプのチャイルドシートを取り付ける場合、助手席側エアバッグがオン(作動状態)になっていることを確認します。
- ボルボ推奨のチャイルドシート、汎用型または準汎用型のチャイルドシートのみを使用します。車両がチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に掲載されている必要があります。
- ISOFIX チャイルドシートは、車両に ISOFIX コンソール[3] アクセサリーが装備されている場合にのみ使用することができます。
- チャイルドシートに下側ストラップが装備されている場合、ボルボでは下側ストラップをロアマウンティングポイントに取り付けて使用することを推奨します[3]。
- チャイルドシートを取り付けやすくするために、ISOFIX ガイドを使用することができます。

リアシートへの取り付け

- ボルボ推奨のチャイルドシート、汎用型または準汎用型のチャイルドシートのみを使用します。車両がチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に掲載されている必要があります。
- サポートレッグ付きのチャイルドシートをセンターシートに取り付けないでください。
- ドア側のシートには ISOFIX フィクスチャーシステムが装備されており、i-Size[4] 用に承認されています。
- ドア側のシートにはアッパーマウンティングポイントが装備されています。ボルボでは、上側ストラップをヘッドレストの穴に通してから、マウンティングポイントでテンションをかけることを推奨します。これができない場合、チャイルドシートメーカーの指示に従ってください。
- チャイルドシートに下側ストラップが装備されている場合、ストラップをロアマウンティングポイントに取り付けた後には、絶対に前のシートの位置を調節しないでください。チャイルドシートを取り付けないときには、かならず下側ストラップを取り外してください。

関連情報

- チャイルドシートの設置（p. 101）
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表（p. 104）
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表（p. 106）
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表（p. 107）

[3] アクセサリーの種類は市場によって異なります。
[4] 市場によって異なります。

車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表

この表には、チャイルドシートの種類、取り付け位置、対応するお子様の体格に関する推奨事項が記載されています。

注意

チャイルドシートを車両に取り付ける前に、オーナーズマニュアルのチャイルドシートの取り付けに関する項をかならずお読みください。

重量	フロントシート（エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可）	フロントシート（エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可）	リアシート（ドア側）	リアシート（中央）
グループ 0 10 kg 以下	U[A、B]	X	U[B]	U[B]
グループ 0+ 13 kg 以下	U[A、B]	X	U[B]	U[B]
グループ 1 9～18 kg	L[C]	UF[A、D]	U、L[C]	U
グループ 2 15～25 kg	L[C]	UF[A]	U[E、F]、B*、[G]、L[C]	U[E]

＊ オプション/アクセサリー。

重量	フロントシート(エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)	フロントシート(エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)	リアシート(ドア側)	リアシート(中央)
グループ 3 22～36 kg	X	UF[A]	U[F、H]、B*[、G]	U[H]

U：汎用型のチャイルドシートに適しています。

UF：汎用型の前向きチャイルドシートに適しています。

L：特定のチャイルドシートに適しています。これらのチャイルドシートには、特定車両モデル、限定カテゴリー、または準汎用カテゴリーが含まれる場合があります。

B：この全グループに承認された内蔵チャイルドシート。

X：この体重グループのお子様には適しません。

A バックレストを通常よりも起こした位置にします。
B ボルボ社の推奨品：ボルボ・ベビーシート(型式承認 E1 04301146)
C ボルボ社の推奨品：ボルボ・リバーシブルシート、後ろ向き装着(型式承認 E5 04192)、ボルボ後ろ向き装着シート(型式承認 E5 04212)。
D この体重グループのお子様には後ろ向き装着タイプのチャイルドシートをお薦めします。
E ボルボの推奨品：ボルボ・リバーシブルシート、前向き装着(型式承認 E5 04191)、バックレスト付き/なしブースタークッション(型式承認 E5 04216)、ボルボバックレスト付きブースタークッション(型式承認 E1 04301169)、ボルボブースターシート(型式承認 E1 04301312)。
F ボルボの推奨品：Römer KidFix XP(型式承認 E1 04301312)。
G ボルボの推奨品：インテグレーテッドチャイルドシート(型式承認 E5 04220)。
H ボルボの推奨品：バックレスト付き/なしブースタークッション(型式承認 E5 04216)、ボルボバックレスト付きブースタークッション(型式承認 E1 04301169)。

⚠ 警告

助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。

関連情報

- チャイルドシートの設置（p. 101）
- チャイルドシートの取り付け（p. 102）
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表（p. 106）
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表（p. 107）
- シートベルト（p. 84）

i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表

この表には、i-Size チャイルドシートの種類、取り付け位置、対応するお子様の体格に関する推奨事項が記載されています。

チャイルドシートは UN Reg R129 による承認を受けている必要があります。

注意

チャイルドシートを車両に取り付ける前に、オーナーズマニュアルのチャイルドシートの取り付けに関する項をかならずお読みください。

チャイルドシートのタイプ	フロントシート(エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)	フロントシート(エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)	リアシート(ドア側)	リアシート(中央)
i-Size チャイルドシート	X	X	i-U[A]	X

i-U：i-Size「汎用型」チャイルドシート(前向きおよび後ろ向き)に適しています。

X：汎用型のチャイルドシートには適していません。

A ボルボ社は、このグループに後ろ向きに装着するチャイルドシートをお薦めします。

関連情報

- チャイルドシートの設置（p. 101）
- チャイルドシートの取り付け（p. 102）
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表（p. 104）
- ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表（p. 107）
- チャイルドシート用 i-Size/ISOFIX マウンティングポイント（p. 101）

ISOFIX チャイルドシートの取付位置に関する表

この表には、ISOFIX チャイルドシートの種類、取り付け位置、対応するお子様の体格に関する推奨事項が記載されています。

チャイルドシートは UN Reg R44 による承認を受けている必要があり、車両モデルはチャイルドシートメーカーの適合車種一覧表に記載されている必要があります。

注意

チャイルドシートを車両に取り付ける前に、オーナーズマニュアルのチャイルドシートの取り付けに関する項目をかならずお読みください。

重量	サイズ等級[A]	チャイルドシートのタイプ	フロントシート(エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)[B]	フロントシート(エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)[B]	リアシート(ドア側)	リアシート(中央)
グループ 0 10 kg 以下	E	後ろ向きに装着するベビーシート	IL[B、C]、X[D]	X	IL[C]	X
グループ 0+ 13 kg 以下	E	後ろ向きに装着するベビーシート	IL[B、C、E]、X[D]	X	IL[C]	X
	C	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート				
	D	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート				

重量	サイズ等級[A]	チャイルドシートのタイプ	フロントシート(エアバッグ非作動状態、後ろ向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)[B]	フロントシート(エアバッグ作動状態、前向き装着タイプのチャイルドシートのみ可)[B]	リアシート(ドア側)	リアシート(中央)
グループ 1 9〜18 kg	A	前向き装着タイプのチャイルドシート	X	IL[B、E、F]、X[D]	IL[F]、IUF[F]	X
	B	前向き装着タイプのチャイルドシート				
	B1	前向き装着タイプのチャイルドシート				
	C	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート	IL[B、E]、X[D]	X	IL[G]	X
	D	後ろ向き装着タイプのチャイルドシート				

IL：特定の ISOFIX チャイルドシートに適しています。 この種のチャイルドシートは、特定車両モデル、限定カテゴリー、または準汎用カテゴリーを想定している場合があります。

IUF：汎用型の ISOFIX 前向きチャイルドシートシステムに適しています。

X：ISOFIX チャイルドシートには適していません。

A ISOFIX フィクスチャーシステム対応のチャイルドシートにはサイズ等級があります。サイズ等級は、正しいタイプのチャイルドシートを選択するときの参考になります。サイズ等級はチャイルドシートのラベルに表示されています。
B 車両に ISOFIX コンソールアクセサリー(アクセサリーの種類は市場により異なります)が装備されている場合、準汎用型の(IL) ISOFIX チャイルドシートの取り付けに使用できます。チャイルドシート用の上部マウンティングポイントはありません。
C ボルボの推奨品：ISOFIX 固定システムを使用して固定した、ボルボベビーシート(型式承認 E1 04301146)。
D 車両に ISOFIX ブラケットが装備されていない場合に適用。
E ヘッドレストがチャイルドシートに接触しないようにバックレストの傾きを調節してください。
F この体重グループのお子様には後ろ向き装着タイプのチャイルドシートをお薦めします。
G ボルボの推奨品：BeSafe iZi Kid X3 ISOfix(型式承認 E5 04200)。

⚠ 警告

助手席側エアバッグが有効になっている場合は、絶対に助手席で後ろ向きチャイルドシートを使用しないでください。

ⓘ 注意

i-Size/ISOFIX チャイルドシートにサイズ等級がない場合は、チャイルドシートの製造元(メーカー)が提供する適合車種一覧表に該当車種が掲載されている必要があります。

ⓘ 注意

ボルボが推奨する i-Size/ISOFIX チャイルドシートについては、ボルボディーラーにお問い合わせください。

関連情報

- チャイルドシートの設置（p. 101）
- チャイルドシートの取り付け（p. 102）
- 車両のシートベルトを使用するチャイルドシートの取付位置に関する表（p. 104）
- i-Size チャイルドシートの取付位置に関する表（p. 106）
- チャイルドシート用 i-Size/ISOFIX マウンティングポイント（p. 101）

インテグレーテッド・チャイルドシート*

後部座席ドア側シートのインテグレーテッド・チャイルドシートは、お子様が快適かつ安全な乗車ができるようにするものです。

チャイルドシートは、シートベルトと併用することによりお子様の安全を十分に確保できるように設計されています。シートクッションは、お子様の体重に合わせて 2 段階に調節できるようになっています。

このチャイルドシートは、体重が 15～36 kg (33～80 lbs)で身長が 95 cm (37 インチ)以上のお子様への使用が承認されています。

正しい位置。シートベルトはかならず肩にかけてください。

走行前に、次のことを確認してください:

- シートクッションがお子様の体重に適した位置に調節されていること。
- シートクッションが所定位置でロックされていること。
- シートベルトにねじれやゆるみがなく、シートベルトがお子様の体に確実に密着していること。
- 肩ベルトがお子様の肩の下や首にかかっていないこと。
- 最大の保護効果を得るため、腰ベルトが骨盤の下の低い位置にかかっていること。

⚠ 警告

インテグレーテッドチャイルドシートの修理または交換は、かならずボルボ指定のサービス工場に依頼してください。絶対に、ご自分でチャイルドシートの改造や修理をしないでください。衝突事故などによりインテグレーテッドチャイルドシートに大きな負荷が加わった場合、シートクッション、シートベルトおよびブラケット、またはシート全体を交換する必要があります。損傷が見当たらなくても、チャイルドシートの保護性能が低下しているおそれがあります。衝突などの際にシートクッションが低い位置にあった場合も同様です。シートクッションが著しく摩耗していたり、傷が付いている場合も、新品と交換してください。

⚠ 警告

インテグレーテッドチャイルドシートの取扱説明書に従わないと、事故の際にお子様が大ケガをするおそれがあります。

関連情報

- チャイルドシート (p. 98)
- インテグレーテッド・チャイルドシート*のシートクッションを引き上げる (p. 111)
- インテグレーテッド・チャイルドシート*のシートクッションを収納する (p. 112)

* オプション/アクセサリー。

インテグレーテッド・チャイルドシート*のシートクッションを引き上げる

インテグレーテッド・チャイルドシートを使用するときは、シートクッションを引き上げて使用します。

シートクッションは 2 段階に引き上げることができます。使用する位置はお子様の体重により異なります。

	ロア位置	アッパー位置
重量	22～36 kg（50～80 lbs）	15～25 kg（33～55 lbs）

ロア位置：

1 ハンドルを前方に引き上げて、シートクッションの固定を解除します。

2 シートクッションを後方に押して、定位置にロックします。

アッパー位置、ロア位置から始めてください。

1 ボタンを押してシートクッションの固定を解除します。

2 シートクッションの前端を持ち上げ、後方のバックレスト側に押し、定位置にロックします。

⚠ 警告

インテグレーテッドチャイルドシートの取扱説明書に従わないと、事故の際にお子様が大ケガをするおそれがあります。

ⓘ 注意

シートクッションは上位置から下位置に調節することができません。上位置の状態で、最初にシートクッションをリアシートまでいっぱいに下げてから、下位置まで上げる必要があります。

関連情報

- インテグレーテッド・チャイルドシート*（p. 110）
- インテグレーテッド・チャイルドシート*のシートクッションを収納する（p. 112）

インテグレーテッド・チャイルドシート*のシートクッションを収納する

インテグレーテッド・チャイルドシート未使用時は、リアシートに収まるようシートクッションを下げます。

注意

シートクッションは上位置から下位置に調節することができません。上位置の状態で、最初にシートクッションをリアシートまでいっぱいに下げてから、下位置まで上げる必要があります。

1 ハンドルを前方に引いて、シートクッションの固定を解除します。

2 シートクッションが定位置に収まるまで、クッションの中央を手で押し下げます。

重要

チャイルドシートのシートクッションを収納する前に、クッションの下に物（オモチャなど）が挟まっていないか確認してください。

注意

リアバックレストを倒す前に、まずチャイルドシートのシートクッションを下げる必要があります。

* オプション/アクセサリー。

関連情報

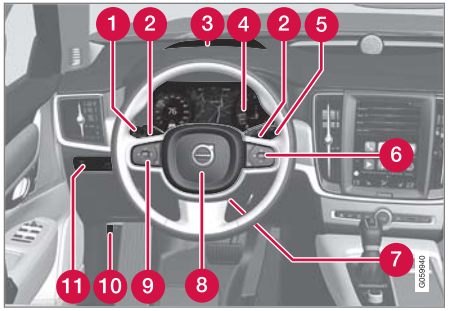
- インテグレーテッド・チャイルドシート*（p. 110）
- インテグレーテッド・チャイルドシート*のシートクッションを引き上げる（p. 111）

ディスプレイおよび音声認識

計器およびコントロール装置(左ハンドル車)

ここでは、運転者の近くにあるディスプレイとコントロール装置の位置を示します。

ステアリングホイールおよびメーター・パネル

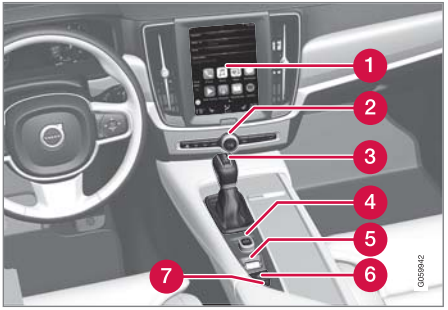


1. ポジションランプ、デイタイムランニングライト、ロービーム、ハイビーム、方向指示器、フロントフォグランプ/コーナリングライト*、リアフォグランプ、トリップメーターリセット
2. オートマチックトランスミッションのマニュアルギヤチェンジ用ステアリングホイールパドル*
3. ヘッドアップディスプレイ*
4. ドライバーディスプレイ
5. ワイパー/ウォッシャー、レインセンサー*
6. ステアリングホイール右側のステアリングリモコン
7. ステアリングホイールの調節
8. ホーン
9. ステアリングホイール左側のステアリングリモコン
10. ボンネット開操作
11. ディスプレイライト、テールゲートロック解除/開*/閉操作*、ハロゲンヘッドライト光軸補正

ルーフコンソール

1. フロント読書灯およびルームランプ
2. パノラマルーフ*
3. ルーフコンソールのディスプレイ、**ON CALL**ボタン*
4. ルームミラーの手動防眩

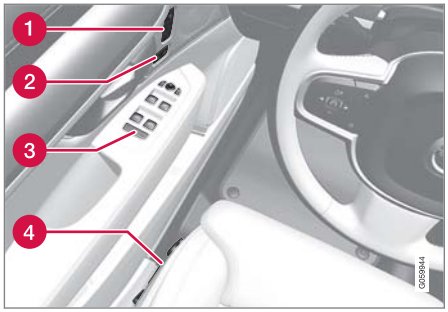
センターおよびトンネルコンソール



1. センターディスプレイ
2. 非常点滅灯、デフロスト、メディア
3. ギヤセレクターレバー
4. スタートノブ
5. ドライブモードコントロール*
6. パーキングブレーキ
7. 停車時のオートブレーキ

運転席ドア

* オプション/アクセサリー。



1. フロントパワーシート*、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*設定のメモリー
2. セントラルロック
3. パワーウインド、ドアミラー、パワー・チャイルドロック*
4. フロントシートの調節

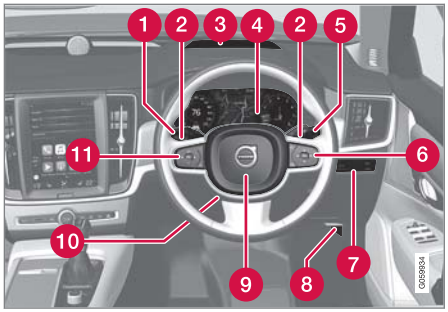
関連情報

- フロントマニュアルシート（p. 224）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）
- ステアリングホイールの調節（p. 240）
- ライトスイッチ（p. 188）
- 車両の始動（p. 478）
- ドライバーディスプレイ（p. 119）
- センターディスプレイの概要（p. 146）
- トランスミッション（p. 491）

計器およびコントロール装置（右ハンドル車）

ここでは、運転者の近くにあるディスプレイとコントロール装置の位置を示します。

ステアリングホイールおよびメーター・パネル



1. ポジションランプ、デイタイムランニングライト、ロービーム、ハイビーム、方向指示器、フロントフォグランプ/コーナリングライト*、リアフォグランプ、トリップメーターリセット
2. オートマチックトランスミッションのマニュアルギヤチェンジ用ステアリングホイールパドル*
3. ヘッドアップディスプレイ*
4. ドライバーディスプレイ
5. ワイパー/ウォッシャー、レインセンサー*
6. ステアリングホイール右側のステアリングリモコン
7. ディスプレイライト、テールゲートロック解除/開*/閉操作*、ハロゲンヘッドライト光軸補正
8. ボンネット開操作
9. ホーン
10. ステアリングホイールの調節
11. ステアリングホイール左側のステアリングリモコン

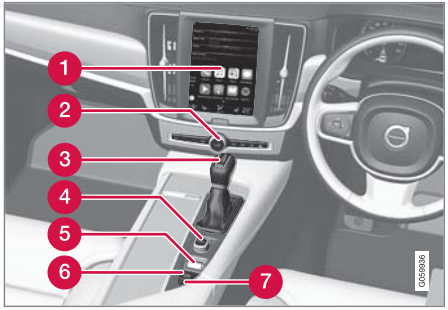
ルーフコンソール

1. フロント読書灯およびルームランプ
2. パノラマルーフ*

3 ルーフコンソールのディスプレイ、**ON CALL** ボタン*

4 ルームミラーの手動防眩

センターおよびトンネルコンソール



1 センターディスプレイ

2 非常点滅灯、デフロスト、メディア

3 ギヤセレクターレバー

4 スタートノブ

5 ドライブモードコントロール*

6 パーキングブレーキ

7 停車時のオートブレーキ

運転席ドア

1 フロントパワーシート*、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*設定のメモリー

2 セントラルロック

3 パワーウインド、ドアミラー、パワー・チャイルドロック*

4 フロントシートの調節

関連情報

- フロントマニュアルシート（p. 224）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）
- ステアリングホイールの調節（p. 240）
- ライトスイッチ（p. 188）
- 車両の始動（p. 478）
- ドライバーディスプレイ（p. 119）
- センターディスプレイの概要（p. 146）
- トランスミッション（p. 491）

* オプション/アクセサリー。

ドライバーディスプレイ

ドライバーディスプレイには、車両と運転に関する情報が表示されます。

ドライバーディスプレイには、ゲージ、インジケーター、表示灯および警告灯が表示されます。ドライバーディスプレイの表示は、車両の装備、設定、およびその時点でオンになっている機能により異なります。

ドライバーディスプレイはドアを開けるとすぐに起動します(イグニッション位置 **0**)。ドライバーディスプレイはしばらく使用しないと消灯します。以下の方法のいずれかを使用することにより、再起動することができます。

- ブレーキペダルを踏む
- イグニッション位置 **I** にする
- いずれかのドアを開ける

ドライバーディスプレイには 12 インチ*と 8 インチの 2 種類があります。

⚠ 警告

万が一、ドライバーディスプレイが消えた、作動/始動時に点灯しない、または完全に/部分的に認識できない場合、車両を使用しないでください。ただちにサービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。

⚠ 警告

ドライバーディスプレイに不具合がある場合、ブレーキ、エアバッグ、その他のセーフティシステムなどに関する情報が表示されないことがあります。そのため、運転者は車両のシステムの状態を確認することや、警告および情報を受け取ることができません。

12 インチドライバーディスプレイ*

ドライバーディスプレイでの位置

左側	中央	右側
スピードメーター	インジケーターおよび警告灯	タコメーター/ECO ゲージ [A]
トリップメーター(走行距離計)	外気温計	ギヤシフトインジケーター
オドメーター [B]	時計	ドライブモード
クルーズコントロールおよび速度リミッター情報	メッセージ(図をともなう場合あり)	燃料計

左側	中央	右側
ロード・サイン・インフォメーション*	ドアおよびシートベルト情報	Start/Stop 機能の状態
–	メディアプレーヤー	走行可能距離
–	ナビゲーション地図*	瞬間燃料消費量
–	電話	アプリメニュー(ステアリングホイールのステアリングリモコンで起動)
–	音声認識	–

A 選択したドライブモードによって異なります。
B 積算走行距離。

8 インチドライバーディスプレイ

* オプション/アクセサリー。

ドライバーディスプレイでの位置

左側	中央	右側
燃料計	スピードメーター	メディアプレーヤー
ドライブモード	ロード・サイン・インフォメーション*	電話
ギヤシフトインジケーター	クルーズコントロールおよび速度リミッター情報	ナビゲーション情報*
タコメーター/ECO ゲージ A	ドアおよびシートベルト情報	時計
走行可能距離	Start/Stop 機能の状態	アプリメニュー(ステアリングホイールのステアリングリモコンで起動)
外気温計	–	瞬間燃料消費量
インジケーターおよび警告灯	–	オドメーター B
–	–	トリップメーター(走行距離計)
–	–	インジケーターおよび警告灯
–	–	音声認識
–	–	エンジン温度計
–	–	メッセージ(図をともなう場合あり)

A 選択したドライブモードによって異なります。
B 積算走行距離。

ダイナミックシンボル

ダイナミックシンボルの基本形。

ドライバーディスプレイの中央には、メッセージの種類によって外観を変えるダイナミックシンボルがあります。シンボルの周りのオレンジ色または赤色のマーカーが操作または警告メッセージの重要度を示します。アニメーションにより、基本形状が大きな画像に変化して問題のある場所をグラフィック表示したり、情報を明示したりすることができます。

表示灯の例

関連情報

- ドライバーディスプレイ設定（p. 123）
- ドライバーディスプレイの警告灯（p. 132）
- ドライバーディスプレイの表示灯（p. 130）
- トリップコンピューター（p. 124）
- ドライバーディスプレイのメッセージ（p. 142）
- ドライバーディスプレイでアプリケーションメニューを管理する（p. 141）

ドライバーディスプレイ設定

ドライバーディスプレイのディスプレイオプション設定はドライバーディスプレイのアプリケーションメニューとセンターディスプレイの設定メニューで行うことができます。

ドライバーディスプレイのアプリメニューでの設定

図は概略図です。配置は異なる場合があります。

アプリメニューは右側のステアリングリモコンを使用して開き、操作します。

アプリメニューでは、ドライバーディスプレイに表示する情報を次の中から選択することができます。

- トリップコンピューター
- メディアプレーヤー
- 電話
- ナビゲーションシステム*

センターディスプレイでの設定

情報タイプの選択

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ メーター ➔ メーター情報** をタップします。
3. 背景に表示する情報を選択します。
   - **背景に情報を表示しない**
   - **再生中のメディア情報を表示**
   - **ルート設定なしでも地図を表示** [1]

テーマの選択

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ メーター ➔ ディスプレイテーマ** をタップします。
3. ドライバーディスプレイのテーマ(外観)を選択します。
   - Glass
   - Minimalistic
   - Performance
   - Chrome Rings

言語の選択

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語および単位 ➔ システム言語** をタップして、言語を選択します。
   > すべてのディスプレイの言語に変更が反映されます。

これらの設定は個人用設定であり、アクティブな運転者プロフィールに自動的に保存されます。

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 119）
- ドライバーディスプレイでアプリケーションメニューを管理する（p. 141）
- センターディスプレイのトップビューのその他の設定（p. 169）

[1] 地図は 12 インチドライバーディスプレイ*でのみ表示されます。8 インチドライバーディスプレイでは、案内のみが表示されます。

燃料計

ドライバーディスプレイの燃料計はタンク内の燃料残量を表示します。

12 インチドライバーディスプレイの燃料計：

燃料計のベージュ色のゾーンは、タンク内の燃料の量を示します。

燃料残量が低下して給油が必要になると、燃料ポンプシンボルが点灯して、オレンジ色に変わります。トリップコンピューターに走行可能距離も表示されます。

8 インチドライバーディスプレイの燃料計：

燃料計のバーはタンク内の燃料の量を示します。

燃料残量が低下して給油が必要になると、燃料ポンプシンボルが点灯して、オレンジ色に変わります。トリップコンピューターに走行可能距離も表示されます。燃料残量が著しく低下すると、オレンジ色のバーが 1 つだけ表示されます。すみやかに給油してください

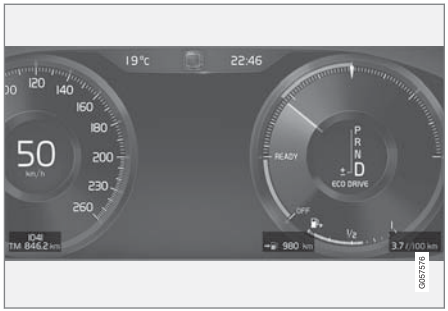
関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 119）
- 燃料の補給（p. 515）
- 燃料タンク – 容量（p. 727）

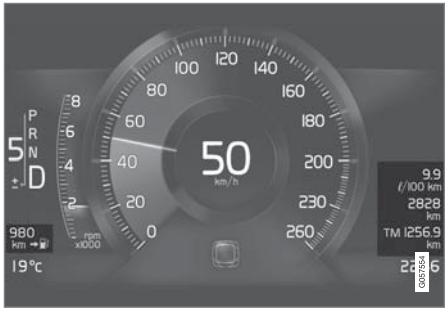
トリップコンピューター

車両のトリップコンピューターは、走行中の距離、燃料消費量および平均速度などの値を記録します。

燃費を意識した運転がしやすくなるように、瞬間燃料消費量と平均燃料消費量に関する情報が記録されます。トリップコンピューターの情報は、ドライバーディスプレイに表示されます。



12 インチドライバーディスプレイ*



8 インチドライバーディスプレイ

トリップコンピューターには以下のメーターが含まれています。

- トリップメーター(走行距離計)
- オドメーター
- 瞬間燃料消費量
- 走行可能距離
- ツーリスト(代替スピードメーター)

距離、速度などの単位は、センターディスプレイのシステム設定で変更することができます。

トリップメーター(走行距離計)

トリップメーターには TM と TA の 2 つがあります。

TM は手動でリセットすることができ、TA は車両を使用していない状態が 4 時間以上続くと、自動的にリセットされます。

走行中には以下の情報が記録されます。

- 走行距離
- 走行時間
- 平均速度
- 平均燃料消費量

トリップメーターを最後にリセットした時点からの数値が適用されます。

オドメーター

オドメーターは車両の総走行距離を記録します。この値はゼロにリセットできません。

瞬間燃料消費量

このゲージは現時点の燃料消費量を示します。この値は約 1 秒ごとに更新されます。

走行可能距離

トリップコンピューターは、タンクに残っている燃料で走行可能な距離を計算します。30 km (20 miles)前から現在までの平均燃費と、現在の燃料残量に基づいて、走行可能距離を算出します。

計測器に"----"と表示される場合は、走行可能距離を算出するために必要な燃料が残っていないことを表します。すみやかに給油してください。

注意

車両走行状況の変動により、若干の誤差が生じる場合があります。

一般的に、経済的な走行を心がけると、走行距離を伸ばすことができます。

ツーリスト(代替スピードメーター)

代替デジタルスピードメーターを使用すると、制限速度標識の単位が車両の計器の表示と異なる地域を走行するときに運転しやすくなります。

デジタルスピードメーターは、アナログスピードメーターの表示と反対の単位で表示されます。アナログスピードメーターの目盛りが **mph** である場合、デジタルスピードメーターは対応する速度を **km/h** で表示します(逆の組み合わせも可能)。

▶▶

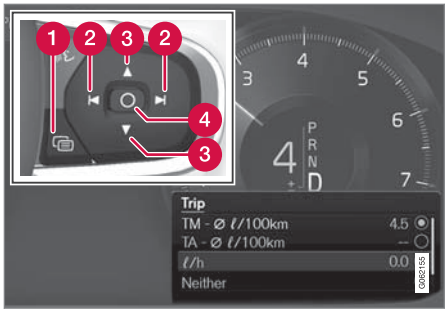
関連情報

- ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する（p. 126）
- トリップメーターのリセット（p. 127）
- センターディスプレイに走行統計 を表示する（p. 127）
- ドライバーディスプレイ（p. 119）
- システム単位の変更（p. 169）

ドライバーディスプレイにトリップデータを表示する

トリップコンピューターの記録および計算した値は、ドライバーディスプレイに表示することができます。

値はトリップコンピューターアプリに保存されます。アプリメニューを使用すると、ドライバーディスプレイに表示する情報を選択することができます。



ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用してアプリメニュー[2]を開き、メニュー内を移動します。

1. アプリメニュー
2. 左/右
3. 上/下
4. 確定

1. (1)を押して、ドライバーディスプレイでアプリメニューを開きます。

   (ドライバーディスプレイに未読のメッセージがある場合、アプリメニューを開くことはできません。アプリメニューを開くには、先に未読のメッセージを確認する必要があります。)

2. (2)を押して左右に動かし、トリップコンピューターアプリを選択します。

   > 上の 4 行にはトリップメーター TM の測定値が表示されます。次の 4 行にはトリップメーター TA の測定値が表示されます。(3)を使用して上下にスクロールしてください。

[2] 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

3. 下のオプションボタンにスクロールして、ドライバーディスプレイに表示する情報を選択します。
   - 走行可能距離
   - オドメーター
   - トリップメーター TM または TA の走行距離、または走行距離の表示なし
   - 瞬間燃料消費量、TM または TA の平均燃料消費量、燃料消費量の表示なし
   - ツーリスト(代替スピードメーター)

   OK ボタン(4)でオプションを選択または選択解除します。変更はただちに反映されます。

関連情報
- トリップコンピューター（p. 124）
- トリップメーターのリセット（p. 127）

トリップメーターのリセット

トリップメーターのリセットには、左側レバースイッチを使用します。

– 左側レバーの **RESET** ボタンを長押しすると、トリップメーター TM のすべての情報(走行距離、平均燃料消費量、平均速度および走行時間)がリセットされます。

  RESET ボタンを短く押すと、走行距離のみがリセットされます。

トリップメーター TA は車両を過去 4 時間以内に使用していない場合にのみ自動でリセットすることができます。

関連情報
- トリップコンピューター（p. 124）

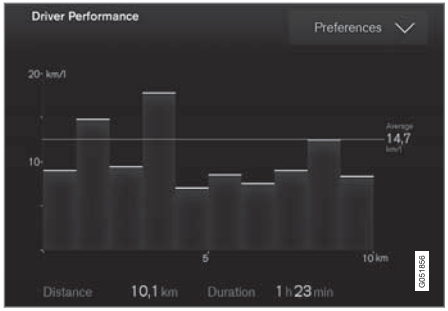
センターディスプレイに走行統計を表示する

トリップコンピューターの走行統計はセンターディスプレイにグラフィック表示されます。走行統計情報は、燃費を意識した運転をするのに役立ちます。

アプリビューで **燃費** アプリを開いて、走行統計を表示します。

図の各バーは、走行距離の単位として 1、10 または 100 km (またはマイル)を表します。バーは走行が進むにつれて右から埋まっていきます。右端のバーは現在距離の値を示します。

平均燃料消費量と総走行時間は、走行統計を最後にリセットした時点からの値が計算されています。



旅程情報 [3]

関連情報

- 走行統計の設定（p. 128）
- トリップコンピューター（p. 124）

走行統計の設定

走行統計の設定はリセットまたは調節できます。

1. アプリビューで **燃費** アプリを開いて、走行統計を表示します。

2. **設定** をタップして、以下を行います。
   - グラフの目盛りを変更する。バーの分解能を 1、10、100 km/miles から選択します。
   - 走行ごとにデータをリセットする。車両が 4 時間以上静止しているときに行われます。
   - 現在の走行のデータをリセットする

   走行統計、計算された平均燃料消費量および総走行時間はかならず同時にリセットされます。

距離、速度などの単位は、センターディスプレイのシステム設定で変更することができます。

関連情報

- センターディスプレイに走行統計 を表示する（p. 127）
- トリップコンピューター（p. 124）
- トリップメーターのリセット（p. 127）

[3] 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

時刻および日付

時計はドライバーディスプレイとセンターディスプレイの両方に表示されます。

時計の場所

12 インチドライバーディスプレイと 8 インチドライバーディスプレイの時計の位置

センターディスプレイの時計は、ステータスフィールドの右上にあります。

状況により、ドライバーディスプレイではメッセージおよび情報で時計が隠れることがあります。

時刻および日付の設定

- センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ システム ➔ 日付および時刻** の順に押して、時刻および日付の形式を変更します。

  タッチスクリーンの上または下矢印を押して、時刻および日付を調整します。

GPS 装備車の自動時刻合わせ

ナビゲーションシステム装備車の場合、**自動時刻設定** を選択することができます。タイムゾーンは、車両の位置に基づいて自動的に調整されます。ナビゲーションシステムのタイプによっては、適切なタイムゾーンを取得するために、現在地(国)も設定する必要があります。**自動時刻設定** を選択していない場合、時刻および日付はタッチスクリーンの上または下矢印を使用して調整します。

サマータイム

一部の国では、**オート** でサマータイムの自動設定を選択することができます。その他の国では、**オン** または **オフ** でサマータイムを設定することができます。

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 119）
- センターディスプレイのトップビューのその他の設定（p. 169）

外気温計

外気温はドライバーディスプレイに表示されます。

車外の温度がセンサーによって検知されます。

12 インチドライバーディスプレイと 8 インチドライバーディスプレイの外気温計の位置

停車している場合、外気温計は高すぎる値を示すことがあります。

外気温が-5 ℃～+2 ℃（23 °F～36 °F)の場合、路面凍結によるスリップの危険があることを警告するために、ドライバーディスプレイに雪の結晶マークも表示されます。

雪の結晶マークは、ヘッドアップディスプレイにも一時的に表示されます(ヘッドアップディスプレイ装備車の場合)。

◀◀ センターディスプレイのトップビューのシステム設定などを使用すると、外気温計の単位を変更できます。

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 119）
- システム単位の変更（p. 169）

ドライバーディスプレイの表示灯

表示灯は、機能の作動、システムの作動、異常や故障の発生を運転者に知らせます。

シンボル	意味
	インフォメーション(ディスプレイテキストをお読みください) 車両のシステムの 1 つが正常に機能しなくなると、ドライバーディスプレイにインフォメーションシンボルが点灯し、テキストが表示されます。インフォメーションシンボルは、ほかの表示灯とともに点灯する場合もあります。
	ブレーキシステムの不具合 パーキングブレーキに不具合がある場合、シンボルが点灯します。
	ABS 不具合 この警告灯が点灯した場合は、システムが機能していません。この状態でもブレーキシステムは通常通り作動しますが、ABS 機能は働きません。
	オートブレーキオン フットブレーキまたはパーキングブレーキが作動しているときにオートブレーキが作動すると、シンボルが点灯します。停車したとき、ブレーキが車両を静止状態に保持します。
	タイヤ空気圧システム このシンボルは、タイヤ空気圧が低いときに点灯します。タイヤ空気圧システムに不具合がある場合、このシンボルは最初に約 1 分間点滅してから点灯に変わります。システムが本来通りにタイヤの空気圧低下を検出または警告できないことが考えられます。
	エミッションシステム エンジン始動後にこの警告灯が点灯した場合、車両のエミッションシステムに不具合が発生したおそれがあります。サービス工場まで走行し、点検を受けてください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

シンボル	意味
	左右方向指示器 方向指示器を使用すると、シンボルが点滅します。
	ポジションランプ ポジションランプが点灯すると、シンボルが点灯します。
	ヘッドライトシステムの不具合 ABL 機能(アクティブベンディングランプ)に不具合が発生した、またはヘッドライトシステムに別の不具合が発生した場合、このシンボルが点灯します。
	アクティブハイビームオン アクティブハイビームが点灯すると、シンボルが青色で点灯します。
	アクティブハイビームオフ アクティブハイビームが消灯すると、シンボルが白色で点灯します。

シンボル	意味
	ハイビームオン このシンボルは、ハイビーム使用時またはパッシングライト位置で点灯します。
	アクティブハイビームオン アクティブハイビームが点灯すると、シンボルが青色で点灯します。ポジションランプが点灯しています。
	アクティブハイビームオフ アクティブハイビームが消灯すると、シンボルが白色で点灯します。ポジションランプが点灯しています。
	ハイビームオン ハイビームおよびポジションランプが点灯すると、シンボルが点灯します。
	フロントフォグランプオン フロントフォグランプがオンのときに点灯します。
	リアフォグランプオン リアフォグランプがオンのときに点灯します。

シンボル	意味
	レインセンサーオン レインセンサーがオンのときに点灯します。
	プリコンディショニングオン エンジンブロックおよび車内ヒーター/エアコンディショナーにより車両のプリコンディショニングが行なわれているときに点灯します。
	スタビリティ・システム スタビリティ・システムが作動すると、点滅します。点灯し続ける場合は、システムに不具合があります。

▸▸

シンボル	意味
	スタビリティ・システム、スポーツモード スポーツモードがオンのときには、シンボルが点灯します。スポーツモードを選択すると、よりアクティブな運転が可能になります。システムがアクセルペダルやステアリングホイールの動き、さらにコーナリングをモニターし、通常よりもアクティブに運転しているとシステムが判断すると、一定範囲内で後輪の意図的なスリップを許容します。スリップが一定レベルを超えると、システムが介入し、車両を安定させます。
	レーンアシスト 白色のシンボル：車線境界線が検知されています。 灰色のシンボル：レーンアシストはオンですが、車線境界線が検知されていません。 オレンジ色のシンボル：レーンアシストの警告/介入

シンボル	意味
	レーンアシストおよびレインセンサー 白色のシンボル：車線境界線が検知されています。レインセンサーはオンです。 灰色のシンボル：レーンアシストはオンですが、車線境界線が検知されていません。レインセンサーはオンです。
	AdBlue システム AdBlue のレベルが低下した場合、または AdBlue システムに不具合が生じた場合は、シンボルが点灯します。

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 119）
- ドライバーディスプレイの警告灯（p. 132）

ドライバーディスプレイの警告灯

警告灯は、重要な機能の作動や、重大な異常や故障の発生を運転者に知らせます。

シンボル	意味
	警告 車両の安全性または操縦安定性に関わるような不具合が発生すると、赤色の警告灯が点灯します。同時に、ドライバーディスプレイにテキストが表示されます。警告灯は、ほかの表示灯とともに点灯する場合もあります。
	シートベルトリマインダー この警告灯は、運転席/助手席の乗員がシートベルトを着用していないとき、またはリアシートの乗員がシートベルトを外したときに点灯または点滅します。

シンボル	意味
	エアバッグ 警告灯が点灯し続ける場合、または走行中に点灯した場合は、車両のセーフティシステムのいずれかに不具合が検出されたことを表しています。ドライバーディスプレイのディスプレイテキストをお読みください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
	ブレーキシステムの不具合 この警告灯が点灯したときは、ブレーキフルード量が規定量以下に減っているおそれがあります。お近くの正規サービス工場でブレーキフルード量の点検を受け、問題を解決してください。
	パーキングブレーキ作動 パーキングブレーキがかかっているときに、警告灯が点灯します。 表示灯が点滅する場合は、システムに不具合が発生していることを意味しますドライバーディスプレイのディスプレイテキストをお読みください。

シンボル	意味
	油圧低下 この警告灯が走行中に点灯した場合は、エンジンオイルの油圧が低下しています。ただちにエンジンを停止して、エンジンオイルのレベルを点検し、必要に応じて補充してください。オイルレベルが正常であるにも関わらず警告灯が点灯する場合は、サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
	充電不良 走行中に電気系統に不具合が発生すると点灯します。サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
	衝突リスク City Safety は他車や歩行者、サイクリストまたは大型動物と衝突するリスクについて警告を発します。

関連情報

- ドライバーディスプレイの表示灯 (p. 130)
- ドライバーディスプレイ (p. 119)

ドライバーディスプレイのライセンス契約

ライセンスとは、特定のアクティビティを操作する権利、または他人の権利を契約条件に基づいて使用する権利の許諾契約です。以下はボルボ社と製造元または開発元との使用許諾契約で、英語で記載されています。

Boost Software License 1.0

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following: The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

BSD 4-clause "Original" or "Old" License

Copyright (c) 1982, 1986, 1990, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

BSD 3-clause "New" or "Revised" License
Copyright (c) 2011-2014, Yann Collet.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the organisation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derive from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

BSD 2-clause "Simplified" license
Copyright (c) <YEAR>, <OWNER> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the FreeBSD Project.

FreeType Project License

1. 1 Copyright 1996-1999 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg Introduction The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project. This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least. This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that: o We don't promise that this software works. However, we are be interested in any kind of bug reports. (`as is' distribution) o You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (`royalty-free' usage) o You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the FreeType code. (`credits') We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor. Legal Terms 0. Definitions Throughout this license, the terms `package', `FreeType Project', and `FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the `FreeType project', be they named as alpha, beta or final release. `You' refers to the licensee, or person using the project, where `using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a `program' or `executable'. This program is referred to as `a program using the FreeType engine'. This license applies to all files distributed in the original FreeType archive, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this. The FreeType project is copyright (C) 1996-1999 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below. 1. No Warranty THE FREETYPE ARCHIVE IS PROVIDED `AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT. As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.
2. Redistribution Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions

are met: o Redistribution of source code must retain this license file (`licence.txt') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files. o Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory. These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType code, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising The names of FreeType's authors and contributors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: `FreeType Project', `FreeType Engine', `FreeType library', or `FreeType Distribution'.

4. Contacts There are two mailing lists related to FreeType: o freetype@freetype.org Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation. o devel@freetype.org Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc. o http://www.freetype.org Holds the current FreeType web page, which will allow you to download our latest development version and read online documentation. You can also contact us individually at: David Turner <david.turner@freetype.org> Robert Wilhelm <robert.wilhelm@freetype.org> Werner Lemberg <werner.lemberg@freetype.org>

Libpng License

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.0.13, April 15, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux

Eric S. Raymond

Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane

Glenn Randers-Pehrson

Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler

Kevin Bracey

Sam Bushell

Magnus Holmgren

Greg Roelofs

Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger

Dave Martindale

Guy Eric Schalnat

Paul Schmidt

Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

printf("%s",png_get_copyright(NULL));

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson randeg@alum.rpi.edu
April 15, 2002

MIT License

Copyright (c) <year> <copyright holders>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

zlib License

The zlib/libpng License Copyright (c) <year> <copyright holders>

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

SGI Free Software B License Version 2.0.

SGI FREE SOFTWARE LICENSE B (Version 2.0, Sept. 18, 2008)

Copyright (C) [dates of first publication] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF

CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 119）

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー(アプリメニュー)からは、一部のアプリのよく使う機能に素早くアクセスすることができます。

センターディスプレイを使用する代わりに、ドライバーディスプレイのアプリメニューを使用することができます。図は概略図です。配置は異なる場合があります。

アプリメニューはドライバーディスプレイに表示され、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンで操作します。アプリメニューを使用すると、ステアリングホイールから手を離すことなく、さまざまなアプリやアプリ内の機能を簡単に切り替えることができます。

アプリメニュー機能

利用できる機能のタイプは、アプリに応じて異なります。以下のアプリとその関連機能は、アプリメニューから制御することができます。

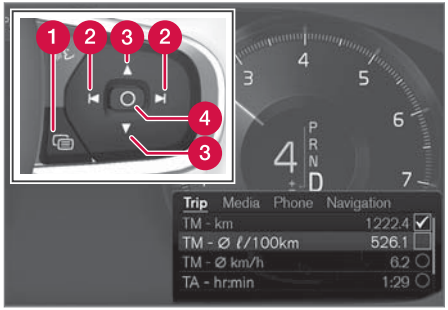
アプリ	機能
トリップコンピューター	トリップメーターの選択、ドライバーディスプレイの表示項目の選択など
メディアプレーヤー	メディアプレーヤーのアクティブなソースの選択
電話	コールリストの連絡先への電話
ナビゲーション	目的地などへの案内

関連情報

- ドライバーディスプレイ（p. 119）
- センターディスプレイの概要（p. 146）
- ドライバーディスプレイでアプリケーションメニューを管理する（p. 141）

ドライバーディスプレイでアプリケーションメニューを管理する

ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー(アプリメニュー)の操作には、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用します。



アプリメニューとステアリングホイール右側のステアリングリモコン

1. 開く/閉じる
2. 左/右
3. 上/下
4. 確定

アプリメニューを開く/閉じる

- 開く/閉じる(1)を押します。

  (ドライバーディスプレイに未読のメッセージがある場合、アプリメニューを開くことはできません。アプリメニューを開くには、先に未読のメッセージを確認する必要があります。)

  > アプリメニューが開きます/閉じます。

使用しない状態がしばらく続いた場合、または特定のオプションを選択した場合、アプリメニューは自動的に閉じます。

アプリメニューでの移動と選択

1. 左または右(2)を押して、利用できるアプリを切り替えます。

   > 前/次のアプリの機能がアプリメニューに表示されます。

2. 上または下(3)を押して、選択したアプリの機能をブラウズします。
3. 確認(4)を押して、目的の機能のオプションを確定またはハイライト表示します。

   > 機能がオンになり、オプション次第ではアプリメニューが閉じます。

アプリメニューを再度開いた場合、直近に選択したアプリの機能が直接開きます。

関連情報

- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー (p. 140)
- ドライバーディスプレイのメッセージ (p. 142)

ドライバーディスプレイのメッセージ

ドライバーディスプレイは、さまざまな状況でメッセージを表示して、運転者に情報を提供または支援をすることができます。

ドライバーディスプレイ[4]のメッセージ

ドライバーディスプレイ[5]のメッセージ

ドライバーディスプレイには、運転者に対して重要度の高いメッセージが表示されます。

ドライバーディスプレイでのメッセージの表示位置は、表示中のその他の情報に応じて異なることがあります。メッセージを確認し、必要に応じて対処すると、メッセージはドライバーディスプレイから消えます。時間の経過に伴って消えることもあります。メッセージを保存する必要がある場合、**車両の状態** アプリに配置されます。このアプリはセンターディスプレイのアプリビューから開くことができます。

メッセージ構成にはいくつかの種類があり、図、シンボル、またはメッセージ確認用/リクエスト受入用のボタンなどが一緒に表示されるものもあります。

サービスメッセージ

次表には、重要なサービスメッセージとその意味が記載されています。

メッセージ	意味
安全に 停車して下さい A	停車してエンジンを停止してください。重大な損傷のおそれがあります。サービス工場 B にご相談ください。
エンジン停止 A	停車してエンジンを停止してください。重大な損傷のおそれがあります。サービス工場 B にご相談ください。
至急ｻｰﾋﾞｽが必要 ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟにお越し下さい A	ただちにサービス工場 B に連絡し、点検を受けてください。
販売店に お問い合わせ下さい A	すみやかにサービス工場 B に連絡し、点検を受けてください。
定期ﾒﾝﾃﾅﾝｽ **メンテナンスを 予約して下さい**	定期点検整備の時期です。サービス工場 B にご連絡ください。次回の点検整備日の前に表示されます。

[4] 8 インチドライバーディスプレイ装備車。
[5] 12 インチドライバーディスプレイ装備車。

メッセージ	意味
定期ﾒﾝﾃﾅﾝｽ **メンテナンス時期です**	定期点検整備の時期です。サービス工場[B]にご連絡ください。次回の点検整備日に表示されます。
定期ﾒﾝﾃﾅﾝｽ **メンテナンス時期を過ぎています**	定期点検整備の時期です。サービス工場[B]にご連絡ください。点検整備日が過ぎたときに表示されます。
一時的にオフ[A]	機能が一時的に解除されていることを示します。この機能は、走行中またはエンジン再始動後に、自動的にリセットされます。

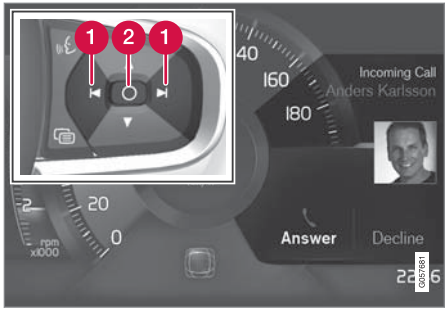
A メッセージの一部では、問題が発生した場所に関する情報が表示されます。
B ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

関連情報

- ドライバーディスプレイでメッセージを管理する（p. 143）
- ドライバーディスプレイから保存されたメッセージの管理（p. 144）
- センターディスプレイのメッセージ（p. 177）

ドライバーディスプレイでメッセージを管理する

ドライバーディスプレイのメッセージに対応するには、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用します。



ドライバーディスプレイ[6]のメッセージとステアリングホイール右側のステアリングリモコン

ドライバーディスプレイ[7]のメッセージとステアリングホイール右側のステアリングリモコン

1. 左/右
2. 確定

ドライバーディスプレイのメッセージの中には、メッセージ確認用/リクエスト受入用などのボタンが含まれているものがあります。

6 8インチドライバーディスプレイ装備車。
7 12インチドライバーディスプレイ装備車。

新しいメッセージへの対応

メッセージにボタンがある場合：

1. 左または右(1)を押して、利用できるボタンを切り替えます。
2. 確認(2)を押して、選択を確定します。
   › メッセージがドライバーディスプレイから消えます。

メッセージにボタンがない場合：

– 確認(2)を押してメッセージを閉じるか、メッセージが自動的に閉じるまでしばらく待ちます。
  › メッセージがドライバーディスプレイから消えます。

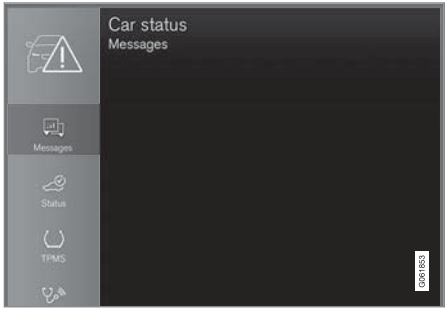
メッセージを保存する必要がある場合、**車両の状態** アプリに配置されます。このアプリはセンターディスプレイのアプリビューから開くことができます。これと関連して、メッセージ **車両状態ｱﾌﾟﾘに車両情報を保存しました** がセンターディスプレイに表示されます。

関連情報

- ドライバーディスプレイのメッセージ (p. 142)
- ドライバーディスプレイから保存されたメッセージの管理 (p. 144)
- センターディスプレイのメッセージ (p. 177)

ドライバーディスプレイから保存されたメッセージの管理

ドライバーディスプレイまたはセンターディスプレイのどちらから保存された場合でも、メッセージはセンターディスプレイで管理されます。



保存されたメッセージは、**車両の状態** アプリで確認することができます。

ドライバーディスプレイに表示されているメッセージで、保存する必要があるものは、センターディスプレイの **車両の状態** アプリに配置されます。これと関連して、メッセージ **車両状態ｱﾌﾟﾘに車両情報を保存しました** がセンターディスプレイに表示されます。

保存済みメッセージを読む

保存済みメッセージをすぐに読むには：

– センターディスプレイの **車両状態ｱﾌﾟﾘに車両情報を保存しました** メッセージの右にあるボタンを押します。
  › 保存済みメッセージが **車両の状態** アプリに表示されます。

保存済みメッセージを後で読むには：

1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
   › ホームビューの下部にあるサブビューでアプリが開きます。
2. アプリで **メッセージ** タブを選択します。
   › 保存済みメッセージのリストが表示されます。
3. メッセージをタップして展開/最小化します。
   › メッセージに関する詳しい情報がリストに表示され、アプリの左の画像がメッセージに関する情報をグラフィック形式で表示します。

保存済みメッセージの管理

展開モードの場合、一部のメッセージにはボタンが 2 つあり、サービスの予約またはオーナーズマニュアルの表示に使用することができます。

保存済みメッセージに対応してサービスを予約するには：

- メッセージの展開モードで、**予約 リクエスト** または **電話で予約**[8] を押して、サービス予約のサポートを受けます。
  - 〉 **予約 リクエスト** を使用する場合：アプリで **予約** タブが開き、コネクテッド・サービス予約のリクエストを作成します。

    電話で予約 を使用する場合：電話アプリが起動し、コネクテッド・サービス予約のサービスセンターに電話します。

保存済みメッセージをオーナーズマニュアルで調べるには：

- メッセージの展開モードで **オーナーズ マニュアル** を押して、メッセージの内容をオーナーズマニュアルで調べます。
  - 〉 センターディスプレイでオーナーズマニュアルが開き、メッセージに関連付けられている情報を表示します。

アプリの保存済みメッセージは、エンジンを始動するたびに自動的に削除されます。

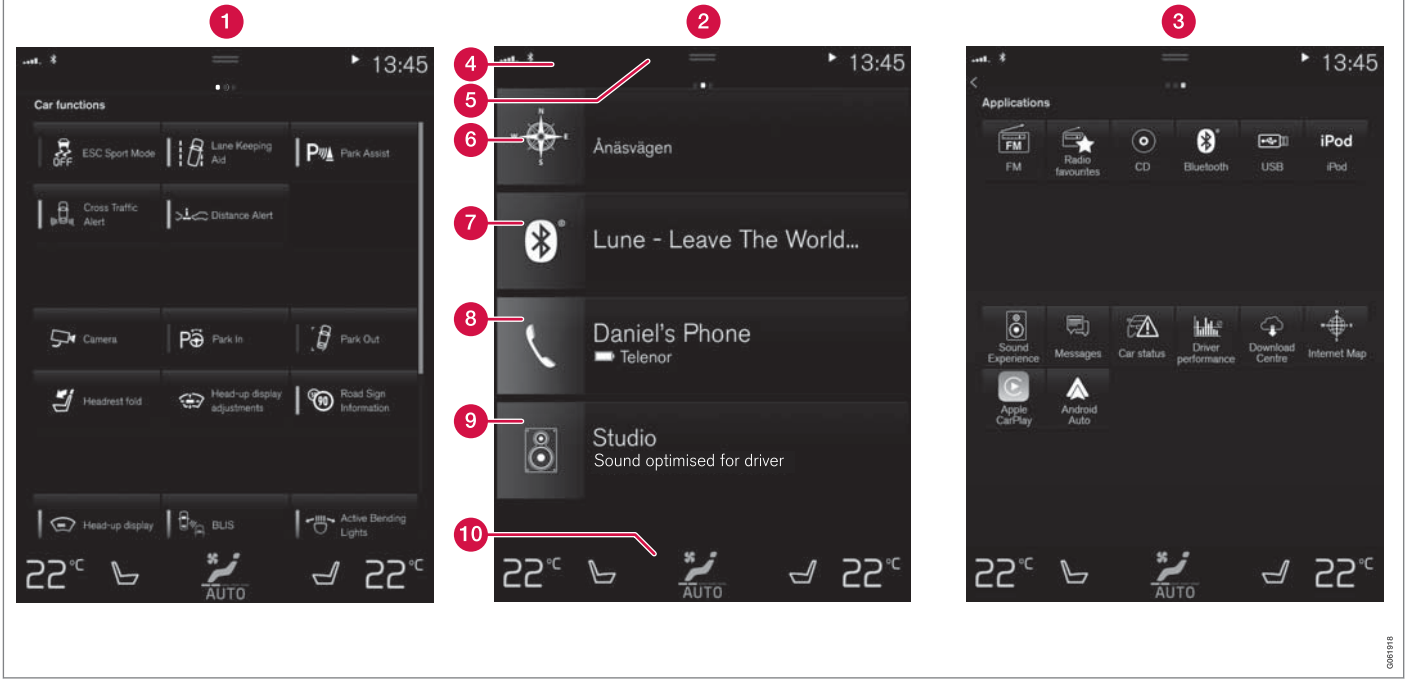
関連情報

- ドライバーディスプレイのメッセージ（p. 142）
- ドライバーディスプレイでメッセージを管理する（p. 143）
- センターディスプレイのメッセージ（p. 177）

[8] 市場によって異なります。Volvo ID および選択したサービス工場も登録する必要があります。

センターディスプレイの概要

車両の機能の多くは、センターディスプレイで操作できます。ここでは、センターディスプレイとそのオプションについて紹介します。



センターディスプレイの基本ビュー(3 つ)右にスワイプすると機能ビュー、左にスワイプするとアプリビューが表示されます [9]。

1 機能ビュー – 1 回押すことでオンまたはオフにできる車両機能。一部の機能はトリガー機能であり、設定オプションのあるウィンドウが開きます。その例には **カメラ** が含まれます。ヘッドアップディスプレイ*の設定は、機能ビューからも行なわれますが、

[9] 右ハンドル車の場合、方向が逆になります。

調節にはステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用します。

2. ホームビュー – 画面が起動したときに最初に表示されるビュー。
3. アプリケーションビュー(アプリビュー) – ダウンロードしたアプリ(サードパーティー製アプリ)および内蔵機能用アプリ(**FM ラジオ** など)。アプリアイコンをタップすると、アプリが開きます。
4. ステータスバー – 車内のアクティビティが画面上部に表示されます。ステータスバーの左側にはネットワークおよび接続情報、右側には実行中のバックグラウンドアクティビティの表示とメディア関連情報および時計が表示されます。
5. トップビュー – トップビューを表示するには、タブを下方向にスクロールします。**設定**、**ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ**、**ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ** および車両の保存済みメッセージには、ここからアクセスできます。場合によっては、コンテンツ連動設定(**ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ 設定** など)およびコンテンツ連動オーナーズマニュアル(**ナビゲーション ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ** など)もトップビューで利用できます。
6. ナビゲーション – Sensus Navigation*などで地図ナビゲーションを利用できます。サブビューをタップすると展開します。
7. メディア – 最近使用したメディア関連アプリ。サブビューをタップすると展開します。
8. 電話 – ここから電話機能を利用できます。サブビューをタップすると展開します。
9. エキストラサブビュー – 最近使用したアプリまたは車両機能で、その他のサブビューに属さないもの。サブビューをタップすると展開します。
10. クライメート列 – 温度やシートヒーター*などの設定に関する情報および直接操作。クライメート列の中央にあるシンボルをタップすると、クライメートビューが開き、詳細な設定オプションが表示されます。

関連情報

- センターディスプレイの管理 (p. 149)
- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 152)
- センターディスプレイの機能ビュー (p. 159)
- アプリ (p. 550)
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル (p. 161)
- センターディスプレイのトップビューのその他の設定 (p. 169)
- センターディスプレイでコンテンツ連動設定を開く (p. 170)
- センターディスプレイのオーナーズマニュアル (p. 19)
- メディアプレーヤー (p. 557)
- 電話 (p. 575)
- エアコンディショナー (p. 253)
- センターディスプレイでシステムサウンドの音量をオフにする/変更する (p. 168)
- センターディスプレイの外観の変更 (p. 168)
- システム言語の変更 (p. 169)
- システム単位の変更 (p. 169)
- センターディスプレイの清掃 (p. 694)
- センターディスプレイのメッセージ (p. 177)

* オプション/アクセサリー。

センターディスプレイの管理

車両の機能の多くは、センターディスプレイから操作および管理されます。センターディスプレイはタッチスクリーンで、タッチに反応します。

センターディスプレイのタッチスクリーン機能の使用

画面の反応は、操作の種類(タップ、ドラッグ、スワイプ)に応じて異なります。複数のビューの切り替え、オブジェクトのマーキング、リストのスクロール、アプリの移動などの操作は、画面をさまざまな方法でタッチすることにより行うことができます。

画面の真上に備えられた赤外線カーテンにより、画面は画面の目の前にある指を感知することができます。この技術により、手袋をはめたままでも画面を使用することができます。

画面の操作は、2 人の人が同時に行うことができます。運転席側と助手席側のエアコンディショナー設定を個別に調節するときなどに便利です。

重要

尖ったものを使用して画面を操作すると傷をつけるおそれがあります。

次表には、さまざまな画面操作手順が示されています。

手順	実行	結果
	1 回タップする。	オブジェクトをハイライト表示する、選択を確定する、または機能を有効にする。
	2 回連続タップする。	デジタルオブジェクト(地図など)を拡大表示する。
	長押しする。	オブジェクトをグラブする。アプリの移動や地図上での地図ポイントの移動に使用できる。指を画面に押し当てた状態で、オブジェクトを任意の場所にドラッグする。
	2 本指で 1 回タップする。	デジタルオブジェクト(地図など)を縮小表示する。

手順	実行	結果
	ドラッグ	ビューを切り替える、リスト、テキストまたはビューをスクロールする。タッチアンドホールドをしたままドラッグすると、アプリの移動または地図上での地図ポイントの移動ができる。画面上を横方向または上下方向にドラッグする。
	スワイプ/素早いドラッグ	ビューを切り替える、リスト、テキストまたはビューをスクロールする。画面上を横方向または上下方向にドラッグする。 画面の上部をタッチするとトップビューが開くことがあります。
	ピンチアウト	拡大表示する。
	ピンチイン	縮小表示する。

別のビューからホームビューに戻る

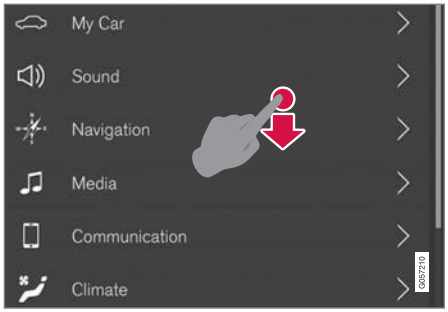
1. センターディスプレイの下にあるホームボタンを軽く押します。
   > ホームビューの最後の位置が表示されます。
2. もう一度軽く押します。
   > ホームビューのすべてのサブビューが初期設定に戻ります。

注意

ホームビュー標準モードで、ホームボタンを短く押してください。さまざまなビューへのアクセス方法を説明するアニメーションが画面に表示されます。

リスト、項目またはビューのスクロール

画面にスクロールインジケーターが表示された場合、ビューを上または下方向にスクロールすることができます。ビューの任意の場所で下/上方向にスワイプしてください。



スクロールインジケーターは、ビューをスクロールできるときにセンターディスプレイに表示されます。

センターディスプレイのコントロールの使用

温度調節

このコントロールは多くの車両機能に使用されます。以下のいずれかの方法で温度などを調節します。

- コントロールを設定したい温度までドラッグする。
- + または – をタップして温度を少しずつ上昇/低下させる、または
- コントロールに表示されている希望温度をタップする。

関連情報

- センターディスプレイのオン/オフ (p. 152)
- センターディスプレイのアプリおよびボタンの移動 (p. 161)
- センターディスプレイのキーボード (p. 163)

センターディスプレイのオン/オフ

センターディスプレイは、画面の下にあるホームボタンを使用して減光および再起動することができます。

センターディスプレイのホームボタン

ホームボタンを使用すると、画面が暗くなりタッチスクリーンが反応しなくなります。クライメート列は表示されたままになります。クライメート、オーディオ、ガイダンス*、アプリなど、画面に接続されたすべての機能は引き続き動作します。センターディスプレイが暗くなっているときは、画面をきれいにするよい機会です。走行中の妨げにならないよう、減光機能を使用して画面を暗くすることもできます。

1. 画面の下にあるホームボタンを長押しします。
   > 画面のクライメート列以外の部分が暗くなります。クライメート列は表示され続けます。画面に表示されていたすべての機能は引き続き動作します。
2. 画面をオンに戻す – ホームボタンを押します。
   > 画面をオフにする前に表示されていたビューが再表示されます。

注意

操作実行のプロンプトが画面に表示されているときには、画面をオフにすることはできません。

注意

エンジンをオフにし、運転者のドアを開けると、センターディスプレイは自動的にオフになります。

関連情報

- センターディスプレイの清掃（p. 694）
- センターディスプレイの外観の変更（p. 168）
- センターディスプレイの概要（p. 146）

センターディスプレイのビュー内での移動

センターディスプレイには、ホームビュー、トップビュー、クライメートビュー、アプリケーションビュー（アプリビュー）、機能ビューという 5 つの基本ビューがあります。運転席ドアを開けると、画面は自動的に起動します。

ホームビュー

ホームビューは、画面が起動したときに表示されるビューです。このビューは、4 つのサブビュー（**ナビゲーション**、**メディア**、**電話**、エキストラ）で構成されます。

アプリまたは機能ビューで選択したアプリまたは車両機能は、ホームビューの各サブビューで起動します。例えば、**FM ラジオ** は **メディア** サブビューで起動します。

最後に使用したアプリまたは車両機能がほかの 3 つのサブビューのいずれにも該当しない場合、そのアプリはエキストラサブビューに含まれます。

サブビューには各アプリに関する簡単な情報が表示されます。

注意

車両を始動すると、ホームビューのさまざまなサブビューにアプリの現在の状態に関する情報が表示されます。

* オプション/アクセサリー。

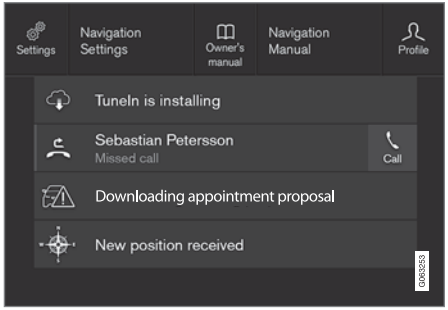
注意

ホームビュー標準モードで、ホームボタンを短く押してください。さまざまなビューへのアクセス方法を説明するアニメーションが画面に表示されます。

ステータスバー

車内のアクティビティが画面上部に表示されます。ステータスフィールドの左側にはネットワークおよび接続情報、右側には実行中のバックグラウンドアクティビティの表示とメディア関連情報および時計が表示されます。

トップビュー



トップビューが下にドラッグされた状態

画面上部のステータスバーの中央にタブがあります。タブをタップする、または画面の上から下方向にドラッグ/スワイプすることにより、トップビューを開きます。

トップビューでは、つねに以下の項目を利用できます。

- **設定**
- **ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ**
- **ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ**
- 車両の保存済みメッセージ

トップビューでは、状況により以下の項目を利用できる場合があります。

- コンテンツ連動設定(**ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ 設定** など)アプリ(ナビゲーションなど)の実行中にトップビューで設定を直接変更します。
- コンテンツ連動オーナーズマニュアル(**ナビゲーション ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙ** など)。デジタルオーナーズマニュアルの中で、画面に表示されているコンテンツに関連する項目にトップビューで直接移動します。

トップビューを終了する – トップビューの外側をタップするか、ホームボタンを押すか、またはトップビューの下部をタップして、上方向にドラッグします。これに伴い、下層のビューが表示されて使用できるようになります。

注意

始動中/停止中、または画面にメッセージが表示されているときは、トップビューを使用することができません。クライメートビューが表示されているときも使用できません。

クライメートビュー

クライメート列は画面の下部に常時表示されています。よく使うエアコンディショナー設定(温度、シートヒーター*の設定など)は、この列で直接変更することができます。

クライメート列の中央にあるシンボルをタップすると、クライメートビューが開き、詳細なエアコンディショナー設定を利用できるようになります。

このシンボルをタップすると、クライメートビューが閉じて前のビューに戻ります。

アプリケーションビュー

アプリケーションビューと車両のアプリ

ホームビューからアプリケーションビュー(アプリビュー)にアクセスするには、画面を右から左にスワイプします[10]。ここには、ダウンロードしたアプリ(サードパーティー製アプリ)および内蔵機能用アプリ(**FM ラジオ** など)があります。一部のアプリについては、アプリビューに簡単な情報が直接表示されます(**メッセージ** の未読メッセージの数など)。

アプリのアイコンをタップすると、アプリが起動します。関連するサブビュー(**メディア** など)で開きます。

アプリの数に応じて、アプリビューをスクロールダウンすることができます。下から上へスワイプ/ドラッグして行なってください。

画面を左から右にスワイプする[10]、またはホームボタンを押すと、ホームビューに戻ることができます。

機能ビュー

機能ビューとさまざまな車両機能用ボタン

ホームビューから機能ビューにアクセスするには、画面を左から右にスワイプします[10]。ここでは、**BLIS***、**Lane Keeping Aid***、**パークアシスト*** などさまざまな車両機能をオンまたはオフにすることができます。

10 左ハンドル車に適用されます。右ハンドル車の場合、反対方向にスワイプします。

* オプション/アクセサリー。

機能の数が多い場合、ここでもビューを下方向にスクロールすることができます。下から上へスワイプ/ドラッグして行なってください。

アプリビューではアプリアイコンをタップすることによりアプリを起動しますが、機能ビューはアプリビューと異なり、対応する機能ボタンをタップすることで機能をオンまたはオフにします。一部の機能(トリガー機能)は、タップしたときに新しいウィンドウで開きます。

画面を右から左にスワイプする[10]、またはホームボタンを押すと、ホームビューに戻ることができます。

関連情報

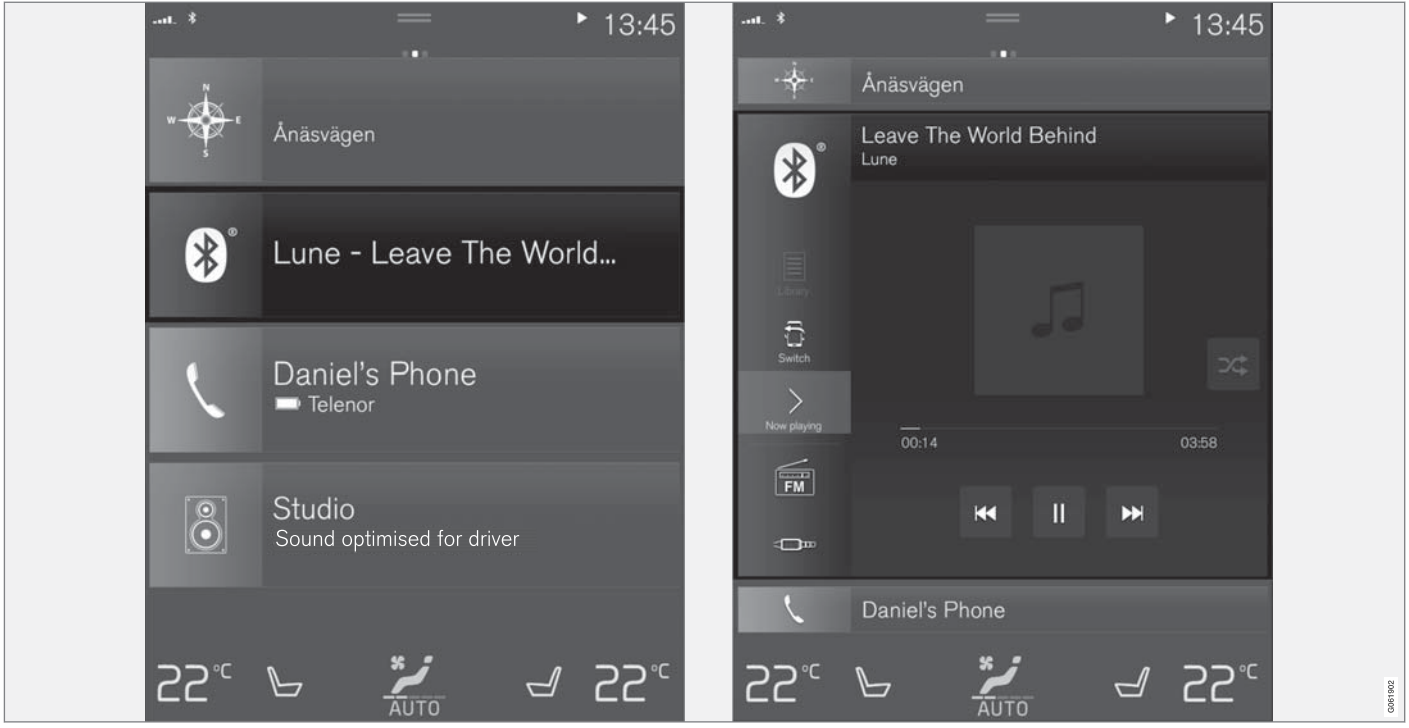
- センターディスプレイのサブビューを管理する（p. 156）
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル（p. 161）
- センターディスプレイのトップビューのその他の設定（p. 169）
- センターディスプレイでコンテンツ連動設定を開く（p. 170）
- センターディスプレイのオーナーズマニュアル（p. 19）
- 運転者プロフィール（p. 173）
- エアコンディショナー（p. 253）
- アプリ（p. 550）
- センターディスプレイの機能ビュー（p. 159）
- センターディスプレイの概要（p. 146）

[10] 左ハンドル車に適用されます。右ハンドル車の場合、反対方向にスワイプします。

センターディスプレイのサブビューを管理する

ホームビューは、4 つのサブビュー（**ナビゲーション**、**メディア**、**電話**、エキストラ）で構成されます。これらのビューは展開できます。

サブビューをデフォルトモードから展開する



センターディスプレイのサブビューの標準モードと展開モード

◀◀ サブビューの展開

– サブビュー **ナビゲーション**、**メディア**、**電話** の場合：サブビューの任意の場所をタップします。サブビューが展開すると、ホームビューの追加のサブビューが一時的に消えます。ほかの 2 つのサブビューは最小化され、一部の情報のみが表示されます。追加のサブビューをタップすると、ほかの 3 つのサブビューは最小化され、一部の情報のみが表示されます。

  展開したビューでは、アプリの基本機能にアクセスできます。

展開したサブビューを閉じる

– サブビューは 3 通りの方法で閉じることができます。
  - 展開したサブビューの上部をタップします。
  - 別のサブビューをタップします(タップされたサブビューが展開モードで開きます)。
  - センターディスプレイの下にあるホームボタンを軽く押します。

サブビューをフルスクリーンモードで開く/閉じる

エキストラサブビュー[11] および **ナビゲーション** のサブビューは、フルスクリーンモードで開くことができます。フルスクリーンモードでは、表示される情報および設定オプションが増えます。

新しいサブビューがフルスクリーンモードで開いている場合、その他のサブビューの情報は表示されません。

展開モードのときに、アプリをフルスクリーンで開く – シンボルをタップします。

展開モードに戻るには、シンボルをタップします。画面の下部にあるホームボタンを押す方法もあります。

センターディスプレイのホームボタン

ホームボタンを押すと、いつでもホームビューに戻ることができます。フルスクリーンモードからホームビューの標準ビューに戻るには、ホームボタンを 2 回押します。

関連情報

- センターディスプレイの管理（p. 149）
- センターディスプレイのオン/オフ（p. 152）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 152）

[11] エキストラサブビューを使用して開いたアプリまたは車両機能の中には適用されないものがあります。

センターディスプレイの機能ビュー

車両機能のボタンはすべて機能ビュー(センターディスプレイの基本ビューの１つ)に配置されています。ホームビューから機能ビューに移動するには、画面を左から右にスワイプしてください[12]。

さまざまな種類のボタン

車両機能には 3 種類のボタンがあります。以下を参照してください。

ボタンの種類	特性	該当する車両機能
ボタン機能	オン/オフ位置があります。 機能が動作しているときは、ボタンアイコンの左にある LED インジケーターが点灯します。ボタンを押すと、機能がオン/オフになります。	機能ビューのほとんどのボタンは機能ボタンです。
トリガーボタン	オン/オフ位置がありません。 トリガーボタンを押すと、その機能のウィンドウが開きます。たとえば、シート位置を変更するウィンドウなどが開きます。	• **カメラ** • **ヘッドレストを倒す** • **ﾍｯﾄﾞｱｯﾌﾟﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの調節**
パーキングボタン	オン、オフおよびスキャンモードがあります。 機能ボタンと似ていますが、パーキングスキャン用の位置が追加されています。	• **自動駐車** • **自動発車**

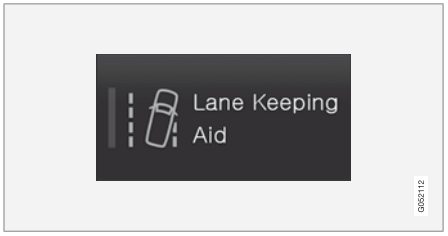
12 左ハンドル車に適用されます。右ハンドル車の場合、反対方向にスワイプします。

ボタンのさまざまなモード

機能ボタンまたはパーキングボタンの LED インジケーターが緑で点灯している場合、その機能は動作しています。一部の機能は、機能がオンになると、追加の説明が表示されます。この説明が数秒間表示された後、ボタンの LED インジケーターが点灯します。

Lane Keeping Aid の場合、ボタンをタップしたときに、**所定速度時のみ に作動** などの説明が表示されます。

ボタンを 1 回短く押すと、機能のオン/オフが切り替わります。



機能が解除されると、LED インジケーターが消灯します。

ボタンの右側に三角の警告マークが表示されている場合、正常に動作していないものがあります。

関連情報

- センターディスプレイの管理（p. 149）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 152）

センターディスプレイのアプリおよびボタンの移動

アプリビューと機能ビューの車両機能用アプリおよびボタンは、お好みに応じて、それぞれ移動および整理することができます。

1. 右から左[13]にスワイプしてアプリビューを表示するか、または左から右[13]にスワイプして機能ビューを表示します。
2. アプリまたはボタンをタップ&ホールドします。
   > アプリまたはボタンの大きさが変わり、少し透明になります。これで移動できる状態になりました。
3. アプリまたはボタンをビューの空きスペースにドラッグします。

アプリまたはボタンの配置に使用できる行数は最大 48 です。表示中のビューの外側にアプリまたはボタンを移動させるには、アプリまたはボタンをビューの下部までドラッグします。新しい行が追加され、ドラッグしたアプリまたはボタンが配置されます。

アプリまたはボタンは下の行に適宜配置することができます。ビューの外に配置されたアプリまたはボタンは、ビューのノーマルモードでは表示されません。

画面をスワイプすると、ビューを上下にスクロールできます。

注意

ほとんどまたはまったく使用しないアプリは、下部に移動して、画面に表示されないようにしてください。これにより、よく使うアプリを見つけやすくなります。

注意

アプリおよび車両機能ボタンは、既に使用中のスロットには配置できません。

関連情報

- センターディスプレイの機能ビュー (p. 159)
- アプリ (p. 550)
- センターディスプレイの管理 (p. 149)

センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル

センターディスプレイのステータスバーに表示できるシンボルの概要

ステータスバーには、進行中のアクティビティとその状況(場合による)が表示されます。スペースに制限があるため、ステータスバーにすべてのシンボルがつねに表示されるとは限りません。

シンボル	意味
	インターネットに接続済み
	インターネットへの接続に失敗
R	ローミング有効
	携帯電話ネットワークの信号強度
	Bluetooth 機器接続済み
	Bluetooth は有効だが、機器は未接続
	GPS との間で情報が送受信された
	Wi-Fi ネットワークに接続済み

[13] 左ハンドル車に適用されます。右ハンドル車の場合、反対方向にスワイプします。

シンボル	意味
	テザリング有効(Wi-Fi ホットスポット)。車両は利用可能な接続を共有します。
	カーモデム有効
	USB 共有中
	処理中
	プリコンディショニングタイマーオン
	オーディオソース再生中
	オーディオソース停止
	通話中
	オーディオソース消音
NEWS	ラジオチャンネルからニュースを受信
TP	道路交通情報を受信
15:45	時計

関連情報

- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 152)
- センターディスプレイのメッセージ (p. 177)
- オンライン車両* (p. 584)
- USB ポート経由でデバイスを接続する (p. 565)
- 電話 (p. 575)
- 時刻および日付 (p. 129)

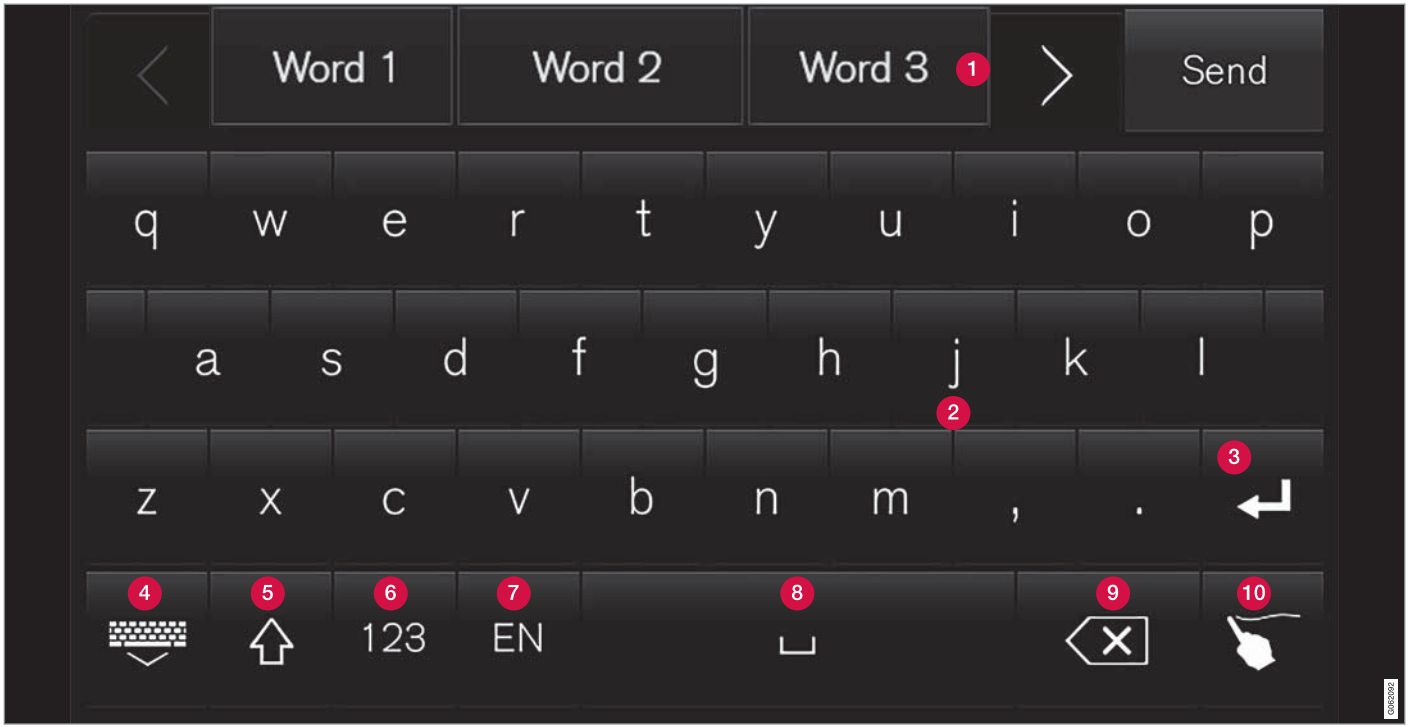
* オプション/アクセサリー。

センターディスプレイのキーボード

センターディスプレイキーボードを使用すると、キーを使用して入力することができます。文字を画面に手書きで入力することもできます。

車内でテキストメッセージを入力するとき、パスワードを入力するとき、またはデジタルオーナーズマニュアルの項目を検索するときなど、文字および数字を入力するときには、キーボードを使用することができます。

キーボードは画面に入力できる場合にのみ表示されます。



画像はキーボードに表示される可能性のあるボタンのいくつかを示しています。外観は言語設定およびキーボードの使用される状況に応じて異なります。

1 候補単語または文字の列[14]。新しい文字の入力に伴って、候補単語は変化します。右矢印と左矢印を使用して、候補単語間を移動します。候補単語をタップして選択します。

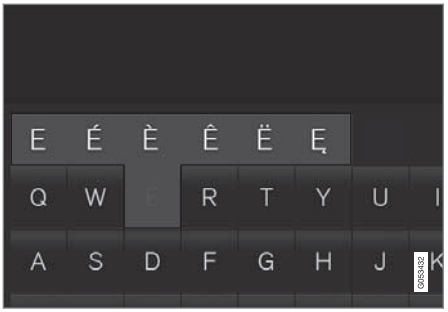
14 アジアの言語に適用されます。

一部の言語はこの機能に対応していません。対応していない場合、キーボードに候補単語の列は表示されません。

2. キーボードで入力可能な文字は、選択されている言語により異なります(ステップ 7 参照)。文字をタップして入力します。
3. ボタンの機能はキーボードの使用されている状況に応じて異なり、**@**(メールアドレスの入力時)を入力する場合と**改行する**(通常の文字入力用)場合があります。
4. キーボードを非表示にします。非表示にできない場合、ボタンは表示されません。
5. 大文字で書くときに使用されます。大文字を 1 文字書いた後に小文字で入力を続けるには、もう 1 回タップします。もう 1 回タップすると、すべての文字が大文字になります。もう 1 回タップすると、キーボードは小文字に戻ります。このモードでは、ピリオド、感嘆符または疑問符の後の最初の文字が大文字になります。テキストフィールドの最初の文字も大文字になります。名前または住所を入力するテキストフィールドの場合、各単語の先頭が自動的に大文字になります。パスワード、ウェブアドレスまたはメールアドレスを入力するテキストフィールドの場合、ボタンで設定を変更しない限り、すべての文字が自動的に小文字になります。
6. 数字の入力。数字入力のキーボード(2)が表示されます。ABC(数字モードのとき、123 の代わりに表示)をタップすると文字キーボードに戻り、#\~ をタップすると特殊文字のキーボードが開きます。
7. 文字入力言語を変更します(**EN** など)。利用可能な文字および候補単語(1)は、選択した言語により異なります。キーボードの言語を変更できるようにするには、最初に設定で言語を追加する必要があります。
8. スペース
9. 入力したテキストを削除します。短く押すと、一度に 1 文字削除することができます。長押しすると、一度に多くの文字を削除することができます。
10. キーボードモードを変更して、文字を手書き入力できるようにします。

キーパッドの上にある確定ボタン(画像では非表示)を押すと、入力したテキストが確定されます。ボタンの外観は状況に応じて異なります。

特殊文字



文字の異形(é、è など)を入力するには、該当する文字を長押しします。文字の異形の候補を示すボックスが表示されます。必要な特殊文字をタップします。異形を選択しないと、元の文字が入力されます。

関連情報

- センターディスプレイのキーボード言語の変更 (p. 166)
- センターディスプレイに手書きで文字や単語を入力する (p. 166)
- センターディスプレイの管理 (p. 149)
- テキストメッセージの操作 (p. 581)

センターディスプレイのキーボード言語の変更

キーボードの言語を切り替えることができるようにするには、最初に 設定 で言語を追加する必要があります。

設定の言語を追加/削除する

キーボードは自動的にシステム言語と同じ言語に設定されます。キーボード言語は、システム言語に影響をおよぼすことなく手動で変更することができます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語および単位 ➔ キーボードレイアウト** をタップします。
3. リストから言語を 1 つ以上選択します。
   › これで、文字入力の際に、キーボードから複数の言語を直接切り替えられるようになります。

設定 で言語を選択していない場合、キーボードは車両のシステム言語と同じ言語です。

キーボードの言語の切り替え

設定 で多数の言語を選択した場合、キーボードのボタンを使用すると、言語を切り替えることができます。

リストでキーボード言語を変更するには、

1. ボタンを長押しします。
   › リストが開きます。
2. 使用する言語を選択します。**設定** で 4 つを超える言語を選択した場合、キーボードからリストをスクロールすることができます。
   › キーボードは選択された言語に変更され、その他の候補単語が表示されます。

リストを表示することなくキーボード言語を変更するには、

- ボタンを 1 回軽く押します。
  › キーボードは、リストが表示されることなくリストの次の言語に変更されます。

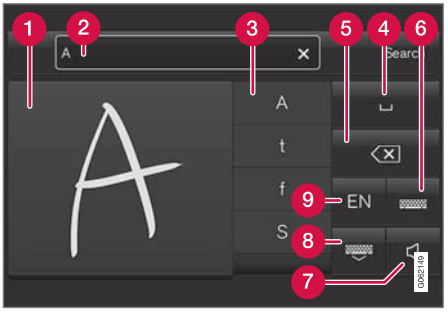
関連情報

- システム言語の変更（p. 169）
- センターディスプレイのキーボード（p. 163）

センターディスプレイに手書きで文字や単語を入力する

センターディスプレイのキーボードを使用すると、手書きで画面に文字や単語を入力することができます。

キーボードのボタンを押すと、キーによる入力から手書きでの文字入力に切り替わります。



1. 文字/単語/単語の一部の手書き入力エリア
2. 画面(1)に文字を手書きしたときに候補の文字または単語[15] が表示されるテキストフィールド

[15] 一部のシステム言語に適用されます。

❸ 文字/単語/単語の一部の候補。リストはスクロール可能です。

❹ スペーススペースは、文字の手書き入力エリア(1)にダッシュ(–)を入力して入れることもできます。「手書きでテキストフィールドにスペースを入力する」の項を参照してください。

❺ 入力したテキストを削除します。短く押すと、1 文字ずつ削除されます。次の文字を削除するときには、少し時間をあけてからもう 1 回押してください。

❻ 通常の文字入力用キーボードに戻ります。

❼ 入力時の音をオフ/オンにします。

❽ キーボードを非表示にします。非表示にできない場合、ボタンは表示されません。

❾ テキスト入力言語を変更します。

文字/単語を手書き入力する

1. 文字の手書き入力エリア(1)に文字、単語または単語の一部を書きます。単語または単語の一部を重ね書きするか、または線上に書きます。
   › 多数の候補文字または単語が表示されます(3)。もっとも可能性の高い文字がリストの最上位に表示されます。

重要

尖ったものを使用して画面を操作すると傷をつけるおそれがあります。

2. しばらく待って文字/単語を入力します。
   › リストの最上位にある文字/単語が入力されます。リストの文字/単語を押すことにより、別の文字を選択することもできます。

手書き文字を削除/変更する

手書き入力エリア(1)を横方向にスワイプすると、テキストフィールド(2)の文字がすべて削除されます。

– 文字を削除/変更するには、いくつかの方法があります。
  - リスト(3)の中から必要な文字/単語を選んで押します。
  - 文字を削除してもう一度始めるには、テキスト削除ボタン(5)をタップします。
  - 手書き入力エリア(1)を横方向(右から左[16])にスワイプします。手書き入力エリアを数回スワイプすると、複数の文字を削除できます。
  - テキストフィールド(2)の X をタップすると、入力したテキストがすべて削除されます。

16 アラビア語のキーボードの場合、反対方向にスワイプします。右から左にスワイプすると、空白ができます。

手書きでテキストフィールドに改行を入力する

手で改行を入力するには、手書き入力エリアで上記の記号を入力します[17]。

手書きでテキストフィールドにスペースを入力する

左から右にダッシュを書いてスペースを入力します[18]。

関連情報

- センターディスプレイのキーボード（p. 163）

センターディスプレイの外観の変更

テーマを選択することにより、センターディスプレイのスクリーンの外観を変更できます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ メーター ➔ ディスプレイテーマ** をタップします。
3. テーマ(**Minimalistic** または **Chrome Rings** など)を選択します。

これらの外観に追加する形で、**ノーマル** および **明るい** から選択することができます。**ノーマル** を選択すると、画面の背景が暗く、テキストが明るくなります。この設定がすべてのテーマの初期設定です。「明るい」を選択することもできます。この場合、背景が明るく、テキストが暗くなります。このオプションは、日差しが強いときなどに役立ちます。

ユーザーはいつでもこの設定を選択することができます。この設定は周囲光の影響を受けません。

関連情報

- センターディスプレイのトップビューのその他の設定（p. 169）
- センターディスプレイのオン/オフ（p. 152）
- センターディスプレイの清掃（p. 694）

センターディスプレイでシステムサウンドの音量をオフにする/変更する

センターディスプレイを使用すると、システムサウンドの音量を変更または完全にオフにすることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **サウンド ➔ システム音量** をタップします。
3. **タッチサウンド** で、コントロールをドラッグして画面のタッチサウンドの音量を変更/オフにします。コントロールを任意の音量までドラッグします。

関連情報

- センターディスプレイの概要（p. 146）
- センターディスプレイのトップビューのその他の設定（p. 169）
- オーディオ設定（p. 548）

17 アラビア語のキーボードの場合、同じ記号を逆向きに入力します。
18 アラビア語のキーボードの場合、右から左にダッシュを書きます。

システム単位の変更

単位設定はセンターディスプレイの 設定 メニューで設定されます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語および単位 ➔ 測定単位** に移動します。
3. 単位を選択します。
   - **m, km/℃** – キロメートル、リットルおよび摂氏。
   - **yd, mi /℃** – マイル、ガロンおよび摂氏。
   - **ft, mi/℉** – マイル、ガロンおよび華氏。

   › ドライバーディスプレイ、センターディスプレイおよびヘッドアップディスプレイの単位が変更されます。

関連情報

- センターディスプレイの概要（p. 146）
- センターディスプレイのトップビューのその他の設定（p. 169）
- システム言語の変更（p. 169）

システム言語の変更

言語設定はセンターディスプレイメニュー 設定 で設定されます。

> **注意**
>
> センターディスプレイの言語を変更した場合、一部のオーナー情報が国、または地方自治体の法規に準拠していないことがあります。理解が困難な言語に変更しないでください。画面の構成がわからず、戻りにくくなる場合があります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ システム言語および単位** に移動します。
3. **システム言語** を選択します。音声操作に対応している言語には、音声操作シンボルが表示されています。

   › ドライバーディスプレイ、センターディスプレイおよびヘッドアップディスプレイの言語が変更されます。

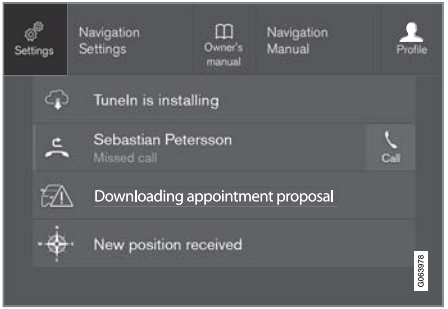
関連情報

- センターディスプレイの概要（p. 146）
- センターディスプレイのトップビューのその他の設定（p. 169）
- システム単位の変更（p. 169）

センターディスプレイのトップビューのその他の設定

車両の多くの機能の設定および情報は、センターディスプレイを使用して変更できます。

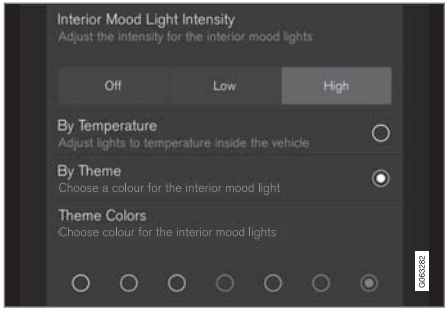
1. 画面上部のタブをタップする、または画面の上から下方向にドラッグ/スワイプすることにより、トップビューを開きます。
2. **設定** をタップして、設定メニューを開きます。



トップビューと **設定** 用ボタン

3. カテゴリーおよびサブカテゴリーの 1 つをタップして、必要な設定に移動します。
4. 設定(複数可)を変更します。変更方法は設定の種類によって異なります。

   › 変更はただちに保存されます。



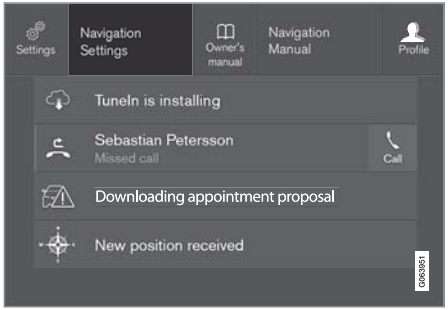
設定メニューのサブカテゴリーに表示される、さまざまな種類の設定(ここでは、マルチオプションボタンとラジオボタン)

関連情報

- センターディスプレイの概要（p. 146）
- センターディスプレイの設定のリセット（p. 171）
- センターディスプレイ設定の一覧表（p. 172）

センターディスプレイでコンテンツ連動設定を開く

車両のほとんどの基本アプリにはコンテンツ連動設定を使用することができ、センターディスプレイのトップビューで設定を直接変更することができます。



コンテンツ連動設定用ボタンを備えたトップビュー

コンテンツ連動設定は、画面に表示された有効な機能に関連する特定の設定にアクセスするためのショートカットです。最初から車両にインストールされているアプリ(例：**FM ラジオ** および **USB**)は Sensus の一部であり、車両の内蔵機能の一部です。これらのアプリの設定は、トップビューのコンテンツ連動設定から直接変更できます。

コンテンツ連動設定が利用できる場合：

1. アプリが展開モードのときにトップビューを下方向にドラッグします(例：**ナビゲーション**)。
2. **ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ 設定** をタップします。
   > ナビゲーション設定ページが開きます。
3. 必要に応じて設定を変更し、選択を確定します。

閉じる をタップするか、またはセンターディスプレイの下にあるホームボタンを押して、セットアップビューを閉じます。

一部を除き、車両のほとんどの基本アプリには、上記の手順で設定するオプションがあります。

サードパーティー製アプリ

サードパーティー製アプリは、車両購入後にユーザーがダウンロードするもので、当初は車両のシステムにインストールされていません(**Volvo ID** など)。このようなアプリの設定はトップビューからではなく、かならずアプリ内で行います。

関連情報

- センターディスプレイのトップビューのその他の設定（p. 169）
- センターディスプレイの概要（p. 146）
- センターディスプレイの設定のリセット（p. 171）
- アプリのダウンロード（p. 551）

名義変更にともなうユーザーデータのリセット

名義変更時には、ユーザーデータおよびシステム設定を工場出荷時設定に戻す必要があります。

車両の設定は、複数の異なるレベルでリセットすることができます。名義変更時には、すべてのユーザーデータおよびシステム設定を元の工場出荷時設定に戻してください。名義変更の場合、Volvo On Call*サービスの契約者名を変更することも重要です。

関連情報

- センターディスプレイの設定のリセット (p. 171)
- 運転者プロフィールの設定のリセット (p. 177)

センターディスプレイの設定のリセット

センターディスプレイの設定メニューで指定されているすべての設定を初期設定にリセットすることができます。

2 種類のリセット

設定メニューの設定のリセットには、以下の 2 種類のリセットがあります。

- **工場出荷時設定にリセット** – すべてのデータおよびファイルを消去し、すべての設定を初期値にリセットします。
- **個人設定をリセット** – 個人情報を消去し、個人用設定を初期値にリセットします。

設定のリセット

以下の手順に従うと、設定をリセットすることができます。

注意

工場出荷時設定にリセット は車両が静止しているときにのみ使用できます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ 工場出荷時設定にリセット** に移動します。
3. 必要なリセットの種類を選択します。
   > ポップアップウィンドウが表示されます。
4. **OK** をタップして、リセットを確定します。

   個人設定をリセット の場合、**使用中のプロファイルをリセット** または **全てのプロファイルをリセット** をタップして、リセットを確定する必要があります。

   > 選択した設定がリセットされます。

関連情報

- センターディスプレイの概要 (p. 146)
- センターディスプレイのトップビューのその他の設定 (p. 169)
- センターディスプレイ設定の一覧表 (p. 172)

センターディスプレイ設定の一覧表

センターディスプレイの設定メニューには多くのメインカテゴリーとサブカテゴリーがあり、車両の多くの機能に関する設定および情報がまとめられています。

メインカテゴリーは以下の 7 つです：**My Car**、**サウンド**、**ナビゲーション**、**メディア**、**通信**、**温度調整**、**システム**。

そして、各カテゴリーには多くのサブカテゴリーと設定オプションがあります。次表には、最上位のレベルのサブカテゴリーが示されています。領域または機能の設定オプションの詳細については、オーナーズマニュアルの関連セクションで説明されています。

設定には個人用設定とグローバル設定があります。個人用設定は **ドライバープロファイル** に保存することができる設定です。グローバル設定は特定の運転者プロフィールに関連付けられない設定です。

My Car

サブカテゴリー
ディスプレイ
IntelliSafe
ドライブユーザー設定/ドライブモード*
ライトと照明
ルーム/ドアミラーおよびコンビニエンス
ロック
パーキングブレーキおよびサスペンション
ワイパー

オーディオ

サブカテゴリー
トーン
バランス
システム音量

ナビゲーション

サブカテゴリー
地図
ルートと案内
ETC
VICS

メディア

サブカテゴリー
AM/FM ラジオ
Gracenote®
TV*
ビデオ

通信

サブカテゴリー
電話
テキストメッセージ
Android Auto*
Apple CarPlay*
Bluetooth デバイス
Wi-Fi
車両 Wi-Fi ホットスポット
カーモデムインターネット*
ボルボサービスネットワーク

エアコンディショナー

メインカテゴリー **温度調整** にサブカテゴリーはありません。

* オプション/アクセサリー。

システム

サブカテゴリー
ドライバープロファイル
日付および時刻
システム言語および単位
個人情報
キーボードレイアウト
音声コントロール*
工場出荷時設定にリセット
システム情報

関連情報

- センターディスプレイの概要（p. 146）
- センターディスプレイのトップビューのその他の設定（p. 169）
- センターディスプレイの設定のリセット（p. 171）

運転者プロフィール

車内で行なう設定の多くは運転者の好みに応じて調整することができ、運転者プロフィール(複数可)に保存することができます。

個人設定は、使用中の運転者プロフィールに自動で保存されます。各キーはひとつの運転者プロフィールに関連付けることができます。関連付けられたキーを使用すると、車両は該当の運転者プロフィールの設定を適用します。

運転者プロフィールに保存される設定

運転者プロフィールが保護されていない限り、車両で行なわれる設定の多くは使用中の運転者プロフィールに自動保存されます。車内で行なう設定は個人用設定またはグローバル設定のいずれかです。運転者プロフィールには、個人用設定のみが保存されます。

運転者プロフィールに保存できる設定には、スクリーン、ミラー、フロントシート、ナビゲーション*、オーディオおよびメディアシステム、言語、音声認識などの設定があります。

グローバル設定と呼ばれる設定は、変更可能ですが、特定の運転者プロフィールには保存されません。グローバル設定の変更は、すべてのプロフィールに反映されます。

グローバル設定

グローバル設定およびパラメーターは、運転者プロフィールを切り替えても変更されません。どの運転者プロフィールが有効になっているかに関わらず、変更されません。

グローバル設定の一例は、キーボードレイアウト設定です。運転者プロフィール X を使用して、キーボードに言語を追加した場合、追加した言語は運転者プロフィール Y でも利用することができます。キーボードレイアウト設定は特定の運転者プロフィールには保存されません。設定は共通(グローバル)です。

パーソナル選択

例えばセンターディスプレイの明るさを設定するときに運転者プロフィール X を使用した場合、この設定は運転者プロフィール Y には反映されません。明るさ設定は個人用設定であるため、運転者プロフィール X に保存されます。

関連情報

- 運転者プロフィールの選択（p. 174）
- 運転者プロフィールの名前の変更（p. 174）
- リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け（p. 175）
- 運転者プロフィールの保護（p. 175）
- 運転者プロフィールの設定のリセット（p. 177）
- センターディスプレイ設定の一覧表（p. 172）

運転者プロフィールの選択

センターディスプレイが起動すると、選択された運転者プロフィールが画面の上部に表示されます。次に車両をロック解除したときに有効となる運転者プロフィールは、最後に使用された運転者プロフィールです。車両をロック解除した後に、別の運転者プロフィールに変更することができます。ただし、リモートコントロールキーが運転者プロフィールに関連付けられている場合、車両の始動時にはその運転者プロフィールが選択されます。

別の運転者プロフィールに変更する方法には、2つのオプションがあります。

オプション 1：

1. センターディスプレイが起動したときに、センターディスプレイの上部に表示されている運転者プロフィールの名前をタップします。
   > 選択可能な運転者プロフィールの一覧が表示されます。
2. 該当の運転者プロフィールを選択します。
3. **確認** をタップします。
   > 運転者プロフィールが選択されて、システムが新しい運転者プロフィールの設定をロードします。

オプション 2：

1. センターディスプレイのトップビューを下方向にスクロールします。
2. **ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ** をタップします。
   > オプション 1 と同じ一覧が表示されます。
3. 該当の運転者プロフィールを選択します。
4. **確認** をタップします。
   > 運転者プロフィールが選択されて、システムが新しい運転者プロフィールの設定をロードします。

関連情報

- 運転者プロフィール（p. 173）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 152）
- 運転者プロフィールの名前の変更（p. 174）
- リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け（p. 175）

運転者プロフィールの名前の変更

車両で使用されている運転者プロフィールの名前は変更することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ ドライバープロファイル** をタップします。
3. **プロファイルを編集** を選択します。
   > プロフィールの編集ができるメニューが開きます。
4. **プロファイル名** ボックスをタップします。
   > キーボードが表示され、名前を変更できるようになります。 をタップして、キーボードを閉じます。
5. **戻る** または **閉じる** をタップして、名前の変更を保存します。
   > これで名前が変更されました。

注意

プロフィール名の先頭にスペースを入れることはできません。スペースを入れた場合、プロフィール名は保存されません。

関連情報

- 運転者プロフィールの選択（p. 174）
- センターディスプレイのキーボード（p. 163）

運転者プロフィールの保護

車両で実行するさまざまな設定を、使用中の運転者プロフィールに保存したくない場合があります。こういった場合は、運転者プロフィールを保護することができます。

> **注意**
>
> 運転者プロフィールの保護は、車両が停止しているときにのみ可能です。

運転者プロフィールを保護する方法：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム➔ ドライバープロファイル** をタップします。
3. **プロファイルを編集** を選択します。
   › プロフィールの編集ができるメニューが開きます。
4. **プロファイルを保護** を選択してプロフィールを保護します。
5. **戻る/閉じる** をタップしてプロフィールの保護オプションを保存します。
   › プロフィールが保護されている場合、車両で実行する設定はプロフィールに自動保存されません。**現在の設定をプロファイルに保存する** をタップして手動で変更を保存する必要があります。一方プロフィールが保護されていない場合は、設定がプロフィールに自動保存されます。

関連情報

- 運転者プロフィール（p. 173）

リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け

キーを運転者プロフィールに関連付けることができます。関連付けると、特定のリモートコントロールキーで車両を使用するときに、毎回運転者プロフィールとそのすべての設定が自動的に選択されるようになります。

はじめて使用するとき、リモートコントロールキーはどの運転者プロフィールとも関連付けられていません。車両を始動すると、**ゲスト** プロフィールが自動的に有効になります。

運転者プロフィールをキーに関連付けず、運転者プロフィールを手動で選択することもできます。車両をロック解除すると、最後に使用された運転者プロフィールが有効になります。キーを運転者プロフィールに関連付けると、その特定のキーを使用するときは、運転者プロフィールを選択する必要はありません。

リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け

> **注意**
>
> 運転者プロフィールとリモートコントロールキーとの関連付けは、車両が停止しているときにのみ可能です。

キーに関連付けるプロフィールがまだ有効になっていない場合、最初にそのプロフィールを

▸▸

◀◀ 選択します。プロフィールを有効にした後でキーに関連付けることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム➔ ドライバープロファイル** をタップします。
3. 目的のプロフィールを選択します。ディスプレイはホームビューに戻ります。**ゲスト** プロフィールはキーに関連付けることができません。
4. トップビューを下方向に再度ドラッグし、**設定➔ システム➔ ドライバープロファイル➔ プロファイルを編集** の順にタップします。
5. **キー接続** を選択して、プロフィールをキーに関連付けます。1 つの運転者プロフィールを、現在車内で使用中のキー以外のキーに関連付けることはできません。車内に複数のキーがある場合、**複数のキーが見つかりました。バックアップリーダーに置いて下さい。** というメッセージが表示されます。

トンネルコンソール内のバックアップリーダーの場所

   > **プロファイルがキーに接続されています** というメッセージが表示された場合、キーと運転者プロフィールが関連付けられたことを表します。
6. **OK** をタップします。
   > これで、このキーと運転者プロフィールとの関連付けは完了です。以降は **キー接続** ボックスのチェックを外さない限り、関連付けが維持されます。

関連情報

- 運転者プロフィール（p. 173）
- 運転者プロフィールの名前の変更（p. 174）
- リモートコントロールキー（p. 283）

運転者プロフィールの設定のリセット

1 つ以上の運転者プロフィールに保存されている設定は、車両が停止しているときにリセットすることができます。

> **注意**
>
> **工場出荷時設定にリセット** は車両が静止しているときにのみ使用できます。

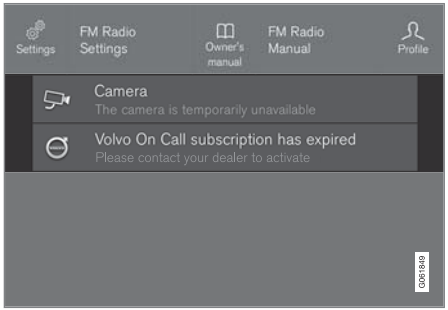
1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ 工場出荷時設定にリセット ➔ 個人設定をリセット** をタップします。
3. **使用中のプロファイルをリセット**、**全てのプロファイルをリセット**、**キャンセル** のオプションの中から 1 つ選択します。

関連情報

- 運転者プロフィール（p. 173）
- センターディスプレイの設定のリセット（p. 171）

センターディスプレイのメッセージ

センターディスプレイは、さまざまな状況でメッセージを表示して、運転者に情報を提供または支援をします。



センターディスプレイのトップビューに表示されたメッセージ

センターディスプレイには、運転者に対して重要度の低いメッセージが表示されます。

ほとんどのメッセージはセンターディスプレイのステータスバーの上に表示されます。しばらく後、またはメッセージに関して必要な対処をすると、メッセージはステータスバーから消えます。メッセージを保存する必要がある場合、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

メッセージ構成にはいくつかの種類があり、図、シンボル、またはメッセージに関連する機能をオン/オフにするボタンが一緒に表示されるものもあります。

ポップアップメッセージ

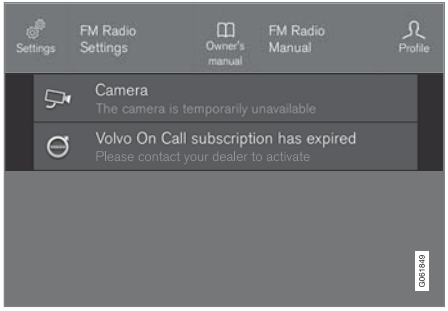
状況により、メッセージがポップアップウィンドウの形で表示されることがあります。ポップアップメッセージはステータスバーに表示されるメッセージよりも重要度が高く、消すためには確認/処置が必要です。保存する必要があるメッセージは、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

関連情報

- センターディスプレイのメッセージを管理する（p. 178）
- センターディスプレイから保存されたメッセージの管理（p. 178）
- ドライバーディスプレイのメッセージ（p. 142）

センターディスプレイのメッセージを管理する

センターディスプレイのメッセージには、センターディスプレイのビューで対応します。



センターディスプレイのトップビューに表示されたメッセージ

センターディスプレイのメッセージの中には、メッセージに関連付けられている機能のオン/オフ用などのボタン(またはポップアップメッセージでの複数のボタン)が含まれているものがあります。

新しいメッセージへの対応

メッセージにボタンがある場合：

– ボタンをタップして操作を行うか、メッセージが自動的に閉じるまでしばらく待ちます。
  › メッセージがステータスバーから消えます。

メッセージにボタンがない場合：

– メッセージをタップしてメッセージを閉じるか、メッセージが自動的に閉じるまでしばらく待ちます。
  › メッセージがステータスバーから消えます。

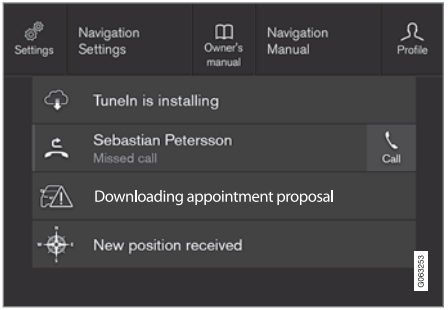
メッセージを保存する必要がある場合、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

関連情報

- センターディスプレイのメッセージ (p. 177)
- センターディスプレイから保存されたメッセージの管理 (p. 178)
- ドライバーディスプレイのメッセージ (p. 142)

センターディスプレイから保存されたメッセージの管理

ドライバーディスプレイまたはセンターディスプレイのどちらから保存された場合でも、メッセージはセンターディスプレイで管理されます。



トップビューでの保存済みメッセージと利用可能なオプション

センターディスプレイに表示されているメッセージで、保存する必要があるものは、センターディスプレイのトップビューに配置されます。

保存済みメッセージを読む

1. センターディスプレイのトップビューを開きます。
   > 保存済みメッセージのリストが表示されます。展開できるメッセージには、右に矢印が付いています。
2. メッセージをタップして展開/最小化します。
   > メッセージに関する詳しい情報がリストに表示され、アプリの左の画像がメッセージに関する情報をグラフィック形式で表示します。

保存済みメッセージの管理

一部のメッセージには、メッセージに関連付けられている機能のオン/オフ用などのボタンがあります。

– 操作を行うには、ボタンを押してください。

トップビューの保存済みメッセージは、車両をオフにするたびに自動的に削除されます。

関連情報

- センターディスプレイのメッセージ (p. 177)
- センターディスプレイのメッセージを管理する (p. 178)
- ドライバーディスプレイのメッセージ (p. 142)

ヘッドアップディスプレイ*

ヘッドアップディスプレイは、車両のドライバーディスプレイを補完し、ドライバーディスプレイからの情報をウインドスクリーンに映します。映しだされたイメージは、運転席からのみ見ることができます。

着信

ヘッドアップディスプレイは、速度、クルーズコントロール機能、ナビゲーションなどに関する警告および情報を運転者の視野の中に表示します。ヘッドアップディスプレイには、ロード・サイン・インフォメーションや電話の着信も表示できます。

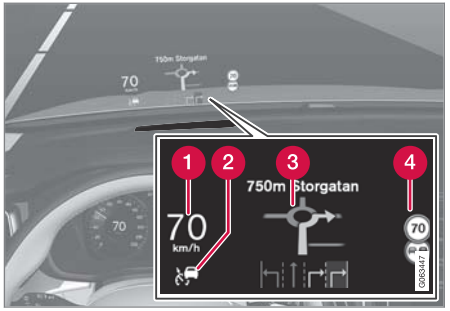
注意

以下の場合、運転者にはヘッドアップディスプレイの情報が見えなくなります。

- 偏光サングラスを使用している
- 運転席シートの中央に正しく座っていない
- ディスプレイユニットのカバーガラスに異物がある
- 光の条件が望ましくない

重要

情報を投影するディスプレイユニットはダッシュボードに配置されています。ディスプレイユニットのカバーガラスの損傷を防止するため、カバーガラスの上にはなにも置かないでください。また、カバーガラスに物を落とさないように注意してください。



ディスプレイの表示例

1. 速度
2. クルーズコントロール
3. ナビゲーション
4. 道路標識

ヘッドアップディスプレイには、以下のようないくつかのシンボルが一時的に表示されることがあります。

警告灯が点灯した場合、ドライバーディスプレイの警告メッセージをお読みください。

インフォメーションシンボルが点灯した場合、ドライバーディスプレイのテキストをお読みください。

路面凍結の危険がある場合、雪の結晶マークが表示されます。

注意

視覚障害をお持ちの場合、ヘッドアップディスプレイの使用中に頭痛やストレスを感じることがあります。

ヘッドアップディスプレイの City Safety

衝突警告の際には、ヘッドアップディスプレイの情報が City Safety のグラフィック表示に変更されます。このグラフィックは、ヘッドアップディスプレイがオフの場合でも点灯します。

運転者の注意を喚起するために City Safety のグラフィックが点滅します。

関連情報

- ヘッドアップディスプレイ*のオン/オフ (p. 181)
- ヘッドアップディスプレイ*の清掃 (p. 695)
- ウインドスクリーン交換時のヘッドアップディスプレイ* (p. 662)

* オプション/アクセサリー。

ヘッドアップディスプレイ*のオン/オフ

ヘッドアップディスプレイは車両の始動後にオンまたはオフにすることができます。

センターディスプレイの機能ビューで **ヘッドアップ ディスプレイ** ボタンをタップします。この機能がオンになると、ボタンのインジケーターが点灯します。

関連情報

- ヘッドアップディスプレイ*の設定 (p. 181)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 179)

ヘッドアップディスプレイ*の設定

ウインドスクリーンへのヘッドアップディスプレイの投影に関する設定を調節します。

車両が始動して投影画像がウインドスクリーンに表示されているときに、設定を指定することができます。

ディスプレイオプションの選択

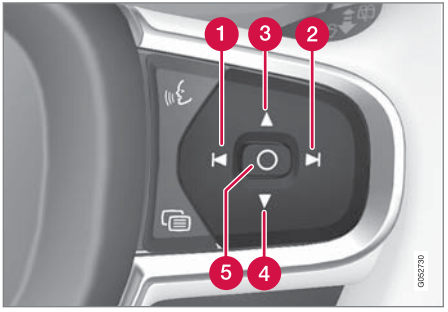
ヘッドアップディスプレイに表示する機能を選択します。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ディスプレイ ➔ ヘッドアップディスプレイオプション** をタップします。
3. 以下の中から機能を 1 つ以上選択します。
   - **ナビを表示**
   - **Road Sign Information を表示**
   - **運転者サポートを表示**
   - **電話を表示**

この設定は運転者プロフィールに個人用設定として保存されます。

明るさと縦方向の位置の調節

1. センターディスプレイの機能ビューで **ﾍｯﾄﾞｱｯﾌﾟﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの調節** ボタンをタップします。
2. ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用して、運転者の視野に投影されている画像の明るさと縦方向の位置を調節します。



1. 暗くする
2. 明るくする
3. 位置を上げる

4 位置を下げる

5 確定

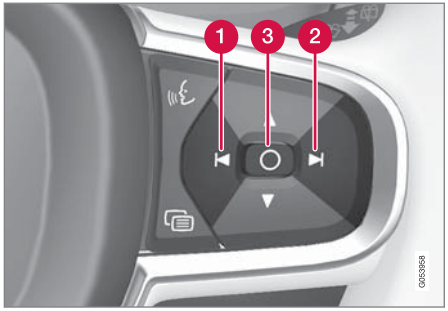
グラフィックの明るさは、背景光に合わせて自動的に調節されます。明るさは、ほかのディスプレイの明るさによる影響も受けます。

高さは運転席ドアのキーパッドを使用してフロントパワーシート*のメモリー機能に記憶させることができます。

水平位置の調整

ウインドスクリーンまたはディスプレイユニットを交換した場合、ヘッドアップディスプレイの水平位置の調整が必要になることがあります。調整では、投影画像を時計回りまたは反時計回りに回します。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ メーター ➔ ヘッドアップディスプレイオプション ➔ ヘッドアップディスプレイ較正** を選択します。
3. ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用して、画像の水平位置を調整します。



1 反時計回りに回転

2 時計回りに回転

3 確定

関連情報

- ヘッドアップディスプレイ*（p. 179）
- ヘッドアップディスプレイ*のオン/オフ（p. 181）
- 運転者プロフィール（p. 173）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する（p. 226）

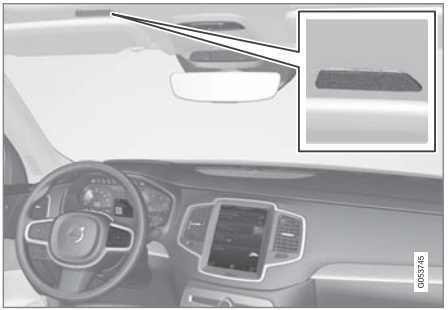
音声認識 [19]

運転者は音声認識を使用してメディアプレーヤー、Bluetooth 接続電話、エアコンディショナーシステムおよびボルボナビゲーションシステム* の特定の機能を操作することができます。

音声認識は、運転者の注意が散漫になるのを防ぎ、運転に集中し、道路や交通状況に集中できるよう支援する便利な機能です。

⚠ 警告

車両を安全に操作し、適用されている交通規則を順守する全体的責任は、つねに運転者にあります。



音声認識システム用マイク

19 特定市場に適用

音声認識コントロールは、ユーザーが発話するコマンドとシステムからの音声による応答との対話形式で行われます。音声認識システムはBluetooth で接続されたデバイスと同じマイクを使用し、音声認識システムの応答は車両のスピーカーから聞こえます。状況により、メッセージがドライバーディスプレイに表示されることもあります。機能はステアリングホイール右側のステアリングリモコンから操作します。設定にはセンターディスプレイを使用します。

システムアップデート

音声認識システムはつねに更新されています。最適なパフォーマンスを実現するため、support.volvocars.com からアップデートをダウンロードしてください。

関連情報

- 音声認識を使用する (p. 183)
- 電話を音声認識で操作する (p. 184)
- ラジオおよびメディアの音声認識 (p. 185)
- 音声認識によるエアコンディショナーの操作 (p. 244)
- 音声認識の設定 (p. 185)

音声認識[20]を使用する

ステアリングホイールの音声認識用ボタン を押してシステムを起動し、音声コマンドを使用して対話を開始してください。

次のことに注意してください。

- トーン音の後に通常の速さおよび音声で話してください。
- システム応答中は、発話しないでください(この間システムはコマンドを理解できません)。
- ドア、ウインドおよびパノラマルーフ*を閉じて、車内に騒音がないようにしてください。

音声認識は以下の方法でオフにすることができます。

- 「**キャンセル**」と発声する
- ステアリングホイールの音声認識ボタン を長押しする

会話の速度を速めてシステムからのプロンプトをスキップするには、システム音声が話しているときにステアリングホイールの音声認識用ボタン を押して、次のコマンドを発声します。

音声認識操作の例

を押して、「**電話 [Forename](名前) [Surname](名字) [number category](番号カテゴリー)**」と発話します。電話帳の中から選択した連絡先に電話が発信されます。連絡先に複数の電話番号(自宅、携帯、勤務先)が登録されている場合、適切なカテゴリーを指定する必要があります。

したがって、 を押し、「**電話 Robin(ロビン) Smith(スミス) 携帯**」と発話します。

コマンド/フレーズ

以下のコマンドは、いつでも使用することができます。

- 「**リピート**」- 現在の対話の最後の音声指示を繰り返します。
- 「**キャンセル**」 - 対話を中止します。
- 「**ヘルプ**」- ヘルプ対話を開始します。システムは現在の状況で利用可能なコマンド(リクエスト、例など)を示します。

特定機能(電話やラジオなど)のコマンドは、該当する項に記載されています。

20 特定市場に適用

数字

数字のコマンドはコントロールする機能によって、発話の仕方が異なります。

- **電話番号および郵便番号**は、1 数字ずつ個々に発話します(例：ゼロ、さん、いち、に、に、よん、よん、さん(03122443))。
- **家の番号**は個々に、またはまとめて発話することができます(例：に、に、またはにじゅうに(22))。英語またはオランダ語の場合は、複数のグループを連続して発話することができます(例：にじゅうに、にじゅうに(2222))。英語では「ダブル」または「トリプル」も使用可能です(例：ダブルゼロ(00))。数字は 0-2,300 まで使用可能です。
- **バンド**は「きゅうじゅうはってんはち(98.8)」、「ひゃくよんてんに(104.2)」といったように発話します。

関連情報

- 音声認識（p. 182）
- 電話を音声認識で操作する（p. 184）
- ラジオおよびメディアの音声認識（p. 185）
- 音声認識によるエアコンディショナーの操作（p. 244）
- 音声認識の設定（p. 185）

電話を音声認識[21]で操作する

Bluetooth 接続した携帯電話の音声認識機能を使用して、連絡先への発信、メッセージの読み上げ、音声入力による簡単なメッセージの作成を行います。

電話帳の連絡先を特定するには、電話帳に入力されている連絡先情報を音声認識コマンドに含める必要があります。例えば、**Robin Smith** という連絡先に複数の電話番号が登録されている場合、以下のようなコマンドで番号カテゴリーも指定することができます。**Home（自宅）**または **携帯**：「**電話 Robin（ロビン）Smith（スミス）携帯**」

を押して、以下のコマンドの 1 つを発声します。

- 「**電話[contact]（連絡先）**」- 電話帳の中から選択した連絡先に電話をかけます。
- 「**電話 [phone number]（電話番号）**」- 電話番号に電話します。
- 「**履歴**」 - コールリストを表示します。
- 「**メッセージを読む**」- メッセージが読み上げられます。複数のメッセージがある場合、読み上げるメッセージを選択します。
- 「**メール宛先 [contact]（連絡先）**」ユーザーに簡単なメッセージを発話するよう促します。メッセージが復唱された後、メッセージを送信[22]するか変更するかを選択することができます。本機能を使用するには、車両がインターネットに接続されている必要があります。

関連情報

- 音声認識（p. 182）
- 音声認識を使用する（p. 183）
- ラジオおよびメディアの音声認識（p. 185）
- 音声認識によるエアコンディショナーの操作（p. 244）
- 音声認識の設定（p. 185）
- オンライン車両*（p. 584）

21 特定市場に適用
22 車両からのメッセージ送信は、一部の携帯電話でのみ可能です。対応機種については、support.volvocars.com を参照してください。

ラジオおよびメディアの音声認識[23]

以下には、ラジオおよびメディアプレーヤーデバイスコントロール用のコマンドが示されています。

をタップして、以下のコマンドの 1 つを発声します。

- 「**メディア**」 – メディアおよびラジオの対話を開始し、コマンドの例を表示します。
- 「**再生 [artist]（アーティスト）**」 – 選択したアーティストの音楽が再生されます。
- 「**再生 [song title]（曲名）**」 – 選択した曲が再生されます。
- 「**再生 [song title]（曲名）の [album]（アルバム）**」 – 選択したアルバムの選択した曲が再生されます。
- 「**再生 [TV channel name]（テレビチャンネル名）**」 – 選択したテレビチャンネル*[24]が表示されます。
- 「**再生 [radio station]（ラジオ放送局）**」 – 選択したラジオ放送局が受信されます。
- 「**周波数 [frequency]（周波数）**」 – 現在のバンドで選択したラジオ周波数が受信されます。ラジオソースがアクティブになっていない場合、初期設定で FM バンドが選択されます。
- 「**周波数 [frequency]（周波数）[wavelength]（バンド）**」 – 選択したバンドで選択したラジオ周波数が受信されます。
- 「**ラジオ**」 – FM ラジオが起動します。
- 「**ラジオ FM**」 – FM ラジオが起動します。
- 「**ラジオ AM**」 – AM ラジオが起動します。
- 「**TV**」 – テレビ*[24] の再生が開始します。
- 「**CD**」 – CD*の再生が開始します。
- 「**USB**」 – USB の再生が開始します。
- 「**iPod**」 – iPod の再生が開始します。
- 「**ブルートゥース**」 – Bluetooth 接続されているメディアソースの再生が開始します。
- 「**似た音楽**」 – USB デバイスから現在再生中の音楽と似た音楽が再生されます。

関連情報

- 音声認識（p. 182）
- 音声認識を使用する（p. 183）
- 電話を音声認識で操作する（p. 184）
- 音声認識によるエアコンディショナーの操作（p. 244）
- 音声認識の設定（p. 185）

音声認識の設定[25]

音声認識システムの設定は以下の場所で選択します。

設定 ➔ システム ➔ 音声コントロール

以下の領域内で設定を行うことができます。

- **音声コマンドを繰り返す**
- **性別**
- **スピーチの速度**

オーディオ設定

オーディオ設定は以下の場所で選択します。

設定 ➔ サウンド ➔ システム音量 ➔ 音声コントロール

言語設定

音声認識は一部の言語でご利用いただけます。音声認識がご利用いただける言語は、言語リスト内で アイコンを伴って表示されています。

言語を変更すると、メニュー、メッセージおよびヘルプテキストにも影響をおよぼします。

設定 ➔ システム ➔ システム言語および単位 ➔ システム言語

23 特定市場に適用
24 特定市場に適用
25 特定市場に適用

関連情報

- 音声認識（p. 182）
- 音声認識を使用する（p. 183）
- 電話を音声認識で操作する（p. 184）
- 音声認識によるエアコンディショナーの操作（p. 244）
- ラジオおよびメディアの音声認識（p. 185）
- オーディオ設定（p. 548）
- システム言語の変更（p. 169）

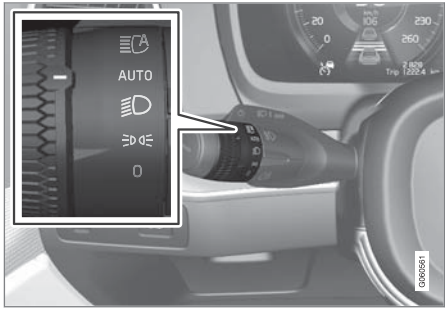
ライト

ライトスイッチ

エクステリアランプおよびルームランプの操作には、異なるライトスイッチが使用されます。エクステリアランプの点灯および調節には、左側レバースイッチを使用します。ルームランプの明るさの調節には、メーター・パネルのコントロールダイヤルを使用します。

ヘッドライト光軸補正[1]も、メーター・パネルのコントロールダイヤルで調節します。

エクステリアランプ



左側レバースイッチの回転リング

車両の電気系統がイグニッション位置 II のときには、回転リングの位置に応じて以下の機能を使用することができます。

位置	意味
0	デイタイムランニングライト パッシングライトを使用することができます。
≡D⊂	デイタイムランニングライトおよびポジションランプ 駐車時はポジションランプが点灯します。[A] パッシングライトを使用することができます。
≡D	ロービームおよびポジションランプ ハイビームを作動させることができます。 パッシングライトを使用することができます。

位置	意味
AUTO	デイタイムランニングライトおよびポジションランプ(昼間) 薄暗いときや暗闇、またはフロントフォグランプ*またはリアフォグランプを点灯させたとき、ロービームおよびポジションランプが点灯します。 アクティブハイビーム機能を作動させることができます。 ロービームがオンのとき、ハイビームを作動させることができます。 パッシングライトを使用することができます。
≡CA	アクティブハイビームオン/オフ

A 停車状態でエンジンが作動中の場合、回転リングを別の位置から ≡D⊂ 位置にすると、ほかのランプの代わりにポジションランプのみを点灯することができます。

ボルボでは、車両の走行時は AUTO モードの使用を推奨します。

1 ハロゲンヘッドライト装備車に適用されます。

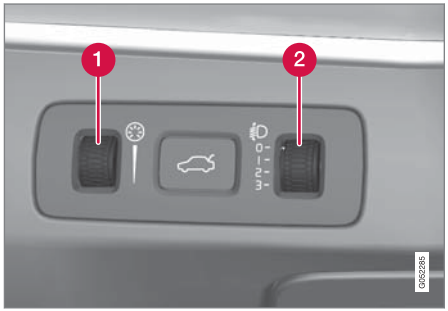
* オプション/アクセサリー。

⚠ 警告

霧、雨など日光が弱い、または十分な強さがない場合、車両のライトシステムは反応しません。

運転者には、適用される交通法規に従って交通状況に適した照射パターンを使用して走行する義務があります。

メーター・パネルのコントロールダイヤル



LED[2] ヘッドライト*装備車は、ヘッドライト光軸補正が自動的に行なわれるため、ヘッドライト光軸補正用のコントロールダイヤルは装着されていません。

1. 車内の照明調節用コントロールダイヤル
2. ヘッドライト光軸補正用コントロールダイヤル [1]

[2] LED (Light Emitting Diode)
[1] ハロゲンヘッドライト装備車に適用されます。

関連情報

- センターディスプレイでライト機能を調節する（p. 189）
- ルームランプ（p. 200）
- ポジションランプ（p. 191）
- 方向指示器を使用する（p. 195）
- ハイビームの使用（p. 193）
- ロービーム（p. 192）
- フロントフォグランプ/コーナリングライト*（p. 196）
- リアフォグランプ（p. 197）
- アクティブベンディングランプ*（p. 196）
- ブレーキランプ（p. 198）
- アダプティブブレーキランプ（p. 198）
- 非常点滅灯（p. 199）

センターディスプレイでライト機能を調節する

一部のライト機能は、調節および作動にセンターディスプレイを使用できます。アクティブ・ハイビーム、ホームセーフライト、アプローチライトなどがその例です。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明** をタップします。
3. **車外照明** または **車内照明** を選択し、調節が必要な機能を選択します。

関連情報

- ライトスイッチ（p. 188）
- アクティブハイビーム（p. 193）
- ホームセーフライトの使用（p. 199）
- アプローチライト点灯（p. 200）
- 方向指示器を使用する（p. 195）
- センターディスプレイのトップビューのその他の設定（p. 169）
- センターディスプレイの機能ビュー（p. 159）

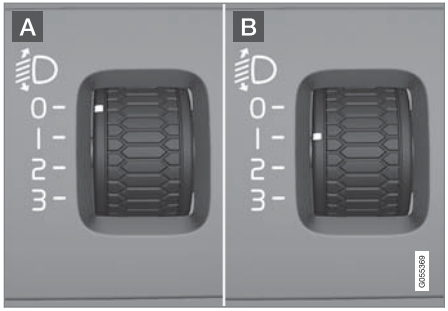
ヘッドライトの高さ調節

ヘッドライト光軸補正[3]には、メーター・パネルのコントロールダイヤルの 1 つを使用します。

車両の荷重によってヘッドライトの光の高さが変わり、対向車を眩惑させる可能性があります。ヘッドランプの高さを調節することにより、この現象を防ぎます。車両に重い荷物を積載しているときは、光軸を低くしてください。

1. エンジンを作動した状態、または車両の電気系統がイグニッション位置 **I** にある状態にします。
2. コントロールダイヤルを上/下に回してヘッドライトの高さを上げます/下げます。

荷重条件に応じたコントロールダイヤルの位置は以下に示されています。



コントロールダイヤル位置の例

A コントロールダイヤルが 0 の位置

B コントロールダイヤルが 1 の位置

荷重条件	コントロールダイヤル位置
運転者のみ	0
運転者と助手席乗員	0
運転者と助手席乗員 リアシートに乗員 3 人	1
運転者と助手席乗員 リアシートに乗員 3 人 カーゴスペースに 220 kg の荷物	1
カーゴスペースが満載の状態で運転者のみ	2

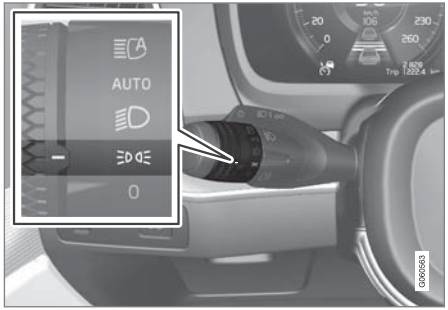
関連情報

- ライトスイッチ（p. 188）

[3] ハロゲンヘッドライト装備車に適用されます。

ポジションランプ

ポジションランプは、ほかの道路利用者に車両が停止していること、または駐車していることを知らせるために使用できます。ポジションランプは、ステアリングホイールレバーの回転リングでオンにします。



ポジションランプ位置のレバースイッチ回転リング

回転リングを ≡D◯≡ 位置に回します。ポジションランプが点灯します(同時にナンバープレートランプが点灯します)。

車両の電気系統がイグニッション位置 II の場合、ポジションランプの代わりにデイタイムランニングライトが点灯します。回転リングがこの位置の場合、車両の電気系統のイグニッション位置に関係なく、ポジションランプが点灯します。

停車状態でエンジンが作動中の場合、回転リングを別の位置からポジションランプ ≡D◯≡ 位置にすると、ほかのランプの代わりにポジションランプのみを点灯することができます。

10 km/h (約 6 mph)以下の速度で 30 秒以上走行したとき、または速度が 10 km/h (約 6 mph)を超えた場合、デイタイムランニングライトが点灯します。運転者は ≡D◯≡ 以外の位置にする必要があります。

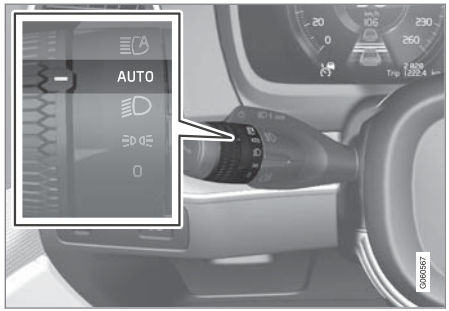
暗いときにテールゲートを開くと、テールランプが点灯して(まだ点灯していなかった場合)、後方から接近してくる道路使用者に警告します。これは、回転リングの位置や車両の電気系統のイグニッション位置に関係なく作動します。

関連情報

- ライトスイッチ (p. 188)
- イグニッション位置 (p. 480)
- デイタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換 (p. 672)

デイタイムランニングライト

車両には周辺の明るさを検知するセンサーがあります。ステアリングホイールレバーの回転リングが 0 、≡D◯≡ または AUTO 位置にあり、車両の電気系統がイグニッション位置 II にある場合、デイタイムランニングライトが点灯します。 AUTO 位置の場合、薄暗いときや暗闇でヘッドライトが自動的にロービームに切り替わります。



AUTO 位置のレバースイッチの回転リング

レバースイッチの回転リングが AUTO 位置の場合、昼間の走行ではデイタイムランニングライト(DRL[4])が点灯します。薄暗いときや暗闇の場合、車両は自動的にデイタイムランニングライトからロービームに切り替えます。フロント

[4] Daytime Running Lights

フォグランプ*またはリアフォグランプを点灯させた場合も、ロービームに切り替わります。

⚠ 警告

このシステムは、エネルギーの節約を助けます。霧や雨のときには、日光だけで十分かどうか見極めることができない場合がありますのでご注意ください。

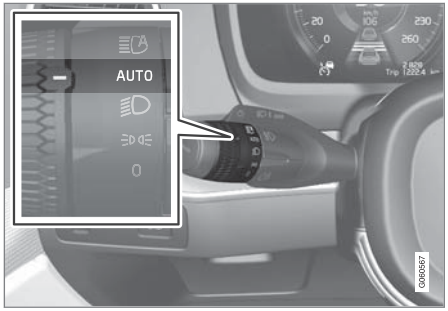
運転者には、適用される交通法規に従って交通状況に合った照射パターンを使用して走行する義務があります。

関連情報

- ライトスイッチ（p. 188）
- イグニッション位置（p. 480）
- ロービーム（p. 192）
- デイタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換（p. 672）

ロービーム

レバースイッチの回転リングが AUTO 位置にあり、車両の電気系統がイグニッション位置 II にある場合、薄暗いときや暗闇ではロービームが自動的に点灯します。



AUTO 位置のレバースイッチの回転リング

レバーの回転リングが AUTO 位置の場合、以下のときにもロービームは自動的に点灯します。

- フロントフォグランプ*が点灯したとき
- リアフォグランプが点灯したとき
- フロントおよびリアフォグランプが点灯したとき

レバースイッチの回転リングが 位置にあり、車両の電気系統がイグニッション位置 II にある場合、ロービームはつねに点灯します。

トンネルの検知

車両はトンネルに入ったことを検知して、デイタイムランニングライトからロービームに切り替えます。

トンネル検知を使用するには、左側レバーの回転リングを AUTO モードにしておく必要があります。

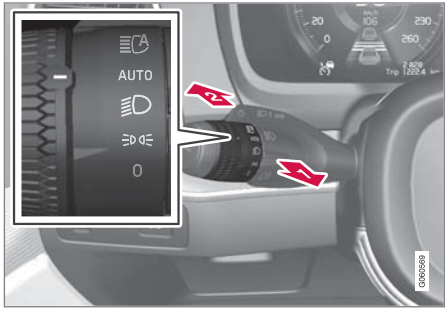
関連情報

- ライトスイッチ（p. 188）
- イグニッション位置（p. 480）
- デイタイムランニングライト（p. 191）
- ロービームランプ交換（p. 670）

* オプション/アクセサリー。

ハイビームの使用

ハイビームは左側のレバースイッチで操作します。ハイビームは車両でもっとも強力なライトで、ほかの道路利用者を眩惑しないことを前提に、暗い場所を走行する際に良好な視界を得ることを目的として使用します。



ステアリングホイールレバーの回転リング

パッシングライト

1. ステアリングホイールレバーを手前に少し動かしてパッシングライト位置にします。レバーを放すまで、ハイビームが点灯します。

ハイビーム

2. ハイビームは、ステアリングホイールレバーの回転リングが AUTO[5] または ≡D の位置のときに作動させることができます。ステアリングホイールレバーを前方に動かすと、ハイビームが作動します。ステアリングホイールレバーを手前に引くと解除されます。

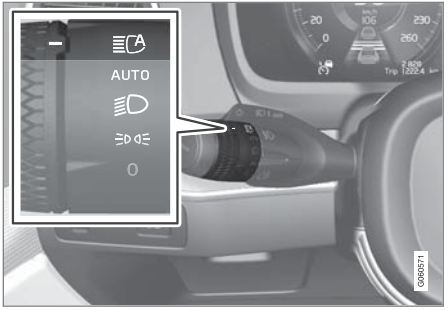
ハイビームが点灯すると、ドライバーディスプレイに ≡D シンボルが点灯します。

関連情報

- ライトスイッチ（p. 188）
- アクティブハイビーム（p. 193）
- ハイビームランプ交換（p. 671）

アクティブハイビーム

アクティブハイビームは、ウインドスクリーンの上端にあるカメラセンサーを利用して、対向車のヘッドライトや先行車のリアランプを検知し、ハイビームからロービームに切り替える機能です。



アクティブハイビームはレバーの回転リングを AUTO 位置にしてオンにします。

この機能では街路灯も検知対象になることがあります。カメラセンサーに対向車または先行車が検知されなくなると、ハイビームが再点灯します。

この機能は、暗闇を約 20 km/h（約 12 mph）以上の速度で走行しているときに作動させることができます。

[5] ロービーム作動時。

ハイビームが点灯しているときにアクティブハイビームをオフにすると、ライトはただちにロービームに切り替わります。

アクティブハイビーム作動中は、 シンボルがドライバーディスプレイに白く点灯します。

ハイビーム作動中は、このシンボルは青く点灯します。このことは、ハイビームがある程度減光されている場合(ライトがロービームよりも多少明るくなっている場合)の LED ヘッドライトにも当てはまります。

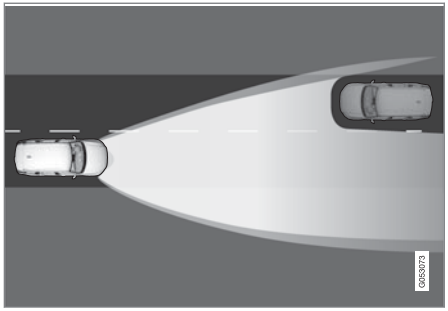
ハロゲンヘッドライト装備車

カメラセンサーが対向車のヘッドライトや先行車両のリアランプを検知しなくなってから約 1 秒経過後に、ライトはハイビームに戻ります。

LED[6] ヘッドライト*装備車

アクティブハイビームにオン/オフ機能[7]がある場合、カメラセンサーが対向車のヘッドライトや先行車両のリアランプを検知しなくなってから約 1 秒経過後に、ライトはハイビームに戻ります。

アクティブハイビームにアダプティブ機能[7]が搭載されている場合、従来の切り替え機能とは異なり、対向車または先行車の両サイドではハイビームが維持されます。その車両に直接向けられる光線部分のみが暗くなります。



アダプティブ機能：対向車へ直接向けられるライトはロービームに切り替わりますが、その車両の両サイドではハイビームが維持されます。

カメラセンサーが対向車のヘッドライトや先行車両のリアランプを検知しなくなってから約 1 秒経過後に、ライトはフルハイビームに戻ります。

アクティブ・ハイビームの限界

本機能が使用するカメラセンサーには、限界があります。

このシンボルが、メッセージ **ｱｸﾃｨﾌﾞﾊｲﾋﾞｰﾑ 一時的に利用できません** とともにドライバーディスプレイに表示されている場合は、ハイビームとロービームの切り替えを手動で行う必要があります。ステアリングホイールレバーの回転リングは AUTO 位置のままにしておくことができます。 シンボルはこのメッセージが表示されると消灯します。

このシンボルが、メッセージ **ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙを見て下さい** とともに表示されている場合も同様です。

アクティブハイビームは、濃い霧や激しい雨の中では一時的に利用できなくなる場合があります。アクティブハイビームが再度利用できるようになるか、ウインドスクリーンセンサーを遮っていたものがなくなると、メッセージが消え、 シンボルが点灯します。

⚠ 警告

アクティブハイビームは、好条件の下で最適な照射パターンの使用をサポートする機能です。

運転者は、交通状況や天候により必要に応じて、ハイビームとロービームを手動で切り替える責任がありますので、ご注意ください。

[6] LED(Light Emitting Diode)
[7] 車両の装備レベルにより異なります。

関連情報
- ライトスイッチ（p. 188）
- ハイビームの使用（p. 193）
- カメラユニットの限界（p. 397）

方向指示器を使用する

車両の方向指示器は左側レバースイッチで操作します。レバーの位置に応じて、方向指示器が 3 回または連続で点滅します。

方向指示器

ワンタッチ方向指示位置

1. レバーを上または下に、1 段目の位置まで動かして放します。方向指示器が 3 回点滅します。その機能をセンターディスプレイでオフにしている場合、方向指示器は 1 回点滅します。

注意
- この自動点滅は、ステアリングホイールレバーをすぐに反対方向に動かすことにより停止することができます。
- ドライバーディスプレイの方向指示器シンボルが通常よりも速く点滅した場合、ドライバーディスプレイのメッセージを確認してください。

方向指示位置

2. レバーを上または下に、いっぱいまで動かします。

レバーはこの位置で止まります。手で元の位置に戻すか、右折または左折終了後にステアリングホイールを直進位置に戻すと、自動的に元の位置に戻ります。

関連情報
- 非常点滅灯（p. 199）
- センターディスプレイでライト機能を調節する（p. 189）
- フロント方向指示器ランプ交換（p. 673）

アクティブベンディングランプ*

アクティブベンディングランプは、カーブや交差点で十分な明るさを確保するように設計されています。LED[8] ヘッドライト*装備車両には、車両の装備レベルに応じてアクティブベンディングランプを搭載することができます。

アクティブヘッドライトを解除したときの照射パターン(左)と作動したときの照射パターン(右)

アクティブベンディングランプは、ステアリングホイールの動きに追従して、カーブや交差点で最大限の明るさを確保し、運転者に良好な視界を提供します。

この機能は、エンジンを始動すると自動的に起動します。この機能に不具合が発生すると、ドライバーディスプレイに の警告灯が点灯するとともに、ドライバーディスプレイに説明のテキストが表示されます。

この機能は、薄暗いときや暗闇で、車両がロービームを点灯して走行している場合にのみ作動します。

機能のオフ/オン

この機能は工場出荷時点でオンになっており、センターディスプレイの機能ビューでオフ/オンを切り替えることができます。

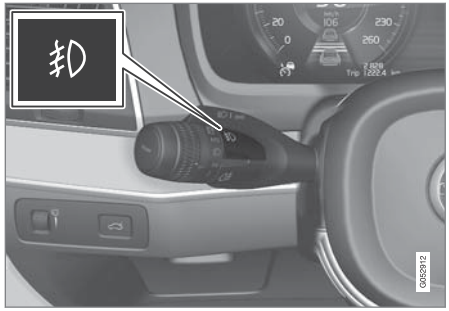
ｱｸﾃｨﾌﾞ ・ﾍﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ ・ﾗｲﾄ ボタンをタップします。

関連情報

- センターディスプレイでライト機能を調節する（p. 189）
- フロントフォグランプ/コーナリングライト*（p. 196）

フロントフォグランプ/コーナリングライト*

フロントフォグランプは、ロービームよりも強い光線を発するため、霧の中での走行に効果的です。



フロントフォグランプボタン

リアフォグランプは、車両の電気系統がイグニッション位置 II で、ステアリングホイールレバーの回転リングが AUTO 、 または 位置のときにのみ点灯させることができます。

ボタンを押してオン/オフにします。フロントフォグランプがオンになると、ドライバーディスプレイに シンボルが点灯します。

[8] LED(Light Emitting Diode)

車両をオフにするか、またはステアリングホイールレバーの回転リングを 0 位置にすると、フロントフォグランプは自動的に消灯します。

注意

フォグランプの使用に関する規則は、国によって異なります。

コーナリングライト*

フロントフォグランプにはコーナリングライト機能を搭載できます。これは、急なカーブでステアリングホイールを回した方向または方向指示器を出している方向の斜め前方を一時的に照射する機能です。

この機能は、ステアリングホイールレバーの回転リングが AUTO または 位置で、車速が約 30 km/h（約 20 mph)未満の場合に、薄暗いときや暗闇で作動します。

また、両側のコーナリングライトは、後退時の後退灯の補助ランプとして点灯します。

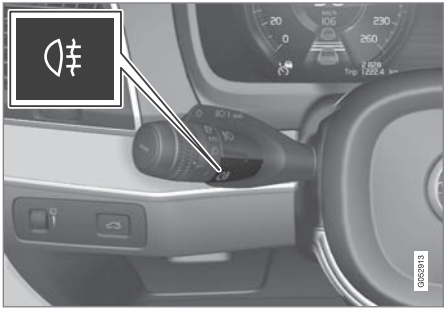
この機能は工場出荷時点でオンになっており、センターディスプレイでオン/オフを切り替えることができます。

関連情報

- ライトスイッチ（p. 188）
- イグニッション位置（p. 480）
- リアフォグランプ（p. 197）
- アクティブベンディングランプ*（p. 196）
- センターディスプレイでライト機能を調節する（p. 189）

リアフォグランプ

リアフォグランプは通常のリアランプよりもかなり強烈であるため、霧、雪、煙、ほこりなどで視界が低下しているときにのみ使用して、ほかの道路使用者に前方の車両の存在を早めに警告する必要があります。



リアフォグランプボタン

リアフォグランプは車両後部の運転席側にあるランプです。

リアフォグランプは以下の場合にのみ点灯させることができます。

- イグニッション位置が II で、ステアリングホイールレバーの回転リングが AUTO または 位置のとき
- ステアリングホイールレバーの回転リングが 位置で、フロントフォグランプを点灯させたとき

◀◀ オン/オフボタンを押します。リアフォグランプが点灯すると、ドライバーディスプレイに シンボルが点灯します。

リアフォグランプは以下の場合に自動的に消灯します。

- 車両をオフにしたとき、またはステアリングホイールレバーの回転リングを 0 位置にしたとき
- ステアリングホイールレバーの回転リングが ≡DC≡ 位置で、フロントフォグランプを消灯させたとき

注意

リアフォグランプの使用に関する法規は、国によって異なります。

関連情報

- ライトスイッチ（p. 188）
- フロントフォグランプ/コーナリングライト*（p. 196）
- イグニッション位置（p. 480）
- リアフォグランプバルブの交換（p. 674）

ブレーキランプ

ブレーキペダルを踏むと、ブレーキランプが点灯します。

ブレーキランプは、ブレーキペダルを踏み込むと点灯します。いずれかの運転者サポートシステムの働きにより車両に自動的にブレーキがかかったときにも点灯します。

関連情報

- アダプティブブレーキランプ（p. 198）
- ブレーキ機能（p. 483）

アダプティブブレーキランプ

アダプティブブレーキランプは、急ブレーキをかけた際、後続車にそれを知らせて注意を促すためのものです。

このライトは通常のブレーキランプ（点灯）と異なり、点滅を繰り返します。

アダプティブブレーキランプは、急ブレーキをかけたとき、または高速走行時にABSシステムが作動したときに点灯します。

運転者がブレーキをかけて低速にし、ブレーキから足を離すと、ブレーキライトは通常の点灯に戻ります。

同時に車両の非常点滅灯が作動します。これらの点滅は、運転者が車両を再度高速まで加速させるか、車両の非常点滅灯をオフにするまで続きます。

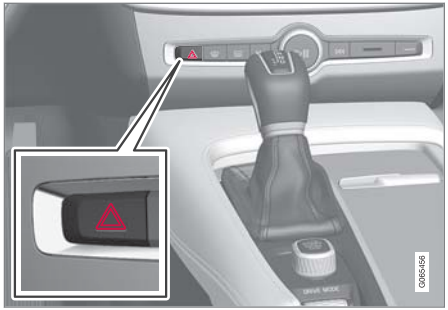
関連情報

- ブレーキランプ（p. 198）
- フットブレーキ（p. 484）
- 非常点滅灯（p. 199）

* オプション/アクセサリー。

非常点滅灯

非常点滅灯は、車両のすべての方向指示器を同時に作動して、ほかの道路利用者に注意を促します。この機能は、交通障害が発生した場合に注意を促すために使用できます。



非常点滅灯ボタン

ボタンを押すと、非常点滅灯が点滅します。

車両に強くブレーキがかかってアダプティブブレーキランプが作動し、速度が低下すると、非常点滅灯が自動的に作動します。非常点滅灯はアダプティブブレーキランプの点滅が停止した後に点滅を開始し、車両が再発進すると自動的に消灯します。ボタンを押して消灯させる方法もあります。

注意

非常点滅灯の使用に関する規則は国によって異なることがあります。

関連情報

- アダプティブブレーキランプ（p. 198）
- 方向指示器を使用する（p. 195）

ホームセーフライトの使用

夜間に車両をロックした後、エクステリアランプの一部をホームセーフライトとして点灯させておくことができます。

この機能を作動させるには：

1. 車両をオフにします。
2. 左側レバーを前方のメーター・パネルの方向に動かしてから放します。
3. 車外に出てドアをロックします。

この機能を作動させると、ドライバーディスプレイにシンボルが点灯し、ポジションランプ、エクステリアハンドルランプ*およびナンバープレートランプが点灯します。

ホームセーフライト点灯時間は、センターディスプレイで設定することができます。

関連情報

- センターディスプレイでライト機能を調節する（p. 189）
- アプローチライト点灯（p. 200）

アプローチライト点灯

アプローチライトは車両をロック解除したときに点灯します。少し離れた場所から車両のライトを点灯させるときに使用されます。

この機能は、リモートコントロールキーを使用してロック解除すると起動します。その時点で、ポジションランプ、エクステリアハンドルランプ*、ナンバープレートランプ、インテリアルーフランプ、フロアライトおよびカーゴスペースランプが点灯します。作動時間中にドアを開けると、アウターハンドルランプ*とインテリアランプの点灯時間が延長されます。

この機能はセンターディスプレイでオン/オフにすることができます。

関連情報

- センターディスプレイでライト機能を調節する（p. 189）
- ホームセーフライトの使用（p. 199）
- リモートコントロールキー（p. 283）

ルームランプ

インテリアには、ドライビングエクスペリエンスを向上させるさまざまなタイプの照明が装備されています。例えば読書灯、グローブボックスランプ、グランドライトなどがあります。

次の場合、最低 5 分間は、ルームランプを手動で点灯/消灯させることができます。

- 車両をオフにして、車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にした場合
- 車両をロック解除したが、始動していない場合

フロントルーフランプ

ルーフコンソールの読書灯およびルームランプのスイッチ

1. 左側読書灯
2. ルームランプ
3. ルームランプの自動機能
4. 右側読書灯

読書灯

右側および左側の読書灯は、ルーフコンソールのボタンを短く押すことにより点灯/消灯することができます。ボタンを長押しすると明るさを調整できます。

ルームランプ

フロアライトおよびインテリアルーフランプは、ルーフコンソールのボタンを短く押して点灯/消灯します。

ルームランプの自動機能

ルーフコンソールの **AUTO** ボタンを短く押すと、自動機能がオンになります。自動システムがオンになっている場合、以下の状況に応じてボタンのライトインジケーターが点灯し、車内の照明が点灯/消灯します。

ルームランプ：

- 車両のロックを解除したとき、および車両をオフにしたときに点灯します。
- 車両を始動するとき、および車両をロックするときに消灯します。
- ドアを開けると点灯し、閉じると消灯します。
- いずれかのドアが開いていると、ライトは 2 分間点灯したままになります。

* オプション/アクセサリー。

リアルーフランプ
車両後部エリアには、車内照明としても使用される読書灯があります。

リアシートの上にある読書灯

パノラマルーフ*装備車の場合、ランプユニットが 2 個(ルーフの各側に 1 個ずつ)あります。

読書灯は、ランプのボタンを短く押して点灯/消灯します。ボタンを長押しすると明るさを調整できます。

グローブボックスランプ
グローブボックスランプは、グローブボックスリッドの開閉と連動して点灯/消灯します。

サンバイザーミラーランプ*
サンバイザーのミラーランプは、カバーの開閉と連動して点灯/消灯します。

グランドライト*
グランドライトは、ドアの開閉と連動して点灯/消灯します。

シルライト
シルライトは、ドアの開閉と連動して点灯/消灯します。

カーゴスペースランプ
カーゴスペースランプは、テールゲートの開閉と連動して点灯/消灯します。

アンビエントライト
アンビエントライトは、ドアを開けると点灯し、車両をロックすると消灯します。アンビエントライトの明るさは、センターディスプレイで調節することができます。また、メーター・パネルのコントロールダイヤルを使用して微調整することもできます。

インテリアシアターライト*
車両には、ライトの色を変化させることができる LED が装備されています。これらのライトは車両の作動中に点灯します。インテリアシアターライトは、センターディスプレイで調節することができます。また、メーター・パネルのコントロールダイヤルを使用して微調整することもできます。

ドアの小物入れのランプ
ドアの小物入れのランプは、ドアを開けると点灯し、車両をロックすると消灯します。明るさは、メーター・パネルのコントロールダイヤルを使用して微調節することができます。

トンネルコンソールのフロントカップホルダーのランプ
フロントカップホルダーのランプは、車両をロック解除すると点灯し、車両をロックすると消灯します。明るさは、メーター・パネルのコントロールダイヤルを使用して微調節することができます。

関連情報
- ルームランプの調節（p. 202）
- ライトスイッチ（p. 188）
- イグニッション位置（p. 480）
- 車内インテリア（p. 632）

ルームランプの調節

車内のライトは、使用中のイグニッション位置に応じて点灯の仕方が異なります。ルームランプはメーター・パネルのコントロールダイヤルで調節できます。また、一部のランプ機能は、センターディスプレイから調節することもできます。

ディスプレイの照明、コントロールの照明、アンビエントライトおよびインテリアシアターライト*の調節には、メーター・パネルのコントロールダイヤル(ステアリングホイールの左)を使用します。

アンビエントライトの調節

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明 ➔ 車内照明** をタップします。
3. 以下の設定の中から選択します。
   - **環境照明強度** で、**オフ**、**低** および **高** から選択します。
   - **環境照明レベル** で、**下げる** および **フル** から選択します。

インテリアシアターライト*の調節

車両には、ライトの色を変化させるために LED が多数装備されています。これらのライトは車両の作動中に点灯します。

ライトの明るさの変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明 ➔ 車内照明 ➔ インテリアシアターライト** をタップします。
3. **インテリアシアターライトの照度** で、**オフ**、**低** および **高** から選択します。

ライトの色の変更

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明 ➔ 車内照明 ➔ インテリアシアターライト** をタップします。
3. **温度** および **色で調節** の中から選択して、ライトの色を変更します。

   温度 オプションを使用すると、ライトは設定した車内温度に応じて変化します。

   色で調節 オプションでは、**テーマカラー** サブカテゴリーを使用してさらに調節することができます。

関連情報

- ルームランプ（p. 200）
- センターディスプレイでライト機能を調節する（p. 189）
- イグニッション位置（p. 480）

ウインド、ガラスおよびミラー

ウインド、ガラスおよびミラー

車両には、ウインド、ガラスおよびミラー用のコントロールがあります。ウインドの一部はラミネート加工されています。

ラミネーテッドガラス

ウインドスクリーンにはラミネーテッドガラスが使用されています。また、その他のガラスにはラミネーテッドガラスがオプションとして用意されています。ラミネーテッドガラスは補強されているため、不正侵入に対する保護が強化され、車内の防音効果も高くなっています。

パノラマルーフ*にもラミネーテッドガラスが使用されています。

ラミネーテッドガラスが採用されているウインドには、このシンボルが表示されています[1]。

関連情報

- ウインドおよびサンブラインドのピンチプロテクション（p. 204）
- パノラマルーフ*（p. 211）
- パワーウインド（p. 205）
- ルームミラー/ドアミラー（p. 208）
- サンブラインド*を使用する（p. 207）
- ヘッドアップディスプレイ*（p. 179）
- ウインドスクリーンワイパーを使用する（p. 216）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用（p. 219）
- ヒーテッドウインドスクリーン*のオン/オフ（p. 262）
- リアウインドおよびドアミラーデフロストのオン/オフ（p. 263）

ウインドおよびサンブラインドのピンチプロテクション

すべてのパワーウインドおよびサンブラインド*にはピンチプロテクションがあり、開閉の途中で障害物によって動きが妨げられるとその機能が作動します。

動きが妨げられた場合、妨げられた位置から約50 mm（約2インチ）ほど（またはフルベンチレーションポジションまで）自動的に開きます。

凍結などにより閉操作が途中でキャンセルされた場合でも、コントロールボタンを同じ方向に押し続けることでピンチプロテクションを無効にすることができます。

ピンチプロテクションになんらかの不具合が生じた場合は、リセット手順を試すことができます。

⚠ 警告

メインバッテリーの接続を外した場合、自動開閉機能を正しく作動させるためにはリセットが必要です。ピンチプロテクションが作動するためにはリセットすることが必要です。

[1] ウインドスクリーンまたはパノラマルーフ*には適用されません。これらのガラスにはかならずラミネーテッドガラスが採用されているため、このシンボルはありません。

関連情報

- ピンチプロテクションのリセット手順（p. 205）
- パワーウインドの操作（p. 206）
- サンブラインド*を使用する（p. 207）
- パノラマルーフ*（p. 211）

ピンチプロテクションのリセット手順

パワーウインドの電動機能に問題が生じた場合は、リセット手順を試すことができます。

⚠ 警告

メインバッテリーの接続を外した場合、自動開閉機能を正しく作動させるためにはリセットが必要です。ピンチプロテクションが作動するためにはリセットすることが必要です。

問題が解消されない場合、あるいはパノラマルーフまたはサンルーフが関わっている場合、サービス工場[2]にご連絡ください。

パワーウインドのリセット

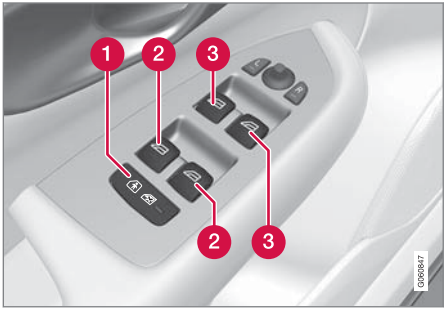
1. ウインドが閉位置の状態で開始します。
2. 手動位置で上方向の閉位置まで3回操作します。
   > システムは自動的に初期化されます。

関連情報

- ウインドおよびサンブラインドのピンチプロテクション（p. 204）
- パワーウインドの操作（p. 206）
- サンブラインド*を使用する（p. 207）

パワーウインド

パワーウインドは、各ドアのコントロールパネルを使用して操作します。運転者のドアには、すべてのウインドを操作するスイッチ、およびチャイルドロックを作動するスイッチも付いています。



運転席側ドアのコントロールパネル

1. リアドアのスイッチを無効にし、ドアやウインドが車内から開かないようにするパワー・チャイルドロック*
2. リアパワーウインドスイッチ
3. フロントパワーウインドスイッチ

パワーウインドには、ピンチプロテクションが付いています。ピンチプロテクションになんら

[2] ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

かの不具合が生じた場合は、リセット手順を試すことができます。

⚠ 警告

可動部分に乗員や物品が挟まれるおそれがあります。特にお子様には注意してください。

- ウインドの操作は、つねに慎重におこなってください。
- お子様にスイッチ類を操作させないでください。
- 車内にお子様だけを放置しないでください。
- 車両から離れる際には、車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にしてパワーウインドへの電源を切り、リモートコントロールキーを携帯してください。
- 車両の電気系統が完全に切れている場合でも、絶対に物または体の一部をウインドから出さないでください。

関連情報

- パワーウインドの操作（p. 206）
- ウインドおよびサンブラインドのピンチプロテクション（p. 204）
- ピンチプロテクションのリセット手順（p. 205）

パワーウインドの操作

運転席ドアのコントロールパネルでは、すべてのパワーウインドを操作することができます。その他のドアのコントロールパネルでは、個々のドアのパワーウインドを操作します。

パワーウインドには、ピンチプロテクションが付いています。ピンチプロテクションになんらかの不具合が生じた場合は、リセット手順を試すことができます。

⚠ 警告

可動部分に乗員や物品が挟まれるおそれがあります。特にお子様には注意してください。

- ウインドの操作は、つねに慎重におこなってください。
- お子様にスイッチ類を操作させないでください。
- 車内にお子様だけを放置しないでください。
- 車両から離れる際には、車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にしてパワーウインドへの電源を切り、リモートコントロールキーを携帯してください。
- 車両の電気系統が完全に切れている場合でも、絶対に物または体の一部をウインドから出さないでください。

パワーウインドの操作

1. 手動操作。コントロールボタンの 1 つを上または下に軽く動かします。コントロールボタンの位置を保持している間、パワーウインドが上または下に動きます。
2. 自動操作。スイッチを上または下へいっぱいまで動かして、放します。ウインドは自動的にエンドポジションまで上/下します。

パワーウインドを使用するには、イグニッション位置が **I** または **II** にある必要があります。車両をオフにし、イグニッションをオフにした後も数分間はパワーウインドを操作できますが、いったんドアを開けると操作できなくなります。同時に複数のコントロールパネルを操作することはできません。

リモートコントロールキーまたはドアハンドルによるキーレスオープン機能*を使用して開くこともできます。

* オプション/アクセサリー。

⚠ 警告

リモートコントロールキー、またはドアハンドル(キーレスオープン*)ですべてのウインドを閉じるときには、お子様やその他の乗員が挟まれる危険がないことを確認してください。

ⓘ 注意

リアパワーウインドが開いているときに発生する風圧音は、フロントウインドを少し開けると低減させることができます。

ⓘ 注意

車速が約 180 km/h (約 112 mph)を超えている場合、ウインドを開けることはできませんが、閉じることはできます。

運転者には、つねに現行の交通規則に従う責任があります。

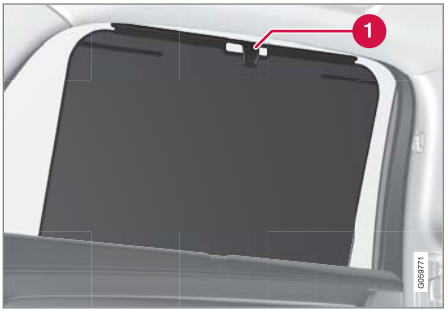
関連情報

- パワーウインド (p. 205)
- ウインドおよびサンブラインドのピンチプロテクション (p. 204)
- ピンチプロテクションのリセット手順 (p. 205)
- キーレスロック/ロック解除* (p. 307)
- リモートコントロールキーによるロックおよびロック解除 (p. 286)

サンブラインド*を使用する

サンブラインドは各リアドアに組み込まれています。

リアドア – 手動操作



図は概略図です。バージョンは異なる場合があります。

1 キャッチに取り付けます。

– サンブラインドを引き上げて、上部ドアフレームのフックにかけます。

サンブラインドが引き上げられていても、ウインドが開閉できます。

関連情報

- ウインドおよびサンブラインドのピンチプロテクション (p. 204)
- ピンチプロテクションのリセット手順 (p. 205)
- パワーウインド (p. 205)

ルームミラー/ドアミラー

ルームミラーおよびドアミラーは、運転者が後方視界を確保できるようにするために使用されます。

ルームミラー

ルームミラーは、手動で簡単に角度を調節することができます。ルームミラーには、HomeLink*、自動防眩機能*およびコンパス*を装着することができます。

ドアミラー

⚠ 警告

両側のミラーは、最適な視野が得られるように湾曲しています。後続車や物体は、実際よりも遠くに見える場合がありますので注意してください。

ドアミラーの位置は運転席ドアのコントロールパネルのレバーで調節します。パワーシート*のメモリー機能ボタンとリンクさせることのできる自動設定も多数用意されています。

関連情報

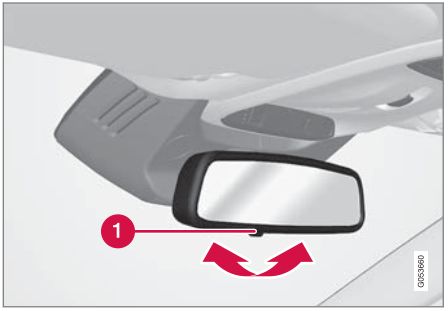
- HomeLink®* (p. 540)
- コンパス* (p. 544)
- ルームミラー防眩機能の調節 (p. 208)
- ドアミラーの角度調節 (p. 209)
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する (p. 226)
- リアウインドおよびドアミラーデフロストのオン/オフ (p. 263)

ルームミラー防眩機能の調節

後方からの明るい光がルームミラーに反射して、眩しく感じることがあります。後ろからの光が気になる場合には、防眩機能を使用します。

手動防眩機能

ルームミラーは、ミラー下側のコントロールを使用して眩しさを調節することができます。



1 手動防眩切替レバー

1. 防眩機能を使用する場合は、防眩切替レバーを手前に引きます。
2. 防眩切替レバーを押して、通常位置に戻します。

自動防眩機能付ミラーには手動防眩機能のコントロールボタンはありません。

* オプション/アクセサリー。

自動防眩機能*

バックミラーに反射する後続車のライトを、自動的に和らげます。リバース位置を選択している場合を除き、自動防眩機能は走行中つねに作動しています。

注意

感度を変更した場合、減光状態はすぐに大きく変化することはなく、ゆるやかに変化していきます。

防眩機能の感度はルームミラーとドアミラーの両方に影響します。

防眩機能の感度を変更するには：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ルーム/ドアミラーおよびコンビニエンス** をタップします。
3. **自動防眩リアビューミラー** で、**普通**、**暗い** または **明るい** を選択します。

ルームミラーにはセンサーが 2 つあり、1 つは前方を、もう 1 つは後方を向いています。これらのセンサーが連動して眩しい光を判別および除去します。前向きのセンサーは周囲の光を感知します。後ろ向きのセンサーは後続車のヘッドライトの光を感知します。

ドアミラーに自動防眩機能を装着する場合、ルームミラーにも自動防眩機能を装着する必要があります。

注意

駐車証、トランスポンダー、サンバイザー、シートやカーゴスペースの荷物などで、センサーが遮られ、光がセンサーに届かない場合は、ルームミラーおよびドアミラーの防眩機能が低下します。

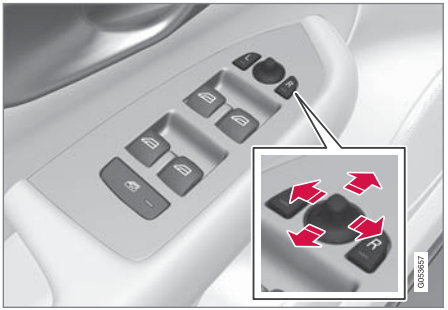
関連情報

- ルームミラー/ドアミラー（p. 208）
- ドアミラーの角度調節（p. 209）

ドアミラーの角度調節

良好な後方視界を確保するために、運転者の好みに合わせてドアミラーを設定する必要があります。パワーシート*のメモリー機能ボタンとリンクさせることもできる自動設定が多数用意されています。

ドアミラースイッチの使用



ドアミラースイッチ

ドアミラーの位置は運転席ドアのコントロールパネルのレバーで調節します。イグニッション位置が **I** 以上である必要があります。

1. 左側のミラーを調節するときは **L**、右側のミラーを調節するときは **R** ボタンを押します。ボタンの LED が点灯します。
2. 中央のノブを使用して、位置を調節します。
3. **L** または **R** ボタンを再度押します。ボタンの LED が消灯します。

ドアミラーの電動格納*

狭い場所に駐車するときや狭い場所を通過するときは、ドアミラーを格納することができます。

1. **L** ボタンおよび **R** ボタンを同時に押します。
2. 約 1 秒間押してから放します。ミラーは自動的に格納位置まで動いて停止します。

ドアミラーを使用位置に戻すときは、**L** と **R** ボタンを同時に押します。ミラーは自動的に、使用位置まで動いて停止します。

中立位置へセットし直す

外部からの影響でドアミラー本体の位置が動いてしまったときは、電動格納/展開機能*を正常に機能させるため、ドアミラーを中立位置に電動でリセットする必要があります。

1. **L** と **R** ボタンを同時に押して、ドアミラーを格納します。
2. **L** と **R** を同時に押して、ドアミラーを使用位置に戻します。
3. 必要に応じてこの手順を繰り返します。

ドアミラー本体が中立位置にリセットされます。

駐車時の角度調節 [3]

駐車するときなどに路面がよく見えるように、ドアミラーを下向きに傾けることができます。

- リバースギヤに入れ、**L** または **R** ボタンを押します。

あらかじめ選択されていたかどうかにより、ボタンを 2 回押すことが必要になる場合があります。ドアミラーが下方向に傾くと、ボタンが点滅します。リバースギヤの選択を解除すると、ドアミラーは約 3 秒後に自動的に戻り始め、約 8 秒後に元の位置に戻ります。

駐車時の自動角度調節 [3]

この設定を使用すると、リバースギヤを選択したときに、ドアミラーが自動的に下方向に傾きます。格納位置はあらかじめ設定されており、調節できません。**L** または **R** ボタンを 2 回押すと、ドアミラーを元の位置に戻すことができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ルーム/ドアミラーおよびコンビニエンス** をタップします。
3. **バック時にドアミラーを下向きにする** で、**オフ**、**運転席**、**助手席** または **両方** を選択して、オン/オフの切り替えと角度を変更するミラーを選択します。

ロック時の自動格納*

リモートコントロールキーで車両をロック/ロック解除したときに、ドアミラーを自動的に格納位置/使用位置に動かすことができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ルーム/ドアミラーおよびコンビニエンス** をタップします。
3. **ロック時にドアミラーを格納** を選択して、オン/オフにします。

関連情報

- ルームミラー/ドアミラー（p. 208）
- ルームミラー防眩機能の調節（p. 208）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する（p. 226）
- リアウインドおよびドアミラーデフロストのオン/オフ（p. 263）

[3] メモリーボタン*付きパワーシートが装備されている場合のみ。

パノラマルーフ*

パノラマルーフは 2 つのガラスセクションに分かれています。フロントセクションは後端を水平方向(開位置)または垂直方向(ベンチレーションポジション)に開くことができます。リアセクションは固定式のルーフガラスです。

パノラマルーフには、ウインドデフレクターと通気孔付ファブリックを使用したサンブラインドがガラスルーフの下に取り付けられており、強い日差しなどから保護します。

パノラマルーフおよびサンブラインドは、ルーフに取り付けられているスイッチで操作します。

リモートコントロールキーまたはドアハンドルによるキーレスオープン機能*を使用して開くこともできます。

パノラマルーフおよびサンブラインドは、車両の電気系統がイグニッション位置 I または II のときに操作することができます。

⚠ 警告

可動部分に乗員や物品が挟まれるおそれがあります。特にお子様には注意してください。

- ウインドの操作は、つねに慎重におこなってください。
- お子様にスイッチ類を操作させないでください。
- 車内にお子様だけを放置しないでください。
- 車両から離れる際には、車両の電気系統をイグニッション位置 0 にしてパワーウインドへの電源を切り、リモートコントロールキーを携帯してください。
- 車両の電気系統が完全に切れている場合でも、絶対に物または体の一部をウインドから出さないでください。

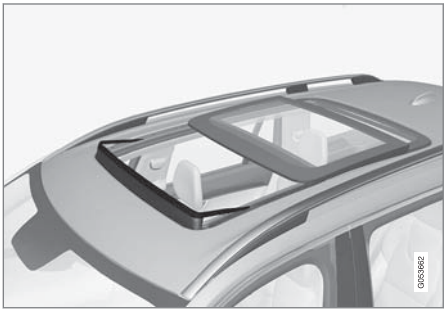
重要

- ロードキャリアが装着されている場合、パノラマルーフを開けないでください。
- パノラマルーフには重い荷物を載せないでください。

重要

- パノラマルーフを開ける前に、氷や雪を取り除いてください。表面を傷つけたりウェザーストリップを損傷したりしないよう注意してください。
- パノラマルーフが閉じて凍り付いている場合には、パノラマルーフを操作しないでください。

ウインドデフレクター



パノラマルーフには、ルーフを開けた状態で走行するときに使用できるウインドデフレクターが取り付けられています。

関連情報

- パノラマルーフ*の操作（p. 212）
- パノラマルーフ*のサンブラインドの自動閉動作（p. 214）

- ウインドおよびサンブラインドのピンチプロテクション（p. 204）
- キーレスロック/ロック解除*（p. 307）
- リモートコントロールキーによるロックおよびロック解除（p. 286）

パノラマルーフ*の操作

パノラマルーフおよびサンブラインドは、ルーフパネルのスイッチで操作します。ともにピンチプロテクションを備えています。

⚠ 警告

可動部分に乗員や物品が挟まれるおそれがあります。特にお子様には注意してください。

- ウインドの操作は、つねに慎重におこなってください。
- お子様にスイッチ類を操作させないでください。
- 車内にお子様だけを放置しないでください。
- 車両から離れる際には、車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にしてパワーウインドへの電源を切り、リモートコントロールキーを携帯してください。
- 車両の電気系統が完全に切れている場合でも、絶対に物または体の一部をウインドから出さないでください。

重要

- ロードキャリアが装着されている場合、パノラマルーフを開けないでください。
- パノラマルーフには重い荷物を載せないでください。

重要

- パノラマルーフを開ける前に、氷や雪を取り除いてください。表面を傷つけたりウェザーストリップを損傷したりしないよう注意してください。
- パノラマルーフが閉じて凍り付いている場合には、パノラマルーフを操作しないでください。

パノラマルーフおよびサンブラインドは、車両の電気系統がイグニッション位置 **I** または **II** のときに操作することができます。

リモートコントロールキーまたはドアハンドルによるキーレスオープン機能*を使用して開くこともできます。

* オプション/アクセサリー。

⚠ 警告

リモートコントロールキー、またはドアハンドル(キーレスオープン*)ですべてのウインドを閉じるときには、お子様やその他の乗員が挟まれる危険がないことを確認してください。

重要

パノラマルーフを閉めたときは、完全に閉まっていることを確認してください。

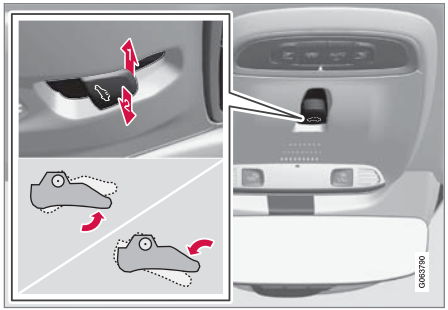
手動操作中にスイッチから手を離した場合や、ガラスがコンフォート位置[4]、全開または全閉位置に到達した場合、ルーフの動きは停止します。ルーフスイッチを再度操作して現在動いている方向と逆方向に動かした場合も、パノラマルーフおよびサンブラインドの動きは停止します。

パノラマルーフおよびサンブラインドには、ピンチプロテクションも付いています。ピンチプロテクションになんらかの不具合が生じた場合は、リセット手順を試すことができます。

注意

マニュアル操作では、パノラマルーフを開ける前に、ルーフ/サンブラインドが完全に開いていなければなりません。閉じるときは、パノラマルーフを完全に閉じないと、サンブラインドを完全に閉じることができません。

ベンチレーションポジションの開閉



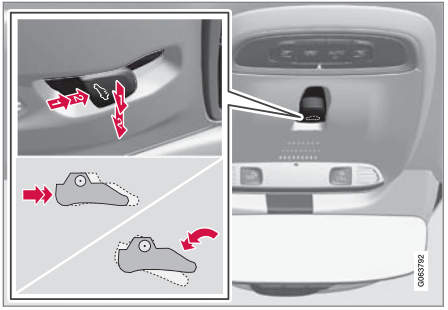
ベンチレーションポジション(後端を垂直方向に開けた状態)

1. スイッチを 1 度上に押すと開きます。
2. スイッチを 1 度下に押すと閉じます。

ベンチレーションポジションを選択すると、ウインドスクリーンカバーの後端が持ち上がります。サンブラインドが完全に閉じている状態でベンチレーションポジションを選択した場合は、自動的に約 50 mm(約 2 インチ)開きます。

パノラマルーフをベンチレーションポジションから閉じると、サンブラインドは自動的に追従します。

ルーフスイッチを使用してパノラマルーフを全開/全閉する



1. 操作、手動モード
2. 操作、自動モード

[4] コンフォート位置は、走行中の風切り音や共鳴音を快適な音量に抑えることのできる位置です。

手動操作

1. サンブラインドを開けるには、スイッチを後方に押して手動開操作位置にします。
2. パノラマルーフをコンフォート位置まで開く – スイッチをもう一度後方に押して手動開操作位置にします。
3. パノラマルーフを全開位置まで開く – スイッチをもう一度後方に押して手動開操作位置にします。

閉じるには、上記の操作を逆の手順で行います。スイッチを手動閉操作の方向(前方/下方)へ押します。

自動操作

1. サンブラインドを最大位置まで開く – スイッチを後方に押して自動開の位置にし、放します。
2. パノラマルーフをコンフォート位置まで開く – スイッチをもう一度後方に押して自動開操作位置にして手を離します。
3. パノラマルーフを全開位置まで開く – スイッチをもう一度後方に押して自動開操作位置にして手を離します。

閉じるには、上記の操作を逆の手順で行います。スイッチを自動閉操作の方向(前方/下方)へ押します。

自動操作 – 高速開/閉

パノラマルーフとサンブラインドは同時に開閉できます。

- 開けるには、スイッチを「自動開」の方向(後方)へ2度押して放します。
- 閉じるには、スイッチを自動操作の方向(前方/下方)へ2回押して放します。

関連情報

- パノラマルーフ*(p. 211)
- パノラマルーフ*のサンブラインドの自動閉動作(p. 214)
- ウインドおよびサンブラインドのピンチプロテクション(p. 204)
- キーレスロック/ロック解除*(p. 307)
- リモートコントロールキーによるロックおよびロック解除(p. 286)

パノラマルーフ*のサンブラインドの自動閉動作

この機能を使用すると、気温の高いときに駐車した場合、車両のロックから15分後にサンブラインドが自動的に閉じます。この動作は、車内の温度を下げることと、内装の日焼けを防止することが目的です。

この機能は工場出荷時点でオフになっており、センターディスプレイでオン/オフを切り替えることができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック** をタップします。

   自動でサンルーフカーテンを閉じる を選択して、オン/オフにします。

> **注意**
>
> サンブラインドは、リモートコントロールキーまたはドアハンドルのキーレスオープン*ですべてのウインドを閉じたときにも閉じます。

関連情報

- パノラマルーフ*(p. 211)
- パノラマルーフ*の操作(p. 212)
- ウインドおよびサンブラインドのピンチプロテクション(p. 204)

* オプション/アクセサリー。

- キーレスロック/ロック解除*（p. 307）
- リモートコントロールキーによるロックおよびロック解除（p. 286）

ワイパーブレードおよびウォッシャー液

ワイパーをウォッシャー液と併用することで、視界とヘッドライトの照射パターンが向上します。

冷寒時は、ウォッシャー液の凍結を防止するため、ウォッシャーノズルが自動的に加熱されます*。

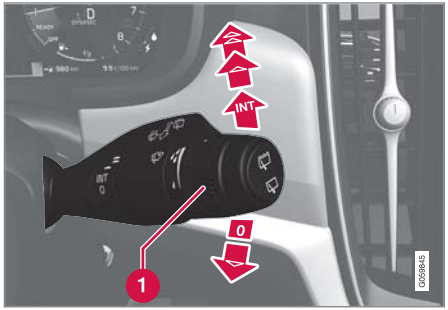
ウォッシャー液の残量が約 1L(1qt)になると、ウォッシャー液の補充が必要であることを示す情報がドライバーディスプレイに表示されます。

関連情報

- レインセンサーを使用する（p. 217）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用（p. 219）
- 後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する（p. 221）
- レインセンサーのメモリー機能の使用（p. 218）
- リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用（p. 220）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 711）
- サービスポジションのワイパーブレード（p. 710）
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換（p. 709）
- リアウインドワイパーブレードの交換（p. 707）
- ウインドスクリーンワイパーを使用する（p. 216）

ウインドスクリーンワイパーを使用する

ウインドスクリーンワイパーはウインドスクリーンを清掃します。ウインドスクリーンワイパーの設定には、右ステアリングホイールレバーを使用します。



右ステアリングホイールレバー

1 コントロールダイヤル：レインセンサー の感度およびワイパーの作動頻度の設定に使用。

シングルストローク

ワイパーレバーを下げて放すと、ワイパーが 1 回だけ作動します。

ウインドスクリーンワイパーオフ

0 ワイパーレバーを 0 位置に戻すと、ワイパーが停止します。

間欠ワイパー

INT 間欠ワイパー位置のときには、コントロールダイヤルを使用してワイパーの作動間隔を調節することができます。

ワイパー連続作動

ワイパーレバーを押し上げると、ワイパーは通常の速さで作動します。

ワイパーレバーをさらに押し上げると、ワイパーは高速で作動します。

重要

ワイパーを作動させる前に、ウインドスクリーン(およびリアウインド)とワイパーブレードが凍結していないか確認してください。積もった雪や凍結を取り除いてからワイパーを作動させてください。

重要

ワイパーを作動させるときは、ウォッシャー液を十分に使用してください。ウインドスクリーンが濡れている状態であることが必要です。

関連情報

- レインセンサーを使用する（p. 217）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用（p. 219）
- 後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する（p. 221）
- ワイパーブレードおよびウォッシャー液（p. 215）
- レインセンサーのメモリー機能の使用（p. 218）
- リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用（p. 220）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 711）
- サービスポジションのワイパーブレード（p. 710）
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換（p. 709）
- リアウインドワイパーブレードの交換（p. 707）

レインセンサーを使用する

レインセンサーはウインドスクリーンに付着した水滴の量を感知して、フロントワイパーを自動的に作動・停止させます。レインセンサーの感度は、右ステアリングホイールレバーのコントロールダイヤルで調節することができます。

右ステアリングホイールレバー

1. レインセンサーボタン
2. コントロールダイヤルによる感度/作動回数の調節

レインセンサーがオン場合、レインセンサーのシンボル がドライバーディスプレイに表示されています。

レインセンサーをオンにする

レインセンサーをオンにする場合は、車両走行中または電気系統がイグニッション位置 I または II のときに、ウインドスクリーンワイパーレバーを 0 位置またはシングルストローク作動位置にする必要があります。

レインセンサーボタン を押して、レインセンサーを作動させます。

ワイパーレバーを下方向に押すと、ワイパーがもう 1 回作動します。

コントロールダイヤルを上に回すと感度が増し、下に回すと感度が低下します。コントロールダイヤルを上に回すと、ワイパーが 1 回多く作動します。

レインセンサーをオフにする

レインセンサーボタン を押すか、レバーを上げてワイパーの作動プログラムを変更すると、レインセンサーはオフになります。

イグニッション位置 0 にする、またはエンジンを停止すると、レインセンサーは自動的にオフになります。

ワイパーブレードをサービスポジションにすると、レインセンサーは自動的にオフになります。サービスポジションから動かすと、レインセンサーは自動的に ON に戻ります。

重要

自動洗車機で洗車する際、洗車中にレインセンサーが作動してワイパーが動き出し、ワイパー機構が損傷するおそれがあります。車両が走行しているとき、または車両の電気系統がイグニッション位置 I または II のときに、レインセンサーをオフにしてください。ドライバーディスプレイのシンボルが消灯します。

関連情報

- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用（p. 219）
- 後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する（p. 221）
- ワイパーブレードおよびウォッシャー液（p. 215）
- レインセンサーのメモリー機能の使用（p. 218）
- リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用（p. 220）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 711）
- サービスポジションのワイパーブレード（p. 710）
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換（p. 709）

- リアウインドワイパーブレードの交換 (p. 707)
- ウインドスクリーンワイパーを使用する (p. 216)

レインセンサーのメモリー機能の使用

レインセンサーはウインドスクリーンに付着した水滴の量を感知して、フロントワイパーを自動的に作動・停止させます。

メモリー機能のオン/オフ

レインセンサーのメモリー機能をオンにすると、車両の始動時に毎回レインセンサーボタンを押す必要がなくなります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ワイパー** をタップします。
3. **レインセンサーメモリー** を選択して、メモリー機能をオン/オフにします。

関連情報

- レインセンサーを使用する (p. 217)
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用 (p. 219)
- 後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する (p. 221)
- ワイパーブレードおよびウォッシャー液 (p. 215)
- リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用 (p. 220)
- ウォッシャー液リザーバータンク (p. 711)
- サービスポジションのワイパーブレード (p. 710)
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換 (p. 709)
- リアウインドワイパーブレードの交換 (p. 707)
- ウインドスクリーンワイパーを使用する (p. 216)

ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用

ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーはウインドスクリーンとヘッドライトを清掃します。ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーは、右側のレバースイッチを使用して作動します。

ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの始動

ウォッシャー機能、右側レバー

– 右側レバーを手前に引くと、ウインドスクリーンおよびヘッドライトのウォッシャーが作動します。
  › レバーを放すと、ワイパーが数回動いた後に停止します。

重要

凍結しているときや、リザーバータンクが空のときには、ウォッシャーシステムを作動させないでください。ポンプが損傷するおそれがあります。

ヘッドライトウォッシャー*

ウォッシャー液の節約のため、ヘッドライトウォッシャーはヘッドライトが点灯しているときに所定の間隔で自動的に洗浄されます。

節約洗浄

リザーバータンク内のウォッシャー液の残量が約 1 リットル(1 qt)になると、メッセージ **ｳｫｯｼｬｰ液 レベルが低下。 補充して下さい。** が シンボルとともにドライバーディスプレイに表示され、ヘッドライトへのウォッシャー液の供給が停止します。これはウインドスクリーンを洗浄し、視界を確保することを優先するためです。ヘッドランプは、ハイビームまたはロービームがオンになっている場合にのみ洗浄されます。

関連情報

- レインセンサーを使用する（p. 217）
- 後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する（p. 221）
- ワイパーブレードおよびウォッシャー液（p. 215）
- レインセンサーのメモリー機能の使用（p. 218）
- リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用（p. 220）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 711）
- サービスポジションのワイパーブレード（p. 710）
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換（p. 709）
- リアウインドワイパーブレードの交換（p. 707）
- ウインドスクリーンワイパーを使用する（p. 216）

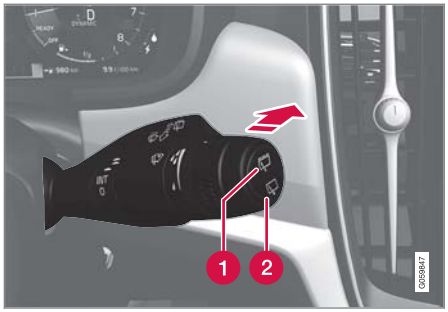
リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用

リアウインドワイパーおよびウォッシャーはリアウインドを清掃します。ウォッシャー/ワイパーの作動および設定の変更には、右ステアリングホイールレバーを使用します。

リアウインドワイパーおよびウォッシャーの作動

注意

リアウインドワイパーモーターには過熱保護が装備されているため、過熱した場合には停止します。リアウインドワイパーは、冷却時間の経過後に再作動します。



1. リアウインドワイパーの間欠ワイパー動作には、 を選択します。
2. リアウインドワイパーの連続動作には、 を選択します。

– 右ステアリングホイールレバーを前方に動かすと、リアウインドウォッシャーおよびワイパーの作動が始まります。

関連情報

- レインセンサーを使用する（p. 217）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用（p. 219）
- 後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する（p. 221）
- レインセンサーのメモリー機能の使用（p. 218）
- ワイパーブレードおよびウォッシャー液（p. 215）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 711）
- サービスポジションのワイパーブレード（p. 710）
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換（p. 709）
- リアウインドワイパーブレードの交換（p. 707）
- ウインドスクリーンワイパーを使用する（p. 216）

後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する

ウインドスクリーンワイパーを作動させているときにリバースギヤにシフトすると、リアウインドワイパーが作動します。この機能は、リバースギヤを解除すると停止します。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ワイパー** をタップします。
3. **自動リアワイパー** を選択して、後退時のワイパー作動をオン/オフにします。

リアウインドワイパーが既に通常速度で作動している場合、作動モードは変更されません。

関連情報

- レインセンサーを使用する（p. 217）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用（p. 219）
- ワイパーブレードおよびウォッシャー液（p. 215）
- レインセンサーのメモリー機能の使用（p. 218）
- リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用（p. 220）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 711）
- サービスポジションのワイパーブレード（p. 710）
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換（p. 709）
- リアウインドワイパーブレードの交換（p. 707）
- ウインドスクリーンワイパーを使用する（p. 216）

シートおよびステアリングホイール

フロントマニュアルシート

車両のフロントシートには、最適な座り心地を提供するためにさまざまな設定オプションがあります。

1. 上下にポンピングして、シートクッション*の前端を上昇/下降させます。[1]
2. レバーを引き上げてシートクッションを前方/後方に手で動かし、シートクッションの長さ*を変更します。
3. ハンドルを持ち上げてシートを前後に調節し、ステアリングホイールおよびペダルまでの距離を調節します。調節後は、シートが確実に固定されていることを確認してください。
4. ボタンを上方/下方/前方/後方に押して、ランバーサポート*を調節します[2]。
5. コントロールを上下に調節して、シートを上昇/下降させます。
6. コントロールノブを回して、バックレストの傾きを変更します。

⚠ 警告

運転席シートの調節は、かならず走行前に行ってください。走行中は絶対に調節しないでください。急ブレーキや事故の際に、ケガをすることがないように、シートが確実に固定されていることを確認してください。

関連情報

- フロントパワー*シート（p. 225）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する（p. 226）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する（p. 227）
- フロントシートのマッサージ設定*の調節（p. 229）
- フロントシートのシートクッションの長さを調節する*（p. 230）
- フロントシートのマッサージ設定*（p. 228）
- フロントシートのサイドサポート*の調節（p. 231）
- フロントシートのランバーサポート*の調節（p. 232）
- 運転席から助手席シートを調節する*（p. 234）

[1] 運転席にのみ適用されます。
[2] 4 ウェイランバーサポート*に適用。2 ウェイランバーサポート*は前後に調節します。

フロントパワー*シート

車両のフロントシートには、最適な座り心地を提供するためにさまざまな設定オプションがあります。パワーシートは前方/後方および上/下に動かすことができます。シートクッションの前部は上下への移動および長さの調節*ができます。また、バックレストの傾きを変えることができます。ランバーサポート*は上/下/前/後に調節することができます[3]。

シートは、ドアをロック解除した後、エンジンが作動していない状態でも、一定時間内は調節することができます。エンジンが作動しているときには、いつでもシートを調節することができます。エンジンを停止した後でも、一定時間内であれば、調節することができます。

重要

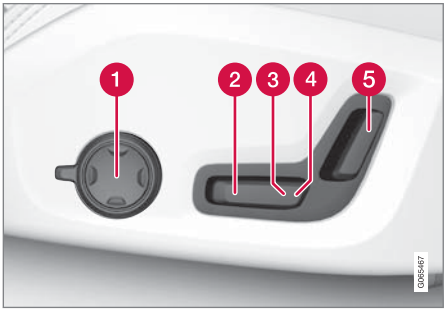
電動シートには、いずれかのシートが障害物によってブロックされると作動する、過負荷防止機能が付いています。この機能が作動した場合は、障害物を取り除いてから再度シートを動かしてください。

関連情報

- フロントマニュアルシート（p. 224）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する（p. 226）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する（p. 227）
- フロントシートのマッサージ設定*の調節（p. 229）
- フロントシートのシートクッションの長さを調節する*（p. 230）
- フロントシートのマッサージ設定*（p. 228）
- フロントシートのサイドサポート*の調節（p. 231）
- フロントシートのランバーサポート*の調節（p. 232）
- 運転席から助手席シートを調節する*（p. 234）

フロントパワー*シートの調節

フロントシートの座面の側面にあるコントロールを使用して、お好みの着座位置になるように設定します。さまざまなコンフォート機能を設定するには、マルチファンクションコントロール[4]を上下に回します。



図は4ウェイランバーサポート*装備車のコントロールを示しています。2ウェイランバーサポート*装備車には、回転式マルチファンクションコントロールが装備されていません。

1. 4ウェイランバーサポート*装備車では、マルチファンクションコントロール[4]を上下に回して、さまざまなコンフォート機能を設定します。2ウェイランバーサポート*装備

[3] 4ウェイランバーサポート*に適用。2ウェイランバーサポート*は前後に調節します。
[4] 2ウェイランバーサポート*装備車には装備されていません。

車では、円形ボタンを使用して、ランバーサポートを前後に調節します。

2. コントロールを上下に調節して、シートクッションの前端を上昇/下降させます。
3. コントロールを上下に調節して、シートを上昇/下降させます。
4. コントロールを前方/後方に調節して、シートを前方/後方に動かします。
5. コントロールを前方/後方に調節して、バックレストの傾きを変更します。

一度に 1 つのシート設定(前/後/上/下)のみ、調節することができます。

フロントシートのバックレストは、前方にいっぱいまで下げることはできません。

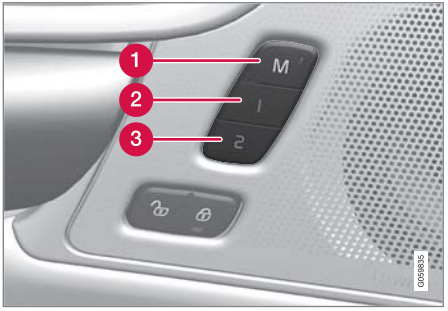
関連情報

- フロントマニュアルシート (p. 224)
- フロントパワー*シート (p. 225)
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する (p. 226)
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する (p. 227)
- フロントシートのマッサージ設定*の調節 (p. 229)
- フロントシートのシートクッションの長さを調節する* (p. 230)
- フロントシートのマッサージ設定* (p. 228)
- フロントシートのサイドサポート*の調節 (p. 231)
- フロントシートのランバーサポート*の調節 (p. 232)
- 運転席から助手席シートを調節する* (p. 234)

シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する

パワー*シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置は、メモリーボタンに保存することができます。

メモリーボタンを使用して、パワー*シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の 2 通りの設定を保存します。ボタンはフロントドアの一方または両方*の内側にあります。



1. 設定保存ボタン M
2. メモリーボタン
3. メモリーボタン

位置を保存する

1. シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイをお好みの位置に調節します。
2. **M** ボタンを長押しします。ボタンのライトインジケーターが点灯します。
3. 3 秒以内に **1** または **2** のいずれかのボタンを押してそのまま保持します。
   > 選択したメモリーボタンに位置が保存されると、確認音が鳴り、**M** ボタンの表示灯が消灯します。

3 秒以内にメモリーボタンを押さないと、**M** ボタンが消灯し、位置は保存されません。

新しいメモリーを設定するには、シート、ドアミラーまたはヘッドアップディスプレイを再調節する必要があります。

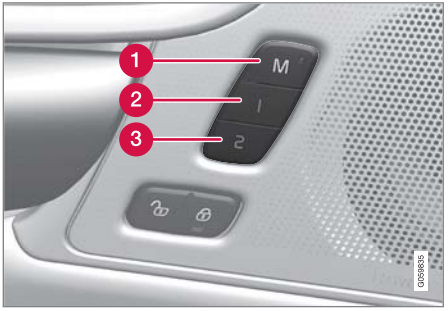
関連情報

- フロントマニュアルシート（p. 224）
- フロントパワー*シート（p. 225）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する（p. 227）
- フロントシートのマッサージ設定*の調節（p. 229）
- フロントシートのシートクッションの長さを調節する*（p. 230）
- フロントシートのマッサージ設定*（p. 228）
- フロントシートのサイドサポート*の調節（p. 231）
- フロントシートのランバーサポート*の調節（p. 232）
- 運転席から助手席シートを調節する*（p. 234）
- ドアミラーの角度調節（p. 209）
- ヘッドアップディスプレイ*の設定（p. 181）

シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する

パワー*シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置が保存されている場合、メモリーボタンを使用するだけで簡単に呼び出すことができます。

メモリー位置に移動する



保存されている設定は、フロントシートのドアが開いているときでも、閉じているときでも使用することができます。

フロントドアが開いている場合

– メモリーボタン **1**（2）または **2**（3）のいずれか 1 つを 1 回短く押します。パワーシート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイが動いて、選択したメモリーボタンに保存されている位置で停止します。

フロントドアが閉じている場合

– メモリーボタン **1** (❷) または **2** (❸) の 1 つを押したまま保持し、シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイが選択したメモリーボタンに保存されている位置で停止したら、ボタンから指を離します。

メモリーボタンから指を離したら、シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイの動きは停止します。

⚠ 警告

- 運転席シートはイグニッションがオフのときに調節できるため、絶対にお子様だけを車内に残したままにしないでください。
- パワーシートコントロールパネルのボタンを押すと、いつでもシートの動きを停止することができます。
- 走行中にはシートを調節しないでください。
- シートを調節するときには、シートの下になにもないことを確認してください。

関連情報

- フロントマニュアルシート (p. 224)
- フロントパワー*シート (p. 225)
- フロントパワー*シートの調節 (p. 225)
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する (p. 226)
- フロントシートのマッサージ設定*の調節 (p. 229)
- フロントシートのシートクッションの長さを調節する* (p. 230)
- フロントシートのマッサージ設定* (p. 228)
- フロントシートのサイドサポート*の調節 (p. 231)
- フロントシートのランバーサポート*の調節 (p. 232)
- 運転席から助手席シートを調節する* (p. 234)
- ドアミラーの角度調節 (p. 209)
- ヘッドアップディスプレイ*の設定 (p. 181)

フロントシートのマッサージ設定*

設定の変更には、シートのマルチファンクションコントロールとセンターディスプレイの両方を使用することができます。設定の範囲はセンターディスプレイに表示されます。

シート座面の横にあるマルチファンクションコントロール

マッサージの設定

マッサージには以下の設定オプションがあります。

- **オン/オフ**:**オン/オフ** を選択して、マッサージ機能をオン/オフにします。
- **プログラム 1–5**:プリセットのマッサージプログラムが 5 つあります。**ｽｳｪﾙ**、**ﾄﾚｯﾄﾞ**、**ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽ**、**ランバー** および **ｼｮﾙﾀﾞｰ** のいずれかを選択します。

- **強度**：**低**、**標準** および **高** のいずれかを選択します。
- **速度**：**遅い**、**標準** および **速い** のいずれかを選択します。

マッサージの再開

マッサージ機能は、20 分が経過すると自動的にオフになります。再開するには、手動で操作します。

– 選択したマッサージプログラムを再開するには、センターディスプレイの **再起動** をタップします。
  › マッサージプログラムが再開されます。なにも対処しないと、メッセージがトップビューに表示され続けます。

関連情報

- フロントマニュアルシート（p. 224）
- フロントパワー*シート（p. 225）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する（p. 226）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する（p. 227）
- フロントシートのマッサージ設定*の調節（p. 229）
- フロントシートのシートクッションの長さを調節する*（p. 230）
- フロントシートのサイドサポート*の調節（p. 231）
- フロントシートのランバーサポート*の調節（p. 232）
- 運転席から助手席シートを調節する*（p. 234）

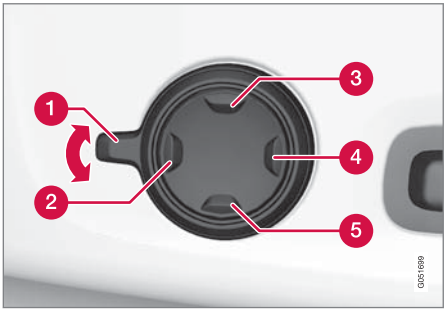
フロントシートのマッサージ設定*の調節

設定の変更には、シートのマルチファンクションコントロールとセンターディスプレイの両方を使用することができます。設定の範囲はセンターディスプレイに表示されます。

フロントシートのマッサージ設定の調節

フロントシートには、バックレストにマッサージ機能が装備されています。マッサージにはエアクッションが使用され、数通りのマッサージ設定が用意されています。

マッサージ機能は、エンジンが作動しているときにのみ使用できます。



1. コントロール 1 を上方向/下方向に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。

2. シート設定ビューで **マッサージ** を選択します。
3. マッサージの機能を切り替えるには、センターディスプレイで直接選択するか、マルチファンクションコントロールの上 3 /下 5 ボタンでカーソルを上/下に動かして選択します。矢印を押す、またはマルチファンクションコントロールの前 2 /後 4 ボタンを使用することにより、センターディスプレイで直接選択された機能の設定を変更します。

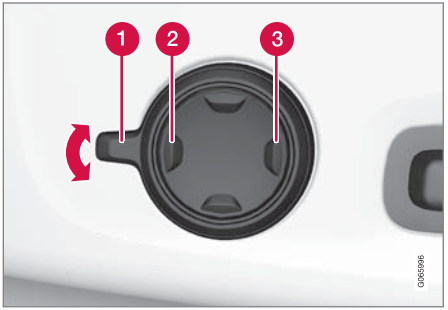
関連情報

- フロントマニュアルシート（p. 224）
- フロントパワー*シート（p. 225）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する（p. 226）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する（p. 227）
- フロントシートのシートクッションの長さを調節する*（p. 230）
- フロントシートのマッサージ設定*（p. 228）
- フロントシートのサイドサポート*の調節（p. 231）
- フロントシートのランバーサポート*の調節（p. 232）
- 運転席から助手席シートを調節する*（p. 234）

フロントシートのシートクッションの長さを調節する*

選択された装備レベルに応じて、シートクッションの長さは、シートクッションの側面にあるマルチファンクションコントロール*を使用して調節、またはシートクッションの前部にあるコントロールを使用して手動調節することができます。

マルチファンクションコントロールを使用してシートクッションの長さを調節する

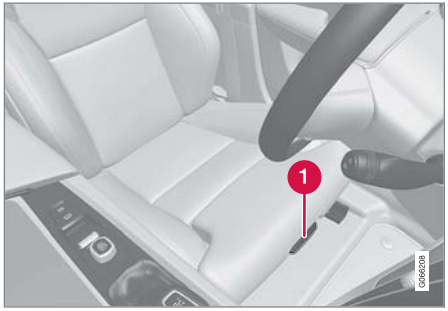


シートクッションの側面にあるマルチファンクションコントロール

1. コントロール 1 を上方向/下方向に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。

2. シート設定ビューで **クッションエクステンション** を選択します。
   - 4 ウェイボタン 2 の前部を押すと、シートクッションが長くなります。
   - 4 ウェイボタンの後部 3 を押すと、シートクッションが短くなります。

シートクッションの長さを手動で調節する



シートクッション調節用ハンドル

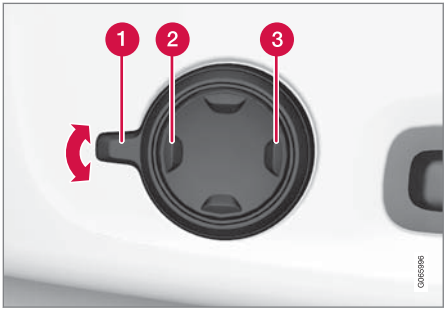
1. シート前部のハンドル 1 をつかんで引き上げます。
2. シートクッションの長さを調節します。
3. ハンドルを放し、シートクッションが適切な位置になったことを確認します。

関連情報

- フロントマニュアルシート（p. 224）
- フロントパワー*シート（p. 225）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する（p. 226）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する（p. 227）
- フロントシートのマッサージ設定*の調節（p. 229）
- フロントシートのマッサージ設定*（p. 228）
- フロントシートのサイドサポート*の調節（p. 231）
- フロントシートのランバーサポート*の調節（p. 232）
- 運転席から助手席シートを調節する*（p. 234）

フロントシートのサイドサポート*の調節

バックレストのサイドサポートを調節することにより、フロントシートの快適性を高めることができます。



シート座面の横にあるマルチファンクションコントロール

サイドサポートが得られるように、バックレストの側面を調節することができます。設定の変更には、シートのマルチファンクションコントロールとセンターディスプレイの両方を使用することができます。設定の範囲はセンターディスプレイに表示されます。

◀◀ サイドサポートを調節するには

1. マルチファンクションコントロールを上方向/下方向 ❶ に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。
2. シート設定ビューで ｻｲﾄﾞﾎﾞﾙｽﾀｰ を選択します。
   - 4 ウェイボタンの前部を押すと、サイドサポートのサポート力が高まります ❷。
   - 4 ウェイボタンの後部を押すと、サイドサポートのサポート力が低下します ❸。

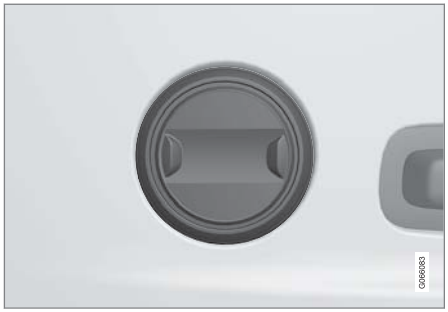
関連情報

- フロントマニュアルシート（p. 224）
- フロントパワー*シート（p. 225）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する（p. 226）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する（p. 227）
- フロントシートのマッサージ設定*の調節（p. 229）
- フロントシートのシートクッションの長さを調節する*（p. 230）
- フロントシートのマッサージ設定*（p. 228）
- フロントシートのランバーサポート*の調節（p. 232）
- 運転席から助手席シートを調節する*（p. 234）

フロントシートのランバーサポート*の調節

ランバーサポートは、シートクッションの横にあるコントロールボタンを使用して調節します。

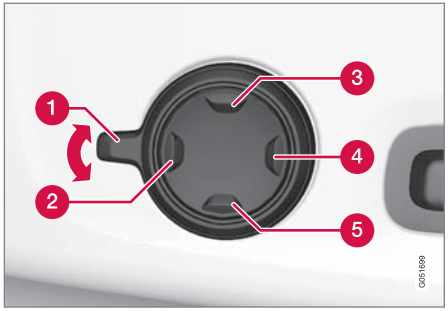
4 ウェイランバーサポート装備車のマルチファンクションコントロール*



2 ウェイランバーサポート*装備車のコントロール

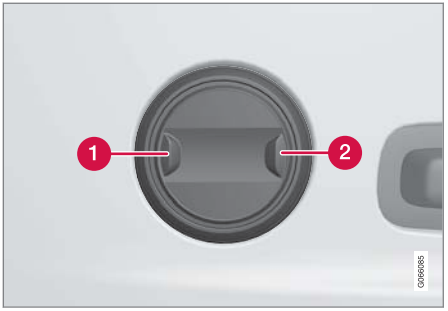
ランバーサポートの調節には、マルチファンクションコントロール(4 ウェイランバーサポート*装備車)または円形ボタン(2 ウェイランバーサポート*装備車)を使用します。コントロールはシート座面の側面にあります。選択された装備レベルに応じて、ランバーサポートは前後上下(4 ウェイランバーサポート)または前後(2 ウェイランバーサポート)に調節できます。

4 ウェイランバーサポート装備車のランバーサポートを調節する



1. コントロール 1 を上方向/下方向に回して、マルチファンクションコントロールを作動させます。センターディスプレイにシート設定ビューが表示されます。
2. シート設定ビューで **ランバー** を選択します。
   - 円形ボタンの上 3 を押すとランバーサポートが上に、下 5 を押すと下に動きます。
   - ボタンの前部 2 を押すと、ランバーサポートのサポート力が高まります。
   - ボタンの後部 4 を押すと、ランバーサポートのサポート力が弱まります。

2 ウェイランバーサポート装備車のランバーサポートを調節する



1. 円形ボタンの前部 1 を押すと、ランバーサポートのサポート力が高まります。
2. 円形ボタンの後部 2 を押すと、ランバーサポートのサポート力が弱まります。

関連情報

- フロントマニュアルシート（p. 224）
- フロントパワー*シート（p. 225）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する（p. 226）
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する（p. 227）

- フロントシートのマッサージ設定*の調節 (p. 229)
- フロントシートのシートクッションの長さを調節する* (p. 230)
- フロントシートのマッサージ設定* (p. 228)
- フロントシートのサイドサポート*の調節 (p. 231)
- 運転席から助手席シートを調節する* (p. 234)

運転席から助手席シートを調節する*

助手席シートは運転席シートから調節することができます。

機能をオンにする

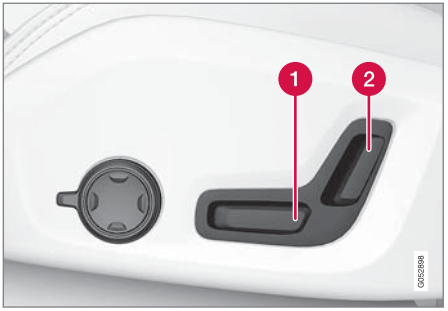
センターディスプレイの機能ビューから起動します。

助手席シートの調節 ボタンを押して、オンにします。

助手席シートを調節する

この機能をオンにしてから 10 秒以内に、運転者は助手席シートを調節する必要があります。この時間内に調節しないと、機能は解除されます。

運転者が助手席シートを調節するときには、運転席のコントロールを次のように使用します。



1. コントロールを前方/後方に調節して、助手席シートを前方/後方に動かします。
2. コントロールを前方/後方に調節して、助手席シートのバックレストの傾きを変更します。

関連情報

- フロントマニュアルシート (p. 224)
- フロントパワー*シート (p. 225)
- フロントパワー*シートの調節 (p. 225)
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*の位置を保存する (p. 226)
- シート、ドアミラーおよびヘッドアップディスプレイ*のメモリー位置を使用する (p. 227)
- フロントシートのマッサージ設定*の調節 (p. 229)

- フロントシートのシートクッションの長さを調節する*（p. 230）
- フロントシートのマッサージ設定*（p. 228）
- フロントシートのサイドサポート*の調節（p. 231）
- フロントシートのランバーサポート*の調節（p. 232）

リアシートのバックレストを倒す

リアシートのバックレストは、2 つのパーツに分かれています。この 2 つのパーツは、個別に前方へ倒すことができます。

⚠ 警告

- シートの調節およびロックは、走行前におこなってください。シートを調節する際は、注意してください。不適切な調整や不注意な調整を行った場合、手や指などが挟まりケガをすることがあります。
- 長い荷物を運ぶ場合、急ブレーキ時のケガおよび損傷を防止するため、かならず荷物をひもなどで確実に固定してください。
- 荷物の積み下ろしは、かならずエンジンを停止してパーキングブレーキをかけてからおこなってください。
- オートマチックトランスミッション車の場合、誤って動くことのないようにギヤセレクターレバーを P にしてください。

重要

バックレストを折り畳む場合には、リアシートになにも置かないでください。また、シートベルトもバックルにはめないでください。リアシートの内装を傷付けるおそれがあります。

重要

インテグレーテッドチャイルドシート*のシートクッションは、リアシートバックレストを倒す前に下側位置にする必要があります。

センターシートのアームレスト*は、シートを下げる前に起こす必要があります。

倒す前に、リアシートのスルーロードハッチを閉じる必要があります。

注意

リアシートバックレストを前方に完全に倒す際は、フロントシートを前方に移動するかバックレストを立てる、またはその両方の作業をする必要があります。

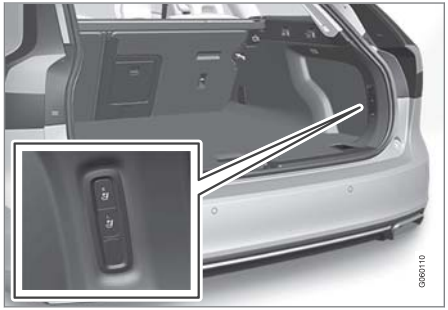
電動可倒機能*を使用してバックレストを倒す

電動可倒式リアシートが装備されている場合、カーゴスペースにあるボタンを使用してシートを倒すことができます。リアシートはシート上部のハンドルを使用して倒すこともできます。

⚠ 警告

リアシートを自動で倒す場合、乗員が閉じ込められる可能性がないことを確認してください。ボタンを押すだけで自動的に動作するため、リアシートに誰も近づかないようにする必要があります。

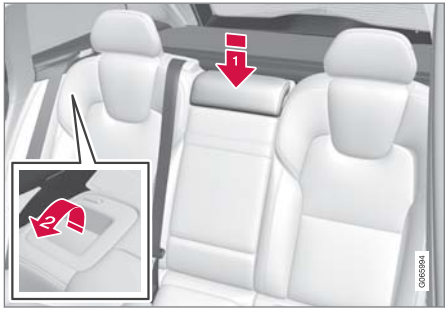
カーゴスペースのボタンを使用してバックレストを倒す



リアシートを倒すには、車両が停止しておりテールゲートが開いている必要があります。リアシートに物がなく、だれも座っていないことを確認します。

1. センターシートのヘッドレストを手動で下げます。
2. ボタンを長押しします。バックレストの左と右に、それぞれ **L**、**R** と書かれたボタンがあります。
3. バックレストのロックが解除されます。最初にヘッドレストが倒れ、次にバックレストが自動的に水平位置まで倒れます。

リアシートのハンドルを使用してバックレストを倒す

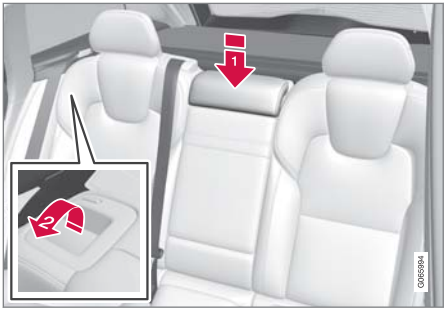


リアシートに物がなく、だれも座っていないことを確認します。

1. センターシートのヘッドレストを手動で下げます。
2. 車両の左側および右側シートのバックレストにあるハンドルを前方に引き、それぞれ左側および右側のリアシートを倒します。
   > バックレストのロックが解除されます。最初にヘッドレストが倒れ、次にバックレストが自動的に水平位置まで倒れます。

バックレストを手動で倒す

リアシートが手動でしか倒せない場合は、リアシートのハンドルを使用して右側および左側のシートを倒します。



リアシートに物がなく、だれも座っていないことを確認します。

1. センターシートのヘッドレストを手動で下げます。

2. 車両の左側および右側シートのバックレストにあるハンドルを前方に引き、それぞれ左側および右側のリアシートを倒します。
3. バックレストのロックが外れるため、手動で水平位置まで倒す必要があります。

バックレストを起こす

バックレストを直立位置まで起こすときは、手動で行います。

1. バックレストを起こす/戻す
2. バックレストを押して、ロックをかみ合わせます。
3. ヘッドレストを手動で起こします。
4. 必要に応じて、センターシートのヘッドレストを持ち上げます。

⚠ 警告

バックレストを起こして固定すると、赤いインジケーターは見えなくなります。それでも見える場合は、バックレストが正しく固定されていません。

⚠ 警告

リアシートバックレストが倒されていた場合には、バックレストおよびヘッドレストが確実に固定されているか確認してください。

リアシートのいずれかに乗員がいる場合には、かならずドア側シートのヘッドレストを起こしてください。

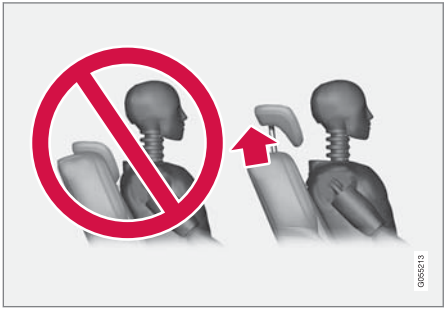
関連情報

- リアシートのヘッドレストの調節 (p. 237)
- プライベートロック (p. 319)
- プライベートロックのオン/オフ (p. 319)

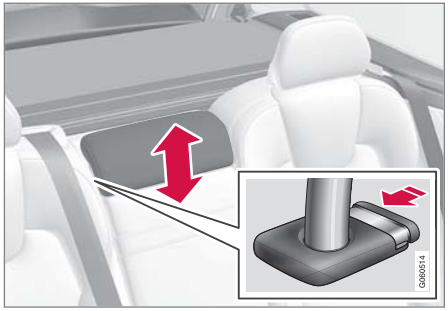
リアシートのヘッドレストの調節

乗員の座高に合わせて、センターシートヘッドレストを調節します。後方の視界を向上させたいときは、ドア側シートのヘッドレスト*を倒してください。

センターシートのヘッドレストを調節する



センターシートのヘッドレストは、後頭部全体を受けられるように乗員の座高に応じて調節する必要があります。必要に応じて、手動で持ち上げます。



ヘッドレストを下げるには、ボタン(図参照)を押しながら、ヘッドレストを注意して押し下げてください。

⚠ 警告

センターシートを使用しない場合は、センターシートのヘッドレストをかならず一番低い位置に設定してください。センターシートを使用する場合は、ヘッドレストを乗員の座高に合わせて正しく調節し、可能であれば後頭部全体をサポートするようにします。

センターディスプレイで*リアシートのドア側ヘッドレストを倒す

ドア側ヘッドレストは、センターディスプレイの機能ビューを使用して倒すことができます。イグニッション位置 **0** のときに、ヘッドレストを倒すことができます。

ヘッドレストを倒す ボタンを押して、ヘッドレストを倒す操作をオン/オフにします。

カチッと音がするまで、ヘッドレストを手で元に戻してください。

⚠ 警告

ドア側のリアシートに乗員が座っているときは、ドア側ヘッドレストを倒さないでください。

⚠ 警告

ヘッドレストを持ち上げた場合には、かならずロック位置に固定してください。

ハンドルでリアシートのドア側ヘッドレストを倒す

電動可倒機能*装備車両では、シート上部のハンドルを使用してドア側ヘッドレストを倒すことができます。図 1 を参照してください。電動可倒機能が装備されている場合、ヘッドレストは固定されています。

関連情報

- リアシートのバックレストを倒す（p. 235）

* オプション/アクセサリー。

ステアリングホイールのコントロールボタンおよびホーン

ステアリングホイールには、ホーンや、運転者サポートシステムおよび音声認識などのコントロールがあります。

ステアリングホイールのステアリングリモコンおよびパドル*

1. 運転者サポートシステム用コントロールボタン[5]
2. オートマチックトランスミッションのマニュアルギヤチェンジ用パドル*
3. 音声認識、メニュー、メッセージおよび電話操作用コントロールボタン

ホーン

ホーンはステアリングホイールの中央にあります。

関連情報

- ステアリングホイールロック（p. 239）
- ステアリングホイールの調節（p. 240）

ステアリングホイールロック

ステアリングホイールロックは、盗難時などに車両の操舵を困難にします。ステアリングホイールロックが作動または解除されるときには、機械音が聞こえることがあります。

ステアリングロックの起動

車両を外側からロックし、エンジンを停止すると、ステアリングロックが起動します。車両がロックされていない状態で一定時間が経過すると、ステアリングロックが自動的に作動します。

ステアリングロックの解除

車両のロックを外側から解除すると、ステアリングロックは解除されます。車両がロックされていない場合、リモートコントロールキーが車内にある状態でエンジンを始動すれば、ステアリングロックは解除されます。

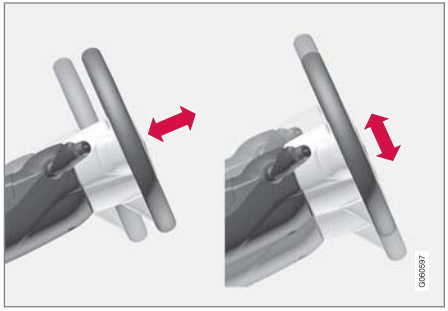
関連情報

- ステアリングホイールのコントロールボタンおよびホーン（p. 239）
- ステアリングホイールの調節（p. 240）

[5] 速度リミッター、クルーズコントロール、アダプティブクルーズコントロール*、車間警告機能*およびPilot Assist。

ステアリングホイールの調節

ステアリングホイールは位置を調節することができます。



ステアリングホイールの位置は上下および前後に調節することができます。

ステアリングホイールの調節方法は、ニーエアバッグの有無により異なります[6]。

⚠ 警告

ステアリングホイールの調節およびロックは、走行前に行ってください。絶対に、走行中にステアリングホイールを調節しないでください。

速度感応式パワーステアリング では、操舵に必要な力を調節することができます。操舵に必要な力は、運転者が路面からの反応を得やすくなるように車速に応じて制御されます。

ニーエアバッグ装備車のステアリングホイールの調節

ステアリングホイール調節レバー

1. ステアリングホイールのロックを解除するときは、レバーを前方に押します。
2. ステアリングホイールの位置を調節します。
3. リリースレバーを元の位置に引き戻して、ステアリングホイールをロックします。レバーを動かしにくいときは、レバーを押し戻すと同時にステアリングホイールを少し押すようにしてロックしてください。

ニーエアバッグ非装備車のステアリングホイールの調節

ステアリングホイール調節レバー

1. レバーを後方に引いて、ステアリングホイールのロックを解除します。
2. ステアリングホイールの位置を調節します。
3. レバーを前方に押して、ステアリングホイールを固定します。レバーを動かしにくいときは、レバーを押し戻すと同時にステアリングホイールを少し押すようにしてロックしてください。

関連情報

- ステアリングホイールロック（p. 239）
- ステアリングホイールのコントロールボタンおよびホーン（p. 239）
- フロントパワー*シートの調節（p. 225）

6 ニーエアバッグは一部の市場でのみ装備されます。

エアコンディショナー

エアコンディショナー

車両には、オートマチック・エアコンディショナーが装備されています。車内の冷暖房と除湿を制御します。

エアコンディショナーシステムのすべての機能は、センターディスプレイとセンターコンソールのボタンで操作します。

リアシートの一部の機能は、トンネルコンソールにあるエアコンディショナー用コントロール*でも操作できます。

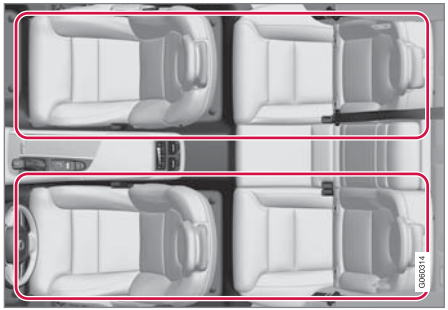
関連情報

- クライメートゾーン（p. 242）
- エアコンディショナー – センサー（p. 243）
- 体感温度（p. 243）
- 音声認識によるエアコンディショナーの操作（p. 244）
- パーキングエアコンディショナー*（p. 269）
- ヒーター*（p. 277）
- 空気の質（p. 245）
- エアディストリビューション（p. 247）
- エアコンディショナー（p. 253）

クライメートゾーン

車両を分割するクライメートゾーンの数によって、車内の異なる部分に、個別に温度を設定することのできるオプションが変わります。

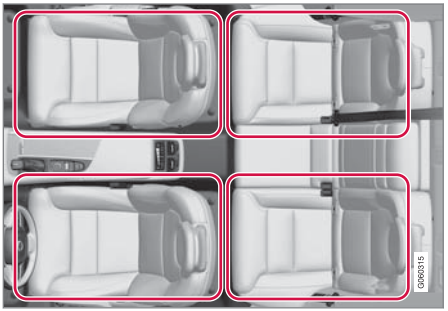
2 ゾーンエアコンディショナー



2 ゾーンエアコンディショナーの空調ゾーン

2 ゾーンエアコンディショナーでは、車内の温度を左右、個別に設定することができます。

4 ゾーンエアコンディショナー*



4 ゾーンエアコンディショナーの空調ゾーン

4 ゾーンエアコンディショナーでは、車内の温度を前後左右、個別に設定することができます。

関連情報

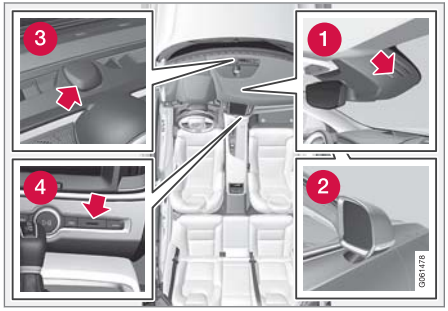
- エアコンディショナー（p. 242）

* オプション/アクセサリー。

エアコンディショナー – センサー

エアコンディショナーシステムは、複数のセンサーを使用して空調を調節します。

センサーの位置



1. 湿度センサー – ルームミラー側のケース内
2. 外気温センサー – 右側ドアミラー内
3. ソーラーセンサー – ダッシュボードの上部
4. 車内温度センサー – センターコンソールのボタンの側

注意

センサーが衣服などで覆われることがないように注意してください。

Interior Air Quality System*装備車には、エアコンディショナーシステム空気取入口にエア・クオリティ・センサーも装備されています。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 242)
- Interior Air Quality System* (p. 246)

体感温度

エアコンディショナーシステムは、実際の温度ではなく、体感温度に基づいて空調を調節します。

車内で選択する温度は、その時点での車内および車両付近の周辺温度、気流速度、湿度、日射量などによる体感温度に対応します。

システムにはセンサーがあり、日光が車内のどちら側に差し込んでいるか検出します。したがって、左右両側を同じ温度に設定しても、左右の空気吹出口から流れる空気の温度が異なる場合があります。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 242)

音声認識[1]によるエアコンディショナーの操作

温度変更、シートヒーター*の作動、またはファンレベルの変更など、エアコンディショナーシステムの音声操作コマンドです。

を押して、以下のコマンドの 1 つを発声します。

- 「**エアコン**」 – エアコンディショナーの対話を開始し、コマンドの例を表示します。
- 「**温度を X 度に設定**」 – 希望する温度を設定します。
- 「**温度を上げる**」/「**温度を下げる**」 – 温度設定を 1 目盛り上げます/下げます。
- 「**温度同期**」 – 車内のすべてのクライメートゾーンの温度を運転席の設定温度と同期します。
- 「**フロア送風オン**」/「**ボディ送風オン**」 – 使用したい吹出口を開けます。
- 「**フロア送風オフ**」/「**ボディ送風オフ**」 – 使用しない吹出口を閉じます。
- 「**ファンを最大**」/「**ファンオフ**」 – 吹出口を Max/Off に変更します。
- 「**ファン速度を上げる**」/「**ファン速度を下げる**」 – ファンレベルを 1 目盛り上げます/下げます。
- 「**オートエアコンオン**」 – オートエアコンディショナーをオンにします。
- 「**エアコンオン**」/「**エアコンオフ**」 – エアコンディショナーをオン/オフにします。
- 「**車内循環オン**」/「**車内循環オフ**」 – エアサーキュレーションをオン/オフにします。
- 「**デフロスターオン**」/「**デフロスターオフ**」 – ウインドおよびドアミラーのデフロスターをオン/オフにします。
- 「**デフロスターオン**」/「**デフロスターオフ**」 – 最大デフロスターをオン/オフにします。
- 「**エレクトリックデフロスターオン**」/「**エレクトリックデフロスターオフ**」 – ヒーテッドウインドスクリーン*をオン/オフにします。
- 「**リアデフロスターオン**」/「**リアデフロスターオフ**」 – リアウインドおよびドアミラーデフロスターをオン/オフにします。
- 「**ステアリングヒーターオン**」/「**ステアリングヒーターオフ**」 – ステアリングホイールヒーター*をオン/オフにします。
- 「**ステアリングヒーターを上げる**」/「**ステアリングヒーターを下げる**」 – ステアリングホイールヒーター*の設定を 1 目盛り上げます/下げます。
- 「**シートヒーターオン**」/「**シートヒーターオフ**」 – シートヒーター*をオン/オフにします。
- 「**シートヒーターを上げる**」/「**シートヒーターを下げる**」 – シートヒーター*の設定を 1 目盛り上げます/下げます。
- 「**シートベンチレーションオン**」/「**シートベンチレーションオフ**」 – ベンチレーテッドシート*をオン/オフにします。
- 「**シートベンチレーション上げる**」/「**シートベンチレーション下げる**」 – ベンチレーテッドシート*の設定を 1 目盛り上げます/下げます。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 242）
- 音声認識（p. 182）
- 音声認識を使用する（p. 183）
- 音声認識の設定（p. 185）

[1] 特定市場に適用

* オプション/アクセサリー。

空気の質

車内に採用されている素材と空気清浄システムにより、車内の空気は良好な状態に維持されます。

車内の素材

車内の内装は接触アレルギーや喘息を持つ方にも快適な設計です。

これらの素材は、車内にほこりを発生させにくく、清掃しやすいように開発されたものです。

車内およびカーゴスペースのカーペットは、簡単に取り外して清掃することができます。

ボルボ推奨のクリーナーとカーケア用品を使用して、車内を清掃してください。

空気清浄システム

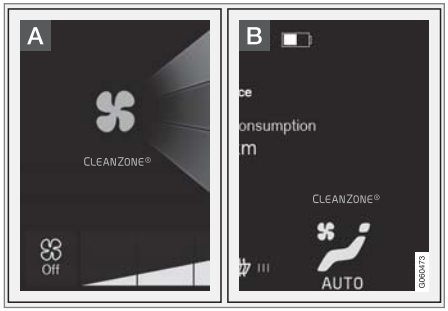
クリーンエアフィルターのほかに、Clean Zone Interior Package*および Interior Air Quality System*も、車内の空気を良好な状態に保つのに役立ちます。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 242)
- Clean Zone* (p. 245)
- Clean Zone Interior Package* (p. 246)
- Interior Air Quality System* (p. 246)
- クリーンエアフィルター (p. 247)

Clean Zone*

Clean Zone 機能は、車内の良質な空気におけるすべての条件が満たされているかどうかを確認し、表示します。



A インジケーターは、センターディスプレイのクライメートビューに表示されます。

B クライメートビューが開いていない場合、インジケーターはクライメート列に表示されます。

条件が満たされていない場合は、**Clean Zone (クリーンゾーン)** のテキストが白色になります。すべての条件が満たされていると、このテキストが青色に変わります。

確認される条件：

- すべてのドアとテールゲートが閉まっているか。
- すべてのパワーウインドとパノラマルーフ*が閉まっているか。
- 空気清浄システム Interior Air Quality System*がオンになっているか。
- ベンチレーションファンがオンになっているか。
- エアリサーキュレーションがオフになっているか。

注意

Clean Zone は空気品質が良好であることを示すものではなく、良好な空気品質の条件が満たされていることを示すだけです。

関連情報

- 空気の質 (p. 245)
- Clean Zone Interior Package* (p. 246)
- Interior Air Quality System* (p. 246)
- クリーンエアフィルター (p. 247)

Clean Zone Interior Package*

Clean Zone Interior Package (CZIP)は、アレルギー源や喘息を引き起こす物質を車内から除去する一連の機能で構成されています。

次の事項が含まれています。

- 拡張ファン機能は、リモートコントロールキーで車両をロック解除したときにファンを作動させます。ファンにより、車内に新鮮な空気を導入します。この機能は必要に応じて作動し、一定時間が経過した後か、いずれかのドアを開けたときに解除されます。ファンの作動時間は、必要性の減少に応じ、車両製造後 4 年間を経過するまでの間に徐々に短くなります。
- 全自動の空気清浄システム Interior Air Quality System (IAQS)

関連情報

- 空気の質 (p. 245)
- Clean Zone* (p. 245)
- Interior Air Quality System* (p. 246)
- クリーンエアフィルター (p. 247)

Interior Air Quality System*

Interior Air Quality System (IAQS)は、車内の空気から粒子状物質やガスを分離して、臭いや空気の汚れを低減する、全自動の空気清浄システムです。

IAQS は Clean Zone Interior Package (CZIP) に含まれており、車内の空気から、微粒子、炭化水素、窒素酸化物、地表オゾンなどの有害物質を除去します。

エア・クオリティ・センサーが外気の汚れを感知すると、空気取入口が閉じられ、エアリサーキュレーションがオンになります。

注意

車内の空気を清浄に保つため、エア・クオリティ・センサーは常時作動させてください。

寒冷気候では、曇りを防止するために内気循環(リサーキュレーション機能)は制限されています。

曇りが発生した場合、デフロスター機能を使用して、ウインドスクリーン、パワーウインドおよびリアウインドの曇りを取り除いてください。

関連情報

- エア・クオリティ・センサー*のオン/オフ (p. 247)
- 空気の質 (p. 245)
- Clean Zone* (p. 245)
- Clean Zone Interior Package* (p. 246)
- クリーンエアフィルター (p. 247)

エア・クオリティ・センサー*のオン/オフ

エア・クオリティ・センサーは、全自動空気清浄システム Interior Air Quality System (IAQS)の一部です。

エア・クオリティ・センサーのオン/オフを設定することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **空気清浄度センサー** を選択して、エア・クオリティ・センサーをオン/オフにします。

関連情報

- Interior Air Quality System* (p. 246)

クリーンエアフィルター

車内に入る空気は、クリーンエアフィルターを通過して浄化されます。

クリーンエアフィルターの交換

エアコンディショナーシステムの本来の性能を維持するためには、フィルターを定期的に交換する必要があります。推奨交換間隔は、ボルボメンテナンスサービスプログラムに従ってください。ほこりや塵などの多い場所を走行する場合は、さらに頻繁な交換が必要です。

注意

クリーンエアフィルターには、数種類のタイプがあります。適切なクリーンエアフィルターを装着してください。

関連情報

- 空気の質 (p. 245)
- Clean Zone* (p. 245)
- Clean Zone Interior Package* (p. 246)
- Interior Air Quality System* (p. 246)

エアディストリビューション

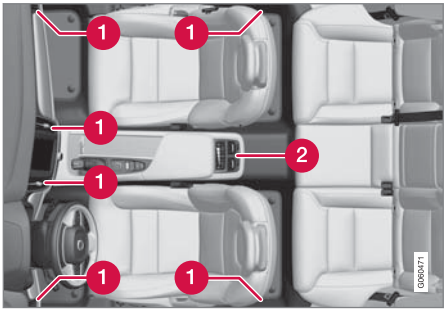
エアコンディショナーシステムは取り入れた空気を車内数箇所の空気吹出口に分配します。

オートおよびマニュアルエアディストリビューション

オートエアコンディショナー使用時は、エアディスリビューションが自動的に行われます。必要に応じて、エアディストリビューションを手動で操作することもできます。

調節式空気吹出口

空気吹出口の一部は調節式で、吹出口を開/閉したり風の向きを調節したりできます。



車内での調節式空気吹出口の位置

1. 2 ゾーンエアコンディショナー装備車の場合 – 空気吹出口はメーター・パネルに 4 箇

所、フロントドアとリアドア間の各ドアピラーに 1 箇所ずつあります。

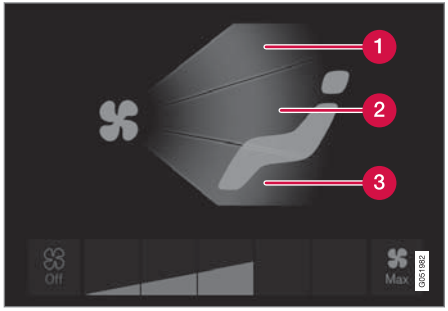
2 4 ゾーンエアコンディショナー*装備車の場合 – トンネルコンソール後部に 2 箇所追加されます。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 242）
- エアディストリビューションの変更（p. 248）
- 空気吹出口の開閉および向き変更（p. 249）
- エアディストリビューションオプション一覧表（p. 250）

エアディストリビューションの変更

エアディストリビューションは必要に応じて手動で変更することができます。



クライメートビューのエアディストリビューションボタン

1 エアディストリビューション – ウインドスクリーンデフロスターベント

2 エアディストリビューション – ダッシュボードおよびセンターコンソールの空気吹出口

3 エアディストリビューション – フロアの空気吹出口

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. エアディストリビューションボタンを 1 つまたは複数押して、対応する空気吹出口を開閉します。
   > エアディストリビューションが変更され、ボタンが点灯/消灯します。

関連情報

- エアディストリビューション（p. 247）
- 空気吹出口の開閉および向き変更（p. 249）
- エアディストリビューションオプション一覧表（p. 250）

* オプション/アクセサリー。

空気吹出口の開閉および向き変更

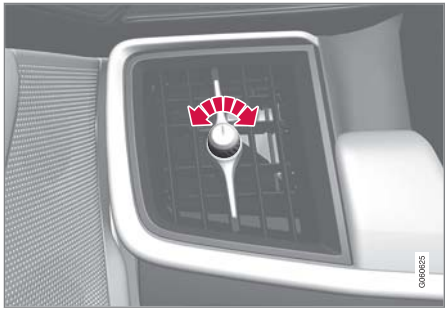
車内の空気吹出口の一部は、個別に開閉および向き変更を行なうことができます。

ドア側の空気吹出口をパワーウインドに向けると、曇りを取り除くことができます。

気温の高いときにドア側の空気吹出口を内側に向けると、快適な環境を得ることができます。

空気吹出口の開閉

フロントシート用空気吹出口：



空気吹出口のノブ [2]

- ノブを回して、空気吹出口からの送風を導入/遮断します。

  送風はノブのマークが垂直位置のときに最大になります。

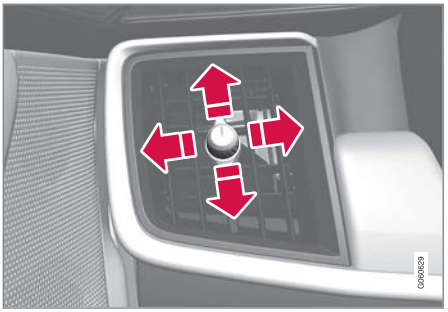
リアシート用空気吹出口：

空気吹出口のコントロールダイヤル [2]

- コントロールダイヤルを回して、空気吹出口からの送風を導入/遮断します。

  コントロールダイヤルの白線の長さが伸びるほど、送風が強くなります。

空気吹出口の向き変更



空気吹出口のレバー [2]

- レバーを横方向/縦方向に動かして、空気吹出口からの送風の向きを変更します。

関連情報

- エアディストリビューション（p. 247）
- エアディストリビューションの変更（p. 248）
- エアディストリビューションオプション一覧表（p. 250）

[2] 図は概略図です。空気吹出口のデザインは場所により異なる場合があります。

エアディストリビューションオプション一覧表

エアディストリビューションは必要に応じて手動で変更することができます。設定では以下のオプションを使用できます。

	エアディストリビューション	目的
	マニュアルモードですべてのエアディストリビューションボタンの選択を解除すると、エアコンディショナーシステムは自動調節に戻ります。	
	デフロスターベントから主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	気温が低く湿度が高いときに霜や曇りを防止します(この場合、ファンレベルは低よりも上にする必要があります)。
	ダッシュボードの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	気温の高い状況で効率的に冷房します。

	エアディストリビューション	目的
	フロアの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	フロアに温風または冷風を送り出します。
	ダッシュボードのデフロスターベントおよび空気吹出口からの主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	気温が高く乾燥した状況で、快適な環境を提供します。
	デフロスターベントおよびフロアの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	気温が低い状況または湿度の高い状況で、快適な環境を提供し、曇りを除去します。

	エアディストリビューション	目的
	ダッシュボードの空気吹出口とフロアの空気吹出口から主な送風。その他の空気吹出口から一部送風。	晴天で涼しい気温のときに、快適な環境を提供します。
	デフロスターベント、ダッシュボードの空気吹出口、およびフロアの空気吹出口から主な送風。	車内をバランスの取れた快適な状態にします。

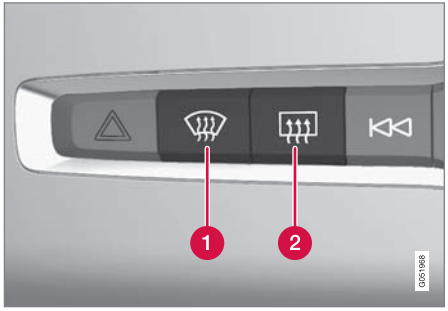
関連情報

- エアディストリビューション（p. 247）
- 空気吹出口の開閉および向き変更（p. 249）
- エアディストリビューションの変更（p. 248）

エアコンディショナー

エアコンディショナーシステムの機能は、センターコンソールのボタン、センターディスプレイおよびトンネルコンソール後部のエアコンディショナー*で操作します。

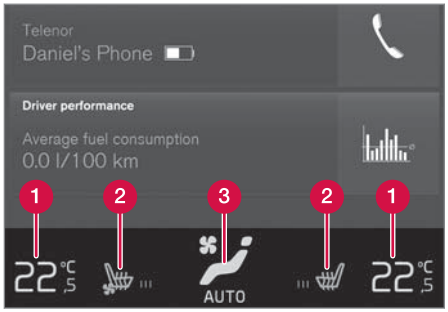
センターコンソールのボタン



1. ヒーテッドウインドスクリーン*および最大デフロスターボタン
2. リアウインドおよびドアミラーデフロスターボタン

センターディスプレイのクライメート列

よく使うエアコンディショナー機能はクライメート列で操作することができます。



1. 運転席および助手席用温度コントロール
2. 運転席および助手席シートヒーター*およびベンチレーテッドシート*とステアリングホイールヒーター*用コントロール
3. クライメートビューへのアクセス用ボタン。ボタンのグラフィックは、起動中のエアコンディショナーの設定を示します。

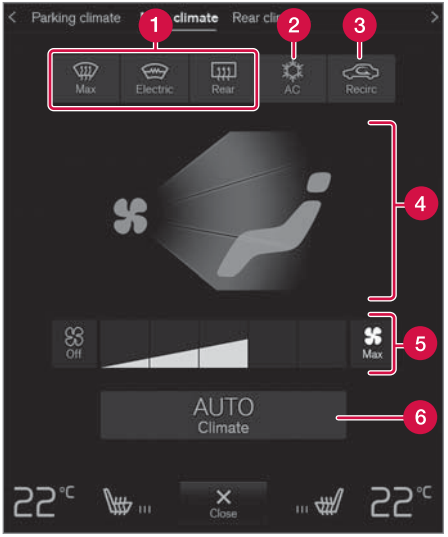
センターディスプレイのクライメートビュー

クライメート列のセンターボタンを1回タップすると、クライメートビューが表示されます。

装備レベルにより、クライメートビューは複数のタブに分けることができます。左/右にスワイプする、または個々の見出しをタップすると、タブが切り替わります。

メインエアコンディショナー

クライメート列の機能以外に、その他の主なエアコンディショナー機能も **メインエアコン** タブで操作することができます。

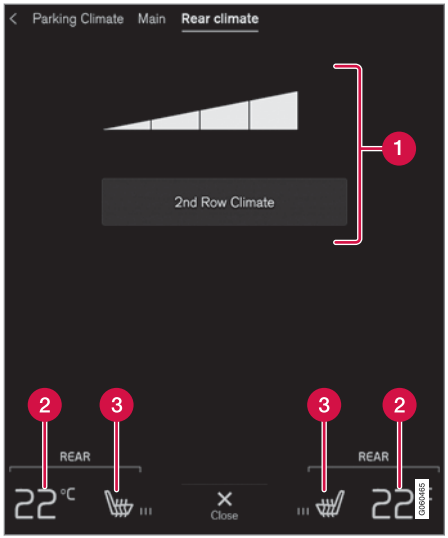


1. **Max、電気、リア** – ウインドおよびドアミラーデフロスター用コントロール
2. **エアコン** – エアコンディショナー用コントロール
3. **車内循環** – エアリサーキュレーション用コントロール

4. エアディストリビューション用コントロール
5. フロントシート用ファンコントロール(2ゾーンエアコンディショナーの場合、コントロールはリアシートと共通)
6. **AUTO** – クライメートの自動調節

リアエアコンディショナー*

リアシートのすべてのエアコンディショナー機能は、**リアエアコン** タブで操作することができます。

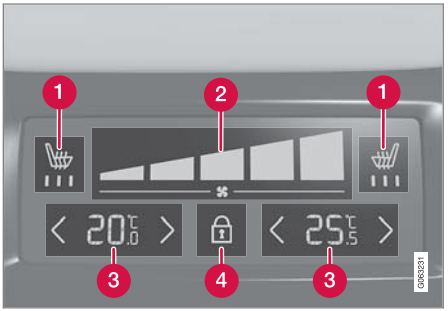


1. **2 列目の温度調整** – リアシートエアコンディショナー機能用コントロールリアシート用ファンコントロール
2. リアシート用温度コントロール
3. リアシートヒーター用コントロール*

パーキングエアコンディショナー*

車両のパーキングエアコンディショナーは、**パーキング・クライメート** タブで操作することができます。

トンネルコンソール後部のエアコンディショナー*



1. リアシートヒーター用コントロール*
2. リアシート用ファンコントロール
3. リアシート用温度コントロール
4. クライメートパネルのロック/ロック解除ボタン

トンネルコンソールの後部にクライメートパネルがない車両にリアシートヒーター*が装備されている場合、トンネルコンソールの後部にリアシートヒーターを操作するためのボタンがあります。

クライメートパネルには、ファン速度および温度を不意に変更してしまうことを防止する画面ロックがあります。画面がロックされると、シートコントロール*およびロック解除ボタンのみが表示されます。

* オプション/アクセサリー。

ロックを解除すると、ファン速度および温度はクライメートパネルで変更することができ、選択されているエアコンディショナー設定がすべて表示されます。使用しない状態が一定時間続くと、画面は自動的にロックされます。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 242）
- フロントシートヒーター*のオン/オフ（p. 255）
- リアシートヒーター*のオン/オフ（p. 256）
- フロントベンチレーションシート*のオン/オフ（p. 257）
- ヒーテッドステアリングホイール*のオン/オフ（p. 258）
- オートエアコンディショナーをオンにする（p. 259）
- エアリサーキュレーションのオン/オフ（p. 260）
- 最大デフロスターのオン/オフ（p. 261）
- ヒーテッドウインドスクリーン*のオン/オフ（p. 262）
- リアウインドおよびドアミラーデフロストのオン/オフ（p. 263）
- フロントシートのファンレベルの調節（p. 264）
- リアシートのファンレベルの調節*（p. 265）
- 温度の同調（p. 268）
- エアコンディショナーのオン/オフ（p. 268）

フロントシートヒーター*のオン/オフ

寒いとき、快適性を向上させるために、運転席およびほかの座席のシートを温めることができます。

クライメート列のステアリングホイールおよびシートボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で左または右側のステアリングホイールおよびシートボタンをタップして、シートおよびステアリングホイールのコントロールを開きます。

   ベンチレーテッドシートまたはステアリングホイールヒーターが装備されていない場合、シートヒーターボタンはクライメート列で直接使用することができます。

2. シートヒーターボタンを繰り返しタップして、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。
   > レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

⚠ 警告

ヒーテッドシート機能の温度変化や温度上昇を感じにくい方や、ヒーテッドシートの操作のわからない方は、ヒーテッドシートに着座しないでください。火傷を負うおそれがあります。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 253)
- フロントシートヒーター*の自動起動のオン/オフ (p. 256)

フロントシートヒーター*の自動起動のオン/オフ

寒いとき、快適性を向上させるために、運転席およびほかの座席のシートを温めることができます。

エンジン始動時のシートヒーターの自動起動をオンまたはオフに設定することができます。自動起動をオンにすると、外気温が低いときにヒーターが起動します。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. 運転席および助手席のヒートシーターの自動起動をオン/オフにするには、**オート運転席ヒーターレベル** および **オート助手席シートヒーター** を選択します。
4. 機能をオンにした後、**低**、**中** または **高** を選択してレベルを選択します。

関連情報

- エアコンディショナー (p. 253)
- フロントシートヒーター*のオン/オフ (p. 255)

リアシートヒーター*のオン/オフ

寒いとき、快適性を向上させるために、運転席およびほかの座席のシートを温めることができます。

リアシートヒーターをフロントシートからオン/オフにする*

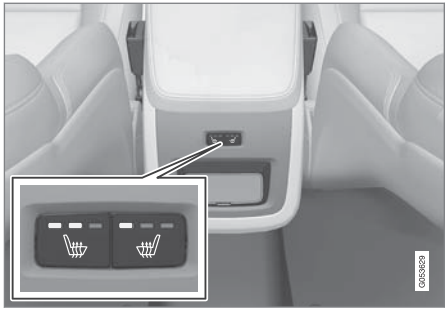
クライメートビューの **リアエアコン** グループのシートヒーターボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開いて、**リアエアコン** のタブを開きます。
2. シートヒーターボタンを繰り返しタップして、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。
   > レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

* オプション/アクセサリー。

リアシートヒーターをリアシートからオン/オフにする

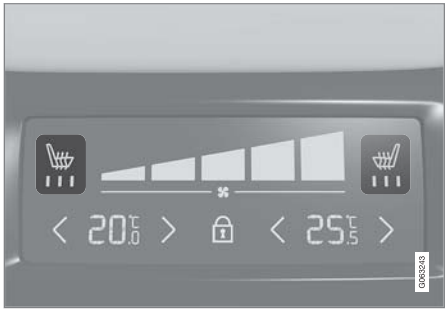
2 ゾーンエアコンディショナーの場合：



トンネルコンソール後部のシートヒーターボタン

– トンネルコンソール後部にあるシートヒーターの左または右側ボタンを繰り返し押して、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。
  › レベルが変化し、ボタンの LED が設定レベルを表示します。

4 ゾーンエアコンディショナーの場合*：



トンネルコンソール後部にあるクライメートパネルのシートヒーター表示およびコントロール

– トンネルコンソールのクライメートパネルにあるシートヒーターの左または右側ボタンを繰り返しタップして、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。
  › レベルが変化し、クライメートパネルの画面に設定レベルが表示されます。

⚠ 警告

ヒーテッドシート機能の温度変化や温度上昇を感じにくい方や、ヒーテッドシートの操作のわからない方は、ヒーテッドシートに着座しないでください。火傷を負うおそれがあります。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）

フロントベンチレーションシート*のオン/オフ

気温が高いときなどには、シートに通風して快適性を向上させることができます。

ベンチレーションシステムは、シートカバーを通して空気を吸い出すシートファンおよびバックレストファンで構成されています。車内の温度が下がるほど、冷房効果が高くなります。このシステムはエンジン回転中に作動させることができます。

クライメート列のステアリングホイールおよびシートボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で左または右側のステアリングホイールおよびシートボタンをタップして、シートおよびステアリングホイールのコントロールを開きます。

   シートヒーターまたはステアリングホイールヒーターが装備されていない場合、ベンチレーテッドシートボタンはクライメート列で直接使用することができます。

2. ベンチレーテッドシートボタンを繰り返しタップして、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。
   > レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

関連情報
- エアコンディショナー (p. 253)

ヒーテッドステアリングホイール*のオン/オフ
寒いとき、運転者が快適に運転できるように、ステアリングホイールを温めることができます。

クライメート列のステアリングホイールおよびシートボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で運転席側のステアリングホイールおよびシートボタンを押して、シートおよびステアリングホイールのコントロールを開きます。

   シートヒーターまたはベンチレーテッドシートが装備されていない場合、ステアリングホイールヒーターボタンはクライメート列で直接使用することができます。

2. ステアリングホイールヒーターのボタンを繰り返し押して、4 段階のレベル(**オフ**、**高**、**中**、**低**)を切り替えます。
   > レベルが変更され、ボタンにレベルが表示されます。

関連情報
- エアコンディショナー (p. 253)
- ヒーテッドステアリングホイール*の自動起動のオン/オフ (p. 259)

* オプション/アクセサリー。

ヒーテッドステアリングホイール*の自動起動のオン/オフ

寒いとき、運転者が快適に運転できるように、ステアリングホイールを温めることができます。

エンジン始動時のヒーテッドステアリングホイールの自動起動はオンまたはオフに設定することができます。自動起動をオンにすると、外気温が低いときにヒーターが起動します。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **オートステアリングホイールヒーターレベル** を選択して、ヒーテッドステアリングホイールの自動起動をオン/オフにします。
4. 機能をオンにした後、**低**、**中** または **高** を選択してレベルを選択します。

関連情報

- ヒーテッドステアリングホイール*のオン/オフ（p. 258）

オートエアコンディショナーをオンにする

オートエアコンディショナーがオンの場合、複数のエアコンディショナー機能が自動的に制御されます。

クライメートビューの自動調節ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **AUTO** を短くまたは長くタップします。
   - 短いタップ – エアリサーキュレーション、エアコンディショナーおよびエアディストリビューションが自動制御されます。
   - 長いタップ – エアリサーキュレーション、エアコンディショナーおよびエアディストリビューションが自動制御され、温度およびファンレベルが標準設定の 22 ℃ (72 °F)およびレベル **3** (リアシートはレベル **2**[3])に変更されます。

   〉 エアコンディショナーの自動調節がオンになり、ボタンが点灯します。

> **注意**
>
> 温度およびファン速度は、自動制御式エアコンディショナーシステムをオフにすることなく変更することができます。エアディストリビューションを手動で変更するか、または最大デフロスターをオンにすると、自動制御式エアコンディショナーシステムはオフになります。

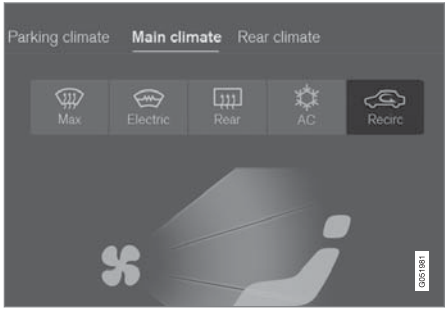
関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）

[3] 4 ゾーンエアコンディショナー*装備車。

エアリサーキュレーションのオン/オフ

エアリサーキュレーションは、エアコンディショナーで車内の空気を再使用して、車外の汚れた空気や排気ガスが車内に入らないようにします。



クライメートビューのエアリサーキュレーションボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **車内循環** をタップします。
   > エアリサーキュレーションがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

重要

リサーキュレーションを長時間続けると、特に冷寒時は霜や水滴が付着してウインドの内側が曇るおそれがあります。

注意

デフロスターの作動を最大にしているときには、エアリサーキュレーションをオンにすることができません。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）
- エアリサーキュレーションのタイマー設定のオン/オフ（p. 260）

エアリサーキュレーションのタイマー設定のオン/オフ

エアリサーキュレーションは、エアコンディショナーで車内の空気を再使用して、車外の汚れた空気や排気ガスが車内に入らないようにします。

エアリサーキュレーションタイマーをオンまたはオフに設定することができます。タイマーをオンにすると、エアリサーキュレーションは 20 分後に自動的にオフになります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **リサーキュレーションタイマー** を選択して、エアリサーキュレーションタイマーをオン/オフにします。

関連情報

- エアリサーキュレーションのオン/オフ（p. 260）

最大デフロスターのオン/オフ

最大デフロスターを使用すると、ウインドの曇りや凍結を素早く解消できます。

センターコンソールから最大デフロスターをオン/オフにする

センターコンソールには、最大デフロスターを素早く操作するためのボタンがあります。

ヒーテッドウインドスクリーン*装備車の場合、最大デフロスターは、センターディスプレイのクライメートビューから単独でのみ作動させることができます。

センターコンソールのボタン

ヒーテッドウインドスクリーン非装備車：

- ボタンをタップします。
  - 最大デフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

ヒーテッドウインドスクリーン装備車：

- ボタンを繰り返し押して、3段階のレベルを切り替えます。
  - ヒーテッドウインドスクリーンオン
  - ヒーテッドウインドスクリーンおよび最大デフロスターオン
  - オフ
  - ヒーテッドウインドスクリーンおよび最大デフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

注意

ボタンを素早く2回押してヒーテッドウインドスクリーンをオフにすると、短時間でのファンレベルの上昇を抑制するために、最大デフロスターの起動までに若干の時間差が生じることがあります。

センターディスプレイから最大デフロスターをオン/オフにする

クライメートビューの最大デフロスターボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **Max** をタップします。
   - 最大デフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

   最大デフロスターはクライメートおよびエアリサーキュレーションの自動制御をオフにし、エアコンディショナーをオンにして、ファンレベルを **5** に、温度を **HI** にします。

   最大デフロスターをオフにすると、エアコンディショナーシステムは前の設定に戻ります。

注意

ファンレベルを **5** に変更すると、騒音レベルが上昇します。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）

ヒーテッドウインドスクリーン*のオン/オフ

ヒーテッドウインドスクリーンを使用すると、ウインドの曇りや凍結を素早く解消することができます。

センターコンソールからヒーテッドウインドスクリーンをオン/オフにする

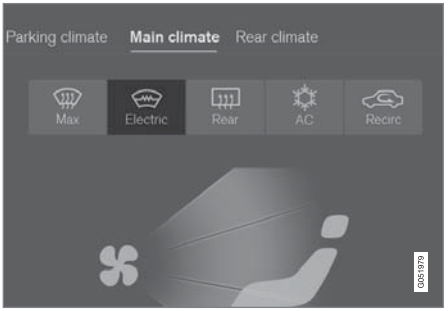
センターコンソールには、ヒーテッドウインドスクリーンを素早く操作するためのボタンがあります。

センターコンソールのボタン

- ボタンを繰り返し押して、3 段階のレベルを切り替えます。
  - ヒーテッドウインドスクリーンオン
  - ヒーテッドウインドスクリーンおよび最大デフロスターオン
  - オフ

  › ヒーテッドウインドスクリーンおよび最大デフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

センターディスプレイからヒーテッドウインドスクリーンをオン/オフにする



クライメートビューのヒーテッドウインドスクリーンボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。

＊ オプション/アクセサリー。

2. **電気** をタップします。
   > ヒーテッドウインドスクリーンがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

注意

ウインドスクリーンの各側の端にある三角部分には電熱機能がないため、ほかの部分よりも除氷に時間がかかることがあります。

注意

ヒーテッドウインドスクリーンは、トランスポンダーやその他の通信機器の性能に影響を及ぼすことがあります。

注意

Start/Stop 機能でエンジンがオートストップ中にヒーテッドウインドスクリーンを作動させると、エンジンは再始動します。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）
- ヒーテッドウインドスクリーン*の自動起動のオン/オフ（p. 263）

ヒーテッドウインドスクリーン*の自動起動のオン/オフ

ヒーテッドウインドスクリーンを使用すると、ウインドの曇りや凍結を素早く解消することができます。

エンジン始動時のヒーテッドウインドスクリーンの自動起動はオンまたはオフに設定することができます。自動起動をオンにすると、ウインドスクリーン/ウインドが凍結する、または曇るおそれがあるときにヒーターが起動します。ウインドスクリーン/ウインドが十分に温かくなり、凍結または曇りが解消されると、ヒーターは自動的にオフになります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **自動ウインドスクリーンデフロスター** を選択して、ヒーテッドウインドスクリーンの自動起動をオン/オフにします。

関連情報

- ヒーテッドウインドスクリーン*のオン/オフ（p. 262）

リアウインドおよびドアミラーデフロストのオン/オフ

リアウインドおよびドアミラーデフロストを使用すると、ウインドおよびミラーの曇りや凍結を素早く解消することができます。

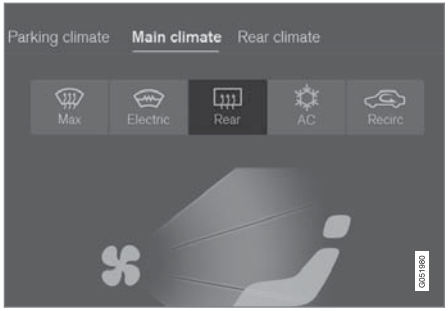
センターコンソールからリアウインドおよびドアミラーデフロストをオン/オフにする

センターコンソールには、リアウインドおよびドアミラーデフロストを素早く操作するためのボタンがあります。

センターコンソールのボタン

– ボタンをタップします。
  > リアウインドおよびドアミラーデフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

センターディスプレイからリアウインドおよびドアミラーデフロストをオン/オフにする



クライメートビューのリアウインドおよびドアミラーデフロスターボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **リア** をタップします。
   › リアウインドおよびドアミラーデフロスターがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）
- リアウインドおよびドアミラーデフロストの自動起動のオン/オフ（p. 264）

リアウインドおよびドアミラーデフロストの自動起動のオン/オフ

リアウインドおよびドアミラーデフロストを使用すると、ウインドおよびミラーの曇りや凍結を素早く解消することができます。

エンジン始動時のリアウインドおよびドアミラーデフロストの自動起動はオンまたはオフに設定することができます。自動起動をオンにすると、ウインドスクリーン/ウインドが凍結する、または曇るおそれがあるときにヒーターが起動します。ウインドスクリーン/ウインドが十分に温かくなり、凍結または曇りが解消されると、ヒーターは自動的にオフになります。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **自動リアウインドデフロスター** を選択して、リアウインドおよびドアミラーデフロスターをオン/オフにします。

関連情報

- リアウインドおよびドアミラーデフロストのオン/オフ（p. 263）

フロントシートのファンレベルの調節 [4]

フロントシート用ファンは複数の自動制御ファン速度に設定することができます。

クライメートビューのファンコントロールボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **Off**、**1-5**、**Max** の中から選択したいファンレベルをタップします。
   › ファンレベルが変更され、選択したレベルのボタンが点灯します。

[4] 2 ゾーンエアコンディショナーの場合、リアシートにも適用。

重要

ファンを完全に停止させると、エアコンディショナーが作動せず、ウインドの内側が曇るおそれがあります。

注意

エアコンディショナーシステムは、要求に応じて、選択されたファンレベルの範囲内で空気の流れを自動的に調整します。したがって、ファンレベルが同じでも、ファン速度が変化することがあります。

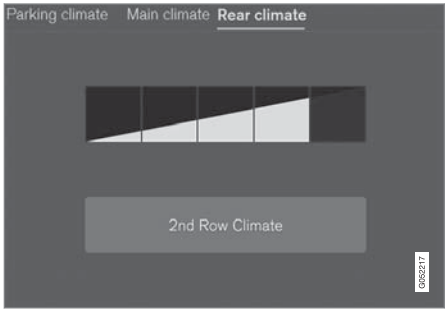
関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）

リアシートのファンレベルの調節*

リアシート用ファンは複数の自動制御ファン速度に設定することができます。

リアシートのファンレベルをフロントシートから調節する



クライメートビューの **リアエアコン** タブのファンコントロールボタン

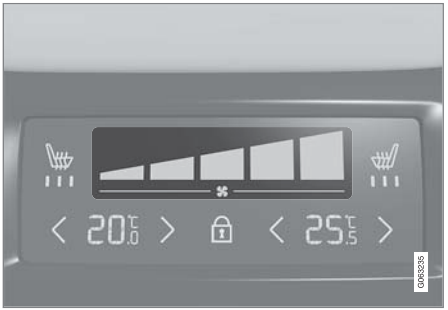
1. センターディスプレイのクライメートビューを開いて、**リアエアコン** のタブを開きます。
2. **1**–**5** から設定したいファンレベルをタップします。

   リアシートのファンレベルは、**2 列目の温度調整** をタップしてオフにすることができます。

   › ファンレベルが変更され、選択したレベルのボタンが点灯します。

リアシートのファンレベルをリアシートから調節する

1. トンネルコンソールのクライメートパネルのロック解除ボタンを押して、コントロールボタンにアクセスします。



トンネルコンソール後部にあるクライメートパネルのファンコントロール

2. **1**–**5** から設定したいファンレベルをタップします。

   › ファンレベルが変更され、選択したレベルのボタンが点灯します。

注意

フロントシートのファンレベルが Off 位置の場合、リアシートのファンレベルは設定することができません。

リアシートファン速度は、センターディスプレイのクライメートビューからのみオフにすることができます。

注意

エアコンディショナーシステムは、要求に応じて、選択されたファンレベルの範囲内で空気の流れを自動的に調整します。したがって、ファンレベルが同じでも、ファン速度が変化することがあります。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）

フロントシートの温度調節 [5]

フロントシートのクライメートゾーンは、お好みの温度に調節することができます。

クライメート列の温度ボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で左または右側温度ボタンをタップして、コントロールを開きます。

温度調節

2. 以下のいずれかの方法で温度を調節します。
   - コントロールを希望する温度までドラッグする。
   - +/– をタップして、温度を徐々に上昇/低下させる。

   > 温度が変化して、ボタンに設定温度が表示されます。

注意

希望する温度より高い温度または低い温度にセットしても、希望した温度に達するまでの時間が早まることはありません。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）

[5] 2 ゾーンエアコンディショナーの場合、リアシートにも適用。

リアシートの温度調節*

リアシートのクライメートゾーンは、お好みの温度に調節することができます。

フロントシートからリアシートの温度を調節する

クライメートビューの **リアエアコン** タブの温度ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開いて、**リアエアコン** のタブを開きます。
2. 左または右側温度ボタンをタップして、コントロールを開きます。

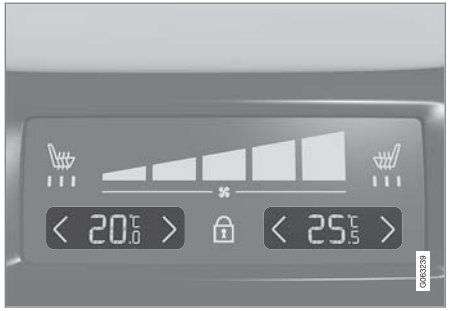
温度調節

3. 以下の方法で温度を調節します。
   - コントロールを希望する温度までドラッグする。
   - +/– をタップして、温度を徐々に上昇/低下させる。

   > 温度が変化して、ボタンに設定温度が表示されます。

リアシートからリアシートの温度を調節する

1. トンネルコンソールのクライメートパネルのロック解除ボタンを押して、コントロールボタンにアクセスします。



トンネルコンソール後部にあるクライメートパネルの温度調節

2. トンネルコンソールのクライメートパネルの左または右側 〈/〉 ボタンを押して、温度を徐々に低下/上昇させます。

   > 温度が変化し、クライメートパネルの画面に設定温度が示されます。

注意

希望する温度より高い温度または低い温度にセットしても、希望した温度に達するまでの時間が早まることはありません。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）

温度の同調

車両の各クライメートゾーンの温度は、運転者側の設定温度に同調させることもできます。

運転席側温度調節の同調ボタン

1. センターディスプレイのクライメート列で運転席側温度ボタンをタップして、コントロールを開きます。
2. **温度同期** をタップします。
   › 車内のすべてのゾーンの温度が、運転席側の設定温度と同調し、温度ボタンの横に同調シンボルが表示されます。

温度同期 をもう一度タップするか、運転席以外のクライメートゾーンの温度設定を変更すると、同期は解除されます。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）

エアコンディショナーのオン/オフ

エアコンディショナーは、必要に応じて冷房や除湿を行います。

クライメートビューのエアコンディショナーボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **エアコン** をタップします。
   › エアコンディショナーがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

   エアコンディショナーをオンにすると、エアコンディショナーシステムは必要に応じて作動と停止を自動的に制御します。

注意

エアコンディショナーが最適な状態で作動するように、すべてのパワーウインドとパノラマルーフ*を閉じてください。

注意

ファンコントロールが **Off** 位置のときには、エアコンディショナーを作動させることはできません。

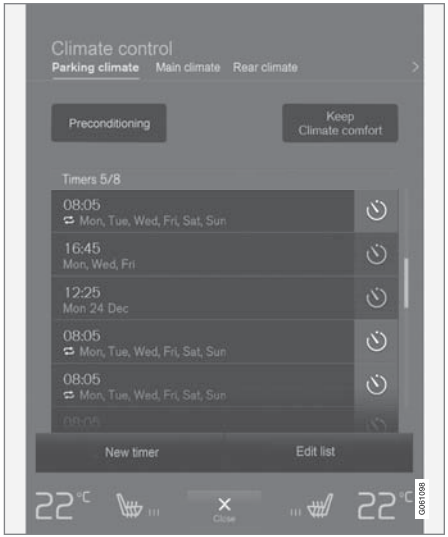
関連情報

- エアコンディショナー（p. 253）

＊ オプション/アクセサリー。

パーキングエアコンディショナー*

パーキングエアコンディショナーは、駐車中に車内の空気をきれいにするさまざまな機能（プリコンディショニングなど）の総称です。



パーキングエアコンディショナーの機能は、センターディスプレイのクライメートビューの **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ** で操作します。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 242）
- プリコンディショニング*（p. 269）
- 駐車時の快適環境維持機能*（p. 274）
- パーキングエアコンディショナー*のシンボルおよびメッセージ（p. 275）

プリコンディショニング*

走行前の車両のプリコンディショニングにより、走行中に必要なエネルギーと摩耗を低減できます。

プリコンディショニングはダイレクトスタートを使用する方法とタイマー設定で作動させる方法があります。

この機能は状況に応じていくつかのシステムを使用します。

- 寒冷時には、パーキングヒーター*により車内およびエンジンが暖められます。
- 暖かいときには、ベンチレーションにより車外から空気が取り込まれて車内が冷やされます。

注意

車内のプリコンディショニング時には、エアコンディショナーの設定温度ではなく、快適温度になるように車内温度が調節されます。

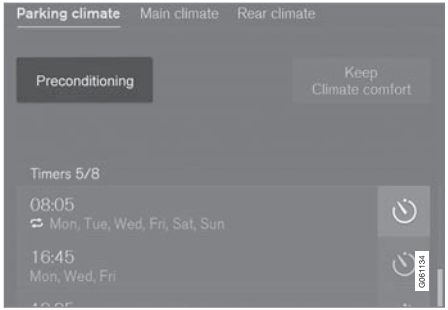
関連情報

- パーキングエアコンディショナー*（p. 269）
- プリコンディショニング*のオン/オフ（p. 270）
- プリコンディショニング*のタイマー設定（p. 271）

プリコンディショニング*のオン/オフ

プリコンディショニングを行うと、走行前にエンジンを暖めたり、車内の暖房*/換気ができます。この機能は携帯電話またはセンターディスプレイからダイレクトスタートを使用することができます。

車内でオン/オフにする



クライメートビューの パーキング・クライメート タブのプリコンディショニングボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. パーキング・クライメート タブを選択します。
3. **プリセット** をタップします。
   > プリコンディショニングがオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

注意

車内のプリコンディショニング中はドアや窓を閉めてください。

警告

ヒーター*が装備されている場合、以下の場所ではプリコンディショニングを使用しないでください。

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

アプリからの開始*

プリコンディショニングの作動開始と選択した設定に関する情報は、Volvo On Call*アプリがインストールされているデバイスから管理することができます。プリコンディショニングは車内を快適な温度まで暖房する*か、または外気を導入して車内を換気します。

Volvo On Call*アプリを使用して、エンジンリモートスタート機能(Engine Remote Start - ERS)[6]で車内のプリコンディショニングを行うこともできます。

関連情報

- パーキングエアコンディショナー* (p. 269)
- プリコンディショニング* (p. 269)
- プリコンディショニング*のタイマー設定 (p. 271)

6 特定市場。

プリコンディショニング*のタイマー設定

プリコンディショニングが指定時刻に終了するように、タイマーを設定することができます。

タイマーは以下を対象に最大 8 通りの設定に対応することができます。

- 特定の日付の時刻
- 特定の曜日(1 日または複数)、繰り返し起動あり/なし

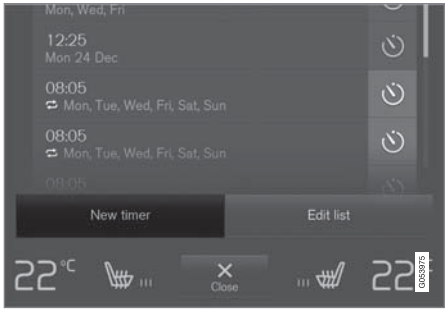
関連情報

- プリコンディショニング*（p. 269）
- プリコンディショニング*のタイマー設定を追加および編集する（p. 271）
- プリコンディショニング*のタイマー設定のオン/オフ（p. 272）
- プリコンディショニング*のタイマー設定の削除（p. 273）

プリコンディショニング*のタイマー設定を追加および編集する

プリコンディショニングタイマーは最大で 8 通りの設定時刻に対応することができます。

タイマー設定の追加



クライメートビューの**ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ ・ ｸﾗｲﾒｰﾄ**の設定時刻追加用ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ ・ ｸﾗｲﾒｰﾄ** タブを選択します。
3. **タイマーを追加** をタップします。
   > ポップアップウィンドウが表示されます。

> **注意**
>
> すでにタイマーに 8 個の設定が入力されている場合、タイマー設定時刻を追加することはできません。タイマー設定時刻を新たに 1 つ追加するには、既存の設定時刻を 1 つ削除してください。

4. 特定日の時刻を設定するには、**日付** をタップします。

   特定曜日(1 日または複数)の時刻を設定するには、**曜日** をタップします。

   曜日 を使用する場合：**毎週 繰り返し** ボックスのチェックを付けて/外して、毎週をオン/オフにします。
5. **日付** を使用する場合：矢印で日付リストをスクロールして、プリコンディショニングの日付を選択します。

   曜日 を使用する場合：曜日のボタンをタップして、プリコンディショニングの曜日を選択します。
6. 矢印でスクロールして、プリコンディショニングを終了する時刻を設定します。

7. **確認** をタップして、設定時刻を追加します。
   > 設定時刻がリストに追加され、有効になります。

⚠ 警告

ヒーター*が装備されている場合、以下の場所ではプリコンディショニングを使用しないでください。

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

設定時刻の編集

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ** タブを選択します。
3. 変更する設定時刻をタップします。
   > ポップアップウィンドウが表示されます。
4. 「タイマー設定の追加」と同じ方法で設定時刻を変更します。

関連情報

- プリコンディショニング*（p. 269）
- プリコンディショニング*のタイマー設定（p. 271）
- プリコンディショニング*のタイマー設定のオン/オフ（p. 272）
- プリコンディショニング*のタイマー設定の削除（p. 273）

プリコンディショニング*のタイマー設定のオン/オフ

プリコンディショニングタイマーの設定時刻は、必要に応じてオンまたはオフにすることができます。

クライメートビューの **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ** タブのタイマーボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ** タブを選択します。
3. 設定の右にあるタイマーボタンをタップして、設定時刻をオン/オフにします。
   > 設定時刻がオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

* オプション/アクセサリー。

⚠ 警告

ヒーター*が装備されている場合、以下の場所ではプリコンディショニングを使用しないでください。

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

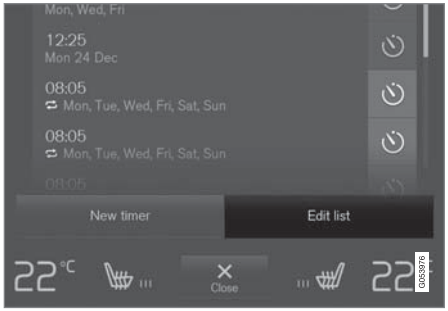
プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

関連情報

- プリコンディショニング*（p. 269）
- プリコンディショニング*のタイマー設定（p. 271）
- プリコンディショニング*のタイマー設定を追加および編集する（p. 271）
- プリコンディショニング*のタイマー設定の削除（p. 273）

プリコンディショニング*のタイマー設定の削除

不要になったプリコンディショニングのタイマー設定は削除できます。



クライメートビューの **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ ・ｸﾗｲﾒｰﾄ** タブのリスト編集/設定時刻削除用ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ ・ｸﾗｲﾒｰﾄ** タブを選択します。
3. **リストを編集** をタップします。
4. リストの右にある削除アイコンをタップします。
   > アイコンが **削除** に変わります。
5. **削除** をタップして確定します。
   > 設定時刻がリストから削除されます。

関連情報

- プリコンディショニング*（p. 269）
- プリコンディショニング*のタイマー設定（p. 271）
- プリコンディショニング*のタイマー設定を追加および編集する（p. 271）
- プリコンディショニング*のタイマー設定のオン/オフ（p. 272）

駐車時の快適環境維持機能*

駐車中に車内の空調環境を維持することができます。駐車中にエンジンを停止していても、運転者または乗員が車内で快適な状態を維持したい場合などに有効です。

快適環境維持機能はダイレクトスタートでのみ作動させることができます。

この機能は状況に応じていくつかのシステムを使用します。

- 気温が低いときには、エンジンの余熱により車内が快適な温度まで暖められます。
- 暖かいときには、ベンチレーションにより車外から空気が取り込まれて車内が冷やされます。

注意

車両を外側からロックすると、余熱の不必要な使用を避けるため、快適環境維持機能はオフになります。この機能は、運転者または乗員が車内に残っているときに、車内の環境を快適な状態に維持するために使用されます。

関連情報

- パーキングエアコンディショナー* (p. 269)
- 駐車時に快適環境維持機能*を起動/停止する (p. 274)

駐車時に快適環境維持機能*を起動/停止する

快適環境維持機能は、走行後に車内の空調環境を維持します。この機能はセンターディスプレイからダイレクトスタートを使用することができます。

クライメートビューの **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ ・ ｸﾗｲﾒｰﾄ** タブの快適環境維持機能ボタン

1. センターディスプレイのクライメートビューを開きます。
2. **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ ・ ｸﾗｲﾒｰﾄ** タブを選択します。
3. **車内温度を 快適に保つ** をタップします。
   > 快適環境維持機能がオン/オフになり、ボタンが点灯/消灯します。

注意

車内の空調を維持するために必要な余熱がエンジンに残っていない場合、または外気温が約 20 ℃ (68 °F) を超えている場合、快適環境維持機能を起動することはできません。

注意

車両を外側からロックすると、余熱の不必要な使用を避けるため、快適環境維持機能はオフになります。この機能は、運転者または乗員が車内に残っているときに、車内の環境を快適な状態に維持するために使用されます。

関連情報

- 駐車時の快適環境維持機能* (p. 274)

* オプション/アクセサリー。

パーキングエアコンディショナー*のシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、パーキングエアコンディショナーに関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。

パーキングエアコンディショナーに関するメッセージは、Volvo On Call アプリ*がインストールされているデバイスにも表示される場合があります。

パーキングヒーターが作動しているときには、ドライバーディスプレイにこのシンボルが点灯します。

シンボル	メッセージ	意味
	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ 販売店に お問い合わせ下さい	パーキングエアコンディショナーの作動が解除されています。すみやかにサービス工場[A]に連絡し、機能の点検を受けてください。
	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ 一時的に利用できません	パーキングエアコンディショナーの作動が一時的に解除されています。しばらく経っても問題が解消されない場合、サービス工場[A]に連絡して、機能の点検を受けてください。
	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ 利用不可。 燃料が少なすぎます。	燃料残量が少なすぎてパーキングヒーター*を作動させることができない場合、パーキングエアコンディショナーを作動させることはできません。車両の燃料タンクに給油してください。
	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ 利用不可。ﾊﾞｯﾃﾘｰの 充電量が少なすぎます。	パーキングヒーター*を作動するには、メインバッテリーの充電レベルが低すぎる場合、パーキングエアコンディショナーを作動させることはできません。エンジンを始動します。
	ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ・ｸﾗｲﾒｰﾄ 限られました ﾊﾞｯﾃﾘｰが低すぎる	メインバッテリーの充電残量が低下している場合、パーキングエアコンディショナーの作動時間は制限されます。エンジンを始動します。

A ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

関連情報

- パーキングエアコンディショナー*
  (p. 269)

* オプション/アクセサリー。

ヒーター*

ヒーターは、走行前および走行中にエンジンおよび車内を適切な温度にするために役立ちます。

ヒーターには補助機能が 2 つあります。

- パーキングヒーター – パーキングエアコンディショナーのプリコンディショニングを作動したときに、必要に応じて、車内およびエンジンを暖めます。
- アディショナルヒーター – 走行中、必要に応じて車内およびエンジンを暖めます。

ヒーターはフューエルドリブンヒーターで、右フロントホイールハウジングに取り付けられています。

注意

ヒーターが作動しているとき、右フロントホイールハウジングから煙が発生し、低いブーンという音が聞こえることがあります。車両後部からフューエルポンプのカチカチ音が聞こえることもあります。これは異常ではありません。

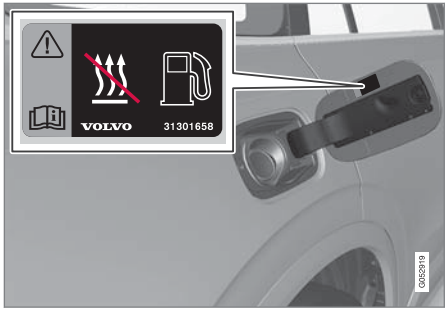
バッテリーおよび充電

ヒーターは車両のメインバッテリーによって作動します。メインバッテリーの充電レベルが低すぎる場合、ヒーターのスイッチは自動でオフになり、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

注意

ヒーターを使用する必要がある場合、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

燃料および給油



燃料給油口フラップの警告表示

ヒーターは通常の燃料タンクから送られる燃料を使用します。

急勾配の坂道に駐車するときは、ヒーターに燃料が供給されるように、車両前部が坂の下側を向くようにしてください。

燃料タンクの残量が低すぎる場合、ヒーターのスイッチは自動でオフになり、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

注意

ヒーターを使用する必要がある場合、車両の燃料タンクに燃料が十分に入っていることを確認してください。

警告

燃料がこぼれると、引火するおそれがあります。給油する前に、フューエルドリブンヒーターのスイッチをかならずオフにしてください。

ドライバーディスプレイで、ヒーターがオフになっていることを確認してください。パーキングヒーターとして機能しているときには、このシンボルは点灯します。

関連情報

- エアコンディショナー（p. 242）
- パーキングヒーター*（p. 278）
- アディショナルヒーター*（p. 279）

パーキングヒーター*

車両のプリコンディショニングが作動している場合、必要に応じて、走行前にパーキングヒーターで車内およびエンジンを暖められます。

パーキングヒーターは、ヒーターの 2 つの補助機能のうちの 1 つです。ヒーターは右フロントホイールハウジングに取り付けられています。

パーキングヒーターが作動しているときには、ドライバーディスプレイにこのシンボルが点灯します。

注意

ヒーターが作動しているとき、右フロントホイールハウジングから煙が発生し、低いブーンという音が聞こえることがあります。車両後部からフューエルポンプのカチカチ音が聞こえることもあります。これは異常ではありません。

パーキングエアコンディショナーのプリコンディショニング*がオンで、車内を暖める必要がある場合、パーキングヒーターは自動的に作動します。

タイマー設定時間またはヒーターの最大作動時間に達した場合、またはエンジンを再始動した場合は、自動的にオフになります。

ヒーターの最長作動時間は 40 分です。

注意

パーキングヒーターを使用する必要がある場合、車両の燃料タンクに燃料が十分に入っていることを確認してください。

パーキングヒーターを使用する必要がある場合、メインバッテリーが十分に充電されていることを確認してください。

重要

パーキングヒーターの使用および短距離走行を交互に繰り返すと、バッテリーが放電してエンジンが始動できなくなる場合があります。

定期的にパーキングヒーターを使用する場合は、パーキングヒーターを作動させた時間と同じ時間、車両を走行させるようにしてください。パーキングヒーターで消費されたエネルギーと同量のエネルギーを車両のバッテリーに充電することができます。パーキングヒーターは 1 回につき最長 40 分間使用されます。

警告

ヒーター*が装備されている場合、以下の場所ではプリコンディショニングを使用しないでください。

- 通気性のよくない屋内の空間。ヒーターを作動させると、排気ガスが排出されます。
- 可燃性または引火性の物が近くにある場所。燃料、ガス、長草、おがくずなどは発火するおそれがあります。
- ヒーターの排気管が遮られるおそれのある場所。右フロントホイールハウジングの内側に大量の雪が入ると、ヒーターの換気が妨げられる可能性があります。

プリコンディショニングは、かなり前に設定したタイマーで開始される可能性があるため注意が必要です。

警告

パーキングヒーターから燃料の臭い、異常な量の煙、黒煙、異音が発生している場合、ヒーターをオフにし、可能な場合にはそのヒューズを引き抜いてください。修理について、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

* オプション/アクセサリー。

関連情報
- ヒーター*（p. 277）
- アディショナルヒーター*（p. 279）

アディショナルヒーター*

アディショナルヒーターは走行中に車内およびエンジンを暖めるのに役立ちます。

アディショナルヒーターは、ヒーターの 2 つの補助機能のうちの 1 つです。ヒーターは右フロントホイールハウジングに取り付けられています。

> **注意**
>
> ヒーターが作動しているとき、右フロントホイールハウジングから煙が発生し、低いブーンという音が聞こえることがあります。車両後部からフューエルポンプのカチカチ音が聞こえることもあります。これは異常ではありません。

アディショナルヒーターは、走行中にヒーターが必要になると自動的に作動し、制御されます。

車両がオフになると自動でオフになります。

> **注意**
>
> アディショナルヒーターを使用する必要がある場合、車両の燃料タンクに燃料が十分に入っていることを確認してください。

関連情報
- ヒーター*（p. 277）
- パーキングヒーター*（p. 278）
- アディショナルヒーターの自動起動のオン/オフ（p. 280）

アディショナルヒーターの自動起動のオン/オフ

アディショナルヒーターは走行中に車内およびエンジンを暖めるのに役立ちます。

アディショナルヒーターの自動起動はオンまたはオフに設定することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **温度調整** をタップします。
3. **追加ヒーター** を選択して、アディショナルヒーターの自動起動をオン/オフにします。

注意

短距離の走行では、アディショナルヒーターの自動起動をオフにすることをお薦めします。

関連情報

- アディショナルヒーター*（p. 279）

* オプション/アクセサリー。

キー、ロックおよびアラーム

ロック確認

車両がロックまたはロック解除されると、方向指示器が点滅してロックまたはロック解除が正常に作動したことがわかります。

車外での表示

ロック

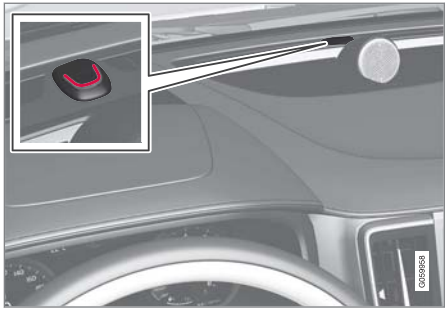
- ロックの表示として、車両の非常点滅灯が点滅し、ドアミラーが格納されます[1]。

ドアロック解除

- ロック解除の表示として、車両の非常点滅灯が 2 回点滅し、ドアミラーが展開します[1]。

車両がロックされていることを表示するためには、すべてのドア、テールゲートおよびボンネットが閉じている必要があります。運転席ドアのみが閉じた状態でロックを行うと[2]、車両はロックされますが、非常点滅灯によるロック表示は、すべてのドア、テールゲートおよびボンネットが閉じた後に行われます。

ロックおよびアラームインジケーター



ダッシュボードのロックおよびアラームインジケーターがアラームシステムの状態を表示します。

長い点滅は、車両がロックされたことを示します。車両がロックされている場合、短いパルス状の点滅で表示されます。

その他の表示

ホームセーフライトおよびアプローチライト機能もロックおよびロック解除を表示します。

ロックボタンでの表示

フロントドア

フロントドアのインジケーターランプ付きロックボタン

どちらかのフロントドアのロックボタンのインジケーターランプが点灯している場合、すべてのドアがロックされています。いずれかのドアを開けると、両側のドアのランプが消灯します。

1 格納式パワードアミラー装備の車両のみ。
2 キーレスロック/ロック解除(Passive Entry*)装備車には適用されません。

リアドア*

リアドアのインジケーターランプ付きロックボタン

いずれかのドアのロックボタンのインジケーターランプが点灯している場合、そのドアはロックされています。いずれかのドアをロック解除すると、そのドアのランプは消灯しますが、ほかのランプは点灯し続けます。

関連情報

- ロック表示設定（p. 283）
- アプローチライト点灯（p. 200）
- ホームセーフライトの使用（p. 199）

ロック表示設定

センターディスプレイの設定メニューで、車両のロック作動/解除の確認方法を選択することができます。

ロックの応答：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック** をタップします。
3. **目でドアロックを確認** をタップして、車両が視覚的に応答するタイミング(**ロック**、**ロック解除**、**両方**)、または機能のオフを選択します。

格納式ドアミラー*による表示

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ルーム/ドアミラーおよびコンビニエンス** をタップします。
3. **ロック時にドアミラーを格納** を選択して、機能をオンまたはオフにします。

関連情報

- ロック確認（p. 282）

リモートコントロールキー

リモートコントロールキーを使用すると、ドア、テールゲートおよび燃料給油口フラップのロック/ロック解除ができます。車両を始動するときには、リモートコントロールキーを車内に置いておく必要があります。

リモートコントロールキー[3](左)とボタンレスキー(Key Tag)*(右)

車両にはキーレススタート(Passive Start)が標準装備されているため、エンジン始動時にリモートコントロールキーを物理的に使用することはありません。

車両を始動するためには、キーを車内の前部(運転者のポケットやトンネルコンソールカップホルダーの中など)に置いておく必要があります。

[3] 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

ドアおよびテールゲートのキーレスロック/ロック解除(Passive Entry*)もオプションとして用意されています。この場合、キーの作動範囲は運転席ドアから半径約 1.5 m (5 ft)の半円内、テールゲートから約 1 m (3 ft)の半円内です。

キーレススタートおよびキーレスロック/ロック解除機能装備車の場合、リモートコントロールキーを車内またはカーゴスペースのどこに置いていても、車両を始動することができます。

車両に付属するリモートコントロールキーは、それぞれ独自の車両設定を割り当てた運転者プロフィールに関連付けることができます。特定のプロフィールが関連付けられているキーを使用すると、そのプロフィールに応じて車両の設定が調節されます。

ボタンレスキー(Key Tag)

キーレスロック/ロック解除機能*装備車の場合、通常のキーよりも少し小さくて軽いボタンレスキー(Key Tag)が付属します。キーレススタートおよびキーレスロック/ロック解除に関しては、このキーは通常のリモートコントロールキーと同様に機能します。このキーは防水仕様で、水深約 10 m (30 ft)の水中でも最長 60 分間耐えることができます。このキーには脱着式キーブレードがなく、電池は交換できません。

リモートコントロールキーボタン

リモートコントロールキーにはボタンが 4 つ(左側に 1 つ、右側に 3 つ)あります[3]。

ロック – ボタンを押すと、ドア、テールゲートおよび燃料給油口フラップがロックされ、アラームもセット*されます。

ボタンを長押しすると、すべてのウインドとパノラマルーフ*が同時に閉まります。

ロック解除 – ボタンを押すと、ドアおよびテールゲートがロック解除され、アラームも解除されます。

長押しすると、すべてのウインドが同時に開きます。このグローバルオープニング機能は、気温が高いときに車内をすばやく換気する場合などに使用できます。

テールゲート – テールゲートのみロック解除されて、テールゲートのアラームが解除されます。パワーテールゲート*装備車の場合、ボタンを長押しするとテールゲートが自動的に開きます。テールゲートを閉じるときにも長押しします。この場合、警告音が鳴ります。

パニックアラーム機能 – 緊急時に注意を促すための機能です。赤いボタンを 3 秒以上押し続けるか、3 秒以内に続けて 2 回押すと、方向指示器およびホーンが作動します。アラームが作動してから 5 秒以上経過後、再び同じボタンを押すと停止させることができます。もしくは、3 分後に、自動的に停止します。

⚠ 警告

乗員を車内に残す場合、車両を離れるときにかならずリモートコントロールキーを携行して、パワーウインドおよびパノラマルーフ* の電源を確実に切ってください。

[3] 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

注意

リモートコントロールキーを車内に残したままロックしないよう、注意してください。

- 車両をロックして別の有効なキーでアラームをセットすると、車内に残したままのリモートコントロールキーまたはKey Tagは無効になります。「デッドロック」機能も解除されます。無効になったキーは、車両のロックを解除すると有効な状態に戻ります。
- 車内に残したままのRed Keyは、Volvo On Callを使用して車両をロックしたときも無効になり、Volvo On Callの使用またはキーのロック解除ボタンの操作で車両のロックを解除すると有効な状態に戻ります。

干渉

キーレススタートおよびキーレスロック/ロック解除*のリモートコントロールキー機能は、電磁場および電磁遮蔽により妨げられることがあります。

注意

リモートコントロールキーを金属物や電子機器(携帯電話、タブレット、ノートパソコン、充電器など)の近くに保管することは避けてください。かならず10～15 cm (4～6インチ)以上離れた場所に保管してください。

干渉が解消されない場合、脱着式キーブレードを使用してロック解除し、キーをカップホルダー内のバックアップリーダーに載せて車両のアラームを解除してください。

注意

リモートコントロールキーをカップホルダーの中に入れる場合、ほかの車両キー、金属物、電子機器(携帯電話、タブレット、ノートパソコン、充電器など)がカップホルダーの中にないことを確認してください。カップホルダーに複数の車両キーを近い距離で置いた場合、互いに干渉するおそれがあります。

関連情報

- リモートコントロールキーによるロックおよびロック解除 (p. 286)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 288)
- リモートコントロールキーの電池交換 (p. 289)
- 脱着式キーブレード (p. 294)
- イモビライザー (p. 296)
- リモートコントロールキーと運転者プロフィールの関連付け (p. 175)

リモートコントロールキーによるロックおよびロック解除

リモートコントロールキーのボタンを使用すると、すべてのドアおよびテールゲート、燃料給油口フラップを同時にロックおよびロック解除することができます。

リモートコントロールキーによるロック

リモートコントロールキー[4]

– リモートコントロールキーの 🔒 ボタンを押すと、ロックされます。

ロック動作を有効にするには、運転席ドアが閉じている必要があります[5]。それ以外のドアやテールゲートが開いている場合、それらはロックされず、閉じるまでアラームがセットされます*。すべてのドアおよびテールゲートを閉じてロックすると、アラームのムーブメントセンサー*がオンになります。

ⓘ 注意

リモートコントロールキーを車内に残したままロックしないよう、注意してください。

- 車両をロックして別の有効なキーでアラームをセットすると、車内に残したままのリモートコントロールキーまたはKey Tagは無効になります。「デッドロック」機能も解除されます。無効になったキーは、車両のロックを解除すると有効な状態に戻ります。
- 車内に残したままのRed Keyは、Volvo On Callを使用して車両をロックしたときも無効になり、Volvo On Callの使用またはキーのロック解除ボタンの操作で車両のロックを解除すると有効な状態に戻ります。

テールゲートが開いているときのロック

ⓘ 注意

テールゲートが開いているときに車両をロックした場合、テールゲートを閉じるときにリモートコントロールキーをカーゴスペースに残したままにしないように注意してください。車両が完全にロックされてしまいます[6]。

リモートコントロールキーによるロック解除

– リモートコントロールキーの 🔓 ボタンを押すと、ロック解除されます。

オートリロック機能

ドアまたはテールゲートは、ロック解除後2分以内に開けないと自動的に再ロックされます。これはロックのかけ忘れを防ぐための機能です。

4 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。
5 キーレスロック/ロック解除機能が装備されている場合、すべてのサイドドアが閉じている必要があります。
6 キーレスロック/ロック解除機能が装備されている車両では、車内でキーが検知された場合、テールゲートを閉じてもロックはされません。*

リモートコントロールキーが機能しないとき

注意

かならず車両に近づいて、もう一度ロック解除操作を試してください。

リモートコントロールキーでロックまたはロック解除できない場合は、電池が消耗している可能性があります。この場合、脱着式キーブレードで運転席側ドアをロックまたはロック解除してください。

関連情報

- リモートコントロールおよび車内からのロック解除の設定（p. 287）
- リモートコントロールキーによるテールゲートのロック解除（p. 287）
- リモートコントロールキー（p. 283）
- リモートコントロールキーの電池交換（p. 289）
- 脱着式キーブレードによるロック/ロック解除（p. 295）

リモートコントロールおよび車内からのロック解除の設定

リモートコントロールによるロック解除は複数のオプションから選択できます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック ➔ ﾘﾓｰﾄ・ﾛｯｸ解除と車内からのﾄﾞｱﾛｯｸ解除** をタップします。
3. オプションを選択します。
   - **全てのドア**
   – すべてのドアを同時にロック解除します。
   - **シングルドア**
   – 運転席ドアをロック解除します。すべてのドアをロック解除するには、リモートコントロールキーのロック解除ボタンを 2 回押す必要があります。

ここで設定された内容は、車内からハンドルで開けることによる集中ロック解除にも影響します。

関連情報

- リモートコントロールキーによるロックおよびロック解除（p. 286）
- 車内からロックおよびロック解除する（p. 310）

リモートコントロールキーによるテールゲートのロック解除

リモートコントロールキーのボタンを押すことにより、テールゲートのみをロック解除することができます。

リモートコントロールキーの ボタンを使用すると、テールゲートがロック解除され、アラームが解除されます。

1. リモートコントロールキーの ボタンを押します。
   > ダッシュボードのロック&アラームインジケーターが消灯して、車両全体のアラームが解除されていることを示します。

   アラームのレベルセンサー、ムーブメントセンサー、およびテールゲートオープンセンサーの機能も非作動状態になります。

   テールゲートはロック解除されますが、ドアがロックされたままでアラーム機能がセットされている間、テールゲートは閉じた状態を維持します。

   テールゲートハンドルの下側のラバー加工されたプレッシャープレートを軽くつかんで、テールゲートを開きます。

   2 分以内にテールゲートを開かないと、ロックが再作動し、アラームも再びセットされます。

   パワーテールゲートオプション*装備車

2. リモートコントロールキーの ボタンを長押し(約 1.5 秒)します。
   > テールゲートのロックは解除されて開きますが、ドアはロックされたままでアラーム機能は作動しています。

関連情報

- リモートコントロールキーによるロックおよびロック解除 (p. 286)
- パワーテールゲート*の開閉 (p. 314)

リモートコントロールキーの作動範囲

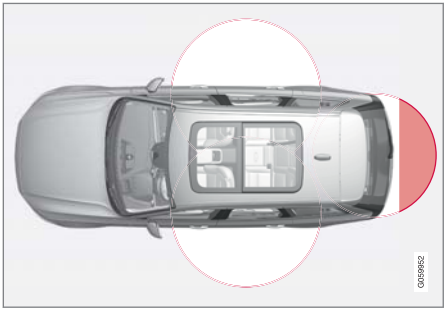
リモートコントロールキーが正しく作動するためには、キーが車両から一定距離の範囲内にある必要があります。

手動操作

リモートコントロールキーの機能(または を押すことで作動するロック/ロック解除など)の作動範囲は、車両から約 20 m(65 ft)以内です。

ボタンが押されたことを車両が認識しない場合には、車両に近寄ってからもう一度試行してください。

キーレス操作 [7]



図の陰影部分はシステムのアンテナでカバーされている範囲を示しています。

[7] キーレスロック/ロック解除オプション(Passive Entry*)装備車のみに適用されます。

キーレス操作では、リモートコントロールキーまたはボタンレスキー(Key Tag)が車両の両側面から半径約 1.5 m (5 ft)の半円内またはテールゲートから約 1 m (3 ft)の半円内にある必要があります。

注意

周囲の電波、建物、地形などによって、リモートコントロールキーの機能が妨げられる場合があります。車両は、つねに脱着式キーブレードでロック/ロック解除できます。

リモートコントロールキーを車外へ持ち出した場合

エンジンの作動中にリモートコントロールキーを車外へ持ち出すと、最後のドアが閉まったときにドライバーディスプレイに **キーが見つかりません 車内にありません** という警告メッセージが表示され、警告音が鳴ります。

キーを車内に戻してから右側のキーパッドの **0** ボタンを押すか、または最後のドアを閉めると、メッセージが消えます。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 283)
- スタートおよびロックシステムのアンテナ位置 (p. 309)
- キーレスおよび感圧面* (p. 306)

リモートコントロールキーの電池交換

リモートコントロールキーの電池が消耗した場合、電池を交換する必要があります。

注意

すべてのバッテリーの耐用年数には限りがあり、最終的には交換が必要です(Key Tag には適用されません)。バッテリーの耐用年数は、車両/キーの使用頻度により異なります。

以下の場合には、リモートコントロールキーの電池を交換する必要があります。

インフォメーションシンボルが点灯し、**ｷｰのﾊﾞｯﾃﾘｰが低下 オーナーズマニュアルを 参照して下さい** というメッセージがドライバーディスプレイに表示された場合

または

- 車両から 20 m (65 ft)以内の距離でリモートコントロールキーから繰り返し信号を送っても、ロックが反応しなくなった場合

注意

かならず車両に近づいて、もう一度ロック解除操作を試してください。

ボタンレスキー[8] (Key Tag)のバッテリーは交換できません。ボルボ指定のサービス工場で新しいキーを注文することができます。

重要

電池が消耗した Key Tag は、かならず正規ボルボサービス工場へお渡しください。電池が消耗していてもバックアップスタートにより車両を始動することが可能なため、キーを車両から削除する必要があります。

キーを開けてバッテリーを交換する

1 1 表面を上にし、ボルボのロゴを正しい方向に向けてリモートコントロールキーを保持し、下端のキーリング近くにあるボタンを右にスライドさせます。表面のカバーを上方向に数ミリずらします。

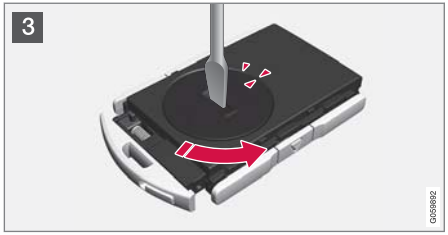
2 カバーが外れて、キーから離すことができます。

2

2 1 キーの向きを変え、ボタンを横に動かして、裏面のカバーを上方向に数ミリずらします。

2 カバーが外れて、キーから離すことができます。

3



3 ドライバーなどを使用して、バッテリーカバーを反時計回りに回し、マークを **OPEN** に合わせます。

爪などを窪みに押し込み、電池カバーを慎重に持ち上げます。

電池カバーを上方向に押し開きます。

4

4 電池の(+)側が上を向いています。図のように、電池を慎重に取り出します。

重要

新しいバッテリーやその端子表面を手で触れないでください。機能が低下するおそれがあります。

8 このキーは、キーレスロック/エントリーオプション(Passive Entry*)装備車に付属しています。

5 (+)側を上に向けて、新しい電池を取り付けます。リモートコントロールキーの電池接点を指で触らないようにしてください。

1 エッジを下にしてバッテリーをホルダーに入れます。次にバッテリーを前方にスライドさせて、2 つのプラスチックの留め具の下にはめ込みます。

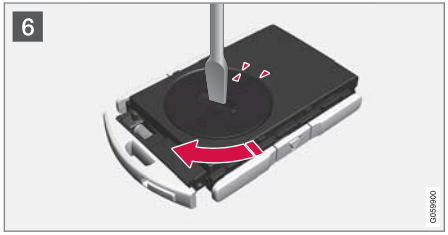
2 バッテリーを押し込み、上側にある黒いプラスチックの留め具の下にはめ込みます。

注意

CR2032 (3V)の電池を使用してください。

注意

ボルボでは、リモートコントロールキーのバッテリーには、UN Manual of Test and Criteria, Part III, sub-section 38.3 の適合品を使用することをお薦めしています。工場出荷時のバッテリーまたはボルボ指定のサービス工場で交換されたバッテリーは、上記の基準を満たしています。



6 電池カバーを元通りに取り付けて時計回りに回し、マークを CLOSE に合わせます。

7 1 裏面のカバーを元の位置に戻し、カチッという音がするまで押し込みます。

2 次にカバーをスライドさせて戻します。

› さらにカチッという音が聞こえたら、カバーが正しく取り付けられたことを意味します。

8

8 1 リモートコントロールキーを回してカチッという音がするまで押し込み、フロントサイドのカバーに再度取り付けます。

2 次にカバーをスライドさせて戻します。

› さらにカチッという音が聞こえたら、カバーが正しく取り付けられたことを意味します。

重要

使用済みのバッテリーは、環境に優しい方法で処分してください。

関連情報

- リモートコントロールキー（p. 283）

リモートコントロールキーの追加注文

車両には、リモートコントロールキーが 2 つ搭載されています。キーレスロックおよびロック解除機能*装備車には、ボタンレスキーが 1 個付属します。キーは追加注文することができます。

車両 1 台に対してプログラムおよび使用可能なキーは 12 個までです。キーを追加注文すると、運転者プロフィールが追加されます(各リモートコントロールキーに 1 つずつ)。これはボタンレスキー(Key Tag)にも適用されます。

リモートコントロールキーを紛失した場合

リモートコントロールキーを紛失した場合は、サービス工場で新しいキーを注文できます。ボルボ指定のサービス工場を推奨します。残りのリモートコントロールキーをボルボのサービス工場へお持ちください。不正に使用されることを防ぐため、紛失したキーのコード番号を車両のシステムから消去する必要があります。

現在車両に登録されているキーの数は、センターディスプレイのトップビューの運転者プロフィールで確認することができます。**設定 ➔ システム ➔ ドライバープロファイル** を選択してください。

関連情報

- リモートコントロールキー（p. 283）

Red Key – 制限付きリモートコントロールキー*

Red Key を使用することにより、一部の車両機能に制限を設けることができます。この制限は、車両を貸し出す場合などに、安全な走行を促すことを目的として使用されます。

Red Key では、最高速度の指定、スピードリマインダーの設定およびスピーカーシステムの最大音量の設定を行なうことができます。また、車両の運転者サポートシステムの一部もつねにオンになります。キーのその他の機能は、通常のリモートコントロールキーと同じです。

Red Key はボルボ・ディーラーに 1 個から注文することができます。制限付きキーは 1 台の車両に対して合計で 11 個まで設定できます。少なくとも 1 個は通常のリモートコントロールキーである必要があります。

* オプション/アクセサリー。

このような制限は、事故の危険を減らす役割を果たすよう意図されているため、若年運転者や係員付き駐車サービス、サービス工場などに車両を預けるときに安心感が増します。Red Key の使用者は登録済みの設定を変更できません。変更には通常のリモートコントロールキーが必要です。

関連情報

- Red Key*設定 (p. 293)
- リモートコントロールキー (p. 283)

Red Key*設定

Red Key の設定は、通常のリモートコントロールキーを保持している人が行なうことができます。一部の運転者サポート機能は常時有効です。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ ドライバープロファイル ➔ レッドキー** をタップします。
   > 以下の設定を行なうことができます。
   - **Adaptive Cruise Control の車間時間設定**
   - **最大音量を下げました**
   - **最高制限速度**
   - **制限速度警告**

アダプティブクルーズコントロール*：
- 初期設定：もっとも長いインターバル

最大音量抑制(オン/オフ)：
- 初期設定：オン

速度リミッター(オン/オフ)：
- 設定範囲：50-250 km/h (30-160 mph)
- 初期設定：120 km/h (75 mph)
- 設定単位：1 km/h (1 mph)

ドライバーディスプレイに次のようなシンボルとメッセージが表示されます。

「レッドキー 制限速度を超える ことはできません」

スピードリマインダー(オン/オフ)：
- 設定範囲：0-250 km/h (0-160 mph)
- 初期設定：50、70、90 km/h (30、45、55 mph)
- 設定単位：1 km/h (1 mph)
- 同時に設定可能なリマインダーの最大数：6

運転者サポート機能

Red Key を使用している場合、以下の運転者サポート機能がつねにオンになります。

- Blind Spot Information (BLIS)*
- レーンアシスト(LKA)*
- 車間警告機能*
- City Safety
- Driver Alert Control (DAC)*
- ロード・サイン・インフォメーション*

関連情報

- Red Key - 制限付きリモートコントロールキー* (p. 292)

脱着式キーブレード

リモートコントロールキーには金属製の脱着式キーブレードが付属しています。このキーブレードは、多くの機能の起動や一部の操作に使用することができます。

キーブレードは特別なコード番号を使用していますので、新しいキーを注文される場合は、ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

キーブレードの適用箇所

脱着式キーブレードを使用して：

- リモートコントロールキーでセントラルロックを解除できない場合、左側[9]フロントドアを手動で開けることができます。
- すべてのドアを緊急ロックできます。
- リアドアの手動チャイルドロックを作動/解除できます。

ボタンレスキー[10](Key Tag)には脱着式キーブレードがありません。必要な場合、通常の脱着式キーブレードを使用してください。

キーブレードを外す

1

1 1. 表面を上にし、ボルボのロゴを正しい方向に向けてリモートコントロールキーを保持し、下端のキーリング近くにあるボタンを右にスライドさせます。表面のカバーを上方向に数ミリずらします。

2. カバーが外れて、キーから離すことができます。

2

2 1. キーブレードを上に傾けて外します。

3

3 使用後は、キーブレードをリモートコントロールキーの元の位置に戻します。

1. カバーをカチッという音がするまで押し付けます。

2. 次にカバーをスライドさせて戻します。

› さらにカチッという音が聞こえたら、カバーが正しく取り付けられたことを意味します。

関連情報

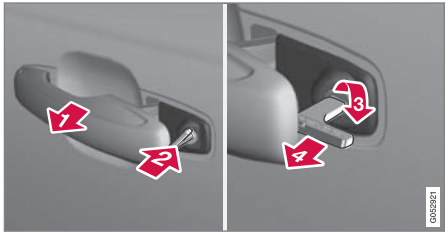
- 脱着式キーブレードによるロック/ロック解除（p. 295）
- リモートコントロールキー（p. 283）

9 左ハンドル車、右ハンドル車を問わず適用されます。
10 キーレスロック/ロック解除オプション(Passive Entry*)装備車に付属。

脱着式キーブレードによるロック/ロック解除

リモートコントロールキーの電池が消耗した場合などは、脱着式キーブレードを使用して、外側から車両をロック解除することができます。

ロック解除



1. 左側[11]のフロントドアハンドルをいっぱいまで引き出し、ロックシリンダーが見えるようにします。
2. キーをロックシリンダーに差し込みます。
3. 時計回りに 45 度回して、キーブレードをまっすぐ後方に向けます。
4. キーを 45 度戻して、開始位置の状態にします。キーをロックシリンダーから抜いて、ハンドルから手を離し、ハンドルの後部を車両に元通りに接触させます。
5. ハンドルを引き出します。
   > ドアが開きます。

ロックするときの操作も同様ですが、ステップ (3) の時計回りとは反対に、反時計回りに 45 度回してください。

アラームの停止*

注意

キーブレードを使用してドアをロック解除し、その後ドアを開けると、アラームが作動します。

カップホルダー内のバックアップリーダーの場所

以下の手順に従って、アラームを解除します。

1. リモートコントロールキーを、トンネルコンソールのカップホルダーの底部にあるバックアップリーダーの鍵のマークの上に置きます。
2. スタートノブを時計回りに回して手を離します。
   > ノブは自動的に開始位置に戻ります。アラームシグナルが停止して、アラームがオフになります。

ロック

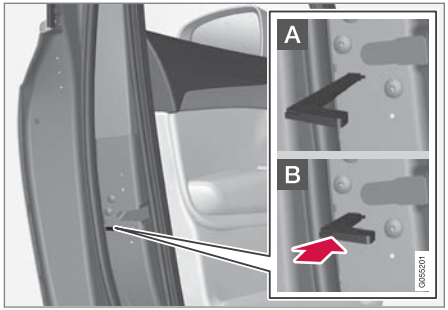
電源が失われた場合やキーの電池が消耗した場合などは、脱着式キーブレードで車両をロックすることもできます。

左側フロントドアは、ロックシリンダーと脱着式キーブレードを使ってロックすることができます。

ほかのドアにはロックシリンダーはありませんが、代わりに各ドアの端にロックスイッチがあります。これはキーブレードを使用して押し込むことが必要です。これを押し込むと機械的にロック/ブロックされ、外側からは開けることができなくなります。

この場合でもドアは内側から開けることができます。

[11] 右ハンドル車、左ハンドル車を問わず適用されます。



手動ドアロック。チャイルドロックと混同しないでください。

– 脱着式キーブレードをリモートコントロールキーから外します。キーブレードをロックの穴に差し込み、キーを奥まで約 12 mm (0.5 インチ)押し込みます。

A ドアは、外側からも内側からも開けることができます。

B ドアは外側からは開かなくなります。A 位置に戻すには、内側ドアハンドルを開くことが必要です。

各ドアは、リモートコントロールキーのロック解除ボタンか、運転席ドアのセントラルロックボタンによってもロック解除できます。

注意

- ドアのロックリセットは、そのドアのみに作動します。すべてのドアに同時に作動するわけではありません。
- 手動チャイルドロックまたはパワー・チャイルドロックが作動しているリアドアを手動でロックすると、車外からも車内からも開けることができなくなります。この方法でロックされたドアは、リモートコントロールキーまたはセントラルロックボタンでのみロック解除できます。

関連情報

- 脱着式キーブレード (p. 294)
- アラーム*のセット/解除 (p. 322)
- リモートコントロールキーの電池交換 (p. 289)
- リモートコントロールキー (p. 283)

イモビライザー

電子式イモビライザーは、侵入者が車両を始動するのを防ぐ盗難防止システムです。

車両は適切なリモートコントロールキーでのみ始動することができます。

ドライバーディスプレイに表示される以下のエラーメッセージは、電子式イモビライザーと関連しています。

シンボル	メッセージ	意味
	キーが見つかりません **オーナーズマニュアルを参照して下さい**	始動時のリモートコントロールキー読み取りエラー – キーをカップホルダーのキーシンボルの上に置いて、もう一度お試しください。

関連情報

- リモートコントロールキー (p. 283)
- リモートコントロールキーの追加注文 (p. 292)

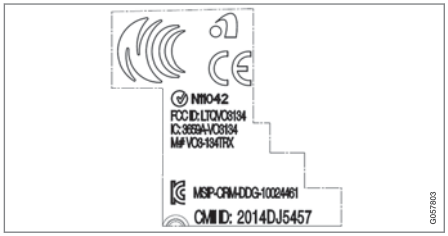
* オプション/アクセサリー。

リモートコントロールキーシステムの型式認定

リモートキーシステムの型式認定が次の表に記載されています。

型式認定の詳細については、support.volvocars.com を参照してください。

ロックシステム - キーレススタート(Passive Start)およびキーレスロック/ロック解除(Passive Entry*)



リモートコントロールキーシステムの CEM マーク追加の型式指定番号については、以下の表を参照してください。

国/地域	型式認定	
ヨーロッパ	Delphi Deutschland GmbH(所在地 42367 Wuppertal)は、本 VO3-134TRX が 2014/53/EU (RED) 指令の必須要求事項およびその他関連規定に適合していることを宣言します。 EU 適合宣言書の全文は、support.volvocars.com でご覧いただけます。	
ヨルダン	TRC/LPD/2014/250	
セルビア	P1614120100	
アルゼンチン	CNC ID: C-14771	

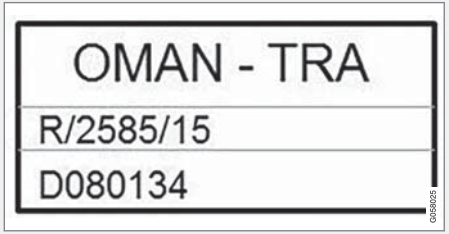
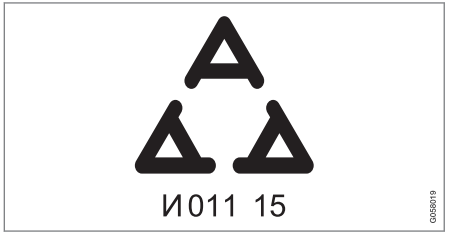
国/地域	型式認定	
ブラジル	MT-3245/2015	
インドネシア	Nomor: 38301/SDPPI/2015	
マレーシア	RAAT/37A/1215/S(15-5198)	
メキシコ	IFETEL: RLVDEV015-0396	
ロシア		
アラブ首長国連邦	ER37847/15 DA0062437/11	

国/地域	型式認定	
ナミビア	TA-2016-02	
南アフリカ	TA-2014-1868	

リモートコントロールキー

国/地域	型式認定	
ヨーロッパ	Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG は、本無線装置 HUF8423 が 2014/53/EU 指令に適合していることを宣言します。 EU 適合宣言書の全文は、support.volvocars.com でご覧いただけます。 周波数帯：433.92 MHz 最大電波出力：10 mW 製造元：Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG, Steeger Str. 17, 42551 Velbert, Germany	
ヨルダン	TRC/LPD/2015/104	

国/地域	型式認定	
モロッコ	AGREE PAR L'ANRT MAROC Numéro d'agrément: MR 10668 ANRT 2015 Date d'agrément: 24/07/2015	
メキシコ	IFETEL Marca: HUF Modelo (s): HUF8423 NOM-121-SCT1-2009 La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.	
ナミビア	TA-2015-102	

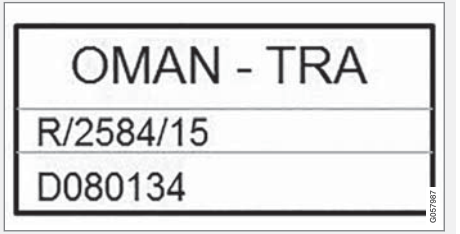
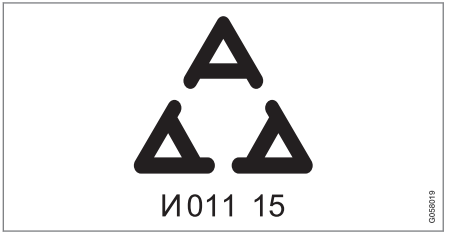
国/地域	型式認定	
オマーン		
セルビア		

国/地域	型式認定	
南アフリカ	TA-2015-432	
アラブ首長国連邦		

キータグ

国/地域	型式認定	
ヨーロッパ	Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG は、本無線装置 HUF8432 が 2014/53/EU 指令に適合していることを宣言します。 EU 適合宣言書の全文は、support.volvocars.com でご覧いただけます。 周波数帯：433.92 MHz 最大電波出力：10 mW 製造元：Huf Hülsbeck & Fürst GmbH & Co. KG, Steeger Str. 17, 42551 Velbert, Germany	
ヨルダン	TRC/LPD/2015/107	

国/地域	型式認定	
モロッコ	AGREE PAR L'ANRT MAROC Numéro d'agrément: MR 10667 ANRT 2015 Date d'agrément: 24/07/2015	
メキシコ	IFETEL Marca: HUF Modelo (s): HUF8432 NOM-121-SCT1-2009 La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.	
ナミビア	TA-2015-103	

国/地域	型式認定	
オマーン		
セルビア		

国/地域	型式認定	
南アフリカ	TA-2015-414	
アラブ首長国連邦		

関連情報

- リモートコントロールキー（p. 283）

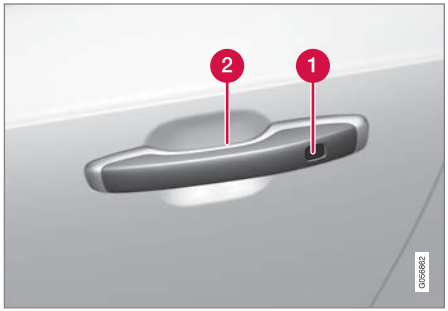
キーレスおよび感圧面*

キーレスロック/ロック解除装備車の場合、リモートコントロールキーは、近く(ポケットやハンドバッグの中など)にあるだけで機能するため、両手がふさがっている状態でロック解除したいときには便利です。

感圧面

ドアハンドル

ドアハンドルの外側には感応式ロックスイッチがあり、内側には感応式ロック解除スイッチがあります。



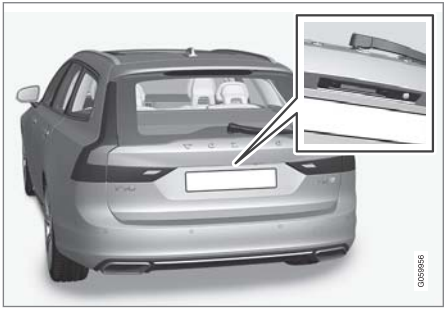
1. 感応式ロックスイッチ
2. 感応式ロック解除スイッチ

注意

感圧面は一度に1つずつ触れることが重要です。ハンドルを握っているときにロック面に触れると、コマンドが二重に発生する可能性があります。この場合、要求した動作(ロック/ロック解除)は実行されないか、または遅れて実行されます。

テールゲート

テールゲートハンドルには、ロック解除のみに使用される、ラバー加工されたプレッシャープレートがあります。



注意

リモートコントロールキーが作動範囲内にある場合、洗車の際にシステムが作動する可能性があります。

関連情報

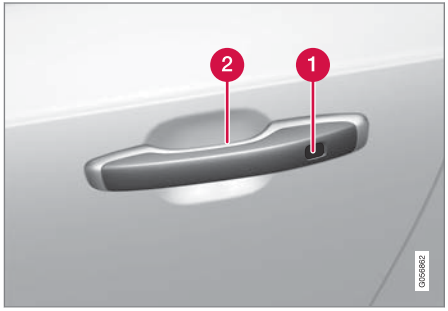
- キーレスロック/ロック解除*(p. 307)
- テールゲートのキーレスロック解除*(p. 308)

キーレスロック/ロック解除*

キーレスロック/ロック解除(Passive Entry)*装備車の場合、ドアまたはテールゲートハンドルを使用して車両を外側からロック/ロック解除することができます。

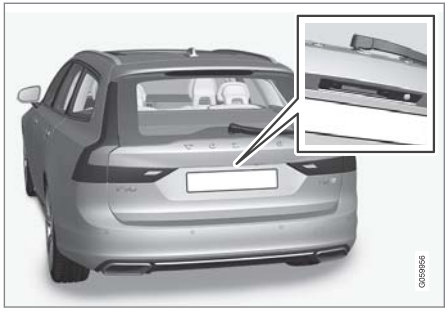
注意

ロックおよびロック解除が機能するためには、車両のリモートコントロールキー(1 個)が作動範囲内にある必要があります。



1 感応式ロックスイッチ

2 感応式ロック解除スイッチ



テールゲートのラバー加工されたプレッシャープレート(ロック解除のみに使用)

注意

リモートコントロールキーが作動範囲内にある場合、洗車の際にシステムが作動する可能性があります。

キーレスロック

車両をロックするには、すべてのドアを閉じておく必要があります。一方、サイドドアハンドルでロックするときには、テールゲートは開いておくことができます。

- ドアを閉じた後にドアハンドルの外側後方のマーク面に触れるか、または、テールゲートを閉じる前にテールゲートの下端にあるロック[12]ボタンを押します。
  - 〉 ウインドスクリーンのロックインジケーターが点滅を開始して、車両がロックされたことを示します。

すべてのパワーウインドとパノラマルーフ*を同時に閉めるには、閉じるまでドアハンドル外側の感応式スイッチに指をあてておきます。

テールゲートが開いているときのロック

注意

テールゲートが開いているときに車両をロックした場合、テールゲートを閉じるときにリモートコントロールキーをカーゴスペースに残したままにしないように注意してください。車両が完全にロックされてしまいます。

車内でキーが検知された場合、テールゲートを閉じてもロックはされません。

12 パワーテールゲート*装備車両に適用されます。

キーレスロック解除

– ドアハンドルをつかむか、テールゲートハンドルの下側のラバー加工されたプレッシャープレートを押して、車両をロック解除します。
  › ウインドスクリーンのロックインジケーターが消灯して、車両がロック解除されたことを示します。ドアまたはテールゲートを通常の方法で開いてください。

オートリロック機能

ドアまたはテールゲートは、ロック解除後 2 分以内に開けないと自動的に再ロックされます。これはロックのかけ忘れを防ぐための機能です。

関連情報

- キーレスエントリーの設定*（p. 308）
- テールゲートのキーレスロック解除*（p. 308）
- キーレスおよび感圧面*（p. 306）

キーレスエントリーの設定*

キーレスエントリーの作動方法は複数のオプションから選択できます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック ➔ キーレス・ロック解除** をタップします。
3. オプションを選択します。
   - **全てのドア**
   – すべてのドアを同時にロック解除します。
   - **シングルドア**
   – 選択したドアをロック解除します。

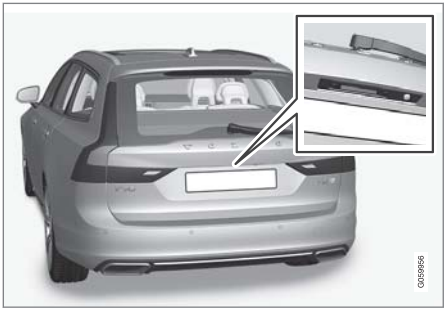
関連情報

- キーレスロック/ロック解除*（p. 307）
- キーレスおよび感圧面*（p. 306）

テールゲートのキーレスロック解除*

テールゲートをキーレスロック解除するには、リモートコントロールキーをポケットやバッグなどの中に入れておくだけで十分です。

テールゲートは電動ロックで閉まったままとなります。



テールゲートの開け方：

1. テールゲートの下にあるラバー加工されたプレッシャープレートを軽く押します。
   › ロックが解除されます。

注意

ロック解除が機能するためには、車両のリモートコントロールキー(1 個)が車両後方の作動範囲内にある必要があります。

* オプション/アクセサリー。

2. テールゲートを完全に開くには、アウターハンドルを持ち上げます。

重要

- テールゲートのロックを解除するのにほとんど力は要りません。ラバー加工されたプレッシャープレートを軽く押してください。
- テールゲートを開ける際には、ラバー加工されたプレッシャープレートは持ち上げないでください。ハンドルを使用してください。強い力がかかると、ラバー加工されたプレッシャープレート部分の電気接点が損傷を受ける場合があります。

リアバンパーの下で足を動かすことにより、手を使用せずテールゲートをロック解除することもできます。該当のセクションを参照してください。

警告

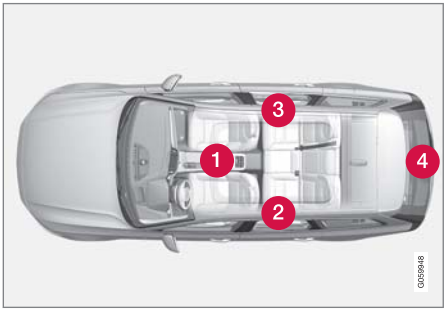
テールゲートを開けたまま、走行しないでください。テールゲート開口部から、有害な排気ガスを車内に引き込んでしまうおそれがあります。

関連情報

- キーレスロック/ロック解除*（p. 307）
- キーレスおよび感圧面*（p. 306）
- リモートコントロールキーの作動範囲（p. 288）
- 足の動きによるテールゲートの開閉*（p. 317）

スタートおよびロックシステムのアンテナ位置

車両にはキーレススタートおよびロックシステム [13] が装備されているため、車両のさまざまな場所に多くのアンテナが組み込まれています。



アンテナの場所

1. トンネルコンソール前部のカップホルダーの下
2. 左側リアドアの上側前部 [14]
3. 右側リアドアの上側前部 [14]
4. カーゴスペース内 [14]

⚠ 警告

心臓ペースメーカーをご使用のお客様は、ペースメーカーからキーレスシステムのアンテナまでの距離が 22 cm (9 インチ)以内にならないようにしてください。ペースメーカーとキーレスシステムが、相互に干渉するおそれがあります。

関連情報

- キーレスおよび感圧面*（p. 306）
- リモートコントロールキーの作動範囲（p. 288）

車内からロックおよびロック解除する

ドアおよびテールゲートは、車内からフロントドアのセントラルロックコントロールを使用してロックおよびロック解除することができます。リアドアのロックコントロール*では、それぞれのリアドアがロックされます。

セントラルロック

フロントドアのインジケーターランプ付きロックおよびロック解除ボタン

フロントドアのボタンによるロック解除

– ボタンを押して、すべてのドアとテールゲートをロック解除します。

別のロック解除方法

サイドドアの別のロック解除方法に使用されるハンドル [15]

– いずれかのサイドドアのハンドルを引いて放します。

  › リモートコントロールキーの設定に応じて、すべてのドアのロックが解除されるか、または特定のドアがロック解除されて開きます。

  この設定を変更するには、センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ My Car ➔ ロック ➔ ﾘﾓｰﾄ・ﾛｯｸ解除と車内からのﾄﾞｱﾛｯｸ解除** をタップしてください。

13 キーレスロックシステムは、キーレスロックおよびロック解除機能(Passive Entry*)装備車のみに適用されます。
14 キーレスロックおよびロック解除機能(Passive Entry*)装備車のみ。
15 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

フロントドアのボタンによるロック

– ボタンを押します。両側のフロントドアを閉じておく必要があります。
  › すべてのドアとテールゲートがロックされます。

リアドアのボタンによるロック*

リアドアのインジケーターランプ付きロックボタン

リアドアのロックボタンはそのドアのみをロックします。

リアドアのロック解除

– ハンドルを引きます。
  › リアドアがロック解除され開きます。

関連情報

- リモートコントロールおよび車内からのロック解除の設定（p. 287）
- 内側からのテールゲートのロック解除（p. 311）
- チャイルドロックのオン/オフ（p. 312）

内側からのテールゲートのロック解除

メーター・パネルのボタンを押すと、内側からテールゲートをロック解除できます。

1.

メーター・パネルの ボタンを軽く押します。
  › テールゲートは、ラバー加工されたプレッシャープレートをつかむことにより、外側からロック解除して開けることができます。

パワーテールゲートオプション*装備車

2. メーター・パネルの ボタンを長押しします。
  › テールゲートが開きます。

関連情報

- 車内からロックおよびロック解除する（p. 310）
- パワーテールゲート*の開閉（p. 314）

チャイルドロックのオン/オフ

チャイルドロックは、お子様が内側からリアドアを開けるのを防ぎます。ロックには電動式*と手動式があります。

電動でのオン/オフ*

パワー・チャイルドロックは、**0** 以外のすべてのイグニッション位置で作動/解除できます。作動および解除は、車両をオフにしてから 2 分以内に行うことができます。ただし、いずれのドアも開いていないことが前提です。

電動作動および解除用ボタン

1. 車両を始動するか、**0** 以外のイグニッション位置を選択します。
2. 運転席ドアのコントロールパネルのボタンを押します。
   > ドライバーディスプレイに **ﾘｱﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ起動済** のメッセージが表示され、ボタンのランプが点灯します。ロックが作動していることを表します。

パワー・チャイルドロックが作動しているとき：

- パワーウインドは、運転席ドアのコントロールパネルスイッチでのみ開けることができます。
- リアドアは内側から開けられません。

ロックを解除するには：

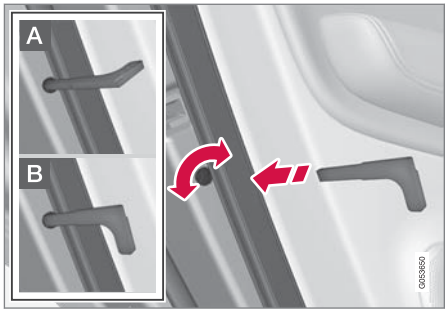
- 運転席ドアのコントロールパネルのボタンを押します。
  > ドライバーディスプレイに **ﾘｱﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ停止済** のメッセージが表示され、ボタンのランプが消灯します。ロックが解除されていることを表します。

車両をオフにしたときの設定が記憶されます。チャイルドロックがオンの状態で車両をオフにした場合、次回の車両の始動時にもこの機能はオンのままになります。

* オプション/アクセサリー。

シンボル	メッセージ	意味
	ﾘｱﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ 起動済	チャイルドロックが有効になっています
	ﾘｱﾁｬｲﾙﾄﾞﾛｯｸ 停止済	チャイルドロックが無効になっています

手動でのオン/オフ



手動チャイルドロックがかかった状態。手動ドアロックと混同しないでください。

– 脱着式キーブレードでノブを回してください。

A ドアは内側から開かなくなります。

B ドアは、外側からも内側からも開けることができます。

注意

- ドアのノブコントロールは、そのドアのみに作動します。両方のリアドアに同時に作動するわけではありません。
- 電動チャイルドロック装着車には、手動チャイルドロックは装着されていません。

関連情報

- 車内からロックおよびロック解除する (p. 310)
- 脱着式キーブレード (p. 294)

走行時の自動ロック

ドアおよびテールゲートは、車両が動き出すと自動的にロックすることができます。

設定の変更方法：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック** をタップします。
3. この機能をオフまたはオンにするには、**運転中のドア自動ロック** を選択します。

関連情報

- 車内からロックおよびロック解除する (p. 310)

パワーテールゲート*の開閉

テールゲートは電動で開閉することができます。

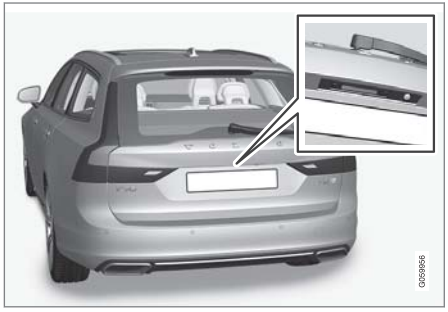
開く

パワーテールゲートを開くときは、以下のいずれかの操作をします。

- リモートコントロールキーの ボタンを長押しします。テールゲートが開き始めるまで押したままにします。

- メーター・パネルの ボタンを長押しします。テールゲートが開き始めるまで押したままにします。

- テールゲートハンドルを軽く押します。



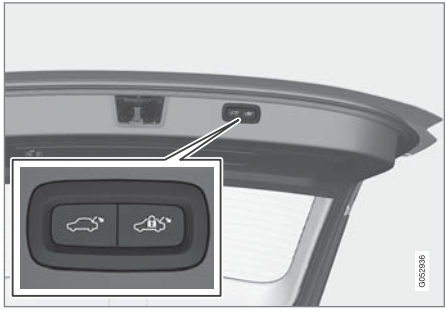
- リアバンパーの下で足を動かします*。

閉じる

パワーテールゲートを閉じる[16]ときは、以下のいずれかの操作をします。

[16] キーレスロックおよびロック解除(Passive Entry*)装備車には、閉じるためのボタンが1つと、閉じてロックするためのボタンが1つあります。

– テールゲートの下面にある ボタンを押します。



> テールゲートが自動的に閉じます。テールゲートはロック解除されたままです。

注意

- ボタン操作はテールゲートを開けてから 24 時間有効です。その後は手動で閉める必要があります。
- フラップは 30 分以上開いたままになっていると、ゆっくりと閉じます。

– リモートコントロールキーの ボタンを長押しします。

> テールゲートが自動的に閉じて、確認音が鳴ります。テールゲートはロック解除されたままです。

– メーター・パネルの ボタンを長押しします。

> テールゲートが自動的に閉じて、確認音が鳴ります。テールゲートはロック解除されたままです。

– リアバンパーの下で足を動かします*。

> テールゲートが自動的に閉じて、確認音が鳴ります。テールゲートはロック解除されたままです。

閉じてロックする[16]

– テールゲートを閉じると同時にテールゲートとすべてのドアをロックするには、テールゲートの下面にある ボタンを押します(ロックするにはすべてのドアを閉じておく必要があります)。

> テールゲートが自動的に閉じ、テールゲートとドアがロックされ、アラーム*がセットされます。

注意

- ロックおよびロック解除が機能するためには、車両のリモートコントロールキー(1 個)が作動範囲内にある必要があります。
- キーレス* ロック/クローズを使用する場合、キーがトランクリッド/テールゲートの近くで検知されないと警告音が 3 回鳴ります。

重要

テールゲートを手動で開閉する際は、ゆっくりと開閉してください。抵抗が感じられる場合は、無理に開閉しないでください。損傷または故障の可能性があります。

[16] キーレスロックおよびロック解除(Passive Entry*)装備車には、閉じるためのボタンが 1 つと、閉じてロックするためのボタンが 1 つあります。

開/閉操作をキャンセルする

開閉操作をキャンセルするには、以下のいずれかの方法を使用します。

- メーター・パネルのボタンを押します。
- リモートコントロールキーのボタンを押します。
- テールゲートの下側にある閉ボタンを押します。
- アウターハンドルの下側のラバー加工されたプレッシャープレートを押します。
- 足の動きを使用します*。

テールゲートの動作が中断され、停止します。この後、テールゲートは手動で操作できるようになります。

テールゲートが閉位置の近くで停止した場合、次に作動するとテールゲートが開きます。

ピンチプロテクション

テールゲートの開閉がある程度の力により妨げられると、ピンチプロテクションが作動します。

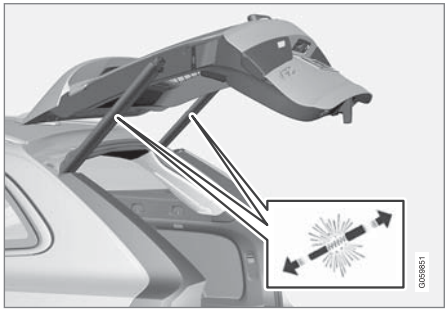
- 開いている途中で動きが妨げられると、テールゲートが停止して、長い確認音が鳴ります。
- 閉じている途中で動きが妨げられると、テールゲートが停止して、長い確認音が鳴り、テールゲートはプログラムされている開口位置まで戻ります。

⚠ 警告

開閉時に挟まれる危険があるのでご注意ください。挟まれたことで深刻な事態をまねくおそれがあるので、開閉前にテールゲートの近くに誰もいないことを確認してください。

テールゲートの操作は、つねに慎重に行ってください。

プリテンションスプリング



パワーテールゲート用のプリテンションスプリング

⚠ 警告

パワーテールゲートのプリテンションスプリングを分解しないでください。高圧がかかっているため、分解するとケガをする可能性があります。

関連情報

- パワーテールゲート*の開口位置を登録する (p. 317)
- 足の動きによるテールゲートの開閉* (p. 317)
- リモートコントロールキーの作動範囲 (p. 288)

* オプション/アクセサリー。

パワーテールゲート*の開口位置を登録する

低い天井に合わせてテールゲートの開口位置を調節します。

開口位置を調節するには

1. テールゲートを開けて、開いた位置で止めます。

> **注意**
>
> テールゲートの開位置は、半開位置よりも低い位置にプログラムすることはできません。

2. テールゲートの下側にある ボタンを3秒以上押します。
   > 設定位置が保存されたことを示す、短い確認音が2回鳴ります。

開口位置をリセットするには

– テールゲートを可能な範囲でもっとも高い位置まで手動で動かし、テールゲートの ボタンを3秒以上押します。
   > 設定位置が消去されたことを示す確認音が2回鳴ります。テールゲートを開くと、もっとも高い位置まで開くようになります。

> **注意**
>
> - システムが長時間継続して作動していた場合には、過重負担を避けるためオフになります。約2分経過すると、再び作動させることができます。

関連情報

- パワーテールゲート*の開閉（p. 314）

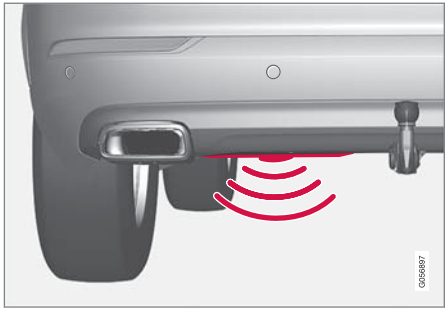
足の動きによるテールゲートの開閉*

テールゲートはリアバンパーの下で前方へキックをするような動作をすることで開閉することができます。両手がふさがっているときでも簡単に操作できます。

車両にキーレスロック/ロック解除*が装備されている場合、足の動きでテールゲートをロック解除することができます。

車両にパワーテールゲート*が装備されている場合は、テールゲートの開閉両方に対応した機能も利用できます。

> **注意**
>
> キック操作のテールゲート機能には、次の2つのバージョンがあります。
>
> - 足の動きで開閉ができる
> - 足の動きでロック解除のみができる（テールゲートは手で持ち上げて開く）
>
> キック動作での開閉機能には、パワーテールゲート*が必要です。



センサーはバンパー中央の左側に取り付けられています。

開閉するためには、車両のリモートコントロールキーの内 1 個が車両後方の作動範囲内(約 1 m (3 ft))にある必要があります。この条件はすでにロック解除されている車両にも該当します。洗車時などに不意に開くことを防止するためです。

足の動きによる開閉

検知器の作動有効領域内でキックをするような動作をします。

– リアバンパーの左下で前方へゆっくりとキックをするような動作を **1 度**行います。次に後ろへ一歩下がります。バンパーに触れないようにします。

  › 開/閉動作がオンになると、短い確認音が鳴り、テールゲートが開きます/閉じます。

  テールゲートが開位置にあるときは、足の動きにより閉じます [17]。

承認済みのリモートコントロールキーが車両の後方にない状態でキックをするような動作を複数回行なうと、しばらく経過するまでテールゲートを開くことはできません。

キックをするような動作をしているときは、足が車両の下に入ったままにならないようにします。起動に失敗する場合があります。

足の動きによる開閉のキャンセル

– テールゲートの開閉中にテールゲートの動きを止めるには、前方へゆっくりとキックをするような動作を **1 回**行います。

開閉をキャンセルするときには、リモートコントロールキーが車両の近くにある必要はありません。

テールゲートが閉位置の近くで停止した場合、次に作動するとテールゲートが開きます。

注意

リアバンパーに大量の氷、雪、汚れなどが付着していると、機能が低下する、またはまったく動作しなくなる可能性があります。このため、つねにきれいな状態に保つようにしてください。

注意

リモートコントロールキーが作動範囲内にある場合、洗車機内などでシステムがオンになる可能性がありますのでご注意ください。

17 パワーテールゲート*装備車両に適用されます。

関連情報
- キーレスおよび感圧面*（p. 306）
- パワーテールゲート*の開閉（p. 314）
- リモートコントロールキーの作動範囲（p. 288）

プライベートロック
テールゲートは、開けられないようにロック（プライベートロック機能を使用）することができるため、車両を点検整備に出すときやホテルの駐車サービスに預けるときなどに役立ちます。

プライベートロック機能ボタンは、センターディスプレイの機能ビューにあります。ロックの現在の状態に応じて、**プライベートロック解除** または **プライベートロック起動** が表示されます。

関連情報
- プライベートロックのオン/オフ（p. 319）

プライベートロックのオン/オフ
プライベートロックをオンにするには、センターディスプレイの機能ボタンおよびオプションの PIN コードを使用します。

> **注意**
>
> プライベートロック機能を有効にするためには、最小要件として、キーがイグニッション位置 I になっている必要があります。

初めて使用する前にセキュリティコードを入力する
この機能を初めて使用するときには、セキュリティコードを選択する必要があります。セキュリティコードを使用すると、選択した PIN コードを紛失した、または忘れた場合にプライベートロックを解除することができます。このセキュリティコードは、後でプライベートロック機能に設定される PIN コードすべてに対して PUK コードの役割を果たします。

セキュリティコードは安全な場所に保管してください。

◀◀ セキュリティコードの作成方法：

1. 機能ビューでプライベートロックのボタンを押します。

> ポップアップウィンドウが表示されます。

2. 登録するセキュリティコードを入力します。
> セキュリティコードが保存されます。プライベートロック機能を作動できるようになります。

システムをゼロにリセットした場合、上記の手順を再度行なう必要があります。

プライベートロックをかける

1. 機能ビューでプライベートロックのボタンを押します。

> ポップアップウィンドウが表示されます。

2. ロック後に、テールゲートのロック解除に使用するコードを入力して、**確認** をタップします。
> テールゲートがロックされます。ロックされると、機能ビューのボタンに緑のインジケーターが表示されます。

プライベートロックを解除する

1. 機能ビューでプライベートロックのボタンを押します。

> ポップアップウィンドウが表示されます。

2. ロック時に使用したコードを入力して、**確認** をタップします。
> テールゲートのロックが解除されます。ロックが解除されると、機能ビューのボタンの緑のインジケーターが消灯します。

注意

暗証番号をなくした/忘れた場合、または間違った暗証番号を 4 回以上入力した場合、セキュリティコードを使用すると、プライベートロックを無効にすることができます。

注意

プライベートロックがオンになっているときに、Volvo On Call*または Volvo On Call* アプリを使用して車両のロックを解除すると、プライベートロックは自動でオフになります。

関連情報

- プライベートロック（p. 319）

* オプション/アクセサリー。

アラーム*

何者かが有効なリモートコントロールキーを持たずに車内に入ったり、メインバッテリーまたはアラームサイレンを操作したりした場合、アラームは警告音を発し、警告灯を表示します。

作動可能状態のアラームは、次のようなときに作動します：

- ドア、ボンネット、またはテールゲートが開けられたとき [18]
- 車内の動きを感知したとき（ムーブメントセンサー*装着車の場合）
- 車両が持ち上げられたり、けん引されたとき（チルトセンサー*装着車の場合）
- メインバッテリーのケーブルの接続が外されたとき
- サイレンの接続を切断しようとしたとき

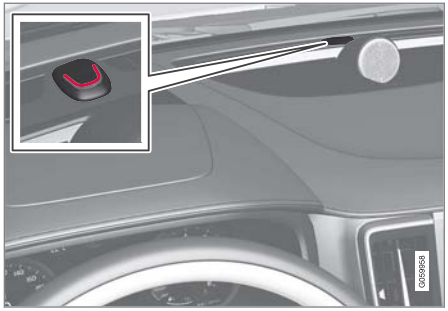
アラームシグナル

アラームが作動したときは：

- サイレンは、30 秒間またはアラームを解除するまで鳴ります。
- すべての方向指示器が 5 分間、またはアラームを解除するまで点滅します。

アラーム作動の原因が取り除かれない場合、アラームサイクルは最大で 10 回繰り返されます [18]。

アラームインジケーター



ダッシュボードにある赤い LED が、アラームシステムの状態を表示します：

- LED 消灯 – アラームが解除されています。
- LED が 2 秒に 1 回点滅 – アラームがセットされています。
- アラームが解除された後は、イグニッション位置 I にするまで、または最長 30 秒間、LED が高速点滅して、アラームが作動したことを表します。

ムーブメントおよびチルトセンサー*

ムーブメントおよびチルトセンサーは、車内でなにかが動いた場合、ウインドが割られた場合、または何者かがホイールを盗もうとしたり、車両のけん引を試みたりした場合に反応します。

車内でなんらかの動きが検知されると、ムーブメントセンサーによりアラームが作動します。気流も動きとして感知されます。このため、ウインドまたはパノラマルーフ*が開いたままになっている場合や車内ヒーターが作動している場合には、アラームが作動するおそれがあります。

こうした状況を避けるには：

- 車両から離れる場合には、ウインドおよびパノラマルーフを閉じてください。
- 車内のヒーターまたはパーキングヒーターを使用する場合、空気吹出口の向きを調節して、空気吹出口が車内の上方向を向かないようにしてください。

または、アラームレベルを下げて、ムーブメントおよびチルトセンサーを一時的に無効にする方法もあります。

また、車両をフェリーや列車で輸送する場合も、それらの動きが車両に影響してアラームを誤作動させるおそれがあるため、ムーブメントおよびチルトセンサーをオフにしてください。

[18] 特定市場に適用

アラームシステムに故障がある場合

アラームシステムに故障が検知されると、ドライバーディスプレイにシンボル、および **ｱﾗｰﾑｼｽﾃﾑ故障 販売店にお問い合わせ下さい** というメッセージが表示されます。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

注意

アラームシステムの部品は、絶対にご自身で修理や改造をしないでください。保険が適用されなくなる場合があります。

関連情報

- アラーム*のセット/解除（p. 322）
- アラーム*の機能解除（p. 324）
- デッドロック*（p. 324）

アラーム*のセット/解除

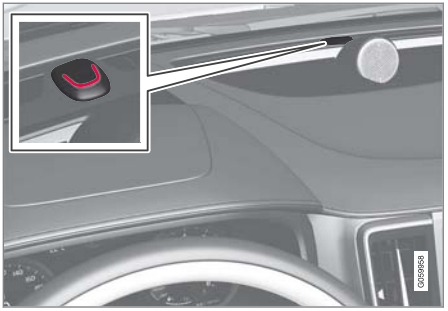
車両をロックすると、アラームがセットされます。

アラームのセット

車両をロックしてアラームをセットする場合、以下のいずれかの操作をします。

- リモートコントロールキーのロックボタン を押します
- ドアハンドルの外側のマーク部分に触れるか、もしくはテールゲートのラバー加工されたプレッシャープレートを押します [19]

キーレスロック/ロック解除機能*およびパワーテールゲート*の両方が装備されている車両では、車両をロックしてアラームをセットする場合、テールゲートの下面にある ボタンを使用することもできます。



車両がロックされてアラームがセットされているときには、ダッシュボードにある赤い LED が 2 秒に 1 回の間隔で点滅します。

アラームを非作動状態にする

車両をロック解除してアラームを解除する場合、以下のいずれかの操作をします。

- リモートコントロールキーのロック解除ボタン を押します
- いずれかのドアハンドルを握るか、もしくはテールゲートのラバー加工されたプレッシャープレートを押します [19]

[19] キーレスロック/ロック解除機能*(Passive Entry)装備車のみに適用されます。

機能しているリモートコントロールキーなしでアラームを非作動状態にする

リモートコントロールキーが電池切れなどにより機能しない場合でも、車両のロック解除およびアラームの解除を行うことができます。

1. 脱着式キーブレードを使用して、運転席ドアをロック解除します。
   > アラームが作動します。

カップホルダー内のバックアップリーダーの場所

2. リモートコントロールキーを、トンネルコンソールのカップホルダーにあるバックアップリーダーのキーシンボルの上に置きます。
3. スタートノブを時計回りに回して、ノブから手を離します。
   > アラームが解除されます。

作動したアラームの停止

– リモートコントロールキーのロック解除ボタンを押すか、スタートノブを時計回りに回して手を離し、車両をイグニッション位置 **I** にします。

> **注意**
>
> - 車両がロックされているときは、アラームが有効になっていますのでご注意ください。
> - いずれかのドアを車内から開けた場合、アラームが作動します。

アラームの自動セット/再セット

アラームの自動再セットは、アラームをセットし忘れた状態で、車両が放置されるのを防ぐ機能です。

リモートコントロールキーで車両をロック解除(およびアラーム解除)してから 2 分以内にドアまたはテールゲートを開けないと、アラームは自動的に再びセットされます。同時に車両もロックされます。

一部の市場では、運転席ドアを開閉した後にロックしないでおくと、しばらく経過後に自動的にアラームがセットされます。

設定の変更方法：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ロック** をタップします。
3. **パッシブアーミングの無効化** を選択して、機能を一時的に解除します。

関連情報

- アラーム* (p. 321)

アラーム*の機能解除

アラームの機能解除とは、ムーブメントおよびチルトセンサーを一時的にオフにすることです。

ロックした車内に犬を残す場合やカートレインまたはカーフェリーで車両を輸送するときなどは、アラームが誤作動しないように、ムーブメントセンサーおよびチルトセンサーをオフにしてください。

センターディスプレイの機能ビューで **ガード解除** ボタンを押すと、その後に車両をロックしたときにムーブメントおよびチルトセンサーがオフになります。

同時にデッドロック機能がオフになり、車内からのロック解除が可能になります。

車両をロック解除してからロックし直す場合、解除されたアラームを再度有効にする必要があります。

関連情報

- アラーム*（p. 321）
- デッドロック*（p. 324）

デッドロック*

デッドロックを使用すると、すべてのドアハンドルが機械的に施錠されるため、車両を外側からロックしたときに内側からドアを開けることができなくなります。

デッドロック機能は、リモートコントロールキーおよびキーレスロック(Passive Entry)*で作動します。デッドロック機能は、ドアがロックされてから約 10 秒後に作動します。

遅延時間内にドアが開けられた場合には、手順が中断され、アラームは解除されます。

注意

- 車両がロックされているときは、アラームが有効になっていますのでご注意ください。
- いずれかのドアを車内から開けた場合、アラームが作動します。

デッドロック機能が作動している場合、車両をロック解除するには、かならずリモートコントロールキー、キーレスロック解除またはVolvo On Call*アプリを使用する必要があります。

脱着式キーブレードを使用して、左側フロントドアをロック解除することもできます。脱着式キーブレードを使用して車両をロック解除すると、アラームが作動します。

警告

車内に人が閉じ込められる危険を防止するため、デッドロック機能を解除しない限り、車内に人を残して車両から離れないでください。

関連情報

- デッドロック*の一時解除（p. 325）
- アラーム*（p. 321）

デッドロック*の一時解除

車内に人を残したまま車外からドアをロックする場合、車内からロック解除できるようデッドロック機能を解除する必要があります。

センターディスプレイの機能ビューで **ガード解除** ボタンをタップして、デッドロック機能を一時的にオフにします。

これにより、アラームのムーブメントセンサーおよびチルトセンサー* もオフになります。

この後、センターディスプレイに **ガードレベルの低減** と表示され、以後の車両のロック作動ではデッドロックが一時的に解除されます。

従来のロックでは、電源ソケットへの電源供給がただちに遮断されますが、デッドロック機能を一時的に解除した場合は、ロックしてから最長 10 分間、電源ソケットへの電源供給が継続されます。

車両をロック解除してからロックし直す場合、デッドロック機能を再度解除する必要があります。

次回のエンジン始動時にシステムはリセットされます。

関連情報

- デッドロック*（p. 324）
- アラーム*（p. 321）

運転者サポート

運転者サポートシステム

車両には、異なる状況で運転者を能動的に、または受動的にサポートする、さまざまな運転者サポートシステムが搭載されています。

例えば、運転者サポートシステムは以下のようなときに運転者をサポートできます。

- 設定速度を維持する
- 前方の車両までの車間時間を一定に維持する
- 運転者への警告および車両の制動により衝突を防止する
- 駐車を支援する

システムの中には標準装備されるものとオプションで装備されるものがあり、装備できるシステムも市場によって異なります。

関連情報

- 速度感応式のステアリングホイール操舵力 (p. 328)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール (p. 329)
- 速度リミッター (p. 335)
- 自動速度リミッター (p. 339)
- クルーズコントロール (p. 343)
- 車間警告機能* (p. 349)
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)
- Pilot Assist (p. 370)
- レーダーユニット (p. 387)
- カメラユニット (p. 396)
- City Safety™ (p. 400)
- Rear Collision Warning (p. 413)
- BLIS* (p. 414)
- Cross Traffic Alert* (p. 419)
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 423)
- Driver Alert Control (p. 431)
- レーンアシスト (p. 433)
- 衝突回避ステアリングアシスト (p. 441)
- パークアシスト* (p. 450)
- パークアシスト・カメラ* (p. 456)
- パークアシスト・パイロット* (p. 467)

速度感応式のステアリングホイール操舵力

速度感応式パワーステアリングは、車速が上がるとステアリングを重くしてハンドル操作をしやすくします。

高速道路では、ステアリングはさらに重く感じられます。駐車時や低速走行時はステアリングホイールが軽くなり、わずかな力で操舵できます。

注意

状況により、パワーステアリングの温度が上がりすぎて、一時的に冷却が必要になることがあります。この間、パワーステアリングのアシスト力が低下するため、ステアリングホイールを回すときに、通常よりも少し重く感じられることがあります。

ステアリングアシストが一時的に省電力で作動している場合は、ドライバーディスプレイにメッセージが「ステアリングホイール」のシンボルとともに表示されます。

* オプション/アクセサリー。

⚠ 警告

パワーステアリングが省電力で作動している間は、運転者サポート機能およびステアリングアシストシステムは利用できません。

この場合は、ドライバーディスプレイに パワーステアリング 不良 というメッセージがステアリングホイールのシンボルとともに表示されます。

ステアリングホイール操舵力を変更する*

操舵力のレベルを選択するには、「ドライブモード」の項の「選択可能なドライブモード」のオプション、INDIVIDUAL に関する説明を参照してください。

INDIVIDUAL オプションを備えたドライブモードコントロールが装備されていない車両の場合、操舵力の選択にはセンターディスプレイのトップビューと以下の検索パスを使用します。

設定 ➔ My Car ➔ ドライブモード ➔ ステアリングパワー

速度が 10 km/h (6 mph)を超えている場合、ステアリングホイールを回しているときには、操舵力の選択は利用することができません。

関連情報

- ドライブモード*（p. 499）
- Pilot Assist（p. 370）
- レーンアシスト（p. 433）
- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）
- パークアシスト・パイロット*（p. 467）

エレクトロニック・スタビリティ・コントロール

エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(ESC[1])は、横滑りの回避を支援し、車両のトラクションを向上させます。

ESC システムが作動しているときは、ドライバーディスプレイにこのシンボルが表示されます。

ESC システムによるブレーキはパルス音のように聞こえることがあり、アクセルペダルを踏み込んだときの車両の加速は予想ほど速くないことがあります。

ESC システムは以下の補助機能で構成されています。

- スタビリティ機能[2]
- スピンコントロールおよびトラクション・コントロール・システム
- エンジン・ドラッグ・コントロール
- トレーラー・スタビリティ・アシスト

⚠ 警告

- スタビリティ・システム ESC 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- ESC は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

スタビリティ機能[2]

この機能は、個々の車輪の回転と制動力をコントロールして、車両を安定させます。

スピンコントロールおよびトラクション・コントロール・システム

この機能は低速走行時に作動し、空転する駆動輪にブレーキをかけて、空転していない駆動輪から追加のトラクションが伝達されるようにします。

この機能は、加速中に駆動輪が空転することも防ぎます。

エンジン・ドラッグ・コントロール

エンジン・ドラッグ・コントロール(EDC[3])は、滑りやすい路面を低めのギヤで走行中にエンジンブレーキをかけた場合や、シフトダウンした場合などに、不意なホイールロックを防止します。

走行中の不意なホイールロックは、運転者が車両の制御を失う原因の一つとなります。

トレーラー・スタビリティ・アシスト*[4]

トレーラー・スタビリティ・アシスト(TSA[5])は、蛇行が発生した場合にトレーラーをけん引している車両を安定させる機能です。詳細については、「トレーラー・スタビリティ・アシスト」の項も参照してください。

ⓘ 注意

ESC スポーツ モード を作動させると、TSA はオフになります。

関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモード (p. 331)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモードのオン/オフ (p. 331)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモードの限界 (p. 332)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのシンボルおよびメッセージ (p. 333)
- トレーラー・スタビリティ・アシスト* (p. 534)

1 Electronic Stability Control
2 アクティブ・ヨー・コントロールと呼ばれる場合もあります。
3 Engine Drag Control
4 トレーラー・スタビリティ・アシストはボルボ純正トウバーの取り付けに含まれます。
5 Trailer Stability Assist

エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモード

ESC[6] システムはつねにオンの状態です。オフにすることはできません。しかし、運転者が ESC スポーツ モード を選択すると、よりアクティブな運転が可能になります。

ESC スポーツ モード 補助機能を選択すると、ESC の介入が減り、車両の横滑りできる量が増えるため、運転者の制御できる範囲が通常よりも広がります。

ESC スポーツ モード を選択した場合、ESC は多くの状況で運転者をサポートし続けますが、オフの状態と見なすことができます。

> **注意**
>
> **ESC スポーツ モード** 機能が選択されると、トレーラー・スタビリティ・アシスト(TSA[7])がオフになります。

ESC スポーツ モード では、車両が動けなくなった場合や、砂や深い雪など緩い路面を走行している際にも、最大のトラクションが得られるようになります。

関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール（p. 329）
- トウバー*（p. 529）

エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモードのオン/オフ

ESC[8] システムはつねにオンの状態です。オフにすることはできません。しかし、運転者がスポーツモードを選択すると、よりアクティブな運転が可能になります。

スポーツモードはセンターディスプレイの機能ビューで起動/解除します。

- 機能ビューで **ESC スポーツ モード** ボタンをタップします。
  - 〉 スポーツモードが起動/解除され、緑色/灰色のインジケーターがボタンに表示されます。

ドライバーディスプレイは、機能が解除されるか、エンジンを停止するまで、このシンボルを点灯させることにより **ESC スポーツ モード** が起動していることを示します。次回のエンジン始動後には、ESC システムは通常モードに戻ります。

6 Electronic Stability Control
7 Trailer Stability Assist
8 Electronic Stability Control

関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール（p. 329）

エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのスポーツモードの限界

ESC[9] システムの ESC スポーツ モード 補助機能の作動には、ある程度の限界があります。

ESC スポーツ モード 機能は、以下の機能のいずれかが作動しているときには選択できません。

- 速度リミッター
- クルーズコントロール
- アダプティブクルーズコントロール
- Pilot Assist

関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール（p. 329）

[9] Electronic Stability Control

エレクトロニック・スタビリティ・コントロールのシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、エレクトロニック・スタビリティ・コントロール(Electronic Stability Control - ESC)に関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。

いくつかの例が以下の表に示されています。

シンボル	メッセージ	意味
	約 2 秒間点灯	エンジン始動時のシステムチェックを行っています。
	点滅状態	ESC システムが起動中です。
	点灯状態	スポーツモードが選択されています。 **注意：**このモードの場合、ESC システムは解除されていません。一部制限されているだけです。
	横滑り防止装置 **一時的にオフ**	ブレーキが高温になりすぎて、ESC システムが一時的に制限されたことを示します。ブレーキ温度が正常に戻ると、機能は自動的に作動状態に戻ります。 ドライバーディスプレイのメッセージを参照してください。
	横滑り防止装置 **販売店に お問い合わせ下さい**	ESC システムが解除されています。 • 安全な場所に停車して、エンジンを一度停止し、その後再始動してください。 • メッセージが残る場合は、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ○ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

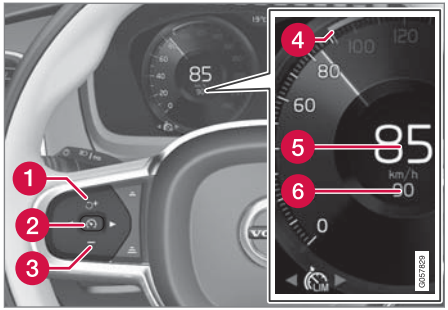
メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール（p. 329）

速度リミッター

速度リミッター(SL[10])は、クルーズコントロールが逆になったものとみなすことができます。運転者がアクセルペダルで速度を調節しますが、速度リミッターは、事前に選択/設定した速度を不用意に上回ることをがないようにします。



機能のボタンとシンボル [11]

1 ：速度リミッターをスタンバイモードから作動させて、設定上限速度を有効にします。

1 ＋：設定上限速度を上げます。

2 ：**スタンバイモードから** – 速度リミッターを作動させて、現在の速度を記憶します。

2 ：**アクティブモードから** – 速度リミッターを解除/スタンバイモードに変更します。

3 －：設定上限速度を下げます。

4 設定上限速度用マーカー

5 車両の現在速度

6 設定上限速度

⚠ 警告

- 速度リミッター機能は、運転を手助けするための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 運転者はつねに周囲の交通状況に注意し、速度リミッターが適切な速度を維持していない場合には適宜対応する必要があります。
- 速度リミッターは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報

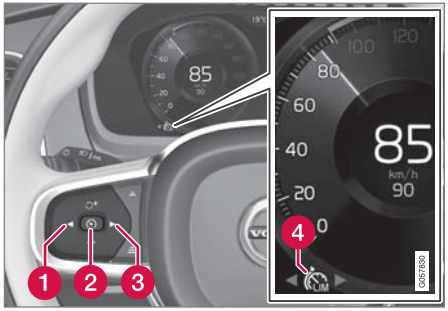
- 速度リミッターの限界（p. 339）
- 速度リミッターの作動と起動（p. 336）
- 速度リミッターの速度を管理する（p. 336）
- 速度リミッターを解除してスタンバイモードにする（p. 337）
- スタンバイモードからの速度リミッターの再作動（p. 338）
- 速度リミッターを解除する（p. 338）
- 自動速度リミッター（p. 339）
- 自動速度リミッターの限界（p. 343）
- 自動速度リミッターを作動/解除する（p. 341）
- 自動速度リミッターの許容範囲の変更（p. 342）

10 Speed Limiter
11 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

速度リミッターの作動と起動

速度を制限させるには、最初に速度リミッター機能(SL[12])を選択して作動させておく必要があります。

速度リミッターをスタンバイモードにする



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

– ◂ (1)または ▸ (3)を押して、速度リミッターのシンボル/機能 LIM (4)を表示します。
  › シンボル(4)が表示されて、速度リミッターがスタンバイモードになります。

速度リミッターを起動します。

速度リミッターはエンジンが始動するまで作動させることができません。設定可能な上限速度の下限は 30 km/h (20 mph)です。

– 速度リミッターがスタンバイモードで LIM シンボルが表示されているときに、ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  › 速度リミッターが起動して、現在の速度が上限速度として記憶されます。

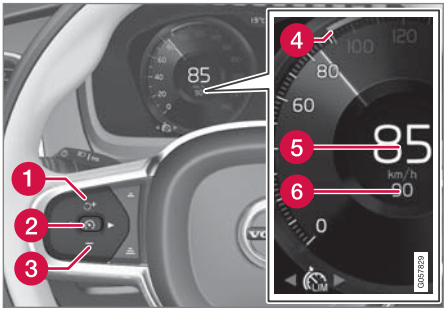
関連情報

- 速度リミッター (p. 335)

速度リミッターの速度を管理する

速度リミッター(SL[13])はさまざまな速度に設定することができます。

設定速度の設定/変更



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

– 設定速度を変更するには、ステアリングリモコンの + ボタン(1)または − ボタン(3)を短く数回押すか、または長く押します。
  - **短く数回押す**：押すたびに、速度が +/- 5 km/h (+/- 5 mph)単位で変化します。
  - **長く押す**：設定速度インジケーター(4)が目標速度に達したら、ボタンから指を離します。

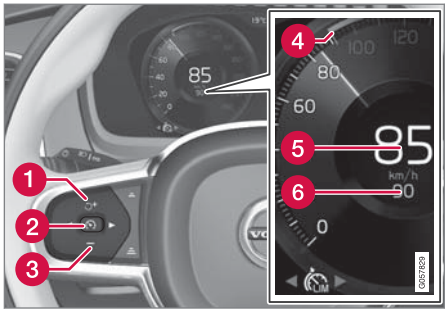
12 Speed Limiter
13 Speed Limiter

- 最後にボタンを押した後の設定速度がメモリーに記憶されます。

関連情報
- 速度リミッター（p. 335）

速度リミッターを解除してスタンバイモードにする

速度リミッター(SL[14])は一時的に解除して、スタンバイモードにすることができます。



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

速度リミッターを解除してスタンバイモードにするには：

- ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  - 〉ドライバーディスプレイの上限速度マークとシンボルの色が白から灰色に変わります。これは速度リミッターが一時的に解除されたことを示します。運転者は設定された上限速度よりも速い速度で運転することができます。

アクセルペダルによる一時的な解除

速度リミッターは、速度リミッターをスタンバイモードに設定しなくてもアクセルペダルの操作で一時的に解除して無効にすることができるため、危険な状況から脱出する場合などに急加速することができます。

必要な状況では、以下のように操作してください。

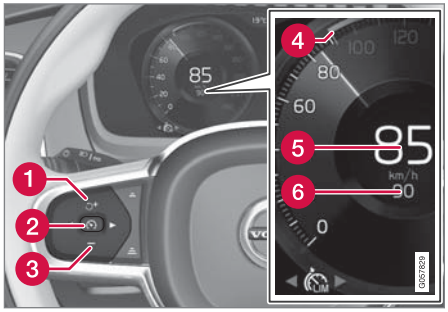
1. アクセルペダルをいっぱいまで踏み込み、目標の速度に到達した時点で踏み込みをゆるめて加速を中断します。
   - 〉この場合、速度リミッターは作動状態を維持するため、ドライバーディスプレイのシンボルは白色です。
2. 一時的な加速が完了したら、アクセルペダルから足を完全に離します。
   - 〉最後に設定された上限速度を下回るまで車両に自動的にエンジンブレーキがかかります。

関連情報
- 速度リミッター（p. 335）

14 Speed Limiter

スタンバイモードからの速度リミッターの再作動

速度リミッター(SL[15])は、一時的に解除してスタンバイモードにした後に再作動させることができます。



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

速度リミッターをスタンバイモードから再作動させるには：

- ステアリングリモコンのボタン (1)を押します。
  - 〉ドライバーディスプレイの上限速度マークの色が灰色から白に変わり、車速は最後に記憶された上限速度に制限されます。

または

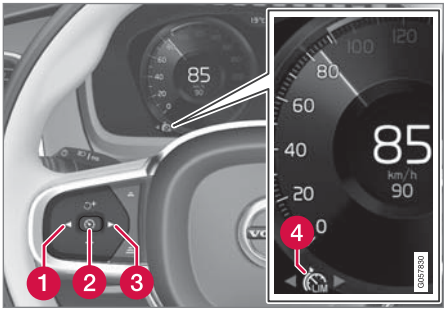
- ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  - 〉ドライバーディスプレイの速度リミッターインジケーターおよびシンボルの色が灰色から白に変わり、車両は現在の速度を上限速度として適用します。

関連情報

- 速度リミッター（p. 335）

速度リミッターを解除する

速度リミッター(SL[16])は解除することができます。



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

クルーズコントロールを解除するには：

1. ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
   - 〉速度リミッターがスタンバイモードになります。

15 Speed Limiter

2. ステアリングリモコンのボタン ◂ (1)または ▸ (3)を押して、別の機能に切り替えます。
   > ドライバーディスプレイで点灯中の速度リミッターのシンボルおよび表示灯(4)が消灯し、設定上限速度が削除されます。
3. ステアリングリモコンのボタン (2)を再度押します。
   > 別の機能がオンになります。

関連情報
- 速度リミッター (p. 335)

速度リミッターの限界

急な下り坂では、速度リミッターのエンジンブレーキだけでは不十分となり、設定上限速度を超過する場合があります。この場合、運転者への警告として、ドライバーディスプレイにメッセージ **制限速度を超過しました** が表示されます。

注意

上限速度を 3 km/h (約 2 mph)以上超えると、上限速度を超えたことを知らせるメッセージが表示されます。

関連情報
- 速度リミッター (p. 335)

自動速度リミッター

自動速度リミッター(ASL[17])機能は、道路標識に表示されている速度に合わせて車両の上限速度を調整するのに役立ちます。

速度リミッター機能(SL[18])は、自動速度リミッター(ASL)に切り替えることができます。

自動速度リミッターはロード・サイン・インフォメーション(RSI[19])機能の速度情報を使用して、車両の上限速度を調整します。

16 Speed Limiter
17 Automatic Speed Limiter
18 Speed Limiter
19 Road Sign Information

⚠ 警告

- ASL 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 運転者に速度関連の道路標識がはっきりと見える場合でも、ロード・サイン・インフォメーション(RSI)機能から ASL への速度情報が正しくない場合があります。そのような場合、運転者自身が操作して、適切な速度に加速または減速する必要があります。
- ASL は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。
- 「ロード・サイン・インフォメーションの限界」の項も参照してください。

SL または ASL のどちらが作動中か

ドライバーディスプレイのシンボルは、どちらの速度リミッターが作動しているかを示します。

シンボル	SL	ASL
[A]	✓	✓
 「70」よりも後の標識シンボル [B] = ASL が作動中		✓

A 白色のシンボル：機能作動中、灰色のシンボル：スタンバイモード

B シンボルの色が表す意味については、次の「ASL シンボル」の項を参照してください。

ASL シンボル

標識シンボル(スピードメーターの中央に設定速度「70」と一緒に表示される)は、3 色で表示され、それぞれの意味は以下の通りです。

標識シンボルの色	意味
黄緑色	ASL が作動中
灰色	ASL がスタンバイモード
オレンジ色	ASL が一時的にスタンバイモード(道路標識を読み取れないことなどが原因)

関連情報

- 速度リミッター（p. 335）
- 自動速度リミッターを作動/解除する（p. 341）
- 自動速度リミッターの許容範囲の変更（p. 342）
- 自動速度リミッターの限界（p. 343）

自動速度リミッターを作動/解除する

自動速度リミッター機能(ASL[20])は、速度リミッター(SL[21])の補助として作動/解除することができます。

ASL を作動させる

速度標識 アシスト ボタンは、センターディスプレイの機能ビューにあります。

自動速度リミッターを作動させるには：

1. **速度標識 アシスト** ボタンをタップします。
   > ASL はスタンバイモードになり、ボタンに緑色のインジケーターが点灯して、ドライバーディスプレイのスピードメーターの中央に標識シンボルが表示されます。
2. ステアリングホイールの ボタンを押します。
   > ASL が現在の車両速度で作動します。

注意

- 自動速度リミッター機能を作動させると、RSI[22] が起動していない場合でもドライバーディスプレイにロード・サイン・インフォメーションが表示されます。
- ドライバーディスプレイのロード・サイン・インフォメーションを消すには、自動速度リミッターおよび RSI の**両方**をオフにする必要があります。
- 自動速度リミッター機能がオンになっており、RSI がオフになっているときは、RSI は警告を発しません。警告を作動させるには、RSI もオンにする必要があります。

ASL を解除する

自動速度リミッターを解除するには：

- 機能ビューで **速度標識アシスト** ボタンをタップします。
  > ASL が解除されてボタンの表示が灰色に変わり、SL が作動します。

警告

ASL から SL に切り替えると、車両は表示制限速度に従わず、メモリーに記憶されている制限速度のみに従うようになります。

関連情報

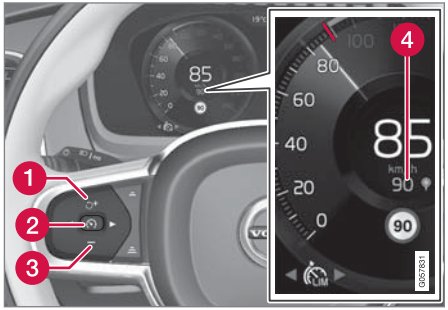
- 速度リミッター（p. 335）
- 自動速度リミッター（p. 339）
- ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ（p. 424）

20 Automatic Speed Limiter
21 Speed Limiter
22 ロード・サイン・インフォメーション - RSI

自動速度リミッターの許容範囲の変更

自動速度リミッター機能(ASL[23])の設定では、許容範囲を変更することができます。

表示されている制限速度は増減させることができます。例えば、車両が 70 km/h (43 mph)の制限速度を守っているときに、運転者は車両が 75 km/h (47 mph)を維持して走行できるように設定することができます。



機能のボタンとシンボル [24]

– スピードメーターの中央(4)の表示が 70 km/h (43 mph)から 75 km/h (47 mph)に変わるまで、ステアリングリモコンの + ボタン(1)を押します。

  › 完了すると、通過する標識が 70 km/h (43 mph)を表示している限り、車両は選択された許容値 5 km/h (4 mph)を使用します。

  この許容範囲は表示速度の異なる道路標識を通過するまで適用されます。それ以降、車両は新しい制限速度に従って走行し、許容範囲はメモリーから削除されます。

  ロード・サイン・インフォメーション*[25]機能がオンの場合、表示制限速度を示す色付きのインジケーターがスピードメーターにも表示されます。

許容範囲は、速度リミッターで速度設定を変更するときと同じ方法で調節します。

注意

選択可能な最大許容値は+/- 10 km/h (5 mph)です。

関連情報

- 速度リミッター (p. 335)
- 自動速度リミッター (p. 339)
- ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ (p. 424)

23 Automatic Speed Limiter
24 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。
25 ロード・サイン・インフォメーション – RSI

自動速度リミッターの限界

自動速度リミッター(ASL[26])には、車両が通過する道路標識の制限速度情報ではなく、RSI[27]機能からの速度情報が使用されます。

RSI[27]が速度情報を読み取ることができず、ASLに情報を提供できない場合、ASLはスタンバイモードにセットされ、SLに切り替わります。このような場合、運転者自身がブレーキを操作して、適切な速度に減速する必要があります。

RSI[27]機能が速度情報を読み取ってASLに提供できるようになると、ASLは再作動します。

「ロード・サイン・インフォメーションの限界」の項も参照してください。

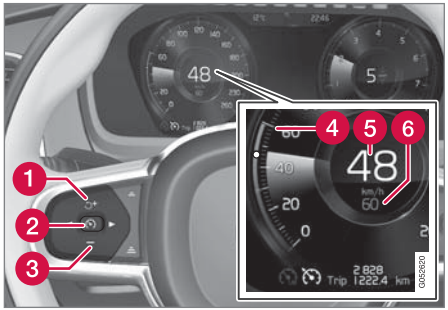
関連情報

- 速度リミッター（p. 335）
- 自動速度リミッター（p. 339）
- 自動速度リミッターの限界（p. 343）
- ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ（p. 424）

クルーズコントロール

クルーズコントロール(CC[28])は、運転者が一定速度を維持するときに役立ちます。このため、車の流れが一定な高速道路やまっすぐな道路が長く続くときに、リラックスして運転が楽しめます。

概要



機能のボタンとシンボル[29]

1. ：クルーズコントロールをスタンバイモードから作動させて、設定速度を有効にします。
1. ＋：設定速度を上げます。
2. ：**スタンバイモードから** – クルーズコントロールを作動させて、現在の速度を記憶します。
2. ：**アクティブモードから** – クルーズコントロールを解除/スタンバイモードに変更します。
3. －：設定速度を下げます。
4. 設定速度用マーカー
5. 車両の現在速度
6. 設定速度

注意

アダプティブクルーズコントロール* 装備車では、クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替えることができます。「CCとACCの切り替え」を参照してください。

26 Automatic Speed Limiter
27 ロード・サイン・インフォメーション – RSI
28 Cruise Control
29 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

⚠ 警告

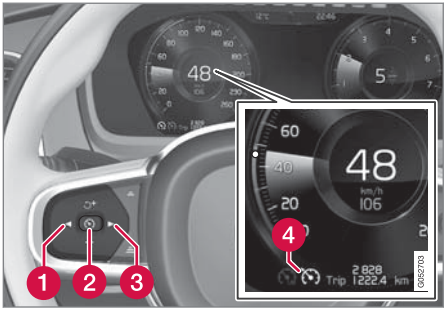
- クルーズコントロール機能は、運転を手助けするための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 機能の限界やシステムの使用前に知っておくべきことを把握するために、運転者には、オーナーズマニュアルを確認して、この機能に関連する項目をすべて読むことをお薦めします(本項の終わりにあるリンクの一覧を参照してください)。
- クルーズコントロールは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報

- クルーズコントロールの作動と起動 (p. 344)
- クルーズコントロールの速度を管理する (p. 345)
- クルーズコントロールを解除してスタンバイモードにする (p. 346)
- スタンバイモードからのクルーズコントロールの再作動 (p. 347)
- クルーズコントロールを解除する (p. 348)
- クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替える (p. 366)

クルーズコントロールの作動と起動

速度を制御できるようにするには、最初にクルーズコントロール機能(CC[30])を選択して作動させておく必要があります。



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

クルーズコントロールをスタンバイモードにする

クルーズコントロールをスタンバイモードにするには：

– ◂ (1)または ▸ (3)を押して、シンボル/機能 (4)に移動します。

› シンボルが表示され、クルーズコントロールが作動可能な状態になります。

クルーズコントロールの作動/起動

クルーズコントロールをスタンバイモードから起動させるには、車速が 30 km/h (20 mph)以上である必要があります。設定可能な下限速度は 30 km/h (20 mph)です。

クルーズコントロールの起動：

- シンボル/機能 が表示されているときに、ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  > クルーズコントロールが起動して、現在の速度が設定速度になります。

注意

クルーズコントロールは、車速が 30 km/h (20 mph)未満のときは使用できません。

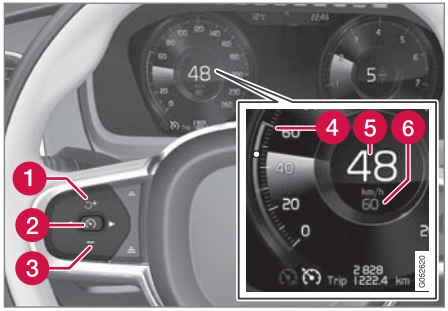
関連情報

- クルーズコントロール (p. 343)

クルーズコントロールの速度を管理する

クルーズコントロール(CC[31])はさまざまな速度に設定することができます。

設定速度の設定/変更



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルおよび市場により異なっている場合があります。

- 設定速度を変更するには、ステアリングリモコンの + ボタン(1)または − ボタン(3)を短く数回押すか、または長く押します。
  - **短く数回押す**：押すたびに、速度が +/- 5 km/h (+/- 5 mph)単位で変化します。
  - **長く押す**：設定速度インジケーター(4)が目標速度に達したら、ボタンから指を離します。
- 最後にボタンを押した後の設定速度がメモリーに記憶されます。

運転者がステアリングリモコンの + ボタン(1)を押す前にアクセルペダルで車両の速度を上げた場合、ボタンを押したときに運転者の足がアクセルペダルに載っていれば、ボタンを押した時点の速度が記憶されます。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

フットブレーキの代わりにエンジンブレーキを使用する

クルーズコントロールを使用している場合、フットブレーキで速度を調節する頻度は少なくなります。下り坂では、速度が出すぎてしまい、エンジンブレーキで加速を制限することが望ま

30 Cruise Control
31 Cruise Control

しい場合があります。この場合、運転者はクルーズコントロールによるフットブレーキの使用を一時的に無効にすることができます。

以下の手順に従ってください。

- アクセルペダルを半分程度まで踏み込んで放します。
  - クルーズコントロールは自動フットブレーキを解除して、エンジンブレーキのみを使用します。

ドライブモード依存のクルーズコントロール

クルーズコントロールによる速度の維持方法は、選択中のドライブモード[32]によって異なることがあります。

ECO ドライブモードでの Eco Cruise クルーズコントロール

ECO ドライブモードでは、ほかのドライブモードのときよりもクルーズコントロールの加減速がスムーズになり、燃費性能および環境性能が最適化されます。これに伴い、車両の速度が設定速度を一時的に上回る、または下回ることがあります。

「クルーズコントロール ECO」の「Eco Cruise ドライブモード」の補足情報を参照してください。

クルーズコントロール Dynamic Cruise

Dynamic ドライブモードでは、ほかのモードのときよりもクルーズコントロールの加減速が強く感じられ、ダイレクトに伝わる印象を受けます。

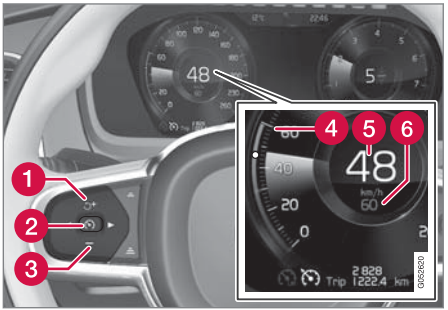
関連情報

- クルーズコントロール（p. 343）
- ドライブモード*（p. 499）
- ECO ドライブモード（p. 502）

クルーズコントロールを解除してスタンバイモードにする

クルーズコントロール(CC[33])は一時的に解除してスタンバイモードにしておき、後で再作動させることができます。

クルーズコントロールを解除してスタンバイモードにする



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

[32] 補足情報については、「ドライブモード」の項を参照してください。
[33] Cruise Control

クルーズコントロールをスタンバイモードにするには：

– ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  › ドライバーディスプレイのクルーズコントロールマークとシンボルの色が白から灰色に変わります。これはクルーズコントロールが一時的に解除されたことを示します。運転者は自らの操作で速度を制御する必要があります。

運転者の操作に伴うスタンバイモードへの移行

以下の場合、クルーズコントロールは一時的に解除されて、スタンバイモードになります。

- フットブレーキが使用された
- ギヤセレクターレバーを N 位置にした
- 運転者が、設定されている速度よりも速い速度を 1 分間以上維持した

このような場合、運転者は車速をご自分で制御しなければなりません。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

自動スタンバイモード

次のような場合には、クルーズコントロールが一時的に解除され、スタンバイモードになります。

- タイヤのグリップ力が失われたとき
- エンジン回転数が低すぎる、または高すぎるとき
- ブレーキ温度が高くなりすぎたとき
- 車速が 30 km/h (20 mph)を下回ったとき

このような場合、運転者は車速をご自分で制御しなければなりません。

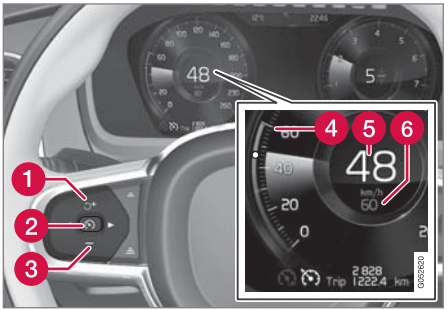
関連情報

- クルーズコントロール (p. 343)

スタンバイモードからのクルーズコントロールの再作動

クルーズコントロール(CC[34])は一時的に解除してスタンバイモードにしておき、後で再作動させることができます。

スタンバイモードからのクルーズコントロールの再作動



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

34 Cruise Control

クルーズコントロールをスタンバイモードから作動させるには：

- ステアリングリモコンのボタン (1)を押します。
  - › ドライバーディスプレイのクルーズコントロールマークとシンボルの色が灰色から白に変わり、車両は直近に記憶された速度になります。

または

クルーズコントロールをスタンバイモードから作動させるには：

- ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  - › ドライバーディスプレイのクルーズコントロールマークとシンボルの色が灰色から白に変わり、車両は現在の速度で走行します。

⚠ 警告

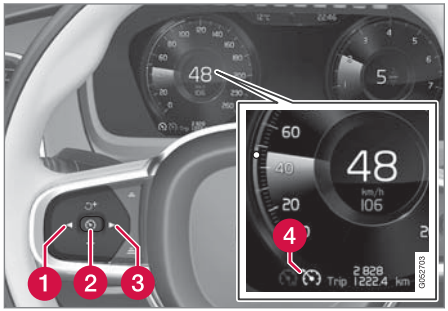
ステアリングリモコンボタン を押して速度を戻すと、速度が著しく上昇することがあります。

関連情報

- クルーズコントロール（p. 343）

クルーズコントロールを解除する

クルーズコントロール Cruise Control - CC は解除することができます。



機能のボタンとシンボル [35]

クルーズコントロールを解除するには：

1. ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
   - › クルーズコントロールがスタンバイモードになります。
2. ステアリングリモコンのボタン ◂ (1)または ▸ (3)を押して、別の機能に切り替えます。
   - › ドライバーディスプレイで点灯中のクルーズコントロールのシンボル (4)が消灯し、設定速度が削除されます。
3. ステアリングリモコンのボタン (2)を再度押します。
   - › 別の機能がオンになります。

ⓘ 注意

アダプティブクルーズコントロール* 装備車では、クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替えることができます。「CC と ACC の切り替え」を参照してください。

関連情報

- クルーズコントロール（p. 343）
- クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替える（p. 366）

[35] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

* オプション/アクセサリー。

車間警告機能*[36]

車間警告機能[37]は、先行車両までの車間時間が短くなりすぎる場合に、運転者に注意を促します。

ただし、車間警告機能の表示はヘッドアップディスプレイ装備車であることが条件です。車間警告機能は先行車との車間時間が既定値を下回っている間、ウインドスクリーンにシンボルで表示されます。

車間警告機能は、速度が 30 km/h (20 mph)を超えているときに作動し、同じ方向に走行している先行車に対してのみ反応します。対向車、低速で走行している車両、または停止している車両に対して、車間情報は表示しません。

注意

- 車間警告機能は、ヘッドアップディスプレイでウインドスクリーンに情報を表示できる車両でのみ使用できます。
- アダプティブクルーズコントロールまたは Pilot Assist の作動中は、車間警告機能は解除されます。

警告

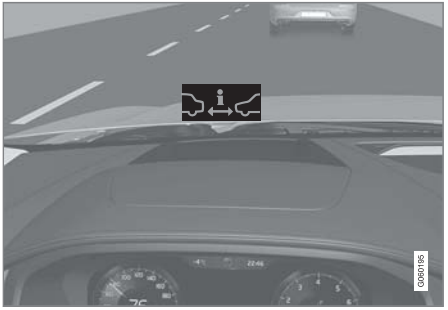
車間警告機能は、前方の車両との車間時間が、プリセットされた値より短くなったときにのみ反応します。自車の車速とは関係しません。

関連情報

- 車間警告機能のヘッドアップディスプレイ表示 (p. 349)
- 車間警告機能のオン/オフ (p. 350)
- 車間警告機能の車間時間の設定 (p. 350)
- 車間警告機能の限界 (p. 351)

車間警告機能のヘッドアップディスプレイ表示[38]

ヘッドアップディスプレイ*装備車では、前方の車両との車間時間がプリセット時間よりも短い間、ウインドスクリーンにシンボルが表示され続けます。



ウインドスクリーンに表示される車間警告機能用シンボル[39]

ただし、この作動は車両のメニューシステムの設定で **運転者サポートを表示** 機能がオンになっていることが前提です。設定方法については、「ヘッドアップディスプレイ」の項を参照してください。

36 車間警告機能は、ウインドスクリーンに情報を表示できる車両(いわゆるヘッドアップディスプレイを装備した車両)でのみ利用できます。
37 Distance Alert
38 車間警告機能は、ウインドスクリーンに情報を表示できる車両(いわゆるヘッドアップディスプレイを装備した車両)でのみ利用できます。
39 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

注意

陽射しが強いとき、光のコントラストが極端なとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

関連情報

- 車間警告機能*（p. 349）
- ヘッドアップディスプレイ*（p. 179）

車間警告機能のオン/オフ [40]

車間警告機能 [41] は解除することができます。

オン/オフ

センターディスプレイの機能ビューで **車間警告** ボタンをタップします。

- ボタンが緑のとき – 車間警告機能がオンになっています。
- ボタンが灰色のとき – 車間警告機能がオフになっています。

車間警告機能は、エンジン始動のたびに自動的に起動します。

関連情報

- 車間警告機能*（p. 349）

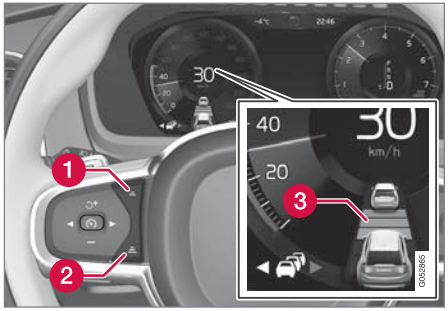
車間警告機能の車間時間の設定 [42]

車間警告 [43] 機能には、複数の異なる車間時間を設定することができます。

先行車両との車間時間は増減させることができ、1～5 本の横線によってドライバーディスプレイに表示されます。線の数が多いほど、車間時間が長くなります。横線が 1 本であれば、前方の車両まで約 1 秒であることを示し、横線が 5 本あれば、約 3 秒であることを示します。

アダプティブクルーズコントロール機能の作動中も、同じシンボルが表示されます。

40 車間警告機能は、ウインドスクリーンに情報を表示できる車両(いわゆるヘッドアップディスプレイを装備した車両)でのみ利用できます。
41 Distance Alert
42 車間警告機能は、ウインドスクリーンに情報を表示できる車両(いわゆるヘッドアップディスプレイを装備した車両)でのみ利用できます。
43 Distance Alert



車間時間用コントロール

1. 車間時間を短くする
2. 車間時間を長くする
3. 車間警告機能

– ステアリングリモコンのボタン(1)または(2)を押して、車間時間を長くまたは短くします。
  › 現在の車間時間が距離インジケーター(3)に表示されます。

注意

- 車速が速くなるほど、一定車間時間に相当する計算上の距離(単位：メートル)が長くなります。
- 各地の交通法規で許可されている車間時間のみを使用してください。
- 設定された車間時間は、アダプティブクルーズコントロールおよびPilot Assist機能にも使用されます。

警告

- かならず現在の交通状況に適した車間時間を使用してください。
- 車間時間が短いと、不測の事態が発生した場合に回避操作を行なう時間が制限されることを運転者は認識しておく必要があります。

関連情報

- 車間警告機能*(p. 349)

車間警告機能の限界[44]

車間警告機能[45]は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

警告

- 車間警告機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 車両の大きさが検知能力に影響をおよぼすことがあるため、オートバイなどの場合には、設定よりも短い車間時間で警告灯が点灯したり、警告が一時的に機能しなくなるおそれがあります。
- 極めて高速で走行すると、レーダーユニット視野の限界により、設定よりも短い車間時間で警告灯が点灯する場合があります。
- 車間警告機能は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

44 車間警告機能は、ウインドスクリーンに情報を表示できる車両(いわゆるヘッドアップディスプレイを装備した車両)でのみ利用できます。
45 Distance Alert

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のレーダーユニットを使用しています。「レーダーユニットの機能の限界」の項を参照してください。

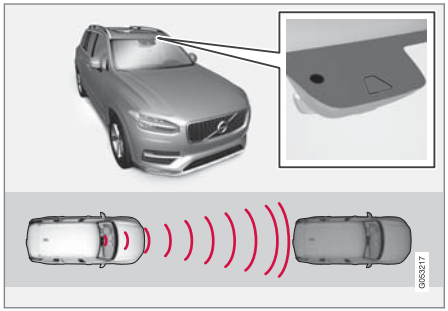
関連情報

- 車間警告機能*（p. 349）
- レーダー機器の限界（p. 388）

アダプティブクルーズコントロール*

アダプティブクルーズコントロール(ACC[46])は、運転者が一定の速度を維持し、前方を走行している車両との車間時間をあらかじめ選択した時間に維持するのに役立ちます。

アダプティブクルーズコントロールは、交通の流れがスムーズな高速道路や長い直線の幹線道路を長時間走行する際に、よりリラックスした走行を可能にします。



カメラとレーダーユニットは、先行車両との距離を測定します[47]。

運転者は目標速度と、先行車との車間時間を選択します。カメラおよびレーダーユニットが前方に自車よりも遅い車両を検知すると、先行車との車間時間設定に基づいて自動的に速度が調整されます。前方の車両がいなくなると、車両は選択されていた速度に戻ります。

警告

- アダプティブクルーズコントロール機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 機能の限界やシステムの使用前に知っておくべきことを把握するために、運転者には、オーナーズマニュアルを確認して、この機能に関連する項目をすべて読むことをお薦めします(本項の終わりにあるリンクの一覧を参照してください)。
- アダプティブクルーズコントロールは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

注意

この機能は標準装備の場合とオプション装備の場合があり、市場によって異なります。

46 Adaptive Cruise Control
47 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

アダプティブクルーズコントロールは、アクセルおよびブレーキにより速度を制御します。ブレーキを使用して速度を調整する際に、ブレーキが低い音を発するのは正常です。

アダプティブクルーズコントロールは、速度をスムーズに制御します。急ブレーキが必要な状況では、かならずご自分でブレーキをかけてください。速度差が大きく異なる場合や、前方の車両が急ブレーキをかけた場合などです。レーダーユニットには限界があるため、不意にブレーキがかかることや、あるいはまったくブレーキがかからないことがあります。

アダプティブクルーズコントロールは、同じ車線上で前方を走行している車両との車間時間を一定に保ちながら走行するようにします。レーダーユニットが前方の車両を検知できない場合、車両は運転者の設定した速度を維持します。先行車両が加速して設定速度を超えた場合も同様です。

- アダプティブクルーズコントロールは、静止状態から 200 km/h (125 mph)までの速度範囲で別の車両に追従することができます。

⚠ 警告

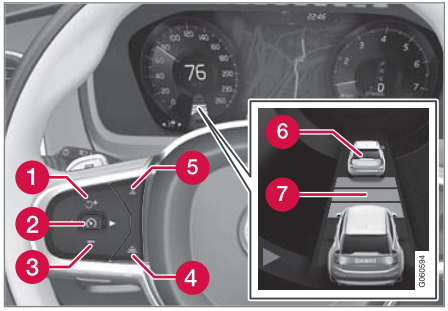
- アダプティブクルーズコントロールは、衝突を回避するシステムではありません。システムが前方の車両を検知しない場合、かならず運転者が責任を持って操作を行う必要があります。
- アダプティブクルーズコントロールは、人や動物には反応しません。また、自転車やオートバイなどの小型車両にも対応していません。さらに、車高の低いトレーラー、対向車、低速で走行している車両、または静止している車両および物体に対して、ブレーキを作動させることもありません。
- アダプティブクルーズコントロールは、市街地走行時、ジャンクション走行時、滑りやすい路面走行時、水たまりが多い路面や雪や泥に覆われている路面走行時、激しい雨や雪の中の走行時、視界が悪いとき、曲がりくねった道路走行時など、要求が厳しい状況では使用しないでください。

重要

アダプティブクルーズコントロール・コンポーネントのメンテナンスは、かならずボルボ指定のサービス工場でのみ行ってください。

概要

コントロール



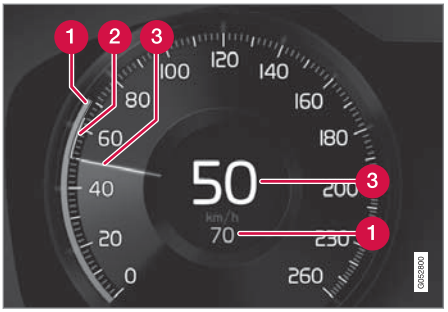
機能のボタンとシンボル [47]

1. :アダプティブクルーズコントロールをスタンバイモードから作動させて、設定速度を有効にします。
1. ＋：設定速度を上げます。
2. :**スタンバイモードから** – アダプティブクルーズコントロールを作動させて、現在の速度を記憶します。
2. :**アクティブモードから** – アダプティブクルーズコントロールを解除/スタンバイモードに変更します。
3. －：設定速度を下げます。
4. 前方の車両までの車間時間が長くなります。
5. 前方の車両までの車間時間が短くなります。
6. 対象車両シンボル：ACC が対象車両を検知し、プリセットの車間時間で対象車両に追従しています。
7. 前方の車両までの車間時間のシンボル

注意

アダプティブクルーズコントロール* 装備車では、クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替えることができます。「CC と ACC の切り替え」を参照してください。

ドライバーディスプレイ



速度の表示 [47]

1. 設定速度
2. 前方の車両の速度
3. 自車の現在速度

交通状況に応じたさまざまなシンボルの組み合わせについては、「アダプティブクルーズコントロールのシンボルと機能」の項を参照してください。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロールおよび衝突の危険警告（p. 355）
- 衝突の危険がある場合のアダプティブクルーズコントロールのヘッドアップディスプレイ表示（p. 356）

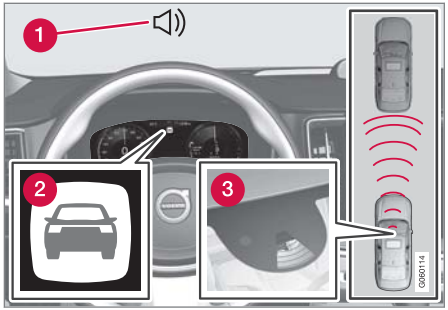
[47] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

* オプション/アクセサリー。

- アダプティブクルーズコントロールの作動と起動（p. 356）
- アダプティブクルーズコントロールで速度を管理する（p. 358）
- アダプティブクルーズコントロールの車間時間の設定（p. 359）
- アダプティブクルーズコントロールの解除/再起動（p. 360）
- アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシスト（p. 362）
- アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシストの起動（p. 363）
- アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシストの限界（p. 363）
- アダプティブクルーズコントロールでの追従対象車両の変更（p. 364）
- アダプティブクルーズコントロールによるオートブレーキ（p. 365）
- アダプティブクルーズコントロールの限界（p. 366）
- クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替える（p. 366）
- アダプティブクルーズコントロールのシンボルおよびメッセージ（p. 368）

アダプティブクルーズコントロールおよび衝突の危険警告

アダプティブクルーズコントロールは先行車に急接近して車間距離が短くなりすぎた場合に運転者に警告することができます。



衝突の危険を知らせる警告音および警告灯 [48]

1. 衝突の危険を知らせる警告音
2. 衝突の危険を知らせる警告灯
3. カメラおよびレーダーユニットによる距離測定

アダプティブクルーズコントロールは、フットブレーキの約 40%の能力を使用します。車両がアダプティブクルーズコントロールのブレーキ能力以上のブレーキを必要とするときに、運転者がブレーキをかけない場合は、警告灯と警告音が作動して、ただちに運転者の介入が必要であることを警告します。

⚠ 警告

アダプティブクルーズコントロールは、レーダーユニットが検知した車両に対してのみ警告を発します。そのため、警告を発しない場合や、警告に遅延が生じる場合があります。

- 絶対に警告が出るまで待たないでください。必要に応じてブレーキをかけてください。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール*（p. 352）

[48] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

衝突の危険がある場合のアダプティブクルーズコントロールのヘッドアップディスプレイ表示

ヘッドアップディスプレイ装備車*の場合、ウインドスクリーンに点滅するシンボルで警告が表示されます。

ウインドスクリーンに表示される衝突警告用シンボル [49]

注意

陽射しが強いとき、光のコントラストが極端なとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

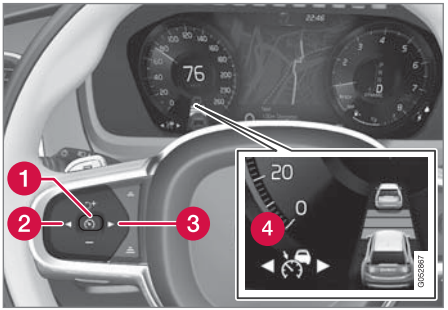
関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 179)

アダプティブクルーズコントロールの作動と起動

アダプティブクルーズコントロール(ACC[50])は最初に作動状態にしておき、速度と距離を制御する必要があるときに起動させる必要があります。

アダプティブクルーズコントロールをスタンバイモードにする



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

エンジンの始動直後、アダプティブクルーズコントロールはスタンバイモードになります。ア

49 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。
50 Adaptive Cruise Control

クティブモードからスタンバイモードにするには、以下の手順に従ってください。

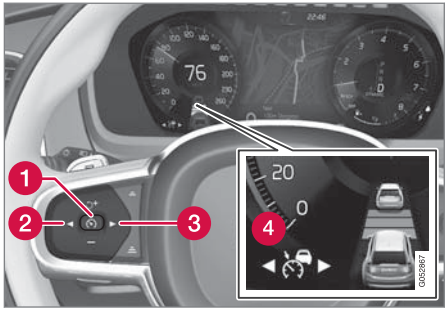
– ステアリングホイールの ◂ (2)または ▸ (3)ボタンを押して、シンボル/機能 (4)に移動します。

  › シンボルが表示されて、アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードになります。

アダプティブクルーズコントロールの起動/作動

ACC を起動するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 運転席シートベルトが着用され、運転席ドアが閉まっている。
- 自車の前方の範囲内に車両(「対象車両」)が走行している、または現在の速度が 15 km/h (9 mph)以上である。



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

– シンボル/機能 (4)が表示されているときに、ステアリングリモコンのボタン (1)を押します。

  › アダプティブクルーズコントロールが起動し、現在の速度が記憶され、スピードメーターの中央に数値で表示されます。

車間時間は、距離シンボルが車両 2 台を表示しているときにのみ、前方の車両を対象にして ACC により調節されます。

同時に速度範囲がマークされます。

高い方の速度が設定/選択速度で、低い方の速度が先行車(対象車)の速度です。

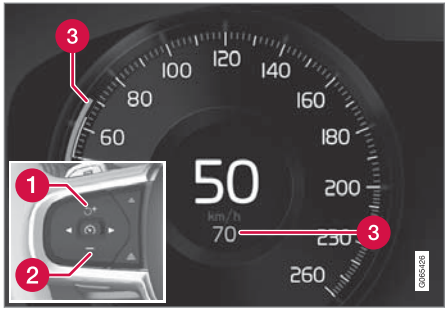
関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)

アダプティブクルーズコントロールで速度を管理する

アダプティブクルーズコントロール(ACC[51])はさまざまな速度に設定することができます。

設定速度の設定/変更



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルおよび市場により異なっている場合があります。

1. ＋：設定速度を上げます。
2. －：設定速度を下げます。
3. 設定速度

– 設定速度を変更するには、ステアリングリモコンの ＋ ボタン(1)または － ボタン(2)を短く数回押すか、または長く押します。
  - **短く数回押す**：押すたびに、速度が+/- 5 km/h (+/- 5 mph)単位で変化します。
  - **長く押す**：設定速度インジケーター(3)が目標速度に達したら、ボタンから指を離します。
- 最後にボタンを押した後の設定速度がメモリーに記憶されます。

運転者がステアリングリモコンの ＋ ボタン(1)を押す前にアクセルペダルで車両の速度を上げた場合、ボタンを押したときに運転者の足がアクセルペダルに載っていれば、ボタンを押した時点の速度が記憶されます。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

オートマチックトランスミッション

アダプティブクルーズコントロールは、静止状態から200 km/h (125 mph)までの速度範囲で別の車両に追従することができます。

アダプティブクルーズコントロールで設定できる最低速度は30 km/h (20 mph)です。静止するまで先行車の追従が可能ですが、30 km/h (20 mph)未満の速度を選択/保存することはできません。

設定可能な最高速度は、200 km/h (125 mph)です。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)

51 Adaptive Cruise Control

アダプティブクルーズコントロールの車間時間の設定

アダプティブクルーズコントロール(ACC[52])では、車間時間の設定を変更することができます。

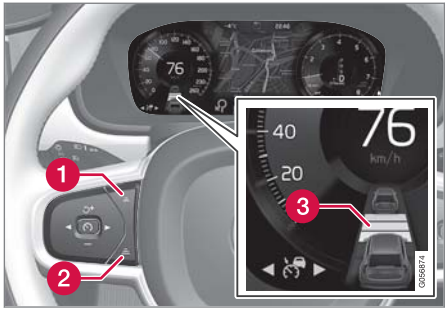
先行車両との車間時間は増減させることができ、1～5 本の横線によってドライバーディスプレイに表示されます。線の数が多いほど、車間時間が長くなります。横線が 1 本であれば、前方の車両まで約 1 秒であることを示し、横線が 5 本あれば、約 3 秒であることを示します。

車間警告機能の作動中も同じシンボルが表示されます。

注意

ドライバーディスプレイのシンボルが 2 台の車両を表示している場合、ACC はプリセットの車間時間で前方の車両に追従しています。

車両が 1 台だけ表示されている場合、前方の適度な範囲内に車両がいないことを表しています。



車間時間用コントロール [53]

1. 車間時間を短くする
2. 車間時間を長くする
3. 車間警告機能

– ステアリングリモコンのボタン(1)または(2)を押して、車間時間を長くまたは短くします。
  > 現在の車間時間が距離インジケーター(3)に表示されます。

前方を走行している車両の後をスムーズかつ快適に走行できるように、状況によりアダプティブクルーズコントロールが、車間時間を大幅に変更する場合があります。低速走行時、車間距離が短いときは、アダプティブクルーズコントロールが車間時間を若干増やします。

注意

- 車速が速くなるほど、一定車間時間に相当する計算上の距離(単位：メートル)が長くなります。
- 各地の交通法規で許可されている車間時間のみを使用してください。
- アダプティブクルーズコントロールがオンになっているときに速度の上昇に反応しないように思われる場合、先行車との車間時間が設定時間よりも短いことが考えられます。

警告

- かならず現在の交通状況に適した車間時間を使用してください。
- 車間時間が短いと、不測の事態が発生した場合に回避操作を行なう時間が制限されることを運転者は認識しておく必要があります。

52 Adaptive Cruise Control
53 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

ACC による先行車両との距離の維持方法*を設定する

運転者は、アダプティブクルーズコントロールによる先行車両とのプリセット車間時間の維持方法を数種類の走行スタイルから選択することができます。選択には、ドライブモードコントロール **DRIVE MODE** を使用します。

以下のオプションのいずれかを選択します。

- **Eco** – ACC は最適な燃料消費量を重視します。したがって、先行車両との車間時間は長くなります。
- **Comfort** – ACC は先行車両との設定車間時間をできるだけスムーズに守ることを重視します。
- **Dynamic** – ACC は先行車両との設定車間時間をさらに忠実に守ることを重視します。したがって、状況によっては、急加速/急減速の機会が増えることになります。

詳細情報については、「ドライブモード」の項を参照してください。

補足情報が「クルーズコントロールの速度を管理する」および「ECO ドライブモード」の項にも記載されています。

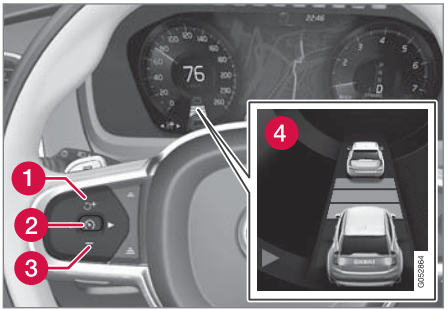
関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)
- ドライブモード* (p. 499)
- クルーズコントロールの速度を管理する (p. 345)
- ECO ドライブモード (p. 502)

アダプティブクルーズコントロールの解除/再起動

アダプティブクルーズコントロール(ACC[54])は一時的に解除してスタンバイモードしておき、後で再作動させることができます。

アダプティブクルーズコントロールを解除してスタンバイモードにする



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

* オプション/アクセサリー。

一時的にアダプティブクルーズコントロールをオフにし、スタンバイモードにするには：

– ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
  › ドライバーディスプレイの シンボルの色が白から灰色に変わり、スピードメーターの中央に表示されている設定速度の色がベージュ色から灰色に変わります。

⚠ 警告

- アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードの場合、運転者が自ら操作して、速度および先行車との距離を調整する必要があります。
- アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードのときに車両が先行車に接近しすぎると、代わりに車間警告機能が車間距離が短いことを警告します。

運転者の操作にともなうスタンバイモードへの移行

以下の場合、アダプティブクルーズコントロールは一時的に解除されて、スタンバイモードになります。

- フットブレーキが使用された
- ギヤセレクターレバーを N 位置にした
- 運転者が、設定されている速度よりも速い速度を 1 分間以上維持した

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

自動スタンバイモード

アダプティブクルーズコントロールは、ほかのシステム(エレクトロニック・スタビリティ・コントロール ESC[55] など)に依存しています。これらのシステムのいずれかが作動を停止した場合、アダプティブクルーズコントロールは自動的に解除されます。

⚠ 警告

自動スタンバイモードになると、警告音が鳴り、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

- これ以降は、運転者が車両の速度を調節し、必要に応じてブレーキをかけて、ほかの車両との安全な距離を確保する必要があります。

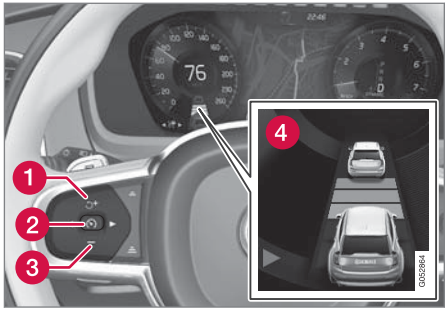
次のようなときに、自動的にスタンバイモードに移行することがあります。

- 速度が 10 km/h 未満で、ACC が前方の車両を停止している車両なのか、減速帯などの物体であるのかを判断できないとき
- 速度が 10 km/h 未満で、前方の車両が曲がり、ACC が追従する車両がなくなったとき
- 運転者がドアを開けたとき
- 運転者がシートベルトを外したとき
- エンジン回転数が低すぎる、または高すぎるとき
- 1 つまたは複数のタイヤのグリップ力が失われたとき
- ブレーキ温度が高温になったとき

54 Adaptive Cruise Control
55 Electronic Stability Control

- パーキングブレーキをかけたとき
- カメラおよびレーダーユニットが雪や大雨で覆われているとき(カメラレンズ/電波が遮られているとき)

スタンバイモードからのアダプティブクルーズコントロールの再作動



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

ACC をスタンバイモードから再作動させるには：

- ステアリングリモコンのボタン (1)を押します。
  - 速度は直近に記憶された速度に設定されます。

⚠ 警告

ステアリングリモコンボタン を押して速度を戻すと、速度が著しく上昇することがあります。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)

アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシスト

アダプティブクルーズコントロール(ACC[56])は、ほかの車両を追い越すときに運転者を支援することができます。

追い越しアシストの仕組み

ACC が別の車両に追従しているとき、運転者が方向指示器[57]を操作して追い越す意思を示した場合、アダプティブクルーズコントロールは、自車が追い越し車線に達する**前に**、前方の車両の方向へ自車を加速させて追い越しをしやすくします。

速度の遅い車両に接近しているときにブレーキを早くかけすぎることのないように、この機能は減速を遅らせます。

この機能は、自車が追い越した車両から十分に離れるまで作動し続けます。

⚠ 警告

この機能は追い越し時以外の状況で多く作動することがあります(例えば、車線変更時や別の道路への合流時に方向指示器を使用したときなど、車両は一時的に加速します)。

[56] Adaptive Cruise Control
[57] 左ハンドル車では左側の、右ハンドル車では右側の方向指示器のみです。

* オプション/アクセサリー。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)
- アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシストの起動 (p. 363)
- アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシストの限界 (p. 363)

アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシストの起動

追い越しアシストを使用するには、多数の条件を満たす必要があります。

追い越しアシストの継続

追い越しアシストが作動するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 前方に車両(「対象車両」)が存在していること
- 自車の**現在の速度**が 70 km/h (43 mph)以上であること
- ACC の**設定**速度が追い越しを安全に行なうことができるほどの速度であること

追い越しアシストの起動

追い越しアシストを起動するには：

- 方向指示器を作動させます。

  左ハンドル車の場合は左の方向指示器、右ハンドル車の場合は右の方向指示器を使用します。

  > 追い越しアシストが起動します。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)
- アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシスト (p. 362)

アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシストの限界

追い越しアシスト機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

⚠ 警告

追い越しアシストシステムを使用している場合、状況の急変に伴って車両が不必要に加速するおそれがあることを運転者は認識しておく必要があります。

したがって、以下のような場合など、一部の状況では使用をひかえる必要があります。

- 車両が進む予定の出口が通常の追い越し時に使用する側と同じ側にあり、車両がその出口に接近している
- 自車が追い越し車線に入り終わる前に前方の車両が減速する
- 追い越し車線の交通の流れが遅くなっている
- 右ハンドル車で左側通行の国を走行している(逆も同様)

この種の状況は、ACC[58] を一時的にスタンバイモードにすることにより回避することができます。

[58] Adaptive Cruise Control

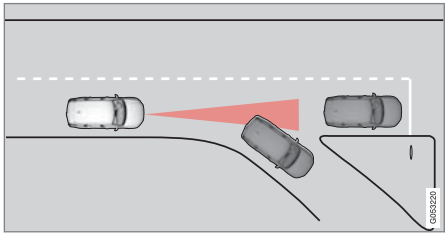
関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)
- アダプティブクルーズコントロールによる追い越しアシスト (p. 362)

アダプティブクルーズコントロールでの追従対象車両の変更

オートマチックトランスミッション車の場合、アダプティブクルーズコントロール(ACC[59])には特定速度のときに追従対象車両を変更する機能があります。

追従対象車両の変更



追従対象となっている先行車両が突然曲がった場合、前方の車両が停止していることに突然気づく場合があります。

アダプティブクルーズコントロールにより30 km/h (20 mph)**未満**の速度で別の車両に追従しているときに追従対象車両が走行車両から静止車両に変わると、アダプティブクルーズコントロールは減速して静止車両に対応します。

⚠ 警告

アダプティブクルーズコントロールにより、約30 km/h (20 mph)を**超える**速度で別の車両に追従している際に、目標車両が移動中の車両から静止車両に変わった場合には、アダプティブクルーズコントロールは静止している車両を**無視**して、設定されている速度まで加速します。

- 運転者は注意を怠らず、必要に応じてブレーキをかけてください。

追従対象車両の変更による自動スタンバイモード

以下の場合、アダプティブクルーズコントロールが解除され、スタンバイモードになります。

- 速度が10 km/h未満で、アダプティブクルーズコントロールが、追従対象が静止車両なのか別の障害物(減速帯など)なのかを判断できない場合。
- 速度が10 km/h未満で、先行車が曲がったためアダプティブクルーズコントロールが追従する車両がなくなった場合。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)

59 Adaptive Cruise Control

アダプティブクルーズコントロールによるオートブレーキ

アダプティブクルーズコントロール(ACC[60])には、渋滞時および停車中の専用ブレーキ機能があります。

渋滞時および停車中のブレーキ機能

渋滞時や赤信号など、停止する時間が約 3 秒以内であれば、自動的に走行が始まります。先行車両が動き出すまでにそれ以上の時間がかかる場合には、アダプティブクルーズコントロールはオートブレーキによりスタンバイモードになります。

– アダプティブクルーズコントロールを再作動させるには、以下のいずれかの方法を行います。
  - ステアリングホイールの ボタンを押します。
  - アクセルペダルを踏み込みます。

  › 前方の車両が 6 秒以内に前進し始めた場合、アダプティブクルーズコントロールは、前方の車両への追従を再開します。

注意

ACC は最長 5 分間車両を静止させておくことができます。それ以上経過すると、パーキングブレーキが作動し、アダプティブクルーズコントロールが解除されます。

アダプティブクルーズコントロールを再起動できるようにするには、パーキングブレーキを解除する必要があります。

オートブレーキの停止

状況により、静止すると同時にオートブレーキが停止して、アダプティブクルーズコントロールがスタンバイモードになることがあります。このため、ブレーキが解除され、車両が動き出す場合があります。運転者はご自分でブレーキをかけ、適切な位置を保ってください。

これは以下の状況で発生することがあります。

- 運転者がブレーキペダルに足を乗せたとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- ギヤセレクターレバーを **P**、**N** または **R** 位置にしたとき
- 運転者がアダプティブクルーズコントロールをスタンバイモードにしたとき

パーキングブレーキの自動作動

一部の状況では、パーキングブレーキが作動して、車両を静止状態に保ちます。

アダプティブクルーズコントロールがフットブレーキで車両を静止状態に保持しているときに以下の状況が発生すると、パーキングブレーキが作動します。

- 運転者がドアを開けるか、シートベルトを外したとき
- ACC が車両を約 5 分間以上静止状態に保ったとき
- ブレーキがオーバーヒートしたとき
- 運転者が手動でエンジンを停止したとき

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)

60 Adaptive Cruise Control

アダプティブクルーズコントロールの限界

アダプティブクルーズコントロール(ACC[61])は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

急な坂道や重い荷物を積載しての走行

アダプティブクルーズコントロールは主に、平坦な路面走行時用に設計されています。急な下り坂を走行する場合、この機能が前方の車両と適切な距離を保つことがむずかしい場合があります。このような場合には、特に注意をはらい、いつでもブレーキをかけられるようにしてください。

- 重い荷物を積載しているとき、または車両にトレーラーが連結されているときには、アダプティブクルーズコントロールを使用しないでください。

その他

- アダプティブクルーズコントロールがオンになっているときは、**Off Road** ドライブモードは選択できません。

注意

この機能は車両のカメラおよびレーダー一体型機器を使用します。この機器には限界があります。「カメラ機器の限界」および「レーダー機器の限界」を参照してください。

関連情報

- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)
- カメラユニットの限界 (p. 397)
- レーダー機器の限界 (p. 388)

クルーズコントロールとアダプティブクルーズコントロールを切り替える

アダプティブクルーズコントロール(ACC[62])装備車では、運転者がクルーズコントロール(CC[63])と ACC を切り替えることができます。

ドライバーディスプレイのシンボルは、どちらのクルーズコントロールが作動しているかを示します

CC	ACC
A	A
クルーズコントロール	アダプティブクルーズコントロール

A 白色のシンボル：機能作動中、灰色のシンボル：スタンバイモード

ACC から CC に切り替える

次の手順に従ってください。

1. ステアリングホイールの ボタンを使用して、アダプティブクルーズコントロールをスタンバイモードにします。

61 Adaptive Cruise Control

2. センターディスプレイの機能ビューで **クルーズ コントロール** ボタンを押します。ボタンのインジケーターが灰色から緑色に変わります。
   > ドライバーディスプレイのシンボルが ACC から CC に切り替わります。アダプティブクルーズコントロールはオフになり、クルーズコントロールがスタンバイモードになります。
3. ステアリングホイールの ボタンを押します。
   > クルーズコントロールが起動して、現在の速度を記憶します。

⚠ 警告

ACC から CC に切り替えた場合、車両の特性が以下のように変わります。

- プリセットされている先行車との車間時間を維持しなくなる。
- 設定速度のみに従うため、必要に応じて運転者がブレーキをかける必要がある。

CC がオンの状態でエンジンを停止すると、次回エンジンを始動したときに ACC が自動的にオンになります。

CC から ACC に切り替える

次の手順に従ってください。

1. ステアリングホイールの ボタンを使用して、クルーズコントロールをスタンバイモードにします。
2. 機能ビューで **クルーズ コントロール** ボタンを押します。ボタンのインジケーターが緑色から灰色に変わります。
   > ドライバーディスプレイのシンボルが CC から ACC に切り替わります。アダプティブクルーズコントロールがオンになって、スタンバイモードになります。
3. ステアリングホイールの ボタンを押します。
   > アダプティブクルーズコントロールが起動して、現在の速度と前方の車両とのプリセット車間時間を記憶します。

関連情報

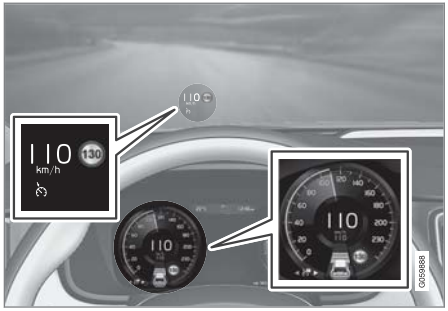
- アダプティブクルーズコントロール* (p. 352)
- クルーズコントロール (p. 343)

62 Adaptive Cruise Control
63 Cruise Control

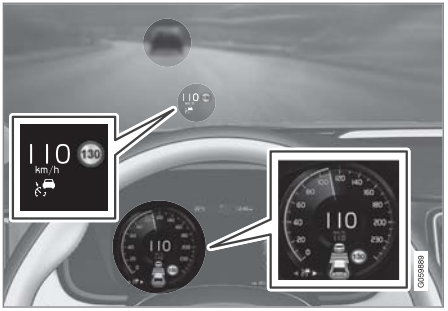
アダプティブクルーズコントロールのシンボルおよびメッセージ

アダプティブクルーズコントロール(ACC[64])に関する多数のシンボルおよびメッセージが、ドライバーディスプレイおよびヘッドアップディスプレイ* の両方またはどちらか一方に表示されます。

以下は事例の一部です[65]。



上図[66]は、アダプティブクルーズコントロールが 110 km/h (68 mph)を維持するように設定され、かつ前方に追従対象の車両がないことを示しています。



上図[66]は、アダプティブクルーズコントロールが 110 km/h (68 mph)を維持するように設定され、同時に、同じ速度を維持している先行車を追従していることを示しています。

64 Adaptive Cruise Control
65 次図の例では、RSI (Road Sign Information)機能により制限速度が 130 km/h (80 mph)であることが示されています。
66 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

* オプション/アクセサリー。

シンボル	メッセージ	意味
	シンボルが白色	車両は設定/選択されている速度を維持します。
	Adaptive Cruise Contr. **利用不可** シンボルが灰色	アダプティブクルーズコントロールはスタンバイモードになっています。
	Adaptive Cruise Contr. **販売店に お問い合わせ下さい** シンボルが灰色	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
	ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ **ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰ ﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙを見て下さい**	カメラおよびレーダーユニットのセンサーの前方のウインドスクリーンを清掃してください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ○ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

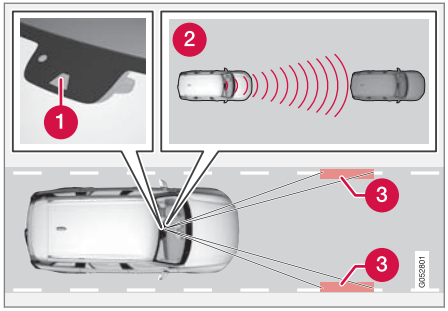
- アダプティブクルーズコントロール*
  (p. 352)

Pilot Assist

Pilot Assist は、ステアリングアシストを使用して両側の車線境界線の間を走行するよう運転者を支援するとともに、運転者が一定の速度を維持し、前方を走行している車両との車間時間をあらかじめ選択した時間に維持するのに役立ちます。

Pilot Assist の仕組み

Pilot Assist は主に高速道路や同様の主要道路での使用が想定されており、そのような道路でより快適に、よりリラックスした運転ができるようにします。



カメラとレーダーユニットは、先行車両との距離を測定し、車線境界線を検知します[67]。

1. カメラおよびレーダーユニット
2. 距離リーダー
3. レーダー、車線マーク

運転者は目標速度と、先行車との車間時間を選択します。Pilot Assist はカメラおよびレーダーユニットを使用して、先行車までの距離と路面の車線境界線をスキャンします。ステアリングアシストにより車両が車線内に保たれる一方で、自動速度調節により設定車間時間が維持されます。

Pilot Assist ステアリングアシストは先行車の速度と車線境界線を考慮に入れます。必要に応じて、運転者は Pilot Assist の薦めるステアリング操作を無視して、別の方向に操舵することができます。例えば、車線変更時や道路上の障害物を避ける場合などです。

Pilot Assist が車線をはっきりと判別できない場合(カメラおよびレーダーユニットが車線境界線を認識できない場合など)、Pilot Assist はステアリングアシストを一時的に解除しますが、車線が判別できるようになると、作動を回復します。ただし、速度および距離の制御機能は作動状態が維持されます。

⚠ 警告

Pilot Assist ステアリングアシストは自動的にオフになり、事前の通知なしに作動状態に戻ります。

ステアリングアシストの現在の状態は、ステアリングホイールのシンボルの色で表示されます。

- 緑色の場合、ステアリングアシストが作動しています。
- 灰色の場合(図の色)、ステアリングアシストは解除されています。

67 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

⚠ 警告

- Pilot Assist 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 機能の限界やシステムの使用前に知っておくべきことを把握するために、運転者には、オーナーズマニュアルを確認して、この機能に関連する項目をすべて読むことをお薦めします(本項の終わりにあるリンクの一覧を参照してください)。
- Pilot Assist は、車線の各側に車線境界線がはっきり塗装されている場合にのみ使用してください。それ以外の状況で使用すると、周辺の検知できない障害物と接触する危険性が高くなります。
- Pilot Assist は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、車線から逸脱することなく、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

ⓘ 注意

この機能は標準装備の場合とオプション装備の場合があり、市場によって異なります。

Pilot Assist は、アクセルおよびブレーキにより速度を制御します。ブレーキを使用して速度を調整する際に、ブレーキが低い音を発するのは正常です。

Pilot Assist は速度をスムーズに制御しようとします。急ブレーキが必要な状況では、かならずご自分でブレーキをかけてください。速度差が大きく異なる場合や、前方の車両が急ブレーキをかけた場合などです。カメラおよびレーダーユニットには限界があるため、不意にブレーキがかかることや、あるいはまったくブレーキがかからないことがあります。

Pilot Assist の目的は、運転者が設定した車間時間を保ちながら同じ車線上にいる先行車両に追従することです。レーダーユニットが前方の車両を検知できない場合、車両は運転者の設定した速度を維持します。先行車両が加速して設定速度を超えた場合も同様です。

- Pilot Assist は、静止状態から 200 km/h (125 mph)までの速度範囲で別の車両に追従することができます。
- Pilot Assist は、ほぼ静止した状態から 140 km/h (87 mph)までの速度範囲でステアリングアシストを提供することができます。

⚠ 警告

- Pilot Assist は、衝突回避システムではありません。システムが前方を走行する車両を感知しない場合は、運転者が車両を操作しなければなりません。
- Pilot Assist は人、動物、物、小型車両(自転車やオートバイなど)、車高の低いトレーラー、対向車、低速車、静止車両を対象にブレーキを作動させることはありません。
- Pilot Assist は、市街地走行時、ジャンクション走行時、滑りやすい路面走行時、水たまりが多い路面や雪や泥に覆われている路面走行時、激しい雨や雪の中の走行時、視界が悪いとき、曲がりくねった道路の走行時、出入道路の走行時、車両にトレーラーが接続されているときなど、要求が厳しい状況では使用しないでください。

❗ 重要

Pilot Assist 内部コンポーネントのメンテナンスは、サービス工場で実施する必要があります。ボルボ指定のサービス工場をご利用ください。

カーブの走行および道路の分岐時

Pilot Assist は運転者と連携するため、運転者は Pilot Assist からのステアリングアシスト

◀◀ を待つことなく、つねに自らステアリング操作を行なう意識を持ち、特にカーブを走行するときには準備を心がけることが必要です。

- 車両が出口に近づいたとき、または車線が分岐する場合、運転者は予定進路の方向へ操舵して、目的の方向を Pilot Assist に明確に示す必要があります。

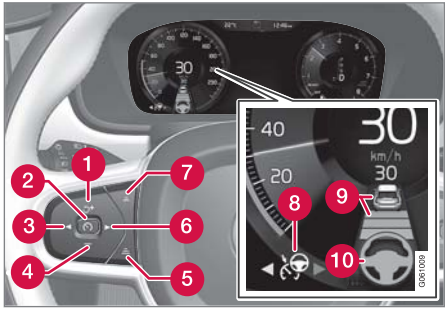
Pilot Assist は車両を車線中央に維持しようとする

Pilot Assist はステアリングアシスト時に車両を車線内に維持しようとするため、ドライビングエクスペリエンスをできるだけスムーズにするには、車両に最適な位置を見つけさせることが推奨されます。運転者は車両が車線内を安全に走行していることを確認し、いつでも自らのステアリング操作により車線内での位置を調節することができます。

- 車両が Pilot Assist によって車線内に正しく維持されない場合、Pilot Assist をオフにするか、またはアダプティブクルーズコントロールに切り替えることをお薦めします。

概要

コントロール

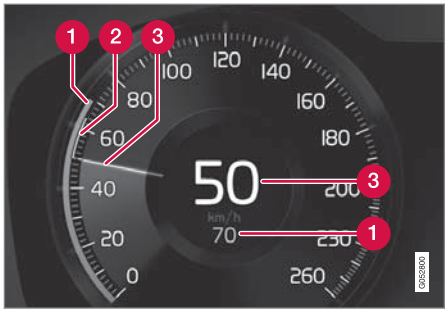


機能のボタンとシンボル [67]

1. ：Pilot Assist をスタンバイモードから作動させて、設定速度および車間時間を有効にします。
1. ＋：設定速度を上げます。
2. ：**スタンバイモードから** – Pilot Assist を作動させて、現在の速度を記憶します。
2. ：**アクティブモードから** – Pilot Assist を解除/スタンバイモードに変更します。
3. ◀：Pilot Assist からアダプティブクルーズコントロールに切り替えます。
4. －：設定速度を下げます。
5. 前方の車両までの車間時間が長くなります。
6. ▶：アダプティブクルーズコントロールから Pilot Assist に切り替えます。
7. 前方の車両までの車間時間が短くなります。
8. 機能シンボル
9. 対象車両および前方の車両までの車間時間のシンボル
10. ステアリングアシスト作動/解除表示シンボル

[67] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

ドライバーディスプレイ



速度の表示 [67]

1. 設定速度
2. 前方の車両の速度
3. 自車の現在速度

交通状況に応じたさまざまなシンボルの組み合わせについては、「Pilot Assist のシンボルおよびメッセージ」の項を参照してください。

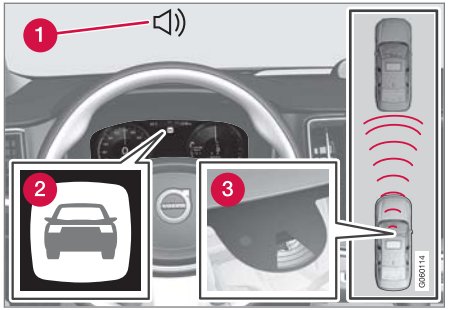
関連情報

- Pilot Assist および衝突の危険警告 (p. 373)
- 衝突の危険がある場合の Pilot Assist のヘッドアップディスプレイ表示 (p. 374)
- Pilot Assist の作動と起動 (p. 375)
- Pilot Assist の速度を管理する (p. 376)
- Pilot Assist の車間時間の設定 (p. 377)
- Pilot Assist のオフ/オン (p. 379)
- Pilot Assist による追い越しアシスト (p. 381)
- Pilot Assist による追い越しアシストの起動 (p. 381)
- Pilot Assist による追い越しアシストの限界 (p. 382)
- Pilot Assist の追従対象車両の変更 (p. 382)
- Pilot Assist による自動ブレーキ (p. 383)
- Pilot Assist の機能の限界 (p. 384)
- Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ (p. 386)

Pilot Assist および衝突の危険警告

Pilot Assist は先行車に急接近して車間距離が短くなりすぎた場合に運転者に警告することができます。

[67] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。



衝突の危険を知らせる警告音および警告灯 [68]

1. 衝突の危険を知らせる警告音
2. 衝突の危険を知らせる警告灯
3. カメラおよびレーダーユニットによる距離測定

Pilot Assist はフットブレーキの能力の約 40% を使用します。車両が Pilot Assist のブレーキ能力以上のブレーキを必要とするときに、運転者がブレーキをかけない場合は、警告灯と警告音が作動して、ただちに運転者の介入が必要であることを警告します。

⚠ 警告

Pilot Assist は、カメラおよびレーダーユニットが検知した車両に対してのみ警告を発します。そのため警告が作動しない、または遅れる場合があります。

- 絶対に警告が出るまで待たないでください。必要に応じてブレーキをかけてください。

関連情報

- Pilot Assist (p. 370)

衝突の危険がある場合の Pilot Assist のヘッドアップディスプレイ表示

ヘッドアップディスプレイ装備車*の場合、ウインドスクリーンに点滅するシンボルで警告が表示されます。

ウインドスクリーンに表示される衝突警告用シンボル [69]

ⓘ 注意

陽射しが強いとき、光のコントラストが極端なとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

68 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。
69 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

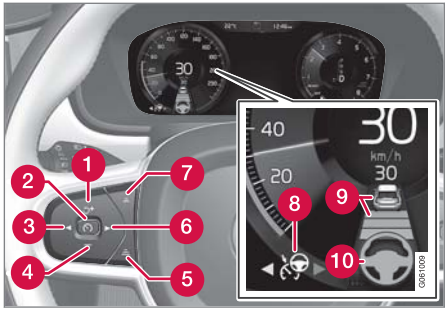
* オプション/アクセサリー。

関連情報

- Pilot Assist (p. 370)
- ヘッドアップディスプレイ* (p. 179)

Pilot Assist の作動と起動

速度および距離の制御とステアリングアシストの使用を可能にするには、最初に Pilot Assist を作動させてから起動する必要があります。



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

Pilot Assist を起動するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 運転席シートベルトが着用され、運転席ドアが閉まっている。
- 自車の前方の範囲内に車両(「対象車両」)が走行している、または現在の速度が 15 km/h (9 mph)以上である。

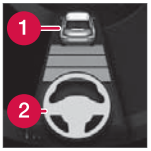
アダプティブクルーズコントロールが**スタンバイモード**の場合：

1. ステアリングリモコンのボタン ▸ (6)を押します。
   > シンボルが、Pilot Assist のスタンバイモード(8)に変わります。
2. ステアリングリモコンのボタン (2)を押します。
   > Pilot Assist が起動し、現在の速度が設定されてスピードメーターの中央に数字で表示されます。

または

アダプティブクルーズコントロールが**起動している**場合：

– ステアリングリモコンのボタン ▸ (6)を押します。
  > Pilot Assist が起動します。



Pilot Assist ステアリングアシストは、ステアリングホイールシンボル(2)が灰色から緑色に変わったときにのみ作動します。

Pilot Assist は、距離シンボルがステアリングホイールシンボルの上に車両(1)を表示しているときにのみ、先行車との車間時間を調整しています。

同時に速度範囲がマークされます。

高い方の速度が設定/選択速度で、低い方の速度が先行車(対象車)の速度です。

運転者の手はステアリングホイールに

Pilot Assist が機能するには、運転者が両手をステアリングホイールに置いている必要があります。

運転者がステアリングホイールを握っていないことを Pilot Assist が検知した場合、少しの間をおいてから運転者はシンボルとディスプレイテキストによりステアリング操作を自発的に行うように促されます。

数秒経過しても運転者の手がステアリングホイールで検知できない場合、ステアリング操作を自発的に行うように促す指示が繰り返されるとともに、警告音が鳴ります。

さらに数秒経過しても Pilot Assist がステアリングホイールで運転者の手を検知できない場合、警告音が大きくなり、ステアリング機能が解除されます。その後 Pilot Assist を再度起動するには、ステアリングリモコンの ボタンを押す必要があります。

注意

Pilot Assist は、運転者の両手がステアリングホイールに置かれている場合にのみ作動します。

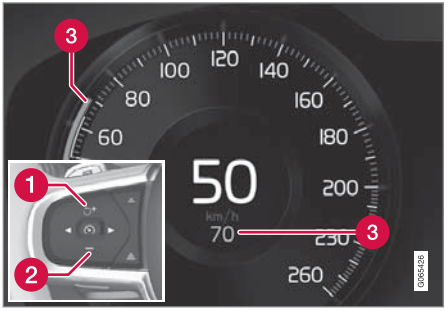
関連情報

- Pilot Assist (p. 370)

Pilot Assist の速度を管理する

Pilot Assist はさまざまな速度に設定することができます。

設定速度の設定/変更



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルおよび市場により異なっている場合があります。

1. ＋：設定速度を上げます。
2. －：設定速度を下げます。
3. 設定速度

– 設定速度を変更するには、ステアリングリモコンの ＋ ボタン(1)または － ボタン(2)を短く数回押すか、または長く押します。
  - **短く数回押す**：押すたびに、速度が +/- 5 km/h (+/- 5 mph)単位で変化します。
  - **長く押す**：設定速度インジケーター(3)が目標速度に達したら、ボタンから指を離します。
- 最後にボタンを押した後の設定速度がメモリーに記憶されます。

運転者がステアリングリモコンの ＋ ボタン(1)を押す前にアクセルペダルで車両の速度を上げた場合、ボタンを押したときに運転者の足がアクセルペダルに載っていれば、ボタンを押した時点の速度が記憶されます。

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

オートマチックトランスミッション

Pilot Assist は、静止状態から 200 km/h (125 mph)までの速度範囲で別の車両に追従することができます。

Pilot Assist で設定できる最低速度は 30 km/h (20 mph)です。静止するまで先行車の追従が可能ですが、30 km/h (20 mph)未満の速度を選択/保存することはできません。

設定可能な最高速度は、200 km/h (125 mph)です。

関連情報

- Pilot Assist (p. 370)

Pilot Assist の車間時間の設定

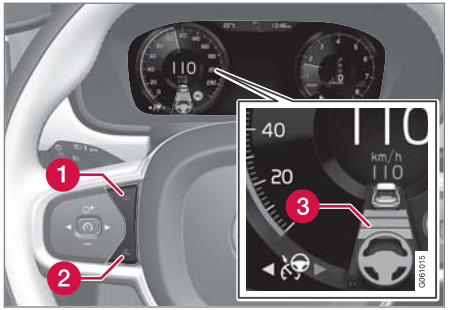
Pilot Assist では、車間時間の設定を変更することができます。

先行車両との車間時間は増減させることができ、1～5 本の横線によってドライバーディスプレイに表示されます。線の数が多いほど、車間時間が長くなります。横線が 1 本であれば、前方の車両まで約 1 秒であることを示し、横線が 5 本あれば、約 3 秒であることを示します。

注意

ドライバーディスプレイのシンボルが車両とステアリングホイールを示している場合、Pilot Assist が所定の車間時間で先行車両に追従していることを表しています。

ステアリングホイールが 1 つだけ表示されている場合、前方の適度な範囲内に車両がいないことを表しています。



車間時間用コントロール [70]

1. 車間時間を短くする
2. 車間時間を長くする
3. 車間警告機能

– ステアリングリモコンのボタン(1)または(2)を押して、車間時間を長くまたは短くします。
  > 現在の車間時間が距離インジケーター(3)に表示されます。

先行車に気持ちよくスムーズに追従するために、Pilot Assist は状況により車間時間を著しく変化させます。例えば、低速走行時に車間距離が短くなると、Pilot Assist は車間時間を少し長くします。

注意

- 車速が速くなるほど、一定車間時間に相当する計算上の距離(単位：メートル)が長くなります。
- 各地の交通法規で許可されている車間時間のみを使用してください。
- Pilot Assist がオンになっているときに速度の上昇に反応しないように思われる場合、先行車との車間時間が設定時間よりも短いことが考えられます。

警告

- かならず現在の交通状況に適した車間時間を使用してください。
- 車間時間が短いと、不測の事態が発生した場合に回避操作を行なう時間が制限されることを運転者は認識しておく必要があります。

Pilot Assist による先行車両との距離の維持方法*を設定する

運転者は、Pilot Assist による先行車両とのプリセット車間時間の維持方法を数種類の走行スタイルから選択することができます。選択には、ドライブモードコントロール **DRIVE MODE** を使用します。

以下のオプションのいずれかを選択します。

- **Eco** – Pilot Assist は最適な燃料消費量を重視します。したがって、先行車両との車間時間は長くなります。
- **Comfort** – Pilot Assist は先行車両との設定車間時間をできるだけスムーズに守ることを重視します。
- **Dynamic** – Pilot Assist は先行車両との設定車間時間をさらに忠実に守ることを重視します。したがって、状況によっては、急加速/急減速の機会が増えることになります。

詳細情報については、「ドライブモード」の項を参照してください。

補足情報が「クルーズコントロールの速度を管理する」および「ECO ドライブモード」の項にも記載されています。

関連情報

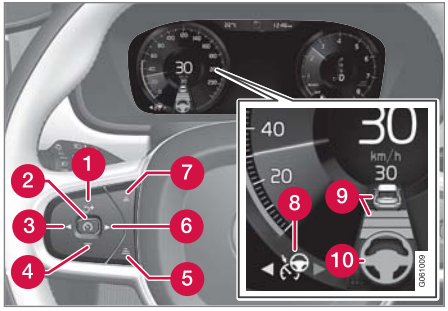
- Pilot Assist (p. 370)
- ドライブモード* (p. 499)
- ECO ドライブモード (p. 502)
- クルーズコントロールの速度を管理する (p. 345)

[70] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

Pilot Assist のオフ/オン

Pilot Assist は一時的に解除してスタンバイモードにすることができます。この場合、後で再作動させることができます。

Pilot Assist をオフにしてスタンバイモードにする



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

一時的に Pilot Assist をオフにし、スタンバイモードにするには：

- ステアリングリモコンのボタン (2) を押します。
  - 〉 Pilot Assist がスタンバイモードにセットされます。ドライバーディスプレイのシンボル(8)の色が白色から灰色に変わり、スピードメーターの中央に表示されている設定速度の色がベージュ色から灰色に変わります。

または

- ステアリングリモコンのボタン ◂ (3) を押します。
  - 〉 Pilot Assist がオフになり、アダプティブクルーズコントロールがアクティブモードになります。

⚠ 警告

- Pilot Assist がスタンバイモードの場合、運転者が自らステアリングを操作するとともに、速度および先行車との距離を調整する必要があります。
- Pilot Assist がスタンバイモードのときに車両が先行車に接近しすぎると、代わりに車間警告機能が車間距離が短いことを警告します。

運転者の操作にともなうスタンバイモードへの移行

以下の場合、Pilot Assist は一時的に解除されて、スタンバイモードになります。

- フットブレーキが使用された
- ギヤセレクターレバーを N 位置にした
- 方向指示器を 1 分間以上使用した
- 運転者が、設定されている速度よりも速い速度を 1 分間以上維持した

追い越しのときなど、アクセルペダルを踏んで一時的に加速しても、設定には影響しません。アクセルペダルを放すと、車速はクルーズコントロールで設定した速度に戻ります。

方向指示器を使用した場合、Pilot Assist ステアリングアシストは一時的に解除されます。操作が終わってもまだ車線境界線を検知できる場合、ステアリングアシストは自動的に作動状態に戻ります。

自動スタンバイモード

Pilot Assist は、スタビリティ・コントロール/横滑り防止 ESC[71] など、ほかのシステムに依存しています。このようなほかのシステムのいずれかが作動を停止すると、Pilot Assist は自動的にオフになります。

⚠ 警告

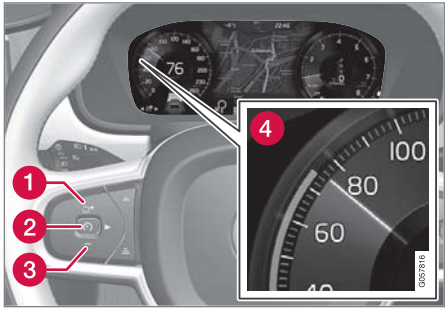
自動スタンバイモードになると、警告音が鳴り、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

- これ以降は、運転者が車両の速度を調節し、必要に応じてブレーキをかけて、ほかの車両との安全な距離を確保する必要があります。

次のようなときに、自動的にスタンバイモードに移行することがあります。

- 運転者がドアを開けたとき
- ブレーキ温度が高温になったとき
- 運転者が両手をステアリングホイールに置いていないとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- エンジン回転数が低すぎる、または高すぎるとき
- 運転者がシートベルトを外したとき
- 1 つまたは複数のタイヤのグリップ力が失われたとき
- カメラおよびレーダーユニットが雪や大雨で覆われているとき(カメラレンズ/電波が遮られているとき)
- 速度が 10 km/h 未満で、Pilot Assist が前方の車両を停止している車両なのか、減速帯などの物体であるのかを判断できないとき
- 速度が 10 km/h 未満で、前方の車両が曲がり、Pilot Assist が追従する車両がなくなったとき

スタンバイモードからの Pilot Assist の再作動



注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

Pilot Assist を再作動させるには：

- ステアリングリモコンのボタン (1)を押します。
  - 速度は直近に記憶された速度に設定されます。

⚠ 警告

ステアリングリモコンボタン を押して速度を戻すと、速度が著しく上昇することがあります。

関連情報

- Pilot Assist (p. 370)

[71] Electronic Stability Control

Pilot Assist による追い越しアシスト

Pilot Assist は、ほかの車両を追い越すときに運転者を支援することができます。

追い越しアシストの仕組み

Pilot Assist が別の車両に追従しているとき、運転者が方向指示器[72]を操作して追い越す意思を示した場合、Pilot Assist は、自車が追い越し車線に達する**前に**、前方の車両の方向へ自車を加速させて追い越しをしやすくします。

速度の遅い車両に接近しているときにブレーキを早くかけすぎることのないように、この機能は減速を遅らせます。

この機能は、自車が追い越した車両から十分に離れるまで作動し続けます。

⚠ 警告

この機能は追い越し時以外の状況で多く作動することがあります(例えば、車線変更時や別の道路への合流時に方向指示器を使用したときなど、車両は一時的に加速します)。

関連情報

- Pilot Assist (p. 370)
- Pilot Assist による追い越しアシストの起動 (p. 381)
- Pilot Assist による追い越しアシストの限界 (p. 382)

Pilot Assist による追い越しアシストの起動

追い越しアシストを使用するには、多数の条件を満たす必要があります。

追い越しアシストが作動するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 前方に車両(「対象車両」)が存在していること
- 自車の**現在の速度**が 70 km/h (43 mph)以上であること
- Pilot Assist の**設定**速度が追い越しを安全に行なうことができるほどの速度であること

追い越しアシストの起動

追い越しアシストを起動するには：

– 方向指示器を作動させます。

左ハンドル車の場合は左の方向指示器、右ハンドル車の場合は右の方向指示器を使用します。

› 追い越しアシストが起動します。

関連情報

- Pilot Assist (p. 370)
- Pilot Assist による追い越しアシスト (p. 381)

72 左ハンドル車では左側の、右ハンドル車では右側の方向指示器のみです。

Pilot Assist による追い越しアシストの限界

追い越しアシスト機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

⚠ 警告

追い越しアシストシステムを使用している場合、状況の急変に伴って車両が不必要に加速するおそれがあることを運転者は認識しておく必要があります。

したがって、以下のような場合など、一部の状況では使用をひかえる必要があります。

- 車両が進む予定の出口が通常の追い越し時に使用する側と同じ側にあり、車両がその出口に接近している
- 自車が追い越し車線に入り終わる前に前方の車両が減速する
- 追い越し車線の交通の流れが遅くなっている
- 右ハンドル車で左側通行の国を走行している(逆も同様)

この種の状況は、Pilot Assist を一時的にスタンバイモードにすることにより回避することができます。

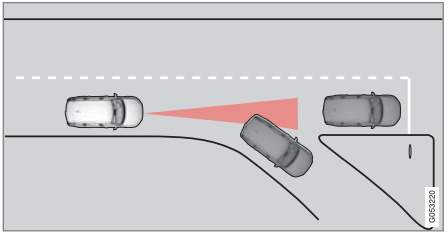
関連情報

- Pilot Assist (p. 370)
- Pilot Assist による追い越しアシスト (p. 381)

Pilot Assist の追従対象車両の変更

オートマチックトランスミッション車の場合、Pilot Assist には、特定速度のときに追従対象車両を変更する機能があります。

追従対象車両の変更



追従対象となっている先行車両が突然曲がった場合、前方の車両が停止していることに突然気づく場合があります。

Pilot Assist により 30 km/h (20 mph)**未満**の速度で別の車両に追従しているときに追従対象車両が走行車両から静止車両に変わると、Pilot Assist は減速して静止車両に対応します。

⚠ 警告

Pilot Assist により、約 30 km/h (20 mph) を**超える**速度で別の車両に追従している際に、目標車両が移動中の車両から静止車両に変わった場合には、Pilot Assist は静止している車両を**無視**して、設定されている速度まで加速します。

- 運転者は注意を怠らず、必要に応じてブレーキをかけてください。

追従対象車両の変更による自動スタンバイモード

以下の場合、Pilot Assist は解除されてスタンバイモードになります。

- 速度が 5 km/h (3 mph) 未満で、Pilot Assist が、追従対象が静止車両なのか別の障害物 (減速帯など) なのかを判断できない場合。
- 速度が 5 km/h (3 mph) 未満で、先行車が曲がったため Pilot Assist が追従する車両がなくなった場合。

関連情報

- Pilot Assist (p. 370)

Pilot Assist による自動ブレーキ

Pilot Assist には、渋滞時および停車中の専用ブレーキ機能があります。

渋滞時および停車中のブレーキ機能

渋滞時や赤信号など、停止する時間が約 3 秒 以内であれば、自動的に走行が再開します。前方の車両が動き出すまでにそれ以上の時間がかかる場合には、Pilot Assist はオートブレーキによりスタンバイモードになります。

– Pilot Assist を再作動させるには、以下の方法を行います。
  - ステアリングホイールの ↻+ ボタンを押します。
  - アクセルペダルを踏み込みます。
  - 前方の車両が 6 秒以内に前進し始めた場合、Pilot Assist は前方の車両への追従を再開します。

ⓘ 注意

Pilot Assist は最大 5 分間車両を静止させておくことができます。それ以上経過すると、パーキングブレーキが作動し、機能は解除されます。

Pilot Assist を再作動させるには、パーキングブレーキを解除する必要があります。

オートブレーキの停止

状況により、静止すると同時にオートブレーキが停止して、Pilot Assist がスタンバイモードになることがあります。このため、ブレーキが解除され、車両が動き出す場合があります。運転者はご自分でブレーキをかけ、静止状態に保ってください。

これは以下の状況で発生することがあります。

- 運転者がブレーキペダルに足を乗せたとき
- パーキングブレーキをかけたとき
- ギヤセレクターレバーを **P**、**N** または **R** 位置にしたとき
- 運転者が Pilot Assist をスタンバイモードにしたとき

パーキングブレーキの自動作動

特定の状況では、パーキングブレーキが作動して、車両を静止状態に保ちます。

Pilot Assist がフットブレーキで車両を静止状態に保持しているときに以下の状況が発生すると、パーキングブレーキが作動します。

- 運転者がドアを開けるか、シートベルトを外したとき
- Pilot Assist が車両を約 5 分間以上静止状態に保ったとき
- ブレーキがオーバーヒートしたとき
- 運転者が手動でエンジンを停止したとき

関連情報

- Pilot Assist (p. 370)

Pilot Assist の機能の限界

Pilot Assist 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

Pilot Assist 機能は、さまざまな状況で運転者の役に立つ支援機能です。しかし、周辺との間に安全な距離を確保し、車線内で適切な位置を維持することは、つねに運転者の責任です。

⚠ 警告

状況により、Pilot Assist ステアリングアシストは適切に運転者を支援することがむずかしい場合や自動的に解除される場合があります。このような状況では、Pilot Assist の使用はお薦めできません。考えられる状況の例：

- 車線区分線が摩耗している、欠如している、または重なり合っているとき。
- 車線の境界が明確でないとき。例：車線が分岐しているまたは合流している場合、出口付近、複数の表示が存在する場合など。
- 道路上、または道路付近にある境界線やその他の線が車線よりも目立つとき。例：カーブ、合流地点、道路工事、防壁や路肩の境界線、濃い影など。
- 車線が狭い、または曲がりくねっているとき。
- 車線に隆起または穴があるとき。
- 悪天候のとき。例：雨、雪、霧、ぬかるみ、低照度条件による視界の低下、逆光、濡れた路面など。

運転者は、Pilot Assist には以下のような機能の限界があることにも注意してください。

- 高い縁石、路側防護策、一時的な障害物（トラフィックコーン、防護策など）は検知されません。または、車線境界線とし

て正しく検知されずに、車両が接触する危険性があります。運転者は自分自身でそのような障害物と車両の間に適切な距離を確保する必要があります。

- センサーおよびレーダーセンサーには、道路交通環境で接近する物体や障害物すべてを検知する性能はありません。例：ルートを完全に、または部分的に妨げる道路の深いくぼみ、停止車両、物体など。
- Pilot Assist は、歩行者や動物などを検知することはできません。
- 推奨のステアリング装置の性能には限界があります。運転者のハンドル操作をつねに支援し、車両を車線内に維持できるわけではありません。
- 車両に Sensus Navigation*が装備されている場合、地図データの情報を使用するオプションがあります(パフォーマンスにはバラつきが生じる場合があります)。
- オーバーヒートによる冷却時など、パワーステアリングが省電力で作動している場合(「速度感応式ステアリングパワー」の項を参照してください)、Pilot Assist はオフになります。

運転者はいつでも Pilot Assist によるステアリング操作を修正または調整することができ、ステアリングホイールを任意の方向に回すことができます。

急な坂道や重い荷物を積載しての走行

Pilot Assist は主に、平坦な路面走行時用に設計されています。急な下り坂を走行する場合、この機能が前方の車両と適切な距離を保つことがむずかしい場合があります。このような場合には、特に注意をはらい、いつでもブレーキをかけられるようにしてください。

- 重い荷物を積載しているとき、または車両にトレーラーが連結されているときには、Pilot Assist を使用しないでください。

注意

トレーラーやバイシクルホルダーなどが車両の電気系統に接続されている場合、Pilot Assist は作動できません。

その他

- Pilot Assist が作動しているときには、**Off Road** ドライブモードは選択することができません。

注意

この機能は車両のカメラおよびレーダー一体型機器を使用します。この機器には限界があります。「カメラ機器の限界」および「レーダー機器の限界」を参照してください。

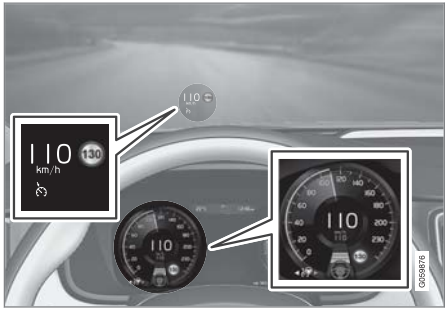
関連情報

- Pilot Assist（p. 370）
- 速度感応式のステアリングホイール操舵力（p. 328）
- カメラユニットの限界（p. 397）
- レーダー機器の限界（p. 388）

Pilot Assist*のシンボルおよびメッセージ

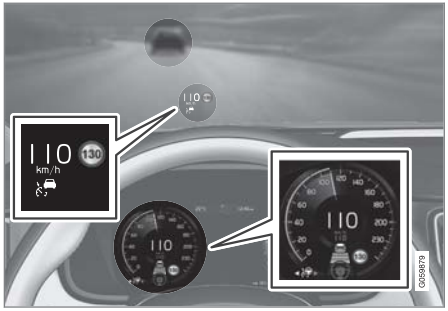
Pilot Assistに関する多数のシンボルおよびメッセージが、ドライバーディスプレイおよびヘッドアップディスプレイ*の両方またはどちらか一方に表示されます。

以下は事例の一部です[73]。



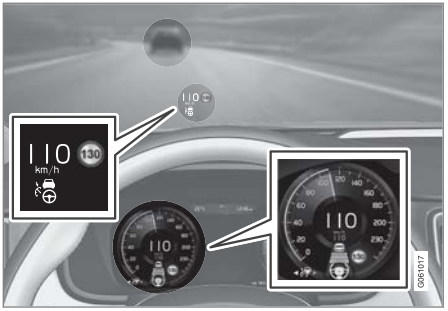
上図[74]は、Pilot Assistが110 km/h (68 mph)を維持するように設定され、かつ前方に追従対象の車両がないことを示しています。

Pilot Assistは、車線境界線を感知することができないため、ステアリングアシストはしません。



上図[74]は、Pilot Assistが110 km/h (68 mph)を維持するように設定され、同時に、同じ速度を維持している先行車を追従していることを示しています。

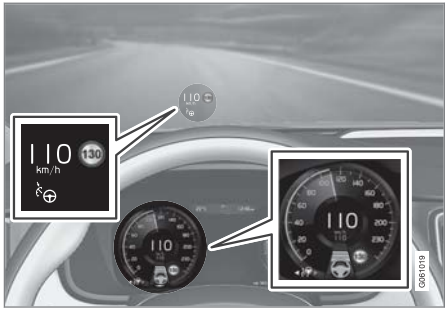
Pilot Assistは、車線境界線を感知することができないため、ステアリングアシストはしません。



上図[74]は、Pilot Assistが110 km/h (68 mph)を維持するように設定され、同時に、同じ速度を維持している先行車を追従していることを示しています。

この事例では、車線境界線を感知することができるため、Pilot Assistはステアリングアシストもします。

[73] 次図の例では、RSI (Road Sign Information)機能により制限速度が130 km/h (80 mph)であることが示されています。
[74] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。



上図[74]は、Pilot Assist が 110 km/h (68 mph) を維持するように設定され、かつ前方に追従対象の車両がないことを示しています。

Pilot Assist は、車線境界線を感知することができるため、ステアリングアシストもします。

関連情報

- Pilot Assist (p. 370)

レーダーユニット

レーダーユニットにはほかの車両を感知する役割があり、複数の運転者サポートシステムによって使用されます。

注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

レーダーユニットは以下の機能に使用されます。

- 車間警告機能*
- アダプティブクルーズコントロール*
- レーンアシスト
- Pilot Assist*
- City Safety

レーダーユニットは、絶対に改造しないでください。改造して使用することは、違法行為です。

関連情報

- レーダー機器の限界 (p. 388)
- レーダー機器の推奨メンテナンス (p. 391)
- レーダー機器の型式認定 (p. 392)

74 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

レーダー機器の限界

レーダーユニットには限界があるため、レーダーユニットを使用する機能にも限界があります。

カメラユニットの視野妨害

印の付いた範囲には、ステッカーやウインドフィルムなどを貼らないでください [75]。

レーダーユニットはウインドスクリーン上部の内側にカメラユニットと一緒に取り付けられています。

重要

カメラおよびレーダーユニットの正面や周辺のウインドスクリーンの外側または内側には、物を置いたり、貼り付けたり、または取り付けたりしないでください。カメラおよびレーダー依存の機能の妨げになる可能性があります。

この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

ドライバーディスプレイにこのシンボルと「**ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰ ﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙを見て下さい**」というメッセージが表示された場合、カメラおよびレーダーユニットが前方のほかの車両、サイクリスト、歩行者および大型動物を検知できないことと、車両のカメラおよびレーダーに基づく機能が中断、低下、完全に停止または誤作動するおそれがあることを意味しています。

以下の表には、表示メッセージの考えられる原因と、その対処法の例が記載されています。

原因	対処
カメラおよびレーダーユニット前方のウインドスクリーン表面が汚れているか、氷または雪が付着している。	カメラおよびレーダーユニット前方のウインドスクリーン表面の泥や氷、雪などをきれいに取り除いてください。
濃霧や激しい雨、雪などが原因で、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処法なし。激しい雨や雪のときは、ユニットが機能しない場合があります。

75 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

原因	対処
路面から跳ね上がる水や雪により、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処法なし。水たまりの多い道や雪道では、ユニットが機能しない場合があります。
ウインドスクリーンの内側とカメラおよびレーダーユニットの間に汚れが付着した。	ボルボ指定のサービス工場で、ウインドスクリーン内側のユニットカバーを清掃してください。

注意

カメラおよびレーダーユニット正面のウインドスクリーンは、つねにきれいな状態に保ってください。

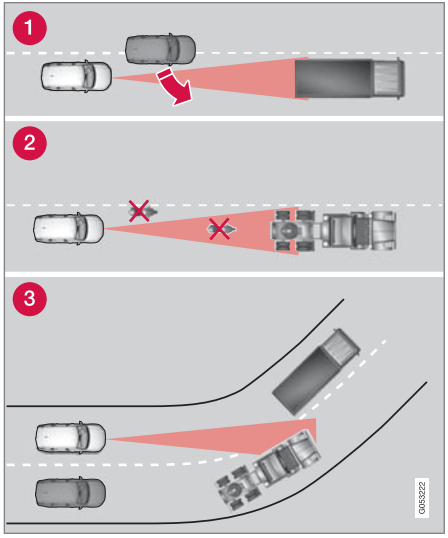
車速

次のような場合は、レーダーユニットが前方を走行している車両を感知する能力が著しく低下します。

- 前方の車両の速度が自車の速度と大きく異なる。

視野の限界

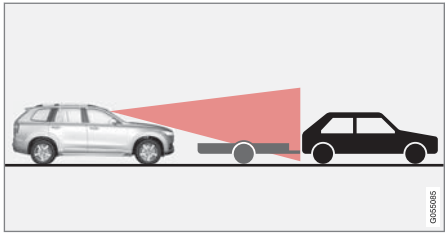
レーダーユニットの視野には限界があります。状況によっては別の車両を検知したり、検知が遅れたりする場合があります。



レーダーユニットの視野

1. レーダーユニットは、自車と前方を走行している車両との間に割り込んで来る車両など、至近距離の車両を感知するのに時間がかかることがあります。
2. オートバイなどの小型車や、車線の中央を走行していない車両を感知しない場合があります。
3. カーブでは、感知していた車両とは異なる車両を感知したり、感知中の車両を見失う場合があります。

車高の低いトレーラー



車高の低いトレーラーがレーダーの視野から外れている状態

車高の低いトレーラーもまた、レーダーユニットにとって感知が困難であったり、またはまったく感知できない場合があります。そのため、アダプティブクルーズコントロールやPilot Assistが有効になっているときに車高の低いトレーラーの後ろを走行する際は、特に注意する必要があります。

高温

温度が非常に高いときは、カメラおよびレーダーユニットの電子装置を保護するために、エンジン始動後から約15分間、ユニットが一時的にオフになることがあります。温度が十分に下がると、カメラおよびレーダーユニットは自動的に再起動します。

ウインドスクリーンの損傷

重要

カメラまたはレーダーユニット「ウインド」のいずれかの正面のウインドスクリーンにひび割れ、擦り傷、石はね傷があり、その面積が約0.5 × 3.0 mm (0.02 × 0.12 in.) 以上の場合は、ウインドスクリーンの交換をサービス工場に依頼してください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

修理しないと、カメラおよびレーダーユニットを使用する運転者サポートシステムの性能低下につながる可能性があります。

この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

レーダーユニットを使用する運転者サポートシステムの故障や不具合、または機能低下を防ぐために、以下の項目についても注意が必要です。

- ボルボでは、カメラおよびレーダーユニットの正面部分にあるひび割れ、擦り傷、石はね傷は**修理せず**に、ウインドスクリーン全体を交換することをお薦めします。
- ウインドスクリーンを交換する前にボルボ指定のサービス工場に連絡して、適切なウインドスクリーンが注文され、取り付けられるようにしてください。
- ウインドスクリーンワイパーを交換する際は、ボルボ社が承認している(または同等の)製品を使用してください。

重要

ウインドスクリーンを交換した場合、サービス工場でカメラおよびレーダーユニットを再調整して、車両のすべてのカメラおよびレーダーベースシステムが正しく機能することを確認してください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

関連情報

- レーダーユニット (p. 387)

レーダー機器の推奨メンテナンス

カメラおよびレーダーユニットが正しく機能するように、ユニットの正面のウインドスクリーンから泥や氷、雪などをきれいに取り除き、洗車用洗剤と水で定期的に洗浄してください。

注意

カメラおよびレーダーユニットが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーの機能が低下し、誤作動する場合があります。

この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

関連情報

- レーダーユニット（p. 387）

レーダー機器の型式認定

ここでは ACC[76]、PA[77] および BLIS[78] 機能のレーダーユニットの型式認定を読み出すことができます。

市場	ACC & PA	BLIS	シンボル	型式認定
ブラジル	✓			Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. Modelo: L2C0054TR 4122-14-8645 EAN: (01)07897843840855
		✓		Modelo: L2C0055TR 1500-15-8065 EAN: 07897843840978

76 Adaptive Cruise Control
77 Pilot Assist
78 Blind Spot Information

市場	ACC & PA	BLIS	シンボル	型式認定
ヨーロッパ	✓	✓		Hereby, Delphi Electronics and Safety declares that L2C0054TR / L2C0055TR are in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU (RED). The original declaration of conformity can be accessed at the following link www.delphi.com/automotive-homologation. Frequency Band: 76GHz - 77GHz Maximum Output Power: 55dBm EIRP The Declaration of Conformity may be consulted at Delphi Electronics & Safety / 2151 E. Lincoln Road / Kokomo, Indiana 46902 USA
アラブ首長国連邦（UAE）	✓			REGISTERED No: ER37536/15 DEALER No: DA37380/15
		✓		REGISTERED No: ER37357/15 DEALER No: DA37380/15
インドネシア	✓			37295/POSTEL/2014 4927
		✓		38806/SDPPI/2015 4927
ヨルダン	✓			Type Approval No.: TRC/LPD/2014/255 Equipment Type: Low Power Device (LPD)
		✓		Type Approval No.: TRC/LPD/2015/3 Equipment Type: Low Power Device (LPD)

市場	ACC & PA	BLIS	シンボル	型式認定
韓国	✓			Certification No. MSIP-CMI- DPH-L2C0054TR
		✓		Certification No. MSIP-CMI-DPH-L2C0055TR
モロッコ	✓	✓		AGREE PAR L’ ANRT MAROC NUMÉRO D’ AGRÉMENT: MR 9929 ANRT 2014 DATE D’ AGRÉMENT: 26/12/2014
メキシコ	✓			IFETEL: RLVDEL215-0299
		✓		IFETEL: RLVDEL215-0314
モルドバ	✓	✓		
セルビア	✓			И011 14
		✓		И011 15

市場	ACC & PA	BLIS	シンボル	型式認定
シンガポール	✓	✓	Complies with IDA standards DA105753	
南アフリカ	✓		ICASA	TA-2014/1824 APPROVED
		✓		TA-2014/2390 APPROVED
台湾	✓			CCAB15LP0560T3
		✓		CCAB15LP0680T0
ウクライナ	✓	✓	028	Delphi цім ствердж ує, що обладнання RACAM/SRR2 відповідає вимогам Про затвердження Технічного регламенту радіообладнання і телекомунікаційного кінцевого (термінального) обладнання (Постанова КМУ № 679 від 24 червня 2009 р.) Декларація відповідності знаходиться на сайті Delphi за адресою: Delphi.

関連情報

- レーダーユニット (p. 387)

カメラユニット

カメラユニットには車線境界線や道路標識を検知する役割があり、複数の運転者サポートシステムによって使用されます。

注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

カメラユニットは以下の機能に使用されます。

- アダプティブクルーズコントロール*
- Pilot Assist*
- レーンアシスト*
- 衝突回避ステアリングアシスト
- City Safety
- Driver Alert Control*
- ロード・サイン・インフォメーション*
- アクティブハイビーム*

関連情報

- カメラユニットの限界（p. 397）
- カメラ機器の推奨メンテナンス（p. 400）

* オプション/アクセサリー。

カメラユニットの限界

カメラユニットには限界があるため、カメラユニットを使用する機能にも限界があります。

視界不良

カメラは人間の目と同様に限界があり、大雪や大雨、濃霧、風塵、吹雪などではカメラの「視界」が悪化します。このような状況の下では、カメラに依存するシステムの機能が大幅に低下するか、一時的に解除される場合があります。

前方から強い光が射し込んでいるとき、車道からの反射光があるとき、路面に雪や氷があるとき、路面が汚れているとき、車線境界線が見えにくいときなども、カメラの機能(車線のスキャンや歩行者、サイクリスト、大型動物および他車を感知する機能など)が著しく低下するおそれがあります。

カメラユニットの視野妨害

印の付いた範囲には、ステッカーやウインドフィルムなどを貼らないでください[79]。

カメラユニットはウインドスクリーン上部の内側にレーダーユニットと一緒に取り付けられています。

重要

カメラおよびレーダーユニットの正面や周辺のウインドスクリーンの外側または内側には、物を置いたり、貼り付けたり、または取り付けたりしないでください。カメラおよびレーダー依存の機能の妨げになる可能性があります。

この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

ドライバーディスプレイにこのシンボルと「**ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙを見て下さい**」というメッセージが表示された場合、カメラおよびレーダーユニットが前方のほかの車両、サイクリスト、歩行者および大型動物を検知できないことと、車両のカメラおよびレーダーに基づく機能が中断、低下、完全に停止または誤作動するおそれがあることを意味しています。

以下の表には、表示メッセージの考えられる原因と、その対処法の例が記載されています。

79 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

原因	対処
カメラおよびレーダーユニット前方のウインドスクリーン表面が汚れているか、氷または雪が付着している。	カメラおよびレーダーユニット前方のウインドスクリーン表面の泥や氷、雪などをきれいに取り除いてください。
濃霧や激しい雨、雪などが原因で、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処法なし。激しい雨や雪のときは、ユニットが機能しない場合があります。
路面から跳ね上がる水や雪により、レーダー信号またはカメラ視野が遮られている。	対処法なし。水たまりの多い道や雪道では、ユニットが機能しない場合があります。
ウインドスクリーンの内側とカメラおよびレーダーユニットの間に汚れが付着した。	ボルボ指定のサービス工場で、ウインドスクリーン内側のユニットカバーを清掃してください。
前方からの強い光	対処法なし。明るさが良好になるようにカメラユニットが自動的にリセットされます。

注意

カメラおよびレーダーユニット正面のウインドスクリーンは、つねにきれいな状態に保ってください。

高温

温度が非常に高いときは、カメラおよびレーダーユニットの電子装置を保護するために、エンジン始動後から約 15 分間、ユニットが一時的にオフになることがあります。温度が十分に下がると、カメラおよびレーダーユニットは自動的に再起動します。

ウインドスクリーンの損傷

重要

カメラまたはレーダーユニット「ウインド」のいずれかの正面のウインドスクリーンにひび割れ、擦り傷、石はね傷があり、その面積が約 0.5 × 3.0 mm (0.02 × 0.12 in.) 以上の場合は、ウインドスクリーンの交換をサービス工場に依頼してください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

修理しないと、カメラおよびレーダーユニットを使用する運転者サポートシステムの性能低下につながる可能性があります。

この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

レーダーユニットを使用する運転者サポートシステムの故障や不具合、または機能低下を防ぐために、以下の項目についても注意が必要です。

- ボルボでは、カメラおよびレーダーユニットの正面部分にあるひび割れ、擦り傷、石はね傷は**修理せず**に、ウインドスクリーン全体を交換することをお薦めします。
- ウインドスクリーンを交換する前にボルボ指定のサービス工場に連絡して、適

切なウインドスクリーンが注文され、取り付けられるようにしてください。

- ウインドスクリーンワイパーを交換する際は、ボルボ社が承認している(または同等の)製品を使用してください。

重要

ウインドスクリーンを交換した場合、サービス工場でカメラおよびレーダーユニットを再調整して、車両のすべてのカメラおよびレーダーベースシステムが正しく機能することを確認してください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

関連情報

- カメラユニット（p. 396）

カメラ機器の推奨メンテナンス

カメラおよびレーダーユニットが正しく機能するように、ユニットの正面のウインドスクリーンから泥や氷、雪などをきれいに取り除き、洗車用洗剤と水で定期的に洗浄してください。

注意

カメラおよびレーダーユニットが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーの機能が低下し、誤作動する場合があります。

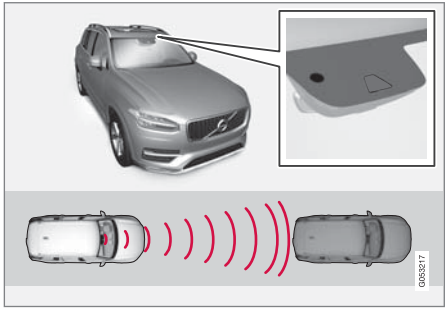
この場合、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

関連情報

- カメラユニット（p. 396）

City Safety™

City Safety は、警告表示、警告音およびブレーキパルス警告を使用して運転者に注意を促し、歩行者やサイクリスト、大型動物、突然出現する車両などの発見を支援します。その後、運転者が妥当な時間内に行動を起こさない場合、自動的にブレーキを作動させます。



レーダーユニットの位置 [80]

City Safety は衝突を防止すること、または衝突速度を低減することができます。

City Safety は、歩行者、大型動物、サイクリストまたは車両と衝突する危険があるときに運転者を支援する機能です。

City Safety 機能は、渋滞時の走行などで、前方の交通状況の変化や注意不足などにより事故が発生する可能性があるときに、運転者が衝突を回避できるように支援します。

この機能は、運転者が適切な時間内にブレーキ操作やステアリング操作を行わず、衝突の危険が迫っているときに、車両に自動的にブレーキをかけることにより運転者を支援します。

City Safety により、短時間で鋭くブレーキがかけられ、通常の状況であれば、前方の車両のすぐ手前で車を停止させることができます。

City Safety は、運転者がブレーキをかけ遅れたときに作動します。そのため、あらゆる状況で運転者の補助となるわけではありません。

不必要な介入を避けるため、City Safety は直前まで作動しないように設計されています。

運転者または乗員は通常 City Safety に気づくことはありません。作動に気づくのは、衝突寸前になったときのみです。

[80] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

⚠ 警告

- City Safety 機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- City Safety オートブレーキ機能は衝突を防止すること、または衝突速度を低減することができますが、制動力を最大限に発揮させるためには、オートブレーキが作動している場合でも、かならず運転者がブレーキペダルを踏み込む必要があります。
- 警告およびステアリングアシストは、衝突の危険が高い場合にのみ作動します。したがって、絶対に衝突警告または City Safety の介入を待たないでください。
- 歩行者およびサイクリストに対する警告およびブレーキ介入は、車速が 80 km/h (50 mph)を超えると解除されます。
- 加速速度が速い場合、City Safety はオートブレーキを一切作動しません。
- City Safety は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

- 機能の限界やシステムの使用前に知っておくべきことを把握するために、運転者には、オーナーズマニュアルを確認して、City Safety に関連する項目をすべて読むことをお薦めします(全項目へのリンクの一覧を参照してください)。

関連情報

- City Safety のパラメーターおよび補助機能 (p. 401)
- City Safety の警告距離の設定 (p. 403)
- City Safety による障害物の検知 (p. 404)
- City Safety の横方向の交通への対応 (p. 406)
- City Safety の横方向の交通への対応の限界 (p. 407)
- 回避操作ができない場合の City Safety (p. 408)
- 対向車対応 City Safety ブレーキ (p. 409)
- City Safety の限界 (p. 410)
- City Safety に関するメッセージ (p. 412)

City Safety のパラメーターおよび補助機能

City Safety は、オートブレーキ機能を使用して車両を減速させることにより、前方の車両、サイクリスト、歩行者または大型動物との衝突を回避することができます。

速度差が以下の規定速度を上回る場合、City Safety のオートブレーキ機能では衝突を回避できませんが、衝突の被害を軽減することはできます。

車両
前方の車両の場合、City Safety は車速を最大で 60 km/h (37 mph)減速することができます。

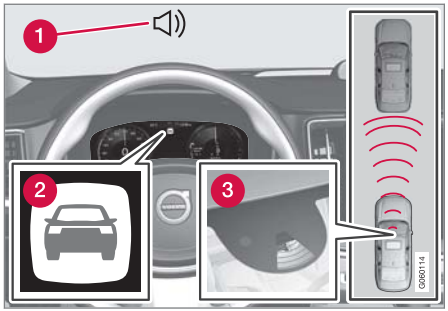
サイクリスト
サイクリストの場合、City Safety は車速を最大で 50 km/h (30 mph)減速することができます。

歩行者
歩行者の場合、City Safety は車速を最大で 45 km/h (28 mph)減速することができます。

大型動物
大型動物と衝突する危険がある場合、City Safety は車速を最大で 15 km/h (9 mph)減速させることができます。

大型動物に対するブレーキ機能は、高速での衝撃力を低減することが主な目的であり、70 km/h (43 mph)を超える速度でもっとも効果を発揮し、低速時には効果が低下します。

City Safety の補助機能



機能の概要 [81]

1. 衝突の危険を知らせる警告音
2. 衝突の危険を知らせる警告灯
3. カメラおよびレーダーユニットによる距離測定

City Safety は 3 つのステップを以下の順序で実行します。

1. 衝突警告システム
2. ブレーキサポート
3. オートブレーキ

以下は、3 つのステップの内容に関する具体的な説明です。

1 – 衝突警告システム

まず運転者に衝突事故が切迫していることを警告します。

ヘッドアップディスプレイ装備車*の場合、ウインドスクリーンに点滅するシンボルで警告が表示されます。

ウインドスクリーンに表示される衝突警告用シンボル [82]

注意

陽射しが強いとき、光のコントラストが極端なとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

City Safety は、歩行者、サイクリストまたは車両が自車の前方を自車と同じ方向に移動している、または自車の前方で停止している場合に検知することができます。City Safety は、自車の前方の道路を横断している歩行者、サイクリストまたは大型動物も検知することができます。

歩行者、大型動物、サイクリスト、または車両(「City Safety の横方向の交通への対応」の項に記載されている車両を含む)と衝突する危険がある場合、警告灯、警告音およびブレーキパルス警告で運転者に注意を促します。低速走行時や運転者による急ブレーキまたは急加速時には、ブレーキパルス警告はありません。ブレーキパルス周波数は車速に応じて変化します。

2 – ブレーキサポート

警告の後もさらに衝突の危険が増した場合は、衝突警告システムによりブレーキサポートが作動します。

システムがブレーキだけでは衝突を回避するのに不十分だと判断すると、ブレーキサポートが運転者の制動を補助します。

81 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。
82 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

* オプション/アクセサリー。

3 - オートブレーキ

オートブレーキ機能は最後に作動します。

この時点でも運転者が事故を回避するための行動を開始せず、衝突の危険が切迫した場合には、運転者がブレーキをかけるかどうかに関係なく、オートブレーキ機能が作動します。この場合、衝突時の速度を減少させるためにフルブレーキがかかります。もしくは、衝突を避けるのに十分であれば、制動力が制限されます。

オートブレーキと連動して、シートベルトテンショナーも作動することがあります。詳しくは、「シートベルトテンショナー」の項を参照してください。

状況により、オートブレーキの動作は軽い制動で始まり、徐々にフルブレーキに達することもあります。

City Safety により静止物体との衝突が阻止されると、車両は停止状態を維持し、運転者からの積極的な操作を待ちます。前方の車両が自車よりも遅い速度で走行しているために自車にブレーキがかかった場合、前方の車両が維持している車速と同じ速度に減速します。

運転者はアクセルペダルを踏み込むことで、いつでもブレーキの介入を中断させることができます。

注意

City Safety によりブレーキが作動する際には、ブレーキランプが点灯します。

City Safety が作動してブレーキがかかると、ドライバーディスプレイにディスプレイテキストが表示され、この機能が作動していることを示します。

警告

運転者はご自身の運転スタイルを変える目的で City Safety を使用しないでください。City Safety に完全に依存してブレーキ操作を任せることはしないでください。

関連情報

- City Safety™ (p. 400)

City Safety の警告距離の設定

City Safety はつねにオンになっていますが、その警告距離は運転者が選択することができます。

注意

City Safety 機能を無効にすることはできません。この機能はエンジン/電気モーター始動時に自動的に起動し、エンジン/電気モーターが停止するまでオンの状態を維持します。

警告距離はシステムの感度を特定して、警告灯、警告音およびブレーキパルス警告の作動条件となる距離を制御します。

警告距離を選択するには：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe** を選択します。
2. **City Safety 警告** で **遅め**、**普通**、**早め** のいずれかを選択して、警告距離を設定します。

早め 設定で警告が出る回数が多すぎて、不愉快に感じることがある場合は、警告距離に **普通** または **遅め** を選択することができます。

警告が出る回数が多すぎる、警告が邪魔に感じられる場合には、警告距離を短くします。これ

◀◀ により、警告の総数は減りますが、後で City Safety から警告を受けることになります。

したがって、**遅め** 警告距離は、例外的な場合(ダイナミック走行など)にのみ使用してください。

⚠ 警告

- どのような自動システムであっても、あらゆる状況で100%適切に機能するという保証はありません。このため、絶対に人や動物、車両を対象にCity Safetyをテストしないでください。重大な物損事故や人身事故、場合によっては死亡事故につながるおそれがあります。
- City Safetyは運転者に衝突の危険を警告しますが、運転者の反応時間を短くすることはできません。
- 状況により、警告距離を **早め** に設定していても、警告が出るタイミングが遅いと感じられる場合があります(例えば、前方を走行している車両と自車の速度差が大きいときや、前方の車両が急ブレーキをかけたときなど)。
- 警告距離が **早め** に設定されている場合、警告のタイミングが早まります。したがって、警告距離 **普通** のときよりも警告が出される回数が増える可能性がありますが、City Safetyがさらに効果的になるため、この設定をお薦めします。

ⓘ 注意

City Safety機能の衝突警告の警告距離を最低レベル「**遅め**」に設定すると、Rear Collision Warningの方向指示器による警告はオフになります。

ただし、シートベルトのプリテンショナー装置(自動巻き上げ装置)、およびブレーキ機能はオンになったままです。

関連情報

- City Safety™ (p. 400)

City Safetyによる障害物の検知

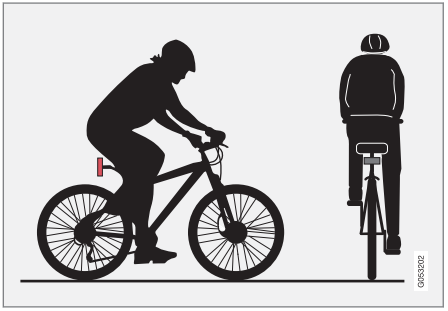
City Safetyが検知できる障害物は、車両、サイクリスト、大型動物、および歩行者です。

車両

City Safetyは、停車している車両または自車と同じ方向に走行している車両のほとんどと、「交差点におけるCity Safety」および「対向車対応City Safetyブレーキ」で説明されている車両を検知します。

City Safetyが暗闇で車両を検知できるためには、対象車両のフロントライトおよびリアランプが明るく点灯している必要があります。

サイクリスト



City Safetyがサイクリストとして認識できる最適な例(サイクリストの輪郭と自転車の外形がはっきりしている)

システムが最大限の性能を発揮するためには、サイクリスト検知機能が自転車と乗る人の体の

輪郭に関するできるだけ明瞭な情報を得ることが必要です。つまり、自転車、頭部、両腕、両肩、両脚、胴体に加え、人間のような動きのパターンが検知できることを意味します。

自転車と乗る人の体の大部分がカメラの視界に入っていない場合には、システムはサイクリストを検知することができません。

システムは、大人用の自転車に大人が乗っている場合にサイクリストを検知することができます。

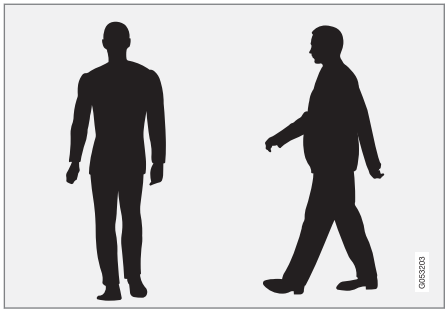
⚠ 警告

City Safety は補助的な運転者サポートですが、状況によりサイクリストを検知できない場合があります。例えば、以下のようなサイクリストは検知できません。

- 身体の一部が隠れているサイクリスト。
- 背景とのコントラストが明確でないサイクリスト。警告およびブレーキの介入が遅れたり、作動しなかったりする場合があります。
- 体の輪郭を隠す衣服を身に着けているサイクリスト。
- 大きい荷物などを積んでいる自転車は検知できません。

車両を適切に運転し、速度に応じて安全な距離を保つことは、つねに運転者の責任です。

歩行者



体型が明確で、システムが歩行者であると認識できる最適な例

システムが最大限の性能を発揮するためには、歩行者を検知するシステム機能が、体型に関しできるだけ明瞭な情報を得ることが必要です。つまり、頭部、両腕、両肩、両脚、胴体に加え、人間のような動きのパターンが検知できることを意味します。

歩行者を検知できるようにするためには、背景との対比が必要です。これには服装、背景および天気などの要素が影響します。対比がはっきりしない場合、歩行者は検知が遅れたり、まったく検知できないことがあり、警告やブレーキが遅れる、または作動しないことがあります。

City Safety は、歩行者が車両のヘッドライトで照らされた場合、暗闇でも歩行者を検知することができます。

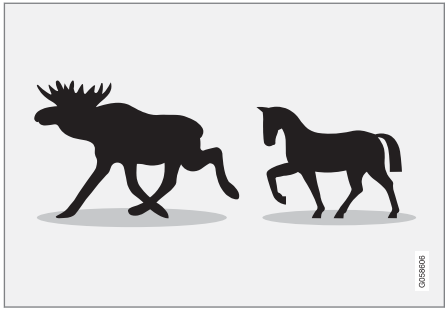
⚠ 警告

City Safety は補助的な運転者サポートですが、状況により歩行者を検知できない場合があります。例えば、以下のような歩行者は検知できません。

- 体の一部が隠れている歩行者、体の輪郭がわかりにくい衣服を着用している歩行者、または身長が 80 cm (32 in.)未満の歩行者。
- 歩行者の背景コントラストが良好でない場合。警告およびブレーキの介入が遅れたり、作動しなかったりする場合があります。
- 大きな荷物などを運んでいる歩行者。

車両を適切に運転し、速度に応じて安全な距離を保つことは、つねに運転者の責任です。

大型動物



City Safety が大型動物として判断できる最適な条件は、静止しているかゆっくり移動しており、体型が明確であることです。

システムが最大限の性能を発揮するためには、大型動物(鹿、馬など)を検知するシステム機能が、体型に関しできるだけ明瞭な情報を得ることが必要です。つまり、動物を横から直接検知するとともに、動物の通常の動きのパターンを検知できることを意味します。

動物の体の一部がカメラの視界に入っていない場合には、システムは動物を検知することができません。

City Safety は、大型動物が車両のヘッドライトで照らされた場合、暗闇でも大型動物を検知することができます。

⚠ 警告

City Safety は補助的な運転者サポートですが、状況により大型動物を検知できない場合があります。例えば、以下のような大型動物は検知できません。

- 身体の一部が隠れている大型動物
- 正面あるいは真後ろから輪郭を捉えた大型動物
- 動きの素早い大型動物
- 大型動物と背景とのコントラストが良好でない場合。警告およびブレーキの介入が遅れたり、作動しなかったりする場合があります。
- 犬、猫などの小動物

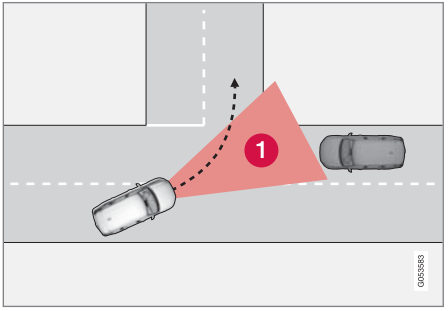
車両を適切に運転し、速度に応じて安全な距離を保つことは、つねに運転者の責任です。

関連情報

- City Safety™ (p. 400)
- City Safety の横方向の交通への対応 (p. 406)
- 対向車対応 City Safety ブレーキ (p. 409)

City Safety の横方向の交通への対応

City Safety は、交差点で右折して対向車の進路を横切るときに役立ちます。



1 City Safety が対向車を検知できる範囲

City Safety が衝突進路の接近車両を検知するためには、City Safety が状況を分析できる範囲に対向車が入る必要があります。

さらに以下の条件も満たす必要があります。

- 自車が 4 km/h (3 mph)以上の速度で走行している
- 左折(右側通行の市場)または右折(左側通行の市場)している
- 接近車両のヘッドライトが点灯している

⚠ 警告

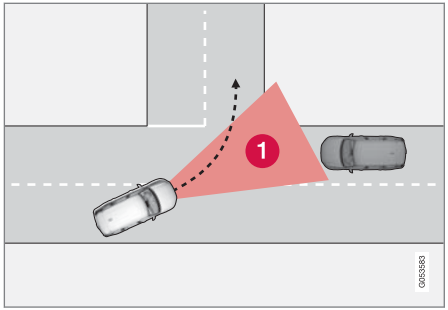
- 「クロストラフィック対応 City Safety」機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 対向車と衝突する危険を察知した警告およびブレーキの介入は、非常に遅い段階で行われることがよくあります。
- 絶対に、衝突警告が作動するまで、またはCity Safetyが介入するまで待たないでください。
- City Safetyは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報

- City Safety™ (p. 400)

City Safetyの横方向の交通への対応の限界

状況により、City Safetyは横方向からの接近車両と衝突する危険に対処することがむずかしい場合があります。



例えば、以下のような状況です。

- 滑りやすい走行状況で、スタビリティ・コントロール ESCが介入している場合
- 接近車両の検知が遅すぎた場合
- 接近車両がなにかに隠れて見えない場合
- 接近車両がヘッドライトを点灯していない場合
- 接近車両の走行が予測不能できない場合(遅い段階での急な車線変更など)

ⓘ 注意

この機能は車両のカメラおよびレーダー一体型機器を使用します。この機器には限界があります。「カメラ機器の限界」および「レーダー機器の限界」を参照してください。

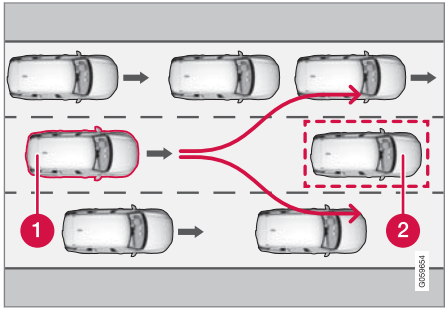
関連情報

- City Safety™ (p. 400)
- City Safetyの限界 (p. 410)
- City Safetyの横方向の交通への対応 (p. 406)
- カメラユニットの限界 (p. 397)
- レーダー機器の限界 (p. 388)

回避操作ができない場合の City Safety

City Safety には、ステアリング操作だけでは衝突を回避できない場合に、早めに自動的にブレーキをかけて運転者を支援する機能があります。

City Safety は、遅い段階で前方に低速走行の車両または停止中の車両が見つかった場合に備えて、横に「逃げ道」があるかどうかを予測し続けることにより運転者を支援します。



自車(1)は前方の車両(2)を回避できる方法がないことを「予見」しているため、早めにオートブレーキをかけることができます。

1. 自車
2. 低速走行/停止中の車両

運転者がステアリング操作により衝突を回避できる可能性がある間、City Safety はオートブレーキ機能による介入を行いません。

ただし、隣の車線の混雑状況から回避操作ができないと予想した場合、City Safety 機能は早い段階で自動的にブレーキをかけ始めることにより運転者を支援することができます。

⚠ 警告

- City Safety の特定の状況を予測する機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- City Safety は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

回避操作ができない場合の City Safety の限界

ⓘ 注意

この機能は車両のカメラおよびレーダー一体型機器を使用します。この機器には限界があります。「カメラ機器の限界」および「レーダー機器の限界」を参照してください。

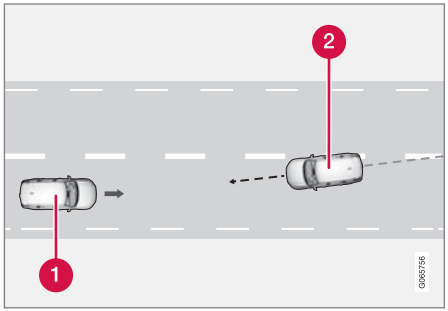
関連情報

- City Safety™ (p. 400)
- カメラユニットの限界 (p. 397)
- レーダー機器の限界 (p. 388)

対向車対応 City Safety ブレーキ

City Safety は、自車の走行車線に入ってきた対向車に対するエマージェンシーブレーキの使用をサポートします。

対向車が自車の車線内に入り衝突が回避できない場合、City Safety は減速して衝撃の軽減を図ります。



1 自車

2 対向車

この機能が作動するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 自車が 4 km/h (3 mph)以上の速度で走行している
- 道路のセクションが直線である
- 自車が走行している車線の車線境界線が明確である
- 自車が車線に対してまっすぐの状態である
- 対向車が自車の車線境界線内にある
- 対向車のヘッドライトが点灯している
- この機能は、「正面」衝突のみに対応できます
- この機能は四輪自動車のみを検知できます
- この機能が作動するには、**電動シートベルトテンショナー**が動作している必要があります(「シートベルトテンショナー」を参照)

注意

この機能は車両のカメラおよびレーダー一体型機器を使用します。この機器には限界があります。「カメラ機器の限界」および「レーダー機器の限界」を参照してください。

警告

- 「対向車対応 City Safety ブレーキ」機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 対向車との衝突が差し迫った場合、警告およびブレーキの介入が機能するまでに非常に時間がかかります。
- 絶対に、衝突警告が作動するまで、または City Safety が介入するまで待とうとせず、危険を察知した時点で全力でブレーキをかけてください。
- City Safety は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報

- City Safety™ (p. 400)
- City Safety の限界 (p. 410)
- カメラユニットの限界 (p. 397)
- レーダー機器の限界 (p. 388)
- シートベルトテンショナー (p. 86)

City Safety の限界

City Safety 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

周囲の状況

低い物体

積荷が突き出ていることを示す布/テープなどの垂れ下がる物体や、補助ライトやブルバーなどボンネットより高い位置にあるアクセサリーによって機能が制限されます。

横滑り

路面が滑りやすいときには、制動距離が長くなるため、City Safety が衝突を回避する能力が低下する場合があります。そのような状況では、アンチロックブレーキおよびスタビリティ・コントロール ESC[83] が可能な範囲で最良の制動力を発揮しながら安定性を維持します。

前方からの光

陽射しが強いとき、光の反射があるとき、運転者がサングラスを着用しているとき、運転者が前方をまっすぐ見ていないときなどは、ウインドスクリーンの警告灯が見えにくいことがあります。

熱

強い陽射しなどが原因で車内温度が上昇すると、ウインドスクリーンの警告灯が一時的に作動しなくなることがあります。

カメラおよびレーダーユニットの視野

カメラの視野には限界があります。このため、状況によっては歩行者、大型動物、サイクリスト、車両が検知されないか、検知が遅れる場合があります。

汚れている車両はほかの車両よりも検知に時間がかかることがあります。暗い場合、オートバイは検知が遅れること、またはまったく検知されないことがあります。

カメラおよびレーダーユニットが遮られているという内容のメッセージがドライバーディスプレイに表示された場合、City Safety は前方の歩行者、大型動物、サイクリスト、車両または車線境界線を検知できないことがあります。つまり、City Safety の機能が低下する可能性があります。

ただし、ウインドスクリーンのセンサーが遮られている場合でも、エラーメッセージが表示されないことがあるため、運転者はカメラおよびレーダーユニットの正面付近のウインドスクリーンをつねにきれいな状態に保つ必要があります。

重要

City Safety コンポーネントのメンテナンスおよび交換は、ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

運転者の操作

後退

車両後退中は、City Safety は一時的に解除されます。

低速

City Safety は 4 km/h 未満 (3 mph 未満)の低速では作動しません。駐車時など、非常に低速で前方の車両に接近している状況でこのシステムが作動しないのはそのためです。

運転者による積極的な操作

運転者の操作がつねに優先されます。そのため、衝突が回避できない状態でも、運転者が明確にステアリングを操作したり、アクセルペダルを操作したりしているときには、City Safety は介入しません、または警告/介入を見合わせます。

したがって、積極的で意識的な運転操作は、衝突警告や介入を遅らせることになり、不必要な警告を最小限にとどめることができます。

83 Electronic Stability Control

その他

⚠ 警告

- カメラおよびレーダーユニットが歩行者、サイクリスト、大型動物、または前方の車両を正確に感知できないような交通状況では、警告が出るタイミングまたはブレーキがかかるタイミングが遅れる場合や、まったく警告が出ない、あるいはブレーキがかからない場合があります。
- 夜間に車両を検知するためには、検知対象の車両のヘッドライトとテールランプが明るく点灯している必要があります。
- カメラおよびレーダーユニットが歩行者とサイクリストを検知できる範囲には限界があります。このシステムは相対速度が 50 km/h (30 mph)未満のときに効果的な警告およびブレーキ介入を行うことができます。停止車両や低速の車両に対する警告およびブレーキ介入は、速度が 70 km/h (43 mph)以下のときに効果を発揮します。大型動物に対する減速は 15 km/h (9 mph)未満です。この減速は車速が 70 km/h (43 mph)を超えている場合に可能です。この速度を下回っている場合、大型動物に対する警告およびブレーキ介入は効果が低減します。
- 夜間や視界が悪いときには、停止車両、低速走行車または低速で移動中の大型動物に対する警告が出ない場合があります。
- 歩行者およびサイクリストに対する警告およびブレーキ介入は、車速が 80 km/h (50 mph)を超えると解除されます。
- カメラおよびレーダーユニットの正面や周辺のウインドスクリーンの外側または内側には、物を置いたり、貼り付けたり、または取り付けたりしないでください。カメラ依存の機能の妨げになる可能性があります。
- カメラセンサー付近に異物、雪、氷、汚れなどが付着すると、機能が低下、完全に停止、または誤作動するおそれがあります。

ⓘ 注意

この機能は車両のカメラおよびレーダー一体型機器を使用します。この機器には限界があります。「カメラ機器の限界」および「レーダー機器の限界」を参照してください。

市場による制限事項

City Safety は一部の国では利用できません。City Safety がセンターディスプレイの **設定** メニューに表示されない場合、車両にこの機能は装備されていません。

センターディスプレイのトップビューでの検索パス：

- **設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe**

関連情報

- City Safety™ (p. 400)
- カメラユニットの限界 (p. 397)
- レーダー機器の限界 (p. 388)

City Safety に関するメッセージ

ドライバーディスプレイには、City Safety に関する多くのメッセージが表示されます。

いくつかの例が以下の表に示されています。

メッセージ	意味
City Safety **自動介入**	City Safety がブレーキをかけたとき、またはオートブレーキをかけたとき、メッセージ表示と連動していくつかのドライバーディスプレイシンボルが点灯することがあります。
City Safety **機能低下。販売店に お問い合わせ下さい。**	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ◯ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- City Safety™ (p. 400)

Rear Collision Warning

Rear Collision Warning (RCW)機能は、後続車からの衝突を避けるのに役立ちます。

RCW は、エンジン始動のたびに自動的に起動します。

RCW は方向指示器を急速に点滅させて、後続車の運転者に衝突の可能性があることを警告します。

車速が 30 km/h 未満(20 mph 未満)のときに、後方から衝突される危険があることを RCW が検知すると、シートベルトテンショナーがフロントシートベルトに張力をかけ、Whiplash Protection System セーフティシステムを起動します。

また、衝突時に自車が加速するのを抑えるために、後方からの衝突の直前に RCW がフットブレーキを作動させることもあります。ただし、フットブレーキを作動させるのは、車両が停止している場合に限定されます。アクセルペダルを踏むと、フットブレーキはただちに解除されます。

関連情報

- Rear Collision Warning の機能の限界 (p. 413)
- Whiplash Protection System (p. 81)

Rear Collision Warning の機能の限界

状況により、RCW は衝突の危険があるときに運転者を支援することがむずかしい場合があります。

例えば、以下のような状況です。

- 後方から接近してくる車両の検知が遅すぎた場合
- 後方から接近してくる車両が直前に車線を変更した場合
- 後方から接近してくる車両の速度が 80 km/h (50 mph)を超えている場合
- トレーラーやバイシクルホルダーなどが車両の電気系統に接続されている場合。この場合、RCW 機能は自動的に解除されます。

注意

一部の市場では、地域の交通規制に従い、RCW が方向指示器による警告を**行いません**。こういった場合は、この機能は無効にされています。

注意

City Safety 機能の衝突警告の警告距離を最低レベル「**遅め**」に設定すると、Rear Collision Warning の方向指示器による警告はオフになります。

ただし、シートベルトのプリテンショナー装置(自動巻き上げ装置)、およびブレーキ機能はオンになったままです。

関連情報

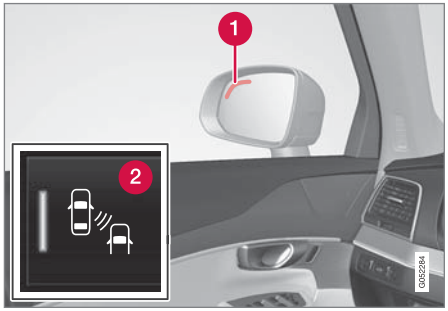
- Rear Collision Warning (p. 413)

BLIS*

BLIS[84] 機能は、交通量の多い複数車線の道路を走行しているときに、自車の斜め後ろや横の車両について知らせ、運転者をサポートするように設計されています。

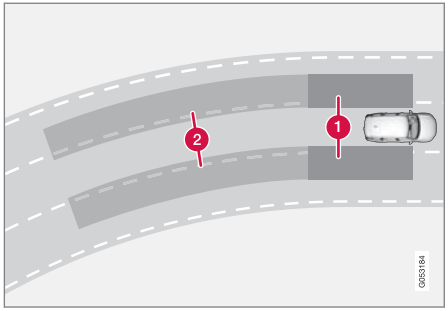
BLIS は次のような車両の存在を警告して運転者をサポートします。

- 死角に入っている車両
- 右隣および左隣の車線を走行しながら急接近してくる車両



BLIS ランプの位置[85]

1. インジケーターランプ
2. この機能の起動/解除には、センターディスプレイの機能ビューの BLIS ボタンを使用します。



BLIS の原理

1. 死角内のゾーン
2. 急速に接近する車両用のゾーン

BLIS 機能は、車速が 10 km/h (6 mph)を超えているときに作動します。

このシステムは、次の場合に反応するように設計されています：

- 自車が他車によって追い越される
- 他車が自車に急速に接近している

BLIS がゾーン 1 内で車両を検知する、またはゾーン 2 内で急接近する車両を検知すると、該当する側のドアミラーのインジケーターランプが点灯します。この状況で運転者が警告が発せられている側の方向指示器を出すと、インジケーターランプが点灯から強い点滅に変わります。

注意

ほかの車両を感知した側のインジケーターランプが点灯します。車両が両側から追い越されている場合は、左右のインジケーターランプが点灯します。

警告

- BLIS 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 安全に車線を変更すること、および的確に判断することは、つねに運転者の責任です。
- BLIS は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

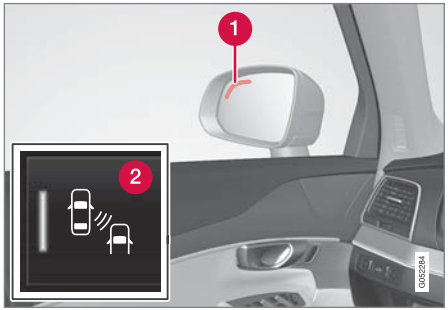
84 Blind Spot Information Systems
85 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

関連情報

- BLIS を起動/解除する（p. 415）
- BLIS の機能の限界（p. 416）
- BLIS の推奨メンテナンス（p. 416）
- BLIS に関するメッセージ（p. 418）

BLIS を起動/解除する

BLIS[86] 機能はオン/オフにすることができます。



BLIS ランプの位置 [87]

1. インジケーターランプ
2. この機能の起動/解除には、センターディスプレイの機能ビューの BLIS ボタンを使用します。

– 機能ビューで **BLIS** ボタンをタップします。
  › BLIS が起動/解除され、緑色/灰色のインジケーターがボタンに表示されます。

エンジンを始動して BLIS がオンになると、ドアミラーインジケーターランプが 1 回点滅して、機能がオンになったことを確認します。

エンジンを停止すると BLIS はオフになり、次回のエンジン始動時までオフの状態を維持します。インジケーターランプは点灯しません。

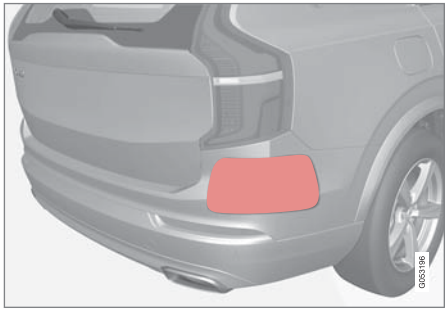
関連情報

- BLIS*（p. 414）

[86] Blind Spot Information
[87] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

BLIS の機能の限界

BLIS[88] 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。



車両の左右両側のこの面をきれいな状態に保ってください[89]。

機能限界の例：

- センサーが汚れ、氷または雪で覆われると、機能が低下し、警告が解除されることがあります。
- トレーラー、バイシクルホルダーなどを車両の電気系統に接続すると、BLIS 機能は自動的に解除されます。
- BLIS 機能が本来の機能を発揮するためには、車両のトウバーにバイシクルホルダー、ラゲッジキャリアなどが取り付けられていないことが必要です。

⚠ 警告

- BLIS は、急カーブでは作動しません。
- BLIS は、後退時には作動しません。

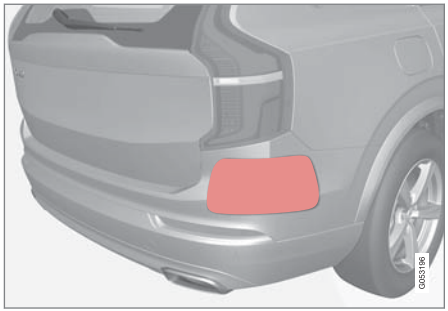
関連情報

- BLIS*（p. 414）

BLIS の推奨メンテナンス

- もっとも効率的に作動するように、センサー前面の領域はつねにきれいにしておいてください。
- センサーがある領域に物体やテープ、ラベルなどを貼り付けないでください。

88 Blind Spot Information
89 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。



車両の左右両側のこの面をきれいな状態に保ってください[90]。

BLIS のセンサーはリアフェンダー/バンパーの各隅の内側にあります。これらのセンサーは Cross Traffic Alert (CTA)および Rear Collision Warning 機能にも使用されます。

重要

BLIS および CTA 機能コンポーネントの修理またはバンパーの塗装修理はサービス工場で実施する必要があります。ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

関連情報

- BLIS* (p. 414)
- Cross Traffic Alert* (p. 419)
- Cross Traffic Alert を起動/解除する (p. 420)
- Cross Traffic Alert の機能の限界 (p. 420)
- Cross Traffic Alert の推奨メンテナンス (p. 421)
- Cross Traffic Alert に関するメッセージ (p. 422)
- Rear Collision Warning (p. 413)

90 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

BLIS に関するメッセージ

ドライバーディスプレイには、BLIS[91] に関する多くのメッセージが表示されます。

いくつかの例が以下の表に示されています。

メッセージ	意味
BLIS センサー **販売店に お問い合わせ下さい**	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
BLIS オフ **トレーラーが 連結しています**	車両の電気系統にトレーラーが接続されたため、BLIS および CTA が解除されました。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ◯ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

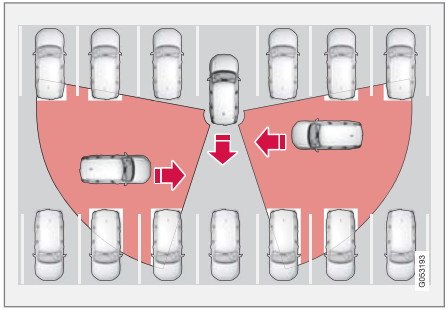
関連情報

- BLIS*（p. 414）

[91] Blind Spot Information

Cross Traffic Alert*

CTA[92] は、後退中に車両後方の左右から近づいてくる車両を運転者に知らせるよう設計された BLIS[93] の補助的な運転者サポートです。



CTA の原理

CTA は、駐車スペースから後退して出るときなど、後退中に横方向から近づいてくる車両を検知することで、BLIS を補完します。

CTA はもともと車両を検知するように設計されていますが、条件が整っている場合には、サイクリストや歩行者など、小さめの対象物も検知できる場合があります。

CTA は、車両が後退しているときまたはリバースギヤが選択されているときにのみ作動します。

CTA が横方向から接近してくるものを感知すると、以下の動作によって示されます。

- 警告音 – 接近してくる側のスピーカー(左または右)から音が聞こえます。
- 画面の PAS[94] グラフィックのアイコン点灯
- パークアシスト・カメラトップビューのアイコン

画面の PAS グラフィックの CTA アイコン点灯 [95]

⚠ 警告

- Cross Traffic Alert 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 車両を安全に後退させること、および的確に判断することは、つねに運転者の責任です。
- Cross Traffic Alert は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報

- Cross Traffic Alert を起動/解除する (p. 420)
- Cross Traffic Alert の機能の限界 (p. 420)
- Cross Traffic Alert の推奨メンテナンス (p. 421)
- Cross Traffic Alert に関するメッセージ (p. 422)

92 Cross Traffic Alert
93 Blind Spot Information
94 Park Assist System : 後退センサー付きパークアシスト
95 注意 : 図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

Cross Traffic Alert を起動/解除する

運転者は以下の方法で CTA[96] 機能を解除することができます。

センターディスプレイの機能ビューで Cross Traffic Alert ボタンをタップします。

- ボタンが灰色のとき – CTA はオフになっています。
- ボタンが緑のとき – CTA がオンになっています。

CTA は、エンジン始動のたびに自動的に起動します。

関連情報

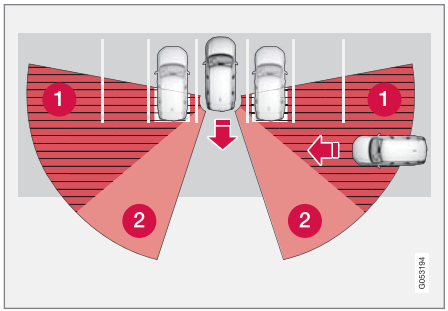
- Cross Traffic Alert* (p. 419)

Cross Traffic Alert の機能の限界

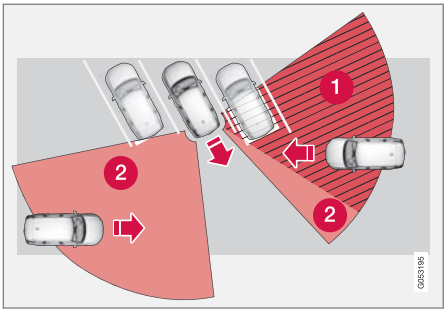
CTA[97] 機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

CTA の機能にはある程度の限界があり、すべての状況で正しく動作するとは限りません。例えば、障害物(ほかの駐車車両など)がある場合、CTA センサーが障害物を透視することは不可能です。

最初から CTA の「視野」が制限されて接近中の車両を直前まで検知できない状況としては、以下のような例が考えられます。



車両が駐車スペースの奥に駐車されている



角度のある駐車スペースでは、CTA の一方側は完全に死角になる可能性があります。

1. CTA の死角
2. CTA の検知/「視認」可能範囲

しかし、車両がゆっくり後退するに従って、車両と障害物との角度が変化して死角が急速に小さくなります。

96 Cross Traffic Alert
97 Cross Traffic Alert

機能が制限されるその他の例

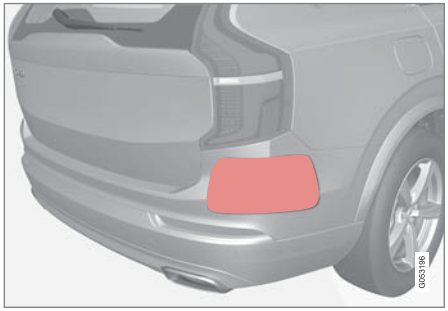
- センサーが汚れ、氷または雪で覆われると、機能が低下し、警告が解除されることがあります。Cross Traffic Alert の推奨メンテナンス」の項にある補足情報を参照してください。
- トレーラー、バイシクルホルダーなどを車両の電気系統に接続すると、CTA 機能は自動的に解除されます。
- CTA 機能が本来の機能を発揮するためには、車両のトウバーにバイシクルホルダー、ラゲッジキャリアなどが取り付けられていないことが必要です。

関連情報

- Cross Traffic Alert* (p. 419)
- Cross Traffic Alert の推奨メンテナンス (p. 421)

Cross Traffic Alert の推奨メンテナンス

- もっとも効率的に作動するように、センサー前面の領域はつねにきれいにしておいてください。
- センサーがある領域に物体やテープ、ラベルなどを貼り付けないでください。



車両の左右両側のこの面をきれいな状態に保ってください[98]。

CTA のセンサーはリアフェンダー/バンパーの各隅の内側にあります。これらのセンサーは BLIS[99] および Rear Collision Warning 機能にも使用されます。

重要

BLIS および CTA 機能コンポーネントの修理またはバンパーの塗装修理はサービス工場で実施する必要があります。ボルボ指定のサービス工場にお任せください。

関連情報

- Cross Traffic Alert* (p. 419)
- BLIS* (p. 414)
- Rear Collision Warning (p. 413)

98 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。
99 Blind Spot Information

Cross Traffic Alert に関するメッセージ

ドライバーディスプレイには、CTA[100] に関する多くのメッセージが表示される可能性があります。

いくつかの例が以下の表に示されています。

メッセージ	意味
BLIS センサー **販売店に お問い合わせ下さい**	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
BLIS オフ **トレーラーが 連結しています**	車両の電気系統にトレーラーが接続されたため、BLIS および CTA が解除されました。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ○ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

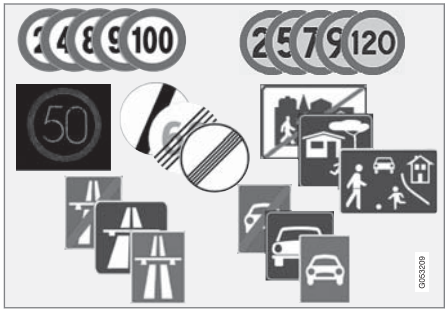
関連情報

- Cross Traffic Alert* (p. 419)

[100] Cross Traffic Alert

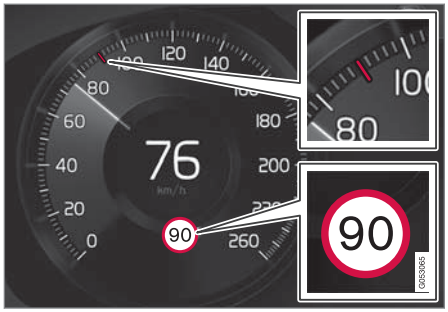
ロード・サイン・インフォメーション*

ロード・サイン・インフォメーション(RSI[101])は、速度関連の道路標識および特定の禁止標識を守るよう支援できます。



読み取り可能な標識の例 [102]

RSI は、高速道路や幹線道路の起点/終点時の速度や、追い越し禁止、一方通行などの情報を運転者に知らせることができます。



記録された速度情報の例 [102]

車両が制限速度標識を通過すると、その標識がドライバーディスプレイおよびヘッドアップディスプレイ*に表示されます。

注意

一部の市場では、ロード・サイン・インフォメーション(RSI)は Sensus Navigation*と組み合わせてのみご利用いただけます。

警告

- ロード・サイン・インフォメーション機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- ロード・サイン・インフォメーションは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ (p. 424)
- ロード・サイン・インフォメーションおよび標識表示 (p. 425)
- ロード・サイン・インフォメーションおよび Sensus Navigation (p. 427)
- ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定 (p. 427)
- ロード・サイン・インフォメーションの速度警告のオン/オフ (p. 429)

[101] Road Sign Information
[102] 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例に過ぎません。

- ロード・サイン・インフォメーションおよびスピード違反取り締まりカメラ情報 (p. 429)
- ロード・サイン・インフォメーションの限界 (p. 430)

ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ

ロード・サイン・インフォメーション機能は選択式であり、運転者が**オン**または**オフ**を選択することができます。

センターディスプレイの機能ビューで Road Sign Information ボタンをタップします。

- ボタンが緑のとき – RSI がオンになっています。
- ボタンが灰色のとき – RSI はオフになっています。

注意

- 自動速度リミッター機能を作動させると、RSI[103] が起動していない場合でもドライバーディスプレイにロード・サイン・インフォメーションが表示されます。
- ドライバーディスプレイのロード・サイン・インフォメーションを消すには、自動速度リミッターおよび RSI の**両方**をオフにする必要があります。
- 自動速度リミッター機能がオンになっており、RSI がオフになっているときは、RSI は警告を発しません。警告を作動させるには、RSI もオンにする必要があります。

関連情報

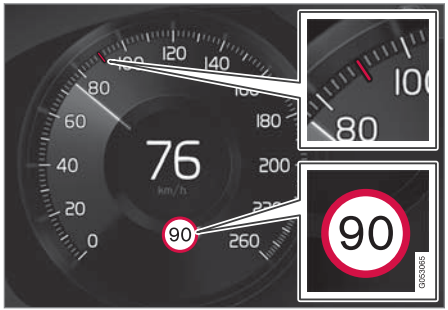
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 423)

[103] ロード・サイン・インフォメーション – RSI

* オプション/アクセサリー。

ロード・サイン・インフォメーションおよび標識表示

ロード・サイン・インフォメーション機能(RSI[104])は、標識および状況に応じて、さまざまな方法で道路標識を表示します。



記録された速度情報の例[105]

RSI が制限速度の道路標識を検知すると、ドライバーディスプレイにその標識がシンボルとして表示されるとともに、スピードメーターに色の表示が追加されます。

Sensus Navigation*装備車両の場合、地図データから速度に関する情報も取得されます。これにより、ドライバーディスプレイは速度標識を通過しなくても制限速度に関する情報を表示したり、情報を変更したりすることができます。

制限速度のシンボルのほかに、「追い越し禁止」などの標識も追加[105]表示されることがあります。

運転者が進入禁止の標識のある道路に進入すると、この標識[105]のシンボルがドライバーディスプレイに点滅して警告します。

車両に Sensus Navigation*が装備されている場合、車両が間違った方向に進行しているかどうかを特定するために地図データの情報が使用されます。

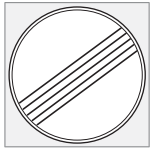
道路標識音声警告 がオンになっている場合は、通行禁止道路に誤って進入したときに警告音を鳴らすことができます。「ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定」の「警告音のオン/オフ」を参照してください。

制限速度または高速道路の終点

RSI が現在の制限速度の終了(高速道路の終点など)を表す「間接的な制限速度標識」を検知すると、対応する道路標識のシンボルがドライバーディスプレイに表示されます。

車両に Sensus Navigation*が装備されている場合、通常は直接的な制限速度標識が表示されます。間接的な制限速度標識は、地図データに走行中の道路の制限速度に関する情報が含まれていない場合にのみ表示されます。

間接的な制限速度標識[105]の例：



全制限の終点

高速道路の終点

ドライバーディスプレイのシンボルは10～30 秒経過後に消え、次の速度関連標識を通過するまで非表示のままになります。

制限速度の変更

制限速度が変わるときに直接的な制限速度標識を通過すると、対応する道路標識のシンボルがドライバーディスプレイに表示されます。

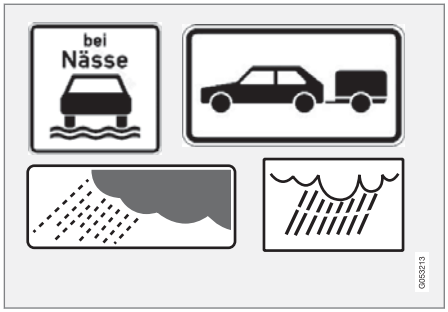
104 Road Sign Information
105 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例にすぎません。

直接的な制限速度標識 [105] の例：

ドライバーディスプレイのシンボルは約 5 分後に消え、次の速度関連標識を通過するまで非表示のままになります。

車両に Sensus Navigation*が装備されている場合、地図データに走行中の道路の制限速度に関する情報が含まれていれば、直接的な道路標識を通過しなくても制限速度標識がドライバーディスプレイに表示されます。この情報が地図データに含まれていない場合、標識は最後に制限速度標識を通過してから約 3 分後に消えます。

付加的標識

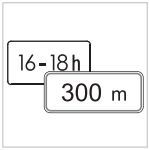


付加的標識の例 [105]

場合によっては、同一道路上であっても、異なる制限速度標識が掲示されている場合があります。このような場合には、付加的標識が表示されることで、複数の制限速度が適用されていることがわかります。また、現在通行中の箇所は、雨や霧発生時には特に事故が発生しやすい場所であることもあります。

雨に関連した付加的標識はウインドスクリーンワイパーが作動しているときにのみ、表示されます。

トレーラーが車両の電気系統に接続されている場合、「トレーラー」の付加的標識の付いた速度標識を通過すると、その速度がドライバーディスプレイに表示されます。



制限速度の中には、特定の距離の走行後、または特定の時間帯のみ適用されるものがあります。このような状況では、制限速度を示すシンボルの下の付加的標識で運転者の注意を促します。ドライバーディスプレイの付加的標識には、「DIST」または「TIME」が表示されます。

ドライバーディスプレイの速度シンボルの下にある空フレームの付加的標識のシンボル [105] は、RSI が現在の制限速度の補足となる付加的標識を検知したことを示しています。

「学校、幼稚園、保育所などあり」の標識

「学校、幼稚園、保育所などあり」の警戒標識 [105] が衛星ナビゲーションシステムの地図データに含まれている場合[106]、ドライバーディスプレイにこのタイプの標識が表示されます。

[105] 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例にすぎません。
[106] Sensus Navigation 装備車のみ。

* オプション/アクセサリー。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 423)
- ロード・サイン・インフォメーションのオン/オフ (p. 424)
- ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定 (p. 427)

ロード・サイン・インフォメーションおよび Sensus Navigation

Sensus Navigation 装備車では、以下の場合にナビゲーション装置から速度情報が読み取られます。

- 制限速度を間接的に示す標識(高速道路、中央分離帯付き道路、市街地終わり標識など)を検知した場合。
- 前に検知した速度標識の適用区間が終了したと仮定されるが、新しい標識が検知されていない場合。

注意

一部の市場では、ロード・サイン・インフォメーション(RSI)は Sensus Navigation*と組み合わせてのみご利用いただけます。

注意

ダウンロードしたサードパーティ製アプリをナビゲーションに使用する場合、速度に関する情報はサポートされません。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 423)

ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定

RSI[107] の補助機能 制限速度警告 は選択式であり、運転者がオン**または**オフ**を選択することができます。**

制限速度警告 は、適用される制限速度、またはあらかじめ選択された「最高速度」を超過すると警告を発します。運転者が減速しない場合、この警告は同一の制限速度領域内で約 1 分後に 1 回繰り返されます。

リマインダーを含め制限速度超過に対する新たな警告は、車両が新しい/異なる制限速度領域に到達したときにのみ作動します。

速度警告は、制限速度を上回ったときに、ドライバーディスプレイ上の制限時速を示すシンボル[108] が一時的に点滅することで発せられます。

速度違反取締りカメラ情報に該当する場所で制限速度を超えると、かならず速度警告が出されます。

[107] Road Sign Information
[108] 道路標識は市場によって異なります。本マニュアル内の図は例にすぎません。

設定

速度警告の制限速度を調節する

運転者は設定速度よりも高い速度で警告を受けるように選択することができます。

速度警告の制限速度を選択するには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe ➔ Road Sign Information** を選択します。
2. **制限速度警告** を選択します。
   > 機能がオンになり、制限速度セレクターが表示されます。
3. 画面の上/下矢印をタップして、速度警告の制限速度を調節します。

ドライバーディスプレイのスピード違反取り締まりカメラのシンボルは、選択した制限速度に関係なく表示されます。

警告音オン/オフ

速度警告と関連付けて警告音を鳴らすように設定することもできます。

警告音の設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe ➔ Road Sign Information** を選択します。
2. **道路標識音声警告** を選択/解除して、警告音をオン/オフにします。

道路標識音声警告 機能がオンになっている場合、一方通行/進入禁止の入口方向へ走行しているときにも警告されます。

スピードカメラ警告 オン/オフ

車両に Sensus Navigation*が装備されており、地図データに速度違反取り締まりカメラの情報が含まれている場合、カメラに接近したときに警告音を鳴らすよう選択できます。

警告音の設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe ➔ Road Sign Information** を選択します。
2. **スピードカメラ音声警告** を選択/解除して、速度違反取り締まりカメラの警告音をオン/オフにします。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 423)
- ロード・サイン・インフォメーションおよびスピード違反取り締まりカメラ情報 (p. 429)

* オプション/アクセサリー。

ロード・サイン・インフォメーションの速度警告のオン/オフ

補助機能 **制限速度警告** をオンにするには、以下の手順に従ってください。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** ➔ **My Car** ➔ **IntelliSafe** ➔ **Road Sign Information** を選択します。
2. **制限速度警告** を選択します。
   › 機能がオンになり、制限速度セレクターが表示されます。

   (「ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定」の「速度警告の制限速度を調節する」の説明を参照してください)

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 423)
- ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定 (p. 427)

ロード・サイン・インフォメーションおよびスピード違反取り締まりカメラ情報

RSI[109] および Sensus Navigation*装備車では、接近するスピード違反取り締まりカメラに関する情報をドライバーディスプレイに表示されます。

ドライバーディスプレイのスピード違反取り締まりカメラ情報 [110]

制限速度警告 機能がオンの状態で、車両が検知した制限速度を超過している場合、車両がスピード違反取り締まりカメラに近づくと速度警告が出されます。ただし、ご利用の当該地域のナビゲーション地図に、スピード違反取り締まりカメラに関する情報が含まれている必要があります。

スピード違反取り締まりカメラに関連する速度警告の詳細については、「ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定」と「ロード・サイン・インフォメーションの限界」の項も参照してください。

[109] Road Sign Information
[110] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルおよび市場/地域により異なっている場合があります。

注意

- 制限速度を超えたときに警告音が鳴るようにするには、**制限速度警告** 機能をオンにし、**道路標識音声警告** 補助機能を**オン**に設定する必要があります。これにより、車速がドライバーディスプレイの RSI 機能で示された速度を超えると、警告音が鳴るようになります。
- 車速および超過した制限速度に関係なく、**道路標識音声警告** 機能がオフの場合でもスピード違反取り締まりカメラの警告が鳴るようにするオプションを選択することができます。「ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定」の項の「**スピードカメラ警告** オン/オフ」を参照し、そこで **スピードカメラ音声警告** を選択してください。
- ナビゲーションマップ上のスピード違反取り締まりカメラに関する情報は、一部の市場/地域ではご利用いただけません。

関連情報

- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 423)
- ロード・サイン・インフォメーションと速度警告および設定 (p. 427)
- ロード・サイン・インフォメーションの限界 (p. 430)

ロード・サイン・インフォメーションの限界

ロード・サイン・インフォメーション(RSI[111])機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

以下のようなものが、RSI 機能を低下させる可能性があります。

- 色があせた標識
- カーブに設置された標識
- 向きが変えられた標識や損傷のある標識
- 道路よりも非常に高い位置に設置された標識
- 全体または一部が隠れている標識や設置位置が不適切な標識
- 霜や雪、泥で完全にまたは部分的に覆われている標識
- 最新情報が反映されていない、正しくない、または速度情報がない[112] デジタル道路地図[113]

注意

RSI 機能は、一部のタイプのサイクルキャリア(トレーラーの電源ソケットへ接続されたもの)を、接続されたトレーラーとみなすことがあります。そのような場合、ドライバーディスプレイに誤った速度情報が表示されることがあります。

注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報

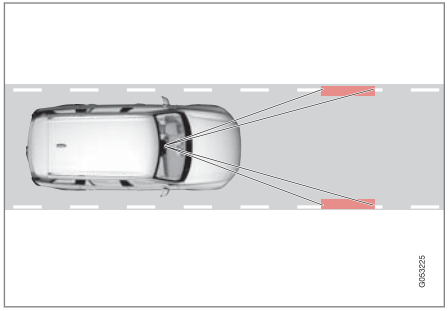
- ロード・サイン・インフォメーション* (p. 423)
- カメラユニットの限界 (p. 397)

Driver Alert Control

Driver Alert Control (DAC)機能は、集中力の低下や居眠りが現れるなど、運転者の運転が不安定になり始めたときに運転者の注意を喚起する機能です。

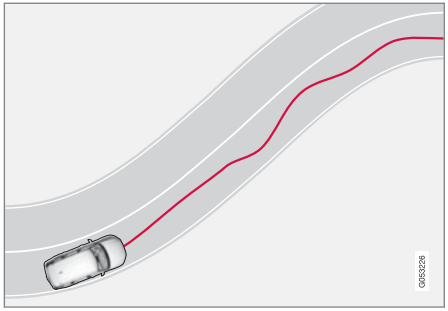
DAC の目的は幹線道路で徐々に運転能力が低下することを感知することです。この機能は、市街地走行を意図したものではありません。

この機能は車速が 65 km/h (40 mph)を超えると作動し、60 km/h (37 mph)を超過している間作動し続けます。



DAC は車線内における車両位置を読み取ります。

走行している車線の両側の車線マークをカメラが感知し、運転者がステアリングホイールを操作する動きと道路の位置を比較します。



車両が車線内を一定しない動きで走行している。

車両の挙動が著しく不安定になると、運転者への警告として、このシンボルがドライバーディスプレイに表示され、警告音が鳴り、ディスプレイテキスト **ちょっと休憩して下さい** が表示されます。

車両に Sensus Navigation*が装備されており、**休憩所案内** 機能がオンになっている場合、推奨される休憩場所も表示されます（「Driver Alert Control による警告時の休憩所ガイドを選択する」を参照してください）。

しばらくしても挙動が改善されない場合、再度警告されます。

⚠ 警告

- Driver Alert Control 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- Driver Alert Control の警告を、運転時間を引き延ばすための目安として使用しないでください。運転者は一定間隔で休憩するように計画を立て、十分な休憩をとる必要があります。
- Driver Alert Control は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

111 Road Sign Information
112 地域によっては、速度情報の含まれる地図データがない場合があります。
113 Sensus Navigation*装備車のみ。

⚠ 警告

Driver Alert Control からのアラームはかならず真剣に受け止め、対処してください。眠気に襲われている運転者は、自分のコンディションを自覚していない場合が多く見受けられます。

アラームが鳴った場合、または疲労を感じている場合：

- できるだけ早く車両を安全に停止して、休憩してください。

研究調査により、疲労時の運転は酒または興奮剤の影響下での運転と同様の危険があることがわかっています。

関連情報

- Driver Alert Control を起動/解除する (p. 432)
- Driver Alert Control による警告時の休憩所ガイドを選択する (p. 432)
- Driver Alert Control の限界 (p. 433)

Driver Alert Control を起動/解除する

Driver Alert Control (DAC)機能はオン/オフにすることができます。

オン/オフ

DAC の設定を変更するには：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car** ➔ **IntelliSafe** ➔ **Driver Alert Control** を選択します。
3. **注意力の低下を警告** を選択/解除して、DAC をオン/オフにします。

関連情報

- Driver Alert Control (p. 431)

Driver Alert Control による警告時の休憩所ガイドを選択する

休憩所案内 機能のオン/オフを選択することができます。

Sensus Navigation*装備車両では、DAC が警告を発した際に自動的に適切な休憩所を提案するガイドを有効にできます。

休憩所案内 を選択するには：

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car** ➔ **IntelliSafe** ➔ **Driver Alert Control** を選択します。
3. **休憩所案内** を選択/解除して、機能をオン/オフにします。

関連情報

- Driver Alert Control (p. 431)

* オプション/アクセサリー。

Driver Alert Control の限界

Driver Alert Control (DAC)機能は、一部の状況で動作が制限されることがあります。

状況により、運転能力が低下していなくてもシステムが警告を発する場合があります。例えば：

- 強い横風が吹いているとき
- わだちが多い路面を走行しているとき

⚠ 警告

状況次第では、疲労感があっても運転に変化が見られず(Pilot Assist 機能を使用している場合など)、DAC が警告を出さないことがあります。

このため、DAC 機能からの警告の有無に関係なく、少しでも疲労を感じたら、かならず停車して休憩することが重要です。

ⓘ 注意

本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

関連情報

- Driver Alert Control (p. 431)
- カメラユニットの限界 (p. 397)

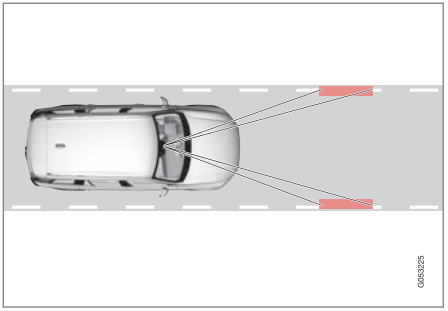
レーンアシスト

レーン・キーピング・エイド(LKA[114])の機能は、高速道路や同様の主要道路を走行中に、車両が現在の車線から不意に逸脱する危険を低下させることに役立ちます。

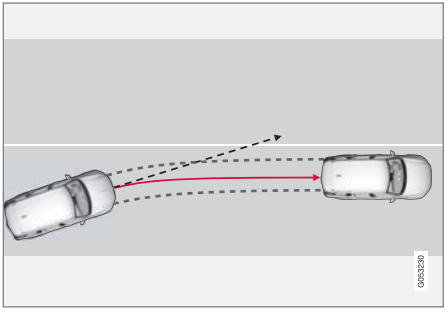
レーン・キーピング・エイドはステアリング操作を行って車両を車線内に戻し、ステアリングホイールの振動で運転者に警告します。

レーン・キーピング・エイドは、車線境界線がはっきりと視認できる道路で速度が65～200 km/h (40～125 mph)のときに作動します。

狭い道路では、この機能は利用できないことがあります。この場合は、スタンバイモードになります。道幅が十分な広さになると、機能は利用できる状態に戻ります。

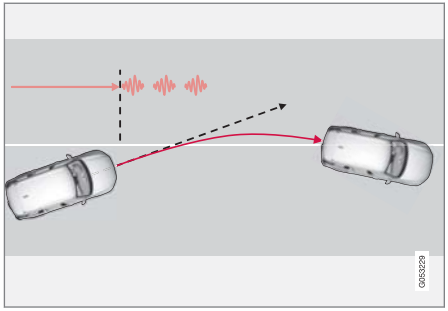


カメラが道路/車線の境界線を検知します。



レーンアシストはステアリング操作を行って車両を車線内に戻します。

[114] Lane Keeping Aid



レーンアシストはステアリングホイールを振動させて警告します[115]。

設定に応じて、レーンアシストは以下のように動作します。

- **アシスト**[116]がオンの場合：車両が車線境界線に接近すると、LKA が軽度のステアリングホイール操舵力を駆使して、自発的にステアリング操作を行い、車両を車線内に戻します。
- **警告**[116]がオンの場合：車両が車線境界線を越えそうになると、ステアリングホイールの振動により運転者に警告します。

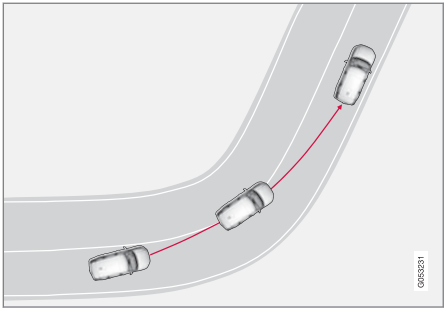
注意

方向指示器を使用している場合、レーンアシストによるステアリング補正または警告はありません。

警告

- レーン・キーピング・エイド機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- この機能は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

レーンアシストが介入しない



急な内向きカーブでは、レーンアシストは作動しません。

方向指示器を使用しているときやカーブをショートカットするときなど、状況により、レーンアシストはステアリングアシストまたは警告による介入のいずれも行わず車線境界線を越えることを許容します。

関連情報

- レーンアシストによるステアリングアシスト（p. 435）
- レーンアシストの限界（p. 436）
- レーン・キーピング・エイドのオン/オフ（p. 436）
- レーンアシストのアシストオプションを選択する（p. 436）

115 車両が車線から逸脱している時間が長くなるほど、ステアリングホイールの振動も長くなります。
116「レーン・キーピング・エイドのオン/オフ」の項の「LKA のアシストオプション」を参照してください。

- レーンアシストのシンボルおよびメッセージ（p. 438）
- ドライバーディスプレイのレーンアシストシンボル（p. 440）

レーンアシストによるステアリングアシスト

LKA[117] ステアリングアシストが作動するには、運転者の両手がステアリングホイールの上にある必要があります。

ドライバーディスプレイのこのシンボルは、LKA が作動しており、運転者の両手がステアリングホイールの上にあることを継続的に確認していることを示しています。

1. 運転者が両手をステアリングホイールの上に置いていないと警告音が鳴り、次のメッセージによって運転者に自発的に操舵するよう促します：

   Lane Keeping Aid ハンドル操作して下さい

2. 運転者がステアリング操作を行なっていないことを LKA が感知すると、再度メッセージが表示され、前回よりも長い警告音が鳴ります。
3. それでも運転者がステアリング操作を開始しない場合は、短い警告音が異なる間隔で鳴り、LKA がオフになるとともに別のシンボルが点灯して次のメッセージが表示されます。

- Lane Keeping Aid - ハンドル操作して下さい

運転者が再びステアリング操作を開始するまで、LKA はオフになります。

運転者が自発的にステアリング操作を行なっていないことを再度 LKA が感知すると、警告音が停止し、インフォメーションシンボルとメッセージが消灯します。

関連情報

- レーンアシスト（p. 433）

[117] Lane Keeping Aid

レーン・キーピング・エイドのオン/オフ

レーン・キーピング・エイド LKA[118] 機能は選択式であり、運転者がオン**または**オフ**を選択することができます。**

オン/オフ

センターディスプレイの機能ビューで **Lane Keeping Aid** ボタンをタップします。

- ボタンが緑のとき – LKA がオンになっています。
- ボタンが灰色のとき – LKA はオフになっています。

関連情報

- レーンアシスト（p. 433）

レーンアシストのアシストオプションを選択する

運転者は、車両が車線から逸脱した場合の LKA[119] の反応方法を選択することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定 ➔ My Car ➔ IntelliSafe** を選択します。
2. **Lane Keeping Aid モード** の場合、LKA の反応方法を選択します。
   - **アシスト** – 警告なしにステアリングアシストが行われます。
   - **両方** – 警告とともにステアリングアシストが行われます。
   - **警告** – 運転者への警告のみ

関連情報

- レーンアシスト（p. 433）

レーンアシストの限界

困難な走行条件では、レーンアシストが運転者を適切に支援できなくなる可能性があります。そのような場合、この機能をオフにしてください。

該当する条件の例：

- 道路工事
- 冬季の路面状態
- 路面不良
- スポーツ走行重視の運転スタイル
- 視認性の低下をともなう天候不良
- 車線境界線がない、または不鮮明な道路
- 車線境界線以外の境界または線
- オーバーヒートによる冷却時など、パワーステアリングが低電力で作動している場合（「速度感応式ステアリングパワー」の項を参照してください）

> **注意**
>
> 本機能は一部機能に限界のある車両のカメラユニットを使用しています。「カメラユニットの機能の限界」を参照してください。

[118] Lane Keeping Aid
[119] Lane Keeping Aid

関連情報

- レーンアシスト（p. 433）
- 速度感応式のステアリングホイール操舵力（p. 328）
- カメラユニットの限界（p. 397）

レーンアシストのシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、レーンアシストLKA[120] に関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。
いくつかの例が以下の表に示されています。

シンボル	メッセージ	意味
	ドライバー支援ｼｽﾃﾑ 機能低下。販売店に お問い合わせ下さい。	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。
	ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰ ﾅｰｽﾞ ﾏﾆｭｱﾙを見て下さい	カメラの前方車線をスキャンする能力が低下しています。
	Lane Keeping Aid ハンドル操作して下さい	運転者がステアリングホイールに両手を置いていないと、LKA ステアリングアシストは機能しません。指示に従って、ステアリングホイールを操作してください。
	Lane Keeping Aid ハンドル操作して下さい	運転者がステアリングホイールの操作を再度始めるまで、LKA はスタンバイモードにセットされます。

[120] Lane Keeping Aid

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ○ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

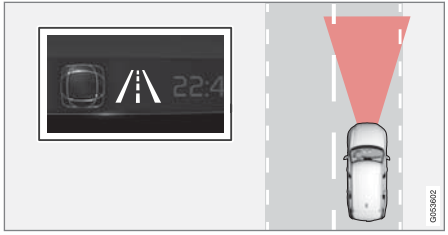
- レーンアシスト（p. 433）

ドライバーディスプレイのレーンアシストシンボル

レーン・キーピング・エイド LKA[121] は、状況に応じて、ドライバーディスプレイのシンボルにより視覚化されます。

以下は、シンボルおよびシンボルが表示される状況の例です。

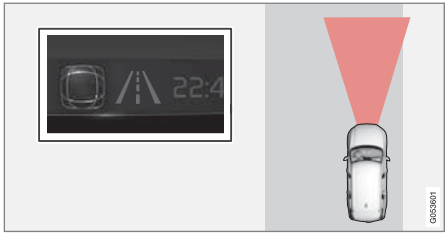
利用可能



利用可能 – シンボルの車線境界線が白色

レーン・キーピング・エイドは片側または両側の車線境界線をスキャンしています。

利用不可



利用不可 – シンボルの車線境界線が灰色

レーン・キーピング・エイドが車線境界線を検知できない、速度が遅すぎる、または道路が狭すぎる状態です。

ステアリングアシスト/警告の表示

ステアリングアシスト/警告 – シンボルの車線境界線がカラー表示

レーンアシストは、システムが警告を出していることや車両を車線内に戻そうとしていることを示します。

関連情報

- レーンアシスト（p. 433）

[121] Lane Keeping Aid

衝突回避ステアリングアシスト

衝突回避アシスト 機能は、ステアリングを自発的に操作して車両を車線内に戻すことにより、車両が不意に車線から外れる危険およびほかの車両または障害物と衝突する危険を低減できるように支援します。

衝突回避アシスト 機能は、以下の 3 つの補助機能で構成されています。

- 車道逸脱回避ステアリングアシスト
- 正面衝突回避ステアリングアシスト
- 衝突回避ステアリングアシスト*

自動作動の後には、自動作動が発生したことがディスプレイテキストにより運転者に通知されます。

- **衝突回避アシスト 自動介入**

注意

必要な操舵の程度を判断するのは、つねに運転者です。車両が操舵の権限を握ることは絶対にできません。

関連情報

- 衝突の危険があるときのステアリングアシストのオン/オフ（p. 441）
- 衝突の危険があるときのステアリングアシストのシンボルおよびメッセージ（p. 449）
- 車道逸脱回避ステアリングアシスト（p. 442）
- 車道逸脱回避ステアリングアシストのレベル（p. 442）
- 車道逸脱回避ステアリングアシストのオン/オフ（p. 443）
- 車道逸脱回避ステアリングアシストの機能の限界（p. 443）
- 正面衝突回避ステアリングアシスト（p. 444）
- 対向車との衝突の危険があるときのステアリングアシストのオン/オフ（p. 445）
- 正面衝突回避ステアリングアシストの機能の限界（p. 445）
- 追突回避ステアリングアシスト*（p. 446）
- 追突回避ステアリングアシスト*のオン/オフ（p. 447）
- 追突回避ステアリングアシストの機能の限界（p. 447）

衝突の危険があるときのステアリングアシストのオン/オフ

この機能は選択式であり、運転者が機能のオン**または**オフ**を選択することができます。**

センターディスプレイの機能ビューでこのボタンを使用して、**オン**と**オフ**を切り替えます。

注意

衝突回避アシスト 機能をオフにすると、すべての補助機能がオフになります。

- 車道逸脱回避ステアリングアシスト
- 正面衝突回避ステアリングアシスト
- 追突回避ステアリングアシスト*

この機能はオフにできますが、ほとんどの状況で走行安全性の向上につながるため、つねにオンにしておくことをお薦めします。

関連情報

- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）

車道逸脱回避ステアリングアシスト

この補助機能は運転者の支援機能の 1 つで、ステアリングを自発的に操作して車両を道路に戻すことにより、車両が不意に道路から逸脱する危険を低減します。

本機能は、車線境界線がはっきりと視認できる道路で速度が 65～140 km/h（40～87 mph）のときに作動します。

カメラが道路の端および/車線境界線（塗装）をスキャンします。車両が道路の端を越えそうになると、車両はステアリング操作によって道路に戻され、ステアリング操作だけで道路からの逸脱を回避できない場合には、ブレーキも作動します。

ただし、方向指示器を使用している場合、この機能によるステアリングアシストまたはブレーキ作動はいずれも**行われません**。運転者が車両を自発的に運転していることをこの機能が検知した場合、機能の作動は遅れます。

自動作動の後には、自動作動が発生したことがディスプレイテキストにより運転者に通知されます。

- **衝突回避アシスト 自動介入**

⚠ 警告

- 「車道逸脱回避ステアリングアシスト」補助機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- この機能は路肩にある防護柵、欄干などの障害物を検知することができません。
- 車道逸脱回避ステアリングアシストは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報

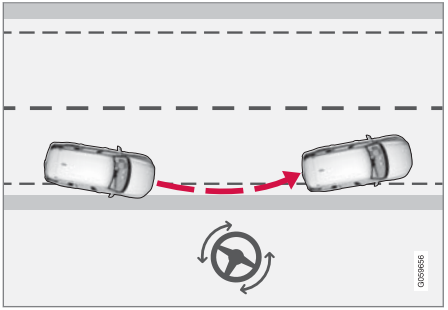
- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）

車道逸脱回避ステアリングアシストのレベル

この機能には 2 つの介入作動レベルがあります。

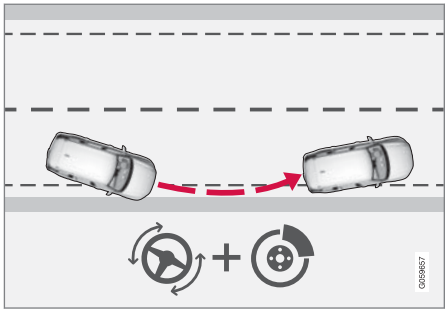
- ステアリングアシストのみ
- ステアリングアシストおよびブレーキ作動

ステアリングアシストのみ



ステアリングアシストによる介入

ステアリングアシストおよびブレーキ作動



ステアリングアシストおよびブレーキ作動による介入

ブレーキ作動は、ステアリングアシストだけでは十分でない状況で効果を発揮します。制動力は車道逸脱時の状況に応じて自動的に調整されます。

関連情報

- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）

車道逸脱回避ステアリングアシストのオン/オフ

この機能は選択式であり、運転者が機能の*オン*または*オフ*を選択することができます。

センターディスプレイの機能ビューでこのボタンを使用して、**オン**と**オフ**を切り替えます。

注意

衝突回避アシスト 機能をオフにすると、すべての補助機能がオフになります。

- 車道逸脱回避ステアリングアシスト
- 正面衝突回避ステアリングアシスト
- 追突回避ステアリングアシスト*

この機能はオフにできますが、ほとんどの状況で走行安全性の向上につながるため、つねにオンにしておくことをお薦めします。

関連情報

- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）
- 車道逸脱回避ステアリングアシスト（p. 442）

車道逸脱回避ステアリングアシストの機能の限界

困難な走行条件では、この機能が運転者を適切に支援できなくなる可能性があります。そのような場合、この機能をオフにしてください。

該当する条件の例：

- 道路工事
- 冬季の路面状態
- 狭い道路
- 路面不良
- スポーツ走行重視の運転スタイル
- 視認性の低下をともなう天候不良
- 車線境界線がない、または不鮮明な道路
- 車線境界線以外の境界または線
- オーバーヒートによる冷却時など、パワーステアリングが低電力で作動している場合（「速度感応式ステアリングパワー」の項を参照してください）。

注意

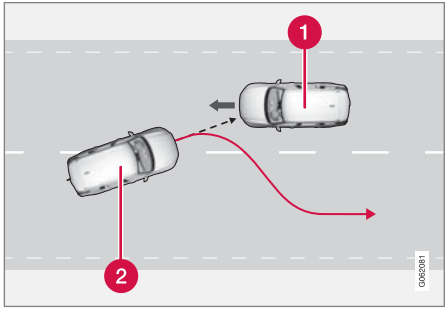
この機能は車両のカメラおよびレーダー一体型機器を使用します。この機器には限界があります。「カメラ機器の限界」および「レーダー機器の限界」を参照してください。

関連情報

- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）
- 速度感応式のステアリングホイール操舵力（p. 328）
- カメラユニットの限界（p. 397）
- レーダー機器の限界（p. 388）

正面衝突回避ステアリングアシスト

この補助機能は、車両が対向車線に入り込んでいることに気付かない、注意散漫になっている運転者を支援することができます。



この機能は車両を元の車線内に誘導することができます。

1 対向車

2 自車

本機能は、車線境界線がはっきりと視認できる道路で速度が 60～140 km/h（37～87 mph）のときに作動します。

対向車が接近しているときに自車が車線から逸脱しそうになっている場合、この機能は運転者を支援し、ステアリング操作を行って車両を車線内に戻すことができます。

ただし、方向指示器が使用されている場合、この機能は介入**しません**。運転者が車両を自発的に運転していることをこの機能が検知した場合、機能の作動は遅れます。

自動作動の後には、自動作動が発生したことがディスプレイテキストにより運転者に通知されます。

- **衝突回避アシスト 自動介入**

⚠ 警告

- 「正面衝突回避ステアリングアシスト」補助機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- ステアリングアシストは、衝突の危険が高い場合にのみ作動します。したがって、絶対にこの機能の介入を待たないでください。
- この機能は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報
- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）
- 対向車との衝突の危険があるときのステアリングアシストのオン/オフ（p. 445）
- 正面衝突回避ステアリングアシストの機能の限界（p. 445）

対向車との衝突の危険があるときのステアリングアシストのオン/オフ

この機能は選択式であり、運転者が機能の*オン*または*オフ*を選択することができます。

センターディスプレイの機能ビューでこのボタンを使用して、**オン**と**オフ**を切り替えます。

注意

衝突回避アシスト 機能をオフにすると、すべての補助機能がオフになります。

- 車道逸脱回避ステアリングアシスト
- 正面衝突回避ステアリングアシスト
- 追突回避ステアリングアシスト*

この機能はオフにできますが、ほとんどの状況で走行安全性の向上につながるため、つねにオンにしておくことをお薦めします。

関連情報
- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）
- 正面衝突回避ステアリングアシスト（p. 444）

正面衝突回避ステアリングアシストの機能の限界

この機能は、以下のような一部の状況で動作が制限され、作動しないことがあります。

- オートバイなどの小型車が対象の場合
- 車線境界線がはっきりと表示されていない道路の場合
- 車両の大部分が隣の車線に入っている場合
- 60～140 km/h（37～87 mph）の速度範囲から外れている場合
- オーバーヒートによる冷却時など、パワーステアリングが低電力で作動している場合（「速度感応式ステアリングパワー」の項を参照してください）。

その他の厳しい状況：

- 道路工事
- 冬季の路面状態
- 狭い道路
- 路面不良
- スポーツ走行重視の運転スタイル
- 視認性の低下をともなう天候不良

このような困難な走行条件では、この機能が運転者を適切に支援できなくなる可能性があります。そのような場合、この機能をオフにしてください。

注意

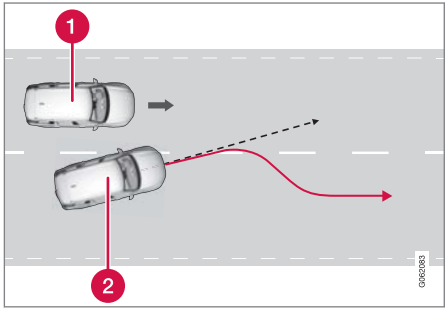
この機能は車両のカメラおよびレーダー一体型機器を使用します。この機器には限界があります。「カメラ機器の限界」および「レーダー機器の限界」を参照してください。

関連情報

- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）
- 正面衝突回避ステアリングアシスト（p. 444）
- 速度感応式のステアリングホイール操舵力（p. 328）
- カメラユニットの限界（p. 397）
- レーダー機器の限界（p. 388）

追突回避ステアリングアシスト*

この補助機能は、ほかの車両が後方または死角から接近しているときに自車が車線から逸脱しそうになっていることに気付かない、注意が散漫になっている運転者を支援することができます。



この機能はステアリング操作で車両を車線内に戻すことができます。

1 死角内のほかの車両

2 自車

ほかの車両が死角に入っているとき、または隣の車線の車両が急接近しているときに自車が車線から逸脱しそうになっている場合、この機能は運転者を支援し、ステアリング操作を行って車両を車線内に戻すことができます。

この機能は、運転者がほかの車両が接近中であることに気付かずに、方向指示器を使用して意図的に車線変更をする場合にも支援することができます。

本機能は、車線境界線がはっきりと視認できる道路で速度が 60～140 km/h（37～87 mph）のときに作動します。

自動作動の後には、自動作動が発生したことがディスプレイテキストにより運転者に通知されます。

- **衝突回避アシスト 自動介入**

警告

- 「追突回避ステアリングアシスト」補助機能は、走行安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- ステアリングアシストは、衝突の危険が高い場合にのみ作動します。したがって、絶対にこの機能の介入を待たないでください。
- この機能は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

* オプション/アクセサリー。

関連情報
- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）
- 追突回避ステアリングアシスト*のオン/オフ（p. 447）
- 追突回避ステアリングアシストの機能の限界（p. 447）

追突回避ステアリングアシスト*のオン/オフ

この機能は選択式であり、運転者が機能のオン**または**オフ**を選択することができます。**

センターディスプレイの機能ビューでこのボタンを使用して、**オン**と**オフ**を切り替えます。

> **注意**
>
> **衝突回避アシスト** 機能をオフにすると、すべての補助機能がオフになります。
>
> - 車道逸脱回避ステアリングアシスト
> - 正面衝突回避ステアリングアシスト
> - 追突回避ステアリングアシスト*
>
> この機能はオフにできますが、ほとんどの状況で走行安全性の向上につながるため、つねにオンにしておくことをお薦めします。

関連情報
- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）
- 追突回避ステアリングアシスト*（p. 446）

追突回避ステアリングアシストの機能の限界

この機能は、以下のような一部の状況で動作が制限され、作動しないことがあります。

- オートバイなどの小型車が対象の場合
- 車両の大部分が隣の車線に入っている場合
- 道路/車線の車線境界線がない、または不鮮明な場合
- 60～140 km/h（37～87 mph）の速度範囲から外れている場合
- オーバーヒートによる冷却時など、パワーステアリングが低電力で作動している場合（「速度感応式ステアリングパワー」の項を参照してください）

その他の厳しい状況：

- 道路工事
- 冬季の路面状態
- 狭い道路
- 路面不良
- スポーツ走行重視の運転スタイル
- 視認性の低下をともなう天候不良

このような困難な走行条件では、この機能が運転者を適切に支援できなくなる可能性があります。そのような場合、この機能をオフにしてください。

注意

この機能は車両のカメラおよびレーダー一体型機器を使用します。この機器には限界があります。「カメラ機器の限界」および「レーダー機器の限界」を参照してください。

カメラおよびレーダーユニットのほかに、この機能は車両の後ろ向きレーダーも使用しますが、そのレーダーには運転者が認識しておくべき限界があります。「BLIS の限界」の項に記載されている補足情報を参照してください。

関連情報

- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）
- 追突回避ステアリングアシスト*（p. 446）
- 速度感応式のステアリングホイール操舵力（p. 328）
- カメラユニットの限界（p. 397）
- レーダー機器の限界（p. 388）
- BLIS の機能の限界（p. 416）

* オプション/アクセサリー。

衝突の危険があるときのステアリングアシストのシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイには、この機能に関する多くのシンボルおよびメッセージが表示される可能性があります。

いくつかの例が以下の表に示されています。

シンボル	メッセージ	意味
	衝突回避アシスト **自動介入**	この機能の作動に伴い、システムが作動していることを示すメッセージが運転者に対して表示されます。
	ｳｨﾝﾄﾞｽｸﾘｰﾝｾﾝｻｰ **ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされた。ｵｰ ﾅｰｽﾞﾏﾆｭｱﾙを見て下さい**	カメラの前方車線をスキャンする能力が低下しています。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ○ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- 衝突回避ステアリングアシスト（p. 441）

パークアシスト*

パークアシスト・パイロット機能は、狭い場所で駐車操作を行うときに障害物までの距離を確認音とセンターディスプレイのグラフィック表示で示し、運転者の操作をサポートします。

障害物ゾーンおよびセンサーセクターを示す画面表示

センターディスプレイに車両と障害物の位置関係が表示されます。

ハイライトされた領域は、障害物の位置を示しています。車両シンボルが前方/後方のハイライトされた領域に近いほど、車両と検知された障害物の距離が短いことを示します。

車両と障害物の距離が短くなると、サイドセクターの色が変わります。

障害物までの距離が短くなるほど、確認音が速くなります。オーディオユニットからのサウンドなどは、自動的にミュート(消音)になります。

前方および横の障害物に対する確認音は、車両が走行しているときに作動し、車両が約 2 秒間静止すると停止します。後方の障害物に対する確認音は車両が停止しているときも作動します。

車両の後方または前方の障害物から約 30 cm (1 ft)以内の距離では、確認音は連続音になり、アクティブなセンサーの、車両のシンボルにもっとも近い領域がハイライト表示されます。

サイドにある障害物から約 25 cm (0.8 ft)以内の距離では確認音の間隔が速くなり、有効なセクター領域の色がオレンジから赤に代わります。

パークアシストの確認音の音量は、確認音が鳴っているときにセンターコンソールの [❯II] ダイヤルを使用することにより調整することができます。また、トップビューの **設定** メニューオプションでも調整することができます。

注意

- 車両シンボルに一番近い部分を除き、警告音は車両の通り道に直接ある物体に対してのみ発せられます。

警告

- パークアシスト機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- パーキングセンサーには死角があり、すべての物体を感知することはできません。
- 車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、特に注意してください。
- パークアシストは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

関連情報

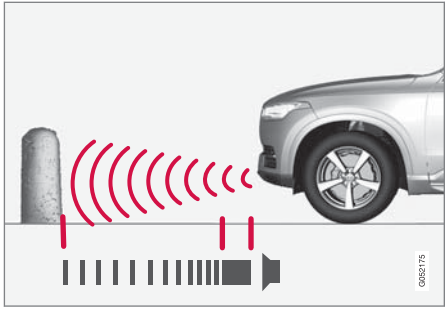
- パークアシスト・パイロット(前方、後方および側方) (p. 451)
- パークアシスト・パイロットの作動/解除 (p. 452)
- パークアシストの限界 (p. 453)
- パークアシスト・パイロットの推奨メンテナンス (p. 454)
- パークアシスト・パイロットのシンボルおよびメッセージ (p. 455)

* オプション/アクセサリー。

パークアシスト・パイロット(前方、後方および側方)

パークアシスト・パイロットは、車両のどの部分が障害物に接近しているかに応じて使用するパラメーターが異なります。

前方



警告信号。障害物まで約 30 cm (1f)未満になると連続的に音を発します [122]。

フロントパークアシストセンサーは、エンジン始動時に自動的に起動します。センサーは速度が 10 km/h (6 mph)未満のときに作動します。

測定範囲は車両前方約 80 cm (2.5 ft)です。

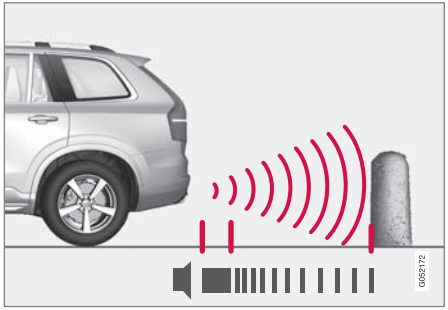
注意

パーキングブレーキを作動した場合、またはオートマチックトランスミッション車両で P モードを選択した場合は、パークアシストが非作動状態になります。

重要

補助ライトなど装着時 : センサーの邪魔にならないように注意してください。補助ライトを障害物として検知して、誤作動する場合があります。

後方



警告信号。障害物まで約 30 cm (1 ft)未満になると連続的に音を発します [122]。

リアセンサーは、ギヤの入っていない状態で車両が後方に動き出した場合やギヤセレクターレバーをリバース位置にしたときに作動します。

測定範囲は車両後方約 1.5 m (5 ft)です。

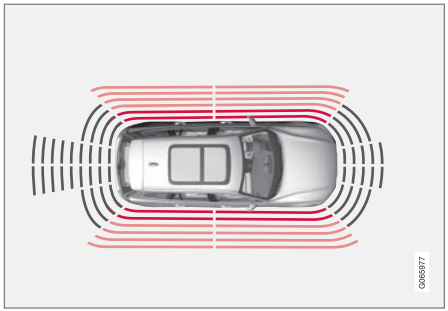
トレーラーが車両の電気系統に接続された状態で後退する場合、後方用パークアシストは自動的に解除されます。

注意

ボルボ純正トレーラーケーブルを使用せずに、トウバーにトレーラーまたはバイクキャリアーを取り付けて後退する際には、センサーがトレーラーやバイクキャリアーに反応しないように、パークアシストを手動で解除することが必要になる場合があります。

[122] 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

側方



警告信号。障害物まで約 25 cm (0.8f)未満になると確認音の間隔が速くなります [122]。

パークアシストサイドセンサーは、エンジン始動時に自動的に起動します。センサーは速度が 10 km/h (6 mph)未満のときに作動します。

距離の測定は、両サイドから約 25 cm (0.8 ft)の距離で開始します。

ただし、フロントホイールの操舵角が大きくなると、サイドセンサーの検知領域は大幅に拡大し、ステアリングホイールを回すと車両の斜め後方または前方約 90 cm(3 ft)までの障害物を検知することができます。(「パークアシスト・パイロットのパーキングカメラ用センサー視野」の項の「側方のセンサー視野」を参照してください。)

関連情報

- パークアシスト* (p. 450)
- パークアシスト・パイロットのパーキングカメラ用センサー視野 (p. 461)

パークアシスト・パイロットの作動/解除

パークアシスト・パイロット機能はオン/オフにすることができます。

オン/オフ

前方および側方用パークアシストセンサーは、エンジン始動時に自動的に起動します。車両が後退する場合、またはリバースギヤに入れた場合、リアセンサーが起動します。

この機能はセンターディスプレイの機能ビューでオン/オフにします。

– 機能ビューで **パークアシスト** ボタンをタップします。
  > パークアシスト・パイロットがオン/オフになり、緑色/灰色のインジケーターがボタンに表示されます。

パークアシスト・カメラ装備車の場合、パークアシスト・パイロットは該当するカメラ画像からオン/オフにすることもできます。

関連情報

- パークアシスト* (p. 450)

122 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

パークアシストの限界

パークアシスト機能はあらゆる状況ですべてのものを検知できるとは限らないため、動作が制限されることがあります。

運転者はパークアシスト・パイロットの以下のような限界について認識しておく必要があります。

⚠ 警告

車両にトレーラー、バイシクルホルダーなどが取り付けられて電気的に接続されている場合、後退中にこのシンボルが表示されているときはさらに注意してください。

このシンボルは、後方のパークアシストセンサーが**オフ**で、障害物を警告することを示します。

重要

チェーンや光沢のある細いポール、低い柵などの物体が「信号遮蔽」領域に入ってきたために、センサーがこれらの物体を一時的に検知せず、本来なら途切れのないトーンに変わるはずのパルス音が、不意に停止する場合があります。

センサーはプラットフォームなどの高い物体を検知することはできません。

- このような場合には特に注意をはらって、車両の操縦/移動を極めてゆっくり実行するか、実行中の操作を完全に停止してください。センサーからの情報がつねに信頼できるとは限らない状況であるため、車両やその他の物体を破損させる危険があります。

重要

状況によっては、システムが使用する周波数と同じ周波数の外部の音源などにより、パークアシストが誤作動する場合があります。

例えば、車のホーン、濡れたアスファルトの路面でのタイヤの音、エアブレーキ、オートバイの排気音などです。

注意

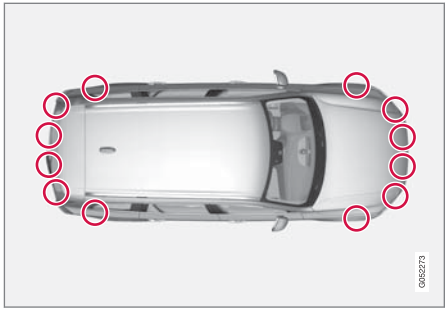
トウバーは車両の電気系統に設定されているため、この機能が車両後方の障害物までの距離を測定するとき、トウバーの突き出しは計算に含まれます。

関連情報

- パークアシスト*（p. 450）

パークアシスト・パイロットの推奨メンテナンス

パークアシスト・パイロット機能が最適に作動するように、そのセンサーを水と洗車用洗剤で定期的に清掃してください。



パーキングセンサーの位置 [123]

注意

センサーが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーが誤作動する、機能が低下する、またはまったく機能しなくなる場合があります。

関連情報

- パークアシスト*（p. 450）

[123] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

* オプション/アクセサリー。

パークアシスト・パイロットのシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイおよび/またはセンターディスプレイには、パークアシスト・パイロットのシンボルおよびメッセージが表示されることがあります。

いくつかの例が以下の表に示されています。

シンボル	メッセージ	意味
		後方パークアシストセンサーが**解除されています**。したがって、障害物に対する警告音はありません。
	ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ **ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされていま す。ｸﾘｰﾆﾝｸﾞが必要です**	機能の 1 つ以上のセンサーの視野が遮られています。すみやかに点検して、修正してください。
	ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ **利用できません。販売店 にお問い合わせ下さい。**	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ◯ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- パークアシスト*（p. 450）

パークアシスト・カメラ*

パークアシスト・カメラは、狭い場所で駐車操作を行うときにセンターディスプレイのカメラ画像とグラフィック表示で障害物を示し、運転者の操作をサポートします。

パークアシスト・カメラは、リバースギヤを選択したときに自動で起動するサポート機能であり、センターディスプレイから手動で起動することもできます。

カメラ画像の例 [124]

1. **ズーム** [125] – 拡大/縮小します
2. **360° ビュー*** – すべてのカメラをオン/オフにします
3. **PAS*** – パークアシストをオン/オフにします
4. **ガイド線** – ガイドラインをオン/オフにします
5. **牽引棒*** – トウバー用ガイドライン*[126] をオン/オフにします
6. **CTA*** – Cross Traffic Alert をオン/オフにします

⚠ 警告

- パーキングカメラ機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- パーキングカメラには死角があり、すべての物体を感知することはできません。
- 車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、特に注意してください。
- 物体/障害物は、画面上の見かけより、車両に接近している可能性があります。
- パーキングカメラは運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

124 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。
125 拡大すると、ガイドラインはオフになります。
126 一部の市場では利用できません。

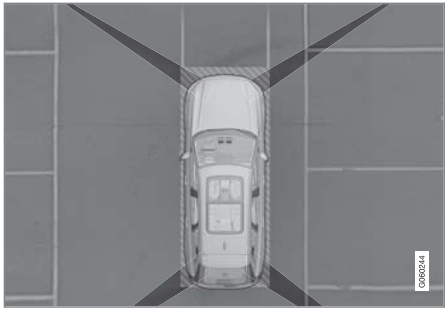
関連情報

- パーキングカメラのカメラ画像（p. 457）
- パーキングカメラのガイドライン（p. 459）
- パークアシスト･パイロットのパーキングカメラ用センサー視野（p. 461）
- パークアシスト・カメラの起動（p. 462）
- パークアシスト・カメラの機能の限界（p. 462）
- パーキングカメラの推奨メンテナンス（p. 464）
- パークアシスト・カメラのシンボルおよびメッセージ（p. 465）
- パークアシスト・パイロットの作動/解除（p. 452）
- Cross Traffic Alert*（p. 419）

パーキングカメラのカメラ画像

この機能では、360°の合成画像と 4 つの各カメラ画像(リア、フロント、左、右)が表示されます。

360° ビュー*



パーキングカメラの「視野」とおおよその撮影可能範囲

360° ビュー 機能はすべてのパーキングカメラを作動させ、車両の 4 つの面がセンターディスプレイに同時に表示されます。これにより、運転者は低速で操作しているときに車両の周囲を確認しやすくなります。

以下の操作により、360° ビューから各カメラ画像を個別に表示することができます。

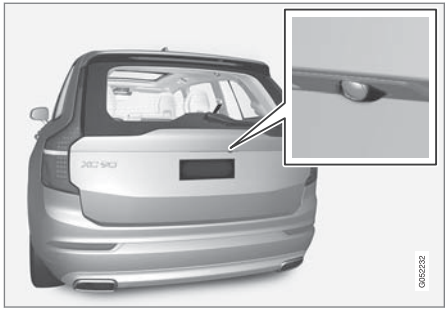
- 画面上で目的のカメラの「視野」をタップします(例：フロントカメラの正面/上の面)。

センターディスプレイの車両シンボルに表示されているカメラシンボルは、選択されているカメラを示します。

車両に **パークアシストシステム***も装備されている場合は、検知された障害物までの距離が色分けされて表示されます。

カメラは自動または手動で起動することができます。「パークアシスト・カメラの起動」の項を参照してください。

後方



後方用カメラ [127] はナンバープレートの上に取り付けられています。

リアカメラは車両後方の広い領域を表示します。一部のモデルでは、バンパーの一部が表示されます。また、場合によりトウバーが表示される場合もあります。

センターディスプレイに表示されている物体はわずかに傾いているように見えることがありますが、これは異常ではありません。

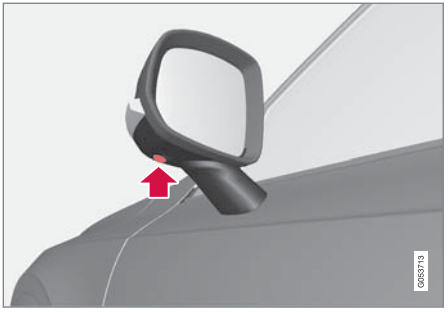
前方

前方用パーキングカメラ [128] はグリルにあります。

フロントカメラは、横方向の視界が制限されている進出路(高い生け垣がある場所など)で役立ちます。フロントカメラは速度が 25 km/h (16 mph)に達するまで作動し続け、その速度を超えた時点でオフになります。

車速が 50 km/h (30 mph)に達せず、フロントカメラがオフになってから 1 分以内に 22 km/h (14 mph)未満に減速した場合は、カメラが再度起動します。

側方



サイドカメラ [128] は各ドアミラーに取り付けられています。

サイドカメラは車両の側方の様子を表示できます。

関連情報

- パークアシスト・カメラ* (p. 456)
- パークアシスト・カメラの起動 (p. 462)

127 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。
128 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

パーキングカメラのガイドライン

パークアシスト・カメラは、画面に線を表示することで、車両とその周辺との位置関係を示します。

ガイドラインの例 [129]

ガイドラインは、その時点でのステアリングホイールの角度に基づいて車両の輪郭の予想進路を示します。これにより、縦列駐車や狭い場所への後退、トレーラーの接続が容易になります。

画面上のガイドラインは、車体後方の地面に引かれたように画面に表示され、ステアリング角に応じて変化します。運転者は、車両が旋回しているときでも、車両の進行方向を確認することができます。

このようなガイドラインには、車両のもっとも突き出た部分(トウバーやドアミラー、車両の角など)が含まれます。

注意

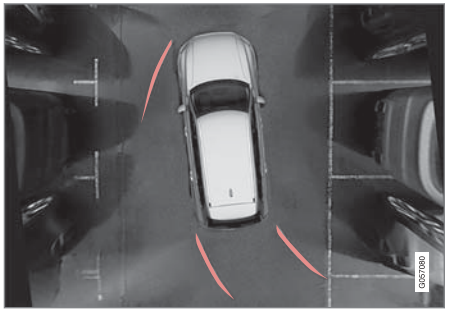
- 車両に電気的に接続されていないトレーラーをけん引中に後退する際には、ディスプレイに表示されるガイドラインは**車**の進路であり、トレーラーの進路ではありません。
- トレーラーが車両の電気系統に電気的に接続されている場合には、画面にガイドラインは表示されません。
- 拡大時には、ガイドラインは表示されません。

重要

- リアカメラ画像を選択した場合、モニターには車両後方の様子のみが表示されます。後退中に操舵するときには、車両の横および正面を確認してください。
- フロントカメラ画像を選択した場合も同じです。ディスプレイには車両前方の様子のみが表示されるため、後方を実際に確認してください。
- ガイドラインは**最短**経路を示します。そのため車両の横に十分注意し、前進中にステアリングホイールを操作する際に横をなにかにぶつけたり、後退中にステアリングホイールを操作する際にフロント部分をなにかにぶつけたりしないようにしてください。

[129] 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

360° ビューのガイドライン*



360° ビューとガイドライン [129]

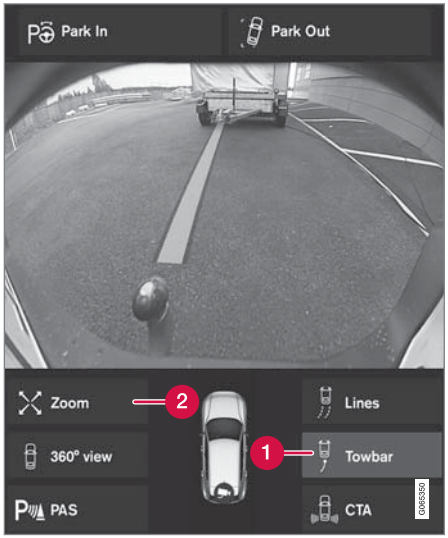
360° ビューでは、車両の後方、前方、および左右にガイドラインが表示されます(進行方向による)。

- 前進する場合：フロントライン
- 後退時:サイドラインおよびリバースライン

フロントカメラまたはリアカメラが選択されている場合、ガイドラインは車両の進行方向に関係なく表示されます。

サイドカメラ 1 台が選択されている場合、ガイドラインは後退時のみに表示されます。

トウバー用ガイドライン*



トウバーにガイドラインを適用する [129]

1. **牽引棒** – トウバー用ガイドラインをオンにします。
2. **ズーム** – 拡大/縮小します。

カメラはガイドラインでトレーラーまでのトウバーの予想軌道を表示することにより、トレーラーを接続しやすくします。

1. **牽引棒** (1)を押します。
   > トウバーの予想軌道のガイドラインが表示されます。同時に、車両のガイドラインは非表示になります。

   車両とトウバーの両方のガイドラインを同時に表示することはできません。
2. さらに精度の高い操作が必要とされる場合、**ズーム** (2)を押します。
   > カメラ画像が拡大されます。

関連情報

- パークアシスト・カメラ*（p. 456）

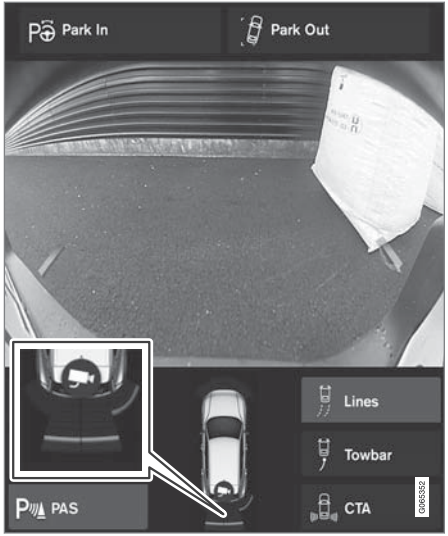
[129] 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

* オプション/アクセサリー。

パークアシスト・パイロットのパーキングカメラ用センサー視野

車両にパークアシストが装備されている場合、360°ビューに障害物を検知するセンサーごとに距離が色分けされて表示されます。

後方および前方のセンサー視野



画面は車両シンボルにセンサー視野を色分け表示できます[130]。

フロントおよびリバースセンサーの視野は、障害物までの距離が短くなるにつれて色が黄色からオレンジ色を経て赤色に変わります。

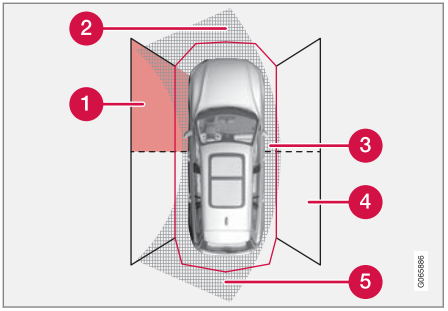
視野色(リバース)	メートル単位での距離(括弧内はフィート)
黄色	0.6–1.5 (2.0–4.9)
オレンジ	0.3–0.6 (1.0–2.0)
赤色	0–0.3 (0–1.0)

視野色(フロント)	メートル単位での距離(括弧内はフィート)
黄色	0.6–0.8 (2.0–2.6)
オレンジ	0.3–0.6 (1.0–2.0)
赤色	0–0.3 (0–1.0)

センサー視野が赤色の場合、パルス状の確認音が連続音に変わります。

側方のセンサー視野

警告音は車両の予想進路に応じて異なります。したがって、ステアリングホイールを回すと車両の真正面または真後ろだけでなく、車両の斜め前方または斜め後方の障害物に対しても警告されることがあります。



障害物を検知できるパーキングセンサー領域[130]

1. 左側フロントセンサー視野
2. 前進時の車両の予想進路の障害物領域 – ステアリングホイール角度により異なる
3. 視野色が赤の領域、確認音の間隔が速くなる
4. 右側リアセンサー視野
5. 後退時の車両の予想進路の障害物領域 – ステアリングホイール角度により異なる。

130 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

◀◀ サイドセンサーの視野は、障害物までの距離が短くなるにつれて色が黄色から赤色に変わります。

サイドセンサー領域の色	メートル単位での距離（括弧内はフィート）
黄色	0.25–0.9（0.8–3.0）
赤色	0–0.25（0–0.8）

センサー視野が赤色の場合、確認音の間隔が速くなります。

関連情報
- パークアシスト・カメラ*（p. 456）

パークアシスト・カメラの起動
パークアシスト・カメラは、リバースギヤを選択した場合に自動で起動します。センターディスプレイの機能ボタンの１つを使用して手動で起動することもできます。

後退時のカメラ画像
リバースギヤを選択すると、最後に使用したカメラ画像がサイドビューのいずれか、または360°ビューであった場合は360°ビューが画面に表示され、それ以外の場合はリアビューが表示されます。

手動カメラ起動時のカメラ画像

センターディスプレイの機能ビューでこのボタンを使用してパーキングカメラを起動します。画面に360°ビューが表示されます。

カメラの自動停止
運転者の気が散らないよう、25 km/h（16 mph）になるとフロントビューは消灯します。速度が50 km/h（31 mph）を超えることなく、1分以内に22 km/h（14 mph）まで下がると、カメラは自動的に再起動します。

その他のカメラビューは、15 km/h（9 mph）で消灯し、再起動しません。

関連情報
- パークアシスト・カメラ*（p. 456）

パークアシスト・カメラの機能の限界
パークアシスト・カメラはあらゆる状況ですべてのものを検知できるとは限らないため、動作が制限されることがあります。

運転者はパークアシスト・カメラの以下のような限界について認識しておく必要があります。

⚠ 警告

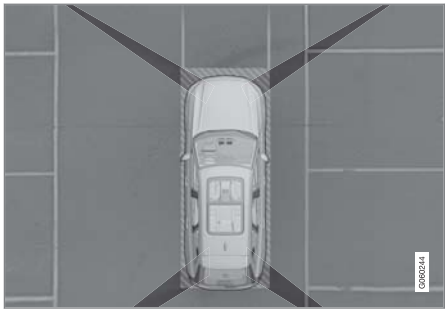
車両にトレーラー、バイシクルホルダーなどが取り付けられて電気的に接続されている場合、後退中にこのシンボルが表示されているときはさらに注意してください。

このシンボルは、後方のパークアシストセンサーが**オフ**で、障害物を警告することを示します。

ⓘ 注意

サイクルキャリアなどアクセサリーを車両の後ろに取り付けるとカメラの視界を遮るおそれがあります。

死角



カメラどうしの視野の間には死角があります。

360° ビューでは、カメラどうしの間で障害物が「消える」ことがあります。

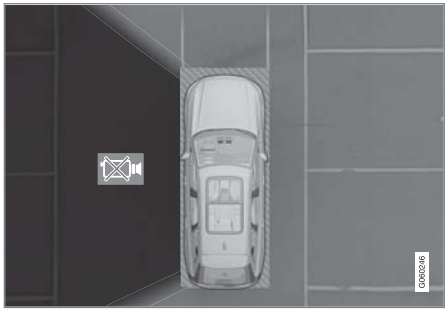
⚠ 警告

画面上では隠れている部分が比較的小さく見えても、実際に視界から隠れているのは、相当大きな領域である場合がありますので注意してください。障害物の実際の大きさは、車両がかなり接近するまでわからない場合があります。

カメラの不具合

カメラ領域が黒色で、このシンボルが表示されている場合、カメラに不具合があることを示しています。

次図は表示例です。



車両の左側カメラに不具合があります。

黒色のカメラ領域

以下の場合にもカメラ領域が黒色で表示されますが、その際にはカメラの不具合を示すシンボルは**表示されません**。

- ドアが開いている
- テールゲートが開いている
- ドアミラーが格納されている

周囲の明るさ

カメラの画像は、周囲の明るさに応じて自動的に調整されます。このため、画質と輝度は若干変化します。明るさが十分ではない場合、画質が低下することがあります。

関連情報

- パークアシスト・カメラ*（p. 456）

パーキングカメラの推奨メンテナンス

リアナンバープレートホルダーの横、グリルおよび両側のドアミラーの中に取り付けられているパーキングカメラはある程度のメンテナンスが必要です。

カメラレンズは、ぬるま湯と洗車用洗剤で定期的に洗浄してください。レンズを傷つけないように注意してください。

> **注意**
>
> もっとも効率的に作動するように、カメラのレンズに泥や雪、氷が付着していないように気をつけてください。これは暗いときには特に重要です。

関連情報

- パークアシスト・カメラ*（p. 456）

パークアシスト・カメラのシンボルおよびメッセージ

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイ、またはどちらか一方に、パークアシスト・カメラのシンボルおよびメッセージが表示されることがあります。

以下の表に例が示されています。

シンボル	メッセージ	意味
		後方パークアシストセンサーが**解除されています**。したがって、障害物に対する警告音およびフィールドマークはありません。
		カメラが解除されています。
	ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ **ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされていま す。ｸﾘｰﾆﾝｸﾞが必要です**	機能の 1 つ以上のセンサーの視野が遮られています。すみやかに点検して、修正してください。
	ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ **利用できません。販売店 にお問い合わせ下さい。**	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ◯ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- パークアシスト・カメラ*（p. 456）

パークアシスト・パイロット*

アクティブパークアシスト・パイロット(PAP[131])は、運転者が駐車スペースから出し入れするときに役立ちます。

PAPは、最初にスペースの広さが十分であるかを確認してから、そのスペースに駐車するようステアリングホイールを操作します。

センターディスプレイには、シンボル、グラフィックおよびメッセージでさまざまな操作指示とそのタイミングが表示されます。

⚠ 警告

- PAP 機能は、運転を手助けし、安全性を向上させるための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、特に注意してください。
- PAP は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

ⓘ 注意

PAP 機能はスペースの寸法を測り、車両を操舵します。運転者の役割は以下の通りです。

- 車両周辺に目を配ります
- センターディスプレイのインストラクションに従います
- ギヤ(リバース/前進)を選択します。運転者がギヤチェンジを行う必要があるときには、「ピーン」という音がします
- 安全速度の制御、維持を行います
- ブレーキを操作し、停止します

関連情報

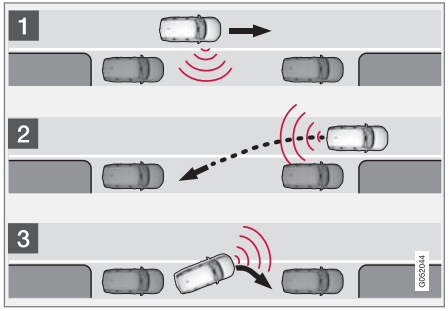
- パークアシスト・パイロットを使用するさまざまな駐車状況（p. 468）
- パークアシスト・パイロットによる駐車（p. 469）
- パークアシスト・パイロットを使用して駐車スペースから出る（p. 471）
- パークアシスト・パイロット*の限界（p. 472）
- パークアシスト・パイロットの推奨メンテナンス（p. 474）
- パークアシスト・パイロット*に関するメッセージ（p. 475）

131 Park Assist Pilot

パークアシスト・パイロットを使用するさまざまな駐車状況

パークアシスト・パイロット PAP[132] は以下のようなさまざまな駐車状況で使用することができます。

縦列駐車



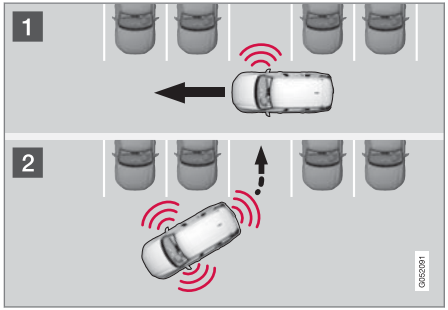
縦列駐車方式

PAP 機能は以下の手順で駐車を行います。

1. 駐車スペースが特定されて測定されます。
2. 後退中に、車両は駐車スペースに入るように操舵されます。
3. 車両を前進/後退させて、車両を駐車スペースに入れます。

自動発車 機能を使用することにより、縦列駐車された車両は PAP による支援を利用して駐車スペースから出ることもできます。「アクティブパークアシスト・パイロットで駐車スペースから出る」の項を参照してください。

並列駐車



並列駐車方式

PAP 機能は以下の手順で駐車を行います。

1. 駐車スペースが特定されて測定されます。
2. 車両を駐車スペースへ後退させます。その後車両を前進/後退させて、車両を駐車スペースに入れます。

注意

並列駐車された車両に PAP **自動発車** 機能を使用することは**できません**。本機能は縦列駐車された車両にのみ使用する必要があります。

関連情報

- パークアシスト・パイロット*（p. 467）
- パークアシスト･パイロットを使用して駐車スペースから出る（p. 471）

[132] Park Assist Pilot

* オプション/アクセサリー。

パークアシスト・パイロットによる駐車

アクティブパークアシスト・パイロット(PAP[133])は、運転者の駐車操作を 3 段階で支援します。この機能は駐車スペースから車両を出すときにも役立ちます。

注意

PAP 機能はスペースの寸法を測り、車両を操舵します。運転者の役割は以下の通りです。

- 車両周辺に目を配ります
- センターディスプレイのインストラクションに従います
- ギヤ(リバース/前進)を選択します。運転者がギヤチェンジを行う必要があるときには、「ピーン」という音がします
- 安全速度の制御、維持を行います
- ブレーキを操作し、停止します

それぞれのステップが行われるときには、センターディスプレイの画面にシンボル、グラフィックおよびメッセージが表示されます。

エンジンが始動し、以下の条件が満たされると、PAP が起動します。

- 車両にトレーラーが連結されていない。
- 速度が 30 km/h (20 mph)未満であること。

注意

PAP が駐車スペースを探しているときは、車両から駐車スペースまでの距離が 0.5～1.5 m (1.6～5.0 ft)である必要があります。

パーキング

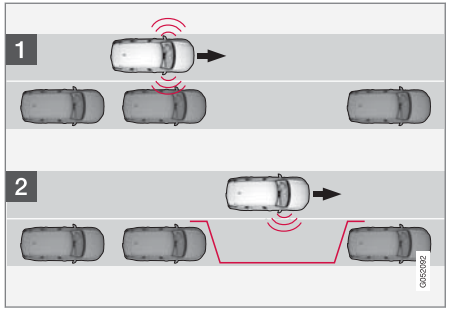
PAP は以下の手順で駐車を行います。

1. 駐車スペースが特定されて測定されます。
2. 後退中に、車両は駐車スペースに入るように操舵されます。
3. 車両がスペースに入ります。その後システムが運転者にギヤの変更を要求する場合があります。

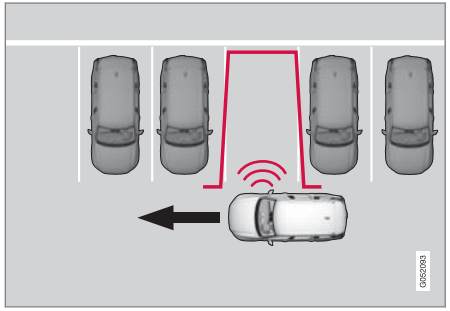
駐車スペースの探索と測定

この機能はセンターディスプレイの機能ビューで作動することができます。

カメラビューからアクセスすることも可能です。



縦列駐車方式



並列駐車方式

次の手順に従ってください。

[133] Park Assist Pilot

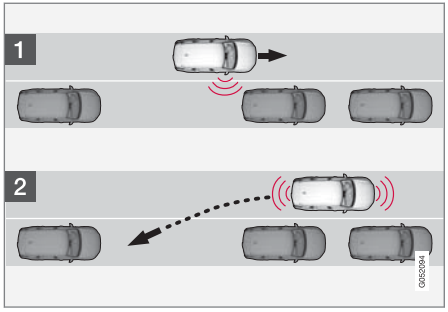
1. 縦列駐車の場合は 30 km/h (20 mph)以下、並列駐車の場合は 20 km/h (12 mph)以下で走行します。
2. 機能ビューまたはカメラビューで **自動駐車** ボタンをタップします。
   > PAP が駐車スペースを探し、十分なスペースがあるか確認します。
3. 適切な駐車スペースが見つかったことを示すグラフィックおよびメッセージがセンターディスプレイに表示されたときに、すぐに停車できるように備えておきます。
   > ポップアップウィンドウが表示されます。
4. **縦列駐車** または **並列駐車** を選択し、リバースギヤを選択します。

注意

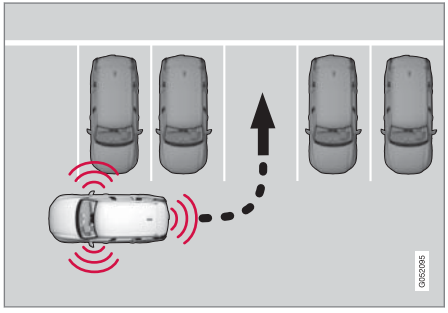
PAP は車両の助手席側にある駐車スペースを探し、指示を表示して、車両を案内します。しかし、必要であれば、運転席側の路上に駐車させることもできます。

- 運転席側の方向指示器を作動させてください。システムは運転席側の駐車スペースを探します。

駐車スペースへ後退して入れる



縦列駐車



並列駐車

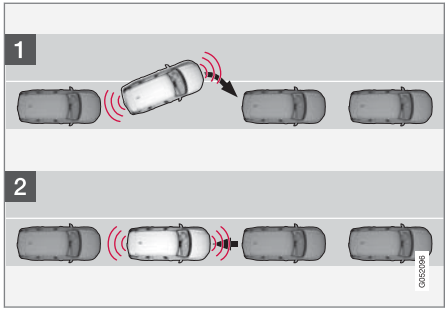
車両を後退させて駐車スペースへ入れるときには、以下の手順に従ってください。

1. 車両後方になにもないことを確認し、リバースギヤを作動させてください。
2. ステアリングホイールにふれることなく、車両を 7 km/h (4 mph)以下の速度で慎重に後退させます。
3. センターディスプレイのグラフィックおよびメッセージで指示されたときに、すぐに停車できるように備えておきます。

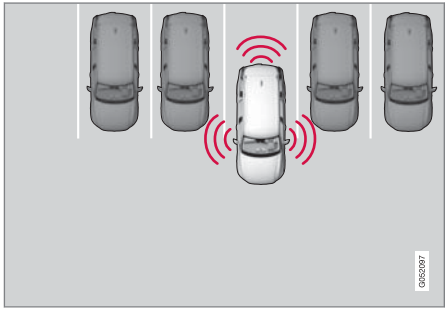
注意

- PAP 機能が作動している間は、ステアリングホイールに手を触れないようにしてください。
- ステアリングホイールの動きが一切妨げられず、自由に回転できるようにしてください。
- 最適な結果を得るためには、ステアリングホイールが回転し終わるのを待ってから、前進/後進を始めてください。

車両を駐車スペースに入れる



縦列駐車



並列駐車

次の手順に従ってください。

1. ギヤセレクターレバーを **D** 位置に入れ、ステアリングホイールが回り終わるまで待ち、ゆっくりと前進させます。
2. センターディスプレイのグラフィックおよびメッセージで指示されたときに、すぐに停車できるように備えておきます。
3. リバースギヤを選択して、ゆっくりと後退させます。
4. センターディスプレイのグラフィックおよびメッセージで指示されたときに、すぐに停車できるように備えておきます。

機能が自動的にオフになり、画像とメッセージにより、駐車が完了したことが表示されます。運転者が車両の位置を修正することが必要になる場合があります。車両が正しく駐車されているか判断できるのは、運転者のみです。

重要

パークアシストがセンサーを使用するときと比べ、PAP がセンサーを使用するときには、警告距離が短くなります。

関連情報

- パークアシスト・パイロット*（p. 467）

パークアシスト・パイロットを使用して駐車スペースから出る

自動発車 機能は駐車スペースから車両を出すときにも役立ちます。

注意

駐車スペースから出る場合、**自動発車** 機能の使用は縦列駐車に限定する必要があります。並列駐車された車両には使用できません。

自動発車 機能はセンターディスプレイの機能ビューまたはカメラビューでオンにします。

次の手順に従ってください。

1. 機能ビューまたはカメラビューで **自動発車** ボタンをタップします。
2. 方向指示器を使用して、車両が駐車スペースから出る方向を選択します。
3. センターディスプレイのグラフィックおよびメッセージで指示されたときに、すぐに停車できるように備えておきます。駐車手順の場合と同様に指示に従ってください。

機能の動作が完了すると、ステアリングホイールが一気に戻ることがあります。この場合、運

▶▶

転者は駐車スペースから出られるようにステアリングホイールを最大舵取り角度まで回すことが必要になる可能性があります。

運転者がまだ車両が駐車スペースにあると考える場合でも、PAP がさらなるステアリング操作なしで運転者が車両を駐車スペースから出せると判定した時点で、この機能は停止します。

関連情報

- パークアシスト・パイロット*（p. 467）

パークアシスト･パイロット*の限界

アクティブパークアシスト･パイロット PAP[134] 機能はあらゆる状況ですべてのものを検知できるとは限らないため、動作が制限されることがあります。

⚠ 警告

- PAP 機能は、運転を手助けするための補助的な運転者サポートであり、交通条件、気象条件および道路条件によっては対応できない状況があります。
- 車両のそばに人間やペットなどがいる場合がありますので、特に注意してください。
- 駐車操作時には、車両の前部が対向車線の方向へ振れることがあるため注意してください。
- センサーの検知範囲よりも高い場所にある物体は、駐車操作に必要な計算を行うときに考慮されないため、PAP が駐車スペースに対してステアリングを切るタイミングが早くなりすぎる可能性があります。したがって、このような駐車スペースへの駐車は避けてください。
- PAP は運転者の注意および判断に代わるものではありません。現行の交通規則および規制に従い、ほかの車両と適切な距離をとって、適切な速度で安全に車両を運転することは、つねに運転者の責任です。

運転者はパークアシスト・パイロットの以下のような限界について認識しておく必要があります。

[134] Park Assist Pilot

駐車動作の中止

以下の場合、駐車の一連動作が中止されます。

- 運転者がステアリングホイールに触れたとき
- 車速が高すぎるとき(7 km/h (4 mph)以上)
- 運転者がセンターディスプレイの **キャンセル** を押したとき
- アンチロックブレーキまたはエレクトロニック・スタビリティ・コントロールが作動したとき(滑りやすい路面でホイールのグリップ力が失われた場合など)
- オーバーヒートによる冷却時など、パワーステアリングが低電力で作動している場合(「速度感応式ステアリングパワー」の項を参照してください)。

必要に応じて、駐車動作の中止理由を説明するメッセージがセンターディスプレイに表示されます。

重要

状況によっては、PAP が駐車スペースを見つけることができない場合があります。システムが使用するのと同じ超音波周波数を発信している外部サウンドソースによって、センサーが干渉を受けることがその理由の一つとして考えられます。

例えば、車のホーン、濡れたアスファルトの路面でのタイヤの音、エアブレーキ、およびオートバイの排気音などです。

注意

センサーが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーの機能が低下し、誤作動する場合があります。

運転者の責任

PAP は、補助機能に過ぎず、失敗のない全自動の機能ではないことを忘れないでください。したがって、運転者はいつでも駐車操作を停止できるように準備しておかなければなりません。

ほかにも、駐車するときに留意しておかなければならないことがいくつかあります。

- PAP が選択したスペースが駐車に適しているかを判断する責任はつねに運転者にあります。
- スノーチェーンやスペアタイヤ装着時には、PAP を使用しないでください。
- 積荷が車両から突き出ている場合には、PAP を使用しないでください。
- 大雨または雪のときには、システムが駐車スペースを正しく測定できないことがあります。
- 駐車スペースの探索および測定確認中に、PAP は駐車スペースの奥にある物体を検知できないことがあります。
- 狭い道路では操作に必要なスペースが不十分なため、駐車スペースを提供できない場合があります。
- PAP の機能に影響するおそれがあるため、かならずタイヤ空気圧が適切で、承認されているタイヤ [135] を使用してください。
- PAP は既に駐車されている車両を基準に機能します。それらの車両が適切に駐車されていない場合、タイヤやホイールリムが縁石に当たって損傷する場合があります。
- 駐車された車両の 1 台がほかの車両よりも突き出ている場合、並列駐車のスペースを検

135「承認されているタイヤ」とは、納車時に装着されていたものと同じメーカーの、同じタイプのタイヤを指します。

知できなかったり、不要な提案を行ったりする場合があります。

- PAP は、カーブなどのない、まっすぐな道路上に駐車することを想定して設計されています。このため、PAP が駐車スペースの広さを測定するときには、車両が候補の駐車スペースと平行になっていることを確認してください。

重要

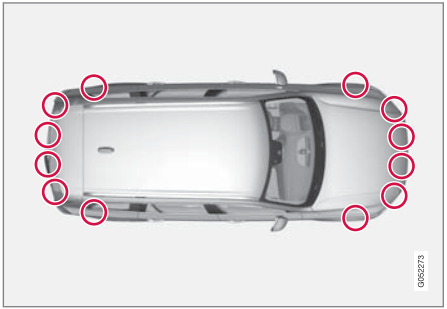
別の承認済みホイールリムおよび/またはタイヤサイズに変更すると、タイヤの円周が変化するおそれがあるため、PAP システムのパラメータの更新が必要になることがあります。ボルボ指定のサービス工場にご相談ください。

関連情報

- パークアシスト・パイロット*（p. 467）
- パークアシスト・パイロットによる駐車（p. 469）
- 速度感応式のステアリングホイール操舵力（p. 328）

パークアシスト・パイロットの推奨メンテナンス

パークアシスト・パイロット PAP[136] 機能が最適に作動するように、パークアシストセンサーを水と洗車用洗剤で定期的に清掃してください。



パーキングセンサーの位置 [137]

注意

センサーが泥、氷、雪などに覆われているときは、センサーが誤作動する、機能が低下する、またはまったく機能しなくなる場合があります。

関連情報

- パークアシスト・パイロット*（p. 467）

[136] Park Assist Pilot
[137] 注意：図は概略図です。詳細は、車両モデルにより異なっている場合があります。

* オプション/アクセサリー。

パークアシスト・パイロット*に関するメッセージ

ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイ、またはどちらか一方に、パークアシスト・パイロット(PAP[138])のメッセージが表示されることがあります。

以下の表に例が示されています。

メッセージ	意味
ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ ｾﾝｻｰがﾌﾞﾛｯｸされていま す。ｸﾘｰﾆﾝｸﾞが必要です	機能の 1 つ以上のセンサーの視野が遮られています。すみやかに点検して、修正してください。
ﾊﾟｰｸｱｼｽﾄｼｽﾃﾑ 利用できません。販売店 にお問い合わせ下さい。	システムが正常に機能していません。ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの中央にある ◯ ボタンを短く押すと、ディスプレイテキストを消去することができます。

メッセージが消去されない場合：ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- パークアシスト・パイロット*（p. 467）

138 Park Assist Pilot

運転操作の要領

車両の始動

車両を始動するには、リモートコントロールキーが車内にある状態でトンネルコンソールのスタートノブを使用します。

トンネルコンソールのスタートノブ

⚠ 警告

出発前に：

- シートベルトを着用してください。
- シート、ステアリングホイールおよびミラーを調節してください。
- ブレーキペダルがいっぱいまで踏み込めることを確認してください。

車両はキーレススタート(Passive Start)に対応しているため、車両の始動時にリモートコントロールキーを物理的に使用することはありません。

車両を始動するには：

1. リモートコントロールキーを車内に置いておく必要があります。Passive Start 装備車の場合、キーを車内の前部に置いておく必要があります。キーレスロック/ロック解除オプション*装備車の場合、キーは車内の任意の場所に置いておくことができます。
2. ブレーキペダルをいっぱいに踏み込んで保持します[1]。オートマチックトランスミッション車の場合、ギヤ位置が **P** または **N** であることを確認します。マニュアルトランスミッション車の場合、ギヤレバーがニュートラル位置にあることと、またはクラッチペダルを踏み込んでいることを確認します。
3. スタートノブを時計回りに回して手を離します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

ⓘ 注意

ディーゼルエンジン搭載車では、エンジンが始動するまでに若干の遅れが出る場合があります。

エンジンを始動すると、エンジンが始動するかオーバーヒート保護機能が作動するまでスターターモーターが作動し続けます。

トンネルコンソール内のバックアップリーダーの場所

始動時に **キーが見つかりません** というメッセージがドライバーディスプレイに表示された場合は、リモートコントロールキーをバックアップリーダーのそばに置いてから、再度始動を試みます。

ⓘ 注意

リモートコントロールキーをバックアップリーダーの近くに置くときには、車両キー、金属物、電子機器(携帯電話、タブレット、ノートパソコン、充電器など)がバックアップリーダーの近くにないことを確認してください。バックアップリーダーの近くに複数の車両キーどうしを近づけて置いておくと、互いに干渉するおそれがあります。

[1] 車両が動いているときは、スタートノブを時計回りに回すだけでエンジンを始動できます。

* オプション/アクセサリー。

重要

3 回始動を試みてもエンジンが始動しない場合には、3 分待ってからもう一度試みてください。バッテリーが回復すると、始動できる可能性が高くなります。

警告

走行中やけん引中は、リモートコントロールキーを車両から**絶対に**取り出さないでください。

警告

車両から離れるときには、かならずリモートコントロールキーを車外へ持ち出し、車両の電気系統がイグニッション位置 **0** になっていることを確認してください。お子様が車内にいるときには特に注意が必要です。

注意

冷寒時、エンジン始動後のエンジン回転数が、通常よりも若干高くなる場合があります。これは、エミッションシステムをできるだけすみやかに正常な作動温度にして有害な排気ガスを抑え、環境を保護するためです。

関連情報

- 車両をオフにする（p. 479）
- イグニッション位置（p. 480）
- ステアリングホイールの調節（p. 240）
- 別のバッテリーによるジャンプスタート（p. 527）
- イグニッションモードの選択（p. 481）

車両をオフにする

車両をオフにするときには、トンネルコンソールにあるスタートノブを使用します。

トンネルコンソールのスタートノブ

車両をオフにするには：

- スタートノブを時計回りに回してノブから手を離します。車両がオフになります。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

オートマチックトランスミッション車のギヤセレクターレバーが **P** 位置に入っていない場合、または車両が動き出す場合：

- ノブを時計回りに回し、車両がオフになるまでノブをそのまま保持します。

関連情報

- 車両の始動（p. 478）
- イグニッション位置（p. 480）

- ステアリングホイールの調節（p. 240）
- 別のバッテリーによるジャンプスタート（p. 527）
- イグニッションモードの選択（p. 481）

イグニッション位置

車両の電気系統はイグニッション位置/レベルに応じて、さまざまな車両の機能を利用可能にすることができます。

エンジンが停止している状態でも一部の機能を使用できるようにするために、車両の電気系統には 3 つのレベル(**0**、**I**、**II**)が用意されています。これらのレベルは、オーナーズマニュアル全体で「イグニッション位置」として言及されています。

次の表は、各イグニッション位置/レベルで利用できる機能を示しています。

レベル	機能
0	• オドメーター(積算距離計)、時計、水温計が表示されます[A]。 • パワーシート*を調節できます。 • パワーウインドを使用できます。 • センターディスプレイを起動して使用することができます[A]。 • インフォテイメントシステムを使用できます[A]。 このモードの場合、機能は時間で制御され、しばらく経過すると自動的にオフになります。
I	• パノラマルーフ、パワーウインド、車内の 12V 電源ソケット、Bluetooth、ナビゲーション、電話、ベンチレーションファンおよびウインドスクリーンワイパーが使用できます。 • パワーシートを調節できます。 • カーゴスペース内の 12V 電源ソケット*が使用できます。 **このイグニッション位置では、バッテリーに電流消費の負荷がかかります。**

* オプション/アクセサリー。

レベル	機能
II	• ヘッドライトを点灯させることができます。 • 表示灯/警告灯が 5 秒間点灯します。 • ほかにもいくつかのシステムが作動可能状態です。しかし、シートヒーターおよびリアウインドの熱線は車両の始動後にのみ起動することができます。 **このイグニッション位置では、バッテリーから大量の電流を消費するため、使用をひかえてください。**

A ドアを開けたときも作動します。

関連情報

- 車両の始動（p. 478）
- ステアリングホイールの調節（p. 240）
- 別のバッテリーによるジャンプスタート（p. 527）
- イグニッションモードの選択（p. 481）

イグニッションモードの選択

車両の電気系統はイグニッション位置/レベルに応じて、さまざまな車両の機能を利用可能にすることができます。

イグニッション位置の選択

トンネルコンソールのスタートノブ

- **イグニッション位置 0** – 車両をロック解除し、リモートコントロールキーを車内にある状態にします。

> **注意**
>
> エンジンを始動**せず**に I または II レベルにする場合、これらのイグニッションポジションを選択するときに、ブレーキペダルまたはクラッチペダル(マニュアルトランスミッション車)を踏み込ま**ないでください**。

- **イグニッション位置 I** – スタートノブを時計回りに回して、ノブから手を離します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。
- **イグニッション位置 II** – スタートノブを時計回りに回して、そのまま約 5 秒間保持します。ノブを放します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。
- **イグニッション位置 0 に戻す** – イグニッション位置 I および II から 0 に戻すには – スタートノブを時計回りに回して、ノブから手を離します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。

関連情報

- 車両の始動（p. 478）
- 車両をオフにする（p. 479）
- イグニッション位置（p. 480）
- ステアリングホイールの調節（p. 240）
- 別のバッテリーによるジャンプスタート（p. 527）

アルコールロック*

アルコールロックは、アルコールの影響下にある運転者が車両を運転できないようにする機能です。運転者は呼気検査により、アルコールの影響下にないことを実証するまで、エンジンを始動することができません。アルコールロックは、各市場での飲酒運転に関する法規で規定されている制限値を基に校正されます。

車両には、ボルボの推奨する複数メーカーおよびモデルのアルコールロックとの電気接続に対応するインターフェースが用意されています。このインターフェースを使用すると、アルコールロックを簡単に接続できるだけでなく、アルコールロック関連のメッセージを車両のメインディスプレイに表示するなど、機能を統合することもできます。特定のアルコールロックについては、その製品の取扱説明書を参照してください。

⚠ 警告

アルコールロックは補助機能に過ぎず、運転者の責任を免除するものではありません。酔っていない状態で安全に車両を運転する責任は、つねに運転者にあります。

関連情報

- アルコールロック*のバイパス（p. 482）
- アルコールロックを使用してエンジンを始動する前に（p. 483）
- 車両の始動（p. 478）
- イグニッション位置（p. 480）

アルコールロック*のバイパス

緊急時、またはアルコールロックが故障している場合には、アルコールロックをバイパスして車両を運転することができます。

各アルコールロックを使用して解除する方法については、各製品の説明書を参照してください。

バイパス機能の起動（Bypass）

ⓘ 注意

すべてのバイパス起動は記録され、アルコールロックのコントロールユニットのメモリーに保存されます。バイパスを取り消すことはできません。

画面に **ｱﾙｺｰﾙﾛｯｸに吹込む 代りにﾊﾞｲﾊﾟｽしますか?** というメッセージが表示されます。

- 「キャンセル/はい」が表示された場合：ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの右向き矢印を押してから **0** を押して、バイパス機能を選択してください。
- 「はい」が表示された場合：**0** ボタンを押してバイパス機能を選択してください。

これでアルコールロックがバイパスされて、車両を始動できるようになります。

バイパス機能の使用回数が規定値に達するとサービスが必要になります。使用可能な回数はアルコールロックの取り付け時に選択されます。

関連情報
- アルコールロック*（p. 482）
- アルコールロックを使用してエンジンを始動する前に（p. 483）
- 車両の始動（p. 478）
- イグニッション位置（p. 480）

アルコールロックを使用してエンジンを始動する前に
車両のドアを開けると、アルコールロックが自動的にオンになり、使用できる状態になります。

注意事項
装置が正しく機能し、できるだけ正確な測定値が得られるように、以下にご注意ください。

- 呼気検査の前の約 5 分間は飲食を避けてください。
- 過度のウインドスクリーン洗浄を避けてください。ウォッシャー液に含まれるアルコール成分により、測定結果に誤差が出るおそれがあります。

> **注意**
>
> 一定時間運転した後は、30 分以内であれば、新たに呼気検査をしなくてもエンジンを再始動することができます。

関連情報
- アルコールロック*のバイパス（p. 482）
- アルコールロック*（p. 482）
- 車両の始動（p. 478）
- イグニッション位置（p. 480）

ブレーキ機能
車両のブレーキは、減速するとき、または車両の動き出しを防止するときに使用します。

フットブレーキとパーキングブレーキのほかに、車両にはいくつかのオートブレーキアシスト機能が搭載されています。オートブレーキアシスト機能を使用すると、赤信号で停車しているとき、上り坂で発進するとき、または下り坂を走行しているときに運転者がブレーキペダルに足を載せておく必要がなくなります。

オートブレーキ機能には以下の種類があり、実際に搭載されるものは車両の装備に応じて異なります。

- 停車時のオートブレーキ(Auto Hold)
- ヒル・スタート・アシスト(Hill Start Assist)
- 衝突後のオートブレーキ
- City Safety

関連情報
- フットブレーキ（p. 484）
- パーキングブレーキ（p. 486）
- 停車時のオートブレーキ（p. 489）
- 衝突後のオートブレーキ（p. 491）
- 坂道発進の補助（p. 491）
- City Safety™（p. 400）

フットブレーキ

フットブレーキはブレーキシステムの一部です。

車両には、2 つのブレーキ回路があります。一方のブレーキ回路が損傷すると、ブレーキペダルの踏み込み量が大きくなります。したがって、通常の制動効果を得るには、通常よりもペダルを強く踏み込むことが必要になります。

ブレーキサーボは、ブレーキペダルの踏力を補助する働きをします。

⚠ 警告

ブレーキサーボは、エンジン作動時にのみ作動します。

エンジンが停止しているときにフットブレーキを使用する場合は、ペダルが重く感じられ、通常よりも強い力でペダルを踏み込む必要があります。

起伏の激しい地域や、重い荷物を積載して走行するときは、マニュアルギヤシフトモードでエンジンブレーキを使用すると、ブレーキへの負担を軽減することができます。長い下り坂を走行するときは、上りのときと同じギヤを使用すると、エンジンブレーキをもっとも効率的に活用することができます。

アンチロックブレーキシステム

車両にはアンチロックブレーキ Anti-lock Braking System(ABS)が装備されています。アンチロックブレーキは、制動中にホイールのロックを防止して、ステアリングの制御を維持します。ABS が作動すると、ブレーキペダルに振動が感じられる場合がありますが、これは異常ではありません。

車両の始動後、ブレーキペダルから足を離したときに、ABS システムの自己診断機能が短時間作動します。低速走行時に、さらにシステムの自動テストが行なわれることがあります。テストが行なわれているときは、ブレーキペダルで振動が感じられることがあります。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	ブレーキフルードレベルを点検してください。ブレーキフルードレベルが低いときは補充し、ブレーキフルードが減った原因を確認してください。
	エンジン始動時に 2 秒間点灯：自動機能点検です。 2 秒を超える点灯：ABS システムに不具合があります。通常のブレーキシステムは正常に機能していますが、ABS 機能は使用できません。

⚠ 警告

ブレーキ不具合と ABS 不具合の警告灯が両方同時に点灯した場合、ブレーキシステムに不具合が発生したことを表しています。

- リザーバータンクのブレーキフルードレベルがこの時点で正常であれば、最寄りのボルボ指定のサービス工場まで慎重に走行し、ブレーキ系統の点検を受けてください。
- ブレーキフルードレベルがリザーバータンクの **MIN** マークより低い場合は、ブレーキフルードを補充するまで絶対に運転しないでください。ブレーキフルードが減った原因を点検してください。

関連情報

- 制動力増幅（p. 485）
- 停車時のオートブレーキ（p. 489）
- 坂道発進の補助（p. 491）
- 濡れた路面でのブレーキ操作（p. 485）
- 融雪剤が散布された路面でのブレーキ操作（p. 485）
- ブレーキシステムのメンテナンス（p. 486）
- ブレーキランプ（p. 198）

制動力増幅

制動力増幅システム、BAS (Brake Assist System)は、制動中に制動力を高めて、制動距離を短くするのに役立ちます。

このシステムは、運転者のブレーキ操作の傾向を感知して必要に応じて制動力を高めます。制動力はABSシステムが作動するレベルまで増幅することができます。この機能は、ブレーキペダルにかかる圧力が弱まると一時中断します。

注意

BAS機能が作動している場合、ブレーキペダルが通常よりも少し奥に入りますが、必要な間、ブレーキペダルを離さずに踏み続けてください。

ブレーキペダルから足を離すと、すべての制動が停止します。

関連情報

- フットブレーキ（p. 484）

濡れた路面でのブレーキ操作

大雨の中、ブレーキをかけずに長時間走行していると、最初にブレーキをかけたときに、ブレーキの効きが少し遅れる可能性があります。

この症状は、洗車機で洗車した後にも発生することがあります。この場合、ブレーキペダルを通常よりも強めに踏む必要があります。したがって、前方の車両との車間距離を長めに維持する必要があります。

濡れた路面を走行した後、または洗車機を使用した後には、車両に確実にブレーキをかけてください。これによりブレーキディスクの温度が上がるため、ブレーキディスクの乾燥時間が短くなり、腐食から保護できます。ブレーキをかけるときには、周辺の交通状況に注意を払ってください。

関連情報

- フットブレーキ（p. 484）
- 融雪剤が散布された路面でのブレーキ操作（p. 485）

融雪剤が散布された路面でのブレーキ操作

凍結防止剤が散布された路面を走行しているときには、ブレーキディスクおよびブレーキライニングに塩の層が形成されることがあります。

この層が形成されると、制動距離が延びる可能性があります。したがって、前方の車両との車間距離を長めに維持する必要があります。また、以下の点にもご注意ください。

- ときどきブレーキをかけて、塩の層を取り除いてください。ブレーキをかけるときには、ほかの道路使用者を危険にさらすことのないようにご注意ください。
- 走行を終えた後、および次回の走行を開始する前に、ブレーキペダルを慎重に踏んでください。

関連情報

- フットブレーキ（p. 484）
- 濡れた路面でのブレーキ操作（p. 485）

ブレーキシステムのメンテナンス

ブレーキシステムのコンポーネントに摩耗がないか定期的に点検してください。

車両の信頼性と安全性を可能な限り確保するため、メンテナンスノート(整備手帳)に記載されているボルボのメンテナンスサービス間隔に従って点検整備を行ってください。交換したばかりの新品のブレーキパッドおよびブレーキディスクは、数百キロメートル(マイル)走行して部品が馴染むまでは本来の制動効果を発揮しません。制動効果の不足分を補うために、ブレーキペダルを通常よりも強めに踏み込んでください。ボルボ承認のブレーキライニングのみを使用することをお薦めします。

重要

ブレーキシステム構成部品の摩耗状況を定期的に点検してください。

手順に関する情報をサービス工場にお問い合わせいただくか、サービス工場に点検を依頼してください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。

関連情報

- フットブレーキ（p. 484）

パーキングブレーキ

パーキングブレーキは、ホイール 2 輪を機械的にロック/ブロックして、静止状態の車両が動き出すことを防止します。

パーキングブレーキのコントロールは、フロントシート間のトンネルコンソールにあります。

エレクトリックパーキングブレーキが作動すると、電動モーターの音がかすかに聞こえる場合があります。この音は、パーキングブレーキの自動機能点検のときにも聞こえる場合があります。

パーキングブレーキは、車両が停止しているときは後輪のみに作動します。パーキングブレーキを車両が動いているときに作動させると、通常のフットブレーキと同様に 4 輪に作動します。車両がほぼ停止した時点で後輪のみの作動に変わります。

関連情報

- パーキングブレーキのオン/オフ（p. 487）
- 坂道での駐車（p. 488）
- パーキングブレーキに不具合がある場合（p. 489）
- 停車時のオートブレーキ（p. 489）

パーキングブレーキのオン/オフ

パーキングブレーキは、静止状態の車両が動き出すのを防ぐのに使用します。

パーキングブレーキをかける

1. コントロールを引き上げます。
   › パーキングブレーキがかかると、ドライバーディスプレイのシンボルが点灯します。
2. 車両が停止していることを確認してください。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	パーキングブレーキがかかると、シンボルが点灯します。 シンボルが点滅する場合、不具合が発生したことを表します。ドライバーディスプレイのディスプレイテキストをお読みください。

自動作動

以下の場合、パーキングブレーキが自動的に作動します。

- センターディスプレイでパーキングブレーキの自動作動の設定をオンにしている場合に車両をオフにしたとき。
- Auto Hold 機能(停車時のオートブレーキ)がオンで、長時間(5〜10 分間)停車しているとき。
- 急勾配の坂道で、ギヤポジション **P** を選択しているとき[2]。

エマージェンシーブレーキ

緊急時には、コントロールを引き上げたまま保持すると、車両が動いている状態でパーキングブレーキをかけることができます。コントロールを放す、またはアクセルペダルを踏み込むと、ブレーキは停止します。

注意

高速時にはエマージェンシーブレーキが作動している間、確認音が鳴ります。

パーキングブレーキを解除する

手動で解除する

1. ブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。
2. コントロールを押し下げます。
   › パーキングブレーキが解除され、ドライバーディスプレイのシンボルが消灯します。

[2] オートマチックトランスミッション車に適用されます。

自動で解除する

1. シートベルトを着用します。
2. ブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。
3. エンジンを始動します。
4. オートマチックトランスミッション車：

   ギヤポジション **D** または **R** を選択して、アクセルペダルを踏みます。

   マニュアルトランスミッション車：

   適切なギヤに入れ、クラッチをゆるめてアクセルペダルを踏みます。

   › パーキングブレーキが解除され、ドライバーディスプレイのシンボルが消灯します。

注意

車両の最初の始動では、シートベルトが着用されていない状態でパーキングブレーキが自動的に解除されることがあります。

関連情報

- 自動パーキングブレーキの作動設定（p. 488）
- パーキングブレーキに不具合がある場合（p. 489）
- パーキングブレーキ（p. 486）
- 坂道での駐車（p. 488）

自動パーキングブレーキの作動設定

車両をオフにしたときにパーキングブレーキを自動的に作動させるかどうかを選択します。

この選択は、センターディスプレイの設定メニューで行います。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car** ➔ **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷおよびｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ** の順に押して、**パーキングブレーキを自動で有効化** 機能を選択または選択解除します。

関連情報

- パーキングブレーキのオン/オフ（p. 487）
- パーキングブレーキ（p. 486）

坂道での駐車

坂道に駐車するときには、かならずパーキングブレーキを使用してください。

警告

傾斜面に駐車するときには、かならずパーキングブレーキをかけてください。ギヤを入れる、またはオートマチックトランスミッションの **P** 位置にするだけでは、車両を静止状態に保持できないことがあります。

上り坂で駐車する場合：

- ステアリングホイールを**車道側**に若干回します。

下り坂で駐車する場合：

- ステアリングホイールを**歩道側**に若干回します。

重い荷物を積載した上り坂

車に大きな負荷がかかっているとき（重い荷物を積載しているときや、トレーラーけん引時など）に、傾斜の急な上り坂でパーキングブレーキを自動解除すると、車が後方に下がるおそれがあります。これを防ぐため、発進時にパーキングブレーキコントロールを引き上げたまま保持してください。エンジンが十分な駆動力を得たら、コントロールを放してください。

関連情報

- パーキングブレーキのオン/オフ（p. 487）

パーキングブレーキに不具合がある場合

数回試してもパーキングブレーキを解除できない、またはかけることができない場合、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

パーキングブレーキをかけた状態で走行すると、警告音が鳴ります。

不具合が解消される前に駐車しなければならない場合は、坂道での駐車と同様にタイヤを向けて、ギヤセレクターレバーを P 位置に入れるか、またはギヤを 1 速に入れてください(マニュアルトランスミッション)。

バッテリー電圧が低下しています。

バッテリー電圧が低下すると、パーキングブレーキの作動や解除ができなくなります。バッテリーの電圧が異常に低い場合には、他車などのバッテリーを接続してください。

ブレーキライニングの交換

エレクトリックパーキングブレーキが採用されているため、リアブレーキライニングはかならずボルボ指定のサービス工場で交換してください。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	シンボルが点滅する場合、不具合が発生したことを表します。ドライバーディスプレイのメッセージを参照してください。
	ブレーキシステムの不具合。ドライバーディスプレイのメッセージを参照してください。
	ドライバーディスプレイの情報メッセージ

関連情報

- パーキングブレーキのオン/オフ（p. 487）
- バッテリー（p. 676）
- ボルボメンテナンスサービスプログラム（p. 652）

停車時のオートブレーキ

停車時のオートブレーキ(Auto Hold)を使用すると、赤信号や合流点で停車したとき、運転者は制動力を維持した状態でブレーキペダルから足を離すことができます。

停車すると、ブレーキが自動的に作動します。この機能はフットブレーキまたはパーキングブレーキを使用して停車状態を維持し、どのような勾配でも動作します。発進時、運転者がシートベルトを着用しているとブレーキは自動的に解除されます。

注意

上り坂または下り坂でブレーキをかけて停車したときには、ブレーキペダルを放す前に少し強めに踏み込んで、車両がまったく動かないことを確認してください。

以下の場合、パーキングブレーキが作動します。

- 車両をオフにする
- 運転席ドアを開ける
- 運転席シートベルトを外す
- 比較的長い時間停車している(5〜10 分)

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	オートブレーキ機能がフットブレーキを使用して停車状態を維持しているときに、シンボルが点灯します。
	オートブレーキ機能がパーキングブレーキを使用して停車状態を維持しているときに、シンボルが点灯します。

関連情報

- 停車時のオートブレーキのオン/オフ（p. 490）
- フットブレーキ（p. 484）
- パーキングブレーキ（p. 486）
- 坂道発進の補助（p. 491）

停車時のオートブレーキのオン/オフ

停車時のオートブレーキ機能のオン/オフ操作には、トンネルコンソールのボタンを使用します。

– トンネルコンソールのボタンを押して、機能をオンまたはオフにします。

  › この機能がオンになると、ボタンのインジケーターが点灯します。オンにした場合、次回のエンジン始動時も機能はオンのままになります。

スイッチオフ時の適用事項

この機能が作動してフットブレーキで車両を静止させている(A シンボルが点灯)場合、機能を解除するには、ボタンを押すと同時にブレーキペダルを踏み込む必要があります。

- 再度オンにするまで、機能はオフのままになります。
- この機能が解除されている場合、ヒル・スタート・アシスト(HSA)がアクティブな状態を維持して、上り坂での発進時に車両が後退するのを防止します。

関連情報

- 停車時のオートブレーキ（p. 489）

坂道発進の補助

ヒル・スタート・アシスト、Hill Start Assist (HSA)は、上り坂で発進するときに車両の後退を防止します。坂道を後退して上る場合は、前進を防止します。

この機能では、足をブレーキペダルからアクセルペダルへ動かす間の数秒間、ブレーキシステム内の圧力が保持されます。

一時的に保持されるブレーキ効果は、数秒経過するか、運転者が発進すると解除されます。

ヒル・スタート・アシストは、停車時のオートブレーキ機能(Auto Hold)が解除されている場合でも使用できます。

関連情報

- 停車時のオートブレーキ (p. 489)
- フットブレーキ (p. 484)

衝突後のオートブレーキ

衝突でパイロテクニックシートベルトテンショナーまたはエアバッグが作動した場合、または大型動物との衝突が検知された場合でも、車両のブレーキが自動的に作動します。この機能により、二次的な衝突の発生を防止または抑制します。

重大な衝突の後は、車両を制御および操舵できなくなる危険性があります。車両の進路にあるほかの車両や物への二次的な衝突を回避または軽減するため、オートブレーキシステムが自動的に作動して、車両を安全に停止させます。

制動中はブレーキランプおよび非常点滅灯が作動します。車両が停車すると、パーキングブレーキがかかり、非常点滅灯は点滅を続けます。

後続車の衝突する危険などがあり、ブレーキをかけることが適切ではない場合、運転者がアクセルペダルを踏み込むことによりシステムを無効にすることができます。

この機能は、衝突後にブレーキシステムが正常に動作するものと想定しています。

ブレーキアシストは、Rear Collision WarningおよびBlind Spot Informationセーフティシステムに含まれています。

関連情報

- Rear Collision Warning (p. 413)
- BLIS* (p. 414)
- ブレーキ機能 (p. 483)

トランスミッション

トランスミッションはエンジンと駆動輪をつなく駆動系(パワートランスミッション)の一部です。トランスミッションの機能は、速度と必要な出力に応じてギヤ比を変更することです。

マニュアルとオートマチックの2つのトランスミッションタイプがあります。

マニュアルトランスミッションは6速、オートマチックトランスミッションは8速です。この変速数は、エンジンのトルクおよびパワーレンジを効率的に活用できることを意味します。オートマチックトランスミッションの場合、ギヤの2つはオーバードライブギヤです。オーバードライブギヤは一定のエンジン回転数で走行しているときに燃料を節約します。

オートマチックトランスミッションでは、手動でギヤを選択することもできます。それぞれのドライバーディスプレイには、現在使用しているギヤまたはギヤポジションが表示されます。

重要

駆動システムのコンポーネントへの損傷を防止するために、トランスミッションの作動温度が点検されます。オーバーヒートのおそれがある場合には、ドライバーディスプレイの警告灯が点灯し、ディスプレイテキストが表示されます。この場合は、指示に従ってください。

ドライバーディスプレイのシンボル

トランスミッションに不具合が発生すると、ドライバーディスプレイにシンボルとメッセージが表示されます。

シンボル	意味
	トランスミッションに関する情報またはエラーメッセージ。推奨される指示に従ってください。
	トランスミッションが高温になっているか、オーバーヒートしています。推奨される指示に従ってください。
	性能低下/加速性能が 低下しました 動力伝達装置に一時的な不具合が発生した場合、車両は動力伝達装置の損傷防止のため、エンジン出力を制限したリンプホームモードになることがあります。

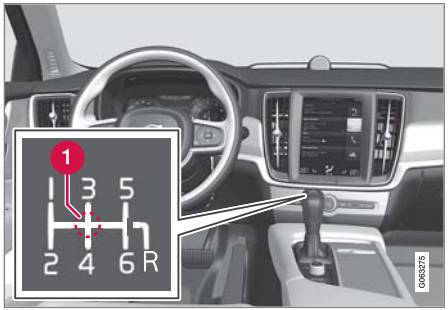
関連情報

- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 493）
- マニュアルトランスミッション（p. 492）
- ギヤシフトインジケーター（p. 498）

マニュアルトランスミッション

マニュアルトランスミッション車では、そのときどきに必要な速度と出力に応じて、運転者が最適なギヤを手動で選択します。

ギヤシフト



1 ニュートラル位置（N）

マニュアルトランスミッションには 6 つのギヤがあり、シフトパターンがセレクターレバーに表示されています。

- ギヤチェンジをしている間は、クラッチペダルを奥まで踏み込みます。
- ギヤチェンジをしているとき以外は、クラッチペダルから足を離してください。

リバースギヤインヒビター

リバースギヤインヒビターは、前進時に誤ってリバースギヤにシフトしないように、誤操作を防止します。

- セレクターレバーのギヤシフトパターンに従います。ギヤセレクターレバーを R 位置に動かす際には、ニュートラル位置から始めてください。
- リバースギヤへのシフトは、車両が完全に停止してからおこなってください。

駐車時

⚠ 警告

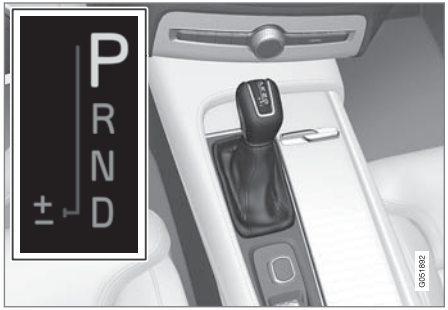
坂道に駐車する際には、かならずパーキングブレーキを使用してください。ギヤに入れておくだけでは、不十分な場合があります。

関連情報

- トランスミッション（p. 491）
- ギヤシフトインジケーター（p. 498）

オートマチックトランスミッションのギヤポジション

オートマチックトランスミッション車では、最適な走行が得られるようにシステムがギヤを選択します。トランスミッションには、マニュアルギヤシフトモードもあります。



ドライバーディスプレイには、選択されたギヤポジションが表示されます。

P、R、N、Dまたは M。

マニュアルギヤシフトモードでは、使用中のギヤも表示されます。

ギヤポジション

パーキング位置 – P

P 位置では、トランスミッションが機械的にロック状態になります。

駐車したとき、またはエンジンを始動するときには、P 位置を選択します。パーキング位置を選択するときは車両が停止していなければいけません。

パーキング位置からほかのギヤポジションを選択するときには、イグニッション位置を II にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

駐車するときは、バーキングブレーキをかけてからパーキング位置を選択します。

⚠ 警告

傾斜面に駐車するときには、かならずパーキングブレーキをかけてください。ギヤを入れる、またはオートマチックトランスミッションの P 位置にするだけでは、車両を静止状態に保持できないことがあります。

ⓘ 注意

車両をロックしてアラームをセットするには、ギヤセレクターレバーが P 位置であることが条件になります。

リバース位置 – R

後退するときは、R を選択してください。リバース位置を選択するときは車両が停止していなければいけません。

ニュートラル位置 – N

トランスミッションが、どのギヤにも入っていない状態です。エンジンを始動することができます。ギヤセレクターレバーが N 位置にあり、車両が停止しているときは、パーキングブレーキをかけてください。

ギヤセレクターレバーをニュートラル位置からほかの位置にシフトするときには、イグニッション位置を II にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

ドライブ位置 – D

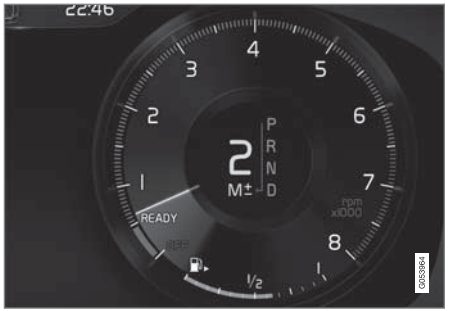
D 位置は、通常走行時に使用する位置です。加速に応じて、すべての前進ギヤ間で自動的にシフトアップ、シフトダウンが行なわれます。ギヤを R から D へシフトするときは、車両が停止していなければいけません。

マニュアルギヤシフトモード – M

マニュアルギヤシフトモードは、前進走行中いつでも選択することができます。アクセルペダルを放すと、エンジンブレーキがかかります。

マニュアルギヤシフトモードを選択するには、ギヤセレクターレバーを D 位置から横に動かして「±」にしてください。その時点で使用しているギヤがドライバーディスプレイに表示されます。

- 一段シフトアップするには、ギヤセレクターレバーを「+」(プラス)へ前方に押して放します。
- 一段シフトダウンするには、ギヤセレクターレバーを「-」(マイナス)へ後方に押して放します。



ドライバーディスプレイのマニュアルギヤシフトモード[3]

このトランスミッションは、選択しているギヤの速度設定範囲を車速が下回ると、自動的にシフトダウンしてノッキングやストールを防ぎます。

オートマチックギヤシフトに戻すには、ギヤセレクターレバーをエンドポジションまで横に動かして D 位置にしてください。

関連情報

- ギヤセレクターインヒビター（p. 496）
- ステアリングホイールパドル*によるギヤチェンジ（p. 494）
- キックダウン機能（p. 497）
- ギヤシフトインジケーター（p. 498）

ステアリングホイールパドル*によるギヤチェンジ

ステアリングホイールパドルはギヤセレクターレバーを補完し、ステアリングホイールから手を離さずに手動でギヤを変えることができます。

ステアリングホイールパドルの起動

ステアリングホイールのパドルを使用してギヤチェンジを行うには、まずパドルを起動する必要があります。

– パドルのひとつを後方(ステアリングホイール側)に向かって引きます。
  › ドライバーディスプレイの数字は、現在のギヤを示しています。

ステアリングホイールパドルでギヤをシフトしているときの、ドライバーディスプレイ

[3] 図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

* オプション/アクセサリー。

ギヤポジション M の場合、ステアリングホイールパドルは自動的に起動します。

マニュアルギヤシフトモードで、ステアリングホイールパドルによりギヤをシフトしているときのドライバーディスプレイ

スイッチ

ギヤを一段変更するには：

– パドルのひとつを後方(ステアリングホイール側)に引いて放します。

1 「–」：ひとつ下のギヤを選択します。

2 「+」：ひとつ上のギヤを選択します。

エンジン回転速度が許容範囲内の場合は、パドルを引くとギヤチェンジが実行されます。

ギヤチェンジの度に、ドライバーディスプレイの数字が変わり、現在のギヤを表示します。

機能の解除

ギヤポジション D での手動解除

– ステアリングホイールパドルを解除するには、右側のパドル(+)をステアリングホイールの方向に引き、ドライバーディスプレイの現在のギヤを示す数字が消えるまでそのまま保持します。

自動解除

ギヤポジション D では、ステアリングホイールパドルを使用しないと、間もなくオフになります。現在のギヤを示す数字が消えて、オフになったことを示します。エンジンブレーキ中は例外です。エンジンブレーキがかかっている間、パドルは使用可能な状態を維持します。

ギヤポジション M では、自動解除の機能はありません。

関連情報

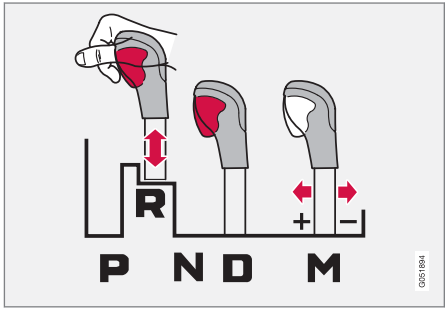
- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 493）
- ギヤシフトインジケーター（p. 498）

ギヤセレクターインヒビター

ギヤセレクターインヒビターは、オートマチックトランスミッションでのギヤポジションの偶発的な変更を防止します。

ギヤセレクターインヒビターには、メカニカル式とオートマチック式の 2 つのタイプがあります。

メカニカルギヤセレクターインヒビター



ギヤセレクターレバーは、**N** 位置と **D** 位置の間で前後に自由に動かすことができます。それ以外の位置はロックされており、レバーにあるインヒビターボタンを押してロックラッチを解除します。

インヒビターボタンを押すと、レバーは **P** 位置、**R** 位置、**N** 位置、**D** 位置の間で前後に自由に動かすことができます。

オートマチックギヤセレクターインヒビター

オートマチックギヤセレクターインヒビターには、特別な安全装置があります。

パーキング位置 – P からの移動

P 位置以外のギヤポジションを選択するときには、イグニッション位置を **II** にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

ニュートラル位置 – N からの移動

ギヤセレクターレバーが **N** 位置で、車両が約 3 秒以上停止（エンジン回転とは関係なく）している場合、レバーは固定されます。

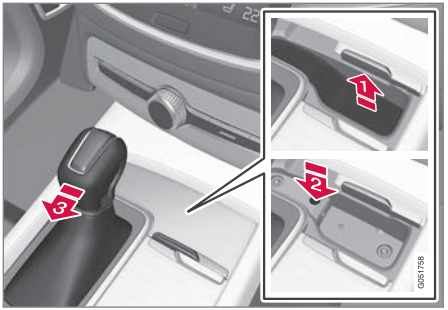
ギヤセレクターレバーを **N** 位置からほかの位置に動かすときには、イグニッション位置を **II** にして、ブレーキペダルを踏み込む必要があります。

関連情報

- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 493）
- オートマチックギヤセレクターインヒビターを解除する（p. 496）

オートマチックギヤセレクターインヒビターを解除する

車両に電源が供給されていない場合でも、オートマチックギヤセレクターインヒビターは解除することができます。



バッテリーの放電などが原因で車両を運転できない場合、車両を移動させるためには、ギヤセレクターレバーを **N** 位置にする必要があります。

1. ギヤセレクターレバーの正面部分にあるラバーマットを持ち上げます。底部にバネ式ボタンのある穴を確認します。
2. 小さいドライバーを穴に入れてボタンを押します。
3. ギヤセレクターレバーを **N** 位置に動かして、ボタンから小さいドライバーを離します。

4. ラバーマットを所定位置に戻します。

関連情報

- ギヤセレクターインヒビター（p. 496）
- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 493）

キックダウン機能

キックダウン[4]は追い越しなど、最大加速が必要なときに使用してください。

アクセルペダルをフロアの奥まで(通常、フルアクセルと思う位置よりもさらに深く)踏み込むと、ただちに低いギヤにシフトダウンします。これをキックダウンと呼びます。

アクセルペダルをキックダウン位置から戻すと、トランスミッションは再び自動的にシフトアップします。

安全機能

エンジンのオーバーレブを防止するために、トランスミッションコントロールプログラムには、ダウンシフトインヒビターが装備されており、キックダウン機能を制限しています。

トランスミッションは、エンジン回転速度が高いためにエンジンに損傷を与えるおそれがあるようなダウンシフト/キックダウンは許可しません。エンジン回転速度が高い状態では、この方法でシフトダウンしても、なにも起こりません。もともとのギヤがかみ合ったままとなります。

キックダウンすると、エンジン回転速度に応じて、ギヤ位置が 1 つ、または同時に複数シフトダウンします。エンジンがそのギヤでの最大エンジン回転数に達すると、エンジンの損傷を防止するためシフトアップします。

関連情報

- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 493）

[4] オートマチックトランスミッション車でのみ使用できます。

ギヤシフトインジケーター

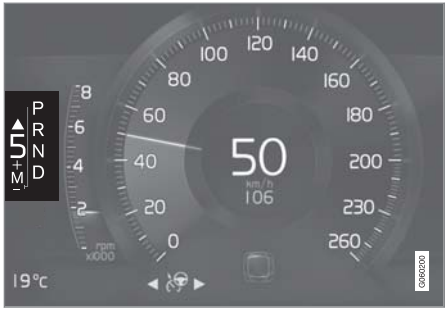
ドライバーディスプレイのギヤシフトインジケーターは、マニュアルギヤシフト時の現在のギヤを表示します。また、最適な燃費を実現するギヤシフトのタイミングも表示します。

マニュアルギヤシフト時にエコドライブを実践するには、適切なギヤで走行することとギヤを適切なタイミングでシフトすることが重要です。

オートマチックトランスミッション車[5]

ギヤシフトインジケーターは、ドライバーディスプレイに現在のギヤを表示し、シフトアップが推奨されるときに上向きの矢印を表示します。

12 インチドライバーディスプレイ*のギヤシフトインジケーター



8 インチドライバーディスプレイのギヤシフトインジケーター

マニュアルトランスミッション車

上向きの矢印は、高いギヤへシフトすることを、下向きの矢印は低いギヤへシフトすることを推奨しています。

12 インチドライバーディスプレイ*のギヤシフトインジケーター

8 インチドライバーディスプレイのギヤシフトインジケーター

[5] 特定市場に適用

関連情報

- オートマチックトランスミッションのギヤポジション（p. 493）
- マニュアルトランスミッション（p. 492）

AWD（全輪駆動車）*

全輪駆動車 AWD(All Wheel Drive)では、車両の 4 輪すべてに同時に駆動力がかかります。

トラクション性能を最大限に引き出すため、駆動力を自動的に分配して最適なグリップ力が得られるようにします。システムは後輪のトルクの必要性を計算し続け、最大でモーターのトルクの半分をすぐに後輪に再分配することができます。

全輪駆動には高速走行での安定効果もあります。通常の走行状況では、駆動力の大半が前輪に分配されます。停車しているときは、加速時の最大トラクションに備えて、かならず全輪駆動の状態になります。

全輪駆動の特性は、選択したドライブモードによって異なります。

関連情報

- ドライブモード*（p. 499）
- トランスミッション（p. 491）

ドライブモード*

ドライブモードを選択すると、走行特性が変化して、ドライビングエクスペリエンスが向上し、特殊な状況で走行しやすくなります。

ドライブモードを使用すると、さまざまなドライビングニーズに応じて多くの機能や設定を素早く利用することができます。以下のシステムは、個々のドライブモードで走行性能を最大限に引き出せるように調整されています。

- ステアリング
- エンジン/トランスミッション[6]/全輪駆動*
- ブレーキ
- 衝撃吸収
- ドライバーディスプレイ
- Start/Stop 機能
- エアコンディショナー機能

現在の走行条件にもっとも適したドライブモードを選択してください。状況に応じて選択できないドライブモードがあることに注意してください。

[6] オートマチックトランスミッション車に適用されます。

選択可能なドライブモード

COMFORT

- これは車両の通常モードです。

始動するとき、車両はComfortモードで、Start/Stop機能がオンになります。この設定では、車両を快適に感じ、ステアリングが軽く、衝撃吸収がやわらかくて、車体の動きが滑らかです。

二酸化炭素排出量については、このモードで認証を受けています。

ECO

- Ecoモードでは、エネルギー効率の高い、環境に配慮した走行向けに車両が調整されます。

このドライブモードを使用すると、例えば、Start/Stop機能がオンになり、一部のエアコンディショナー設定の出力が低減されます。

ドライバーディスプレイには、燃料効率のよい運転を促すECOゲージが表示されます。

DYNAMIC

- Dynamicモードの場合、車両はよりスポーティな特性を持ち、加速に対し迅速に反応します。

ギヤチェンジが高速化してはっきり認識できるようになり、トランスミッションはトラクションの大きいギヤを優先します。

ステアリング応答が速くなり、衝撃吸収が硬めになって[7]、車体が道路に追従し、コーナリング時のロールが低減します。

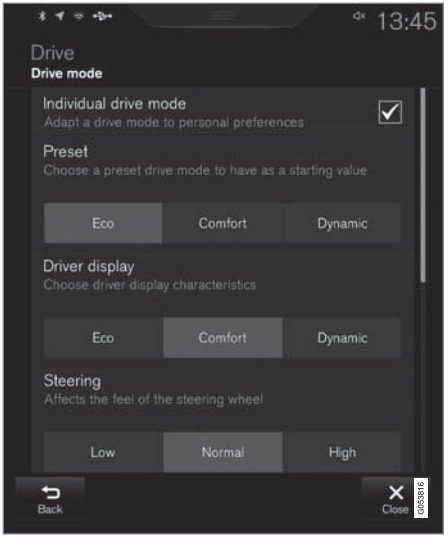
Start/Stop機能はオフになります。

INDIVIDUAL

- 個人の好みに応じてドライブモードが調整されます。

最初に基本のドライブモードを選択してから、好みの走行特性に応じて設定を調節してください。これらの設定は使用中の運転者プロフィールに保存され、同じリモートコントロールキーで車両をロック解除するたびに使用可能になります。

独自のドライブモードは、最初にセンターディスプレイで有効にした場合にのみ利用できます。



独自のドライブモードの設定ビュー[8]

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car** ➔ **ドライブモード** の順にタップして、**ドライブモード** を選択します。

[7] Four-Cに適用されます。
[8] 図は概略図です。詳細は、車両モデルまたはソフトウェアのアップデートにより異なる場合があります。

3. **プリセット** で、**エコ**、**コンフォート**、**ダイナミック** の中から、最初のドライブモードを選択します。

   選択に応じて、以下の設定を調節します。

   - **メーター**
   - **ステアリングパワー**
   - **パワートレイン**
   - **ブレーキ特性**
   - **サスペンション制御**
   - **ECO 温度調整**
   - **Start/Stop**

関連情報

- ドライブモード*の変更 (p. 501)
- ECO ドライブモード (p. 502)
- 経済走行 (p. 511)
- Start/Stop 機能 (p. 504)
- AWD (全輪駆動車)* (p. 499)
- 運転者プロフィール (p. 173)

ドライブモード*の変更

現在の走行条件にもっとも適したドライブモードを選択してください。

センターコンソールのコントロールボタンを使用して、ドライブモードを変更します。

状況に応じて選択できないドライブモードがあることに注意してください。

ドライブモードの変更方法：

1. ドライブモードコントロールの **DRIVE MODE** を押します。
   > センターディスプレイにポップアップメニューが開きます。
2. ホイールを上または下に回して、設定したいドライブモードを選択します。
3. ドライブモードコントロールを押すか、タッチスクリーンに直接タッチして選択を確定します。
   > 選択したドライブモードはドライバーディスプレイに表示されます。

ポップアップメニューのドライブモードがグレーアウトしているときは、選択できません。

関連情報

- ドライブモード* (p. 499)
- 機能ボタンによる ECO ドライブモードのオン/オフ (p. 504)

ECO ドライブモード

Eco ドライブでは、燃料効率に優れ、環境に優しい運転ができるように車両の走行特性が最適化されます。

このドライブモードを使用すると、燃料の節約と環境の保護につながります。

以下の特性が、ECO 走行向けに調整されます。

- トランスミッションでのシフトポイント[9]
- エンジンマネジメントおよびアクセルペダルのレスポンス
- 車速が 65～140 km/h (40～87 mph)のときにアクセルペダルから足を離すと、Eco Coast[9] フリーホイール機能が作動し、エンジンブレーキが解除される。
- エアコンディショナーシステムの一部の機能が低出力で作動する、またはオフになる。
- ドライバーディスプレイが、環境に優しく、燃料効率のよい運転を促す情報を ECO ゲージに表示する。

フリーホイール機能 Eco Coast[9]

フリーホイール機能 Eco Coast では、エンジンブレーキが解除され、代わりに車両の運動エネルギーを惰性走行に使用して、惰性走行の距離を伸ばします。運転者がアクセルペダルから足を離すと、トランスミッションとエンジンの接続が自動的に切り離され、エンジン回転数がアイドリング回転数まで低下し、燃料消費量が減少します。

この機能は、前方に制限速度の低い区間があり減速が予想される状況や、緩やかな下り坂で長時間惰性走行できる場合に最適です。

フリーホイール機能の起動

以下の条件が満たされているときに、アクセルペダルから完全に足を離すと、機能が起動します。

- Eco ドライブモードが起動している。
- ギヤセレクターレバーが **D** 位置にある。
- 速度が約 65-140 km/h (40-87 mph)の範囲内である。
- 下り坂の場合、勾配が約 6%以下である。

フリーホイール機能を使用しているときには、ドライバーディスプレイに **COASTING** と表示されます。

機能の限界

以下の場合、フリーホイール機能は使用できません。

- エンジンとトランスミッションの両方、またはどちらか一方が通常作動温度ではない。
- ギヤセレクターレバーを **D** 位置およびマニュアル位置から動かした。
- 速度が約 65-140 km/h (40-87 mph)の範囲から外れている。
- 下り坂で勾配が約 6%を超えている。
- ステアリングホイールパドル*を使用して、マニュアルギヤチェンジを行った。

フリーホイール機能の解除およびオフ

状況によっては、機能を一時的に解除またはオフにしてエンジンブレーキを使用する方が望ましい場合があります。例えば、急勾配の下り坂を走行する場合や追い越し操作の直前などは、機能を解除した方が安全に運転できる可能性が高くなります。

フリーホイール機能を解除するには、以下の操作を行ってください。

- アクセルペダルまたはブレーキペダルを踏み込みます。
- ギヤセレクターレバーをマニュアルポジションにします。
- ステアリングホイールパドルでギヤチェンジします*。

フリーホイール機能をオフにするには、以下の操作を行ってください。

- ドライブモード*を変更するか、機能ビューで Eco ドライブモードをオフにします。

[9] オートマチックトランスミッション車のみ。

フリーホイール機能がない場合でも、短い距離であれば惰性走行することができます。その場合も燃料消費量は減ります。ただし、フリーホイール機能をオンにして、長距離の惰性走行を可能にした方が、燃費性能を最大限に引き出すことになります。

クルーズコントロール Eco Cruise

Eco ドライブモードでクルーズコントロールを使用すると、ほかのドライブモードのときよりも車両の加速と減速がゆるやかになり、燃料の節約を可能にします。このため、車両の速度が設定速度を少し上回る、または少し下回ることがあります。

- 滑らかな路面では、クルーズコントロールが作動しているときに車両が惰性走行すると、車両の速度が設定速度から逸脱することがあります。
- 急な上り坂では、車両の速度が低下し、シフトダウンした[9]時点でひかえめに加速が始まって、設定速度が実現されます。
- 車両が惰性走行する下り坂では、車両の速度が設定速度を少し上回る、または下回ることがあります。この機能は、設定速度を維持するために通常のエンジンブレーキを使用し、必要に応じてフットブレーキも使用されます。

ドライバーディスプレイの ECO ゲージ

12 インチドライバーディスプレイ*の ECO ゲージ

8 インチドライバーディスプレイの ECO ゲージ

ECO ゲージは、どれだけ燃料効率のよい運転をしているかを示します。

- 燃料効率のよい運転をしている場合、このゲージは低い値を示し、指針が緑色の範囲内にあります。
- 急ブレーキや急加速など、燃料効率の悪い運転をしている場合、ゲージは高い値を示します。

ECO ゲージには、標準的な運転者なら同じ走行条件でどのように運転するかを示すインジケーターもあります。このインジケーターはゲージの短いポインターで表示されます。

ECO エアコンディショナー

Eco ドライブモードでは、エネルギー消費を減らすために、車内で ECO エアコンディショナーが自動的にオンになります。

注意

ECO 機能をオンにすると、エアコンディショナーシステムの設定のいくつかのパラメーターが変更され、一部の電力消費機器の機能が制限されます。一部の設定は手動でリセットできますが、すべての機能を回復させるためには、ECO 機能をオフにするか、またはエアコンディショナーの全機能が作動するように **Individual*** ドライブモードを調整する必要があります。

[9] オートマチックトランスミッション車のみ。

曇りが発生して運転に支障がある場合、最大デフロスターのボタンを押してください。この機能は通常どおりに動作します。

関連情報

- ドライブモード*の変更（p. 501）
- 機能ボタンによるECOドライブモードのオン/オフ（p. 504）
- ドライブモード*（p. 499）
- 経済走行（p. 511）
- Start/Stop機能（p. 504）

機能ボタンによるECOドライブモードのオン/オフ

トンネルコンソールにドライブモードコントロールが装備されていない限り、センターディスプレイの機能ビューにEcoドライビングモードの機能ボタンがあります。

ECOモードは、エンジンを停止するとオフになります。そのため、エンジンを始動するたびにオンにする必要があります。この機能がオンのときには、ドライバーディスプレイに **ECO** と表示されます。

センターディスプレイの機能ビューでEcoドライブモードを選択する

- **ドライビング モード ECO** ボタンを押して機能をオンまたはオフにします。

> この機能がオンになると、ボタンのインジケーターが点灯します。

関連情報

- ECOドライブモード（p. 502）
- ドライブモード*の変更（p. 501）
- ドライブモード*（p. 499）

Start/Stop機能

Start/Stop機能を使用すると、赤信号や渋滞で停車したときにエンジンが一時的に停止し、走行を再開するときに自動的に始動します。

Start/Stop機能は燃料消費量を低減し、排出ガスの低減に貢献します。

このシステムは、可能な場合にエンジンをオートストップさせることにより、環境に配慮した運転スタイルを身につけることができるようにします。

関連情報

- Start/Stop機能の使用（p. 505）
- Start/Stop機能の条件（p. 507）
- ドライブモード*（p. 499）

* オプション/アクセサリー。

Start/Stop 機能の使用

Start/Stop 機能は、停車時にエンジンを一時的に停止し、走行を継続するときに自動的に再始動します。

Start/Stop 機能は、車両の始動時に使用できる機能で、特定の条件が満たされているときに作動させることができます。この機能が使用できるかどうか、または使用中かどうかはドライバーディスプレイに表示されます。

エンジンがオートストップしたときでも、車両の標準システム(照明、ラジオなど)は通常通りに作動します。ただし、一部の装備品は一時的に出力が制限されます(エアコンディショナーのファン速度やオーディオシステムの大音量など)。

オートストップ

エンジンのオートストップが機能するには、以下の条件が整っている必要があります。

オートマチックトランスミッション車

- フットブレーキを使用して車両を停止し、足をブレーキペダルに載せたままにしてください。エンジンがオートストップします。

マニュアルトランスミッション車

- クラッチペダルを踏んで、セレクターレバーをニュートラル位置に動かして、クラッチペダルから足を離してください。エンジンが自動的に停止します。

Eco または Comfort[10] ドライブモードの場合、完全に停車する前にエンジンがオートストップすることがあります。

アダプティブクルーズコントロールまたは Pilot Assist 機能がオンになっている場合、エンジンは約 3 秒後にオートストップします。

オートスタート

エンジンがオートスタートするためには、以下の条件を満たす必要があります。

オートマチックトランスミッション車

- ブレーキペダルから足を離します。エンジンがオートスタートし、走行を再開することができます。上り坂ではヒル・スタート・アシスト(HSA)が作動し、車両の後退を防止します。
- Auto Hold 機能が作動すると、アクセルペダルが踏み込まれるまでオートスタートが先延ばしされます。
- アダプティブクルーズコントロールまたは Pilot Assist 機能が作動すると、アクセルペダルを踏み込んだとき、またはステアリングホイール左側のステアリングリモコンの ボタンを押したときにエンジンがオートスタートします。
- ブレーキペダルを踏んだまま、アクセルペダルを踏み込んでください。エンジンがオートスタートします。
- 下り坂の場合：車両が動き始めるようにブレーキペダルの踏み込みを少しゆるめてください。少し速度が上昇した後、エンジンはオートスタートします。

マニュアルトランスミッション車

- セレクターレバーがニュートラル位置にあるときに:クラッチペダルあるいはアクセルペダルを踏み込んでください。エンジンが始動します。
- 下り坂の場合：車両が動き始めるようにブレーキペダルの踏み込みを少しゆるめてください。少し速度が上昇した後、エンジンはオートスタートします。

10 通常のスタートモード。

ドライバーディスプレイのシンボル

12 インチドライバーディスプレイ*装備車

- 機能を使用できる場合、タコメーターに **READY** と表示されます。
- 機能が動作中でエンジンがオートストップしている場合、タコメーターの指針が **READY** を指します。
- 機能を使用できない場合、**READY** はグレー表示されます。
- 機能が解除されている場合、なにも表示されません。

機能が動作中で、エンジンがオートストップしています。

8 インチドライバーディスプレイ装備車

シンボルはスピードメーターの下端に表示されます。

シンボル	意味
	白色のシンボル：機能を使用できます。
	ベージュ色のシンボル：機能が動作中で、エンジンがオートストップしています。
	機能を使用できません。条件が満たされていません。
	機能が解除されている場合、シンボルはまったく表示されません。

関連情報

- Start/Stop 機能の一時解除（p. 506）
- Start/Stop 機能の条件（p. 507）
- Start/Stop 機能（p. 504）
- 坂道発進の補助（p. 491）
- 停車時のオートブレーキ（p. 489）

Start/Stop 機能の一時解除

状況によっては、Start/Stop 機能を一時的に解除することが望ましい場合があります。

Start/Stop 機能の解除は、ガソリンエンジン搭載車両でのみ可能です。

解除するには、センターディスプレイの機能ビューの **Start/Stop** 機能ボタンを使用してください。機能がオフになると、ボタンのインジケーターが消灯します。

機能は以下の操作が行われるまでオフになります。

- 再度オンにする
- ドライブモードを Eco または Comfort にする
- 車両を始動しなおす

関連情報

- Start/Stop 機能の使用（p. 505）
- Start/Stop 機能の条件（p. 507）

＊ オプション/アクセサリー。

Start/Stop 機能の条件

Start/Stop 機能が作動するためには、多くの条件を満たす必要があります。

満たされていない条件が 1 つでもある場合、ドライバーディスプレイで通知されます。

エンジンがオートストップしない

以下の場合、エンジンはオートストップしません。

- 始動後に車速が約 10 km/h (6 mph)に到達していないとき。
- オートストップが特定の回数に達し、次にオートストップする前に車速が約 10 km/h (6 mph)を再度超える必要があるとき。
- 運転者がシートベルトを着用していないとき。
- メインバッテリーの容量が最低許容レベルを下回っているとき。
- エンジンが通常の作動温度に達していないとき。
- 外気温が-5 ℃ (23 °F)未満、または約 30 ℃ (86 °F)を超えているとき。
- ウインドスクリーンの電熱機能が作動しているとき。
- 空調が設定値と異なっているとき。
- 車両が後退しているとき。
- メインバッテリーの温度が許容範囲から外れているとき。
- 運転者がステアリングホイールを大きく動かしたとき。
- 道路の勾配が非常に急であるとき。
- ボンネットが開いているとき。
- 高地の走行時にエンジンが作動温度に達していないとき。
- ABS システムが作動したとき。
- 急ブレーキをかけたとき(ABS システムが作動していない場合でも)。
- 短時間に多くの始動を行ったためにスターターモーターの熱保護機能が作動したとき。
- エキゾーストシステムのディーゼル微粒子除去フィルターがいっぱいのとき [11]。
- 車両の電気系統にトレーラーが電気的に接続されているとき。

以下はオートマチックトランスミッション車に適用されます。

- トランスミッションが通常の作動温度に達していないとき。
- ギヤセレクターレバーが M (±)の位置にあるとき。

エンジンがオートスタートしない

以下の状況では、オートストップ後もエンジンがオートスタートしません。

オートマチックトランスミッション車：

- 運転者がシートベルトを着用しておらず、ギヤセレクターレバーが P 位置で運転席ドアが開いているとき。この場合、通常の始動手順を実施する必要があります。

マニュアルトランスミッション車：

- 運転者がシートベルトを着用していない。
- クラッチペダルを踏まずにギヤを入れた。

不意の停止(マニュアルトランスミッション車)

始動に失敗し、エンジンが停止した場合には、以下の手順に従ってください。

1. 運転席のシートベルトがシートベルトバックルに固定されているか確認してください。
2. クラッチペダルをもう一度踏み込んでください。エンジンが自動的に始動します。
3. 場合によっては、セレクターレバーをニュートラル位置にすることが必要です。ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。推奨される指示に従ってください。

[11] ディーゼル車に適用されます。

ブレーキペダルから足を離していないのにエンジンがオートスタートする

以下のような状況では、運転者がブレーキペダルから足を離さなくても、エンジンがオートスタートします。

- 車内の湿度が高いためにウインドに曇りが発生するとき。
- 空調が設定値と異なっているとき。
- 一時的に電流消費量が増加しているときや、メインバッテリー容量が最低許容レベルを下回ったとき。
- ブレーキペダルを何度も踏み込んだとき。
- ボンネットが開いているとき。
- 車両が動き始めたとき、または、車両が完全に静止することなくオートストップした場合に速度が少し上昇したとき。

以下はオートマチックトランスミッション車に適用されます。

- ギヤセレクターレバーが **D** または **N** の位置にあるときに運転席のシートベルトバックルを外したとき。
- ギヤセレクターレバーを **D** 位置から **R** 位置または **M** (±)に動かしたとき。
- ギヤセレクターレバーが **D** の位置にあるときに運転席ドアを開けたとき。「ピーン」という音とディスプレイテキストにより、イグニッションがオンであることがわかります。

⚠ 警告

エンジンがオートストップした状態では、ボンネットを開けないでください。ボンネットを開ける前に、通常の方法でエンジンを停止してください。

関連情報

- Start/Stop 機能 (p. 504)
- Start/Stop 機能の使用 (p. 505)
- Start/Stop 機能の一時解除 (p. 506)

オートレベライザー*および衝撃吸収

オートレベライザーと衝撃吸収は、車両で自動的に制御されます。

オートレベライザーを使用すると、荷重の大きさにかかわらず、リアを同じ高さに保ちます。オートレベライザーは、車両が駐車された後でも作動することができます。

衝撃吸収(Four-C)

衝撃吸収は選択したドライブモードと車速に応じて調整されます。通常、衝撃吸収は快適性重視で設定され、路面状態、加速、ブレーキおよびコーナリングに応じて連続的に制御されます。

輸送時

車両をフェリー、列車またはトラックで輸送する場合、車両はタイヤの周りにロープをかけて固定する必要があります。シャシのほかの部分にはロープをかけないでください。輸送中にエアサスペンションが変化して、固定状態に悪影響をおよぼす可能性があります。

ドライバーディスプレイのシンボルおよびメッセージ

シンボル	メッセージ	意味
	ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ **ユーザーにより停止**	アクティブサスペンションはユーザーによって手動でオフにされています。
	ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ **一時的に性能低下**	システムの使用過多により、アクティブサスペンションの性能が一時的に低下しています。このメッセージが頻繁(週に数回など)に表示される場合は、サービス工場[A]までお問い合わせください。
	ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ **販売店に お問い合わせ下さい**	不具合が発生しています。すみやかにサービス工場[A]にご連絡ください。

シンボル	メッセージ	意味
	ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝの不具合 **安全に 停車して下さい**	重大な不具合が発生しています。安全に停止して、サービス工場[A]まで車両をけん引してください。
	ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ **減速して下さい 車高が高すぎます**	不具合が発生しています。このメッセージが走行中に表示された場合は、サービス工場[A]にご連絡ください。
	ｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ **自動調整 車両レベル**	リアアクスルのオートレベライザーを目標の高さに調整中です。

A ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

関連情報

- オートレベライザー*の設定（p. 511）
- ドライブモード*（p. 499）

オートレベライザー*の設定

ジャッキで車両を持ち上げるときには、自動制御に問題が発生しないようにオートレベライザーをオフにしてください。

センターディスプレイの設定

レベリング制御の解除

状況により、機能の解除が必要になることがあります。車両をジャッキ*で持ち上げる場合などが該当します。ジャッキで持ち上げるときに車高に差が生じると、自動制御が車高の調節を開始し、悪影響をもたらすことになります。

センターディスプレイを使用して機能をオフにする

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷおよびｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ** をタップします。
3. **レベリング制御の解除** を選択します。

関連情報

- オートレベライザー*および衝撃吸収 (p. 509)
- 荷物の積み込みに関する推奨事項 (p. 640)

経済走行

先を予測して、運転スタイルと速度をそのときどきの交通状況に合わせながらスムーズに運転することで、より環境に優しい、経済的な走行をすることができます。

以下の点に注意してください。

- 燃料消費量をさらに低く抑えるために、Eco ドライブモードをオンにしてください。
- Eco ドライブモードで Eco Coast フリーホイール機能を使用すると、エンジンブレーキが解除され、車両の運動エネルギーを惰性走行に使用して、惰性走行の距離を伸ばします[12]。
- マニュアルギヤチェンジを使用しているときは、走行条件に合わせ、できるだけ高いギヤで走行してください。エンジン回転が低ければ、燃料消費量も少なくなります。ギヤシフトインジケーターを使用してください[13]。
- 一定の速度で走行し、ほかの車両や障害物との間に十分な距離を確保して、ブレーキ操作を最小限に抑えてください。
- 高速走行では、燃料消費量が増加します。速度が速くなると、空気抵抗が大きくなります。
- トリップコンピューターの瞬間燃料消費量表示は、より経済的な運転に役立つ可能性があります。
- エンジンが暖機されるまでアイドリングを続けるより、始動後すみやかに発進し、通常の負荷で運転してください。エンジンは、冷えているときの方が暖まっているときよりも多くの燃料を消費します。
- 可能であれば、短距離の移動に車両を使用することをひかえてください。短時間の走行ではエンジンが通常作動温度に達しないため、燃料消費量の増加につながります。
- ほかの道路使用者に支障を与えない場合は、エンジンブレーキを有効に使用して減速してください。
- 正しいタイヤ空気圧で走行し、空気圧は定期的に点検してください。最適な結果を得るために、ECO タイヤプレッシャーを選択してください。
- 使用するタイヤにより、燃費が変わります。適切なタイヤに関する情報は、ディーラーにお問い合わせください。
- 不必要な荷物は車両から取り出してください。荷物が多いほど、燃料消費も多くなります。
- ルーフ上にスペースボックスや荷物などを載せて走行すると、風の抵抗が大きくなり、

12 オートマチックトランスミッション車に適用されます。
13 特定市場に適用

燃料消費量が増加します。使用していないロードキャリアは取り外してください。

- 不必要に、パワーウインドを開けて走行しないでください。

⚠ 警告

下り坂走行時などであっても、車が動いている間はけっしてエンジンを停止しないでください。パワーステアリングやブレーキサーボといった重要なシステムが作動しなくなります。

関連情報

- Drive-E – さらにクリーンに走る喜びを (p. 30)
- ECO ドライブモード (p. 502)
- タイヤ空気圧の点検 (p. 608)

長距離走行の準備

休日のドライブまたはその他の長距離走行の前には、車両の機能および装置を特に入念に点検することが重要です。

以下の点を確認してください。

- エンジンが正常に作動し、燃料消費量が通常通りであること
- 燃料、オイル、その他のフルードなどが漏れていないこと
- 制動中の制動力が最適であること
- すべてのランプが正常に機能していること。車両に重い荷物を積載しているときは、ヘッドライトの光軸を調整すること。
- タイヤの溝の深さと空気圧が十分であること。雪道または凍結路を走行する可能性がある場所へ出かける場合、ウインタータイヤに交換すること。
- メインバッテリーが十分に充電されていること
- ワイパーブレードが良好な状態であること
- 三角警告板(停止表示板)と反射ベストを車内に携行していること(一部の国では法律で義務づけられています)

関連情報

- タイヤ空気圧の点検 (p. 608)
- 燃料消費量および CO_2 排出量 (p. 729)
- ウォッシャー液リザーバータンク (p. 711)
- 冬季の運転 (p. 513)
- 経済走行 (p. 511)
- カーモデムの設定 (p. 588)
- 荷物の積み込みに関する推奨事項 (p. 640)
- トレーラーなどのけん引 (p. 532)
- Pilot Assist (p. 370)
- 速度リミッター (p. 335)
- 緊急パンクリペアーキット (p. 625)

冬季の運転

冬季の運転では、安全な走行を実現するために、いくつかの車両点検を行うことが重要です。

冷寒時は、特に次の点に注意してください。

- 50%のグリコールを含んだクーラントを使用してください。このクーラントは約-35 ℃(-31 °F)までエンジンを凍結から保護します。健康上のリスクを防ぐため、種類の異なるグリコールは混合しないでください。
- 凝結水が発生しないように、燃料タンクを満タンにしてください。
- エンジンオイルの粘度は非常に重要です。粘度の低いオイル(やわらかいオイル)を使用すると冷寒時にエンジンが始動しやすくなり、またエンジンが暖機されるまでの燃料消費量が低減されます。

重要

過酷な条件下で走行するときや、気温が高いときは、粘度の低いオイルは絶対に使用しないでください。

- メインバッテリーの状態および充電レベルを、かならず点検してください。冷寒時はメインバッテリーに大きな負担がかかり、容量が低下します。
- ウォッシャー液リザーバータンクの凍結を防ぐため、不凍液入りのウォッシャー液を使用してください。

スリップしやすい路面での運転

降雪や路面凍結のおそれがあるときは、ロードホールディングを最適化するため、ボルボ社ではすべての車輪へのウインタータイヤの装着をお薦めします。

注意

一部の国では、ウインタータイヤの使用が法律によって義務付けられています。一部の国では、スタッドタイヤの使用が禁止されています。

スリップしやすい路面での運転を体験してください。安全で、なおかつスリップしやすい場所を選んで運転し、車両がどのような動きをするか体験してください。

関連情報

- ウインタータイヤ（p. 623）
- タイヤチェーン（p. 624）
- 融雪剤が散布された路面でのブレーキ操作（p. 485）
- 濡れた路面でのブレーキ操作（p. 485）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 711）
- バッテリー（p. 676）
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換（p. 709）
- リアウインドワイパーブレードの交換（p. 707）
- クーラントの補充（p. 666）
- エンジンオイルに対して過酷な走行条件（p. 725）

水たまりでの運転

水たまりでの運転とは、冠水した道路上の深い水たまりを通る走行を意味します。水たまりを走行する際は、十分な注意が必要です。

水深 25 cm (9 インチ)までの水たまりであれば、歩行速度程度の速さで通過することができます。水が流れている場所を通過するときは、特に慎重に運転してください。

水たまりを走行するときは、低速を維持し、車両を停止させないでください。水たまり通過後、ブレーキペダルを軽く踏み、ブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキシステムが濡れたり泥が付着すると、ブレーキが効くまでの時間が長くなるおそれがあります。

- 水たまりなどを走行した後は、必要に応じてエレクトリックヒーターおよびトレーラーカップリングのコネクターを清掃してください。
- ドアシルに届くほどの深い水たまりに、長い間停車しないでください。電気装置の故障の原因となるおそれがあります。

重要

- エアフィルターに水が入ると、エンジンが損傷するおそれがあります。
- トランスミッションに水が入ると、オイルの潤滑性能が低下し、関連システムの寿命が短くなります。
- コンポーネント、エンジン、トランスミッション、ターボチャージャー、ディファレンシャル、またはその内部コンポーネントが洪水、静水ロック、またはオイル不足により損傷した場合、保証は適用されません。
- 深い水たまりの中でストールしたときは、エンジンを再始動しないでください。車両をけん引して、水たまりから外に出して、ボルボ指定のサービス工場に搬送してください。エンジン故障の危険があります。

関連情報

- 車両移動 (p. 539)

燃料給油口フラップの開閉

燃料給油口フラップを開くには、車両をロック解除しておく必要があります [14]。

ドライバーディスプレイでは、タンクシンボルの横にある矢印が車両のどちら側に燃料給油口フラップがあるかを示しています。

1. 燃料給油口フラップの後部を軽く押して、フラップを開けます。
2. 給油が完了したら、フラップを軽く押して閉めます。

関連情報

- 燃料の補給 (p. 515)
- AdBlue®の点検と補充 (p. 521)

[14] リモートコントロールキー、キーレスまたは Volvo On Call でのロックおよびロック解除のみが燃料給油口フラップの状態に影響します。

燃料の補給

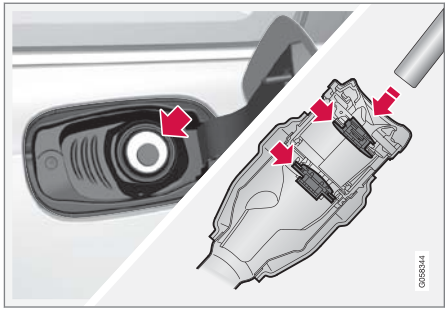
燃料タンクには、給油キャップのない燃料給油口システムが取り付けられています。

ガソリンスタンドでの給油

重要

- ディーゼルエンジン搭載車にディーゼル以外の燃料を補給しては絶対にいけません。
- ガソリンエンジン搭載車にガソリン以外の燃料を補給しては絶対にいけません。
- 指定グレードの燃料を使用してください。

誤った燃料を少量でも使用すると、燃料系統やエンジンが損傷するおそれがあります。



給油は以下の方法で行います。

1. 車両をオフにして、燃料給油口フラップを開けます。
2. 車両への使用が承認されている燃料を使用してください。承認されている燃料の詳細については、「ガソリン」および「ディーゼル」のそれぞれの項を参照してください。
3. ポンプのノズルを燃料給油口に差し込みます。フィラーパイプには、開く 2 つのフラップがあります。かならず両方のフラップの奥までポンプのノズルを押し入れてから、給油を開始してください。
4. 燃料タンクに燃料を入れすぎないように注意してください。給油機が最初に自動停止した時点で、給油をやめてください。
   > 燃料は満タンです。

注意

過度に給油すると、気温の高いときはタンク内の燃料が膨張して漏れ出すおそれがあります。

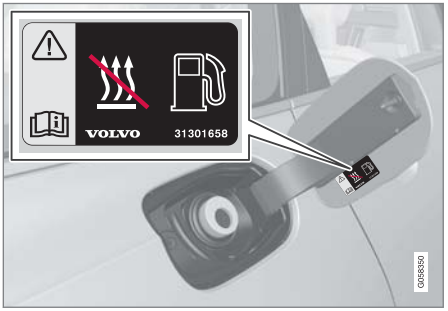
燃料容器から燃料を補給する

燃料容器を使用して補給する場合、トランクルーム/カーゴスペースのフロアハッチ下のフォームブロックにある漏斗を使用してください。

1. 燃料給油口フラップを開けます。
2. 漏斗を燃料給油口に差し込みます。フィラーパイプには、開く 2 つのフラップがあります。かならず両方のフラップの奥まで漏斗のパイプを押し入れてから、給油を開始してください。

フューエルドリブンヒーター*装備車に適用されます。

ガソリンスタンド付近では、絶対にフューエルドリブンヒーターを使用しないでください。



燃料給油口フラップの内側のラベル

関連情報

- 燃料給油口フラップの開閉（p. 514）
- ガソリン（p. 516）
- ディーゼル（p. 518）
- ディーゼルエンジン車のタンクが空になった場合（p. 519）

燃料の取り扱い

エンジン出力の低下や燃費の悪化を招くため、ボルボ社が指定するグレードに満たない燃料は使用しないでください。

⚠ 警告

燃料の微粒子を吸い込んだり、燃料の飛沫が目に入らないように、注意してください。

万が一、燃料の飛沫が目に入った場合、コンタクトレンズを使用している際はコンタクトレンズを取り出して、十分な流水で最低 15 分間目を濯いだ後、医師による診察を受けてください。

燃料は絶対に誤飲しないでください。ガソリン、バイオエタノール、これらの混合物およびディーゼル燃料は毒性が非常に強く、飲み込んだ場合、永久的な障害、あるいは死にいたるおそれがあります。万が一、燃料を飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 警告

地面にこぼれた燃料が、引火するおそれがあります。

給油する前に、フューエルドリブンヒーターのスイッチをかならずオフにしてください。

絶対に電源の入った携帯電話を携帯して燃料を補給しないでください。受発信の際の微弱な電流から出る火花により燃料蒸気に引火して、火災やヤケドを負うおそれがあります。

重要

異なるタイプの燃料を混合した場合や、推奨されていない燃料を使用した場合には、ボルボの保証およびその他のサービス契約はすべて無効になります。これは、どのエンジンにも当てはまります。

関連情報

- ガソリン（p. 516）
- ディーゼル（p. 518）
- AdBlue®の取り扱い（p. 521）

ガソリン

ガソリンはガソリンエンジン搭載車用のエンジン燃料です。

大手メーカーのガソリンのみを使用してください。品質が疑われるような燃料は、絶対に使用しないでください。ガソリンは、EN 228 または JIS K 2202 規格に適合している必要があります。

重要

- エタノール含有量が体積パーセントで 10%以下の燃料が使用できます。
- JIS K2202 E3、JIS K2202 E10 および EN 228 E10 ガソリン(体積パーセントで 10%以下のエタノール混合)は使用が許可されています。
- エタノールの混合率が E10(体積パーセントで 10%以下のエタノール混合)よりも高い燃料(例：E85)は使用が禁止されています。

オクタン価

- 通常の走行条件では、RON 95 以上を使用することができます。
- 性能を最適化し、燃料消費量を低減するため、RON 98 の使用をお薦めします。

外気温が+38 ℃（100 °F)以上の天候下で走行する場合は、性能を最適化して燃費をよくする

ため、もっとも高いオクタン価のガソリンを使用してください。

重要

- 触媒コンバーターが損なわれないよう、かならず無鉛ガソリンを使用してください。
- 金属添加物の含まれている燃料は使用しないでください。
- ボルボ社が推奨していない燃料添加剤は一切使用しないでください。

関連情報

- 燃料の取り扱い（p. 516）
- 燃料の補給（p. 515）
- ガソリン微粒子除去フィルター（p. 517）
- 燃料消費量および CO_2 排出量（p. 729）

ガソリン微粒子除去フィルター

ガソリン車両には、エミッションコントロールの効率を高めるために微粒子除去フィルターが装備されています。

通常の走行時、排出ガス中の粒子状物質がガソリン微粒子除去フィルターに集められます。通常走行時にパッシブ再生が行われ、粒子状物質は酸素が加わって完全に焼き尽くされます。フィルターはこのような仕組みで空になります。

寒冷時に低温始動を繰り返している場合や低速走行している場合、アクティブ再生が必要になることがあります。ディーゼル微粒子除去フィルターの再生は自動で行われ、通常 10〜20 分かかります。再生中には燃焼臭がすることがあります。

冷寒時にパーキングヒーター を使用すると、エンジンをより早く正常な作動温度にすることができます。

ガソリン車で短距離を低速走行する場合

ガソリン排出ガス浄化システムの能力は、車両の運転方法による影響を受けます。性能を最大限に引き出すためには、さまざまな速度である程度の距離を走行することが重要です。

低速で(または寒冷時に)短距離を走行する機会が多い場合、エンジンが通常作動温度に達しないことにより、問題が発生して、最終的に不具合が発生し、警告メッセージが表示されるおそれがあります。車両を主に市街地走行に使用する場合、やや高めの速度で運転する機会を定期的に設けて、ガソリン排出ガス浄化システムが再生できるようにすることが重要です。

- 給油から次の給油までの間に、60 km/h (38 mph)を超える速度で主要幹線道路を 20 分以上走行する必要があります。

関連情報

- ガソリン（p. 516）

ディーゼル

ディーゼルはディーゼルエンジン搭載車用のエンジン燃料です。

大手メーカーのディーゼル燃料のみを使用してください。品質が疑われるような燃料は、絶対に使用しないでください。EN 590、SS 155435、または JIS K 2204 規格に適合しているディーゼル燃料のみ使用してください。ディーゼルエンジンは、燃料の汚染(過剰な量の硫黄や金属など)に敏感です。

寒冷時(0 ℃(32 °F)未満)は、ディーゼル燃料の中にパラフィンが結晶または固体状成分として発生して、始動不良の原因となることがあります。販売されている燃料の品質は季節および気候帯により調整されていますが、極端な気象条件や古い燃料、異なる気候帯の移動が原因でパラフィンが析出することがあります。

タンク内の燃料の量が多ければ、凝結水の発生が防止できます。

給油時はフューエルフィラーパイプの周囲が汚れていないか点検してください。塗装面に燃料をこぼさないように注意してください。塗装面にこぼれた燃料は、洗剤と水を使用して洗い流してください。

重要

ディーゼル燃料の条件：

- EN 590、SS 155435 または JIS K 2204 規格に適合している
- 硫黄含有量が 10 mg/kg 以下である
- FAME[15] (B7)が 7 vol %以下である

重要

次のようなディーゼル燃料は、絶対に使用しないでください：

- 特殊な燃料添加剤
- 船舶用ディーゼル燃料
- 暖房用の油
- FAME[16] および植物油

これらの燃料はボルボ社の推奨基準に達しておらず、摩耗を早め、エンジンが損傷する原因になります。不正な燃料を使用したことが原因で発生した損傷には、ボルボ社の保証は適用されません。

関連情報

- 燃料の取り扱い（p. 516）
- 燃料の補給（p. 515）
- ディーゼルエンジン車のタンクが空になった場合（p. 519）
- ディーゼル微粒子除去フィルター（p. 519）
- AdBlue®による排出ガス制御（p. 520）
- 燃料消費量および CO_2 排出量（p. 729）

15 脂肪酸メチルエステル
16 FAME (B7)が 7 vol %以下のディーゼル燃料を使用できます。

ディーゼルエンジン車のタンクが空になった場合

燃料切れでエンジンがストールした場合には、燃料システムを点検する必要があります。

燃料タンクにディーゼル燃料を注入した後、エンジンを始動する前に以下の手順に従ってください。

1. リモートコントロールキーを車内に置いておく必要があります。
2. 車両をイグニッション位置 II にします。ブレーキペダル(マニュアルトランスミッション車の場合はクラッチペダル)を踏み込むことなくスタートノブを時計回りに回し、スタートノブをそのまま約 4 秒間保持します。ノブを放します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。
3. 約 1 分間待ちます。
4. エンジンを始動します。

注意

燃料が切れて、燃料を補給する前に：

- できる限り平坦な地面に停車してください。車両が傾いていると、燃料供給部分にエアポケットができる可能性が高くなります。

燃料容器から補給する場合の留意事項

燃料容器から補給する場合、トランクルーム/カーゴスペース内のフロアハッチの下にある漏斗を使用してください。漏斗をフィラーパイプにしっかりと差し込んでください。フィラーパイプには、開く 2 つのフラップがあります。かならず両方のフラップの奥まで漏斗のパイプを押し入れてから、給油を開始してください。

関連情報

- 燃料の補給（p. 515）
- ディーゼル（p. 518）
- ツールキット（p. 616）

ディーゼル微粒子除去フィルター

ディーゼル車両には、エミッションコントロールの効率を高めるためにディーゼル微粒子除去フィルターが装備されています。

通常の走行時、排出ガス中の粒子状物質がディーゼル微粒子除去フィルターに集められます。条件が満たされると、再生による粒子状物質の焼却が開始され、フィルターが空になります。再生を開始するには、エンジンが通常作動温度に達している必要があります。ディーゼル微粒子除去フィルターの再生は自動で行われ、通常 10～20 分かかります。

注意

再生中は、以下のような状況が発生する場合があります。

- 一時的にエンジン出力のわずかな減少が感じられる
- 燃費が一時的に上昇する
- 焦げたような臭いがする

冷寒時にパーキングヒーター*を使用すると、エンジンをより早く正常な作動温度にすることができます。

重要

フィルターに微粒子が詰まると、エンジンの始動が困難になる場合や、フィルターが機能しなくなる場合があります。この結果、フィルターの交換が必要になる場合があります。

ディーゼル車で短距離を低速走行する場合

ディーゼル排出ガス浄化システムの能力は、車両の運転方法による影響を受けます。性能を最大限に引き出すためには、さまざまな速度である程度の距離を走行することが重要です。

低速で(または寒冷時に)短距離を走行する機会が多い場合、エンジンが通常作動温度に達しないことにより、問題が発生して、最終的に不具合が発生し、警告メッセージが表示されるおそれがあります。車両を主に市街地走行に使用する場合、やや高めの速度で運転する機会を定期的に設けて、ディーゼル排出ガス浄化システムが再生できるようにすることが重要です。

- 給油から次の給油までの間に、60 km/h (38 mph)を超える速度で主要幹線道路を 20 分以上走行する必要があります。

関連情報

- ディーゼル (p. 518)
- AdBlue®による排出ガス制御 (p. 520)
- 燃料消費量および CO_2 排出量 (p. 729)

AdBlue®[17] による排出ガス制御

AdBlue は、ディーゼルエンジンによる有害物質を低減することを目的として SCR[18] システムで使用される添加剤です。

SCR システムでは、AdBlue および亜酸化窒素排出ガスが窒素と水蒸気に分解され、有害な亜酸化窒素の排出を大幅に低減します。

AdBlue

AdBlue は 32.5%の尿素[19] と脱イオン水で構成された無色の液体で、ISO 22241 規格に準拠して製造されています。ディーゼルエンジンの SCR 浄化技術向け専用に開発されています。

車両には AdBlue 専用タンクがあり、燃料給油口フラップの奥にある独立したフィラーパイプから補充します。消費量は走行スタイル、外気温およびシステムの作動温度により異なります。

AdBlue を使用した走行の条件

エンジンを始動する前に、かならず適切な品質の AdBlue がタンクに入っている必要があります。SCR システムは、汚染物質に大きく影響されます。

排気ガス制御システムは、AdBlue の残量、品質および投与量を継続的にモニタリングします。不具合が生じると、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。

重要

SCR システムの機能および排出ガスの法規制への対応のためには、AdBlue が必要です。排出ガスの法規制への対応で AdBlue が必要とされているときに AdBlue が減少しないように AdBlue 供給システムになんらかの変更または改変を加えることは違法です。そのような不正改造は刑事事件として起訴されるおそれがあります。

AdBlue なしでは排出ガス規制の法的要件を満たすことができなくなるため、AdBlue タンクが空の状態で車両を走行させることは許可されていません。したがって、車両には AdBlue の補充が必要なときに通知する警告システムが装備されています。AdBlue タンクの残量が低下してくると、警告が表示されて AdBlue の補充が必要であることを通知します。

関連情報

- AdBlue®の取り扱い (p. 521)
- AdBlue®の点検と補充 (p. 521)
- AdBlue®のシンボルおよびメッセージ (p. 524)

17 Ver-band der Automobilindustrie e.V. (VDA)が所有する登録商標です。

AdBlue®[20] の取り扱い

AdBlue は、主に水分で構成されています(約 67.5%の水および 32.5%の尿素)。この液体は非可燃性ですが、目や肌に炎症を与える可能性があるため、取り扱いには注意が必要です。

取り扱い上の注意

気化したものを吸い込んだり、肌や目に触れないようにしてください。液体を取り扱う際は、敏感肌への炎症を防止する手袋を着用することをお薦めします。

⚠ 警告

応急処置：

- 吸いこんだとき – 外に出て新鮮な空気を吸ってください。
- 皮膚についたとき – その部分を石けんと流水で洗い流してください。
- 目に入ったとき – ただちに大量の水で洗い流してください。
- 飲み込んだとき – 口を十分にすすいでください。嘔吐を促さないでください。

不快感が解消されない場合、または大量に飲み込んだ場合、医師の診察を受けてください。

こぼれた場合の対処

AdBlue が地面、車両、または塗装面にこぼれた場合は、水できれいに洗い流す必要があります。下水管には流さないでください。

保管

AdBlue は、密閉されたオリジナルの容器に入れて-11 ℃(12 °F)より高い温度、30 ℃(86 °F)未満の温度で保管してください。かならず直射日光の当たらない場所に保管してください。

AdBlue は-11 ℃(12 °F)で凍結しますが、溶かして再度使用できます。

関連情報

- AdBlue®の点検と補充 (p. 521)
- AdBlue®による排出ガス制御 (p. 520)

AdBlue®[21] の点検と補充

定期的に AdBlue の残量を点検し、AdBlue のレベルが低いことを示すメッセージがドライバーディスプレイに表示された場合は、補充してください。

ボルボ指定のサービス工場は車両の点検整備を行なう際に AdBlue を補充しますが、走行のスタイルに応じて次の点検整備までの間にも補充する必要があります。AdBlue タンクが完全に空になると、エンジンを始動することができなくなります。

ⓘ 注意

絶対に AdBlue タンクを空にしないでください。空になる前に早めにタンクに補給してください。

タンクが空になった場合、エンジンを停止すると、通常の方法または補助具の使用ではエンジンを再始動できなくなります。

走行中にタンクが空になった場合、再始動できるようにするためには、規定量の AdBlue を補給してドライバーディスプレイに最低限の量が表示されるようにする必要があります。

18 選択触媒還元
19 $CO(NH_2)_2$
20 Ver-band der Automobilindustrie e.V. (VDA)が所有する登録商標です。
21 Ver-band der Automobilindustrie e.V. (VDA)が所有する登録商標です。

AdBlue レベルの点検

1.

アプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。

2.

ステータス をタップして、AdBlue レベルを表示します。

センターディスプレイに表示される AdBlue のグラフィック

各カーソルは、タンクの容量の約 25%を表します。

残量がタンクの 25%未満になると、残っているカーソルの色が黄色に変わり、10%未満になると赤に変わります。

補充

AdBlue レベルが低くなり始めると、ドライバーディスプレイにシンボルが点灯し、**AdBlue レベル：低** というメッセージが表示されます。

1. 燃料給油口フラップの後部を軽く押して、フラップを開けます。

2.

AdBlue 用の小型パイプがある青いカバーを開けます。

3. 適切な品質[22]の AdBlue を補充します。

   タンクに補充しすぎないようにしてください。補充できる AdBlue の量は **車両の状態** アプリに表示されます。

⚠ 警告

ガソリンスタンドでAdBlueを補給する場合、乗用車用のポンプを使用することをお薦めします。大型車用のAdBlueポンプも使用できます。

重要

こぼれた AdBlue を拭き取ります。

AdBlue が車両の塗装に付着しないように十分に注意してください。付着した場合、塗装が損傷するおそれがあるため、大量の水で洗い流してください。

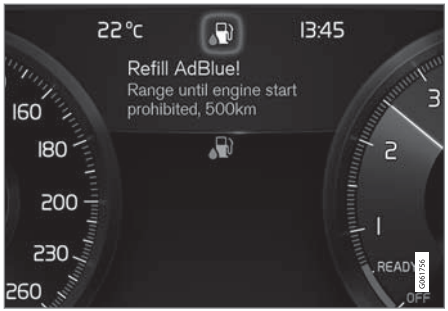
関連情報

- AdBlue®の取り扱い (p. 521)
- AdBlue®のシンボルおよびメッセージ (p. 524)
- AdBlue®タンク - 容量 (p. 727)

[22] ISO 22241

AdBlue®[23] のシンボルおよびメッセージ

排気ガス制御システムは、AdBlue の残量、品質および投与量を継続的にモニタリングします。不具合が生じると、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。



シンボル	メッセージ	意味
	AdBlue レベル：低	AdBlue の残量が少なく、タンクを補充する必要があります。
	AdBlueﾄﾞｰｼﾞﾝｸﾞ および **AdBlue 品質**	システムが正常に機能していません。サービス工場[A]に連絡し、機能の点検を受けてください。

[23] Ver-band der Automobilindustrie e.V. (VDA)が所有する登録商標です。

シンボル	メッセージ	意味
	AdBlue 補給	AdBlue の残量が著しく低下しており、すみやかにタンクに補充する必要があります。
	エンジン始動禁止 および **AdBlue を 4.5 リットル以上補充してください** など	AdBlue を補充するまで、エンジンを始動できません。ドライバーディスプレイに表示された量まで AdBlue を補充するか、サービス工場[A]にご連絡ください。 以下の点に注意してください。 • AdBlue の補充量をレベルゲージで正確に記録するためには、車両が水平である必要があります。 • システムに正確なレベル表示が反映されるには、補充から最大で 20 秒かかることがあります。
	エンジン始動禁止 **AdBlueｼｽﾃﾑｻｰﾋﾞｽを 再起動する必要がある**	システムが正常に機能していません。サービス工場[A]に連絡し、機能の点検を受けてください。

[A] ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

関連情報

- AdBlue®の点検と補充 (p. 521)
- AdBlue®の取り扱い (p. 521)
- コネクテッド・サービス予約 (p. 655)

エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート

起伏の激しい地域や気温が高いときなど特殊な条件では、エンジンや駆動システムがオーバーヒートする場合があります。特に重い荷物を積載しているときは、注意してください。

- オーバーヒートすると、エンジンの出力が一時的に制限されることがあります。
- 気温の高い状況下で走行するときは、グリルの前に補助ライトなどを取り付けないでください。
- エンジンのクーリングシステムの温度が異常に高くなると、警告灯が点灯して、ドライバーディスプレイに **ｴﾝｼﾞﾝ温度 高温。安全に 停車して下さい。** というメッセージが表示されます。安全な場所に停車して、エンジンを数分間アイドリングさせて温度を下げてください。
- **ｴﾝｼﾞﾝ温度 高温。 ｴﾝｼﾞﾝを停止して下さい** または **ｴﾝｼﾞﾝ冷却液 レベル低下。ｴﾝｼﾞﾝを停止して下さい。** というメッセージが表示された場合は、車両を停止してエンジンを切ってください。
- トランスミッションがオーバーヒートした場合、代わりのギヤシフトプログラムが選択されます[24]。また、組み込まれている保護機能が作動して、警告灯を点灯したり、ドライバーディスプレイに **ﾄﾗﾝｽﾐｯｼｮﾝがやや高温 温度を下げるため 減速して下さい** または **ﾄﾗﾝｽﾐｯｼｮﾝが高温安全に停車し、ｴﾝｼﾞﾝが 冷めるまでお待ち下さい** というメッセージを表示したりします。推奨されている指示に従い、減速、または安全な場所に停車し、エンジンを数分間アイドリングさせてトランスミッションの温度を下げてください。
- 車両がオーバーヒートすると、冷暖房が一時的に停止する場合があります。
- 長時間過酷な条件下で走行した後は、停車直後にエンジンを停止しないでください。

ⓘ 注意

エンジン停止後も、エンジンクーリングファンがしばらく回転を続ける場合がありますが、これは異常ではありません。

ドライバーディスプレイのシンボル

シンボル	意味
	エンジン高温。推奨される指示に従ってください。
	エンジン冷却液レベル低下推奨される指示に従ってください。
	トランスミッション高温/オーバーヒート/冷却済み。推奨される指示に従ってください。

関連情報

- クーラントの補充（p. 666）
- トレーラーなどのけん引（p. 532）
- 長距離走行の準備（p. 512）
- ギヤシフトインジケーター（p. 498）

[24] オートマチックトランスミッション車に適用されます。

メインバッテリーへの過剰な負荷

車内のさまざまな電気機器により、メインバッテリーにさまざまな負荷が加わります。車両がオフのときは、イグニッション位置 II は使用しないようにしてください。代わりに、イグニッション位置 I を使用すると、電力の消費を抑えることができます。

電気系統に負担をかけるような、各種アクセサリーにも注意してください。車両がオフのときは、電力を大量に消費するような機能を使用しないでください。そのような機能の例：

- ベンチレーションファン
- ヘッドライト
- ウインドスクリーンワイパー
- オーディオシステム(大音量)

メインバッテリーの電圧が低下している場合、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されます。バッテリーの負担を軽減するために節電機能が働いて、ベンチレーションファンやオーディオシステムなど、一部の機能を解除または制限します。

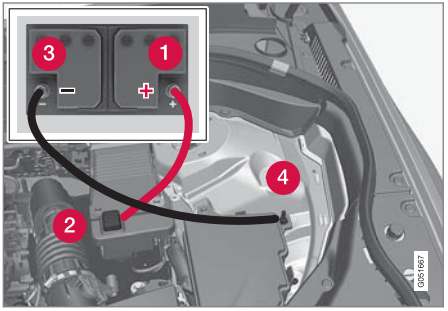
– この場合には、車両を始動し、走行するなど、エンジンを最低 15 分回転させたままにして、メインバッテリーを充電してください。メインバッテリーは、車両が静止したままエンジンをアイドリングさせるよりも、走行時の方が効率よく充電できます。

関連情報

- バッテリー（p. 676）
- イグニッション位置（p. 480）

別のバッテリーによるジャンプスタート

なんらかの理由で車のメインバッテリーが放電した場合は、ほかのバッテリーにジャンパーケーブルを接続して、エンジンを始動することができます。



ジャンパーケーブルの取り付け箇所

車両をジャンプスタートする際には、ショートなどの損傷を防ぐため、次の手順を厳守してください。

1. 車両の電気系統をイグニッション位置 **0** にします。
2. 電気を供給する側のバッテリーが 12V であることを確認してください。

3. 電気を供給する側のバッテリーが他車に取り付けられている場合には、その車両のエンジンを切り、2台の車が接触していないことを確認してください。
4. 赤いリード線の一方のクランプを他車のバッテリーのプラス端子(1)に接続します。

重要

エンジンルーム内の部品とショートしないように、ジャンパーケーブルは慎重に接続してください。

5. プラス側のジャンプスタートポイントのカバー(2)を開けます。
6. 赤いリード線のもう一方のクランプを車両のプラス側ジャンプスタートポイント(2)に接続します。
7. 黒いリード線の一方のクランプを他車のバッテリーのマイナス端子(3)に接続します。
8. 黒いリード線の他方のクランプを車両のマイナス側のジャンプスタートポイント(4)に接続します。
9. 始動を試みたときに火花が発生することを防ぐため、ジャンパーケーブルのクランプは確実に接続してください。
10. 「電気を供給する側の車両」のエンジンを始動し、アイドリングよりも若干高い回転数(約1,500 rpm)で数分間回転させます。
11. バッテリーが放電した車両のエンジンを始動させます。

重要

始動操作中には、ケーブルと車両の接続部に触れないでください。火花が発生するおそれがあります。

12. リード線を逆の手順で外します。先に黒いジャンパーケーブルを外し、次に赤いジャンパーケーブルを外してください。

    黒いリード線のクランプが車両のプラス側ジャンプスタートポイント/他車バッテリーのプラス端子や、赤いリード線のクランプに接触しないよう注意してください。

警告

- バッテリーからは、非常に引火性の高い、酸素と水素の混合ガスが発生します。ジャンパーケーブルを正しく接続しないと、火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- フューエルシステムコンポーネントまたは可動部にはジャンパーケーブルを接続しないでください。高温のエンジンパーツに注意してください。
- バッテリー液には、腐食性の強い希硫酸が使用されており、触れると重度のヤケドを負うおそれがあります。
- 電解液が目、皮膚または衣服に付着した場合は、ただちに大量の水で洗い流してください。目に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- バッテリーの近くでは絶対に喫煙しないでください。

関連情報

- 車両の始動 (p. 478)
- イグニッション位置 (p. 480)
- ステアリングホイールの調節 (p. 240)
- イグニッションモードの選択 (p. 481)

トウバー*

車両にはトウバーを装着することができます。トウバーを装着すると、トレーラーなどをけん引できるようになります。

この車両では複数の種類のトウバーを使用することができます。詳しくは、ボルボ・ディーラーまでお問い合わせください。

重要

エンジンを停止したとき、メインバッテリーが放電しないように、トレーラーコネクターへの常時バッテリー電圧供給を自動的に停止することができます。

重要

摩耗防止のため、トウボールは定期的な清掃とグリースによる潤滑が必要です。

注意

振動ダンパー付きのヒッチを使用する際には、トウボールは絶対にグリースを塗らないでください。

トウボールにクランプ固定するタイプのサイクルキャリアを取り付ける場合も同様です。

注意

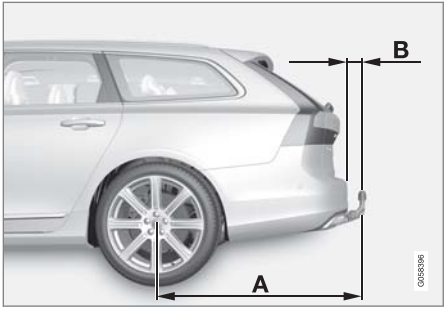
トウバー装備車の場合、けん引フック用のリアマウンティングはありません。

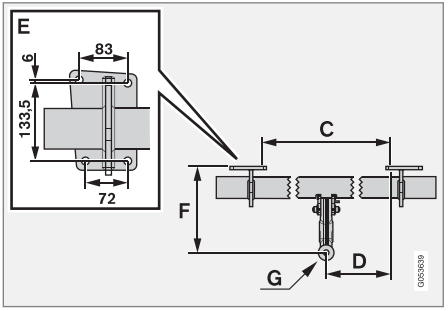
関連情報

- 格納式トウバー*（p. 530）
- トレーラーなどのけん引（p. 532）
- トウバーマウント型バイシクルホルダー*（p. 536）
- トウバー*の仕様（p. 529）

トウバー*の仕様

トウバーの寸法および固定ポイント





寸法、固定ポイント(単位：mm。括弧内はインチ)	
A	1229（48.4）
B	111.8（4.4）
C	875（34.4）
D	437.5（17.2）
E	前図参照
F	310.5（12.2）
G	ボールセンター

関連情報

- トウバー*（p. 529）
- けん引重量およびボール荷重（p. 720）

格納式トウバー*

格納式トウバーはいつでも簡単にアクセスすることができ、必要に応じて、簡単に引き出す/格納することができます。格納位置にすると、トウバーは完全に隠れます。

⚠ 警告

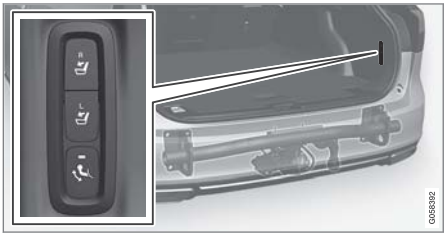
トウバーの伸縮方法の指示に慎重に従ってください。

トウバーの引き出し

⚠ 警告

トウバー伸長時は、車両後方のバンパー中央付近に立たないようにしてください。

1.



テールゲートを開きます。トウバーの引き出し/格納用ボタンはカーゴスペース後部の右側にあります。引き出し機能を作動させるには、ボタンのインジケーターがオレンジ色で点灯している必要があります。

2.

ボタンを押して放します。ボタンを長く押しすぎると、引き出し動作が始まらないことがあります。

› トウバーが引き出され、ロック解除位置まで下がります。インジケーターランプがオレンジ色で点滅します。

⚠ 警告

トレーラーがトウバーに接続されている場合には、引き出し/格納用ボタンを押さないでください。

ⓘ 注意

トウバーをロック位置に動かすためには、その前にトウバーの引き出し手順を終えておく必要があります。この手順には数秒かかることがあります。トウバーがロック位置に固定されない場合、数秒待ってからやり直してください。

3.

トウバーを最終位置まで動かします。トウバーは所定の位置で固定およびロックされます。インジケーターランプがオレンジ色で点灯します。

› トウバーは使用できる状態になります。

⚠ 警告

トレーラーのセーフティケーブルはかならず適切なブラケットに接続してください。

ⓘ 注意

しばらくすると、省エネモードが起動し、インジケーターランプが消灯します。テールゲートを閉じて開くと、システムはオンに戻ります。トウバーの格納または引き出し時に適用されます。

車両がトレーラーの接続を電気的に検知すると、インジケーターランプは点灯を停止します。

トウバーの格納

❗ 重要

ソケットを格納する場合、電源ソケットにプラグまたはアダプターがないことを確認してください。

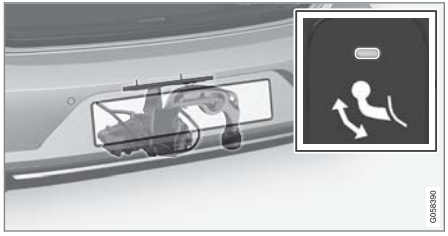
1. テールゲートを開きます。カーゴスペースの右後部にあるボタンを押して放します。ボタンを長く押しすぎると、格納動作が始まらないことがあります。

   › トウバーがロック解除位置まで自動的に下がります。ボタンのインジケーターランプがオレンジ色で点滅します。

2.

トウバーを格納位置まで動かしてロックします。

› トウバーが正しく格納されたら、インジケーターランプが点灯に変わります。



関連情報

- トレーラーなどのけん引 (p. 532)
- トウバー* (p. 529)

トレーラーなどのけん引

トレーラーのけん引時には、トウバーやトレーラー、トレーラー内の荷物の配置について、考慮すべき重要なポイントがいくつかあります。

最大許容重量は、車両重量により異なります。乗員およびトウバーなど車両に装着されているアクセサリーの総重量の分だけ、最大許容重量が小さくなります。

車両には、トレーラーのけん引に必要な装置が付属しています。

- 認定されたタイプのトウバーをご使用ください。
- トウボールにかかる荷重が最大荷重を超えないように、トレーラー内の重量を配分してください。トウボール荷重は車両の最大許容重量の一部として計算されます。
- タイヤの空気圧は、定員乗車時の推奨空気圧に調節してください。
- トレーラーなどのけん引時は、エンジンに通常の場合よりも大きい負荷がかかります。
- 新車時は、重いトレーラーなどのけん引をひかえてください。少なくとも 1,000 km (620 miles)走行するまでお待ちください。
- 長い急な下り坂では、ブレーキに通常よりも大きな負担がかかります。手動でシフトするときにシフトダウンして、速度を調節してください。
- 速度と重量に関する規則を厳守してください。
- トレーラーをけん引して勾配の急な長い坂道を上るときは、低速で走行してください。
- 規定の最大トレーラー重量は、海抜 1,000 m (3,280 ft)以下の高度でのみ適用されます。これよりも高い場所では、空気密度の低下に伴いエンジン出力および登坂能力が低下するため、最大トレーラー重量を減らす必要があります。高さが 1,000 m (3,280 ft) (またそれ未満)高くなるごとに、車両およびトレーラーの重量を 10%ずつ減らす必要があります。
- 道路の勾配が 12%を超える場合は、トレーラーなどのけん引を行わないでください。

注意

悪天候、トレーラーをけん引しながらの走行、あるいは標高の高い地域での走行と不適切な燃料の使用などが組み合わさると、車両の燃料消費量が大幅に増加します。

トレーラーコネクター

車両のトウバーのコネクターが 13 ピンコネクターで、トレーラーのコネクターが 7 ピンコネクターの場合は、アダプターが必要です。ボルボ社が認可したアダプターを使用してください。ケーブルが地面に触れていないことを確認してください。

* オプション/アクセサリー。

重要

エンジンを停止したとき、メインバッテリーが放電しないように、トレーラーコネクターへの常時バッテリー電圧供給を自動的に停止することができます。

トレーラーの重量

警告

けん引に関する重量の注意事項を厳守してください。緊急回避操作や急ブレーキ時に、車両が操縦不能となるおそれがあります。

注意

このマニュアルに記載されたトレーラーの最大許容重量は、ボルボ社が指定した重量です。各国の法律によって、トレーラーの最大許容重量やトレーラーけん引時の最高速度が厳しく制限されている場合があります。トウバーによっては、車両が実際にけん引できる重量よりも大きい最大許容荷重が認定されているものもあります。

オートレベライザー*

車両のオートレベライザーシステムは積載物(最大許容重量以下)に関係なく一定の車高を維持しようとします。停車時は、リアサスペンションが少し下がりますが、これは異常ではありません。

起伏の激しい地域や気温が高い状況で走行する場合

状況により、トレーラーのけん引中にオーバーヒートするおそれがあります。エンジンおよび駆動システムがオーバーヒートした場合、ドライバーディスプレイに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

以下はオートマチックトランスミッション車に適用されます。

オートマチックトランスミッションは、負荷とエンジン回転速度に合った適切なギヤを選択します。

急勾配の坂

オートマチックトランスミッションをエンジンに無理な負担がかかるような高いギヤで固定しないでください。つねに高いギヤでエンジン回転速度を低めに保つことがよいとは限りません。

坂道での駐車

1. ブレーキペダルを一番奥まで踏み込みます。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. ギヤ位置 **P** を選択します。
4. ブレーキペダルから足を離します。

トレーラーを接続した状態でやむをえず坂道に駐車する場合は、かならず輪止めを使用してください。

坂道発進

1. ブレーキペダルを一番奥まで踏み込みます。
2. ギヤポジション **D** を選択します。
3. パーキングブレーキを解除します。
4. ブレーキペダルから足を離し、発進します。

関連情報

- トレーラー・スタビリティ・アシスト* (p. 534)
- トレーラーランプの点検 (p. 535)
- けん引重量およびボール荷重 (p. 720)
- エンジンおよび駆動システムのオーバーヒート (p. 526)
- エンジンオイルに対して過酷な走行条件 (p. 725)

トレーラー・スタビリティ・アシスト*

トレーラー・スタビリティ・アシスト(TSA[25])は、蛇行し始めた場合にトレーラーをけん引している車両を安定させる機能です。この機能はスタビリティ・システムESC[26]に含まれています。

蛇行の原因

蛇行は、どのような車両とトレーラーの組み合わせでも発生します。通常、蛇行は高速走行時に発生します。しかし、トレーラーに過剰な負荷がかかっている場合や、積荷の配分が不適切(後に偏っている)な場合、低めの走行速度でも発生するおそれがあります。

蛇行が発生する要因として、次のようなものがあります。

- トレーラーをけん引している車両が、強い突風を横から受けた場合。
- 起伏のある道や、穴の上を走行した場合。
- 急なハンドル操作。

いったん蛇行が発生してしまうと抑制するのは非常にむずかしく、抑制できない場合もあります。こうなると車両およびトレーラーの運転操作が困難になり、別車線にはみ出したり、車道を逸脱するおそれがあります。

トレーラー・スタビリティ・アシスト機能

トレーラー・スタビリティ・アシスト機能は、車両の動き(特に横方向の動き)を連続的に監視します。蛇行を感知すると前輪の左右個別にブレーキをかけ、車両およびトレーラーの安定化を図ります。多くの場合、この段階で車両の制御が回復します。

トレーラー・スタビリティ・アシストの最初の介入で蛇行が解消されない場合は、車両およびトレーラーのすべての車輪にブレーキがかかり、エンジン出力が低減されます。蛇行が徐々に治まり、車両およびトレーラーが安定すると、システムは停止します。これで、運転者は車両を再び完全に制御できるようになります。

> **注意**
>
> 運転者がセンターディスプレイのメニューシステムで **横滑り防止装置** を解除してスポーツモードを選択すると、スタビリティ機能は解除されます。

運転者が蛇行を修正しようとして、ハンドルを激しく操作すると、トレーラー・スタビリティ・アシストが介入しない場合があります。トレーラーと運転者のどちらが蛇行の原因であるのかをシステムが判断できないためです。

トレーラー・スタビリティ・アシストの作動中は、ドライバーディスプレイに **ESC** シンボルが点滅します。

関連情報

- トレーラーなどのけん引 (p. 532)
- エレクトロニック・スタビリティ・コントロール (p. 329)

[25] Trailer Stability Assist
[26] Electronic Stability Control

トレーラーランプの点検

トレーラーを接続している場合 – 出発前に、トレーラーランプがすべて機能することを確認してください。

トレーラーの方向指示器とブレーキランプ

トレーラーの方向指示器またはブレーキランプバルブが 1 つ以上故障している場合、ドライバーディスプレイにシンボルとメッセージが表示されます。トレーラーのその他のライトについては、出発前に運転者が手動で点検する必要があります。

シンボル	メッセージ
	• **ﾄﾚｰﾗｰ方向指示灯 右側ウインカーに 不具合があります** • **ﾄﾚｰﾗｰ方向指示灯 左側ウインカーに 不具合があります**
	• **ﾄﾚｰﾗｰﾌﾞﾚｰｷﾗｲﾄ 故障**

トレーラーの方向指示器のランプに不具合が発生すると、ドライバーディスプレイの方向指示器シンボルも通常より速く点滅します。

トレーラーのリアフォグランプ

トレーラーを接続しているときには、車両のリアフォグランプが点灯しないことがあります。

この場合、リアフォグランプ機能はトレーラーに切り替わります。したがって、リアフォグランプを使用する場合、安全に走行するために、トレーラーにリアフォグランプが装備されていることを確認してください。

トレーラーランプ*の点検

自動点検

トレーラーを電気的に接続した後に、オートランプ作動を使用してトレーラーランプが作動しているかを点検することができます。この機能は、出発前にトレーラーランプの作動を確認するのに役立ちます。

この点検は、エンジンを停止にした状態で行う必要があります。

1. トレーラーをトウバーに接続すると、ドライバーディスプレイに **自動トレーラーランプ検査** メッセージが表示されます。
2. ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの **0** ボタンを押して、メッセージを確認します。
   › ランプチェックが始まります。
3. 車外へ出て、ランプの機能を点検します。
   › すべてのトレーラーランプが点滅を開始します。その後ランプは一度に 1 つずつ点灯します。
4. トレーラーのすべてのランプが正常に機能することを目視で確認します。
5. しばらくすると、トレーラーのすべてのランプが再点滅します。
   › これで点検は完了です。

自動点検をオフにする

自動点検機能は、センターディスプレイでオフにすることができます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明** をタップします。
3. **自動トレーラーランプ検査** の選択を解除します。

手動点検

自動点検がオフになっている場合、手動で点検をすることができます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ライトと照明** をタップします。
3. **手動トレーラーランプ検査** を選択します。
   › ランプチェックが始まります。車外へ出て、ランプの機能を点検します。

関連情報

- トレーラーなどのけん引（p. 532）

トウバーマウント型バイシクルホルダー*

バイシクルホルダーを使用する際は、ボルボ純正のバイシクルホルダーの使用を推奨しています。

車両への損傷を防ぎ、走行中の安全を最大限に確保するためです。ボルボのバイシクルホルダーは、ボルボ・ディーラーで購入することができます。

バイシクルホルダーに付属の取扱説明書よく読んで、正しく使用してください。

- 積載物を含めたバイシクルホルダーの総重量は、75 kg（165 ポンド）以下である必要があります。
- バイシクルホルダーは、自転車の積載可能台数が 3 台以下のものを使用します。

⚠ 警告

サイクルキャリアの不適切な使用は、トウバーおよび車両の損傷の原因になるおそれがあります。

以下のような場合、サイクルキャリアがトウバーから外れるおそれがあります。

- サイクルキャリアがトウボールに正しく取り付けられていない
- サイクルキャリアの最大積載重量を超えている（最大積載重量についてはサイクルキャリアの取扱説明書を参照）
- サイクルキャリアを自転車以外の物の運搬に使用している

トウバーにバイシクルホルダーを取り付けた場合、以下の理由などにより車両の走行特性に影響をおよぼします。

- 重量の増加
- 加速性能の低下
- 車高の低下
- ブレーキ能力の変化

バイシクルホルダーに自転車を積載する際の推奨事項

積載物の重心とトウボール間の距離が長いほど、トウバーにかかる負荷が増加します。

以下の推奨事項に従って、積載してください。

- もっとも重い自転車を、もっとも車両に近い位置に取り付けます。
- 積載物のバランスを維持し、できる限り車両の中心に近い位置に積込みます（複数の自転車を積載する場合は、自転車の向きを交互にするなど）。
- 輸送時は自転車のかご、バッテリー、チャイルドシートなど、固定されていないものは取り外します。これはトウバーおよびバイシクルホルダーにかかる負荷を低減するとともに、燃料消費量に影響する風の抵抗を低減するためです。
- 自転車には保護カバーを使用しないでください。保護カバーを使用すると、操舵性や視界の低下、燃料消費量の増加などを引き起こす可能性があります。また、トウバーにかかる負荷も増加する場合があります。

関連情報

- トウバー*（p. 529）

* オプション/アクセサリー。

けん引

けん引では、けん引ロープを使用して車両をもう 1 台の車両がけん引します。

けん引を行う前に、かならず法律で定められている制限速度などを確認してください。

準備およびけん引

重要

かならず車両の前進方向にのみ、けん引してください。

- オートマチックトランスミッション車はけん引時の走行速度 80 km/h (50 mph)以下、けん引距離 80 km (50 miles)以内を厳守してください。

警告

- けん引を開始する前に、ステアリングホイールロックが解除されていることを確認してください。
- イグニッション位置 II にしておく必要があります。イグニッション位置 I では、すべてのエアバッグの作動が解除されます。
- けん引するときには、かならずリモートコントロールキーを車内に置いたままにしてください。

警告

エンジンが OFF になっているとブレーキサーボやパワーステアリングが機能しません。ブレーキペダルを踏み込むには約 5 倍の力が必要となり、ステアリングも通常よりかなり重く感じられます。

1. 車両の非常点滅灯を作動させます。
2. ロープをけん引フックに固定します。
3. 車両をロック解除して、ステアリングロックを解除します。
4. 車両をイグニッション位置 II にします。ブレーキペダル(マニュアルトランスミッション車の場合はクラッチペダル)を踏み込むことなくスタートノブを時計回りに回し、スタートノブをそのまま約 4 秒間保持します。ノブを放します。ノブは自動的に開始位置に戻ります。
5. ギヤセレクターレバーをニュートラルに入れ、パーキングブレーキを解除します。

   バッテリー電圧が低すぎる場合、パーキングブレーキを解除することができません。バッテリーの電圧が異常に低い場合には、他車などのバッテリーを接続してください。

   > これでけん引車はけん引を開始することができます。
6. けん引車の速度が低下した場合には、不必要な急な引きを避けるために、ブレーキペダルを軽く踏み、ロープが張った状態を保ちます。
7. 足はかならずブレーキペダルに置いて、いつでも踏める状態にしてください。

ジャンプスタート

けん引によって、エンジンを始動させないでください。メインバッテリーが放電し、エンジンが始動しない場合は、他車のバッテリーを使用してください。

重要

エンジンをけん引始動しようとすると、触媒コンバーターに損傷が発生するおそれがあります。

関連情報

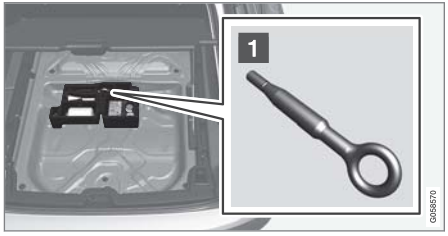
- けん引フックの取り付け/取り外し (p. 538)
- 非常点滅灯 (p. 199)
- 車両移動 (p. 539)
- 別のバッテリーによるジャンプスタート (p. 527)
- イグニッションモードの選択 (p. 481)

けん引フックの取り付け/取り外し

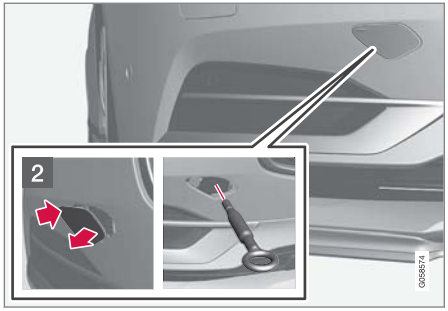
けん引にはけん引フックを使用します。けん引フックは、フロントまたはリアバンパーの右側にある、カバーがついたネジ式のソケットに取り付けます。

> **注意**
>
> トウバー装備車の場合、けん引フック用のリアマウンティングはありません。

けん引フックの取り付け

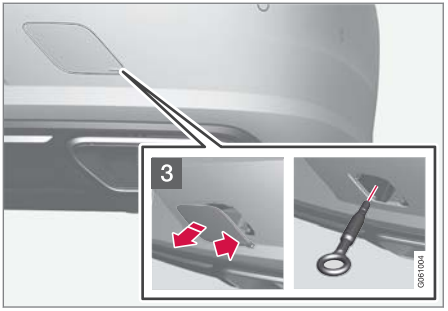


1 けん引フックをカーゴスペースのフロアの下にあるフォームブロックから取り出します。



2 フロント：カバーを取り外すには、指でマークを押します。

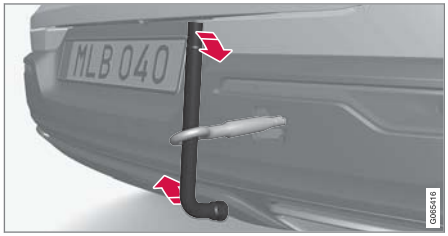
› カバーは中心線を軸に旋回させて取り外すことができます。



3 リア：カバーを取り外すには、指でマークを押しながら、同時にコインなどを使用して反対側/隅部を引き出します。

› カバーは中心線を軸に旋回させて取り外すことができます。

4. けん引フックが止まるまで、右回しでねじ込みます。



けん引フックをしっかりとねじ込みます。たとえば、ホイールレンチ*を輪に通して、てこの原理で締めつけます。

重要

けん引フックを所定の位置にしっかり止まるまでねじ込むことが重要です。

けん引フックを使用する前の留意事項

- レッカー車の平台へ車両を引き上げるときには、けん引フックを使用できる場合があります。車両の位置と車高により、使用の可否が決まります。
- レッカー車のスロープの傾斜が急すぎる場合、または車高が十分でない場合、けん引フックで車両の引き上げを試みると、車両が損傷するおそれがあります。
- 必要に応じて、レッカー車のリフティング装置を使用して車両を持ち上げます。けん引フックは使用しないで下さい。

警告

車両をレッカー車の平台へ引き上げる際は、レッカー車の後ろに人が立っていたり、物が置かれていてないかかならず確認してください。

重要

けん引フックは、路面での車両のけん引専用です。溝に落ちた車両の引き上げなどには**使用しないで**ください。車両移動が必要な場合は、レッカーサービスに連絡して救援を求めてください。

けん引フックの取り外し

– 使用後はけん引フックをゆるめて取り外し、フォームブロック内の元の位置に戻します。

最後にカバーを忘れずにバンパーに付け直してください。

関連情報

- けん引（p. 537）
- 車両移動（p. 539）
- ツールキット（p. 616）

車両移動

車両移動が必要な場合、別の車両の助けを借りて車両を移動します。

レッカー移動が必要な場合は、レッカーサービスに連絡して救援を求めてください。

レッカー車の平台へ車両を引き上げるときには、けん引フックを使用することができます。

オートレベライザー*装備車に適用されます。エアサスペンション装備車の場合、ジャッキで車両を持ち上げる前にエアサスペンション機能を解除する必要があります。この機能はセンターディスプレイを使用してオフにしてください。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car** ➔ **ﾊﾟｰｷﾝｸﾞﾌﾞﾚｰｷおよびｻｽﾍﾟﾝｼｮﾝ** をタップします。
3. **レベリング制御の解除** を選択します。

車両の位置と車高により、平台への引き上げの可否が決まります。レッカー車のスロープの傾斜が急すぎる場合、または車高が十分ではない場合、車両の引き上げを試みると、車両が損傷するおそれがあります。この場合、レッカー車のリフト装置を使用して車両を持ち上げる必要があります。

⚠ 警告

車両をレッカー車の平台へ引き上げる際は、レッカー車の後ろに人が立っていたり、物が置かれていてないかかならず確認してください。

重要

けん引フックは、路面での車両のけん引専用です。溝に落ちた車両の引き上げなどには**使用しないで**ください。車両移動が必要な場合は、レッカーサービスに連絡して救援を求めてください。

重要

かならず車両の前進方向にのみ、けん引してください。

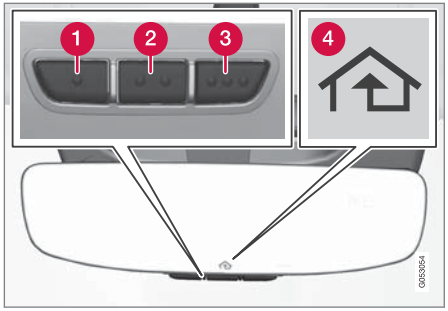
関連情報

- けん引フックの取り付け/取り外し (p. 538)

HomeLink®*[27]

HomeLink®[28] は、車両の電気系統に組み込まれたプログラム可能なリモートコントロールで、最大 3 台までのデバイス(ガレージドアオープナー、アラームシステム、車外および車内照明など)をそれぞれのリモートコントロールに代わって遠隔操作することができます。

概要



図は概略図です。バージョンは異なる場合があります。

1. ボタン 1
2. ボタン 2
3. ボタン 3
4. インジケーターランプ

HomeLink®は、バックミラーに内蔵されています。HomeLink®パネルは、プログラム可能なボタン 3 個とミラーガラス内のインジケーターランプ 1 個で構成されています。

HomeLink®に関する詳細情報については、www.HomeLink.com または www.youtube.com/HomeLinkGentex をご覧いただくか、フリーダイヤル 00 8000 466 354 65 (または有料の +49 6838 907 277)[29] にご連絡ください。

将来プログラムするとき(車の買い替え時や別の車で使用する際など)に備えて、機器付属のリモートコントロールは保管しておいてください。車を売却される場合には、ボタンのプログラムを消去されることをお薦めします。

関連情報

- HomeLink®*の使用 (p. 543)
- HomeLink®*のプログラミング (p. 541)
- HomeLink®*の型式認定 (p. 543)

27 特定市場に適用
28 HomeLink および HomeLink ハウスマークは、Gentex Corporation の登録商標です。
29 フリーダイヤルの番号は、オペレーターによってご利用いただけない場合があります。

HomeLink®*[30] のプログラミング

HomeLink®をプログラムする、すべてのプログラムをリセットする、または個々のボタンを再プログラムするには、以下の手順に従ってください。

注意

一部の車両では、HomeLink®のプログラム前、または、HomeLink を使用する前に、イグニッションを ON にするか、「アクセサリー位置」にすることが必要です。HomeLink®で対応させるリモートコントロールの電池を新しいものと交換すると、プログラミングの速度が上昇し、無線信号の送信状況が向上します。プログラミングの前に HomeLink®ボタンをリセットしてください。

警告

HomeLink®のプログラム作業中には、プログラム対象のガレージドアやゲートが作動するおそれがあります。したがって、プログラム作業中には、対象のドアまたはゲートに誰も近づけないようにしてください。ガレージドアオープナーをプログラムする際には、車両をガレージの外に駐車してください。

1. プログラムする HomeLink®ボタンにリモートコントロールを向けて、ボタンから約 2～8 cm（約 1～3 インチ）のところに構えてください。HomeLink®のインジケーターランプを遮らないよう注意してください。

   注記： 一部のリモートコントロールは、約 15～20 cm（約 6～12 インチ）離した方が HomeLink®をプログラムしやすくなります。プログラミング中に問題が発生した場合に備えて、このことに留意しておいてください。

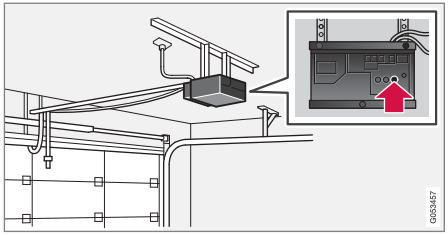
2. リモートコントロールのボタンと、プログラムする HomeLink®のボタン両方を長押しします。

3. インジケーターランプがゆっくりとした点滅（約毎秒 1 回）から速い点滅（約毎秒 10 回）、または点灯に切り替わるまで、ボタンから指を離さないでください。

   › **点灯した場合：** プログラミングが完了したことを示します。プログラムボタンを 2 回押して、有効にします。

   速いテンポで点滅した場合： HomeLink®にプログラムするデバイスに、追加の手順を必要とするセキュリティ機能がある可能性があります。プログラムボタンを 2 回押して、プログラムが機能しているかテストしてください。機能していない場合は、続いて以下の手順を行ってください。

30 特定市場に適用



4. ガレージドア(または該当する機器)のレシーバーに用意されている学習ボタン[31]を確認します。通常は、レシーバーのアンテナのブラケット付近にあります。
5. レシーバーの学習ボタンを1回押して放します。プログラミングは、ボタンを押してから30秒以内に完了する必要があります。
6. プログラムするHomeLink®のボタンを押して指を放します。ボタンを押して放す操作をもう1度繰り返します。レシーバーのモデルによっては、さらにもう1度繰り返します。
   > これでプログラミングは完了です。プログラムしたボタンを押すと、ガレージドアやゲートなどが作動するはずです。

プログラミングの問題が発生した場合は、www.HomeLink.com、www.youtube.com/HomeLinkGentex から、またはフリーダイヤル 00 8000 466 354 65(もしくは有料の +49 6838 907 277)[32] をご利用の上、HomeLink® までお問い合わせください。

個々のボタンの再プログラミング

個々のHomeLink®のボタンをプログラムする際は、次の手順に従ってください。

1. プログラムするボタンを押して、そのまま約20秒間保持します。
2. HomeLink®のインジケーターランプがゆっくりと点滅を開始したら、通常通りプログラミングを行います。

   注記： プログラムし直すボタンに新しいユニットがプログラムされていないと、以前に保存されていたプログラミングが回復します。

HomeLink®ボタンのリセット

HomeLink®のボタンは、すべて同時にリセットされます。個々にリセットすることはできません。個々のボタンでは、再プログラムのみ可能です。

- HomeLink®の外側のボタン(1および3)を約10秒間押し続けます。
  > インジケーターランプが点灯から点滅に変わったら、ボタンがリセットされ、再プログラムの準備が整ったことを示します。

関連情報

- HomeLink®*の使用 (p. 543)
- HomeLink®* (p. 540)
- HomeLink®*の型式認定 (p. 543)

31 ボタンの名称および色はメーカーにより異なります。
32 フリーダイヤルの番号は、オペレーターによってご利用いただけない場合があります。

HomeLink®*[33] の使用

HomeLink®が完全にプログラムされると、複数のリモートコントロールの代用として使用することができます。

プログラムしたボタンを押します。ガレージドア、ゲート、アラームシステムなどが作動します(数秒かかることがあります)。ボタンを 20 秒以上押すと、再プログラムが開始します。ボタンを押すと、インジケーターランプが点灯または点滅します。必要であれば、機器付属のリモートコントロールを HomeLink®と併用することもできます。

注意

イグニッションがオンではない場合は、HomeLink®は運転席ドアが開いた後、30 分機能します。

警告

- HomeLink®を使用してガレージドアやゲートを操作する場合は、ドアやゲートの周りに人がいないことを確認してください。
- ガレージドアに非常停止などの安全機能が備わっていない場合は、HomeLink®を使用しないでください。

関連情報

- HomeLink®* (p. 540)
- HomeLink®*のプログラミング (p. 541)
- HomeLink®の型式認定 (p. 543)

HomeLink®*[34] の型式認定

EU 型式認定

Gentex Corporation は、HomeLink®UAHL5 モデルが無線装置に関する 2014/53/EU 指令に適合することを宣言します。

本無線装置が機能する周波数帯 :

- 433.05MHz～434.79MHz <10mW E.R.P.
- 868.00MHz～868.60MHz <25mW E.R.P.
- 868.70MHz～868.20MHz <25mW E.R.P.
- 869.40MHz～869.65MHz <25mW E.R.P.
- 869.70MHz～870.00MHz <25mW E.R.P.

証明書取得者の住所 : Gentex Corporation, 600 North Centennial Street, Zeeland MI 49464, USA

詳しくは、support.volvocars.com を参照してください。

関連情報

- HomeLink®* (p. 540)

33 特定市場に適用
34 特定市場に適用

コンパス*

ルームミラー右上の部分に、車両の進行方向を表示するディスプレイが組み込まれています。

コンパス付きルームミラー

8 方位が英語の略字で表示されます : **N**（北）、**NE**（北東）、**E**（東）、**SE**（南東）、**S**（南）、**SW**（南西）、**W**（西）、**NW**（北西）。

関連情報

- コンパス*のオン/オフ（p. 544）
- コンパス*を校正する（p. 544）

コンパス*のオン/オフ

ルームミラー右上の部分に、車両の進行方向を表示するディスプレイが組み込まれています。

コンパスのオン/オフ

コンパスは車両を始動すると自動的にオンになります。

コンパスを手動でオフ/オンにするには：

– ペーパークリップなどを使用して、ルームミラーの下側にあるボタンを押します。

関連情報

- コンパス*（p. 544）
- コンパス*を校正する（p. 544）

コンパス*を校正する

地球は地表の磁場により、15 の地域に分けることができます。磁場の異なる場所に移動する場合は、コンパスを校正し直すことが必要です。

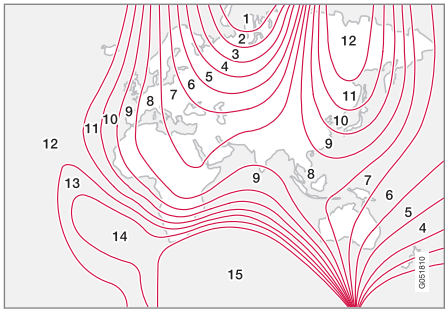
以下に従って校正を実施します。

1. 鉄骨を使用した建物や高圧送電線などのない、広く安全な場所(屋外)に停車します。
2. エンジンを始動し、すべての電気機器(エアコンディショナー、ワイパーなど)をオフにし、すべてのドアが閉まっていることを確認します。

注意

電気機器をオフにしておかないと、校正が失敗する、またはまったく始まらないおそれがあります。

3. バックミラーの下側にあるボタンを約 3 秒間長押しします(ペーパークリップなどを使用してください)。現在の磁場の番号が表示されます。



磁場の分布

4. 希望する地域の番号(**1-15**)が表示するまで、ボタンを繰り返し押します。コンパス用の磁場分布図を参照してください。
5. ディスプレイに文字 **C** が表示されるまで待機するか、文字 **C** が表示されるまで(約 6 秒間)ルームミラー下側のボタンを押し続けます。
6. 10 km/h (6 mph)以下の低速で、ゆっくりと円を描くように走行します。ディスプレイにコンパスの方位が表示されれば校正終了です。校正を微調整するために、さらに 2 周走行してください。
7. **ヒーテッドウインドスクリーン装備車両*：** ヒーテッドウインドスクリーンの作動中に文字 **C** がディスプレイに表示された場合は、上記の 6 に従ってヒーテッドウインドスクリーンが作動した状態で校正を行ってください。
8. 必要に応じてこの手順を繰り返します。

関連情報

- コンパス*（p. 544）
- コンパス*のオン/オフ（p. 544）

サウンド、メディアおよびインターネット

サウンド、メディアおよびインターネット

オーディオ・メディアシステムは、メディアプレーヤーおよびラジオで構成されます。Bluetooth 経由で携帯電話を接続すると、車内でハンズフリー機能を使用したり、ワイヤレスで音楽を再生したりすることもできます。車両がインターネットに接続されているときには、アプリを使用してメディアを再生することもできます。

オーディオおよびメディアの概観

機能の操作には、音声、ステアリングリモコンまたはセンターディスプレイを使用します。スピーカーとアンプの数は、車両に装備されているオーディオシステムにより異なります。

システムアップデート

オーディオ・メディアシステムはつねに更新されています。車両がインターネットに接続しているときは、機能を最適化するためのシステムアップデートをダウンロードすることができます。support.volvocars.com を参照してください。

関連情報

- メディアプレーヤー（p. 557）
- ラジオ（p. 553）
- 電話（p. 575）
- オンライン車両*（p. 584）
- アプリ（p. 550）
- 音声認識（p. 182）
- イグニッション位置（p. 480）
- 運転者の注意不足（p. 41）
- ダウンロードセンター経由でシステムアップデートを管理する（p. 653）
- オーディオ・メディアのライセンス契約（p. 592）

オーディオ設定

オーディオシステムは最適な音の再現を実現するようあらかじめ設定されていますが、調整することもできます。

通常、音量の調節には、センターディスプレイの下にある音量調節コントロールまたはステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用します。これは、音楽やラジオの再生中、通話中、道路交通情報が流れているときなどに使用できます。

再生音質の最適化

オーディオシステムは、デジタル信号処理技術を利用し、再生音質を最適化するように事前に校正されています。車両のモデルとオーディオシステムのコンビネーションから生まれるサウンド特性に合わせ、スピーカー、アンプ、車内音響、乗員の着座位置などを考慮した校正が施されています。車速と音量調節の設定を考慮するダイナミック校正もあります。

パーソナル選択

車両のオーディオシステムに応じて、トップビューの **設定 ➔ サウンド** から、さまざまな設定が利用できます。

* オプション/アクセサリー。

Premium Sound*(Bowers & Wilkins)
- **トーン** – 低音、高音、イコライザーなどの設定。
- **バランス** – 右/左スピーカーのバランスとフロント/リアスピーカーのバランス。
- **システム音量** – 車両のさまざまなシステム(**音声コントロール**、**パークアシスト**、**電話着信音** など)の音量調節。

High Performance Pro*(Harman Kardon)
- **イコライザー** – イコライザーの設定。
- **バランス** – 右/左スピーカーのバランスとフロント/リアスピーカーのバランス。
- **システム音量** – 車両のさまざまなシステム(**音声コントロール**、**パークアシスト**、**電話着信音** など)の音量調節。

High Performance
- **トーン** – 低音、高音、イコライザーなどの設定。
- **バランス** – 右/左スピーカーのバランスとフロント/リアスピーカーのバランス。
- **システム音量** – 車両のさまざまなシステム(**音声コントロール**、**パークアシスト**、**電話着信音**など)の音量調節。

関連情報
- サウンドエクスペリエンス* (p. 549)
- メディアプレーヤー (p. 557)
- 音声認識の設定 (p. 185)
- 電話の設定 (p. 583)
- サウンド、メディアおよびインターネット (p. 548)
- オンライン車両* (p. 584)

サウンドエクスペリエンス*

サウンドエクスペリエンスは、さらに詳細なオーディオ設定を可能にするアプリです。

サウンド 体験 はセンターディスプレイのアプリビューから開きます。車両に装備されているオーディオシステムに応じて、以下の設定が可能です。

Premium Sound*(Bowers & Wilkins)
- **スタジオ** – **ドライバー**、**全て** および **リア** 向けにサウンドを最適化します。
- **カスタマイズ** – 音響インテンシティ設定およびサラウンド設定付きサラウンドサウンドモード。
- **ｺﾝｻｰﾄﾎｰﾙ** – ヨーテボリコンサートホールの音響を再現します。

ヨーテボリコンサートホールの音響の再現

◀◀ High Performance Pro*(Harman Kardon)

- **シート最適化** – **ドライバー**、**全て** および **リア** 向けにサウンドを最適化します。
- **サラウンド** – レベル設定付きサラウンドサウンドモード。
- **トーン** – 低音、高音、イコライザーなどの設定。

関連情報

- オーディオ設定（p. 548）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 152）

アプリ

アプリビューには、一部の車両サービスにアクセスすることのできるアプリケーション（アプリ）が含まれています。

ホームビューからアプリビューにアクセスするには、センターディスプレイの画面を右から左にスワイプします[1]。ここには、ダウンロードしたアプリ（サードパーティー製アプリ）および内蔵機能用アプリ（**FM ラジオ** など）があります。

アプリビュー（一般的な画像。基本アプリは市場およびモデルにより異なります）

一部の基本的なアプリは常時利用できます。車両がインターネットに接続されているときは、ウェブラジオや音楽サービスなどのアプリをさらにダウンロードできます。

一部のアプリは、車両がインターネットに接続されている場合にのみ使用できます。

[1] 左ハンドル車に適用されます。右ハンドル車の場合、反対方向にスワイプします。

* オプション/アクセサリー。

センターディスプレイのアプリビューでアプリをタップして起動します。

関連情報
- アプリのダウンロード（p. 551）
- アプリのアップデート（p. 552）
- アプリの削除（p. 552）
- Apple® CarPlay®*（p. 569）
- Android Auto*（p. 572）
- オンライン車両*（p. 584）
- ハードディスクの記憶容量（p. 591）
- ユーザー利用規約およびデータ共有（p. 591）

アプリのダウンロード

新しいアプリは、車両がインターネットに接続されているときにダウンロードすることができます。

注意

データダウンロードは、データを送信するその他のサービス(インターネットラジオなど)に影響を及ぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響を及ぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断する方が適切な場合もあります。

注意

携帯電話を使用してダウンロードする際は、データ通信にかかる費用に十分注意してください。

1. アプリビューで **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ** アプリを開きます。

2. **新ｱﾌﾟﾘ** を選択して、利用可能なアプリで車両にインストールされていないアプリのリストを開きます。
3. アプリの列をタップしてリストを展開し、アプリの詳しい情報を表示します。
4. **ｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択して、目的のアプリのダウンロードとインストールを開始します。
   > ダウンロード中はダウンロードおよびインストールの状況が表示されます。

   その時点でダウンロードを開始できない場合、メッセージが表示されます。アプリはリストに残るため、再度ダウンロードの開始を試みることができます。

ダウンロードのキャンセル
– **キャンセル** をタップすると、進行中のダウンロードがキャンセルされます。

キャンセルできるのはダウンロードのみです。インストールが始まった場合、キャンセルできません。

関連情報
- アプリ（p. 550）
- アプリのアップデート（p. 552）
- アプリの削除（p. 552）
- オンライン車両*（p. 584）
- ダウンロードセンター経由でシステムアップデートを管理する（p. 653）
- ハードディスクの記憶容量（p. 591）

アプリのアップデート

アプリは車両がインターネットに接続されているときにアップデートできます。

> **注意**
>
> データダウンロードは、データを送信するその他のサービス(インターネットラジオなど)に影響を及ぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響を及ぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断する方が適切な場合もあります。

> **注意**
>
> 携帯電話を使用してダウンロードする際は、データ通信にかかる費用に十分注意してください。

アップデート中にアプリを使用している場合、インストールを完了するためにアプリが再起動されます。

すべてをアップデート

1. アプリビューで **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ** アプリを開きます。

2. **全てインストール** を選択します。
   > アップデートが開始されます。

一部をアップデート

1. アプリビューで **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ** アプリを開きます。
2. **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ更新** を選択して、すべての利用可能なアップデートのリストを開きます。
3. 目的のアプリを特定して、**ｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択します。
   > アップデートが開始されます。

関連情報

- アプリ（p. 550）
- アプリのダウンロード（p. 551）
- アプリの削除（p. 552）
- ダウンロードセンター経由でシステムアップデートを管理する（p. 653）
- オンライン車両*（p. 584）

アプリの削除

アプリは車両がインターネットに接続されているときにアンインストールすることができます。

アンインストールを完了するには、使用中のアプリを閉じる必要があります。

1. アプリビューで **ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ** アプリを開きます。

2. **ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ更新** を選択して、すべてのインストール済みアプリのリストを開きます。
3. 目的のアプリを特定して **ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択し、アプリのアンインストールを開始します。
   > アンインストールが完了すると、そのアプリはリストから消えます。

関連情報

- アプリ（p. 550）
- アプリのダウンロード（p. 551）
- アプリのアップデート（p. 552）

* オプション/アクセサリー。

- ダウンロードセンター経由でシステムアップデートを管理する（p. 653）
- オンライン車両*（p. 584）

ラジオ

AM ラジオおよび FM ラジオを受信することができます。車両がオンラインになっているときは、インターネットラジオを聴くこともできます。

ラジオは音声認識、ステアリングホイールのステアリングリモコン、またはセンターディスプレイで操作することができます。

関連情報

- ラジオを起動する（p. 554）
- ラジオのバンド(周波数帯)および放送局の変更（p. 554）
- ラジオのお気に入りの設定（p. 556）
- ラジオの設定（p. 557）
- オンライン車両*（p. 584）
- ラジオおよびメディアの音声認識（p. 185）
- メディアプレーヤー（p. 557）

ラジオを起動する

ラジオはセンターディスプレイのアプリビューから起動します。

1. アプリビューから必要なバンド(FM など)を開きます。

2. ラジオ放送局を選択します。

関連情報

- ラジオ（p. 553）
- ラジオ放送局を探す（p. 555）
- ラジオのバンド(周波数帯)および放送局の変更（p. 554）
- ラジオのお気に入りの設定（p. 556）
- ラジオの設定（p. 557）
- ラジオおよびメディアの音声認識（p. 185）

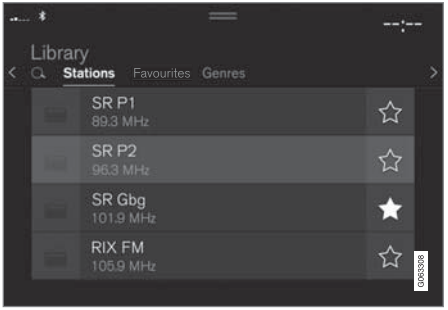
ラジオのバンド(周波数帯)および放送局の変更

ここには、バンド、バンド内のリスト、および選択したリスト内の放送局の変更方法が記載されています。

バンドを変更する

センターディスプレイをスワイプしてアプリビューを表示し、お好みのバンド(FM など)を選択するか、またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用してドライバーディスプレイのアプリメニューを開き、そこからバンドを選択します。

バンド内でリストを変更する



1. **ライブラリ** をタップします。
2. **放送局、お気に入り** または **ジャンル** から再生を選択します。
3. リストから目的の放送局をタップします。

お気に入り – 選択したお気に入りのチャンネルのみを再生します。

ジャンル – 選択したジャンル/内容(ポップス、クラシックなど)を放送しているチャンネルのみを再生します。

選択したリスト内で放送局を変更する

– センターディスプレイの下またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある ⏮ または ⏭ を押します。
  › 選択したプレイリスト内でハイライトが上または下に 1 つ移動します。

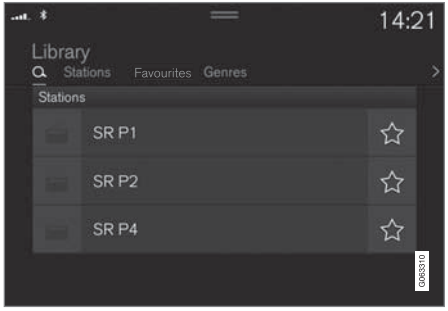
選択したリストの放送局は、センターディスプレイで変更することもできます。

関連情報

- ラジオ（p. 553）
- ラジオ放送局を探す（p. 555）
- ラジオおよびメディアの音声認識（p. 185）
- ラジオのお気に入りの設定（p. 556）
- ラジオの設定（p. 557）
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー（p. 140）

ラジオ放送局を探す

ラジオは、地域内でもっとも強い信号を送信しているラジオ放送局のリストを自動的に作成します。



検索可能なパラメーターは、選択されたバンドによって異なります。

- AM – 放送局および周波数
- FM – 放送局、ジャンルおよび周波数

1. **ライブラリ** をタップします。
2. 🔍 をタップします。
   › キーボード付き検索ビューが開きます。
3. 検索語を入力します。
   › 文字を入力するたびに検索が行われ、検索結果がカテゴリー別に表示されます。

手動選局

手動選局に変更すると、受信状態が良好ではない場合でもラジオ周波数は自動的に周波数を変更することがなくなります。

– **手動選局** をタップする、コントロールを引く、または ⏮ または ⏭ をタップする方法のいずれかで選択します。長押しすると、そのバンドで受信可能な次の放送局にジャンプします。ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用することもできます。

関連情報

- ラジオ（p. 553）
- ラジオを起動する（p. 554）
- ラジオのバンド(周波数帯)および放送局の変更（p. 554）

- ラジオおよびメディアの音声認識（p. 185）
- ラジオの設定（p. 557）

ラジオのお気に入りの設定

ラジオチャンネルをバンド(FM など)のお気に入りリストと お気に入りラジオ アプリに追加することができます。お気に入りの追加および削除方法は、以下で確認できます。

ラジオのお気に入り

ラジオのお気に入りは、保存されたすべてのバンドからのお気に入りを表示します。

1. アプリビューからアプリ **お気に入りラジオ** を開きます。
2. リストで目的の放送局をタップして、放送を聞き始めます。

ラジオのお気に入りの追加/削除

– ☆ をタップすると、バンドのお気に入りおよびラジオのお気に入りのチャンネルを追加または削除することができます。

お気に入りが放送局リストから保存された場合、ラジオは自動的にもっとも良好な周波数を探します。ただし、お気に入りが手動放送局検索から保存された場合、ラジオが自動的にもっと良好な周波数に変更されることはありません。

お気に入りを削除すると、バンドのお気に入りからも削除されます。

関連情報

- ラジオ（p. 553）
- ラジオを起動する（p. 554）
- ラジオ放送局を探す（p. 555）
- ラジオのバンド(周波数帯)および放送局の変更（p. 554）
- ラジオおよびメディアの音声認識（p. 185）
- ラジオの設定（p. 557）
- ドライバーディスプレイのアプリケーションメニュー（p. 140）

ラジオの設定

ラジオにはオン/オフの切り替えができるさまざまな機能があります。

道路情報のキャンセル

ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの ◯ を押す、またはセンターディスプレイの **キャンセル** をタップすると、道路交通情報などの放送を一時的に中断することができます。

ラジオ機能の起動/停止

トップビューを下方向にドラッグし、**設定 ➔ メディア**、目的のバンドの順に選択すると、利用できる機能が表示されます。

AM/FM ラジオ

- **放送情報を表示**：番組内容、アーティストなどの情報を表示します。
- **プログラム名を固定**：番組サービス名の連続スクロールを停止するときに選択します。代わりに、20 秒後に動きが止まります。
- **お知らせを選択**

  – **地域的受信障害**：現在のメディア再生を中断して、付近の交通渋滞に関する情報を放送します。道路交通情報が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。**地域的受信障害** 機能は **交通情報** 機能を地理的に限定したバージョンです。同時に **交通情報** 機能をオンにする必要があります。

  – **ニュース** ：現在のメディア再生を中断して、ニュースを放送します。ニュース放送が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。

  – **アラーム**：現在のメディア再生を中断して、大事故や災害に関する警報を送信します。道路交通情報が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。

  – **交通情報**：**交通** をタップすると、現在の再生をキャンセルして、AM ラジオで道路交通情報を聞くことができます。オフにすると、前のメディアソースの再生が再開します。

  – **交通情報**：現在のメディア再生を中断して、交通渋滞に関する情報を放送します。道路交通情報が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。

関連情報

- ラジオ（p. 553）
- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル（p. 161）

メディアプレーヤー

メディアプレーヤーは、CD プレーヤー* の音声と USB ポートまたは Bluetooth で接続された外部オーディオソースの音声を再生できます。また、USB ポートを介してビデオフォーマットを再生することもできます。

車両がインターネットに接続されているときには、アプリ経由でインターネットラジオやオーディオブックを聞いたり、ミュージックサービスを利用したりすることもできます。

メディアプレーヤーはセンターディスプレイから操作しますが、いくつかの機能はステアリングホイール右側のステアリングリモコンまたは音声認識機能で操作することができます。

メディアプレーヤーではラジオも操作できます。ラジオについては、別のセクションを参照してください。

関連情報

- メディア再生（p. 558）
- メディアの操作および変更（p. 560）
- メディアの検索（p. 561）
- アプリ（p. 550）
- ラジオ（p. 553）
- CD プレーヤー*（p. 562）
- ビデオ（p. 562）
- Bluetooth®経由のメディア（p. 564）
- USB ポート経由のメディア（p. 564）
- オンライン車両*（p. 584）

メディア再生

メディアプレーヤーはセンターディスプレイから操作します。いくつかの機能はステアリングホイール右側のステアリングリモコンまたは音声認識機能で操作することもできます。

メディアプレーヤーではラジオも操作できます。ラジオについては、別のセクションを参照してください。

メディアソースの起動

アプリビュー（一般的な画像。基本アプリは市場およびモデルにより異なります）

CD*

1. CD を挿入します。
2. アプリビューからアプリ **CD** を開きます。
3. 再生するものを選択します。
   > 再生が始まります。

* オプション/アクセサリー。

USB メモリー
1. USB メモリーを接続します。
2. アプリビューからアプリ **USB** を開きます。
3. 再生するものを選択します。
   > 再生が始まります。

MP3 プレーヤーおよび iPod®

> **注意**
>
> iPod から再生を開始するには、USB ではなく iPod アプリを使用してください。
>
> iPod をオーディオソースとして使用しているとき、車両のオーディオ・メディアシステムのメニュー構造は、iPod のメニュー構造と同様になります。

1. メディアソースを接続します。
2. 接続したメディアソースで再生を開始します。
3. アプリビューからアプリ(**iPod**、**USB**)を開きます。
   > 再生が始まります。

Bluetooth 接続機器
1. メディアソースの Bluetooth をオンにします。
2. メディアソースを接続します。
3. 接続したメディアソースで再生を開始します。
4. アプリビューからアプリ **Bluetooth** を開きます。
   > 再生が始まります。

インターネット接続メディア
インターネット接続されたアプリからメディアを再生します。
1. 車両をインターネットに接続します。
2. アプリビューからアプリを開きます。
   > 再生が始まります。

アプリのダウンロード方法については、別の項を参照してください。

ビデオ
1. メディアソースを接続します。
2. アプリビューからアプリ **USB** を開きます。
3. 再生したいアイテムのタイトルをタップします。
   > 再生が始まります。

Apple CarPlay
CarPlay は別の項に記載されています。

Android Auto
Android Auto は別の項に記載されています。

関連情報
- ドライバーディスプレイでアプリケーションメニューを管理する (p. 141)
- ラジオ (p. 553)
- メディアの操作および変更 (p. 560)
- USB ポート経由でデバイスを接続する (p. 565)
- Bluetooth®経由でデバイスを接続する (p. 564)
- アプリのダウンロード (p. 551)
- オンライン車両* (p. 584)
- ビデオ (p. 562)
- Apple® CarPlay®* (p. 569)
- Android Auto* (p. 572)
- ラジオおよびメディアの音声認識 (p. 185)
- 対応メディア形式 (p. 566)

メディアの操作および変更

メディアの再生は音声認識、ステアリングリモコンまたはセンターディスプレイで操作することができます。

メディアプレーヤーは音声認識、ステアリングホイールのステアリングリモコン、またはセンターディスプレイで操作することができます。

音量 – センターディスプレイの下にあるコントロールノブを回すか、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンの ▲ ▼ を押して、音量を調節します。

再生/一時停止 – 再生中の曲の画像、センターディスプレイの下にあるボタン、またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンの ○ をタップします。

曲の変更 – センターディスプレイで目的の曲をタップするか、センターディスプレイの下またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある ⏮ または ⏭ を押します。

早送り/移動 – センターディスプレイの時間軸をタップし、横方向にドラッグするか、センターディスプレイの下またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンにある ⏮ または ⏭ を長押しします。

メディアの変更 – アプリの前のソースから選択する、アプリビューで目的のアプリをタップする、またはステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用してアプリメニューから選択する 🗐 方法のいずれかを使用します。

ライブラリ – ライブラリから再生するときに、このボタンを押します。

ｼｬｯﾌﾙ – 再生順序をシャッフルするときに、このボタンを押します。

類似ｼﾞｬﾝﾙ – Gracenote を使用して USB デバイスにある類似の音楽を検索し、そこからプレイリストを作成するときに、このボタンを押します。プレイリストには、50 曲まで入れることができます。

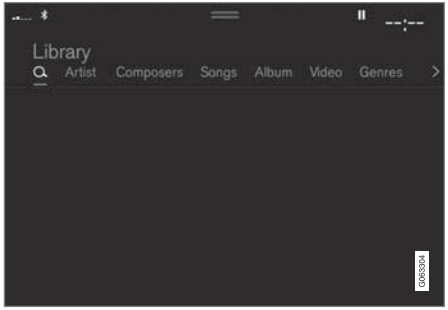
ﾃﾞﾊﾞｲｽを変更 – 複数の USB デバイスが接続されているときに、USB デバイスの切り替えにこのボタンを押します。

関連情報

- メディアプレーヤー (p. 557)
- メディアの検索 (p. 561)
- オーディオ設定 (p. 548)
- アプリ (p. 550)
- Gracenote® (p. 561)
- ラジオおよびメディアの音声認識 (p. 185)

メディアの検索

アーティスト、作曲者、曲名、アルバム、ビデオ、オーディオブック、プレイリストおよびポッドキャスト(インターネット経由のデジタルメディア。車両がインターネットに接続されているときのみ対応)を検索条件として使用することができます。



1. をタップします。
   > キーボード付き検索ビューが開きます。
2. 検索語を入力します。
3. **検索** をタップします。
   > 接続されている機器が検索され、検索結果がカテゴリー別に表示されます。

画面を横方向にスワイプすると、各カテゴリーが個別に表示されます。

関連情報

- メディアプレーヤー (p. 557)
- オンライン車両* (p. 584)
- メディア再生 (p. 558)
- センターディスプレイに手書きで文字や単語を入力する (p. 166)

Gracenote®

Gracenote は、再生中に表示される情報(アーティスト、アルバム、曲名および関連画像)を識別します。

Gracenote MusicID®は、音楽認識の業界標準です。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **メディア ➔ Gracenote®** をタップします。
3. Gracenote データの設定を選択する：

- **Gracenote®オンライン検索** - Gracenote のオンラインデータベースで再生メディアを検索します。
- **Gracenote®複数結果** - 検索結果が複数だった場合の Gracenote データの表示方法を選択します。

  1 - ファイルの元データが使用される。

  2 - Gracenote データが使用される。

  3 - Gracenote または元データを選択することができる。
- **なし** - 結果を表示しない。

Gracenote のアップデート

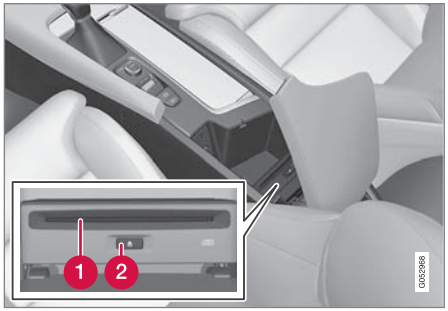
Gracenote データベースのコンテンツはつねにアップデートされ続けています。最適な機能のために、最新のアップデートをダウンロードしてください。詳しい情報およびダウンロードについては、support.volvocars.com をご覧ください。

関連情報

- メディア再生（p. 558）
- オーディオ・メディアのライセンス契約（p. 592）

CD プレーヤー*

メディアプレーヤーは互換性のあるオーディオファイルが記録されている CD を再生することができます。



1. ディスク挿入/取り出しスロット
2. ディスク取り出しボタン

関連情報

- メディア再生（p. 558）
- ラジオおよびメディアの音声認識（p. 185）
- 対応メディア形式（p. 566）

ビデオ

メディアプレーヤーを使用すると、USB 接続のデバイスに保存されているビデオを再生することができます。

車両が動き始めると映像は表示されなくなり、音声のみが再生されます。停車すると、映像が再度表示されます。

対応するメディア形式については別の項で確認できます。

関連情報

- ビデオの再生（p. 563）
- DivX®の再生（p. 563）
- ビデオの設定（p. 563）
- 対応メディア形式（p. 566）

* オプション/アクセサリー。

ビデオの再生

ビデオを再生するには、アプリビューで USB アプリを使用します。

1. メディアソースの接続(USB デバイス)
2. アプリビューからアプリ **USB** を開きます。
3. 再生したいタイトルをタップします。
   > 再生が始まります。

関連情報

- ビデオ (p. 562)
- DivX®の再生 (p. 563)
- ビデオの設定 (p. 563)
- 対応メディア形式 (p. 566)

DivX®の再生

購入した DivX ビデオオンデマンド(VOD)映画を再生するには、この DivX Certified® 認証機器を登録する必要があります。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **ビデオ ➔ DivX® VOD** の順にタップして、登録コードを読み出します。
3. vod.divx.com を参照し、登録を完了します。

関連情報

- ビデオ (p. 562)
- ビデオの再生 (p. 563)
- ビデオの設定 (p. 563)
- 対応メディア形式 (p. 566)

ビデオの設定

一部のビデオ再生設定(言語など)は変更することができます。

ビデオプレーヤーがフルスクリーンモードになっているとき、またはトップビューを開いて **設定 ➔ ビデオ** の順に押すと、**音声言語**、**オフ**、および **字幕言語** を変更することができます。

関連情報

- ビデオ (p. 562)

Bluetooth®経由のメディア

車両のメディアプレーヤーには、Bluetooth が装備されており、携帯電話やタブレットなど Bluetooth 搭載の外部デバイスからオーディオファイルをワイヤレスで再生することができます。

メディアプレーヤーを使用して外部デバイスのオーディオファイルをワイヤレスで再生するには、まず Bluetooth でデバイスを接続する必要があります。

関連情報

- Bluetooth®経由でデバイスを接続する (p. 564)
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する (p. 576)
- メディア再生 (p. 558)
- 対応メディア形式 (p. 566)

Bluetooth®経由でデバイスを接続する

Bluetooth®デバイスを車両に接続すると、メディアをワイヤレスで再生したり、車両をインターネットに接続したり(可能な場合)することができます。

市販されている多くの携帯電話にワイヤレス Bluetooth®テクノロジーが搭載されていますが、車両に完全には対応していない機種もあります。対応機種については、support.volvocars.com を参照してください。

メディアデバイスの接続手順は、携帯電話を Bluetooth®経由で車両に接続する場合と同じです。

関連情報

- Bluetooth®経由のメディア (p. 564)
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する (p. 576)
- メディア再生 (p. 558)

USB ポート経由のメディア

車両の USB ポートを介して、iPod®や MP3 プレーヤーなどの外部オーディオソースをオーディオシステムに接続できます。

充電式バッテリー付きのデバイスは、USB 経由で接続されている場合、イグニッションが I または II 位置のとき、あるいはエンジンが作動しているときに充電されます。

外部ソースのコンテンツは、互換性のある形式のファイルのみで構成されている場合、読み込み時間が短くなります。USB ポート経由ではビデオファイルも再生することができます。

MP3 プレーヤーの中には、車両が対応していない独自のファイルシステムを採用しているものもあります。

関連情報

- USB ポート経由でデバイスを接続する (p. 565)
- メディア再生 (p. 558)
- ビデオ (p. 562)
- イグニッション位置 (p. 480)
- USB デバイスの技術仕様 (p. 565)
- Apple® CarPlay®* (p. 569)
- Android Auto* (p. 572)

* オプション/アクセサリー。

USB ポート経由でデバイスを接続する

車両の USB ポートの 1 つを介して、iPod®や MP3 プレーヤーなどの外部オーディオソースをオーディオシステムに接続できます。

Apple CarPlay*および Android Auto*を使用する際は、携帯電話を白フレームの USB ポート(USB ポートが 2 つある場合)に接続してください。

トンネルコンソールの USB ポート(A タイプ)。リッドを閉めるときにはさまれないように、USB ケーブルは前方にくるよう配置してください。

関連情報

- メディア再生 (p. 558)
- USB ポート経由のメディア (p. 564)
- メディアプレーヤー (p. 557)
- USB デバイスの技術仕様 (p. 565)
- USB デバイスの技術仕様 (p. 565)
- Apple® CarPlay®* (p. 569)
- Android Auto* (p. 572)

USB デバイスの技術仕様

USB デバイスのコンテンツを読み込むためには、以下の仕様に適合している必要があります。

再生中は、センターディスプレイにフォルダー構造は表示されません。

	最大数
ファイル	15,000
フォルダー	1,000
フォルダー階層	8
プレイリスト	100
1 プレイリスト内のアイテム	1,000
サブフォルダー	無制限

USB A コネクターの技術仕様

- タイプ A ソケット
- バージョン 2.0
- 供給電圧 5V
- 最大供給電流 2.1A

関連情報

- USB ポート経由のメディア (p. 564)

対応メディア形式

メディアの再生では、以下のファイル形式を使用する必要があります。

オーディオファイル

形式	ファイル拡張子	コーデック
MP3	.mp3	MPEG1 Layer III、MPEG2 Layer III、MP3 Pro (mp3 互換)、MP3 HD (mp3 互換)
AAC	.m4a、.m4b、.aac	AAC LC (MPEG-4 part III Audio)、HE-AAC (aacPlus v1/v2)
WMA	.wma	WMA8/9、WMA9/10 Pro
WAV	.wav	LPCM
FLAC	.flac	FLAC

動画ファイル

形式	ファイル拡張子
MP4	.mp4、m4v
MPEG-PS	.mpg、.mp2、.mpeg、.m1v
AVI	.avi
AVI (DivX)	.avi、.divx
ASF	.asf、.wmv
MKV	.mkv

字幕

形式	ファイル拡張子
SubViewer	.sub
SubRip	.srt
SSA	.ssa

DivX®

DivX Certified (DivX 認証)デバイスは、高品質の DivX (.divx、.avi)ビデオ再生に対応していることが実証されています。DivX ロゴの表示がある場合、DivX ムービーを自由に再生できます。

プロフィール	DivX Home Theater
動画コーデック	DivX、MPEG-4
解像度	720x576
ビットレート	4.8Mbps
フレームレート	30 fps
ファイル拡張子	.divx、.avi
最大ファイルサイズ	4 GB
音声コーデック	MP3、AC3
字幕	XSUB
特殊機能	多言語字幕、多重音声、レジューム再生
参考	DivX Home Theater プロファイルのすべての要件を満たします。お持ちのファイルを DivX Home Theater の動画に変換するためのソフトウェアツールおよび詳細情報については、divx.com を参照してください。

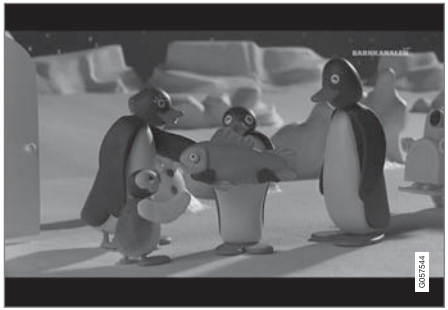
関連情報

- メディアプレーヤー (p. 557)
- ビデオ (p. 562)
- DivX®の再生 (p. 563)

テレビ*2

特定の走行速度に達すると映像は表示されなくなりますが、音声はつねに聞くことができます。車両がほぼまたは完全に停止すると、映像は再度表示されます。

テレビはセンターディスプレイから操作します。機能の中には、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンまたは音声認識で操作できるものもあります。



関連情報

- テレビ*の使用（p. 567）
- テレビ*の設定（p. 568）

テレビ*3 の使用

テレビはアプリビューから起動します。TV アプリをタップして、チャンネルを選択します。

テレビは受信状態のもっとも良好なチャンネルを自動的に検索します。

視聴可能なチャンネルのリストを変更する

1. **ライブラリ** をタップします。
2. **TV チャンネル** または **お気に入り** から再生を選択します。
3. 目的のチャンネルを選択します。

選択したリストからチャンネルを変更する

– センターディスプレイの下またはステアリングリモコンにある ⏮ または ⏭ を押します。
  › 選択したプレイリスト内でハイライトが上または下に 1 つ移動します。

センターディスプレイから放送局を変更することもできます。

お気に入り

テレビチャンネルはお気に入りとして保存することができます。

– ☆ をタップすると、お気に入りリストのチャンネルを追加/削除できます。

テレビガイド

番組ガイドを使用すると、今後 48 時間以内に放送されるテレビ番組の情報を表示することができます。

– **ガイド** をタップすると、テレビ番組に関する情報が表示されます。

> **注意**
>
> 車両を国内で移動した場合（ある市から別の市への移動など）、周波数が異なることがあるため、**お気に入り** が利用できなくなる可能性があります。

緊急警報

システムは現在のメディア再生を中断して、大事故や災害に関する警報を送信します。道路交通情報が終了すると、前のメディアソースの再生が再開されます。センターディスプレイの下またはステアリングリモコンにある ⏮ または ⏭ を押すと、メッセージを中断することができます。

2 特定市場に適用
3 特定市場に適用

注意

このシステムが対応するテレビ放送は、圧縮方式に MPEG-2 形式または MPEG-4 形式を使用し、I-SDBT 規格に準拠している国の放送に限定されます。このシステムはアナログ放送に対応していません。

関連情報

- テレビ* (p. 567)
- テレビ*の設定 (p. 568)
- ラジオおよびメディアの音声認識 (p. 185)
- オーディオ・メディアのライセンス契約 (p. 592)

テレビ*[4] の設定

一部の設定オプションは、トップビューでも、テレビがフルスクリーンモードのときでも使用することができます。

テレビがフルスクリーンモードになっているとき、またはトップビューを開いて **設定 ➔ メディア ➔ TV** の順にタップすると、以下を変更できます。

- **字幕言語**
- **音声言語**
- **セグメント自動切替** を選択すると、テレビは自動的に HDTV[5] を選択します(利用不可の場合は SDTV[6])。HDTV 12-セグメント(フルセグ)または SDTV 1 セグメント(ワンセグ)のみを選択するオプションもあります。

ソフトウェアキー(TRMP)

- 組み込みソフトウェアキーは、TRMP 社の規定したユーザー利用規約によって規制されます。
- センターディスプレイのトップビューで **設定** を押して ID を表示し、続いて **メディア ➔ TV** を押します。ID が工場出荷時の設定にリセットされます。ユーザーデータおよびシステム設定がすべて工場出荷時の設定にリセットされます。ご注意ください。

画像形式

画像形式 をタップすると、テレビ画像の表示形式を選択することができます。

1. **オート** - テレビ画像は伝送中の画像形式で表示されます。
2. **オートフィル** - テレビ画像はトリミングされることなく最大化されます。

関連情報

- テレビ* (p. 567)
- テレビ*の使用 (p. 567)
- 対応メディア形式 (p. 566)
- センターディスプレイの設定のリセット (p. 171)

4 特定市場に適用
5 高画質テレビ
6 標準画質テレビ

Apple® CarPlay®*

CarPlay を使用すると、運転に集中したままで、音楽を聞く、電話をかける、行き方を調べる、メッセージを送受信する、Siri を使用する、などの操作ができます。

CarPlay は選択した Apple デバイスと連動します。 車両が CarPlay に対応していない場合は、後から搭載するオプションがあります。CarPlay の搭載については、ボルボ・ディーラーにお問い合わせください。

サポートされているアプリや対応している携帯電話の情報については、Apple のウェブサイト: www.apple.com/ios/carplay/をご覧ください。CarPlay に対応していないアプリを使用した場合、iPhone と車両との接続が切断されることがあります。Volvo は CarPlay のコンテンツに関して一切責任を負いません。

CarPlay 経由で地図ナビゲーションを使用している場合、センターディスプレイのみに案内が表示されます。ドライバーディスプレイまたはヘッドアップディスプレイには表示されません。

CarPlay アプリは、センターディスプレイ、携帯電話またはステアリングホイール右側のステアリングリモコン(一部機能のみ)を使用して操作することができます。これらのアプリは Siri を使用して音声で操作することもできます。ステアリングホイールの ボタンを長押しすると、Siri を使用した音声認識が始まり、短く押すと、車両独自の音声認識が起動します。Siri の解除が早すぎる場合、ステアリングホイールの ボタンを長押ししてください[7]。

Apple CarPlay を使用すると次に承諾したことになります。 Apple CarPlay は、Apple Inc.の使用条件に基づいて提供されるｻｰﾋﾞｽです。したがってﾎﾞﾙﾎﾞ・ｶｰｽﾞでは Apple CarPlay やその機能/用途について一切責任を負いません。Apple CarPlay を使用する場合、お客様の車両から特定の情報（位置情報を含む）がiPhone に送信されます。利用者本人または第三者による Apple CarPlay の使用に関しては、ﾎﾞﾙﾎﾞ・ｶｰｽﾞではなく利用者本人が全責任を負います。

関連情報

- Apple® CarPlay®*の使用 (p. 569)
- Apple® CarPlay®*の設定 (p. 571)
- 音声認識 (p. 182)
- センターディスプレイの設定のリセット (p. 171)

Apple® CarPlay®*の使用

CarPlay を使用するには、携帯電話の音声認識機能の Siri をオンにする必要があります。携帯電話も Wi-Fi またはモバイルネットワークでインターネットに接続している必要があります。

iPhone を接続して CarPlay を起動する

注意

CarPlay は Bluetooth がオフの場合にのみ使用することができます。したがって、Bluetooth で車両に接続されている電話またはメディアプレーヤーは、CarPlay の使用中には利用できなくなります。車両のアプリでインターネット接続が必要な場合、代わりの方法でインターネットに接続する必要があります。Wi-Fi または車載のカーモデム*を使用してください。

1. iPhone を USB ポートに接続します。USB ポートが 2 つある場合、白フレームのポートを使用する必要があります。
2. ポップアップウィンドウの内容を確認し、**OK** をタップします。
3. アプリビューで **Apple CarPlay** をタップします。

[7] Apple および CarPlay は、Apple Inc.が所有する登録商標です。

4. 利用規約を読み、**承認** をタップして接続します。
   > CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
5. 目的のアプリをタップします。
   > アプリが起動します。

CarPlay を起動する

CarPlay を起動するには、iPhone の接続完了後に以下の手順に従ってください。

1. iPhone を USB ポートに接続します。USB ポートが 2 つある場合、白フレームのポートを使用する必要があります。
   > **自動起動の設定が選択されている場合** – 電話の名前が表示されます。
2. 電話の名前をタップします。CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
3. CarPlay のサブビューが開かない場合、アプリビューで **Apple CarPlay** をタップします。
   > CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
4. 目的のアプリをタップします。
   > アプリが起動します。

別のアプリを同じサブビューで起動すると、CarPlay はバックグラウンドで動作します。

CarPlay をサブビューで再表示するには、アプリビューで CarPlay アイコンをタップします。

CarPlay と iPod の接続を切り替える

CarPlay から iPod へ

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ Apple CarPlay** に移動します。
3. USB ケーブルを接続したときに CarPlay の自動起動を伴わないようにする Apple デバイスのボックスのチェックを外します。
4. Apple デバイスを切り離して USB ポートに接続します。
5. アプリビューからアプリ **iPod** を開きます。

iPod から CarPlay へ

1. アプリビューで **Apple CarPlay** をタップします。
2. ポップアップウィンドウの内容を確認し、**OK** をタップします。
3. Apple デバイスを切り離して USB ポートに接続します。
   > Apple CarPlay のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます[8]。

関連情報

- USB ポート経由でデバイスを接続する (p. 565)
- Apple® CarPlay®* (p. 569)
- Apple® CarPlay®*の設定 (p. 571)
- 携帯電話(Wi-Fi)を使用して車両をインターネットに接続する (p. 586)
- カーモデム(SIM カード)を介して車両をインターネットに接続する (p. 587)
- 音声認識 (p. 182)

[8] Apple、CarPlay、iPhone および iPod は、Apple Inc. が所有する登録商標です。

* オプション/アクセサリー。

Apple® CarPlay®*の設定

CarPlay[9] で接続された Apple デバイスの設定

自動起動

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ Apple CarPlay** に移動して、設定を選択します。
   - ボックスにチェックを付ける - USB ケーブルを接続したときに CarPlay が自動的に起動する。
   - ボックスのチェックを外す - USB ケーブルを接続したときに CarPlay が自動的に起動しない。

リストには Apple デバイスを 20 台まで登録することができます。リストがいっぱいのときに新規デバイスを接続すると、もっとも古いデバイスが削除されます。

リストを削除するには、センターディスプレイで設定をリセットする必要があります(工場出荷時設定へのリセット)。

システム音量

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **サウンド ➔ システム音量** をタップし、以下の設定を行います。
   - **音声コントロール**
   - **ナビ音声案内**
   - **電話着信音**

関連情報

- Apple® CarPlay®* (p. 569)
- Apple® CarPlay®*の使用 (p. 569)
- センターディスプレイの設定のリセット (p. 171)

Apple® CarPlay®*の使用のヒント

以下は、CarPlay®を使用する際に役立つヒントです。

- ご使用の iPhone を最新バージョンの iOS オペレーティングシステムにアップデートして、アプリが最新の状態になっていることを確認します。
- CarPlay に問題が発生した場合は、携帯電話を USB ポートから抜いて再度接続します。または携帯電話の機能していないアプリを閉じて再起動するか、すべてのアプリを閉じて携帯電話を再起動します。
- CarPlay を起動したときにアプリが表示されない場合(黒い画面)は、CarPlay のサブビューを最小化してから最大化します。
- CarPlay に対応していないアプリを使用した場合、携帯電話と車両との接続が切断されることがあります。対応アプリおよび対応機種に関する情報については、Apple のウェブサイトをご覧ください。また、App Store で CarPlay を検索すると、お住いの地域で利用可能な CarPlay 対応アプリに関する情報を得ることができます。
- CarPlay は iPhone[10] でのみ機能します。

[9] Apple および CarPlay は、Apple Inc. が所有する登録商標です。
[10] Apple、CarPlay および iPhone は、Apple Inc.が所有する登録商標です。

注意

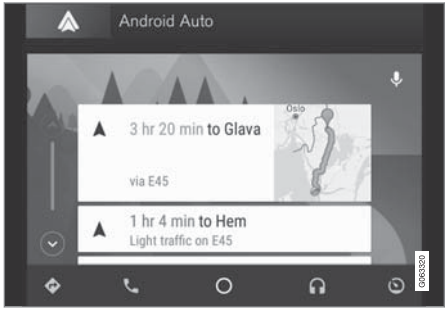
装備の可否および機能性は市場により異なることがあります。

関連情報

- Apple® CarPlay®* (p. 569)

Android Auto*

Android Auto では、音楽の再生、電話の発信、ルート検索、Android デバイスの車両対応アプリの使用などの操作が可能です。
Android Auto は対応している Android デバイスと連動します。



サポートされているアプリや対応している携帯電話の情報については、ウェブサイト：www.android.com/auto/ をご覧ください。サードパーティー製アプリについては、Google Play をご覧ください。Volvo は Android Auto のコンテンツに関して一切責任を負いません。

Android Auto はアプリビューから起動します。一度 Android Auto を起動すると、次回そのデバイスが接続されたときに、アプリが自動的に起動します。自動起動は設定でオフにすることができます。

注意

電話を Android Auto に接続すると、Bluetooth 経由で別のメディアプレーヤーにストリーミングすることができます。Android Auto の使用中は Bluetooth が有効になります。

Android Auto 経由で地図ナビゲーションを使用している場合、センターディスプレイのみに案内が表示されます。ドライバーディスプレイまたはヘッドアップディスプレイには表示されません。

Android Auto はステアリングホイール右側のステアリングリモコンまたは音声操作を使用し、センターディスプレイから操作できます。ステアリングホイールの ボタンを長押しすると音声認識操作が始動し、軽く押すとオフになります。

Android Auto を使用することで、あなたは 次のことを承認したことになります： Android Auto は、Google Inc. がその契約 条件のもとで提供するサービスです。 Volvo Cars は、Android Auto またはその機 能やアプリケーションに対する責任を負い かねます。Android Auto を使用する場合、 車両は特定の情報(位置情報を含む)を接 続中の Android フォンに送信します。あな たは、ご自身または他者による Android Auto の使用に対して全責任を負います。

* オプション/アクセサリー。

関連情報

- Android Auto*の使用 (p. 573)
- Android Auto*の設定 (p. 574)

Android Auto*の使用

Android Auto アプリを使用するには、携帯電話にアプリをインストールし、携帯電話を車両の USB ポートに接続する必要があります。

初めて Android を接続する場合

1. Android 搭載スマートフォンを白いフレームの USB ポートに接続します。
2. ポップアップウィンドウの内容を確認し、**OK** をタップします。
3. アプリビューで **Android Auto** をタップします。
4. 利用規約を読み、**承認** をタップして接続します。
   > Android Auto のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
5. 目的のアプリをタップします。
   > アプリが起動します。

以前に接続したことのある Android を使用する場合

1. Android を USB ポートに接続します。
   > **自動起動の設定が選択されている場合** – 電話の名前が表示されます。
2. 電話の名前をタップします。Android Auto のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
3. **自動起動の設定が選択されていない場合** – アプリビューから **Android Auto** アプリを開きます。
   > Android Auto のサブビューが開き、対応しているアプリが表示されます。
4. 目的のアプリをタップします。
   > アプリが起動します。

別のアプリを同じサブビューで起動すると、Android Auto はバックグラウンドで動作します。Android Auto をサブビューで再表示するには、アプリビューで Android Auto アイコンをタップします。

関連情報

- Android Auto* (p. 572)
- Android Auto*の設定 (p. 574)
- USB ポート経由でデバイスを接続する (p. 565)
- 音声認識 (p. 182)

Android Auto*の設定

はじめて Android Auto と接続した携帯電話の設定

自動起動

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ Android Auto** をタップして、設定を選択します。
   - ボックスにチェックを付ける - USB ケーブルを接続したときに Android Auto が自動的に起動する。
   - ボックスのチェックを外す - USB ケーブルを接続したときに Android Auto が自動的に起動しない。

リストには Android デバイスを 20 台まで登録することができます。リストがいっぱいのときに新規デバイスを接続すると、もっとも古いデバイスが削除されます。

リストを削除するには、工場出荷時設定にリセットする必要があります。

システム音量

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **サウンド ➔ システム音量** をタップし、以下の設定を行います。
   - **音声コントロール**
   - **ナビ音声案内**
   - **電話着信音**

関連情報

- Android Auto* (p. 572)
- Android Auto*の使用 (p. 573)
- センターディスプレイの設定のリセット (p. 171)

Android Auto*の使用のヒント

以下は、Android Auto を使用する際に役立つヒントです。

- アプリが更新されていることを確認します。
- エンジンを始動し、センターディスプレイが起動したら携帯電話を接続します。次にアプリビューから Android Auto を開きます。
- Android Auto に問題が発生した場合は、Android フォンを USB ポートから抜いて再度接続します。または携帯電話のアプリを閉じて再起動します。
- 携帯電話を Android Auto に接続しているときでも、Bluetooth を使用して別のメディアプレーヤーにストリーミングすることができます。Android Auto 使用中は、Bluetooth 機能がオンになります。

関連情報

- Android Auto* (p. 572)

* オプション/アクセサリー。

電話

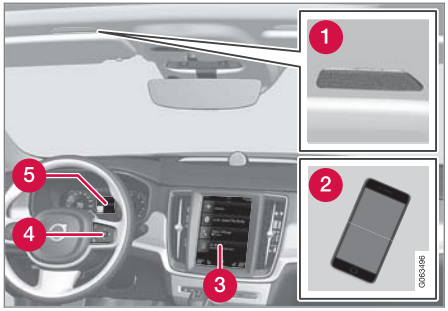
Bluetooth 対応の携帯電話は、車両の内蔵ハンズフリーシステムにワイヤレスで接続することができます。

携帯電話のさまざまな機能を、オーディオ、およびメディアシステムからハンズフリーで使用できます。携帯電話は、車両に接続している場合でも、携帯電話本体のキーで操作することができます。

インターネットに接続された携帯電話を車両に接続すると、携帯電話を使用して、電話の発信、メッセージの送受信、メディアのワイヤレス再生、および携帯電話経由でのインターネット接続を行うことができます。

携帯電話はセンターディスプレイから操作しますが、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンを使用して、音声認識およびアプリメニューで操作することもできます。

概要



1. マイク
2. 携帯電話
3. センターディスプレイの電話操作
4. 音声認識およびドライバーディスプレイに表示される電話機能の操作用キーパッド
5. ドライバーディスプレイ

関連情報

- 通話の操作（p. 580）
- 電話帳の管理（p. 582）
- テキストメッセージの操作（p. 581）
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する（p. 576）
- Bluetooth を使用して携帯電話を自動的に車両に接続する（p. 577）
- Bluetooth を使用して手動で携帯電話を車両に接続する（p. 578）
- Bluetooth 接続されている携帯電話の接続を切断する（p. 579）
- Bluetooth 接続された携帯電話の切り替え（p. 579）
- Bluetooth に接続されたデバイスを削除する（p. 579）
- 電話の設定（p. 583）
- 音声認識（p. 182）
- ドライバーディスプレイでアプリケーションメニューを管理する（p. 141）
- オーディオ設定（p. 548）
- Bluetooth 対応携帯電話を使用して車両をインターネットに接続する（p. 585）

Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する

Bluetooth を有効にした携帯電話を接続すると、車両から電話の発信、メッセージの送受信、メディアのワイヤレス再生、車両とインターネットの接続を行なうことができます。

Bluetooth 機器は同時に 2 台接続することができます。その場合、1 台はワイヤレス再生のみが可能です。電話/メッセージの発着信、メディアの再生およびインターネット接続を利用するときには、直近に接続した携帯電話が自動的に接続されます。使用する携帯電話は、センターディスプレイのトップビューにある設定メニューの **Bluetooth デバイス** で変更できます。

Bluetooth で 1 度デバイスを接続/登録すると、次回からは Bluetooth を有効にするだけで、検出モードにする必要はありません。車両には、接続済みの Bluetooth 機器を 20 台まで保存することができます。

接続には 2 通りの方法があります。車両から携帯電話を探索する方法と携帯電話から車両を探索する方法です。

方法 1 – 車両から携帯電話を探索する

1. 携帯電話を Bluetooth 経由で探索可能/検知可能な状態にします。
2. センターディスプレイで携帯電話のサブビューを開きます。
   - 車両に接続されている携帯電話がない場合、**電話を追加** をタップします。
   - 車両に接続されている携帯電話がある場合、**変更** をタップします。ポップアップウィンドウで、**電話を追加** をタップします。

   › 利用可能な Bluetooth 機器が一覧表示されます。新しい機器が検知されると、リストが更新されます。
3. 接続する携帯電話の名前をタップします。
4. 車両の指定数字コードが携帯電話のものと一致していることを確認します。この場合、双方で許可を選択します。
5. 電話連絡先およびメッセージのオプションの許可または拒否を携帯電話で選択します。

注意

- 一部の携帯電話では、メッセージ機能を有効にする必要があります。
- 一部の携帯電話は完全互換ではないため、車内で連絡先やメッセージが表示されないことがあります。

方法 2 – 携帯電話から車両を探索する

1. センターディスプレイで携帯電話のサブビューを開きます。
   - 車両に接続されている携帯電話がない場合、**電話を追加 ➔ 車両を検出モードにする** をタップします。
   - 車両に接続されている携帯電話がある場合、**変更** をタップします。ポップアップウィンドウで、**電話を追加 ➔ 車両を検出モードにする** をタップします。
2. 携帯電話の Bluetooth をオンにします。
3. 携帯電話で Bluetooth 機器を探索します。

   › 利用可能な Bluetooth 機器が一覧表示されます。
4. 車両の名前を携帯電話で選択します。
5. 車両に接続のポップアップウィンドウが表示されます。接続を確認します。
6. 車両の指定数字コードが外部機器に表示されているものと一致していることを確認します。この場合、双方で許可を選択します。
7. 電話連絡先およびメッセージのオプションの許可または拒否を携帯電話で選択します。

注意

- 一部の携帯電話では、メッセージ機能を有効にする必要があります。
- 一部の携帯電話は完全互換ではないため、車内で連絡先やメッセージが表示されないことがあります。

注意

電話のオペレーティングシステムがアップデートされると、接続が中断される場合があります。この場合、いったん車両から電話を削除し、再度接続してください。

対応する携帯電話機種

市販されている多くの携帯電話にワイヤレス Bluetooth テクノロジーが搭載されていますが、車両に完全には対応していない機種もあります。対応機種については、support.volvocars.com を参照してください。

関連情報

- 電話（p. 575）
- Bluetooth を使用して携帯電話を自動的に車両に接続する（p. 577）
- Bluetooth を使用して手動で携帯電話を車両に接続する（p. 578）
- Bluetooth 接続されている携帯電話の接続を切断する（p. 579）
- Bluetooth 接続された携帯電話の切り替え（p. 579）
- Bluetooth に接続されたデバイスを削除する（p. 579）
- Bluetooth デバイスの設定（p. 584）
- オンライン車両*（p. 584）
- Bluetooth 対応携帯電話を使用して車両をインターネットに接続する（p. 585）

Bluetooth を使用して携帯電話を自動的に車両に接続する

携帯電話は Bluetooth 経由で車両に自動的に接続することができます。対象の携帯電話は車両との初めての接続が完了している必要があります。

自動的に接続できるのは、直近に接続された 2 台の携帯電話のみです。

1. 車両をイグニッション位置 I にする前に携帯電話の Bluetooth をオンにします。
2. I 以上のイグニッション位置にします。
   > 携帯電話が接続されます。

関連情報

- 電話（p. 575）
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する（p. 576）
- Bluetooth を使用して手動で携帯電話を車両に接続する（p. 578）
- Bluetooth 接続されている携帯電話の接続を切断する（p. 579）
- Bluetooth 接続された携帯電話の切り替え（p. 579）
- Bluetooth に接続されたデバイスを削除する（p. 579）
- Bluetooth デバイスの設定（p. 584）
- オンライン車両*（p. 584）

- Bluetooth 対応携帯電話を使用して車両をインターネットに接続する（p. 585）
- イグニッション位置（p. 480）

Bluetooth を使用して手動で携帯電話を車両に接続する

携帯電話は Bluetooth 経由で車両に手動接続することができます。対象の携帯電話は車両との初めての接続が完了している必要があります。

1. 携帯電話の Bluetooth をオンにします。
2. 電話のサブビューを開きます。
   > 過去に接続した携帯電話が表示されます。
3. 接続する携帯電話の名前をタップします。
   > 携帯電話が接続されます。

関連情報

- 電話（p. 575）
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する（p. 576）
- Bluetooth を使用して携帯電話を自動的に車両に接続する（p. 577）
- Bluetooth 接続されている携帯電話の接続を切断する（p. 579）
- Bluetooth 接続された携帯電話の切り替え（p. 579）
- Bluetooth に接続されたデバイスを削除する（p. 579）
- Bluetooth デバイスの設定（p. 584）
- オンライン車両*（p. 584）

- Bluetooth 対応携帯電話を使用して車両をインターネットに接続する（p. 585）

* オプション/アクセサリー。

Bluetooth 接続されている携帯電話の接続を切断する

車両に Bluetooth 接続されている携帯電話の接続を切断するには、携帯電話の Bluetooth をオフにします。

携帯電話が作動範囲外にある場合、その接続は自動的に切断されます。通話中に携帯電話が切断された場合、その通話は携帯電話で継続されます。

関連情報

- 電話（p. 575）
- 電話の設定（p. 583）
- Bluetooth 接続された携帯電話の切り替え（p. 579）
- Bluetooth に接続されたデバイスを削除する（p. 579）
- Bluetooth デバイスの設定（p. 584）

Bluetooth 接続された携帯電話の切り替え

Bluetooth 接続されている複数の携帯電話を切り替えることができます。

1. 電話のサブビューを開きます。
2. **変更** をタップするか、トップビューを下方向にドラッグして **設定 ➔ 通信 ➔ Bluetooth デバイス ➔ デバイスを追加** の順にタップします。
   > 利用可能な Bluetooth 機器が一覧表示されます。
3. 接続する携帯電話をタップします。

関連情報

- 電話（p. 575）
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する（p. 576）
- Bluetooth デバイスの設定（p. 584）
- Bluetooth 接続されている携帯電話の接続を切断する（p. 579）
- Bluetooth に接続されたデバイスを削除する（p. 579）

Bluetooth に接続されたデバイスを削除する

登録されている Bluetooth デバイスのリストから携帯電話などを削除することができます。

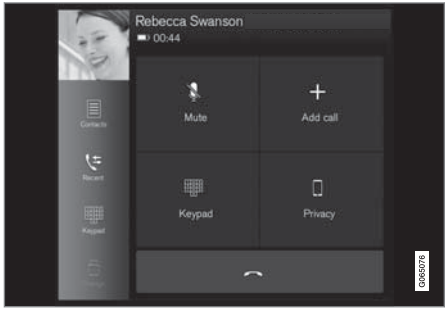
1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ Bluetooth デバイス** をタップします。
   > 登録された Bluetooth デバイスのリストが表示されます。
3. 削除するデバイスをタップします。
4. **デバイスを削除** をタップして、選択を確定します。
   > これで車両に登録された該当のデバイスは削除されました。

関連情報

- 電話（p. 575）
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する（p. 576）
- Bluetooth 接続されている携帯電話の接続を切断する（p. 579）
- Bluetooth 接続された携帯電話の切り替え（p. 579）
- Bluetooth デバイスの設定（p. 584）

通話の操作

車内で Bluetooth 接続電話の通話に対応します。



一般的な図

電話をかける

1. 電話のサブビューを開きます。
2. 通話履歴からの選択、キーパッドによる番号入力、または連絡先リストからの選択により、通話先を選択します。連絡先リストでは、検索またはブラウズすることができます。連絡先リストで ☆ をタップすると、連絡先が **お気に入り** に追加されます。
3. をタップして、電話をかけます。
4. をタップして通話を終了します。

アプリメニューを使用して、通話履歴から電話をかけることもできます。使用するには、ステアリングホイール右側のステアリングリモコン からアクセスしてください。

グループ通話をする

通話中に以下の操作を行います。

1. **通話を追加** をタップします。
2. 通話履歴、お気に入り、または連絡先リストから電話することを選択します。
3. 通話履歴の項目/列をタップするか、連絡先リストの連絡先の横にある をタップします。
4. **通話を切替** をタップして、通話相手を切り替えます。
5. をタップして、現在の相手との通話を終了します。

会議通話

グループ通話中に以下の操作を行います。

1. **グループ通話** をタップして、接続中のグループ通話を統合します。
2. をタップして通話を終了します。

着信

着信があると、ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイに表示されます。ステアリングホイール右側のステアリングリモコンまたはセンターディスプレイを使用して、着信に対応します。

1. **応答/拒否** をタップします。
2. をタップして通話を終了します。

通話中の着信

1. **応答/拒否** をタップします。
2. をタップして通話を終了します。

私的な電話

– 通話中に **プライバシー** をタップして、設定を選択します。
  - **携帯電話に切替** – ハンズフリー機能がオフになり、通話は携帯電話で継続されます。
  - **ドライバー向けに最適化する** – 助手席側のルーフのマイクがオフになり、通話は車両のハンズフリー機能で継続されます。

関連情報

- 電話（p. 575）
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する（p. 576）
- 電話を音声認識で操作する（p. 184）
- ドライバーディスプレイでアプリケーションメニューを管理する（p. 141）
- センターディスプレイに手書きで文字や単語を入力する（p. 166）
- 電話帳の管理（p. 582）

- テキストメッセージの操作（p. 581）
- オーディオ設定（p. 548）

テキストメッセージの操作 [11]

車内で Bluetooth 接続電話のメッセージに対応します。

一部の携帯電話では、メッセージ機能をオンにする必要があります。一部の携帯電話は対応していません。対応していない機種の場合、車両で連絡先およびメッセージを表示することはできません。対応機種については、support.volvocars.com を参照してください。

センターディスプレイでテキストメッセージを管理する

テキストメッセージはセンターディスプレイに表示するように設定されている場合にのみ、センターディスプレイに表示されます。

アプリビューで **メッセージ** をタップして、センターディスプレイのテキストメッセージを管理します。

センターディスプレイでテキストメッセージを読む

アイコンを押すと、メッセージが読み上げられます。

センターディスプレイでテキストメッセージを送信する [12]

1. メッセージへの返信やメッセージの新規作成が可能です。
   - メッセージに返信 – 返信したいメッセージの発信元をタップし、**応答** をタップします。
   - メッセージを新規作成 – **新規作成** をタップします。連絡先を選択するか、数字を入力します。
2. メッセージを入力します。
3. **送信** をタップします。

ドライバーディスプレイでテキストメッセージを管理する

テキストメッセージはドライバーディスプレイに表示するように設定されている場合にのみ、ドライバーディスプレイに表示されます。

ドライバーディスプレイで新着のテキストメッセージを読む

– メッセージを読み上げさせる – ステアリングリモコンを使用して **音声** を選択します。

11 特定市場にのみ適用されます。詳しくは、ボルボ・ディーラーまでお問い合わせください。
12 車両からのメッセージ送信は、一部の携帯電話でのみ可能です。対応機種については、support.volvocars.com を参照してください。

ドライバーディスプレイで返信メッセージを音声入力する

テキストメッセージが読み上げられた後、車両がインターネットに接続されている場合は、音声入力で簡単な返信メッセージを作成することができます。

– ステアリングリモコンを使用して **応答** を押します。音声入力ダイアログが開始されます。

メッセージ通知

テキストメッセージ設定で通知をオンまたはオフにすることができます。

関連情報

- 電話（p. 575）
- テキストメッセージの設定（p. 582）
- 電話の設定（p. 583）
- オンライン車両*（p. 584）
- 電話を音声認識で操作する（p. 184）
- センターディスプレイに手書きで文字や単語を入力する（p. 166）
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する（p. 576）
- ユーザー利用規約およびデータ共有（p. 591）

テキストメッセージの設定

接続されている携帯電話でのテキストメッセージの設定

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ テキストメッセージ** をタップして、設定を選択します。
   - **センターディスプレイに通知** – センターディスプレイのステータスバーにメッセージ通知を表示します。
   - **メーターに通知** – ドライバーディスプレイに通知を表示します。受信メッセージは、ステアリングホイール右側のステアリングリモコンで管理できます。
   - **SMS 着信音** – 受信メッセージの着信音を選択します。

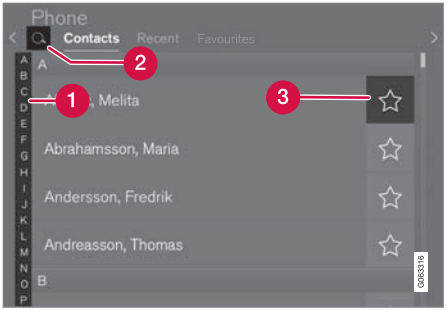
関連情報

- 電話（p. 575）
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する（p. 576）
- テキストメッセージの操作（p. 581）
- 電話の設定（p. 583）

電話帳の管理

携帯電話を Bluetooth で接続しているときは、センターディスプレイで連絡先を管理できます。

センターディスプレイで選択した携帯電話の連絡先、最大 3,000 件を表示できます。



1. 文字および # の一覧 – 一致する連絡先を見つけることができます。電話帳の既存の連絡先に応じて、一致する文字のみが表示されます。
2. **連絡先を検索** – 🔍 をタップすると、連絡先リストに登録されている名前の電話番号を検索できます。
3. **お気に入り** – ☆ をタップすると、お気に入りリストの連絡先を追加/削除できます。

* オプション/アクセサリー。

並べ替え
連絡先リストはABC順に表示され、特殊文字および数字は ＃ に表示されます。姓または名で並べ替えることができます。この設定は電話セットアップで調節します。

関連情報
- 電話（p. 575）
- 電話の設定（p. 583）
- 電話を音声認識で操作する（p. 184）
- センターディスプレイに手書きで文字や単語を入力する（p. 166）
- Bluetoothを使用して携帯電話を初めて車両に接続する（p. 576）

電話の設定
携帯電話を車両に接続しているときは、以下の設定が可能です。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ 電話** をタップして、設定を選択します。
   - **着信音** – 着信音の選択。携帯電話または車両の着信音を使用することができます。一部の携帯電話は完全には対応していないため、携帯電話の着信音を車内で使用できないことがあります。対応機種については、support.volvocars.comを参照してください。
   - **ソート順** – 連絡先リストの並べ替え順序の選択。

ヘッドアップディスプレイ* に通知を表示する
1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **My Car ➔ ディスプレイ ➔ ヘッドアップディスプレイオプション** をタップします。
3. **電話を表示** を選択します。

関連情報
- 電話（p. 575）
- テキストメッセージの設定（p. 582）
- Bluetoothデバイスの設定（p. 584）
- Bluetoothを使用して携帯電話を初めて車両に接続する（p. 576）
- ヘッドアップディスプレイ*（p. 179）
- オーディオ設定（p. 548）

Bluetooth デバイスの設定

Bluetooth 接続のデバイスの設定

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ Bluetooth デバイス** をタップして、設定を選択します。

- **デバイスを追加** – 新しい機器のペアリングを開始します。
- **ペアリング済デバイス** – 登録/ペアリングされたデバイスのリスト。
- **デバイスを削除** – 接続されている機器を削除します。
- **このデバイスで利用可能なサービス** – 発信、メッセージ送受信、メディアのストリーミングおよびインターネット接続の中からデバイスの使用オプションを設定します。
- **インターネット接続** – デバイスの Bluetooth 接続を使用して車両をインターネットに接続します。

関連情報

- 電話 (p. 575)
- 電話の設定 (p. 583)
- オンライン車両* (p. 584)
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する (p. 576)

オンライン車両*

車両がインターネットに接続されているときには、アプリ経由でのインターネットラジオやミュージックサービスの利用、ソフトウェアのダウンロード、車両からボルボ・ディーラーへの連絡などができます。

車両は Bluetooth または Wi-Fi 経由で電話に接続するか、または車両の内蔵モデム*(SIM カード)を使用して接続します。

車両がインターネットに接続されているときは、車両のインターネット接続(Wi-Fi)を共有してタブレットなどのその他のデバイスでインターネットにアクセスすることができます[13]。

インターネットの状態はセンターディスプレイのステータスバーにシンボルで表示されます。

注意

データはインターネット使用時に転送され(データ通信)、費用が発生する場合があります。

データローミングの有効化には、追加費用が発生する場合があります。

データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

注意

Apple CarPlay を使用している場合、車両は Wi-Fi またはカーモデム*でのみインターネットに接続することができます。

注意

Android Auto を使用している場合、車両は Wi-Fi、Bluetooth またはカーモデム*でインターネットに接続することができます。

車両をインターネットに接続する前に、support.volvocars.com で**サービス利用規約**および**お客様プライバシーポリシー**をお読みください。

[13] Wi-Fi との接続の場合には適用されません。

関連情報

- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル (p. 161)
- Bluetooth 対応携帯電話を使用して車両をインターネットに接続する (p. 585)
- 携帯電話(Wi-Fi)を使用して車両をインターネットに接続する (p. 586)
- カーモデム(SIM カード)を介して車両をインターネットに接続する (p. 587)
- アプリ (p. 550)
- インターネット接続なし/接続不良 (p. 589)
- Wi-Fi ホットスポット経由で車両のインターネットアクセスを共有する (p. 588)
- Wi-Fi ネットワークを削除する (p. 590)
- Wi-Fi の技術とセキュリティ (p. 590)
- Volvo ID (p. 28)
- ユーザー利用規約およびデータ共有 (p. 591)

Bluetooth 対応携帯電話を使用して車両をインターネットに接続する

携帯電話のインターネットアクセスを共有することにより、Bluetooth を介してインターネット接続を確立し、車内で複数のオンラインサービスへアクセスすることができます。

1. Bluetooth 接続されている携帯電話を介して車両をインターネットに接続するには、対象の携帯電話と車両が Bluetooth で接続されている必要があります。
2. お使いの携帯電話がテザリングに対応していることと、この機能が有効になっていることを確認してください。この機能は iPhone では「インターネット共有」、Android 搭載スマートフォンでは「パーソナルホットスポット」と呼ばれています。iPhones の場合は、インターネット接続が確立されるまでメニューページの「インターネット共有」を開いておく必要があります。
3. 過去に Bluetooth 経由で接続したことのある携帯電話の場合、センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
4. **通信 ➔ Bluetooth デバイス** をタップします。
5. 「**インターネット接続**」にある「**Bluetooth インターネット接続**」のボックスにチェックを入れます。
6. 別の接続元を使用したことがある場合は、接続変更のオプションを確認します。
   > これで、Bluetooth で接続された携帯電話を介して、車両がインターネットに接続されます。

注意

携帯電話およびネットワークのプロバイダーがテザリング(インターネット接続共有)に対応しており、利用契約にデータが含まれている必要があります。

注意

Apple CarPlay を使用している場合、車両は Wi-Fi またはカーモデム*でのみインターネットに接続することができます。

関連情報

- オンライン車両* (p. 584)
- カーモデム(SIM カード)を介して車両をインターネットに接続する (p. 587)
- Bluetooth を使用して携帯電話を初めて車両に接続する (p. 576)
- 携帯電話(Wi-Fi)を使用して車両をインターネットに接続する (p. 586)
- Apple® CarPlay®* (p. 569)

- インターネット接続なし/接続不良 (p. 589)
- Bluetooth デバイスの設定 (p. 584)

携帯電話(Wi-Fi)を使用して車両をインターネットに接続する

携帯電話の Wi-Fi テザリングを使用してインターネット接続を確立し、車内でオンラインサービスへアクセスすることができます。

1. お使いの携帯電話がテザリングに対応していることと、この機能が有効になっていることを確認してください。この機能は iPhone でも Android 搭載スマートフォンでも「テザリング」と呼ばれています。iPhones の場合は、インターネット接続が確立されるまでメニューページの「テザリング」を開いておく必要があります。
2. トップビューで **設定** をタップします。
3. **通信 ➔ Wi-Fi** に移動します。
4. Wi-Fi ボックスのチェックを付けて/外して、オン/オフにします。
5. 別の接続元を使用したことがある場合は、接続変更のオプションを確認します。
6. 接続するネットワークのネットワーク名をタップします。
7. ネットワークパスワードを入力します。
   > 車両がネットワークに接続します。

車両との接続が切断される(車両を離れて次回使用するまでの間など)と、一部の携帯電話はテザリングがオフになります。したがって、次回の使用時には携帯電話のテザリングを再度有効にする必要があります。

携帯電話が車両に接続されると、その後の使用に備えて保存されます。保存済みのネットワークのリストを表示する、または保存済みのネットワークを手動で削除するには、**設定 ➔ 通信 ➔ Wi-Fi ➔ 保存されたネットワーク** に移動します。

注意

携帯電話およびネットワークのプロバイダーがテザリング(インターネット接続共有)に対応しており、利用契約にデータが含まれている必要があります。

Wi-Fi 接続の技術的要件および安全要件については、別のセクションに記載されています。

関連情報

- オンライン車両* (p. 584)
- Wi-Fi ネットワークを削除する (p. 590)

* オプション/アクセサリー。

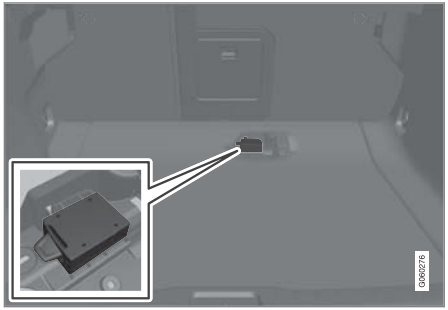
- インターネット接続なし/接続不良 (p. 589)
- Wi-Fi の技術とセキュリティ (p. 590)

カーモデム(SIM カード)を介して車両をインターネットに接続する

Volvo On Call*装備車では、カーモデムおよびパーソナル SIM カード(P-SIM)を介してインターネット接続を確立することができます。

カーモデムでインターネットに接続している場合、Volvo On Call サービスはその接続を使用します。

1.



パーソナル SIM カードをトランクルーム/カーゴスペースのフロアの下にあるホルダーに挿入します。

2. トップビューで **設定** をタップします。
3. **通信 ➔ カーモデムインターネット** をタップします。
4. **カーモデムインターネット** のボックスのチェックを付けて/外してオン/オフにします。
5. 別の接続元を使用したことがある場合は、接続変更のオプションを確認します。
6. SIM カードの PIN コードを入力します。
   > 車両がネットワークに接続します。

関連情報

- オンライン車両* (p. 584)
- インターネット接続なし/接続不良 (p. 589)
- カーモデムの設定 (p. 588)

カーモデム[14]の設定

車両には、インターネット接続に使用できるモデムが装備されています。Wi-Fi 経由でインターネットに接続することもできます。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ カーモデムインターネット** をタップして、設定を選択します。

- **カーモデムインターネット** – カーモデムをインターネット接続に使用するかどうかを選択します。
- **データ使用量** – **ﾘｾｯﾄ** をタップすると、送受信されたデータ量のカウンターがリセットされます。
- **ネットワーク**

  通信事業者を選択 – ネットワークプロバイダの自動または手動選択。

  データローミング – このボックスにチェックを付けると、車両が外国にあり、ホームネットワークの外側にあるとき、カーモデムはインターネットへの接続を試みます。この結果、高額の費用を請求されることがあります。ご注意ください。自国でお使いのネットワークプロバイダーに問い合わせて、外国でのデータトラフィックに関するローミング契約を確認してください。
- **SIM カードの PIN コード**

  PIN を変更 – 4 桁以下の数字を入力できます。

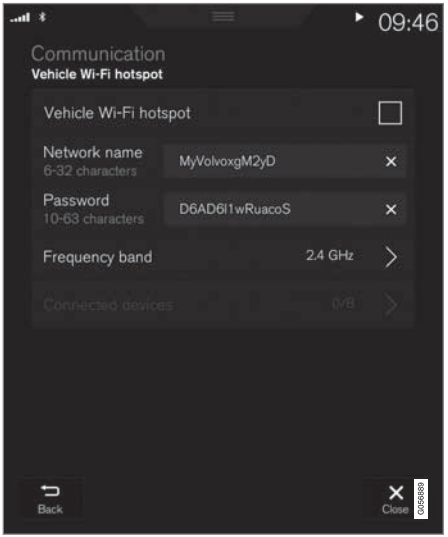
  PIN コードを無効化 – SIM カードへのアクセスに PIN コードを必要とするかどうかを選択します。
- **リクエストコードを送信** – プリペイドカードのチャージまたは残高確認などに使用されます。機能はプロバイダーにより異なります。

関連情報

- カーモデム(SIM カード)を介して車両をインターネットに接続する (p. 587)
- インターネット接続なし/接続不良 (p. 589)

Wi-Fi ホットスポット経由で車両のインターネットアクセスを共有する

車両がインターネットに接続されている場合、そのインターネット接続を共有して、ほかの機器がインターネット接続を利用できるようにすることができます[15]。



14 Volvo On Call 装備車のみ
15 車両が Wi-Fi でインターネットに接続されている場合は適用されません。

ネットワークプロバイダ(SIMカード)がテザリング(インターネット共有)に対応している必要があります。

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ 車両 Wi-Fi ホットスポット** をタップします。
3. **ネットワーク名** をタップし、テザリングを指定します。
4. **パスワード** をタップし、接続する機器に入力する必要のあるパスワードを選択します。
5. **周波数帯** をタップし、テザリングのデータ送信に使用する周波数帯を選択します。一部の市場では周波数帯の選択ができません。
6. **車両 Wi-Fi ホットスポット** のボックスのチェックを付けて/外してオン/オフにします。
7. Wi-Fi を接続元として使用したことがある場合、接続変更のオプションを確認します。
   › これで外部機器を車両のテザリング(Wi-Fi ホットスポット)に接続できます。

注意

Wi-Fi ホットスポットを有効にした場合、ご利用のネットワークプロバイダから追加料金が加算される場合があります。

データ通信費用については、ご利用の通信事業者にお問い合わせください。

接続状態はセンターディスプレイのステータスバーにシンボルで表示されます。

接続しているデバイス をタップして、現在接続中のデバイスの一覧を表示します。

関連情報

- センターディスプレイのステータスバーで使用されるシンボル (p. 161)
- オンライン車両* (p. 584)
- インターネット接続なし/接続不良 (p. 589)

インターネット接続なし/接続不良

インターネット接続に影響をおよぼす要因

データ転送量は車内で使用するサービスまたはアプリによって異なります。例えば、オーディオストリーミングはデータ転送量が大きく、良好な接続状態と信号強度が必要です。

携帯電話から車両

インターネット接続の速度は、車内の携帯電話の位置によって異なることがあります。信号強度を強めるために、携帯電話をセンターディスプレイに近づけてください。間に混信がないことを確認してください。

携帯電話からネットワーク

モバイルネットワークの速度は現在地の受信状態によって異なります。トンネル、山間、峡谷、屋内などでは、受信状態が悪くなる場合があります。通信速度はご利用のネットワーク契約によっても異なります。

注意

データ転送の問題については、ご利用のネットワークプロバイダにお問い合わせください。

携帯電話の再起動

インターネット接続に問題がある場合、携帯電話を再起動すると問題の解消に役立つことがあります。

関連情報
- オンライン車両*（p. 584）
- Wi-Fi の技術とセキュリティ（p. 590）

Wi-Fi ネットワークを削除する
使用しないネットワークの削除

1. トップビューで **設定** をタップします。
2. **通信 ➔ Wi-Fi ➔ 保存されたネットワーク** に移動します。
3. 削除するネットワークの横にある **削除** をタップします。
4. 選択を確定します。
   > 今後、車両がそのネットワークに接続されることはなくなります。

すべてのネットワークを削除する
工場出荷時設定に戻すと、すべてのネットワークを同時に削除することができます。ユーザーデータおよびシステム設定がすべて工場出荷時の設定にリセットされます。ご注意ください。

関連情報
- オンライン車両*（p. 584）
- インターネット接続なし/接続不良（p. 589）
- センターディスプレイの設定のリセット（p. 171）
- 携帯電話(Wi-Fi)を使用して車両をインターネットに接続する（p. 586）

Wi-Fi の技術とセキュリティ
接続可能なネットワークタイプ

以下のタイプのネットワークのみに接続することができます。

- 周波数帯 - 2.4 または 5 GHz[16]
- 規格 - 802.11 a/b/g/n
- セキュリティタイプ - WPA2-AES-CCMP

車両の Wi-Fi システムは、車内の Wi-Fi 機器に対応するように設計されています。

同じ周波数帯域で同時に複数の機器が動作している場合、性能が低下するおそれがあります。

関連情報
- オンライン車両*（p. 584）

[16] 周波数帯の選択はすべての市場で利用できません。

ユーザー利用規約およびデータ共有

特定のサービスやアプリを初めて起動すると、契約条件 および データの共有 というタイトルのポップアップウィンドウが表示される場合があります。

このウィンドウの目的は、ボルボのユーザー利用規約とデータ共有ポリシーに関する情報を提供することです。データ共有に同意すると、ユーザーは特定の情報が車両から送信されることに同意したものと見なされます。これは特定のサービスやアプリが完全に機能するために必要です。

データ共有は、センターディスプレイの設定メニューから設定できます。

関連情報

- データ共有のオン/オフ（p. 591）

データ共有のオン/オフ

サービスおよびアプリのデータ共有は、センターディスプレイの設定メニューで設定できます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ 個人情報** をタップします。
3. 各サービスおよびすべてのアプリのデータ共有を、オンまたはオフに設定します。

注意

ボルボ指定のサービス工場に来場した後は、オンラインサービスおよびアプリを元通りに機能させるためにデータ共有を再度オンにすることが必要になる場合があります。

関連情報

- ユーザー利用規約およびデータ共有（p. 591）

ハードディスクの記憶容量

車両のハードディスクの空き容量を表示します。

総記憶容量、空き容量、インストール済みアプリに使用されている容量など、車両のハードディスクの記憶情報を表示することができます。この情報は **設定 ➔ システム ➔ システム情報 ➔ ストレージ** から確認できます。

関連情報

- アプリ（p. 550）

オーディオ・メディアのライセンス契約

ライセンスとは、特定のアクティビティを操作する権利、または他人の権利を契約条件に基づいて使用する権利の許諾契約です。以下はボルボ社と製造元/開発元との使用許諾契約で、本文の大部分は英語で記載されています。

Bowers & Wilkins

Bowers & Wilkins および B&W は B&W Group Ltd の商標です。Nautilus は B&W Group Ltd の商標です。Kevlar は DuPont の登録商標です。

Dirac Unison®

Dirac Unison は、低音の一体感および明瞭度を最高の状態に高めるために、周波数、時間および空間を考慮してスピーカーを最適化します。この技術により、特定の演奏会場の音響特性を忠実に再現することができます。Dirac Unison は、先進のアルゴリズムを使用し、高精度音響測定に基づいて、Dirac Unison のすべてのスピーカーをデジタル制御します。オーケストラの指揮者のように、すべてのスピーカーを完璧に調和させます。

DivX®

DivX®, DivX Certified®およびこれらの関連ロゴは DivX, LLC の商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

この DivX Certified®デバイスは 576p 以下の DivX® Home Theater ビデオファイルを再生することができます(.avi、.divx を含む)。デジタルビデオを作成、再生およびストリーミングするには、www.divx.com でフリーソフトウェアをダウンロードしてください。

DIVX VIDEO-ON-DEMAND について：購入した DivX ビデオオンデマンド(VOD)映画を再生するには、この DivX Certified®認証機器を登録する必要があります。機器の設定メニューで DivX VOD を確認して、登録コードを入手してください。登録の完了方法については、vod.divx.com を参照してください。

特許番号

以下の米国特許により保護されています：
7,295,673; 7,460,668; 7,515,710;
8,656,183; 8,731,369; RE45,052

Gracenote®

コンテンツの一部はGracenoteまたはそのサプライヤーの著作物©です。

Gracenote、Gracenoteロゴとロゴタイプ、「Powered by Gracenote」およびGracenote MusicIDは、米国およびその他の国におけるGracenote, Inc.の商標または登録商標です。

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約

本プログラムまたはデバイスには、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.(以下「Gracenote」)のソフトウェアが含まれています。本プログラムは、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」)を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」)などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、あるいは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」)から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenoteデータを使用することができます。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenoteソフトウェアや Gracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、および Gracenoteサーバーのあらゆるすべての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーのすべての所有権を含む、すべての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が直接的にお客様に対して、本契約上の権利をGracenoteとして行使できることに同意するものとします

Gracenoteのサービスは、統計処理を行なう目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteサービスに関するGracenoteのプライバシーポリシーを参照してください。

Gracenoteソフトウェアと、Gracenoteデータのすべての情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおけるすべての Gracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証をいたしません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリーを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenoteソフトウェアまたは Gracenoteサーバーがエラーのない状態であることや、あるいはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能が中断されないことの保証はいたしません。Gracenoteは、Gracenoteが将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および知的所有権の非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、あるいは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote, Inc. 2009

ユビキタス DTCP-IP

Copyright© 2015 Ubiquitous Corp.

Sensus software

This software uses parts of sources from clib2 and Prex Embedded Real-time OS - Source (Copyright (c) 1982, 1986, 1991, 1993, 1994), and Quercus Robusta (Copyright (c) 1990, 1993), The Regents of the University of California. All or some portions are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. Neither the name of the <ORGANIZATION> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

This software uses parts of sources from "libtess". The Original Code is: OpenGL Sample Implementation, Version 1.2.1, released January 26, 2000, developed by Silicon Graphics, Inc. The Original Code is Copyright (c) 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. Copyright in any portions created by third parties is as indicated elsewhere herein. All Rights Reserved. Copyright (C) [1991-2000] Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice including the dates of first publication and either this permission notice or a reference to

http://oss.sgi.com/projects/FreeB/ shall be included in all copies or substantial portions of the Software. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SILICON GRAPHICS, INC. BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE. Except as contained in this notice, the name of Silicon Graphics, Inc. shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from Silicon Graphics, Inc.

This software is based in parts on the work of the FreeType Team.

This software uses parts of SSLeay Library: Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com). All rights reserved

Linux software

This product contains software licensed under GNU General Public License (GPL) or GNU Lesser General Public License (LGPL), etc.

You have the right of acquisition, modification, and distribution of the source code of the GPL/LGPL software.

You may download Source Code from the following website at no charge: http://www.embedded-carmultimedia.jp/linux/oss/download/TVM_8351_013

The website provides the Source Code "As Is" and without warranty of any kind.

By downloading Source Code, you expressly assume all risk and liability associated with downloading and using the Source Code and complying with the user agreements that accompany each Source Code.

Please note that we cannot respond to any inquiries regarding the source code.

camellia:1.2.0

Copyright (c) 2006, 2007

NTT (Nippon Telegraph and Telephone Corporation). All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer as the first lines of this file unmodified.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NTT ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NTT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Unicode: 5.1.0

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

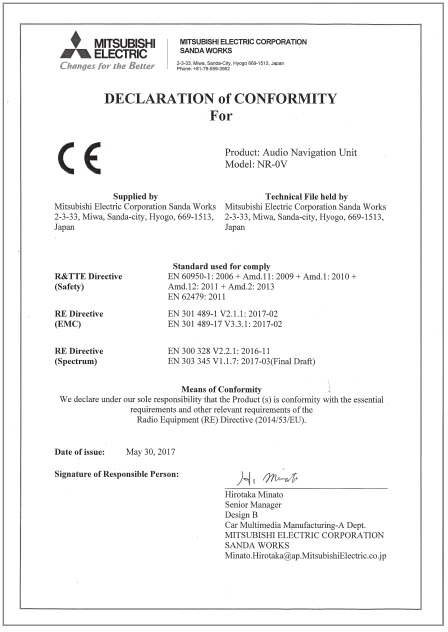
Copyright c 1991-2013 Unicode, Inc. All rights reserved. Distributed under the Terms of Use in http://www.unicode.org/copyright.html.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that (a) the above copyright notice(s) and this permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, (b) both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in associated documentation, and (c) there is clear notice in each modified Data File or in the Software as well as in the documentation associated with the Data File(s) or Software that the data or software has been modified.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

適合宣言書



MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION
SANDA WORKS
2-3-33, Miwa, Sanda-City, Hyogo 669-1513, Japan
Phone: +81-79-590-3982

DECLARATION of CONFORMITY
For

CE

Product: Audio Navigation Unit
Model: NR-0V

Supplied by	Technical File held by
Mitsubishi Electric Corporation Sanda Works 2-3-33, Miwa, Sanda-city, Hyogo, 669-1513, Japan	Mitsubishi Electric Corporation Sanda Works 2-3-33, Miwa, Sanda-city, Hyogo, 669-1513, Japan

	Standard used for comply
R&TTE Directive (Safety)	EN 60950-1: 2006 + Amd.11: 2009 + Amd.1: 2010 + Amd.12: 2011 + Amd.2: 2013 EN 62479: 2011
RE Directive (EMC)	EN 301 489-1 V2.1.1: 2017-02 EN 301 489-17 V3.3.1: 2017-02
RE Directive (Spectrum)	EN 300 328 V2.2.1: 2016-11 EN 303 345 V1.1.7: 2017-03(Final Draft)

Means of Conformity
We declare under our sole responsibility that the Product (s) is conformity with the essential requirements and other relevant requirements of the Radio Equipment (RE) Directive (2014/53/EU).

Date of issue: May 30, 2017

Signature of Responsible Person:

Hirotaka Minato
Senior Manager
Design B
Car Multimedia Manufacturing-A Dept.
MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION
SANDA WORKS
Minato.Hirotaka@ap.MitsubishiElectric.co.jp

国/地域	
ブラジル：	 Este equipamento opera em caráter secundário isto e, náo tem direito a protecão contra interferéncia prejudicial, mesmo tipo, e não pode causar interferéncia a sistemas operando em caráter primário. Para consultas, visite: www.anatel.gov.br
EU:	 製造元：Mitsubishi Electric Corporation Sanda Works 2-3-33, Miwa, Sanda-city. Hyogo, 669-1513, Japan Mitsubishi Electric Corporationは、本無線装置［Audio Navigation Unit］が2014/53/EU指令に適合することを宣言します。 詳しくは、support.volvocars.comを参照してください。
アラブ首長国連邦：	

国/地域	
カザフスタン：	 モデル名：NR 0V 製造元：Mitsubishi Electric Corporation 輸出国：日本

国/地域	
中国：	1. ■ 使用频率：2.4 - 2.4835 GHz ■ 等效全向辐射功率(EIRP)： 天线增益＜ 10dBi 时：≤100 mW 或≤20 dBm ① ■ 最大功率谱密度： 天线增益＜ 10dBi 时：≤20 dBm / MHz(EIRP) ① ■ 载频容限：20 ppm ■ 带外发射功率(在 2.4-2.4835GHz 频段以外) ≤-80 dBm / Hz (EIRP) ■ 杂散发射(辐射)功率(对应载波±2.5 倍信道带宽以外)： • ≤-36 dBm / 100 kHz (30 - 1000 MHz) • ≤-33 dBm / 100 kHz (2.4 - 2.4835 GHz) • ≤-40 dBm / 1 MHz (3.4 - 3.53 GHz) • ≤-40 dBm / 1 MHz (5.725 - 5.85 GHz) • ≤-30 dBm / 1 MHz (其它 1 - 12.75 GHz) 2.不得擅自更改发射频率、加大发射功率(包括额外加装射频功率放大器)，不得擅自外接天线或改用其它发射天线； 3.使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰；一旦发现有干扰现象时，应立即停止使用，并采取措施消除干扰后方可继续使用； 4.使用微功率无线电设备，必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰； 5.不得在飞机和机场附近使用。
韓国：	B 급 기기 (가정용 방송통신기자재) 이 기기는 가정용(B 급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다. 해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

国/地域	
マレーシア	 This device has been certified under the Communications & Multimedia Act of 1998, Communications and Multimedia (Technical Standards) Regulations 2000.To retrieve your device’s serial number, please visit (support.volvocars.com) and search for “SIRIM Label Verification”. Device category: Navigation equipment for vehicle (Bluetooth) Model: NR-OV Type Approval No.: RBAY/18A/1015S(15-4067)

国/地域	
メキシコ：	
台湾：	低功率電波輻射性電機管理辦法 第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。 第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立停用，改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

関連情報

- サウンド、メディアおよびインターネット (p. 548)
- オンライン車両* (p. 584)
- メディアプレーヤー (p. 557)
- Gracenote® (p. 561)
- Sensus – オンラインコネクティビティおよびエンターテイメント (p. 34)

ホイールおよびタイヤ

タイヤ

特にタイヤには、荷重を支え、路面へのグリップ力を与え、振動を抑制して、ホイールを摩耗から保護する機能があります。

タイヤは、車両の走行特性に大きく影響します。タイヤの種類、サイズ、タイヤ空気圧、速度記号は、車両の性能に大きな意味を持ちます。

車両には運転席側ドアピラー(フロントドアとリアドアの間)のタイヤ情報プレートに表示されているタイヤが装着されています。

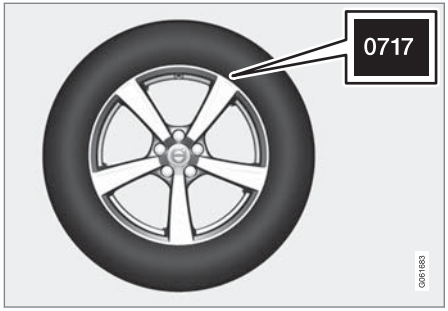
⚠ 警告

タイヤが損傷していると、車両を制御できなくなるおそれがあります。

推奨タイヤ

納車時には、タイヤの側面に VOL[1] マークが付いたボルボ純正タイヤが装備されています。これらのタイヤは、車両に合わせて慎重に調整されています。そのため、タイヤを変更する際は車両の走行特性、快適性および燃費性能を維持できるよう、新しいタイヤにもこのマークが付いていることが重要です。

新しいタイヤ



タイヤは消耗品です。製造後数年が経過すると、タイヤは次第に硬くなり、接地性が悪くなります(経年劣化)。タイヤを交換するときは、できるだけ製造年が新しいタイヤと交換してください。特に、ウインタータイヤの場合は重要です。最後の 4 桁の数字は、そのタイヤの製造週と製造年を表しています。これはタイヤの DOT マーク(Department of Transportation)と呼ばれ、例えば 0717 のように表示されます。この場合、タイヤは 2017 年第 7 週に製造されたものです。

タイヤの耐用年数

製造日から 6 年以上経過したタイヤは、摩耗していなくてもかならず専門家による点検が必要です。ほとんど使用されていない場合や、一切使用されていない場合でも、タイヤは経年劣化し、変質します。そのため、機能が低下します。これは、将来使用するために保管しているタイヤすべてに当てはまります。亀裂や変色などがあるタイヤは、絶対に使用しないでください。

タイヤの経済性

- 適切なタイヤ空気圧を維持してください。
- 急発進、急ブレーキおよびタイヤを鳴かせる運転は避けてください。
- タイヤの摩耗は速度に伴って増大します。
- 適切なホイールアライメントは非常に重要です。
- バランス不良のホイールはタイヤの経済性を悪化させ、乗り心地を低下させます。
- タイヤは寿命を迎えるまでの間つねに同じ回転方向で使用する必要があります。
- タイヤを交換する場合、急ブレーキ時のオーバーステアの危険性を低減するために、トレッド溝の深さがもっとも深いタイヤをリアホイールに取り付ける必要があります。
- 縁石や深い穴を乗り越えると、タイヤやホイールリムに修復不能な損傷が発生するおそれがあります。

タイヤローテーション

車両のタイヤローテーションは義務づけられていません。タイヤの寿命および摩耗は、運転スタイル、タイヤ空気圧、気候および路面状況な

[1] タイヤサイズにより異なることがあります。

どに影響されます。タイヤ空気圧が適正であれば、タイヤは均一に磨耗します。

タイヤの片減りなどを防ぎ、タイヤの摩耗を均一にするため、前輪と後輪のタイヤをローテーションする必要があります。初回は約5,000 km(約3,100 miles)走行後、その後は10,000 km(約6,200 miles)走行ごとに行ってください。

トレッド溝の深さについてご不明な点は、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。タイヤ間で摩耗の度合いが著しく異なる(トレッド溝の深さの差が1 mmより大きい)場合には、一番摩耗が少ないタイヤをかならず後輪に装着してください。アンダーステア時は、車両後部が片側に横滑りするよりまっすぐ前進するため、オーバーステア時より修正しやすいのが一般的です。後輪が横滑りすると、車両の制御を完全に失う可能性がありますので、後輪が前輪より早くグリップ力を失うことがないようにすることが重要です。

ホイールおよびタイヤの保管

タイヤホイールセット(ホイールリムに取り付けられたタイヤ)を保管する場合、吊り下げた状態、または倒して側面を床につけた状態で保管する必要があります。

リムに取り付けられていないタイヤは、吊り下げる方法ではなく、側面を下にした状態、またはまっすぐに立てた状態で保管する必要があります。

重要

タイヤは乾燥した冷暗所に保管してください。絶対に、溶剤、ガソリン、オイルなどの近くには保管しないでください。

警告

- ボルボ車のホイールリムサイズおよびタイヤサイズは、安定性および走行特性を確保するための厳しい要件を満たすように指定されています。承認されていない組み合わせのホイールリムサイズおよびタイヤサイズを使用すると、車両の安定性および走行特性に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- 承認されていない組み合わせのホイールリムサイズおよびタイヤサイズの使用が原因で発生した損傷には、新車保証が適用されません。そのような装着が原因で発生した死亡事故、大ケガ、または損失について、ボルボでは一切責任を負いません。

関連情報

- タイヤ空気圧の点検 (p. 608)
- タイヤの回転方向 (p. 607)
- タイヤのトレッド摩耗インジケーター (p. 608)
- タイヤ空気圧モニタリングシステム* (p. 611)
- 緊急パンクリペアーキット (p. 625)
- タイヤのサイズ表示 (p. 606)
- 荷物の積み込みに関する推奨事項 (p. 640)

タイヤのサイズ表示

タイヤサイズ、ロードインデックスおよび速度記号の表示

車両は特定のホイールリムおよびタイヤの組み合わせで車両全体の認定を受けています。

タイヤの表示記号

すべてのタイヤには、255/40 R19 100 W のようにサイズ表示があります。

255	タイヤ断面の幅(mm)
40	断面の高さと幅の比を、百分率で表した値(偏平率)
R	ラジアルタイヤ表示
19	ホイールリム径(単位：インチ)
100	最大許容タイヤロードのコード、ロードインデックス(LI)
W	制限速度の速度記号(SS)(この場合 270 km/h (168 mph)まで使用可能であることを示す)。

ロードインデックス

各タイヤには最大負荷能力を示すロードインデックス(LI)が指定されています。タイヤの最大積載重量は、車両の重量により異なります。

速度記号

各タイヤには走行可能な最高速度が指定されています。タイヤの速度記号、SS (Speed Symbol)は、少なくとも車両の最高速度と対応している必要があります。次表は各速度記号(SS)に対応する速度制限を示します。この規定の唯一の例外は、ウインタータイヤ[2]です。ウインタータイヤの場合は、表示よりも下位の速度記号のものを使用することができます。そのようなタイヤを選択した場合、タイヤの速度記号で示されている速度よりも速く走行しないでください(例：Q の場合、走行可能な最高速度は 160 km/h (100 mph)です)。ただし、車両の制限速度は交通法規で決められています。タイヤの速度記号で決められるものではありません。

注意

制限速度が一覧表に示されています。

Q	160 km/h (100 mph) (ウインタータイヤのみ)
T	190 km/h (118 mph)
H	210 km/h (130 mph)
V	240 km/h (149 mph)
W	270 km/h (168 mph)
Y	300 km/h (186 mph)

警告

各エンジンタイプのタイヤの最低許容ロードインデックス(LI)および速度記号(SS)は、車検証に記載されています。ロードインデックスや速度記号が低すぎるタイヤを使用すると、タイヤがオーバーヒートし、損傷するおそれがあります。

関連情報

- タイヤ (p. 604)
- ホイールリムのサイズ表示 (p. 607)

[2] 金属製スタッド付きのタイヤと金属製スタッドのないタイヤの両方。

ホイールリムのサイズ表示

ホイールおよびリムのサイズは以下の表内の例のように設計されています。

車両は特定のホイールリムおよびタイヤの組み合わせで車両全体の認定を受けています。

すべてのホイールリムには、8.5Jx19x47.5 のようにサイズ表示があります。

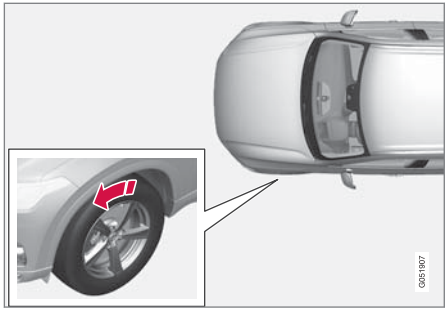
8.5	ホイールリム幅(単位：インチ)
J	リムフランジプロファイル
19	ホイールリム径(単位：インチ)
47.5	オフセット(単位：mm、ホイールの中央から、ホイールのハブとの接触面までの距離)

関連情報

- タイヤ（p. 604）
- タイヤのサイズ表示（p. 606）

タイヤの回転方向

トレッドパターンが一方向にのみ回転するようにデザインされているタイヤは、サイドウォール部にタイヤの回転方向が矢印で表示されています。



矢印は、タイヤの前進回転方向を示します。

- タイヤの使用期間中、前進時の回転方向がつねに同じになるように装着してください。
- タイヤは前後の入れ替えはできますが、絶対に左右を入れ替えないでください。
- タイヤが正しく装着されていない場合、降雨時などでブレーキ性能が低下する原因になります。
- 摩耗が少ない(トレッド溝が深い)タイヤをリアに装着すると、スリップしにくくなります。

注意

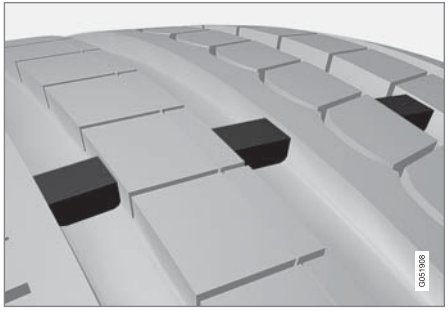
同じタイプ、同じサイズで、同じメーカーのものを装着するよう徹底してください。

関連情報

- タイヤ（p. 604）

タイヤのトレッド摩耗インジケーター

トレッド摩耗インジケーターはタイヤのトレッド溝の深さを示します。



トレッド摩耗インジケーターは、タイヤのトレッドパターンの縦溝を横切るように埋め込まれている細い隆起物です。タイヤの側面に TWI (Tread Wear Indicator)の文字が表示されています。トレッド溝の深さが 1.6 mm (1/16 インチ)になると、トレッドはトレッド摩耗インジケーターと同じ高さになります。すみやかに新しいタイヤと交換してください。タイヤが摩耗していると、雨や雪で濡れた路面などでグリップ力が非常に悪くなり、スリップの原因になります。

関連情報

- タイヤ (p. 604)

タイヤ空気圧の点検

適切なタイヤ空気圧を維持することは、走行安定性の向上や燃料の節約のほかに、タイヤの寿命を延ばすことにもつながります。

タイヤ空気圧は時間とともに低下しますが、これは異常ではありません。タイヤ空気圧は、外気温によっても変化します。タイヤ空気圧が低すぎると、走行中にタイヤが過熱して損傷するおそれがあります。タイヤ空気圧は、走行快適性やロードノイズ、走行特性に影響します。

タイヤ空気圧を毎月 1 回点検してください。最適なタイヤ性能を発揮させるとともに摩耗を最適化するために、コールドタイヤの推奨空気圧を使用してください。タイヤ空気圧が低すぎる、または高すぎると、タイヤに偏摩耗が発生することがあります。

⚠ 警告

- タイヤ空気圧が低すぎる状態は、タイヤの不具合を引き起こすもっとも一般的な原因であり、タイヤの深刻な亀裂、トレッドの剥離、タイヤの破裂につながるとともに、車両を制御できなくなり、ケガをする危険性が高まるおそれがあります。
- タイヤ空気圧が低すぎると、車両の積載能力が低下します。

コールドタイヤ

タイヤ空気圧は、タイヤが冷えているときに点検する必要があります。

タイヤは周囲の空気と同じ温度であるときに冷えているとみなされます。

通常、車両を 3 時間以上駐車していると、この温度に到達します。

約 1.6 km (1 mile)走行すると、タイヤは温まっていると考えられます。タイヤへの空気注入のためにこれよりも長い距離を走行する必要がある場合、ポンプのところへ到着した時点で最初にタイヤ空気圧を点検および記録して、適切な空気圧まで空気を注入してください。

外気温の変化に伴って、タイヤ空気圧も変化します。温度が 10 度下がると、タイヤ空気圧は 1 psi (7 kPa)下がります。タイヤ空気圧は定期的に点検し、車両のタイヤ情報プレートまたは認証ラベルに記載されている適正空気圧に調整してください。

タイヤが温かいときにタイヤ空気圧を点検した場合、絶対に空気を抜かないでください。タイヤは走行により温まっているため、その時点の空気圧がコールドタイヤの推奨空気圧を超えるのは当然のことです。タイヤが温まっているときの空気圧がコールドタイヤの推奨空気圧以下の場合、適正空気圧を大幅に下回っているおそれがあります。

関連情報
- タイヤ空気圧の調整（p. 609）
- 適正タイヤ空気圧（p. 610）
- タイヤ空気圧モニタリングシステム*（p. 611）
- タイヤ（p. 604）

タイヤ空気圧の調整

タイヤ空気圧は時間とともに低下しますが、これは異常ではありません。そのため、タイヤ空気圧は時折調整して、推奨タイヤ空気圧を維持する必要があります。

最適なタイヤ性能を発揮させるとともに摩耗を最適化するために、コールドタイヤの推奨空気圧を使用してください。

注意

タイヤ空気圧を正しく調整するには、タイヤが冷えた状態で空気圧を点検する必要があります。「タイヤが冷えた状態」とは、タイヤが外気温と同じ温度である状態です(車両の停止から約 3 時間後)。数キロ走行するだけでタイヤ温度が上昇し、タイヤ空気圧も上昇します。

1. タイヤのバルブのダストキャップを取り外し、タイヤプレッシャーゲージをバルブにしっかり押し付けます。
2. 運転席側ドアミラーのラベルに表示されている工場装着タイヤ用推奨空気圧を参照して、タイヤを適切な空気圧に調整します。
3. ダストキャップを元通りに取り付けます。

注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、かならずダストキャップを取り付けてください。
- かならずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食してゆるめにくくなることがあります。

4. パンクおよび空気漏れの原因になるおそれのある釘などがタイヤに刺さっていないか目視点検します。
5. サイドウォールにくぼみ、切り傷、突起などの異常がないか点検します。
6. すべてのタイヤ(スペアタイヤ*を含む)でこの点検を繰り返します。

注意

空気を入れすぎた場合、バルブ中央の金属ピンを押して空気を抜いてください。その後、タイヤプレッシャーゲージを使用して、空気圧を再点検してください。

スペアタイヤの中には、ほかのタイヤよりも高めの空気圧が必要になるものがあります。タイヤ空気圧表またはタイヤ空気圧プレートで確認してください。

関連情報
- 適正タイヤ空気圧（p. 610）
- タイヤ空気圧の点検（p. 608）
- 緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる（p. 630）
- 承認タイヤ空気圧（p. 730）

適正タイヤ空気圧

運転席側ドアピラー（フレームとリアドアの間）にタイヤ空気圧表示ラベルがあり、異なる荷重および走行速度におけるタイヤの適正空気圧が表示されています。

このラベルには、工場装着されたタイヤの名称と負荷能力およびタイヤ空気圧が表示されています。

ECO プレッシャーによる燃費向上

荷重が軽く（3 人以下）、走行速度が 160 km/h（100 mph）以下の場合、ECO プレッシャーを選択すると燃費を向上させることができます。ただし、ロードノイズを抑えて走行快適性を高めたい場合、さらに低い快適空気圧の使用をお薦めします。

関連情報
- タイヤ空気圧の点検（p. 608）
- 承認タイヤ空気圧（p. 730）

タイヤ空気圧モニタリングシステム*

タイヤ空気圧モニタリングシステム[3]は、1本以上のタイヤの空気圧が低下したときにドライバーディスプレイの表示灯で警告します。

シンボル	説明
	シンボルが点灯して、タイヤ空気圧の低下を示します。 システムに不具合がある場合、タイヤ空気圧警告灯が約1分間点滅した後に点灯に変わります。

システムの概要

タイヤ空気圧モニタリングシステムは、ABSシステムを経由してタイヤ間の回転速度差を測定し、すべてのタイヤの空気圧が正しいかを判定します。タイヤ空気圧が低すぎる場合、タイヤの直径が変化するため、回転速度にも変化が生じます。各タイヤを比較することにより、システムは空気圧の低すぎるタイヤの有無を特定することができます。

タイヤ・モニタリング・システムの概要

以下の情報では、タイヤ・モニタリング・システムの呼称として一般名のTPMSが使用されています。

各タイヤ(スペアタイヤ*を含む)は毎月1回点検する必要があります。タイヤを車両メーカー推奨の空気圧(タイヤ空気圧表またはタイヤ空気圧ラベルに表示されている値)にし、タイヤが冷えている状態で点検してください。タイヤのサイズがメーカー推奨のサイズと異なる場合、装着しているタイヤの適正空気圧を調べてください。

追加の安全機能として、車両にはタイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム(TPMS)が装備されており、1本以上のタイヤの空気圧が低すぎるときに、その状態が表示されます。タイヤ空気圧低下を知らせる表示灯が点灯した場合、すみやかに停車してタイヤを点検し、適切な空気圧に調整してください。

タイヤの空気圧が低下した状態で走行を続けると、タイヤが過熱してパンクする可能性があります。タイヤの空気圧が低下していると、燃費が悪化し、タイヤの寿命が短くなるとともに、ハンドリング性能および停止性能にも悪影響をおよぼす可能性があります。TPMSが装着されていても、定期的なタイヤメンテナンスは必要です。タイヤ空気圧の低下限度に達しておらず、表示灯が点灯していない場合でも、適切なタイヤ空気圧を維持することは運転者の責任です。

車両には、TPMSシステム不具合インジケーターも装備されています。このインジケーターはシステムが正常に機能していないときに表示されます。TPMSシステム不具合インジケーターは、タイヤ空気圧低下の表示灯と併用されます。システムが不具合を検出すると、ドライバーディスプレイの表示灯が約1分間点滅してから点灯に変わります。この動作は、不具合が修正されるまで車両の始動時に繰り返されます。表示灯が点灯している場合、システムのタイヤ空気圧低下の検出あるいは警告機能が影響を受けることがあります。

TPMSシステムの不具合が発生した場合、スペアタイヤへの変更、TPMSの正常な機能を妨げるタイヤまたはホイールへの交換など、いくつかの原因が考えられます。

タイヤを1本でも交換した場合、かならずTPMSの表示灯を確認して、新しいタイヤまたはホイールでTPMSが正常に機能していることを確認してください。

メーター・パネルのメッセージ

タイヤ空気圧が低くなりすぎると、ドライバーディスプレイに低タイヤ空気圧を示す表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。

- **タイヤ空気圧低下 タイヤを点検し、空気充填後に較正**
- **ﾀｲﾔ空気圧監視ｼｽﾃﾑ 一時的に利用できません**
- **ﾀｲﾔ空気圧監視ｼｽﾃﾑ 販売店に お問い合わせ下さい**

注意事項

- タイヤ交換後またはタイヤ空気圧の調整後は、かならずシステムを校正してください。ボルボの推奨タイヤ空気圧については、運転

[3] Indirect Tyre Pressure Monitoring System (ITPMS)

▶▶

席側ドアピラーのタイヤ空気圧表示ラベルを参照してください。

- 工場装着されたタイヤと異なるサイズのタイヤに交換した場合は、誤報を防止するためこれらのタイヤに合わせてシステムを校正する必要があります。
- スペアタイヤ*を使用している場合は、タイヤの差異によりタイヤ空気圧モニタリングシステムが正常に作動しない場合があります。
- システムの装備により、タイヤの点検およびメンテナンスが不要になることはありません。
- タイヤ空気圧モニタリングシステムをオフにすることはできません。

⚠ 警告

- タイヤ空気圧が正しくないと、タイヤに不具合が発生し、運転者が車両を制御できなくなるおそれがあります。
- システムはタイヤの突然の損傷を事前に予測することはできません。

関連情報

- 適正タイヤ空気圧（p. 610）
- センターディスプレイでタイヤ空気圧の状態を確認する*（p. 614）
- タイヤ空気圧低下警告時の対応（p. 615）
- タイヤ空気圧モニタリングシステム*の校正（p. 612）

タイヤ空気圧モニタリングシステム*の校正

タイヤ空気圧モニタリングシステム[4]が正しく機能するには、タイヤ空気圧の基準値を決定する必要があります。この作業は、タイヤ交換またはタイヤ空気圧の変更のたびに行なう必要があります。

たとえば、重い荷物を積載して走行する、または160 km/h（100 mph）を上回る高速で走行するときは、タイヤ空気圧をボルボの推奨タイヤ空気圧値に従ってタイヤ空気圧を調整する必要があります。そして、調整後にシステムを再校正する必要があります。

1. 車両をオフにします。
2. 運転席側ドアミラーのラベルに表示されている工場装着タイヤ用推奨空気圧を参照して、タイヤを適切な空気圧に調整します。
3. エンジンを始動します。
4. アプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。

* オプション/アクセサリー。

5. **ﾀｲﾔ圧監視ｼｽﾃﾑ** をタップします。

注意

校正を開始するときは、車両が静止している必要があります。

6. **校正** をタップします。
7. **OK** をタップして、4 輪すべてのタイヤ空気圧の点検と調整が完了したことを確認します。
8. 校正が完了するまでエンジンをかけたままにします。

   35 km/h (22 mph)を超える速度で走行すると、校正が行なわれます。

   校正が完了する前にエンジンを停止すると、校正が完了していなくても次のエンジンスタート時にセンターディスプレイのタイヤの色が灰色から緑色に変わります。再度校正を行い、校正が正しく実行されるよう、1 度の走行サイクルで完了するようにしてください。

   › システムがタイヤ空気圧の低下を検出するために十分なデータが収集されると、センターディスプレイのタイヤの色が灰色から緑色に変わります。校正が完了しても、システムからの確認通知はありません。

   校正の起動に失敗すると、**キャリブレーションできません でした。もう一度試して下さい。** というメッセージが表示されます。

注意

ホイールを交換した後、またはタイヤ空気圧をタイヤ空気圧ラベルまたはタイヤ空気圧表に従って変更した場合は、かならずタイヤ・プレッシャー・モニタリング・システムを校正してください。

適切な基準値が設定されていないと、システムはタイヤ空気圧の低下について正しく警告しないおそれがあります。

校正ボタンにアクセスして校正プロセスを開始するためには、停車状態でエンジンが作動している必要があります。

警告

排気ガスには、無色・無臭で毒性の高い一酸化炭素が含まれています。このため、校正はかならず屋外または排気換気装置を備えたサービス工場で行う必要があります。

関連情報

- 適正タイヤ空気圧 (p. 610)
- タイヤ空気圧の調整 (p. 609)
- センターディスプレイでタイヤ空気圧の状態を確認する*(p. 614)

[4] Indirect Tyre Pressure Monitoring System (ITPMS)

- タイヤ空気圧低下警告時の対応（p. 615）
- タイヤ空気圧モニタリングシステム*（p. 611）

センターディスプレイでタイヤ空気圧の状態を確認する*

タイヤ空気圧モニタリングシステム[5]装備車では、タイヤ空気圧の状態がセンターディスプレイに表示されます。

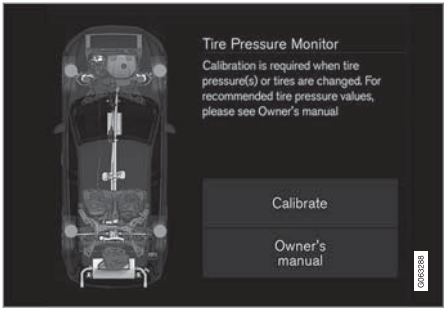
状態の点検

1. アプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。

2. **ﾀｲﾔ圧監視ｼｽﾃﾑ** をタップして、タイヤの状態を表示します。

状態表示

センターディスプレイのグラフィックに各タイヤの状態が表示されます[6]。



緑色のタイヤ：

- タイヤ空気圧が警告の対象となる制限値を上回っています。

黄色のタイヤ：

- タイヤの空気圧が低すぎます。ただちに停車してタイヤ空気圧を点検し、空気を注入してください。タイヤ空気圧の調整後、システムを校正してください。

すべてのタイヤが黄色になっている：

- 2本以上のタイヤの空気圧が低下しています。ただちに停車してタイヤ空気圧を点検し、空気を注入してください。タイヤ空気圧の調整後、システムを校正してください。

[5] Indirect Tyre Pressure Monitoring System (ITPMS)
[6] 図は概略図です。配置は、車両モデルまたはソフトウェアのアップデートにより異なる場合があります。

すべてのタイヤが灰色になっている：

- 校正中
- 不明の状態

システムがオンになるには、35 km/h (22 mph) を上回る速度で数分間走行する必要があります。

すべてのタイヤが灰色で、次のメッセージが表示される：

- **ﾀｲﾔ空気圧監視ｼｽﾃﾑ 一時的に 利用できません。**表示灯が点滅し、約 1 分後に点灯に変わります。システムは現在利用できません。まもなくオンになります。
- **ﾀｲﾔ空気圧監視ｼｽﾃﾑ 販売店に お問い合わせ下さい。**表示灯が点滅し、約 1 分後に点灯に変わります。システムは正常に作動していません。サービス工場[7]にご連絡ください。

関連情報

- タイヤ空気圧モニタリングシステム*の校正 (p. 612)
- タイヤ空気圧低下警告時の対応 (p. 615)
- タイヤ空気圧モニタリングシステム* (p. 611)
- 車両状態 (p. 654)

タイヤ空気圧低下警告時の対応

タイヤ空気圧モニタリングシステム[8]から空気圧の過度の低下について警告された場合、対処が必要です。

システムの表示灯が点灯し、**タイヤ空気圧低下** というメッセージが表示されたら、タイヤ空気圧を点検および修正してください。

1. 車両をオフにします。
2. タイヤプレッシャーゲージを使用して、4 輪すべてのタイヤ空気圧を点検します。
3. 運転席側ドアミラーのラベルに表示されている工場装着タイヤ用推奨空気圧を参照して、タイヤを適切な空気圧に調整します。
4. タイヤ空気圧を調整した後に、センターディスプレイを使用してシステムの校正を行います。

   表示灯は、タイヤ空気圧低下が解消され、新たに校正が実施されるまで消灯しません。

注意

タイヤ空気圧を正しく調整するには、タイヤが冷えた状態で空気圧を点検する必要があります。「タイヤが冷えた状態」とは、タイヤが外気温と同じ温度である状態です(車両の停止から約 3 時間後)。数キロ走行するだけでタイヤ温度が上昇し、タイヤ空気圧も上昇します。

注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、かならずダストキャップを取り付けてください。
- かならずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食してゆるめにくくなることがあります。

警告

- タイヤ空気圧が正しくないと、タイヤに不具合が発生し、運転者が車両を制御できなくなるおそれがあります。
- システムはタイヤの突然の損傷を事前に予測することはできません。

[7] ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。
[8] Indirect Tyre Pressure Monitoring System (ITPMS)

関連情報
- 適正タイヤ空気圧（p. 610）
- タイヤ空気圧の調整（p. 609）
- タイヤ空気圧モニタリングシステム*の校正（p. 612）
- センターディスプレイでタイヤ空気圧の状態を確認する*（p. 614）
- タイヤ空気圧モニタリングシステム*（p. 611）
- 緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる（p. 630）

タイヤを交換する場合

車両のホイールは、ウインタータイヤやスペアタイヤなどに交換することができます。ホイールの取り外しおよび取り付け方法に従ってください。

サイズの異なるタイヤに変更する場合

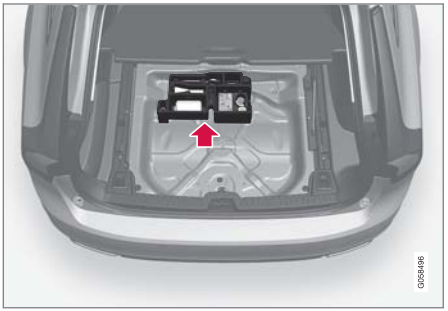
車両に使用が認められているタイヤサイズであることを確認します。

タイヤサイズの変更ごとにソフトウェアのアップデートについて、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。サイズの異なるタイヤ(大または小)に変更する場合や、サマータイヤとウインタータイヤを交換する場合には、ソフトウェアのダウンロードが必要になることがあります。

関連情報
- ホイールの取り外し（p. 618）
- ホイールの取り付け（p. 620）
- ツールキット（p. 616）
- ウインタータイヤ（p. 623）
- スペアタイヤ*（p. 622）
- ホイールボルト（p. 617）

ツールキット

けん引時やタイヤの交換時などに役立つツールが、カーゴスペースに収納されています。



トランクルーム/カーゴスペースのフロアの下にあるフォームブロックには、車両のけん引フック、緊急パンクリペアーキット、ホイールボルトのプラスチックキャップ取り外しツール、ロック式ホイールボルト用ソケットが入っています。

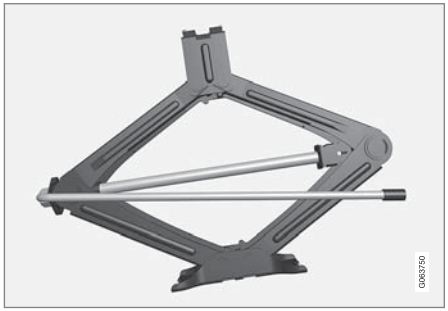
車両にスペアタイヤ*が装備されている場合、使い捨て手袋と損傷ホイール用バッグの入ったパッケージに加え、ジャッキおよびホイールレンチも付属しています。

関連情報
- タイヤを交換する場合（p. 616）
- ジャッキ*（p. 617）

* オプション/アクセサリー。

ジャッキ*

ジャッキは、車両を持ち上げるとき(スペアタイヤへの交換時など)に使用することができます。



図は概略図です。バージョンは異なる場合があります。

重要

- 使用しないときには、ジャッキ*はかならずトランクルーム/カーゴスペースフロア下の所定の位置に収納してください。
- 車両に付属のジャッキは、パンクしたタイヤの交換時やウインタータイヤ/サマータイヤの取り換え時など、短時間の使用を念頭に設計されています。車両を持ち上げる際には、そのモデル専用のジャッキのみをご使用ください。
ジャッキをより頻繁に使用する場合や、単純なタイヤ交換より長い時間使用する場合には、修理工場用のジャッキの使用をお薦めします。この場合、そのジャッキに添付の取扱指示に従ってください。

ジャッキのクランクを、正しい位置にしなければなりません。

セルフレベリング*装備モデル

エアサスペンションオプション装備車の場合、車両をジャッキで持ち上げる前にこの機能をオフにする必要があります。

関連情報

- ツールキット (p. 616)

ホイールボルト

ホイールボルトは、ホイールをハブに取り付けるために使用されています。

重要

ホイールボルトは 140 Nm (103 ft. lbs.)で締め付ける必要があります。強く締め過ぎたり、締め付けが足りないと、ナットおよびボルトが損傷するおそれがあります。

ボルボ社の認定を受けた、ボルボ純正品、または純正アクセサリーパーツのみを使用してください。

トルクレンチを使用して、ホイールボルトの締め付けトルクを確認してください。

ホイールボルトのねじ山には、潤滑剤を**使用しないでください**。

警告

ホイールボルトは、交換から数日後に締め直しが必要になることがあります。温度差および振動により、しっかりと均等に取り付けられていないことがあります。

ロックホイールボルト*

トランクルーム/カーゴスペースフロア下のフォームブロックには、ロックホイールボルト用スリーブを収納するスペースがあります。

関連情報
- ホイールの取り外し（p. 618）
- ホイールの取り付け（p. 620）

ホイールの取り外し

タイヤ交換時のホイール取り外し方法タイヤの交換はかならず正しく行う必要があります。

重要

- 使用しないときには、ジャッキ*はかならずトランクルーム/カーゴスペースフロア下の所定の位置に収納してください。
- 車両に付属のジャッキは、パンクしたタイヤの交換時やウインタータイヤ/サマータイヤの取り換え時など、短時間の使用を念頭に設計されています。車両を持ち上げる際には、そのモデル専用のジャッキのみをご使用ください。
ジャッキをより頻繁に使用する場合や、単純なタイヤ交換より長い時間使用する場合には、修理工場用のジャッキの使用をお薦めします。この場合、そのジャッキに添付の取扱指示に従ってください。

警告

- パーキングブレーキをかけて、ギヤセレクターレバーをパーキング位置(P)にしてください。
- 硬い木片や大きな石を使用して、地面に置いているホイールが動かないように固定してください。
- ジャッキが損傷していないか、すべてのネジ山がよく潤滑されているか、泥などが付着していないか確認してください。
- ジャッキが滑りにくい安定した平坦面に置かれていることと、傾いていないことを確認してください。
- ジャッキはジャッキのブラケットに正しく取り付ける必要があります。
- 地面とジャッキの間、およびジャッキポイントとジャッキの間に、なにも挟まないでください。
- 車両をジャッキで持ち上げる前に、乗員は全員車の外に出てください。
- 交通量の多い場所でタイヤを交換せざるを得ない場合、乗員は安全な場所に退避しておく必要があります。
- タイヤを交換するときには、車両専用のジャッキを使用してください。その他の

* オプション/アクセサリー。

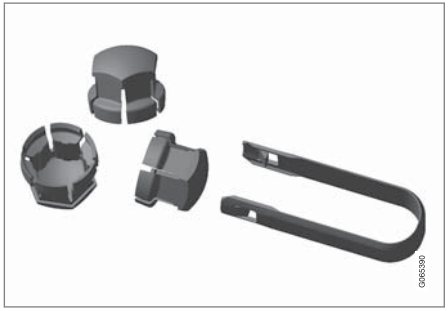
作業では、車両を固定するためのサポートを使用してください。

- ジャッキアップした車両の下には、絶対に潜り込んだり、身体の一部を入れたりしないでください。

1. 車が往来する場所でタイヤを交換する場合は、かならず三角警告板(停止表示板)を立てて、非常点滅灯を作動させてください。
2. パーキングブレーキをかけて、ギヤ位置を P に、マニュアルトランスミッション車の場合は 1 速に入れてください。

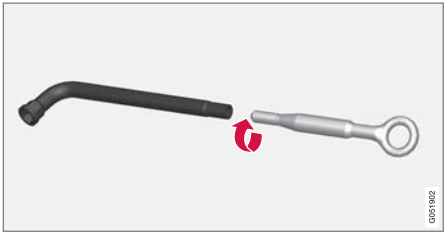
   レベル制御*装備車に適用されます。エアサスペンション装備車の場合、ジャッキ*で車両を持ち上げる前にエアサスペンション機能を解除する必要があります。

3. ジャッキ*、ホイールレンチ*、ホイールボルトのプラスチックキャップ取り外し用ツールをフォームブロックから取り出します。



ホイールボルトのプラスチックキャップ取り外しツール

4. 地面に接しているタイヤの前後に輪止めをします。重い木片や、大きな石などを使用します。
5. 次図のようにホイールレンチ*を使用して、停止位置になるまでけん引フックをつなぎ合わせてください。

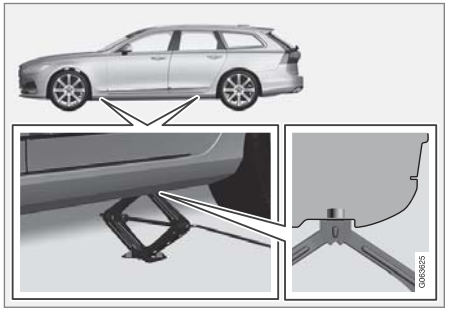


重要

けん引フックはホイールレンチ*にいっぱいまでねじ込む必要があります。

6. 専用ツールを使用して、ホイールボルトからプラスチックキャップを取り外します。
7. 車両が地面から離れていない状態で、ホイールレンチ/けん引フックを下方向(反時計回り)に押してホイールボルトを半回転～1 回転ゆるめます。

8. 車両を持ち上げる場合は、ジャッキ*またはリフティングアームを車両のアンダーボディの取り付けポイントに正しく取り付けることが重要です。プラスチックカバーの三角マークはジャッキポイントを示しています。車両の各側には、ジャッキポイントが2箇所ずつあります。各ポイントには、ジャッキ用の窪みが設けられています。



9. 地面が水平で安定しており、滑りにくいことを確認し、使用するジャッキポイントの下にジャッキを設置します。
10. 車両のジャッキポイントと接触するまで、ジャッキを上げます。ジャッキの頭部(またはサービス工場のリフトアーム)がジャッキポイントに正しくセットされ、ヘッドの中心の突起がジャッキポイント穴に入っていることと、ジャッキの土台がジャッキポイントの真下にきていることを確認してください。
11. クランクが車両の側面からできるだけ離れるようにジャッキを向けてください。このとき、ジャッキアームは車両の進行方向と垂直になります。
12. 取り外すホイールが自由に回転できる程度の高さまで車両を持ち上げます。ホイールボルトを取り外し、ホイールを外します。

関連情報

- オートレベライザー*の設定（p. 511）
- タイヤを交換する場合（p. 616）
- 車両を持ち上げる（p. 658）
- ジャッキ*（p. 617）
- ツールキット（p. 616）
- ホイールの取り付け（p. 620）

ホイールの取り付け

タイヤ交換時のホイール取り付け方法

注意

車両に付属のジャッキは、パンクしたタイヤの交換時やウインタータイヤ/サマータイヤの取り換え時など、短時間の使用を念頭に設計されています。車両を持ち上げる際には、そのモデル専用のジャッキのみをご使用ください。ジャッキをより頻繁に使用する場合や、単純なタイヤ交換より長い時間使用する場合には、修理工場用のジャッキの使用をお薦めします。この場合、そのジャッキに添付の取扱指示に従ってください。

⚠ 警告

- パーキングブレーキをかけて、ギヤセレクターレバーをパーキング位置(**P**)にしてください。
- 硬い木片や大きな石を使用して、地面に置いているホイールが動かないように固定してください。
- ジャッキが損傷していないか、すべてのネジ山がよく潤滑されているか、泥などが付着していないか確認してください。
- ジャッキが滑りにくい安定した平坦面に置かれていることと、傾いていないことを確認してください。
- ジャッキはジャッキのブラケットに正しく取り付ける必要があります。
- 地面とジャッキの間、およびジャッキポイントとジャッキの間に、なにも挟まないでください。
- 車両をジャッキで持ち上げる前に、乗員は全員車の外に出てください。
- 交通量の多い場所でタイヤを交換せざるを得ない場合、乗員は安全な場所に退避しておく必要があります。
- タイヤを交換するときには、車両専用のジャッキを使用してください。その他の作業では、車両を固定するためのサポートを使用してください。

- ジャッキアップした車両の下には、絶対に潜り込んだり、身体の一部を入れたりしないでください。

1. ホイールとハブの接合面をきれいにします。
2. ホイールを取り付けます。ホイールボルトを確実に締め付けます。

   ホイールボルトのねじ山には、潤滑剤を**使用しないでください**。
3. タイヤが回らなくなる位置まで車体を下げます。
4. ホイールボルトを対角線順に締め付けます。かならず正しいトルクで締め付けてください。140 Nm (103 ft.lbs.)のトルクで締め付けます。トルクレンチを使用して、締め付けトルクを確認してください。

5. ホイールボルトにプラスチックキャップを取り付けます。

⚠ 警告

ホイールボルトは、交換から数日後に締め直しが必要になることがあります。温度差および振動により、しっかりと均等に取り付けられていないことがあります。

ⓘ 注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、かならずダストキャップを取り付けてください。
- かならずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食してゆるめにくくなることがあります。

関連情報

- オートレベライザー*の設定 (p. 511)
- タイヤを交換する場合 (p. 616)
- 車両を持ち上げる (p. 658)
- ジャッキ* (p. 617)
- ツールキット (p. 616)
- ホイールの取り外し (p. 618)

スペアタイヤ*

通常のタイヤがパンクした場合、代わりにスペアタイヤ(Temporary Spare タイプ)を取り付けて一時的に使用することができます。

スペアタイヤは、一時的な使用を目的としてのみデザインされています。できる限りすみやかに、通常のタイヤに交換してください。

スペアタイヤ装着時は、車両の走行特性が変わる場合があり、車高が低くなります。Temporary Spare 装着時は、自動洗車機による洗車は行わないでください。

テンポラリースペアタイヤの位置にかかわらず、かならず推奨タイヤ空気圧を守ってください。

スペアタイヤが損傷している場合は、ボルボ・ディーラーから新品をご購入いただけます。

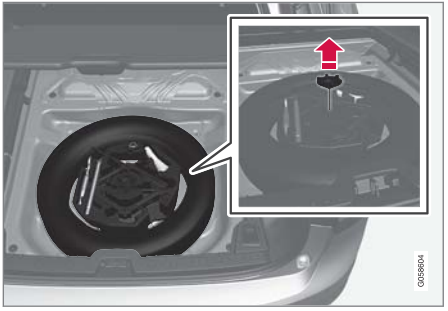
⚠ 警告

- スペアタイヤ装着時は、かならず 80 km/h (50 mph)未満で走行してください。
- 同時に 2 本以上、Temporary Spare タイヤを装着して走行しないでください。
- スペアタイヤを装着して走行しているときには、車両の走行特性が異なることがあります。スペアタイヤは、早急に通常のタイヤに交換する必要があります。
- スペアタイヤは通常のタイヤよりも小さいため、車高に影響をおよぼします。高い縁石に注意し、自動洗車機では洗車しないでください。
- スペアタイヤのメーカー推奨タイヤ空気圧を守ってください。
- 全輪駆動の車両では、リアアクスルの駆動を解除することができます。
- スペアタイヤがフロントアクスルに取り付けられている場合には、同時にスノーチェーンを装着することはできません。
- スペアタイヤは修理しないでください。

! 重要

車両に付属のスペアタイヤ以外のスペアタイヤが装着されている場合、またはサイズの異なるタイヤが装着されている場合、車両を走行させないでください。サイズの異なるホイールを使用すると、車両のトランスミッションに重大な損傷が発生するおそれがあります。

位置



図は概略図です。フォームブロックの形状は車両モデルにより異なることがあります。

スペアタイヤは、スペアタイヤスペース内に外側を下にして収納されています。スペアタイヤおよびフォームブロックは、同じボルトで固定されています。フォームブロックには、すべてのタイヤ交換用ツールが収納されています。

* オプション/アクセサリー。

関連情報
- タイヤを交換する場合（p. 616）
- 適正タイヤ空気圧（p. 610）

スペアタイヤの取り出し
スペアタイヤの取り扱い方法については、以下のインストラクションに従ってください。

1. 後ろから前に向かって、トランクルーム/カーゴスペースのフロアを折りたたみます。
2. 固定ボルトをゆるめます。
3. ツールの入ったフォームブロックを取り出します。
4. スペアタイヤを取り出します。

パンクしたタイヤの保管
1. フォームブロックに入っているホイールバッグを取り出し、ホイールをバッグに入れます。
2. ツールをフォームブロックの所定の場所に戻し、車両に戻します。
3. 取り付けスクリューでフォームブロックを取り付け、トランクルーム/カーゴスペースのフロアを下げます。
4. パンクしたタイヤをトランクルーム/カーゴスペースに置きます。

関連情報
- スペアタイヤ*（p. 622）

ウインタータイヤ
ウインタータイヤは冬季の路面状況に適しています。

ウインタータイヤは、ボルボ社が推奨するタイヤサイズを装着してください。タイヤサイズは、エンジンタイプにより異なります。ウインタータイヤで走行する際には、かならず全輪に正しいタイプのタイヤを装着してください。

> **注意**
>
> 車両にもっとも適したタイヤのタイプおよびホイールリムについては、ボルボディーラーにお問い合わせください。

ウインタータイヤへの交換に関するヒント
サマータイヤとウインタータイヤを交換するときなどは、タイヤをどこから取り外したかわかるように、例えば、左前輪なら**「左前」**、右後輪なら**「右後」**のように、各タイヤにかならずマークを付けてください。

スタッド付きタイヤ
スタッド付きのウインタータイヤ装着車は、スタッドがタイヤに適正にはまるように、500～1,000 km（300～600 マイル）の距離を穏やかに慣らし走行してください。タイヤ（特にスタッド）の耐用年数を長くすることができます。

注意

スタッド付きタイヤの使用に関する規則は、国により異なります。

トレッド溝の深さ

冬期は、凍った路面、道路の雪、低い気温などが原因で、暖かい季節よりもタイヤに大きな負担がかかります。ボルボ社は、溝の深さが 4 ㎜(0.15 インチ)以上のウインタータイヤの使用を推奨しています。

関連情報

- タイヤを交換する場合（p. 616）
- 冬季の運転（p. 513）
- タイヤのトレッド摩耗インジケーター（p. 608）

タイヤチェーン

スノーチェーンやウインタータイヤを使用すると、冬季の運転でトラクションを向上させるのに役立ちます。

警告

ボルボ純正タイヤチェーン、または車両モデル、タイヤサイズ、ホイールリムサイズに適合した同等品を使用してください。**片面**チェーンのみを使用することができます。

チェーンについてご不明な点がある場合、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。不適切なチェーンを使用すると、車両への深刻な損傷や事故の原因となります。

重要

スノーチェーンは使用することができますが、以下の制限事項があります。

- ボルボでは、ホイールサイズが 18 インチを超える場合、スノーチェーンの使用を推奨しません。
- かならずメーカーの取付説明書に慎重に従ってください。チェーンはできるだけ張った状態で取り付け、定期的に張りを調整してください。
- スノーチェーンはかならずフロントホイールのみに使用してください(全輪駆動車にも適用)。
- 純正のタイヤおよびホイールとサイズの異なるアクセサリー品、アフターマーケット品、または「特別品」のタイヤおよびホイールが装着されている場合など、スノーチェーンを使用できないことがあります。チェーンとブレーキ、サスペンションおよびボディコンポーネントとの間には、十分な間隔を確保する必要があります。
- スノーチェーンを取り付ける前に、スノーチェーンの使用に関する地域の規則を確認してください。
- 絶対に、チェーンメーカーの規定している最高速度を超えないようにしてください。いかなる場合でも、絶対に

50 km/h (30 mph)を超えないようにしてください。

- スノーチェーンを使用して走行しているときには、段差や穴、急カーブを避けてください。
- スノーチェーンおよびタイヤの損耗につながるため、地面がむき出しになっている部分は走行しないようにしてください。
- スノーチェーンを使用して走行すると、車両の走行特性に悪影響をおよぼすことがあります。高速カーブや急カーブを避け、制動時にホイールをロックさせないようにしてください。
- 強い張力のかかるタイプのチェーンはブレーキコンポーネントに影響をおよぼすため、使用しないでください。

スノーチェーンに関する詳しい情報は、ボルボ・ディーラーから入手することができます。

関連情報

- 冬季の運転 (p. 513)

緊急パンクリペアーキット

緊急パンクリペアーキット[9]は、パンクを塞ぐときやタイヤ空気圧の点検および調整を行なうときに使用します。

スペアタイヤ装備車*には、緊急パンクリペアーキットが装備されていません。

緊急パンクリペアーキットは、電動エアコンプレッサーおよびシーリング剤が入ったボトルで構成されています。このキットは応急修理用です。

注意

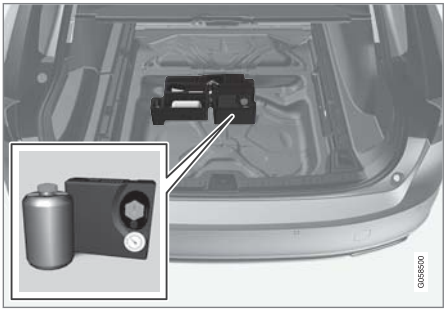
シーリング剤は、トレッドに穴のあいたタイヤのパンク修理には効果を発揮しますが、サイドウォールに穴のあいたタイヤの場合は効果が限られます。裂け、亀裂などの損傷が大きいタイヤには、緊急パンクリペアーキットを使用しないでください。

注意

コンプレッサーは応急パンク修理用であり、ボルボ社から認定されている製品です。

位置

緊急パンクリペアーキットは、カーゴスペースのフロアマット下のフォームブロック内にあります。



シーリング剤の有効期限

シーリング剤のボトルに表示されている有効期限が切れている場合、ボトルを交換する必要があります(ボトルのラベル参照)。取り外したボトルは、危険物として廃棄してください。

関連情報

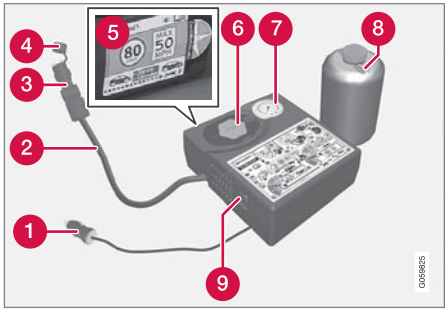
- 緊急パンクリペアーキットの使用 (p. 626)
- 緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる (p. 630)
- タイヤ (p. 604)

[9] Temporary Mobility Kit (TMK)

緊急パンクリペアーキットの使用

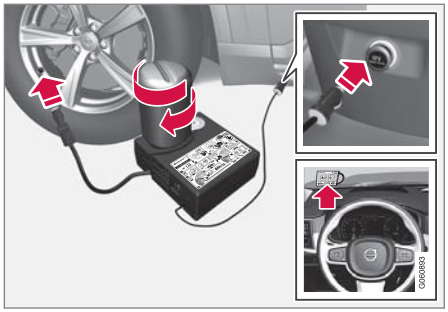
緊急パンクリペアーキット、Temporary Mobility Kit（TMK）を使用してパンクを塞ぎます。

概要



1. 電源コード
2. エアホース
3. プレッシャーリリーフバルブ
4. プロテクティブキャップ
5. 制限速度の表示ラベル
6. ボトルホルダー(オレンジ色キャップ)
7. プレッシャーゲージ
8. シーリング剤ボトル
9. スイッチ

接続



注意

ご使用の前にボトルのシールを開けないでください。ボトルを締め込むと、シールが自動的に開封されます。

警告

タイヤシーリングシステムを使用するときには、以下の点に注意してください。

- シーリング剤ボトルには、1)天然ゴムラテックスと2)エタノールが入っています。これらの物質を誤飲すると危険です。
- このボトルの中身は皮膚にアレルギー反応を引き起こすおそれがあります。ほかには、気道、皮膚、中枢神経系および目に害をおよぼすおそれがあります。

注意事項：

- お子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤飲すると危険です。
- 皮膚に長時間または繰り返し触れることのないように注意してください。シーリング剤が衣服に付着した場合、付着した衣服を脱いでください。
- 取り扱い後には、十分に洗ってください。

応急処置：

- 皮膚：患部を石けんと水で洗ってください。なんらかの症状が発生した場合、医師の診察を受けてください。
- 目：大量の水で15分以上洗い流し、洗浄中にときどきまばたきをしてください。

なんらかの症状が発生した場合、医師の診察を受けてください。

- 吸入：吸入した人を屋外へ移動させてください。刺激が消えない場合、医師の診察を受けてください。
- 摂取:医師から指示があった場合を除き、嘔吐を促さないでください。医師の診察を受けてください。
- 廃棄：この物質と容器は有害廃棄物または特別廃棄物の収集施設で廃棄してください。

⚠ 警告

- 緊急パンクリペアーキットの使用中には、ボトルを取り外さないでください。
- 緊急パンクリペアーキットの使用中には、エアホースを取り外さないでください。

1. 車が往来する場所で作業する場合は、かならず三角警告板(停止表示板)を立てて、非常点滅灯を作動させてください。

   釘などが刺さってパンクした場合、刺さっているものをタイヤに残したままにしてください。穴を塞ぐのに役立ちます。

2. コンプレッサーの片側に取り付けられた制限速度の表示ラベルを取り外します。制限速度を守るリマインダーとして、表示ラベルをウインドスクリーンの見える位置に貼ります。緊急パンクリペアーキット使用後は、絶対に 80 km/h(50 mph)を超える速度で走行しないでください。
3. スイッチが **0** (オフ)位置にあることを確認し、電源コードおよびエアホースを適切に配置します。
4. オレンジ色のキャップをコンプレッサーから外し、シーリング剤ボトルのコルクを外します。
5. ボトルをボトルホルダーの下までねじ込みます。

   ボトルおよびボトルホルダーにはシーリング材の漏れ防止のためにリバースキャッチが装備されています。一度ねじ込むと、ボトルはボトルホルダーから外すことができません。ボトルの取り外しは、ボルボ指定のサービス工場で行う必要があります。

⚠ 警告

使用後は、ボトルをホルダーから外さないでください。ボトルには、液漏れを防ぐためのリバースキャッチが付いています。

6. タイヤのダストキャップを外し、エアホースのバルブコネクターをタイヤのエアバルブにネジ部の下までねじ込みます。

   エアホースのプレッシャーリリーフバルブが完全にねじ込まれていることを確認します。

7. 電源コードをもっとも近くの 12V 電源ソケットに接続して、車両を始動します。

ⓘ 注意

コンプレッサーの作動中には、その他の 12V 電源ソケットを一切使用しないでください。

⚠ 警告

エンジン作動中、お子様だけを車内に残したまま、車両から絶対に離れないでください。

⚠ 警告

車の排気ガスを吸入すると、生命に関わるおそれがあります。ガレージなどの密閉された場所や、十分な換気設備のない場所では、絶対にエンジンを始動しないでください。

8. スイッチを I (オン)位置にして、コンプレッサーを起動します。

⚠ 警告

コンプレッサーでタイヤに空気を充填している間は、タイヤの横に立たないでください。タイヤにヒビ割れ、ふくらみなどの異常が認められた場合は、ただちにコンプレッサーを停止してください。このような場合は、走行しないでください。ロードサイド・アシスタンス・サービスに連絡して、タイヤ販売店への移動を依頼してください。指定のタイヤ販売店をお薦めします。

ⓘ 注意

コンプレッサーが作動すると圧力は6 バール(88 psi)程度まで上昇しますが、約30 秒後に圧力は低下します。

9. 7 分間タイヤに空気を充填します。

❗ 重要

コンプレッサーは 10 分以上作動させないでください。過熱するおそれがあります。

10. コンプレッサーのスイッチを切り、プレッシャーゲージの圧力を確認します。タイヤ空気圧が 1.8 バール(22 psi)～3.5 バール(51 psi)であれば正常です。タイヤ空気圧が高すぎる場合は、プレッシャーリリーフバルブを使用して圧力を下げます。

⚠ 警告

タイヤ空気圧が 1.8 バール(22 psi)以下の場合は、タイヤのパンク穴が大き過ぎることを意味します。このような場合は、走行しないでください。ロードサイド・アシスタンス・サービスに連絡して、タイヤ販売店への移動を依頼してください。指定のタイヤ販売店をお薦めします。

11. コンプレッサーをオフにして、電源コードを外します。

12. エアホースをタイヤバルブから外して、ダストキャップをタイヤに元通りに取り付けます。

ⓘ 注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、かならずダストキャップを取り付けてください。
- かならずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食してゆるめにくくなることがあります。

13. 残りのシーリング材の漏れ防止のため、エアホースに保護キャップを取り付けます。機材をトランクルーム/カーゴスペースに入れてください。

14. シーリング剤でパンク穴が確実に塞がれるように、すみやかに 80 km/h (50 mph)以下の速度で 3 km (2 miles)以上走行し、その後に事後点検を行います。

注意

最初の数回転ではタイヤのパンク穴からシーリング剤が噴き出します。

警告

車両を発進させるときには、車両の近くに誰もいないこと、シーリング剤が誰にもかからないことを確認してください。距離は 2 m(7 feet)以上である必要があります。

15. **事後点検**

エアホースをタイヤバルブに接続し、バルブコネクターをタイヤバルブのネジ部の下までねじ込みます。コンプレッサーのスイッチをオフにします。

16. プレッシャーゲージの圧力を読み取ります。

- タイヤ空気圧が 1.3 バール(19 psi)以下の場合は、タイヤのパンク穴が十分に塞がっていません。このような場合は、走行しないでください。ロードサイド・アシスタンス・サービスに連絡してください。
- タイヤ空気圧が 1.3 バール(19 psi)を超えている場合は、運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧ラベルに記載されている適正な空気圧に達するまで、空気を充填します(1 バール = 100 kPa = 14.5 psi)。タイヤ空気圧が高すぎる場合は、プレッシャーリリーフバルブを使用して圧力を下げます。

注意

シーリング剤ボトルおよびホースを使用した後は、かならず新品と交換してください。交換は、ボルボ指定のサービス工場に依頼してください。

警告

タイヤ空気圧は、定期的に点検してください。

最寄りのボルボ指定のサービス工場で、パンクしたタイヤを交換または修理してください。

サービス工場に、シーリング材でタイヤを修理したことを伝えてください。

使用後には、シーリング剤ボトルを交換する必要があります。交換は、ボルボ指定のサービス工場に依頼してください。

警告

シーリング剤を注入したタイヤの最長走行距離は 200 km (120 miles)です。

注意

コンプレッサーは電気装置です。地域の廃棄物処理に関する規則に従ってください。

関連情報

- 適正タイヤ空気圧 (p. 610)
- 緊急パンクリペアーキット (p. 625)
- 緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる (p. 630)

緊急パンクリペアーキットのコンプレッサーを使用してタイヤに空気を入れる

車両の純正タイヤは、緊急パンクリペアーキットに入っているコンプレッサーを使用して空気を入れることができます。

1. コンプレッサーのスイッチをオフにします。スイッチが **0**（オフ）位置にあることを確認し、電源コードおよびエアホースを取り出します。
2. タイヤのダストキャップを外し、エアホースのバルブコネクターをタイヤのエアバルブにネジ部の下までねじ込みます。

   エアホースのプレッシャーリリーフバルブが完全にねじ込まれていることを確認します。
3. 電源コードをもっとも近くの 12V 電源ソケットに接続して、車両を始動します。

⚠ 警告

車の排気ガスを吸入すると、生命に関わるおそれがあります。ガレージなどの密閉された場所や、十分な換気設備のない場所では、絶対にエンジンを始動しないでください。

⚠ 警告

エンジン作動中、お子様だけを車内に残したまま、車両から絶対に離れないでください。

4. スイッチを **I**（オン）位置にして、コンプレッサーを起動します。

重要

オーバーヒートのおそれがあります。コンプレッサーを 10 分以上連続して使用しないでください。

5. 運転席側ドアピラーのタイヤ空気圧ラベルに表示されている数値まで、タイヤに空気を充填します。タイヤ空気圧が高すぎる場合は、プレッシャーリリーフバルブを使用して圧力を下げます。
6. コンプレッサーを止めます。エアホースおよび電気コードを外します。
7. ダストキャップをタイヤに元通りに取り付けます。

注意

- タイヤに空気を充填した後は、砂利や土によるバルブの損傷を防ぐため、かならずダストキャップを取り付けてください。
- かならずプラスチック製ダストキャップを使用してください。金属製のダストキャップは腐食してゆるめにくくなることがあります。

注意

コンプレッサーは電気装置です。地域の廃棄物処理に関する規則に従ってください。

関連情報

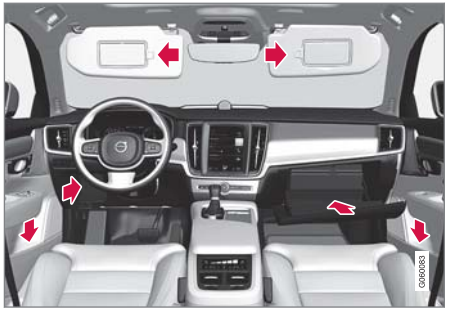
- 適正タイヤ空気圧（p. 610）
- 緊急パンクリペアーキットの使用（p. 626）
- 緊急パンクリペアーキット（p. 625）

荷物の積み込み、収納および車内

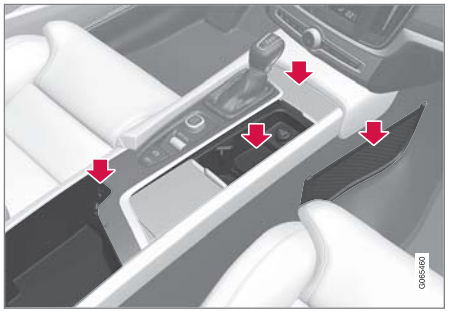
車内インテリア

車内インテリアおよび収納場所

フロントシート

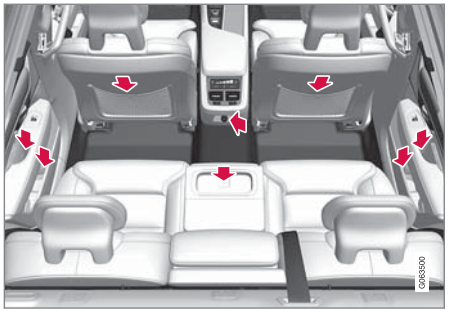


ドアパネルとステアリングホイール、グローブボックスおよびサンバイザーの小物入れ



トンネルコンソールのカップホルダー、電源ソケットおよびUSBポート付き収納スペース、メッシュポケット*

リアシート



ドアパネルの小物入れ、センターシートバックレストのカップホルダー*、フロントシートバックレストの小物入れポケット*、トンネルコンソールの電源ソケット

⚠ 警告

携帯電話やカメラ、アクセサリー用リモートコントロールなど固定されていない物体は、グローブボックスや収納ポケットに収納しておいてください。急ブレーキをかけたときや衝突事故の際に、乗員がケガをするおそれがあります。

重要

高光沢面などは金属物で擦り傷がつきやすいため注意してください。傷のつきやすい面には、キーや電話などを置かないでください。

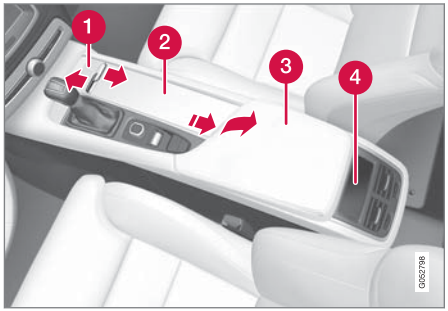
関連情報

- 電源ソケット（p. 634）
- グローブボックスの使用（p. 638）
- サンバイザー（p. 639）
- トンネルコンソール（p. 633）
- USBポート経由でデバイスを接続する（p. 565）

* オプション/アクセサリー。

トンネルコンソール

トンネルコンソールはフロントシートの間にあります。



1. フタ付き小物入れ*。ハンドルを押すとフタを開閉できます。
2. カップホルダーおよび 12V ソケット付き小物入れ
3. アームレスト下の小物入れおよび USB ポート
4. リアシートエアコンディショナー機能*用コントロールまたは小物入れ

⚠ 警告

携帯電話やカメラ、アクセサリー用リモートコントロールなど固定されていない物体は、グローブボックスや収納ポケットに収納しておいてください。急ブレーキをかけたときや衝突事故の際に、乗員がケガをするおそれがあります。

ⓘ 注意

アラーム*のセンサーの 1 つは、トンネルコンソールのカップホルダーの下にあります。カップホルダーにコインやキーなど、金属製の物を入れないようにしてください。アラームが作動することがあります。

❗ 重要

高光沢面などは金属物で擦り傷がつきやすいため注意してください。傷のつきやすい面には、キーや電話などを置かないでください。

関連情報

- 車内インテリア（p. 632）
- 電源ソケット（p. 634）
- エアコンディショナー（p. 253）

電源ソケット

トンネルコンソールに 12V 電源ソケット 2 つと 230V 電源ソケット*1 つがあり、カーゴスペースに 12V 電源ソケット*が 1 つあります。

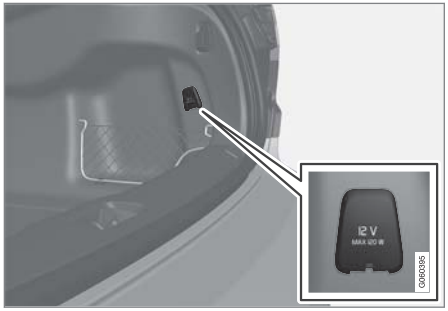
電源ソケットに不具合が生じた場合は、サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

12V 電源ソケット

トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(フロントシート)

12V 電源ソケットは、ミュージックプレーヤー、保冷ボックス、携帯電話など、その電源に対応しているさまざまなアクセサリーに使用することができます。

トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(リアシート)



トランクルーム/カーゴスペースの 12V 電源ソケット*

高電圧ソケット*

トンネルコンソールの電源ソケット(リアシート)

高電圧ソケット*は、充電器やノートパソコンなど、その電源に対応しているさまざまなアクセサリーに使用することができます。

ステータスインジケーター、高電圧ソケット

電源ソケットの LED[1] ランプがソケットの状態を表示します。

[1] LED (Light Emitting Diode)

* オプション/アクセサリー。

状態表示	原因	対処
緑色に点灯	電源ソケットから接続機器に電流が供給されています。	なし。
オレンジ色に点滅	電源ソケットの電圧変換器の温度が高すぎます(アクセサリーの消費電流が大きすぎる、車内の温度が高すぎるなどの理由により)。	プラグを抜き、電圧変換器の温度が下がってからプラグを再度差し込んでください。
	接続されているアクセサリーの消費電流が大きすぎます(断続的または常時)、またはアクセサリーに不具合があります。	なし。そのアクセサリーは電源ソケットに接続できません。
消灯	電源ソケットはプラグが差し込まれていることを認識していません。	プラグが電源ソケットに正しく差し込まれていることを確認してください。
	電源ソケットに電力が供給されていません。	イグニッション位置を I にしてください。
	電源ソケットに供給されていた電力が遮断されました。	エンジンを始動するか、メインバッテリーを充電してください。

関連情報

- 車内インテリア（p. 632）
- 電源ソケットの使用（p. 636）

電源ソケットの使用

12V 電源ソケットは、ミュージックプレーヤー、保冷ボックス、携帯電話など、その電源に対応しているさまざまなアクセサリーに使用することができます。

高電圧ソケット*は、充電器やポータブルコンピューターなど、その電源に対応しているさまざまなアクセサリーに使用することができます。

電源ソケットを使用する際は、車両を I のイグニッション位置にしてください。電源ソケットはメインバッテリーの充電残量が低下しすぎない限り使用可能です。

エンジンを停止して車両をロックすると、電源ソケットは使用できなくなります。エンジンを停止した後、車両をロックしていない場合、またはロックによる電源遮断を一時的に無効にした状態でロックした場合、電源ソケットはエンジン停止からさらに 7 分間使用し続けることができます。

注意

エンジンをオフにした状態で電気ソケットを使用すると、メインバッテリーが放電するリスクがあり、これにより機能が制限される場合があることに注意してください。

電気ソケットに接続されているアクセサリーは、プリコンディショニングの使用中、または車両の電気系統が切り離されている場合でも作動することがあります。したがって、メインバッテリーの放電を防止するため、使用していないコネクターは切り離してください。

警告

- アクセサリーを接続する際は、大きな、または重いコネクターは使用しないでください。ソケットを損傷したり、走行中に緩んだりするおそれがあります。
- 車両の電波受信機、または電気系統などに干渉するアクセサリーは使用しないでください。
- アクセサリーを配置する際は、急ブレーキや衝突に備え、運転者や乗員がケガをしないよう配慮してください。
- 接続したアクセサリーは熱を発生し、乗員が火傷をしたりインテリアを焦がしたりするおそれがあるため、十分に注意してください。

12V 電源ソケットの使用

1. ブランキングプラグ(トンネルコンソール)を取り外すか、ソケット前方のカバー(トランクルーム/カーゴスペース)を開けて、アクセサリーのコネクターを差し込みます。
2. 電源ソケットを使用しないとき、または電源ソケットの近くに誰もいないときは、アクセサリーのプラグを抜き、ブランキングプラグ(トンネルコンソール)を元通りに取り付けるか、カバー(トランクルーム/カーゴスペース)を元に戻してください。

* オプション/アクセサリー。

重要

各ソケットの最大出力は、120W (10A)です。

高電圧ソケットの使用

1. 電源ソケットカバーを引き下げて、アクセサリーのプラグを差し込みます。
   > 電源ソケットのLED[2]ランプが状態を表示します。
2. ランプが緑色で点灯していることを確認します。電源ソケットはこの状態のときにのみ使用できます。
3. アクセサリーを取り外すときには、プラグを引き抜きます。ケーブルを引っ張らないでください。

   電源ソケットを使用しないとき、または電源ソケットの近くにだれもいないときには、カバーを引き上げてください。

重要

ソケットの最大出力は、150W です。

警告

ご自身で高電圧ソケットの改造や修理を絶対にしないでください。ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。

警告

- 損傷や不具合のないアクセサリーのみ、使用してください。アクセサリーは電源ソケット用に設計されたコネクターを備え、230V、50Hz に対応している必要があります。アクセサリーは CE マーク、UL マークまたは同等の安全マークを取得している必要があります。
- 電源ソケット、コネクター、またはアクセサリーが、水やその他の液体に接触しないよう、十分にご注意してください。電源ソケットが損傷している、または水やその他の液体に接触しているおそれがあるときは、触れたり、使用したりしないでください。
- 分岐ソケット、アダプター、または延長コードを電源ソケットに接続しないでください。電源ソケットの安全機能を損なうおそれがあります。
- ソケットには保護カバーが備えられています。カバーの役割を妨げるものがソケットから突き出ていたり、ソケットを損傷したりしていないか、確認します。電源ソケットを使用しているときは、保護者の同伴なくお子様を車内に残して離れないようにしてください。

上記の注意点を守らなかった場合、深刻な、または死亡にいたる感電を引き起こす場合があります。

関連情報

- 電源ソケット (p. 634)
- 車内インテリア (p. 632)

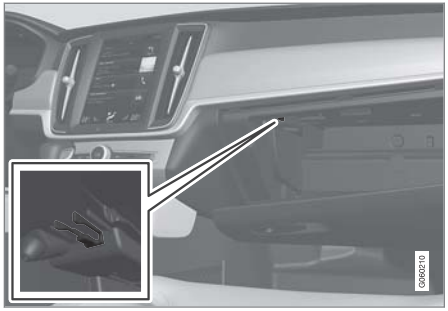
[2] LED(Light Emitting Diode)

グローブボックスの使用

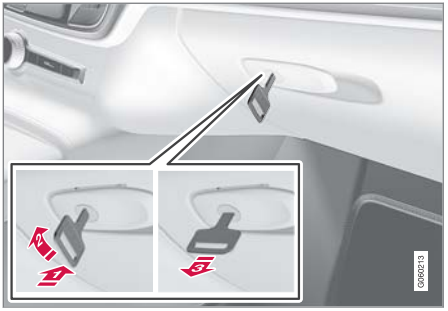
グローブボックスは助手席側にあります。グローブボックスには、オーナーズマニュアル(印刷版)や地図などを収納することができます。ペンおよびカードホルダー用スペースもあります。

グローブボックス*のロック/ロック解除

グローブボックスはロックすることができるため、車両を点検整備に出すときやホテルで駐車サービスに預けるときなどに役立ちます。グローブボックスは付属のキーでのみロック/ロック解除することができます。



キー専用収納スペース図は概略図です。デザインは異なる場合があります。



図は概略図です。デザインは異なる場合があります。

グローブボックスのロック：

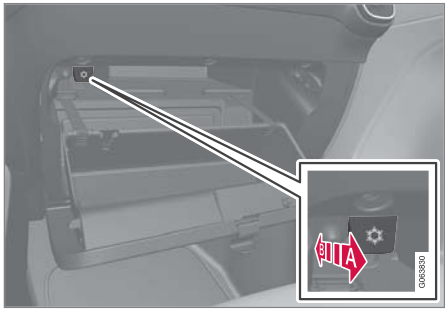
1. キーをグローブボックスのロックシリンダーに差し込みます。
2. キーを時計回りに 90 度回します。
3. キーを引き抜きます。

– ロック解除は逆の手順で行います。

＊ オプション/アクセサリー。

グローブボックスの保冷機能の使用*

グローブボックスは、飲料や食品の保冷に使用することができます。保冷機能は、エアコンディショナーシステムが作動しているとき(車両のイグニッション位置が II またはエンジンが作動しているとき)に動作します。



図は概略図です。デザインは異なる場合があります。

A 保冷機能オン

B 保冷機能オフ

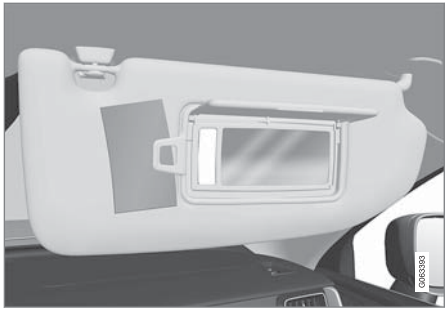
– レバーを車室方向/グローブボックス方向に動かすと、保冷機能がオンまたはオフになります。

関連情報

- 車内インテリア（p. 632）
- プライベートロック（p. 319）

サンバイザー

運転者および助手席乗員前方のルーフにはサンバイザーが取り付けられており、必要に応じて下に倒したり、サイドに傾けたりすることができます。



図は概略図です。デザインは異なる場合があります。

ミラーランプ*は、カバーを持ち上げると自動的に点灯します。

ミラーのフレームには、カードやチケットなどを留めておくためのホルダーが付いています。

関連情報

- 車内インテリア（p. 632）

カーゴスペース

車両には、大きい荷物を運搬および固定できる、柔軟性の高いカーゴスペースが備えられています。

リアシートのバックレストを倒すと、カーゴスペースが広がります。荷物固定用アイレットまたはバッグホルダーを使用すると、荷物を固定することができ、引き出し式のラゲッジカバー*を使用すると、荷物を隠すことができます。

けん引フックと緊急パンクリペアーキットまたはスペアタイヤ*はトランクルーム/カーゴスペースのフロアの下に保管されています。

関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 640）
- バッグフック（p. 641）
- 荷物固定用アイレット（p. 642）
- ラゲッジカバー*の取り付け/取り外し（p. 643）

荷物の積み込みに関する推奨事項

車両に荷物を積み込むときには、さまざまな点について留意する必要があります。

最大許容重量は、車両重量により異なります。乗員および車両に装着されているアクセサリーの総重量の分だけ、最大許容重量は小さくなります。

⚠ 警告

車両の走行性能は、積載物の重量や積載位置の影響を受けます。

トランクルーム/カーゴスペースへの荷物の積み込み

- 荷物は、リアシートのバックレストにもたれかかるように置いてください。
- 荷物を中央に置いてください。
- 重い荷物は、できるだけ低い位置に載せてください。倒したバックレストに重い荷物を置くことは避けてください。
- 鋭利な荷物は、内張りを傷付けないように柔らかい物で覆ってください。
- 荷物はストラップなどを使用して、荷物固定用アイレットに確実に固定してください。

⚠ 警告

固定されていない 20 kg (44 ポンド)の荷物は、50 km/h (30 mph)の速度で前面衝突したときには 1,000 kg (2,200 ポンド)の衝撃に相当します。

⚠ 警告

ドアウインドの上端よりも上まで荷物を積載する場合、荷物とパワーウインドの間には、10 cm (4 インチ)の空間を確保してください。荷物を積むと、ヘッドライニングの内側に装着されているインフレータブルカーテンの保護効果が損なわれるおそれがあります。

⚠ 警告

荷物は、かならず確実に固定してください。急ブレーキをかけたときに荷物が投げ出されて、乗員が大ケガをするおそれがあります。

鋭利な荷物は、柔らかい物で覆ってください。

長いものの積み降ろしは、かならずエンジンを停止してパーキングブレーキをかけてから行なってください。荷物がギヤレバーやギヤセレクターに当たってギヤが入ると、車両が動き出すおそれがあります。

トランクルーム/カーゴスペースのスペースを広げる

リアシートのバックレストを倒すと、トランクルーム/カーゴスペースが広がり、荷物を積込みやすくなります。リアシートのバックレストのいずれかを折り畳む際には、荷物によってフロントシートの WHIPS システムの機能に支障が出ないように十分注意してください。

リアシートのスルーロードハッチを倒して長いものを運搬することができます。

関連情報

- 荷物固定用アイレット (p. 642)
- リアシートのバックレストを倒す (p. 235)
- リアシートのスルーロードハッチ (p. 643)
- ルーフ上の荷物およびロードキャリアへの荷物の積載 (p. 641)
- オートレベライザー*および衝撃吸収 (p. 509)
- 重量 (p. 719)

* オプション/アクセサリー。

ルーフ上の荷物およびロードキャリアへの荷物の積載

車両のルーフに荷物を積む場合には、ボルボ純正のロードキャリアの使用を推奨しています。

車両への損傷を防ぎ、走行中の安全を最大限に確保するためです。ボルボのロードキャリアは、ボルボ指定のディーラーで購入することができます。

ロードキャリアを取り付けるときは、付属の取付説明書に従ってください。

- ロードキャリア全体に重量が均等に配分されるように、荷物を載せてください。重い荷物は、下になるように載せてください。
- ロードキャリアと荷物が正しく固定されているか定期的に点検してください。荷物はリテーニングストラップなどを使用して、確実に固定してください。
- 荷物が車両のフロント部分よりも長い場合(カヌー、カヤックなど)は、けん引フックをフロントソケットに取り付け、そこにバンジーコードを付けます。
- 荷物のサイズが大きいほど空気抵抗が増えて、燃費が悪くなります。
- 安全運転を心がけてください。急発進、急ブレーキ、急ハンドルは避けてください。

⚠ 警告

ルーフ上に荷物を積載して走行するときは、車両の重心が変わり走行安定性が悪くなりますので注意してください。

重量および最大許容積載量については、車両の仕様に従ってください。

関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 640）
- 重量（p. 719）

バッグフック

バッグフックは、手提げバッグの固定に使用します。バッグが倒れて中身がトランクルーム/カーゴスペースに散乱するのを防止します。

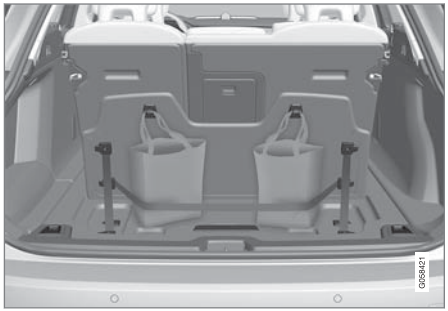
側面

バッグフックは、トランクルーム/カーゴスペースの両サイドのサイドパネルに各 2 個ずつ装備されています。

重要

バッグフックの耐荷重は最大 5 kg（11 lbs）です。

フロアハッチの下*



カーゴスペースのフロアハッチの一部であるカバーには、バッグフック 2 個と伸縮ストラップ 1 個[3] が用意されています。ストラップは 4 つの異なる位置に取り付けることができます。

バッグフックを使用するときには、カバーを持ち上げてください。伸縮ストラップでバッグを適切な位置に固定してください。バッグに取っ手があり、高さが適切である場合、フックに吊してください。

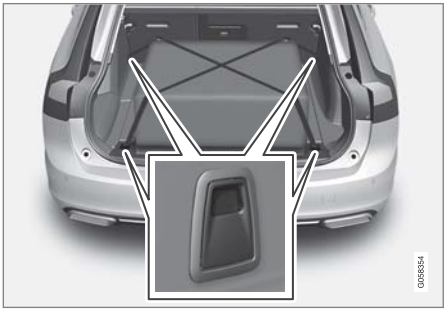
関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 640）
- カーゴネット*の取り付けおよび取り外し（p. 648）
- ラゲッジカバー*の取り付け/取り外し（p. 643）
- スチールガードネット*の取り付け/取り外し（p. 646）

[3] 伸縮ストラップはボルボディーラーで追加注文することができます。

荷物固定用アイレット

荷物固定用アイレットは、トランクルーム/カーゴスペース内の荷物が動かないよう、ストラップを固定するために使用します。



⚠ 警告

硬い物や尖った物、重い物が確実に固定されていない場合には、急ブレーキの際に飛び出してケガの原因となるおそれがあります。

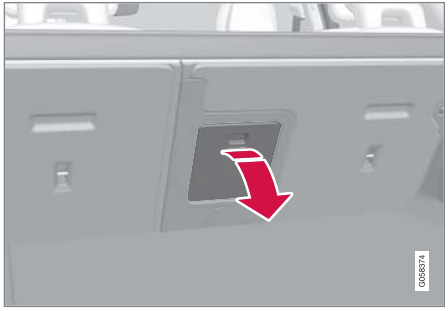
大きい物や重い物は、シートベルトまたはストラップベルトでかならず確実に固定してください。

関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 640）
- 重量（p. 719）

リアシートのスルーロードハッチ

リアシートのバックレストにあるハッチは、スキー板など、長いものを運搬するときに開けることができます。



図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

1. トランクルーム/カーゴスペースからハッチのハンドルをつかんで、ハッチを倒します。
2. リアシートのアームレストを前方に倒します。

プライベートロック機能を使用する場合、スルーロードハッチを閉じる必要があります。

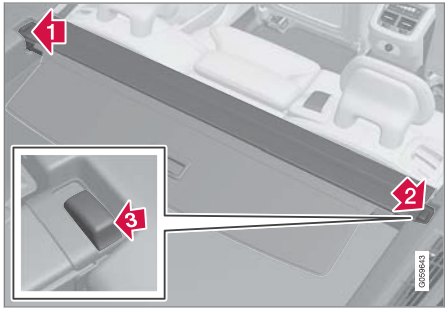
関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 640）
- プライベートロック（p. 319）
- 荷物固定用アイレット（p. 642）

ラゲッジカバー*の取り付け/取り外し

ラゲッジカバーを広げると、カーゴスペースへの視線を遮ることができます。

ラゲッジカバーの取り付け



1. ラゲッジカバーのエンドピースの 1 つをカーゴスペースのサイドパネルの窪みに挿入します。
2. もう一方のエンドピースを反対側のサイドパネルの窪みに挿入します。
3. 両側のエンドピースを 1 つずつ押し付けます。
   > カチッという音が聞こえて、各エンドピースの赤いマークが消えたら、ラゲッジカバーが取り付けられたことを意味します。確実に取り付けられていることを確認してください。

4.

ラゲッジカバーのフロントシーリングディスクを前方に倒して、ラゲッジカバーとリアシートのバックレストの間にあるスペースをなくします。

重要

カバープレートには、所定の位置に保持するためのサポートの役割を果たすプラスチックパーツが 2 個あります。

プラスチックパーツはバッグの吊り下げに使用しないでください。そのような用途は想定されていないため、破損することがあります。

カーゴネット*をラゲッジカバーと同時に使用する場合は、最初にカーゴネットを取り付けます。

ラゲッジカバーの取り外し

格納位置：

1. 巻き取られたラゲッジカバーの一方のエンドピースにあるボタンを押して、その端を持ち上げます。
2. カバーを慎重に上/外方向に傾けます。
   > 反対側のエンドピースが自動的にゆるみ、カバーをカーゴスペースから取り出すことができます。

関連情報

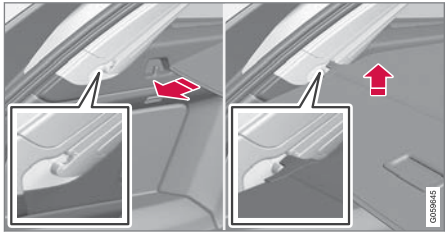
- ラゲッジカバー*の操作（p. 644）
- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 640）

ラゲッジカバー*の操作

ラゲッジカバーには 2 つの展開位置（フルカバー位置と荷積み位置）があります。荷積み位置ではラゲッジカバーが部分的に引き出されているため、カーゴスペースの中に手が届きやすくなります。

* オプション/アクセサリー。

フルカバー位置



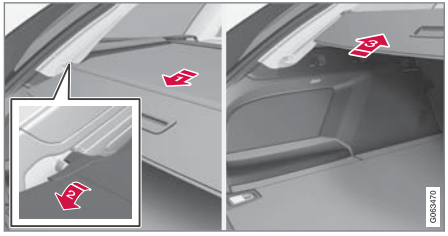
1. ハンドルを握ってラゲッジカバーを引き出し、カーゴスペースのサイドパネルに沿ってスライドさせます。後端位置まで引っ張ります。
2. カバーのアタッチメントピンをサイドパネルの溝に入れます。アタッチメントピンが引っかかるように、ハンドルをわずかに上に傾けながら手を離します。
   › ラゲッジカバーがフルカバー位置にロックされます。

重要

ラゲッジカバーの上には物を載せないでください。

荷積みモード

フルカバー位置からの場合：



1. ハンドルを握って、止まる位置まで後方へ引っ張ります。
2. カバーを下に傾けます。
3. カバーとその固定ピンを慎重に前方へ動かし、フックの上まで移動させます。
   › カバーは荷積み位置で停止するまで巻き取られます。

荷積み位置からフルカバー位置に戻すには：

1. ハンドルを握って、ラゲッジカバーを後端位置まで引き出します。
2. ハンドルから手を離して、アタッチメントピンをフックに引っかけます。
   › カバーがフルカバー位置にロックされます。

自動ラゲッジカバー*が搭載されている場合は、テールゲートを開けるたびにカバーがフルカバー位置から荷積み位置まで巻き取られ、テールゲートを閉じるとフルカバー位置に戻ります。ラゲッジカバーは、動作の妨げになるものがあるかどうかを検知して自動的に巻き取られます。

警告

自動*ラゲッジカバーの開閉時には、挟まる危険があるため注意してください。

重要

カーゴスペースに大きい荷物がある場合、荷物との接触を避けるために、自動*ラゲッジカバーが格納位置に移動します。

注意

車内温度が低いときには、ラゲッジカバーが自動で作動しないことがあります。

格納方法

1. フルカバー位置からの場合：

   ハンドルを持ち上げて後方に引っ張り、ラゲッジカバーのアタッチメントピンを溝から外し、放します。

   荷積み位置から：

   ハンドルを握ってラゲッジカバーを溝から引き出し、フルカバー位置まで引っ張ります。ハンドルを持ち上げて後方に引っ張り、アタッチメントピンを溝から外し、放します。

2. カバーのアタッチメントピンをサイドパネルの外に出した状態で、カバーを格納位置まで巻き取らせます。

ラゲッジカバーを格納位置にすると、後方の視界が妨げられるおそれがあります。

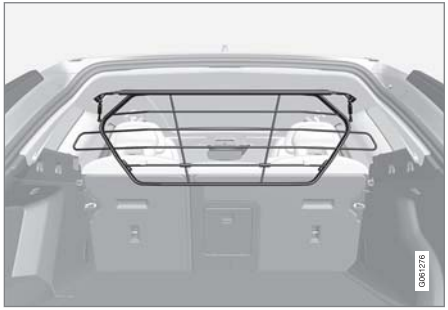
関連情報

- ラゲッジカバー*の取り付け/取り外し (p. 643)

スチールガードネット*の取り付け/取り外し

スチールガードネットは、カーゴスペース内の荷物やペットが座席に投げ出されることを防ぎます。

スチールガードネットは ECE R17 の法的要件に準拠した衝突試験に合格しており、ボルボの強度要件を満たしています。



安全のため、スチールガードネットはかならず正しく取り付け、適切に固定する必要があります。

⚠ 警告

絶対にカーゴスペースに人を乗せて走行しないでください。急ブレーキや事故の際にケガをするおそれがあり危険です。

取り付け

重要

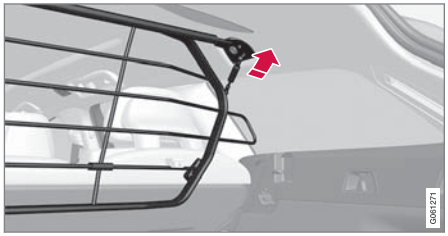
スチールガードネットは、かならずここに記載されているリア位置(リアシートの後方)のみで使用してください。

スチールガードネットを取り付ける前に、既存のプラスチック製ルーフマウンティングをスチール製ルーフマウンティングに交換する必要があります。ルーフマウンティングの交換については、ボルボ指定のサービス工場またはディーラーにご用命ください。

1. リアシートのバックレストを前に倒します。
2. スチールガードネットの向きが正しいことを確認します。スチールガードネットを持ち上げて、リアサイドドアのひとつから入れます。

* オプション/アクセサリー。

3.



スチールガードネットのブラケットをルーフマウンティングに位置決めします。

次のステップは、2 人でスチールガードネットを正しい位置に保持した方が作業しやすくなります。

4.

付属のスクリューを挿入し、付属の 6 mm 六角棒レンチを使用して締め付けます。反対側で同じ作業を繰り返します。推奨締め付けトルク：20 Nm (15 ft-lbs)。

> スチールガードネットが適切に固定されていることを確認します。

5. バックレストを直立位置に戻します。

取り付け/取り外しに必要なツールや方法については、購入時に添付されていた説明書[4]をご覧ください。

重要

ラゲッジカバーが装着されている場合、スチールガードネットを設置する/収納することはできません。

関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 640）
- 荷物固定用アイレット（p. 642）

[4] 取付説明書(No. 31659257)

カーゴネット*の取り付けおよび取り外し

カーゴネットは、急ブレーキの際などに荷物が座席に投げ出されることを防ぎます。

カーゴネットは、4 つの固定ポイントに取り付けます。

安全のため、カーゴネットはかならず下記の要領で取り付けて、固定してください。

ネットは強靭なナイロン繊維製で、取り付け位置は、車内の 2 箇所から選択できます。

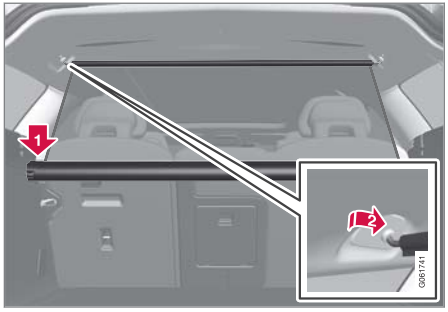
- リア装着 – リアシートの後ろ
- フロント装着 – フロントシートの後ろ

⚠ 警告

カーゴスペース内の積荷は確実に固定してください。また、正しく装着されたセーフティネットを使用してください。

カーゴネットの取り付け

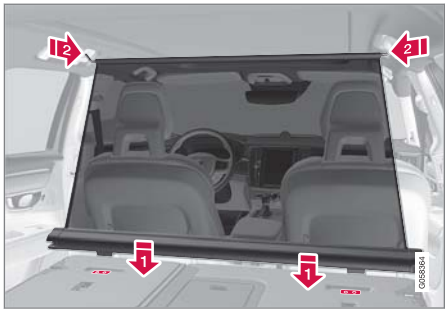
リア装着



1. 必要に応じてリアシートのバックレストを前方に倒すと、すみやかに装着することができます。
2. カーゴネットカセットの先端部を、サイドパネルのくぼみにあるマウンティングアイレットの上に下げます。先端部を片側ずつ押し込みます。カセットが確実に固定されているか確認してください。
3. ネットを引き上げます。
4. カーゴネットの固定フックの 1 つをリアルーフマウンティングに引っかけて、端位置まで前方に押します。
5. もう 1 つのカーゴネットの固定フックを反対側に引っかけて、端位置まで前方に押します。

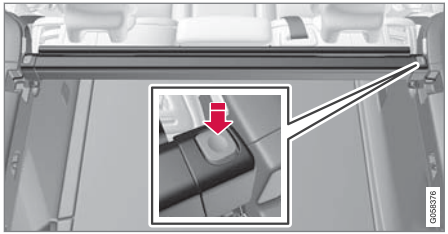
＊ オプション/アクセサリー。

フロント装着



1. リアシートのバックレストを前に倒します。
2. カーゴネットカセットのアンカーレールをバックレストの取り付けラグの前に合わせます。
3. カセットをスライドさせ、取り付けラグに入れます。
4. ネットを引き上げます。
5. カーゴネットの固定フックの 1 つをフロントルーフマウンティングに引っかけて、端位置まで前方に押します。
6. もう 1 つのカーゴネットの固定フックを反対側に引っかけて、端位置まで前方に押します。

カーゴネットの取り外し

1. 固定フックを後方に押して、カーゴネットをルーフマウンティングから取り外します。ネットをカセットの中に収納します。
2. 

   リア装着：

   マウンティングアイレットから先端部を取り外すには、カセットの各サイドにあるボタンを押します。カーゴネットを持ち上げて取り外します。

   フロント装着：

   カセットを取り付けラグからスライドさせて、カーゴネットを持ち上げて取り外します。

関連情報

- 荷物の積み込みに関する推奨事項（p. 640）
- 荷物固定用アイレット（p. 642）

救急用品キット*

救急用品キットには、救急用品が入っています。

車両にゴムストラップが装備されている場合は、救急用品キットをストラップの後ろに収納します。

関連情報

- カーゴスペース（p. 639）

三角警告板(停止表示板)

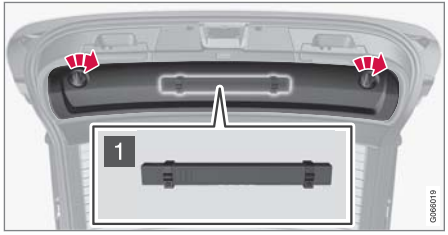
車両が道路で停止した場合、ほかの道路使用者に対して警告するために、三角警告板(停止表示板)を使用してください。

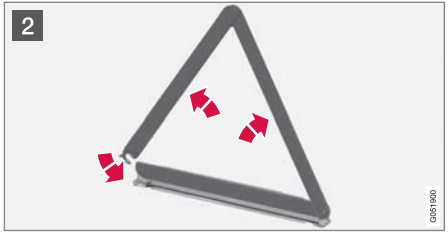
非常点滅灯も作動させてください。

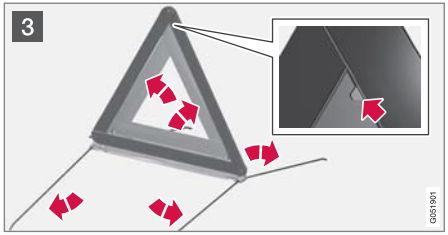
収納スペース

三角警告板(停止表示板)はテールゲートの内側のパネルの下にあります。

三角警告板(停止表示板)の設置







1 最初に 2 つのノブを 1/4 回転回し、次にパネルのフックを外して、テールゲートの内側のパネルを外します。パネルを脇に置きます。

スナップラッチを開いて、ケースを取り出します。

2 三角警告板(停止表示板)をケースから取り出し、広げて両端を合わせます。

3 三角警告板(停止表示板)のサポートレッグを広げます。

三角警告板(停止表示板)の使用に関する規則を厳守してください。三角警告板(停止表示板)は、通行の邪魔にならない所定の位置に置いてください。

使用後は、三角警告板(停止表示板)をケースに入れて、ケースを収納スペースの元の場所に正しく固定し、ハッチを確実に閉じてください。

関連情報

- カーゴスペース (p. 639)
- 非常点滅灯 (p. 199)

保守点検

ボルボメンテナンスサービスプログラム

信頼できる安全性能を維持するため、メンテナンスノート(整備手帳)に記載されているボルボ点検整備要領に従って、点検整備を行なってください。

点検整備は、ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。ボルボ指定のサービス工場にはボルボ車を熟知したメカニックがおり、専用工具やサービス資料も完備していますので、クオリティの高い点検整備をご提供することができます。

重要

ボルボ社の保証が適用されるためには、メンテナンスノート(整備手帳)の指示に従った点検を実施する必要があります。

関連情報

- 車両状態 (p. 654)
- コネクテッド・サービス予約 (p. 655)
- 車両の診断ソケットへ設備を接続する (p. 40)
- エアコンディショナーシステムの点検整備 (p. 661)
- ブレーキシステムのメンテナンス (p. 486)
- エンジンルームの概要 (p. 662)

Wi-Fi による車両とサービス工場間でのデータ転送

ボルボ指定のサービス工場には、車両とサービス工場間で安全にデータを転送するための特定の Wi-Fi ネットワークがあります。サービス工場のネットワークを経由して診断情報およびソフトウェアの転送ができるため、ご来場時の手続きが簡素化され、作業を効率的に進めることができます。

お客様がサービス工場に到着すると、故障追跡やソフトウェアのダウンロードができるように、担当のサービスメカニックがお客様の車両を Wi-Fi 経由でサービス工場のネットワークに接続することがあります。このタイプの通信では、車両はサービス工場のネットワークのみに接続されます。車両をサービス工場のネットワークへの接続と同じように別の Wi-Fi ネットワーク(自宅など)に接続することはできません。

リモートコントロールキーによる接続

通常、接続はサービスメカニックがリモートコントロールキーのボタンを使用して行います。したがって、サービス工場へご来場の際には、かならずボタン付きのキーをご持参ください。リモートコントロールキーのロックボタンを 3 回押すと、車両が Wi-Fi 経由でサービス工場のネットワークに接続されます。

車両が Wi-Fi ネットワークに接続されているときは、センターディスプレイにシンボル が表示されます。

警告

サービス工場のネットワークおよびシステムに接続されているときに車両を走行させないでください。

関連情報

- ダウンロードセンター経由でシステムアップデートを管理する (p. 653)
- コネクテッド・サービス予約 (p. 655)

ダウンロードセンター

オンライン車両では、車両の一部のシステムをセンターディスプレイからアップデートすることができます [1]。

センターディスプレイのアプリビューから ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ アプリを起動すると、以下のことができます。

- システムソフトウェアの検索およびアップデート
- アプリのダウンロード、アップデートおよびアンインストール

関連情報

- ダウンロードセンター経由でシステムアップデートを管理する（p. 653）
- アプリのダウンロード（p. 551）
- アプリのアップデート（p. 552）
- アプリの削除（p. 552）
- オンライン車両*（p. 584）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 152）

ダウンロードセンター経由でシステムアップデートを管理する

オンライン車両およびインフォテイメントのシステムアップデートは、ダウンロードセンター経由で行うことができます。アップデートは一度に全部または 1 つずつ実行することができます。

アップデートの検索

利用可能なアップデートがある場合、センターディスプレイのステータスバーに **新しいソフトウェアを更新可能** というメッセージが表示されます。

システムアップデートを利用するには、車両がインターネットに接続されている必要があります [2]。

– センターディスプレイのアプリビューで ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ ｾﾝﾀｰ に移動します。
  › 前回のインフォテイメントシステムの起動以降に検索を行っていない場合、検索が行われます。ソフトウェアのインストール中には検索は行われません。

  システム更新 の数字は、利用可能なアップデートの数を表しています。1 回タップすると、車両にインストール可能なアップデートのリストが表示されます。

注意

データダウンロードは、データを送信するその他のサービス（インターネットラジオなど）に影響を及ぼすおそれがあります。その他のサービスに悪影響を及ぼす場合、ダウンロードは中断することができます。その他のサービスをオフにする、または中断する方が適切な場合もあります。

[1] データはインターネットの使用中に送信されます（データトラフィック）。この通信には料金がかかることがあります。
[2] データはインターネットの使用中に送信されます（データトラフィック）。この通信には料金がかかることがあります。

注意

イグニッション位置をオフにして車両を離れると、アップデートは中断されます。

ただし、車両を離れる前にアップデートを完了する必要はありません。次に車両を使用する際にアップデートが再開されます。

すべてのシステムソフトウェアをアップデートする

– リストの下部にある **全てインストール** を選択します。

希望するリストがない場合、**システム更新** で **全てインストール** オプションを選択することができます。

システムソフトウェアプログラムを個別にアップデートする

– 必要なソフトウェアについて **ｲﾝｽﾄｰﾙ** を選択します。

ソフトウェアダウンロードのキャンセル

– ダウンロードの開始時に **ｲﾝｽﾄｰﾙ** から置き換わったアクティビティインジケーターの X をタップします。

キャンセルできるのはダウンロードのみです。インストールが始まった場合、キャンセルできません。

ソフトウェアアップデートのバックグラウンド検索の無効化

工場出荷時は、ソフトウェアアップデートの自動バックグラウンド検索が有効になっていますが、この機能は無効化することができます。

1. センターディスプレイのトップビューで **設定** をタップします。
2. **システム ➔ ダウンロードセンター** をタップします。
3. **ソフトウェア自動更新** を選択解除します。

関連情報

- ダウンロードセンター（p. 653）
- オンライン車両*（p. 584）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 152）

車両状態

車両全般の状態をセンターディスプレイに表示することができ、必要に応じて、サービスを予約することができます[3]。

センターディスプレイのアプリビューから **車両の状態** アプリを起動すると、以下の 4 つのタブが表示されます。

- **メッセージ** – ステータスメッセージ
- **ステータス** – エンジンオイルレベルおよび AdBlue レベル[4] の点検
- **ﾀｲﾔ圧監視ｼｽﾃﾑ** – タイヤ空気圧の点検
- **予約** – 予約情報および車両情報[3]

関連情報

- ドライバーディスプレイから保存されたメッセージの管理（p. 144）
- エンジンオイルの点検と補充（p. 664）
- タイヤ空気圧モニタリングシステム*（p. 611）
- コネクテッド・サービス予約（p. 655）
- 車両情報をサービス工場に送信する（p. 656）

[3] 特定市場に適用
[4] AdBlue ディーゼル車に適用されます。

- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 152)
- AdBlue®による排出ガス制御 (p. 520)

コネクテッド・サービス予約[5]

この方法を利用すると、車内からサービスおよびサービス工場への入庫を直接予約でき、大変便利です。

サービスの予約が近づいた場合、また、車両の修理が必要になった場合(一部の状況のみ)、ドライバーディスプレイおよびセンターディスプレイの上部にメッセージが表示されます。サービスの日付は、前回のサービス以降の走行距離、エンジンの作動時間、経過時間によって決定されます。

サービスを使用する前に

- Volvo IDを作成し、車両に登録してください。
- www.volvocars.comに移動してログインし、連絡するボルボ・ディーラーを選択してください。
- 予約情報を送受信するには、車両をインターネットに接続する必要があります[6]。

サービスを予約してください

サービスまたは修理の必要性を伝えるメッセージが表示されたとき、またはサービスが必要なとき、予約申し込みに必要事項を入力してください。

1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
2. **予約** をタップします。
3. **予約 ﾘｸｴｽﾄ** をタップします。
4. 正しい **Volvo ID** が入力されていることを確認します。
5. 目的の **ワークショップ** が入力されていることを確認します。
6. **ﾀｯﾌﾟ してﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ宛ての情報を記入** フィールドに必要事項を入力します(サービス工場での入庫中に作業してもらいたいこと、サービス工場に伝えておくべき重要情報など)。

[5] 特定市場に適用
[6] データはインターネットの使用中に送信されます(データトラフィック)。この通信には料金がかかることがあります。

7. **予約リクエストを送信** をタップします。
   > 2、3 日以内[7] に予約日程案が電子メールで送信されます。

   www.volvocars.com に移動してログインしたとき、および電子メールでも同じ通知を受け取ります。

   一部の市場では、予約のリクエストを送信した時点でドライバーディスプレイに表示されたサービスの必要性を伝えるメッセージが消灯します。
8. 申し込みをキャンセルするには、**ﾘｸｴｽﾄをｷｬﾝｾﾙ** ボタンをタップします。

車両から送信される予約問い合わせには、サービス工場での計画作成に役立つ車両情報が含まれます。

ディーラーはお客様に連絡して、予約日時をご提案します。ディーラーに関する情報も車内で表示できるため、いつでもサービス工場に連絡することができます。

予約日程案を受け入れる

車両が予約日程案を受信すると、センターディスプレイの上部にメッセージが表示されます。

1. メッセージをタップします。
2. サービスの予約日程案を受け入れる場合、**応答** をタップします。受け入れられない場合、**新しい提案を送信** または **拒否** をタップします。

一部の市場では、予約日時が近づくと、システムからお客様に予約情報が通知され、入庫予定日になると、ナビゲーションシステム[8] がサービス工場までお客様を案内することもできます。

関連情報

- 車両状態（p. 654）
- 車両情報をサービス工場に送信する（p. 656）
- センターディスプレイのビュー内での移動（p. 152）
- Volvo ID（p. 28）
- オンライン車両*（p. 584）

車両情報をサービス工場に送信する[9]

サービス工場に予約するときなど、サービス工場に詳細なデータを提供してサービス工場が車両の入庫に備えて計画を立てやすくなるようにしたい場合、いつでも車両の情報を送信することができます。車両情報の送信とサービス予約は同じではありません。

1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
2. **予約** をタップします。

7 この期間は市場により異なることがあります。
8 Sensus Navigation*に適用されます。
9 特定市場に適用

3. **車両データを送信** をタップします。
   > 車両データが送信中であることを示すメッセージがセンターディスプレイの上部に表示されます。アクティビティインジケーターの X をタップすると、データ送信をキャンセルすることができます。

   情報の送信には、車両のインターネット接続が使用されます [10]。

この車両情報は、車両の車台番号(VIN[11])を把握しているディーラーであれば、どのディーラーでも利用できます。

車両情報の内容

送信される情報は最後に保存された情報(前回の車両使用時に保存された情報)であり、以下の内容が含まれます。

- サービス要件
- 前回のサービスからの経過時間
- 機能の状態
- フルードレベル
- メーター値
- 車台番号(VIN[11])
- 車両のソフトウェアバージョン
- 車両の診断データ

関連情報

- コネクテッド・サービス予約 (p. 655)
- 車両状態 (p. 654)
- センターディスプレイのビュー内での移動 (p. 152)
- オンライン車両* (p. 584)

10 データはインターネットの使用中に送信されます(データトラフィック)。この通信には料金がかかることがあります。
11 Vehicle Identification Number

車両を持ち上げる

車両をジャッキアップする場合は、カージャッキまたはサービスジャッキ/ガレージジャッキを車両のアンダーボディの取り付けポイントに正しく取り付けることが重要です。

オートレベライザー*装備車の場合、ジャッキアップの前にエアサスペンション(装備されている場合)をオフにする必要があります。この機能はセンターディスプレイを使用してオフにしてください。

⚠ 警告

ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げる場合は、かならずジャッキポイント4点のいずれか1つの下に配置します。車両が滑り落ちないよう、ガレージジャッキの設置位置に注意してください。車両の安定性を維持し、損傷することのないよう、ジャッキプレートにラバーガードが装着されていることを確認してください。かならずアクスルスタンドなどを使用してください。

ⓘ 注意

ボルボ社は、車両搭載ジャッキのみの使用を推奨しています。ボルボ純正以外のジャッキを使用する場合には、ジャッキに添付されている指示に従ってください。

通常のカージャッキは、パンクしたタイヤの交換時やウインタータイヤ/サマータイヤの取り換え時など、短時間の使用を念頭に設計されています。ジャッキをより頻繁に使用する場合や、単純なタイヤ交換より長い時間使用する場合には、修理工場用のジャッキの使用をお薦めします。この場合、そのジャッキに添付の取扱指示に従ってください。

* オプション/アクセサリー。

プラスチックカバーの三角マークは、取り付けポイントの場所を示しています(赤で表示)。

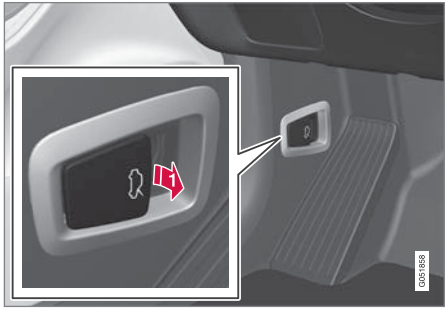
関連情報

- ホイールの取り外し（p. 618）
- ジャッキ*（p. 617）
- オートレベライザー*の設定（p. 511）

ボンネットの開閉

ボンネットは車内のハンドルとボンネットの下にあるハンドルを使用して開けることができます。

ボンネットを開ける



1. フットペダルの近くにあるハンドルを引いて、ボンネットを全閉位置から解除します。

2. ボンネットの下にあるハンドルを反時計回りに回してボンネットをロックラッチから外し、ボンネットを持ち上げます。

警告 – ボンネットが閉じていない

ボンネットのラッチが外れると、ドライバーディスプレイの警告灯とグラフィックが点灯し、警告音が鳴ります。車両が走行し始めると、警告音が繰り返されます。

注意

ボンネットがしっかりと閉まっているにも関わらず警告灯が点灯する場合、または警告音が鳴る場合は、ボルボ指定のサービス工場までご連絡ください。

ボンネットを閉じる

1. ボンネットが自重で下がり始めるまで、押し下げます。
2. ボンネットがロックラッチに接触して停止したら、ボンネットを押し下げて完全に閉じます。

警告

挟まれるおそれがあります。ボンネットを閉める際は、ボンネットの下に妨げるものがなにもないことを確認してください。障害物がある場合、ケガをするおそれがあります。

警告

ボンネットを閉めたときは、完全にロックされていることを確認してください。ボンネットの両サイドがカチッと音を立ててしっかりと閉まっている必要があります。

ボンネットが完全に閉じていない状態。図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

ボンネットが完全に閉じた状態図は概略図です。パーツは車両モデルにより異なる場合があります。

⚠ 警告

ボンネットを開けたまま、走行しないでください！

走行中にボンネットがしっかりと閉まっていない兆候がある場合は、ただちに停車して閉めます。

関連情報

- エンジンルームの概要（p. 662）
- ドアおよびシートベルトリマインダー（p. 87）

エアコンディショナーシステムの点検整備

エアコンディショナーシステムは、かならずボルボ指定のサービス工場で点検整備および修理を行ってください。

トラブルシューティングと修理

エアコンディショナーシステムには、蛍光性の透写剤が含まれています。漏れ検知作業の際には、UV ライトを使用する必要があります。

ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

R134a 冷媒仕様車

⚠ 警告

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R134a が加圧充填されています。このシステムの保守や修理は、かならずボルボ指定のサービス工場にご依頼ください。

R1234yf 冷媒仕様車

⚠ 警告

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R1234yf が加圧充填されています。SAE J2845(自動車用 A/C システムに使用される冷媒の安全な点検整備および格納のための技術トレーニング)に従い、冷媒システムの点検整備および修理は、かならず資格および技能を有するメカニックが行い、システムの安全を確保する必要があります。

関連情報

- ボルボメンテナンスサービスプログラム (p. 652)

ウインドスクリーン交換時のヘッドアップディスプレイ*

ヘッドアップディスプレイ装備車には、投影画像の表示要件を満たす特殊なウインドスクリーンが装備されています。

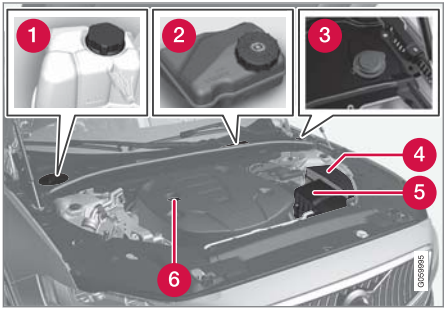
ウインドスクリーンを交換するときには、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。ヘッドアップディスプレイのグラフィックを正しく表示するためには、適切なタイプのウインドスクリーンを取り付ける必要があります。

関連情報

- ヘッドアップディスプレイ* (p. 179)
- ヘッドアップディスプレイ*の清掃 (p. 695)

エンジンルームの概要

この概要では、サービスと関係のあるコンポーネントをいくつか示します。



モデルおよびエンジンタイプにより、エンジンルームの外観が図と異なる場合があります。

1. エキスパンションタンク(冷却水)
2. ブレーキフルードリザーバータンク(運転席側に配置)
3. ウォッシャー液フィラーパイプ [12]
4. セントラルエレクトリカルユニット
5. エアフィルター
6. エンジンオイルフィラーパイプ

12 ウォッシャー液は定期的(給油時など)に補充してください。

⚠ 警告

ラジエーターファン(エンジンルーム前部のラジエーターの後方にある)は、エンジンが停止した後に自動的に作動を開始する、または最長で約 6 分間作動し続けることがあります。

エンジンの洗浄はかならずサービス工場で実施してもらうようにしてください。ボルボ指定のサービス工場のご利用をお薦めします。エンジンが高温のときは、火災につながるおそれがあります。

⚠ 警告

イグニッションシステムでは非常に高い危険電圧が使用されています。エンジンルーム内でなんらかの作業をする場合には、車両の電気系統をかならずイグニッション位置 **0** にしてください。

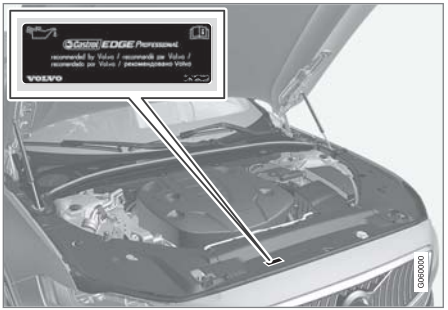
車両の電気系統がイグニッション位置 **II** のとき、あるいはエンジンが高温のときには、スパークプラグやイグニッションコイルにふれないでください。

関連情報

- ボンネットの開閉（p. 660）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 711）
- クーラントの補充（p. 666）
- ヒューズ – エンジンルーム内（p. 683）
- エンジンオイルの点検と補充（p. 664）
- イグニッション位置（p. 480）

エンジンオイル

エンジンの推奨サービス間隔および保証に対応するため、指定されたエンジンオイルを使用してください。



ボルボ社の推奨品：

Castrol EDGE PROFESSIONAL

G053097

エンジンオイルの点検と補充

電子式オイルレベルセンサーでオイルの残量が検知されます。

エンジンオイルを定期的に点検せず、残量が低くなりすぎると、エンジンに深刻な損傷をもたらすおそれがあります。

重要

エンジンのサービスインターバルに適応できるように、工場で特別な合成エンジンオイルがエンジンに充填されています。このオイルは、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全を十分考慮して選定されています。

エンジンのサービスインターバルに適応するため、指定されたエンジンオイルを使用してください。オイルの補充および交換時には、かならず指定グレードのオイルを使用してください。異なるオイルを使用すると、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全に悪影響をおよぼします。

規定のグレードおよび粘度を備えたエンジンオイルを使用しなかった場合、エンジン関係のコンポーネントが損傷するおそれがあります。ボルボ・カー・コーポレーションは、こういった損傷に対するいかなる責任も負いません。

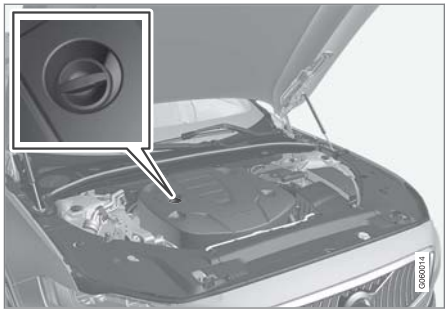
オイル交換は、ボルボ指定のサービス工場への依頼をお薦めします。

ボルボでは、オイルレベルが高く/低くなりすぎた場合、またはオイル圧が低くなった場合に警告を発する、さまざまなシステムを使用しています。一部の車両には、油圧センサーが装備されています。その場合、ドライバーディスプレイの油圧低下警告灯 が表示されます。その他の車両には、オイルレベルセンサーが装備されています。その場合、運転者への警告には、ドライバーディスプレイの警告灯 およびディスプレイテキストが使用されます。また、両方のシステムを搭載しているモデルもあります。詳しくは、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

エンジンオイルおよびオイルフィルターの交換時期は、別冊のメンテナンスノート(整備手帳)を参照してください。ボルボ社が指定するオイルグレードよりも高いグレードのオイルは、使用が認められています。ボルボは、過酷な状況下で走行する際には、指定のオイルよりもグレードの高いオイルの使用を推奨します。

関連情報

- エンジンオイルの点検と補充 (p. 664)
- エンジンオイル – 仕様 (p. 723)
- エンジンオイルに対して過酷な走行条件 (p. 725)



フィラーパイプ [13]

場合によっては、次のサービスまでの間にオイルを補充する必要があります。

エンジンオイルレベルに関する対応は、ドライバーディスプレイにメッセージが表示されるまで不要です。

⚠ 警告

このシンボルがメッセージ **ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙﾚﾍﾞﾙ 販売店に お問い合わせ下さい** と一緒に表示された場合、サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。オイルレベルが異常に高くなっている場合があります。

重要

オイルレベル低下のメッセージ（例：**ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙﾚﾍﾞﾙ：低 1 リッター補給して下さい** など）と一緒にこのシンボルが表示された場合、1 L (1 quart) など、指定された量のみを補充してください。

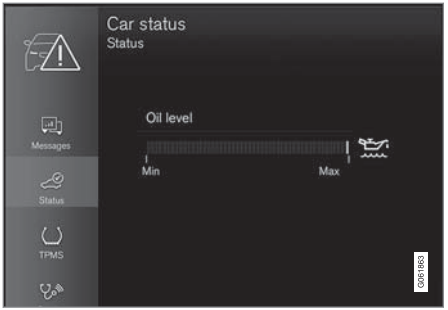
⚠ 警告

高温のエキゾーストパイプの上に、オイルをこぼさないでください。火災につながるおそれがあります。

センターディスプレイのオイルレベルを確認する

エンジンを始動すると、センターディスプレイの電子式オイルレベルゲージを使用してオイルレベルが表示されます。オイルレベルは定期的に点検する必要があります。

1. センターディスプレイのアプリビューで **車両の状態** アプリを開きます。
2. **ステータス** をタップして、オイルレベルを表示させます。



センターディスプレイのオイルレベル用グラフィック

[13] 電子式オイルレベルセンサー付きエンジンには、オイルレベルゲージがありません。

注意

オイルが補充または排出されても、システムは変化を直接検出することができません。オイルレベルが正しく表示されるためには、車両を約 30 km（約 20 miles）走行させ、その後、エンジン停止状態で水平な場所に 5 分間静止させておく必要があります。

注意

オイルレベルの適切な測定条件（エンジン停止からの経過時間、車両の傾き、外気温など）が満たされていないと、センターディスプレイにメッセージ **値の取得不可** が表示されます。これは車両のシステムに問題があることを示すものでは**ありません**。

関連情報

- エンジンオイル（p. 663）
- エンジンオイルに対して過酷な走行条件（p. 725）
- エンジンオイル – 仕様（p. 723）
- イグニッション位置（p. 480）
- 車両状態（p. 654）

クーラントの補充

クーラントは内燃エンジンを冷却して正しい動作温度を維持させます。エンジンからクーラントに伝わった熱は車内ヒーターに使用されることがあります。

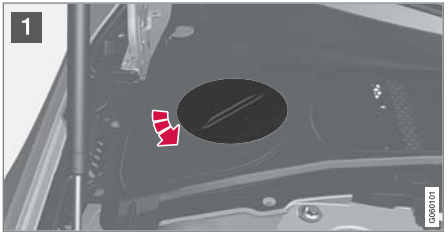
冷却水を補充するときは、容器に記載されている説明に従ってください。絶対に水だけを補充しないでください。冷却水の混合比が不適切な場合、凍結してエンジンが損傷するおそれがあります。

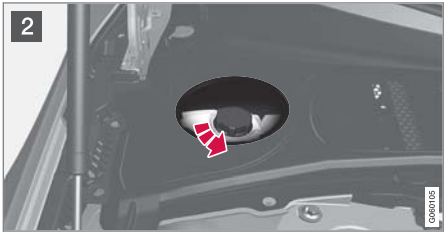
車両の下にクーラントが漏れている、クーラントの煙が発生している、または 2 L（約 2 クォート）以上のクーラントを補充した場合、かならず救援を要請してください。エンジンの始動を試みると、クーリングシステムの不具合が原因でエンジンが損傷するおそれがあります。

警告

クーラントは非常に高温になっているおそれがあります。クーラントが高温のときには、絶対にキャップを開けないでください。補充が必要な場合、エキスパンションタンクキャップをゆっくりまわして、過圧状態が解消されるまでお待ちください。

エキスパンションタンク（冷却水）、左ハンドル車

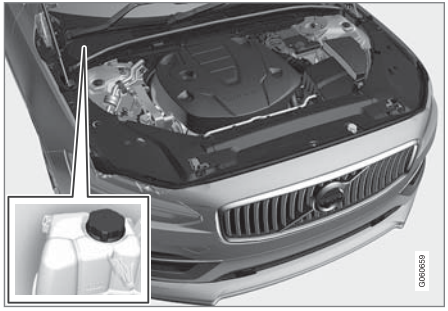




1 プラスチックカバーの中のキャップを回して外します。

2 エキスパンションタンクのキャップを回して外し、必要に応じてクーラントを補充します。クーラントレベルがエキスパンションタンク内の黄色の **MAX** マークを超えないようにしてください。

逆の手順で部品を元の位置に取り付けます。



エキスパンションタンク(冷却水)、右ハンドル車

1 ハッチのハンドルをつかみ、ハッチをプラスチックカバーから引き上げます。

2 エキスパンションタンクのキャップを回して外し、必要に応じてクーラントを補充します。クーラントレベルがエキスパンションタンク内の黄色の **MAX** マークを超えないようにしてください。

逆の手順で部品を元の位置に取り付けます。

重要

- 誤飲すると危険です。臓器(腎臓)に障害を引き起こすおそれがあります。
- ボルボ推奨の調合済みクーラントを使用してください。濃縮液を使用する場合は、かならず承認された品質のクーラント 50%に対し、水 50%の比率を守ってください。
- 異なるクーラントを混ぜないでください。
- クーリングシステムの主要部品を交換するときには、システムの防錆性を十分に確保するために、かならず新品のクーラントを使用してください。
- エンジンに、十分な量の冷却水が必要です。冷却が十分ではないと、温度が異常に上昇し、シリンダーヘッドに損傷(亀裂)が発生するおそれがあります。
- 塩素、塩化物、およびその他の塩類は、クーリングシステムにさびが発生する原因となります。

関連情報

- エンジンルームの概要 (p. 662)
- クーラント – 仕様 (p. 726)

ランプ交換

ハロゲンヘッドライト、後退灯およびリアフォグランプのバルブは、サービス工場のサポートを得ずに交換できます。

一部のモデルおよび市場には、ハロゲンヘッドライトが用意されていません。詳しくは、ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください。

LED[14] タイプのランプはサービス工場で交換する必要があります。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

注意

本項に記載されていないバルブに関する情報については、ボルボ・ディーラーまたはボルボ認定サービスメカニックにお問い合わせください。

ハロゲンヘッドライトのバルブは、サービス工場のサポートを得ずに交換できます。バルブを交換するには、事前にヘッドライトのプラスチックカバーを取り外す必要があります。

ランプでバルブ以外の不具合が発生した場合は、サービス工場 [15] にご連絡ください。LED[14] ランプに不具合が発生した場合、ランプユニット全体を交換する必要があります。

警告

バルブ交換時には、イグニッションをかならず **0** の位置にしてください。

重要

バルブのガラス部分は、絶対に触らないでください。指などで触れると、付いた脂がバルブ点灯中に熱で蒸発してリフレクターに付着し、リフレクターが劣化します。

注意

不具合のあるバルブを交換した後でも、エラーメッセージが消えない場合には、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

注意

ヘッドライトやリアランプなどのエクステリアランプでは、レンズの内側が一時的に曇る場合があります。これは異常ではありません。エクステリアランプは、このような曇りに耐えるように設計されています。ライトをしばらく点灯させると、曇りは自然に解消します。

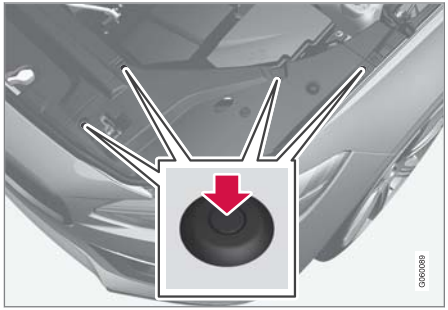
関連情報

- エクステリアランプの位置（p. 669）
- バルブ交換時のプラスチックカバーの取り外し（p. 669）
- ロービームランプ交換（p. 670）
- ハイビームランプ交換（p. 671）
- デイタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換（p. 672）
- フロント方向指示器ランプ交換（p. 673）
- 後退灯のバルブの交換（p. 673）
- リアフォグランプバルブの交換（p. 674）
- バルブ仕様（p. 675）

14 LED(Light Emitting Diode)
15 ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

バルブ交換時のプラスチックカバーの取り外し

ハロゲンヘッドライトのバルブは、サービス工場に依頼しなくても交換できますが、バルブを交換するには、事前にヘッドライトのプラスチックカバーを取り外す必要があります。



– スクリュードライバーなどを使用して、ピンをプラスチックカバーのクリップ 4 個に押し込み、カバーを取り外します。

注意

カバーを取り付けるときの留意点：

- カバーにクリップを取り付ける前に、クリップのピンを完全に押し戻す必要があります。
- カバーを取り付けたときに、ピンを押し込んで、ピンの端面をクリップの表面と同じ高さにする必要があります。

関連情報

- ランプ交換（p. 668）
- ロービームランプ交換（p. 670）
- ハイビームランプ交換（p. 671）
- デイタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換（p. 672）
- フロント方向指示器ランプ交換（p. 673）
- バルブ仕様（p. 675）

エクステリアランプの位置

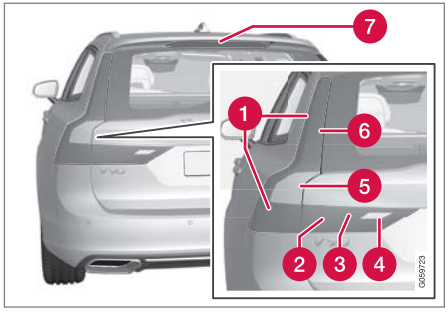
車両のエクステリアランプには、多くの異なるランプが使用されています。LED[16] タイプのランプはサービス工場で交換する必要があります。ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

ランプ、フロント（ハロゲンヘッドライト装備車）

1. ロービーム
2. ハイビーム
3. デイタイムランニングライト/ポジションランプ
4. 方向指示器
5. フロントフォグランプ/コーナリングライト*(LED)

16 LED (Light Emmitting Diode)

ランプ、リア



1. テールランプ(LED)
2. テールランプ(LED)
3. フォグランプ
4. 後退灯
5. 方向指示器 [17]
6. ブレーキランプ(LED)
7. ハイマウントブレーキランプ(LED)

関連情報

- ランプ交換（p. 668）
- バルブ仕様（p. 675）
- ライトスイッチ（p. 188）

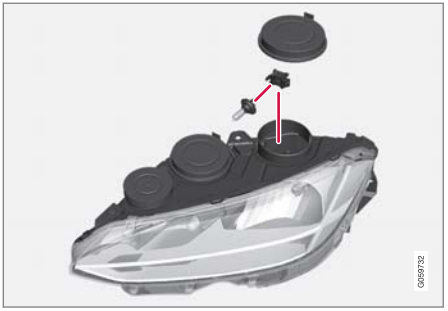
ロービームランプ交換

ハロゲンヘッドライトのロービーム用バルブは、サービス工場のサポートを得ずに交換できます。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトのプラスチックカバーを取り外す必要があります。

重要

バルブのガラス部分は、絶対に触らないでください。指などで触れると、付いた脂がバルブ点灯中に熱で蒸発してリフレクターに付着し、リフレクターが劣化します。



左側ヘッドライト

1. ヘッドライトのロービームバルブ用ラバーカバーを外します。
2. バルブからコネクターを取り外します。
3. バルブを上方向に軽く押し、まっすぐ引き出して外します。
4. 新しいバルブをソケットに取り付けます。バルブのガイドピンをまっすぐ上に向ける必要があります。
5. コネクターを押し込みます。
6. ヘッドライトのラバーカバーを取り付けます。

[17] 交換については、ボルボ指定のサービス工場にご連絡ください。

関連情報

- エクステリアランプの位置（p. 669）
- バルブ交換時のプラスチックカバーの取り外し（p. 669）
- バルブ仕様（p. 675）

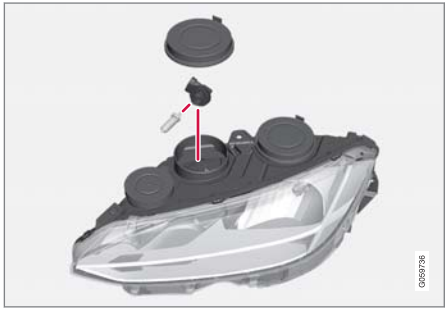
ハイビームランプ交換

ハロゲンヘッドライトのハイビームバルブは、サービス工場のサポートを得ずに交換できます。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトのプラスチックカバーを取り外す必要があります。

重要

バルブのガラス部分は、絶対に触らないでください。指などで触れると、付いた脂がバルブ点灯中に熱で蒸発してリフレクターに付着し、リフレクターが劣化します。



左側ヘッドライト

1. ヘッドライトのハイビームバルブ用ラバーカバーを外します。
2. バルブホルダーを上方向に向け、まっすぐ引き出してバルブを外します。
3. コネクターのロックラグ部分でプラスチックカバーを慎重に押し開いて、ロックラグを解除します。
4. バルブからコネクターを取り外します。
5. バルブを交換します。
6. バルブをソケットに取り付けて、ねじ込みます。
7. ヘッドライトのラバーカバーを取り付けます。

関連情報

- エクステリアランプの位置（p. 669）
- バルブ交換時のプラスチックカバーの取り外し（p. 669）
- バルブ仕様（p. 675）

デイタイムランニングライト/ポジションランプのランプ交換

ハロゲンヘッドライトのデイタイムランニングライト用バルブ/ポジションランプ用バルブは、サービス工場のサポートを得ずに交換できます。

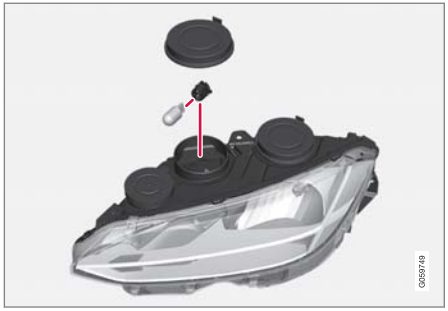
バルブを交換するには、事前にヘッドライトのプラスチックカバーを取り外す必要があります。

注意

ハイビームバルブを外した方が、デイタイムランニングライト/ポジションランプのバルブの作業がしやすくなります。ハイビームバルブはデイタイムランニングライトバルブ/ポジションランプバルブの斜め上に取り付けられています。ハイビームバルブは、バルブホルダーを上方向に回し、まっすぐ引き出して外してください。

重要

バルブのガラス部分は、絶対に触らないでください。指などで触れると、付いた脂がバルブ点灯中に熱で蒸発してリフレクターに付着し、リフレクターが劣化します。



左側ヘッドライト

1. ヘッドライトのデイタイムランニングライトバルブ/ポジションランプバルブ用ラバーカバーを外します。
2. デイタイムランニングライトバルブ/ポジションランプバルブ用バルブホルダーをまっすぐ引き出します。
3. バルブをまっすぐ引き出して外します。
4. バルブを交換します。
5. バルブホルダーをソケットに取り付けて、所定の位置に押し込みます。
6. ハイビームバルブのバルブホルダーが取り外されている場合、そのバルブをソケットに取り付けてねじ込みます。
7. ヘッドライトのラバーカバーを取り付けます。

関連情報

- エクステリアランプの位置（p. 669）
- バルブ交換時のプラスチックカバーの取り外し（p. 669）
- バルブ仕様（p. 675）
- ハイビームランプ交換（p. 671）

フロント方向指示器ランプ交換

ハロゲンヘッドライトの方向指示器バルブは、サービス工場のサポートを得ずに交換できます。

バルブを交換するには、事前にヘッドライトのプラスチックカバーを取り外す必要があります。

左側ヘッドライト

1. ヘッドライトの方向指示器バルブ用ラバーカバーを外します。
2. キャッチを同時に押して、バルブホルダーをまっすぐに引き出します。
3. 新品のバルブホルダー(バルブ付き)に交換します。
4. バルブホルダーをソケットに取り付けて、所定の位置に押し込みます。
5. ヘッドライトのラバーカバーを取り付けます。

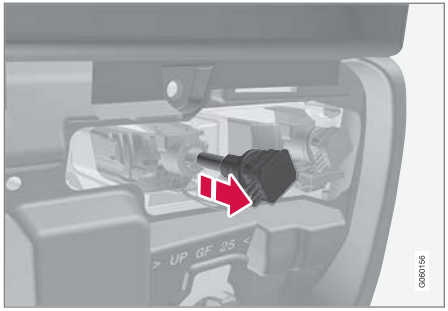
関連情報

- エクステリアランプの位置（p. 669）
- バルブ交換時のプラスチックカバーの取り外し（p. 669）
- バルブ仕様（p. 675）

後退灯のバルブの交換

後退灯のバルブはテールゲートのパネルの裏側にあります。

1. 最初にテールゲート内側のパネルにあるノブ 2 個を反時計回りに 1/4 回転回し、次にパネルのフックを外してパネルを取り外します。パネルを脇に置きます。



左側のランプハウジング

2. バルブホルダーを反時計回りに回して引き出します。
3. 切れたバルブを押し込んで反時計回りに回し、取り外します。
4. 新しいバルブを押し込み、時計回りに回して取り付けます。
5. バルブホルダーを時計回りに回して、取り付けます。
6. パネルをフックで引っかけ、ノブを時計回りに 1/4 回転回します。

関連情報

- エクステリアランプの位置（p. 669）
- バルブ交換時のプラスチックカバーの取り外し（p. 669）
- バルブ仕様（p. 675）

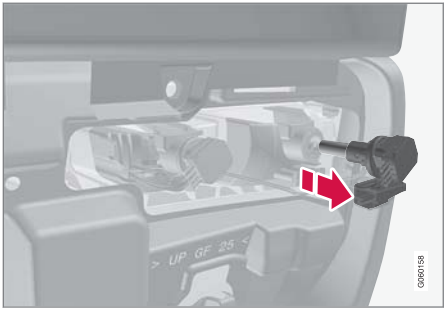
リアフォグランプバルブの交換

リアフォグランプのバルブは運転席側のテールゲートパネルのハッチの奥にあります。

リアフォグランプバルブは以下の手順に従って交換します。

テールゲートのインナーパネル

1. テールゲートの内側のパネルを外すには、最初に 2 つのノブを反時計回りに 1/4 回転回します。次にパネルのフックを外して、パネルを脇に置きます。



左側のランプハウジング

2. バルブホルダーを反時計回りに 1/4 回して引き出します。
3. 切れたバルブを押し込んで反時計回りに回し、バルブホルダーから取り外します。
4. 新しいバルブを押し込み、時計回りに回して取り付けます。
5. バルブのレンズから汚れ、グリース、水分などを拭き取ります。
6. バルブホルダーを時計回りに 1/4 回して取り付けます。
7. パネルを元通りに取り付け、ノブを時計回りに 1/4 回してロックします。

関連情報

- エクステリアランプの位置（p. 669）
- バルブ仕様（p. 675）

バルブ仕様

この仕様は、ハロゲンヘッドライトのバルブと後退灯のバルブおよびリアフォグランプのバルブに関するものです。

その他のランプで不具合が発生した場合は、サービス工場[18]にご連絡ください。

機能	W[A]	タイプ
ロービーム	55	H7
ハイビーム	65	H9
フロント方向指示器	24	PY24W
デイタイムランニングライト/ポジションランプ	21/5	W21/5W
後退灯	21	H21W LL
リアフォグランプ	21	H21W LL

A ワット

関連情報

- エクステリアランプの位置（p. 669）
- ランプ交換（p. 668）

18 ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

バッテリー

電気系統は単極で、シャシおよびエンジンをアースとして使用します。

メインバッテリーは、電気系統の始動およびスターターモーターやその他の電気装置の駆動に使用されます。

メインバッテリーはサービス工場[19]で交換する必要があります。

車両には、電圧安定化オルタネーターが装備されています。

メインバッテリーは、二酸化炭素削減機能 Start/Stop および回生充電向けに設計された 12V バッテリーで、車両のさまざまなシステムの機能に対応しています。

メインバッテリーの耐用年数および性能は、エンジンの始動回数、車両の使用状況、運転方法、および天候など、いろいろな要素に影響されます。

- エンジン作動中は、絶対にメインバッテリーの接続を外さないでください。
- メインバッテリーの配線が正しく、確実に接続されているか確認してください。

⚠ 警告

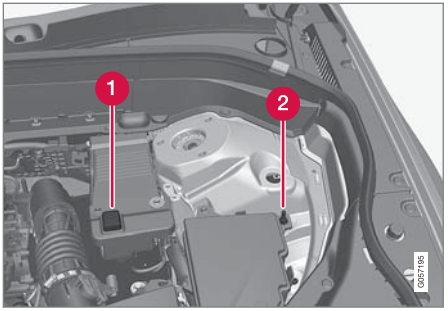
- バッテリーからは、非常に引火性の高い、酸素と水素の混合ガスが発生します。ジャンパーケーブルを正しく接続しないと、火花が発生し、バッテリーが爆発するおそれがあります。
- フューエルシステムコンポーネントまたは可動部にはジャンパーケーブルを接続しないでください。高温のエンジンパーツに注意してください。
- バッテリー液には、腐食性の強い希硫酸が使用されており、触れると重度のヤケドを負うおそれがあります。
- 電解液が目、皮膚または衣服に付着した場合は、ただちに大量の水で洗い流してください。目に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- バッテリーの近くでは絶対に喫煙しないでください。

チャージングポイント

外部のメインバッテリーまたはバッテリーチャージャーを接続する場合は、エンジンルーム内の車両のチャージングポイントを使用してください。

トランクルーム/カーゴスペースにある車両のメインバッテリーのバッテリー端子を使用しては**いけません**。

充電時には、メインバッテリーと補助バッテリーの両方が充電されます。



1 プラスチャージングポイント

2 マイナスチャージングポイント

重要

メインバッテリーおよび補助バッテリーを充電する場合、かならず充電電圧制御機能付きの最新バッテリーチャージャーを使用してください。高速充電機能は使用しないでください。バッテリーが損傷するおそれがあります。

19 ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

重要

以下の指示に従わないと、外付けバッテリーやバッテリーチャージャーを接続した後、インフォテイメントの節電機能が一時的に解除される場合や、メインバッテリーの充電状態に関して誤ったメッセージが一時的にドライバーディスプレイに表示される場合があります。

- 外付けバッテリーまたはバッテリーチャージャーを接続する際、車両のメインバッテリーのマイナス端子は**絶対に使用しないでください**。**車両のマイナスチャージングポイント**のみがアースポイントとして使用できます。

注意

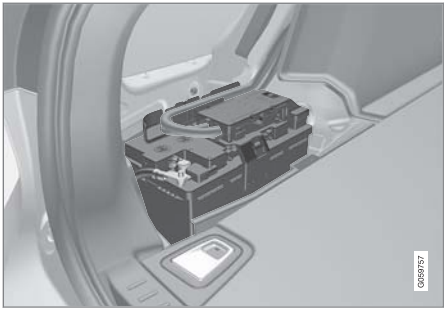
放電/充電を頻繁に繰り返すと、バッテリーの耐用年数が短くなります。

バッテリーの寿命は走行状況や気候などさまざまな要因の影響を受けます。バッテリーの始動能力は時間が経つにつれて徐々に低下しますので、長時間使用しなかった場合や、短距離の運転を繰り返した場合には、充電が必要になります。極端に気温が低い場合にも始動能力が低下します。

バッテリーを良好な状態に保つために、車両を毎週少なくとも 15 分程度運転するか、自動トリクル充電機能の付いたバッテリー充電器を接続しておくことをお薦めします。

バッテリーはつねにフルに充電された状態にしておくと、耐用年数をもっとも長くすることができます。

位置



メインバッテリーはカーゴスペースにあります。

警告

メインバッテリーの接続を外した場合、自動開閉機能を正しく作動させるためにはリセットが必要です。ピンチプロテクションが作動するためにはリセットすることが必要です。

重要

一部のモデルでは、バッテリーはリテーニングストラップで固定されています。リテーニングストラップがしっかりと締められていることを確認してください。

メインバッテリーの仕様

バッテリータイプ	H7 AGM	H8 AGM
電圧(V)	12	12
冷寒始動電流(コールドスタートキャパシティ)[A] – CCA[B] (A)	800	850
サイズ、L×B×H	315×175×190 mm (12.4×6.9×7.5 インチ)	353×175×190 mm (13.9×6.9×7.5 インチ)
容量(Ah)	80	95

[A] EN 規格準拠
[B] Cold Cranking Amperes.

バッテリーの交換は、ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

重要

バッテリーを交換する場合は、既存のバッテリーとサイズ、冷間始動性能およびタイプ(バッテリーのラベル参照)が同じバッテリーと交換してください。

関連情報

- バッテリーに表示されているシンボル (p. 680)
- 補助バッテリー (p. 679)
- 別のバッテリーによるジャンプスタート (p. 527)

補助バッテリー

Start/Stop 機能を装備した車両には、メインバッテリーと補助バッテリーが備えられています。

Start/Stop 機能を装備した車両には、12V バッテリーが 2 個装着されています。始動時用の非常にパワフルなメインバッテリーと、Start/Stop 機能の始動手順を補助する補助バッテリーの 2 つです。

補助バッテリーはストラットタワーの横のボックス内にあります。

注意

- 車両の電流消費量が多いほど、オルタネーターの作動量が増し、さらにバッテリーの充電量を増やす必要があるため、燃料消費量の増加につながります。
- バッテリー容量が許容最低レベルを下回ると、Start/Stop 機能が解除されます。

電流消費量が多いために一時的に Start/Stop 機能が低下した場合には：

- 運転者がクラッチペダルを踏み込まなくてもエンジンがオートスタート[20] します(マニュアルトランスミッション)。
- 運転者がブレーキペダルから足を離さなくても、エンジンがオートスタートします(オートマチックトランスミッション)。

補助バッテリーは通常、始動時に使用するメインバッテリーより頻繁に点検が必要になることはありません。ご質問や不具合があれば、サービス工場にご連絡ください。ボルボ指定のサービス工場をお薦めします。

重要

以下の指示に従わない場合には、外付けバッテリーやバッテリーチャージャーを接続した後、Start/Stop 機能が一時的に機能しなくなることがあります。

- 外付けバッテリーまたはバッテリーチャージャーを接続する際、車両のメインバッテリーのマイナス端子は**絶対に使用しないでください**。**車両のマイナスチャージングポイント**のみがアースポイントとして使用できます。

[20] オートスタートは、セレクターレバーがニュートラル位置にあるときにしか実施されません。

注意

車両の通常の電気機能が使用できないほどメインバッテリーが放電してしまい、外付けバッテリーまたはバッテリーチャージャーを使用してエンジンをジャンプスタートした場合でも、Start/Stop 機能は作動し続けることがあります。その後間もなくStart/Stop 機能がエンジンをオートストップさせた場合、バッテリーの充電時間を確保できなかったためにバッテリー容量が不足し、エンジンオートスタートが機能しないおそれがあります。

車両をジャンプスタートした場合、またはバッテリーチャージャーでバッテリーを充電する時間が十分にない場合、車両によるバッテリーの充電が完了するまでStart/Stop 機能を一時的に無効にしておくことをお薦めします。外気温が約+15 ℃(約 60 °F)の場合、車両でバッテリーを少なくとも 1 時間充電する必要があります。外気温がさらに低い場合、3～4 時間の充電時間が必要になることがあります。バッテリーの充電には、外付けバッテリーチャージャーの使用をお薦めします。

補助バッテリーの仕様

電圧(V)	12
冷寒始動電流(コールドスタートキャパシティ)[A] - CCA[B] (A)	170
サイズ、L×B×H	150×90×130 mm (5.9×3.5×5.1 インチ)
容量(Ah)	10

A EN 規格準拠
B Cold Cranking Amperes.

重要

バッテリーを交換する場合は、既存のバッテリーとサイズ、冷間始動性能およびタイプ(バッテリーのラベル参照)が同じバッテリーと交換してください。

関連情報

- バッテリー (p. 676)
- Start/Stop 機能 (p. 504)
- バッテリーに表示されているシンボル (p. 680)

バッテリーに表示されているシンボル

バッテリーには重要な情報と警告シンボルが表示されています。

	安全ゴーグルを着用してください。
	詳しくは、車両のオーナーズマニュアルを参照してください。
	お子様の手の届かない場所に保管してください。
	腐食性の強い希硫酸が入っています。

	火花、火気禁止。
	爆発の危険。
	リサイクルに出す必要があります。

注意

バッテリーには鉛が含まれているため、使用済みのメインバッテリーや補助バッテリーは、環境に配慮した適切な方法でリサイクル処理してください。

関連情報

- バッテリー（p. 676）
- 補助バッテリー（p. 679）

ヒューズおよびセントラルエレクトリカルユニット

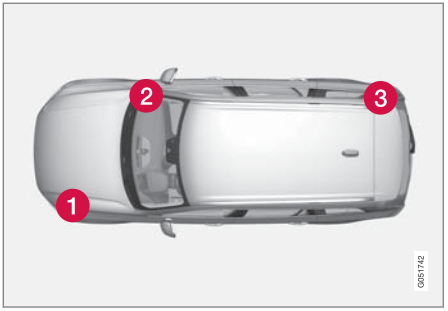
車両の電装品は、多くのヒューズによりショートや過負荷から保護されています。

警告

ヒューズを交換する際、絶対に異なるヒューズまたは高アンペアのヒューズを使用しないでください。高アンペアのヒューズを使用すると、過大な電流が流れてもヒューズが切れず、配線を損傷させて発火し、火災を起こしたり、電装品を損傷させるおそれがあります。

電装品または電気機能が作動しない場合、電気回路に一時的に過剰な負荷がかかったため、ヒューズが切れたおそれがあります。同じ箇所のヒューズが繰返し切れる場合は、該当するヒューズの電気系統が故障しているおそれがあります。ボルボ指定のサービス工場に点検を依頼することをお薦めします。

セントラルエレクトリカルユニットの場所



図は概略図です。外観は車両モデルにより異なる場合があります。

左ハンドル車のセントラルエレクトリカルユニットの場所。右ハンドル車の場合、グローブボックス下のセントラルエレクトリカルユニットは左右逆になります。

1. エンジンルーム
2. グローブボックス下
3. トランクルーム/カーゴスペース

関連情報

- ヒューズの交換（p. 682）
- ヒューズ – カーゴスペース内（p. 690）

- ヒューズ – エンジンルーム内（p. 683）
- ヒューズ – グローブボックス下（p. 687）

ヒューズの交換

車両の電装品は、多くのヒューズによりショートや過負荷から保護されています。

1. ヒューズ表を参照して、該当するヒューズを探します。
2. ヒューズを取り外して、中央の曲がったワイヤーが焼き切れているか、側面から見て点検します。
3. 切れていたら、かならず同じ色、同じアンペアのヒューズと交換します。

⚠ 警告

ヒューズを交換する際、絶対に異なるヒューズまたは高アンペアのヒューズを使用しないでください。高アンペアのヒューズを使用すると、過大な電流が流れてもヒューズが切れず、配線を損傷させて発火し、火災を起こしたり、電装品を損傷させるおそれがあります。

⚠ 警告

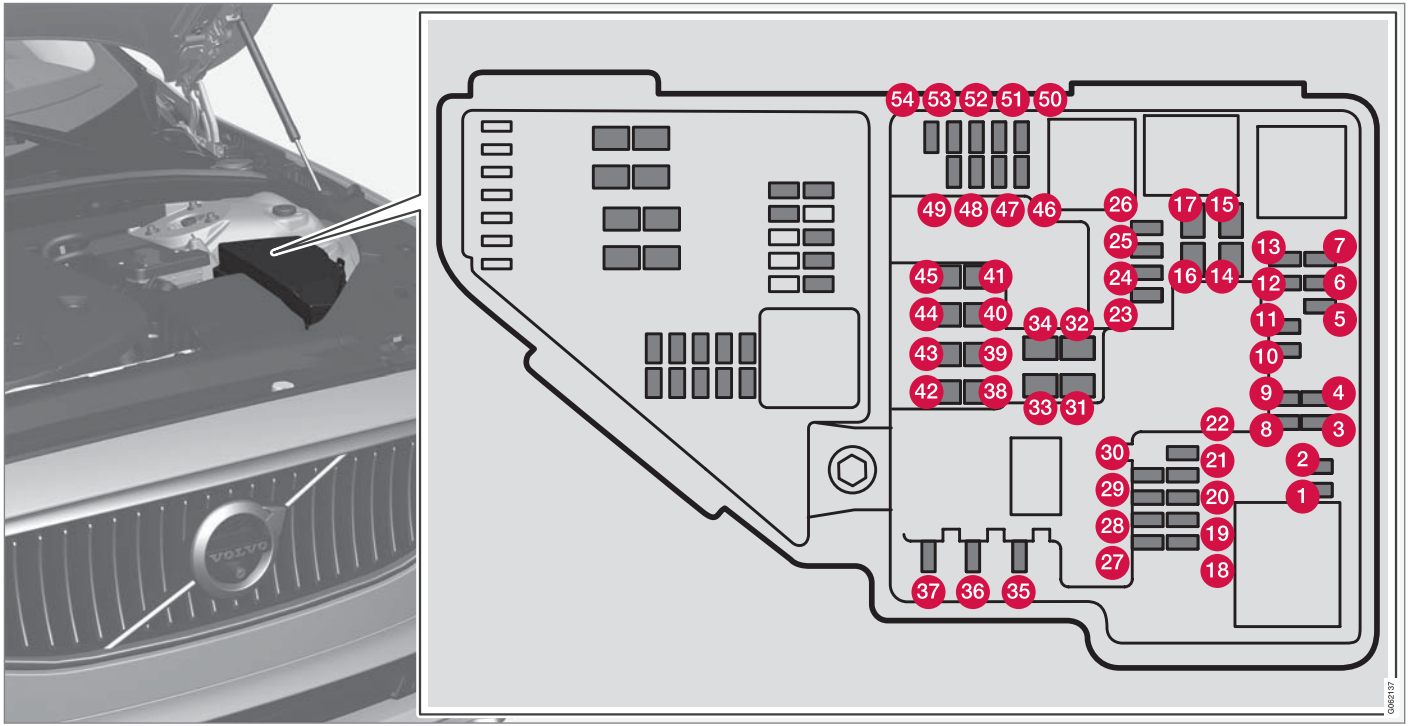
オーナーズマニュアルに記載されていないヒューズについては、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。この作業を正しく行わないと、電気系統に重大な損傷を引き起こすおそれがあります。

関連情報

- ヒューズおよびセントラルエレクトリカルユニット（p. 681）
- ヒューズ – カーゴスペース内（p. 690）
- ヒューズ – エンジンルーム内（p. 683）
- ヒューズ – グローブボックス下（p. 687）

ヒューズ – エンジンルーム内

エンジンルーム内のヒューズは、主にエンジンとブレーキシステムを保護します。



◀◀ カバーの内側に、ヒューズを交換するときに使用するヒューズプライヤーがあります。

このヒューズボックスには、スペアヒューズを保管するスペースもあります。

位置

カバーの内側に、各ヒューズの位置を示すラベルがあります。

- 1～13、18～30、35～37 および 46～54 のヒューズは「Micro」タイプです。
- 14～17、31～34 および 38～45 のヒューズは、「MCase」タイプです。交換は、かならずサービス工場[21]にご依頼ください。

	機能	アンペア
❶	–	–
❷	–	–
❸	–	–
❹	イグニッションコイル(ガソリン)、スパークプラグ(ガソリン)	15
❺	エンジンオイルポンプ用ソレノイド、A/C クラッチソレノイド、センターラムダソンド(ガソリン)、リアラムダソンド(ディーゼル)	15
❻	バキュームレギュレーター、バルブ、出力パルス用バルブ(ディーゼル)	7.5
❼	エンジンコントロールモジュール、アクチュエーター、ガススロットルユニット、EGR バルブ(ディーゼル)、ターボポジションセンサー(ディーゼル)、ターボチャージャーバルブ(ガソリン)	20
❽	エンジンコントロールモジュール(ECM)	5
❾	–	–
❿	ソレノイド(ガソリン)、バルブ、エンジンクーリングシステム用サーモスタット(ガソリン)、EGR クーリングポンプ(ディーゼル)、グローコントロールモジュール(ディーゼル)	10
⓫	スポイラーローラーカバーコントロールモジュール、ラジエーターローラーカバーコントロールモジュール、出力パルス用リレーコイル(ディーゼル)	5
⓬	–	–
⓭	エンジンコントロールモジュール(ECM)	20
⓮	スターターモーター	40
⓯	スターターモーター	ショート

[21] ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

	機能	アンペア
16	車両用ガスコントロールモジュール*A フューエルフィルターヒーター(ディーゼル)	15*A 30
17	–	–
18	–	–
19	–	–
20	–	–
21	–	–
22	–	–
23	–	–
24	トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(フロント)	15
25	トンネルコンソールの 12V 電源ソケット(2 列目シート用レッグルーム付近)	15
26	トランクルーム/カーゴスペースの 12V 電源ソケット*	15
27	–	–

	機能	アンペア
28	左ヘッドライト、一部のタイプの LEDB	15
29	右ヘッドライト、一部のタイプの LEDB	15
30	–	–
31	ヒーテッドウインドスクリーン*、左側	ショート
32	ヒーテッドウインドスクリーン*、左側	40
33	ヘッドライトウォッシャー*	25
34	ウインドスクリーンウォッシャー	25
35	トランスミッションコントロールモジュール	15
36	ホーン	20
37	サイレン*	5
38	ブレーキシステムコントロールモジュール(バルブ、パーキングブレーキ)	40
39	ウインドスクリーンワイパー	30

	機能	アンペア
40	リアウインドウォッシャー	25
41	ヒーテッドウインドスクリーン*、右側	40
42	パーキングヒーター*	20
43	ブレーキシステムコントロールボックス(ABS ポンプ)	40
44	–	–
45	ヒーテッドウインドスクリーン*、右側	ショート
46	イグニッション ON 時に供給:エンジンコントロールモジュール、トランスミッションコンポーネント、エレクトリックステアリングサーボ、セントラルエレクトロニックモジュール、ブレーキシステム用コントロールモジュール	5
47	–	–
48	右側ヘッドライト	7.5
	右ヘッドライト、一部のタイプの LEDB	15

	機能	アンペア
49	アルコールロック	5
50	-	-
51	バッテリー作動制御用ユニット	5
52	エアバッグ	5
53	左側ヘッドライト	7.5
	左ヘッドライト、一部のタイプの LED[B]	15
54	アクセルペダルセンサー	5

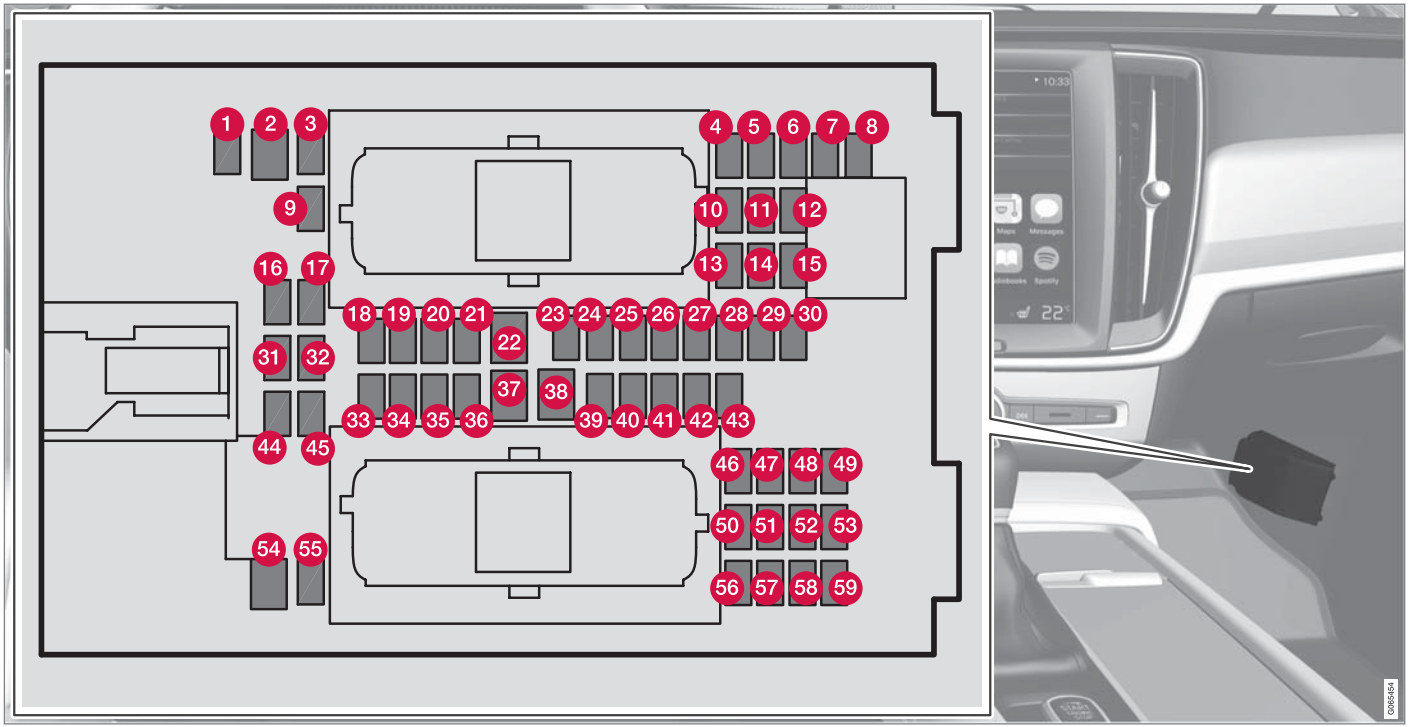
A バイフューエルモデル車両に適用。
B LED（発光ダイオード）

関連情報

- ヒューズおよびセントラルエレクトリカルユニット（p. 681）
- ヒューズの交換（p. 682）

ヒューズ – グローブボックス下

グローブボックス下のヒューズは、電源ソケット、ディスプレイ、ドアモジュールなどを保護します。



カバーの内側に、ヒューズを交換するときに使用するヒューズプライヤーがあります。

エンジンルーム内のヒューズボックスには、スペアヒューズを保管するスペースもあります。

位置

- 1、3～21、23～36、39～53 および 55～59 のヒューズは「Micro」タイプです。
- 2、22、37～38 および 54 のヒューズは、「MCase」タイプです。交換は、かならずサービス工場 [22] にご依頼ください。

	機能	アンペア
1	–	–
2	トンネルコンソールの電源ソケット(リアシート用レッグルーム付近)*	30
3	–	–
4	ムーブメントセンサー*	5
5	メディアプレーヤー	5
6	ドライバーディスプレイ	5
7	センターコンソールのキーパッド	5
8	ソーラーセンサー	5
9	センサスコントロールモジュール	20
10	–	–
11	ステアリングホイールモジュール	5
12	スタートノブおよびパーキングブレーキコントロール用モジュール	5
13	ステアリングホイールヒーター用ステアリングホイールモジュール*	15
14	–	–
15	–	–
16	–	–
17	–	–
18	エアコンディショナーシステム用コントロールモジュール	10
19	ステアリングホイールロック	7.5
20	診断ソケット OBDII	10
21	センターディスプレイ	5
22	エアコンディショナーシステム用ファンモジュール(フロント)	40
23	USB ハブ	5
24	コントロールライト、ルームランプ、ルームミラー防眩機能*、レインおよびライトセンサー*、トンネルコンソールのキーパッド(リアシートのレッグルーム付近)*、フロントパワーシート*、リアドアのコントロールパネル、エアコンディショナー左/右用ファンモジュール	7.5
25	運転者サポート機能用コントロールモジュール	5
26	サンブラインド付きパノラマルーフ*	20
27	ヘッドアップディスプレイ*	5
28	ルームランプ	5

22 ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

* オプション/アクセサリー。

	機能	アンペア
29	–	–
30	ルーフコンソールのディスプレイ(助手席のエアバッグ表示灯/シートベルトリマインダー)	5
31	–	–
32	湿度センサー	5
33	右リアドアのドアモジュール	20
34	トランクルーム/カーゴスペース内のヒューズ	10
35	オンライン車両用コントロールモジュール、Volvo On Call 用コントロールモジュール	5
36	左リアドアのドアモジュール	20
37	オーディオコントロールモジュール(アンプ) (一部のモデル)	40
38	–	–
39	マルチバンドアンテナ用モジュール	5
40	シートコンフォート(マッサージ)用モジュール(フロント)*	5

	機能	アンペア
41	アルコールロック	5
42	リアウインドワイパー	15
43	フューエルポンプ用コントロールモジュール	15
44	–	–
45	–	–
46	運転席シートヒーター	15
47	助手席シートヒーター	15
48	クーラントポンプ	10
49	–	–
50	左側フロントドアのドアモジュール	20
51	サスペンション(アクティブシャシ)用コントロールモジュール*	20
52	–	–
53	センサスコントロールモジュール	10
54	–	–

	機能	アンペア
55	–	–
56	右側フロントドアのドアモジュール	20
57	–	–
58	テレビ*(一部市場)	5
59	ヒューズ 9、53 および 58 用のプライマリーヒューズ	15

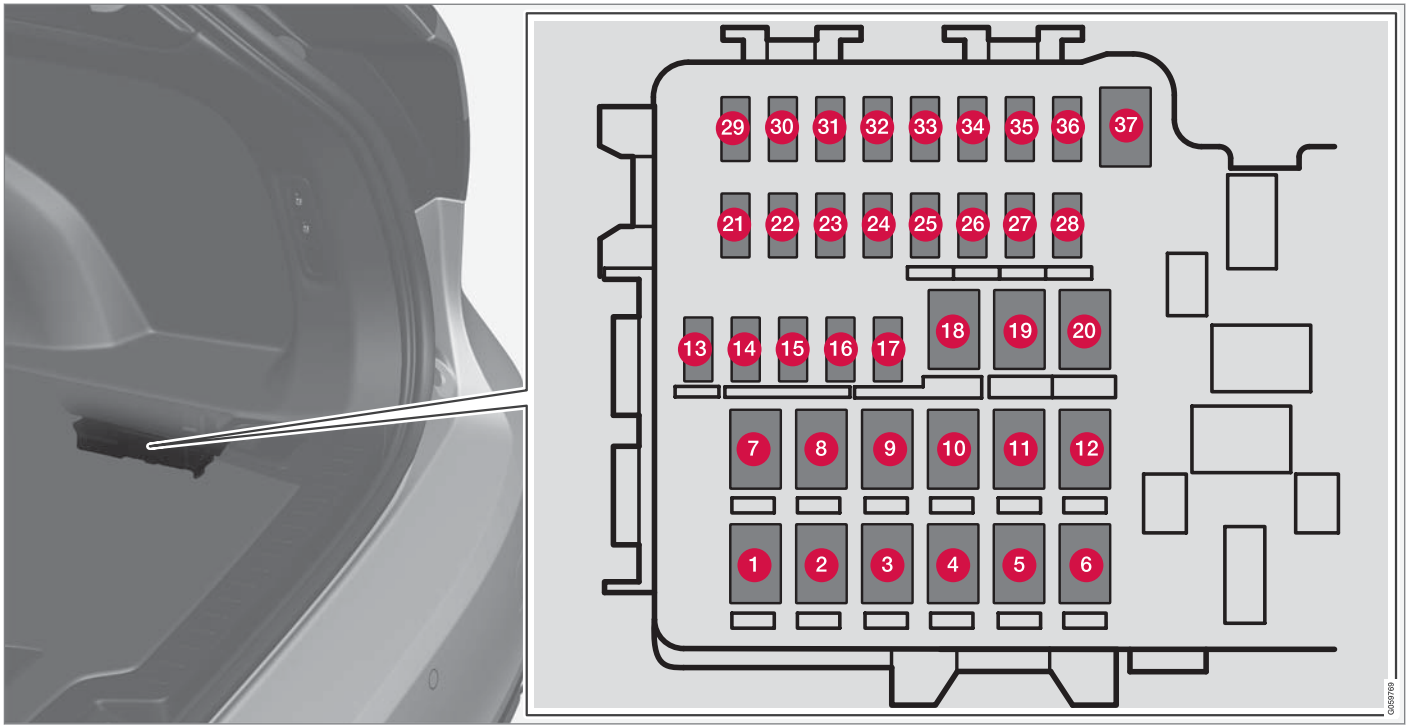
関連情報

- ヒューズおよびセントラルエレクトリカルユニット (p. 681)
- ヒューズの交換 (p. 682)

ヒューズ – カーゴスペース内

カーゴスペース内のヒューズは、特にパワーシート*、エアバッグおよびシートベルトテンショナーを保護します。

* オプション/アクセサリー。



セントラルエレクトリカルユニットは右側に配置されています。

カバーの内側に、ヒューズを交換するときに使用するヒューズプライヤーがあります。

エンジンルーム内のヒューズボックスには、スペアヒューズを保管するスペースもあります。

位置

- 13～17 および 21～36 のヒューズは「Micro」タイプです。
- 1～12、18～20 および 37 のヒューズは、「MCase」タイプです。交換は、かならずサービス工場 [23] にご依頼ください。

	機能	アンペア
1	リアウインドデフロスター	30
2	–	–
3	エアサスペンション用コンプレッサー*	40
4	バックレスト用ロックモーター(右リア)	15
5	–	
6	バックレスト用ロックモーター(左リア)	
7	–	–
8	亜酸化窒素低減用コントロールモジュール(ディーゼル)	30
9	パワーテールゲート*	25
10	助手席パワーシート*	20
11	トウバーコントロールモジュール*	40
12	シートベルトプリテンショナーモジュール、右側	40
13	内部リレーコイル	5
14	亜酸化窒素低減用コントロールモジュール(ディーゼル)	15
15	足動作検知用モジュール*(パワーテールゲート操作用)	5
16	アルコールロック、USB ハブ/アクセサリーポート	5
17	–	–
18	トウバーコントロールモジュール*	25
	アクセサリーモジュール	40
19	運転席パワーシート*	20
20	シートベルトプリテンショナーモジュール、左側	40
21	パーキングカメラ*	5
22	–	–
23	Dedicated Short Range Communications (DSRC)用コントロールモジュール	5
24	–	–
25	–	–
26	エアバッグおよびシートベルトテンショナー用コントロールモジュール	5
27	–	–
28	シートヒーター(左リア)*	15
29	–	–

[23] ボルボ指定のサービス工場にご用命ください。

	機能	アンペア
30	Blind Spot Information (BLIS)*：コントロールモジュール、外部後退音	5
31	-	-
32	シートベルトプリテンショナーモジュール	5
33	排気ガス用アクチュエーター(ガソリン、特定のエンジンタイプ)	5
34	-	-
35	All Wheel Drive (AWD)コントロールモジュール*	15
36	シートヒーター(右リア)*	15
37	-	-

関連情報

- ヒューズおよびセントラルエレクトリカルユニット (p. 681)
- ヒューズの交換 (p. 682)

内装の清掃

ボルボ社が推奨するクリーナーおよびカーケア製品のみを使用して定期的に清掃してください。汚れがついた場合はすぐに対処することが重要です。洗浄剤を使用する前に、掃除機をかけてください。

重要

- 濃い色のジーンズやスウェードなど、衣類の素材によっては、色落ちして内装を変色させるおそれがありますのでご注意ください。内装が変色した場合、すみやかに内装の汚れた箇所を清掃して、適切に対処することが重要です。
- 車内の清掃には、強力な溶剤(ウォッシャー液、ガソリン、ホワイトガソリン、濃縮アルコールなど)を絶対に使用しないでください。内装やその他のインテリア用品を損傷するおそれがあります。
- 電気を扱うボタンおよびコントロールのあるコンポーネントには、絶対に洗浄剤を直接吹き付けないでください。代わりに、洗浄剤で湿らせた布を使用して、コンポーネントを拭いてください。
- 清掃時に尖った物やマジックテープなどを使用しないでください。内装布地に損傷を与えるおそれがあります。

関連情報

- センターディスプレイの清掃（p. 694）
- 布地内装およびヘッドライニングの清掃（p. 696）
- シートベルトの清掃（p. 696）
- フロアマットの清掃（p. 696）
- レザー製内装の清掃（p. 697）
- レザーステアリングホイールの清掃（p. 698）
- プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツの清掃（p. 698）

センターディスプレイの清掃

汚れ、シミおよび皮脂はセンターディスプレイの動作や読みやすさに影響をおよぼす可能性があります。マイクロファイバークロスを使用して、画面をこまめに清掃してください。

センターディスプレイの清掃方法：

1. ホームボタンを長押しして、センターディスプレイをオフにします。
2. 付属のマイクロファイバークロス(同等の品質なら別のマイクロファイバークロスも可)を使用して、画面を拭きます。画面は、乾燥したきれいなマイクロファイバークロスで小さい円を描くようにして拭く必要があります。必要であれば、マイクロファイバークロスをきれいな水で軽く湿らせます。
3. ホームボタンを短く押して、ディスプレイをオンにします。

重要

センターディスプレイの清掃には、砂や汚れの付着していないマイクロファイバークロスを使用してください。

重要

センターディスプレイを清掃する場合、画面を強く押さないように注意してください。強く押すと、画面が損傷するおそれがあります。

重要

センターディスプレイには液体または腐食性の化学薬品を直接スプレーしないでください。ウインドクリーナー、その他の洗浄剤、エアゾールスプレー、溶剤、アルコール、アンモニア、または研磨剤入りの洗浄剤は使用しないでください。

研磨布、ペーパータオルまたはティッシュペーパーは絶対に使用しないでください。センターディスプレイに傷がつくおそれがあります。

関連情報

- 内装の清掃（p. 694）
- 布地内装およびヘッドライニングの清掃（p. 696）
- シートベルトの清掃（p. 696）
- フロアマットの清掃（p. 696）
- レザー製内装の清掃（p. 697）
- レザーステアリングホイールの清掃（p. 698）
- プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツの清掃（p. 698）

ヘッドアップディスプレイ*の清掃

乾いたきれいなマイクロファイバークロスを使用して、ディスプレイのカバーガラスをやさしく拭いてください。必要に応じて、マイクロファイバークロスを軽く湿らせてください。

強いシミ抜き溶剤は、絶対に使用しないでください。取れにくい汚れには、ボルボ純正専用クリーナー（ボルボ指定のディーラーでお買い求めいただけます）のご使用を推奨しています。

関連情報

- ヘッドアップディスプレイ*のオン/オフ（p. 181）
- ヘッドアップディスプレイ*（p. 179）

布地内装およびヘッドライニングの清掃

ボルボ社が推奨するクリーナーおよびカーケア製品のみを使用して定期的に清掃してください。汚れがついた場合はすぐに対処することが重要です。洗浄剤を使用する前に、掃除機をかけてください。

布地内装および天井内装

内装を傷つけるおそれがあるため、シミは絶対にこすらないでください。内装が変色するおそれがあるため、強力なシミ抜きは絶対に使用しないでください。

関連情報

- 内装の清掃（p. 694）
- センターディスプレイの清掃（p. 694）
- シートベルトの清掃（p. 696）
- フロアマットの清掃（p. 696）
- レザー製内装の清掃（p. 697）
- レザーステアリングホイールの清掃（p. 698）
- プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツの清掃（p. 698）

シートベルトの清掃

ボルボ社が推奨するクリーナーおよびカーケア製品のみを使用して定期的に清掃してください。汚れがついた場合はすぐに対処することが重要です。洗浄剤を使用する前に、掃除機をかけてください。

シートベルト

水および中性洗剤を使用してください。ボルボ純正テキスタイル専用クリーナーはボルボ・ディーラーでお買い求めいただけます。シートベルトは、完全に乾かしてから巻き戻してください。

関連情報

- 内装の清掃（p. 694）
- センターディスプレイの清掃（p. 694）
- 布地内装およびヘッドライニングの清掃（p. 696）
- フロアマットの清掃（p. 696）
- レザー製内装の清掃（p. 697）
- レザーステアリングホイールの清掃（p. 698）
- プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツの清掃（p. 698）

フロアマットの清掃

ボルボ社が推奨するクリーナーおよびカーケア製品のみを使用して定期的に清掃してください。汚れがついた場合はすぐに対処することが重要です。洗浄剤を使用する前に、掃除機をかけてください。

フロアマット

フロアカーペットを清掃するときは、フロアマットやトランクルーム/カーゴスペースのマットを取り外してください。ほこりや汚れは、掃除機で吸い取ってください。各フロアマットはピンで固定されています。

フロアマットを各ピンの部分でつかみ、まっすぐに持ち上げて取り外してください。

フロアマットを所定位置に装着する際には、各ピンの場所を押してください。

⚠ 警告

各シートではフロアマットを 1 枚だけ使用してください。また、運転席のマットがペダルの横や下に引っかかることがないように、運転する前に、マットがピンに確実に固定されていることを確認してください。

フロアマットにシミができた場合には、掃除機をかけて掃除した後、特殊テキスタイルクリーナーをご使用ください。フロアマットの清掃には、ボルボ・ディーラーが推奨する洗剤をご利用ください。

関連情報
- 内装の清掃（p. 694）
- センターディスプレイの清掃（p. 694）
- 布地内装およびヘッドライニングの清掃（p. 696）
- シートベルトの清掃（p. 696）
- レザー製内装の清掃（p. 697）
- レザーステアリングホイールの清掃（p. 698）
- プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツの清掃（p. 698）

レザー製内装の清掃

ボルボ社が推奨するクリーナーおよびカーケア製品のみを使用して定期的に清掃してください。汚れがついた場合はすぐに対処することが重要です。洗浄剤を使用する前に、掃除機をかけてください。

レザー製内装*

ボルボ車のレザー製内装は、本来の外観が長続きするように処理されています。

レザー製内装は、時間の経過とともに変化して美しい風合いが生まれる、天然皮革の製品です。レザー特有の色や性質を保つためには、定期的な清掃とトリートメントが必要です。ボルボ社は、レザー製内装のお手入れのために、総合的なケアープログラムをご用意しています。レザー製内装のお手入れには、レザー専用の Volvo Leather Care Kit/Wipes を、付属の使用説明書の指示に従ってご使用ください。レザー表面の保護処理効果を復活させることができます。

レザー特有の柔らかさと感触を保つため、年に1～4回清掃を行い、保護クリームを使用してお手入れされることをお薦めします(必要に応じて、お手入れの回数を増やしてください)。Volvo Leather Care Kit/Wipes はボルボ・ディーラーでお買い求めいただけます。

レザー製内装の清掃

1. 湿らせたスポンジにレザークリーナーを付け、スポンジを握って泡立てます。
2. スポンジをシミに当てて、円を描くように動かします。
3. スポンジを使用してシミを十分に湿らせ、こすることなくスポンジにシミを吸い取らせます。
4. やわらかい布でシミを拭き取り、レザーを十分に乾燥させます。

レザー製内装の保護

1. 少量のレザー保護剤を布に付け、円を描くような動きでレザーに塗ります。
2. 約 20 分間乾燥させます。

レザー製内装を保護することで、太陽光の紫外線に対する耐光性が向上します。

関連情報
- 内装の清掃（p. 694）
- センターディスプレイの清掃（p. 694）
- 布地内装およびヘッドライニングの清掃（p. 696）
- シートベルトの清掃（p. 696）
- フロアマットの清掃（p. 696）
- レザーステアリングホイールの清掃（p. 698）
- プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツの清掃（p. 698）

レザーステアリングホイールの清掃

ボルボ社が推奨するクリーナーおよびカーケア製品のみを使用して定期的に清掃してください。汚れがついた場合はすぐに対処することが重要です。洗浄剤を使用する前に、掃除機をかけてください。

レザーステアリングホイール

レザーは呼吸をします。レザー製ステアリングホイールにビニールのカバーをかけないでください。レザーステアリングホイールのお手入れには、Volvo Leather Care Kit/Wipes をお薦めします。最初に、湿らせたスポンジまたは布を使用して、汚れやほこりなどを取り除いてください。

重要

尖った物(リングなど)を使用すると、ステアリングホイールのレザーを傷つけるおそれがあります。

関連情報

- 内装の清掃 (p. 694)
- センターディスプレイの清掃 (p. 694)
- 布地内装およびヘッドライニングの清掃 (p. 696)
- シートベルトの清掃 (p. 696)
- フロアマットの清掃 (p. 696)
- レザー製内装の清掃 (p. 697)
- プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツの清掃 (p. 698)

プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツの清掃

ボルボ社が推奨するクリーナーおよびカーケア製品のみを使用して定期的に清掃してください。汚れがついた場合はすぐに対処することが重要です。

プラスチック製、金属製および木製インテリアパーツ

マイクロファイバークロス(ボルボ指定のディーラーにお問い合わせください)などのご使用を推奨しています。マイクロファイバークロスを湿らせ、内装各部を拭いて清掃してください。

汚れをとるために、強く擦ったり、削らないでください。強いシミ抜き溶剤は、絶対に使用しないでください。

重要

ドライバーディスプレイのガラス面を清掃するときには、アルコール入りの溶剤を使用しないでください。

重要

高光沢面には擦り傷がつきやすいため注意してください。高光沢面は、乾燥したきれいなマイクロファイバークロスで小さい円を描くようにして清掃してください。必要に応じて、マイクロファイバークロスを少量の水で湿らせてください。

関連情報

- 内装の清掃（p. 694）
- センターディスプレイの清掃（p. 694）
- 布地内装およびヘッドライニングの清掃（p. 696）
- シートベルトの清掃（p. 696）
- フロアマットの清掃（p. 696）
- レザー製内装の清掃（p. 697）
- レザーステアリングホイールの清掃（p. 698）

エクステリアの清掃

車両が汚れたらすぐに洗車してください。汚れがこびりつく前の方が清掃しやすいためです。傷がつく危険性も減り、新車のような輝きを保ちます。油水分離槽のある洗車場で洗車し、カーシャンプー（洗車用洗剤）を使用してください。

関連情報

- エクステリアの清掃（p. 699）
- 磨きおよびワックスがけ（p. 699）
- 手洗い（p. 700）
- 自動洗車機（p. 702）
- 高圧洗浄（p. 703）
- ワイパーブレードの交換（p. 703）
- 外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネントの清掃（p. 704）
- ホイールリムの清掃（p. 705）
- 防さび（p. 705）

磨きおよびワックスがけ

車体の塗装面の艶が失われてきたときや、特に外装を保護したいときは、磨きとワックスがけを行ってください。新車購入後約 1 年間は磨きの必要はありませんが、ワックスがけをすることはできます。磨きやワックスがけは直射日光の下では行わないでください。磨く表面の温度は 45 °C（113 °F）以下である必要があります。

- 磨きやワックスがけは、車両をよく洗い、完全に乾かしてから行ってください。車両に付着したアスファルトやタールなどは、タール用クリーナーやホワイトガソリンを使用して取り除いてください。取れにくいシミなどは、車体塗装面専用の研磨コンパウンドを使用して取り除いてください。
- 磨き剤で磨いてから、液体または固形ワックスを使用してワックスがけを行ってください。使用する製品に記載されている使用説明書に、かならず従ってください。磨き剤とワックスが、一緒になったタイプもあります。

重要

プラスチックおよびラバー部分に、ワックスがけおよびポリッシュ加工を行わないでください。

脱脂剤をプラスチックおよびラバー部分に使用する必要がある場合は、軽くこするようにしてください。柔らかい洗浄用スポンジを使用してください。

光沢のあるトリムモールディングを、磨かないでください。表面に傷が付いたり、光沢が失われたりする場合があります。

研磨剤の入った艶出し剤は使用しないでください。

重要

ボルボ純正のペイントトリートメント以外使用しないでください。ほかのペイントトリートメントなどのシーリング、プロテクション、光沢シーリングなど、その他の処置によって、塗装面が損傷を受けるおそれがあります。ペイントトリートメントなどで生じた損傷は、ボルボ社の保証が適用されません。

関連情報

- エクステリアの清掃（p. 699）
- 手洗い（p. 700）
- 自動洗車機（p. 702）
- 高圧洗浄（p. 703）
- ワイパーブレードの交換（p. 703）
- 外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネントの清掃（p. 704）
- ホイールリムの清掃（p. 705）
- 防さび（p. 705）

手洗い

車両が汚れたらすぐに洗車してください。汚れがこびりつく前の方が清掃しやすいためです。傷がつく危険性も減り、新車のような輝きを保ちます。油水分離槽のある洗車場で洗車し、カーシャンプー（洗車用洗剤）を使用してください。

手洗い

洗車の際には、次のことに注意してください。

- 直射日光の下での洗車は避けてください。洗剤またはワックスが乾燥して、研磨効果が発生するおそれがあります。
- 塗装面に付着した鳥のフンは、すみやかに取り除いてください。鳥のフンには急速に塗装面を変色させる物質が含まれています。水をたっぷりと含ませたスポンジまたはやわらかい紙などを使用してください。変色の除去については、ボルボ指定のサービス工場にお問い合わせください。
- ホイールハウジングやバンパーを含め、ボディの底面を洗ってください。
- 泥を含む水がすべて洗い落されるまで車両全体を洗い流してください。洗浄中に引っかき傷ができるのを防止するためです。キーシリンダーなどには直接水をかけないでください。
- 必要に応じて、汚れの著しい表面には低温の脱脂剤を使用してください。この場合、表面

が日光によって高温になっていないように注意してください。

- 十分な量のぬるま湯と、カーシャンプー(洗車用洗剤)およびスポンジを使用して洗車してください。
- ワイパーブレードは、洗剤を入れたぬるま湯、またはカーシャンプー(洗車用洗剤)で洗ってください。
- きれいで柔らかいセーム皮またはスクレーパーなどを使用して、車体から水分を拭き取ってください。直射日光によって水滴が乾いてしまわないように注意すれば、水滴によってシミがつく可能性が低くなります。シミができると、場合によっては磨いてとることが必要になります。
- 洗車後も、アスファルトのタールが残っていることがあります。洗車後にタール除去剤を使用して、最後の汚れを取り除いてください。

⚠ 警告

エンジンの洗浄は、サービス工場にお問い合わせください。エンジンが高温のときは、火災につながるおそれがあります。

重要

ヘッドライトに汚れが付着していると、機能に影響します。定期的(燃料補給時など)に清掃してください。

腐食性のある洗剤は使用せず、代わりに水と傷がつかないようなスポンジで洗浄します。

注意

ヘッドライトやリアランプなどのエクステリアランプでは、レンズの内側が一時的に曇る場合があります。これは異常ではありません。エクステリアランプは、このような曇りに耐えるように設計されています。ライトをしばらく点灯させると、曇りは自然に解消します。

重要

- 洗車の前には、かならずパノラマルーフ*およびサンバイザーが閉じていることを確認してください。
- パノラマルーフには、絶対に研磨剤入りのつや出し剤を使用しないでください。
- パノラマルーフ周辺のラバーモールディングには、絶対にワックスをかけないでください。

重要

洗車後には、かならずドアおよびシルの排水口から汚れを取り除いてください。

関連情報

- エクステリアの清掃（p. 699）
- 磨きおよびワックスがけ（p. 699）
- 自動洗車機（p. 702）
- 高圧洗浄（p. 703）
- ワイパーブレードの交換（p. 703）
- 外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネントの清掃（p. 704）
- ホイールリムの清掃（p. 705）
- 防さび（p. 705）
- 自動パーキングブレーキの作動設定（p. 488）

自動洗車機

車両が汚れたらすぐに洗車してください。汚れがこびりつく前の方が清掃しやすいためです。傷がつく危険性も減り、新車のような輝きを保ちます。

自動洗車機を使用すると簡単に早く洗車をすることができますが、自動洗車機のブラシでは完全に洗浄できない箇所が多数あります。良好な仕上がりをお求めの場合、手洗いによる洗車をお薦めします。自動洗車機による洗車を手洗いで補うこともお薦めします。

注意

最初の数ヶ月間は自動洗車機で洗車しないことをお薦めします(塗装が完全に硬化していないため)。

重要

自動洗車機に進入する前に、停車時のオートブレーキおよびパーキングブレーキの自動作動の機能をオフにしてください。これらの機能をオフにしないと、車両が停止しているときにブレーキシステムが故障し、車両を移動させることができなくなります。

重要

回転ホイールで車両が前方へ送られる洗車機では、以下のことに注意してください。

1. 洗車の前に、自動レインセンサーがオフになっていることを確認してください。オンになっていると、ワイパーアームが作動して損傷するおそれがあります。
2. ドアミラーが格納されていること、補助ライトが固定されていること、アンテナが格納または取り外されていることを確認してください。これを怠ると、自動洗車機で損傷するおそれがあります。
3. 洗車機内に進入してください。
4. トンネルコンソールのボタン (Ⓐ) を使用して、「停車時オートブレーキ」機能をオフにしてください。
5. センターディスプレイのトップビューから「パーキングブレーキ自動作動」をオフにしてください。
6. トンネルコンソールのスタートノブを時計回りにまわしてエンジンを停止してください。ノブを所定の位置に 2 秒以上保持してください。

これで洗車機を使用する準備は完了です。

関連情報

- エクステリアの清掃（p. 699）
- 磨きおよびワックスがけ（p. 699）
- 手洗い（p. 700）
- 高圧洗浄（p. 703）
- ワイパーブレードの交換（p. 703）
- 外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネントの清掃（p. 704）
- ホイールリムの清掃（p. 705）
- 防さび（p. 705）

高圧洗浄

車両が汚れたらすぐに洗車してください。汚れがこびりつく前の方が清掃しやすいためです。傷がつく危険性も減り、新車のような輝きを保ちます。油水分離装置のある自動洗車機で洗車してください。カーシャンプー(洗車用洗剤)を使用してください。

高圧洗浄

高圧の水をかけるときは、ノズルの先端をボディ面から 30 cm(13 in.) 以上離し、掃くように動かしてください。キーシリンダーなどには直接水をかけないでください。

関連情報

- エクステリアの清掃 (p. 699)
- 磨きおよびワックスがけ (p. 699)
- 手洗い (p. 700)
- 自動洗車機 (p. 702)
- ワイパーブレードの交換 (p. 703)
- 外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネントの清掃 (p. 704)
- ホイールリムの清掃 (p. 705)
- 防さび (p. 705)

ワイパーブレードの交換

車両が汚れたらすぐに洗車してください。汚れがこびりつく前の方が清掃しやすいためです。傷がつく危険性も減り、新車のような輝きを保ちます。油水分離装置のある自動洗車機で洗車してください。カーシャンプー(洗車用洗剤)を使用してください。

ワイパーブレード

ワイパーブレードにアスファルト、ほこり、または融雪剤が付着していたり、ウインドスクリーンに虫や氷などが付着していると、ワイパーブレードの耐用年数が短くなります。

清掃時には、ワイパーブレードをサービスポジションにしてください。

注意

ワイパーブレードおよびウインドスクリーンは、ぬるめの石けん水またはカーシャンプーで定期的に清掃してください。強い溶剤を使用しないでください。

関連情報

- エクステリアの清掃 (p. 699)
- 磨きおよびワックスがけ (p. 699)
- 手洗い (p. 700)
- 自動洗車機 (p. 702)
- 高圧洗浄 (p. 703)
- 外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネントの清掃 (p. 704)
- ホイールリムの清掃 (p. 705)
- 防さび (p. 705)

外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネントの清掃

車両が汚れたらすぐに洗車してください。汚れがこびりつく前の方が清掃しやすいためです。傷がつく危険性も減り、新車のような輝きを保ちます。油水分離槽のある洗車場で洗車し、カーシャンプー(洗車用洗剤)を使用してください。

外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネント

カラープラスチックパーツやラバー、トリムコンポーネント(光沢のあるトリムモールディングなど)を清掃および手入れするときは、ボルボ純正専用クリーナー(ボルボ・ディーラーでお買い求めいただけます)のご使用を推奨しています。クリーナーの使用説明書の指示に従ってください。

洗車には、pH 値が 3.5 未満または 11.5 以上の洗剤を使用しないでください。このような洗剤を使用すると、陽極酸化アルミニウム製の部品*が変色するおそれがあります(図参照)。研磨剤入りのつや出し剤の使用はお薦めできません(図参照)。

pH 値が 3.5～11.5 のクリーナーを使用して洗う必要のあるパーツ

重要

プラスチックおよびラバー部分に、ワックスがけおよびポリッシュ加工を行わないでください。

脱脂剤をプラスチックおよびラバー部分に使用する必要がある場合は、軽くこするようにしてください。柔らかい洗浄用スポンジを使用してください。

光沢のあるトリムモールディングを、磨かないでください。表面に傷が付いたり、光沢が失われたりする場合があります。

研磨剤の入った艶出し剤は使用しないでください。

重要

洗車するときには、pH 値が 3.5 未満または 11.5 以上の洗浄剤は使用しないでください。使用した場合、パワーウインドの周辺部やルーフラックなどの陽極酸化アルミニウムパーツが変色する可能性があります。

陽極酸化アルミニウムパーツには、絶対に金属研磨剤を使用しないでください。変色して表面処理が損なわれる可能性があります。

関連情報

- エクステリアの清掃（p. 699）
- 磨きおよびワックスがけ（p. 699）
- 手洗い（p. 700）
- 自動洗車機（p. 702）
- 高圧洗浄（p. 703）
- ワイパーブレードの交換（p. 703）
- ホイールリムの清掃（p. 705）
- 防さび（p. 705）

* オプション/アクセサリー。

ホイールリムの清掃

車両が汚れたらすぐに洗車してください。汚れがこびりつく前の方が清掃しやすいためです。傷がつく危険性も減り、新車のような輝きを保ちます。油水分離槽のある洗車場で洗車し、カーシャンプー(洗車用洗剤)を使用してください。

ホイール

ボルボ社が推奨するクリーナー以外使用しないでください。

特にクロームメッキされたアルミホイールの場合、強力なホイールクリーナーを使用すると、表面にキズやシミが付くおそれがあります。

関連情報

- エクステリアの清掃（p. 699）
- 磨きおよびワックスがけ（p. 699）
- 手洗い（p. 700）
- 自動洗車機（p. 702）
- 高圧洗浄（p. 703）
- 外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネントの清掃（p. 704）
- ホイールリムの清掃（p. 705）
- 防さび（p. 705）

防さび

車両には優れた防さび処理が施されています。

ボディの防さび処理では、シートメタル用のメタリック保護コーティング、高品質塗装処理、金属の重なり部分の最小化と防さび処理、遮蔽用プラスチックコンポーネント、耐摩耗処理、傷つきやすい箇所への防さび剤追加が採用されています。シャシでは、ホイールサスペンションの傷つきやすいコンポーネントに耐食鋳造アルミニウムが採用されています。

点検とメンテナンス

通常、車両の防さび処理はメンテナンス不要ですが、車両をきれいな状態に維持しておくと、さびの発生する可能性をさらに低減させることができます。光沢のあるトリムコンポーネントには、強アルカリ性または強酸性の洗浄液を使用しないでください。飛び石傷を見つけた場合は、すみやかに修復を行ってください。

関連情報

- エクステリアの清掃（p. 699）
- 磨きおよびワックスがけ（p. 699）
- 手洗い（p. 700）
- 自動洗車機（p. 702）
- 高圧洗浄（p. 703）
- ワイパーブレードの交換（p. 703）
- 外装プラスチック、ラバー、およびトリムコンポーネントの清掃（p. 704）
- ホイールリムの清掃（p. 705）

車両の塗装

塗装は複数の層で構成されており、車両の防錆に重要な役割を果たしているため、定期的な点検が必要です。

塗装面にもっとも多く見られる損傷は、飛び石による傷、引っかき傷、フェンダーやドア、バンパーの傷などです。塗装面に傷が付いた場合は、さびが発生しないようにただちに補修してください。

関連情報

- 塗装面の小さな損傷の補修（p. 706）
- カラーコード（p. 707）

塗装面の小さな損傷の補修

塗装は車両をさびから守るために重要な役割を果たしていますので、定期的に点検してください。塗装面にもっとも多く見られる損傷は、飛び石による傷、引っかき傷、フェンダーやドア、バンパーの傷などです。

塗装面の傷の補修

塗装面に傷が付いた場合は、さびが発生しないようにただちに補修してください。

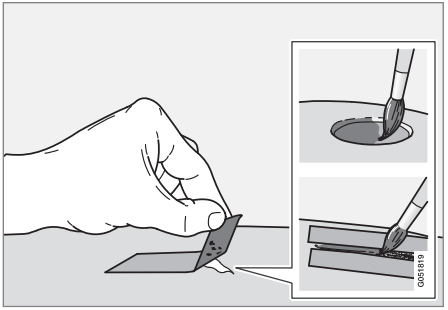
注意

塗装を修理する場合、表面がきれいで乾燥している必要があります。表面温度は 15 ℃ (59 °F)以上である必要があります。

必要になる可能性のあるもの

- プライマー [24] – プラスチック塗料を施したバンパーなどには、スプレー缶に入った特殊な癒着性プライマーが利用できます。
- 下塗りとクリアコート – スプレー缶入りやタッチアップペンタイプ [25] のものが利用できます。
- マスキングテープ
- 目の細かいサンドペーパー [24]

損傷が金属部分にまで達していない場合は、表面をきれいにしてから直接タッチアップペンを使用することもできます。



1. 損傷のある表面にマスキングテープを貼ります。剥がれかけた塗装の薄片が取り除けるようにテープを剥がします。

   損傷が金属部分に達している場合には、プライマーを使って補修してください。損傷がプラスチック部分に達している場合には、癒着性プライマーを使用するとよりよい結果が得られます。スプレー缶の蓋にスプレーを吹きかけて、薄くブラシで伸ばします。

[24] 必要時。
[25] タッチアップペンのパッケージに含まれていたインストラクションに従ってください。

2. 塗装の前に、非常に目の細かい研磨材を使用して、必要な場所だけ慎重に研磨します(端が一様ではない場合など)。表面をよく洗浄して、乾くまでお待ちください。
3. プライマーをよく混ぜて、細い筆かマッチ棒などで損傷部分に塗ります。プライマーが乾いたら、下塗りとクリアコートで仕上げます。

引っかき傷の場合も上記と同様に補修しますが、必要に応じてマスキングテープを使用して、傷のない部分を保護します。

タッチアップペンやスプレーペイントもボルボ・ディーラーでお買い求めいただけます。

注意

小石などによる傷で、金属部分に達しておらず、塗装に損傷のない部分が残っている場合には、清掃後すぐ下塗りとクリアコートで処理してください。

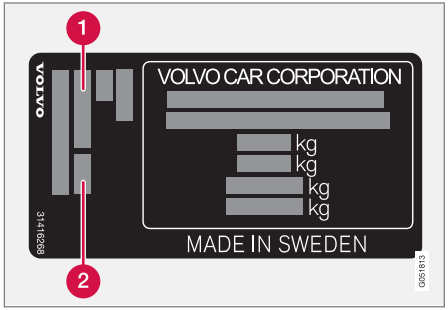
関連情報

- 車両の塗装（p. 706）
- カラーコード（p. 707）

カラーコード

カラーコード

カラーコードラベルは右側のリアドアピラーに貼付されています。右側リアドアを開けると確認できます。



1. エクステリアカラーコード
2. 準エクステリアカラーコード

かならず正しい色の塗料を使用してください。

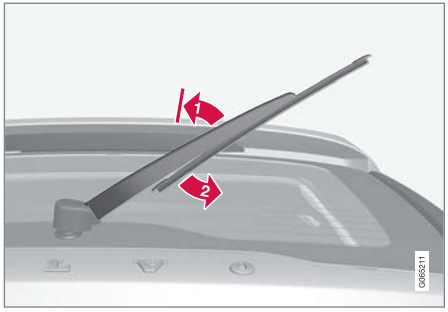
関連情報

- 車両の塗装（p. 706）
- 塗装面の小さな損傷の補修（p. 706）

リアウインドワイパーブレードの交換

ワイパーブレードはウインドスクリーンやリアウインドの水滴を取り除きます。ウォッシャー液を同時に使用してウインドを洗浄すると良好な視界を保つことができます。ワイパースクリーンおよびリアウインドのワイパーブレードは交換することができます。

リアウインドワイパーブレードの交換



ワイパーアームをウインドから持ち上げ、ブレードの下側を右方向へ引きます。

1. ワイパーアームの中央をつかみ、ウインドスクリーンからロック位置まで持ち上げます。

注意

最大展開角度の半分のところにロック位置があり、抵抗のように感じられます。このロックはアームが戻ってウインドスクリーンにぶつかることを防止します。ワイパーブレードの交換時には、ロックを通り過ぎた位置までワイパーアームを引っ張る必要があります。

2. ブレードの下側をつかみ、ブレードがアームから外れるまで右方向へ引きます。
3. 新品のワイパーブレードを所定の位置に押し込みます。カチッという音が聞こえます。確実に取り付けられているか確認してください。
4. ワイパーアームを倒します。

重要

ワイパーブレードは定期的に点検してください。メンテナンスを怠ると、ワイパーブレードの耐用年数が短くなります。

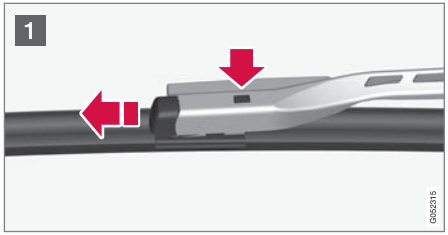
関連情報

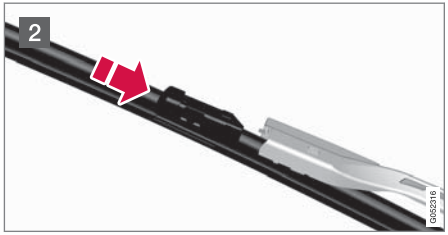
- レインセンサーを使用する（p. 217）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用（p. 219）
- 後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する（p. 221）
- レインセンサーのメモリー機能の使用（p. 218）
- リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用（p. 220）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 711）
- サービスポジションのワイパーブレード（p. 710）
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換（p. 709）
- ウインドスクリーンワイパーを使用する（p. 216）
- ワイパーブレードおよびウォッシャー液（p. 215）

ウインドスクリーンワイパーブレードの交換

ワイパーブレードはウインドスクリーンやリアウインドの水滴を取り除きます。ウォッシャー液を同時に使用してウインドを洗浄すると良好な視界を保つことができます。ワイパースクリーンおよびリアウインドのワイパーブレードは交換することができます。

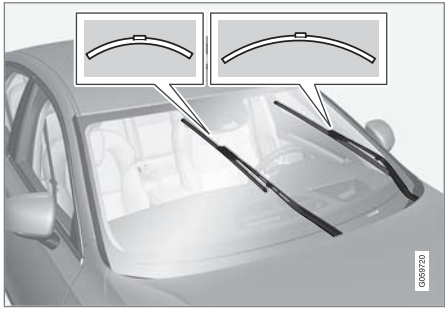
ウインドスクリーンワイパーブレードの交換





1. サービスポジションのときにはワイパーアームを折りたたんでください。サービスポジションは、車両が停止しておりウインドスクリーンワイパーが作動していないときに、センターディスプレイの機能ビューからオン/オフにできます。ワイパーブレードのマウンティングにあるボタンを押しながら、ワイパーブレードをワイパーアームと並行方向にまっすぐ引き出します。
2. カチッと音がするまで、新しいワイパーブレードを差し込みます。
3. ワイパーブレードが確実に固定されているか確認します。
4. ワイパーアームをウインドスクリーンの方に倒して戻します。

ワイパーブレードは、長さが異なります



注意

ワイパーブレードを交換する場合、ワイパーブレードの長さが異なることに注意してください。運転席側のワイパーブレードの方が、助手席側のワイパーブレードよりも長くなっています。

関連情報

- レインセンサーを使用する（p. 217）
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用（p. 219）
- 後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する（p. 221）
- レインセンサーのメモリー機能の使用（p. 218）
- リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用（p. 220）
- ウォッシャー液リザーバータンク（p. 711）
- サービスポジションのワイパーブレード（p. 710）
- リアウインドワイパーブレードの交換（p. 707）
- ウインドスクリーンワイパーを使用する（p. 216）
- ワイパーブレードおよびウォッシャー液（p. 215）

サービスポジションのワイパーブレード

状況により、ウインドスクリーンのワイパーブレードはサービスポジション(縦位置)にする必要があります(交換する場合など)。

サービスポジションのワイパーブレード

ワイパーブレードの交換、清掃、ウインドスクリーン上の氷を除去するときなどに持ち上げるときは、かならずサービスポジションにしてください。

重要

ワイパーブレードをサービスポジションにする前に、凍結していないことを確認してください。

サービスポジションの起動/解除

サービスポジションは、停車状態でウインドスクリーンワイパーが作動していないときに起動/解除できます。サービスポジションのオン/オフは、センターディスプレイの機能ビューを使用して行います。

ワイパーの サービス位置 ボタンをタップします。サービスポジションを起動すると、ボタンの表示灯が点灯します。起動に伴い、ワイパーが直立位置になります。サービスポジションを解除するには、**ワイパーの サービス位置** を再度タップします。サービスポジションを解除すると、ボタンの表示灯が消灯します。

以下の場合にも、ワイパーブレードはサービスポジションを終了します。

- ウインドスクリーンワイパーを作動させた場合。
- ウインドスクリーンウォッシャーを作動させた場合。
- レインセンサーが作動した場合。
- 車両を発進させた場合。

重要

サービスポジションのワイパーアームをウインドスクリーンから起こした場合、ワイパー、ウォッシャーまたはレインセンサーを作動させる前、または車両を運転する前に、かならずワイパーアームをウインドスクリーンの元の位置に戻してください。これは、ボンネットの塗装に傷を付けないようにするためです。

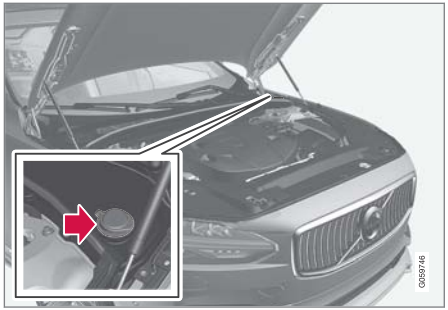
関連情報

- レインセンサーを使用する (p. 217)
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用 (p. 219)
- 後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する (p. 221)
- レインセンサーのメモリー機能の使用 (p. 218)
- リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用 (p. 220)
- ウォッシャー液リザーバータンク (p. 711)
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換 (p. 709)
- リアウインドワイパーブレードの交換 (p. 707)

- ウインドスクリーンワイパーを使用する (p. 216)
- ワイパーブレードおよびウォッシャー液 (p. 215)

ウォッシャー液リザーバータンク

ウォッシャー液はヘッドライト、ウインドスクリーンおよびリアウインドの洗浄に使用します。気温が氷点下の場合、不凍液入りのウォッシャー液を使用する必要があります。



ウォッシャー液は青色キャップのリザーバータンクに注入します。リザーバータンクは、ウインドスクリーンウォッシャー、リアウインドウォッシャーおよびヘッドライトウォッシャー* に使用されます。

注意

リザーバータンクのウォッシャー液が残り約 1L (1 qt)になった場合、 シンボルとともに、ドライバーディスプレイに **ｳｫｯｼｬｰ液 レベルが低下。 補充して下さい。** が表示されます。

指定グレード： ボルボ純正ウォッシャー液 – 寒冷時の氷点下の気温でも凍結から保護します。

重要

ボルボ純正ウォッシャー液、または推奨 pH (6～8)の同等品を適切に希釈(例：中性水と1:1 の割合で希釈)して使用してください。

重要

ポンプやリザーバータンク、ホース内でウォッシャー液が凍結しないように、温度が氷点下のときは、凍結防止効果のあるウォッシャー液を使用してください。

容量：

- ヘッドライトウォッシャー**装備**の車両：5.5 リットル(5.8 クォート)。
- ヘッドライトウォッシャー**装備なし**の車両：3.5 リットル(3.7 クォート)。

関連情報

- レインセンサーを使用する (p. 217)
- ウインドスクリーンおよびヘッドライトウォッシャーの使用 (p. 219)
- 後退時のリアウインドスクリーンワイパー自動作動を使用する (p. 221)

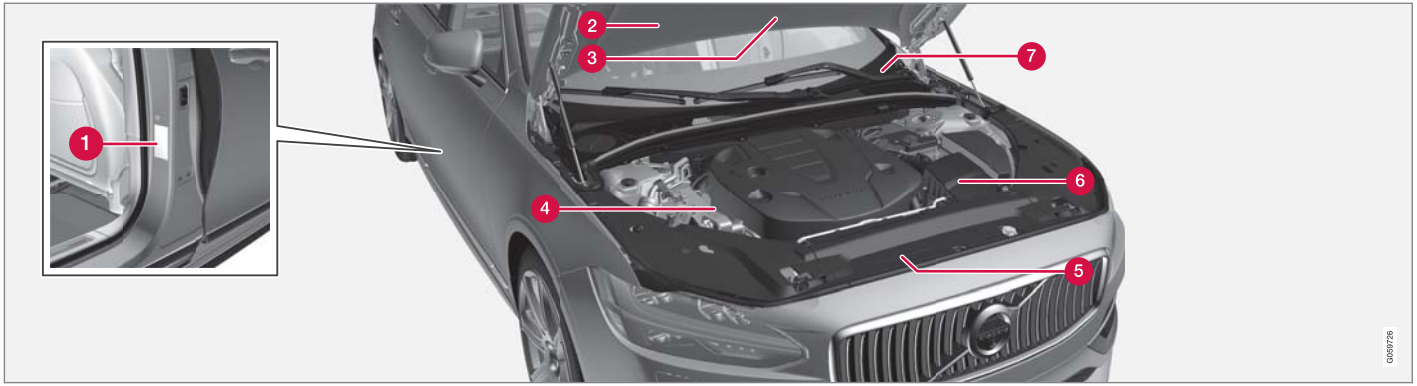
- レインセンサーのメモリー機能の使用 (p. 218)
- リアウインドワイパーおよびウォッシャーの使用 (p. 220)
- サービスポジションのワイパーブレード (p. 710)
- ウインドスクリーンワイパーブレードの交換 (p. 709)
- リアウインドワイパーブレードの交換 (p. 707)
- ウインドスクリーンワイパーを使用する (p. 216)
- ワイパーブレードおよびウォッシャー液 (p. 215)

仕様

タイプの表示

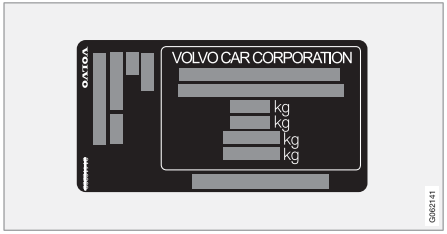
車両の表示ラベルには、シャシ番号、型式指定、カラーコードなどの情報が記載されています。

ラベルの位置

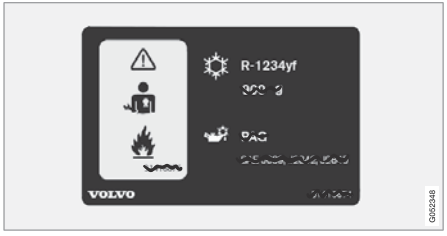


図は概略図です。詳細は、市場および車両モデルにより異なる場合があります。

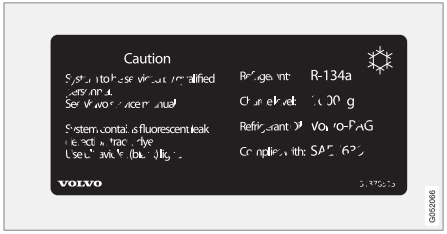
ボルボ指定のディーラーに車両についてのお問い合わせや、パーツあるいはアクセサリーのご注文をいただくときは、車両の車台番号(VIN)およびエンジンタイプをお知らせください。



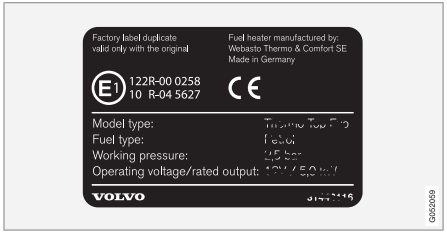
1 タイプの表示、車台番号(VIN)、最大許容重量、エクステリアカラーコードおよび型式指定番号の表示ラベル。表示ラベルはドアピラーに貼付されています。右リアドアを開けると確認できます。



2 R1234yf 冷媒仕様車用 A/C システム表示ラベル

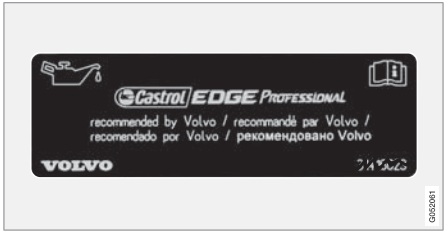


2 R134a 冷媒仕様車用 A/C システム表示ラベル

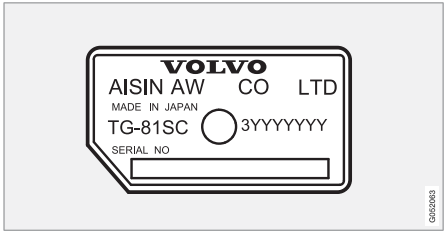


3 パーキングヒーターラベル

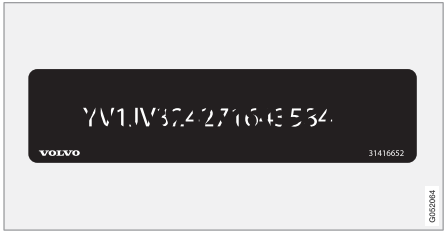
4 エンジンコードおよびエンジンのシリアルナンバーの表示ラベル



5 エンジンオイル用ラベル



6 トランスミッション型式およびシリアルナンバーの表示ラベル



7 車両の車台番号(VIN)の表示ラベル

実際の車両の各諸元値は、車検証記載の数値を参照してください。

注意

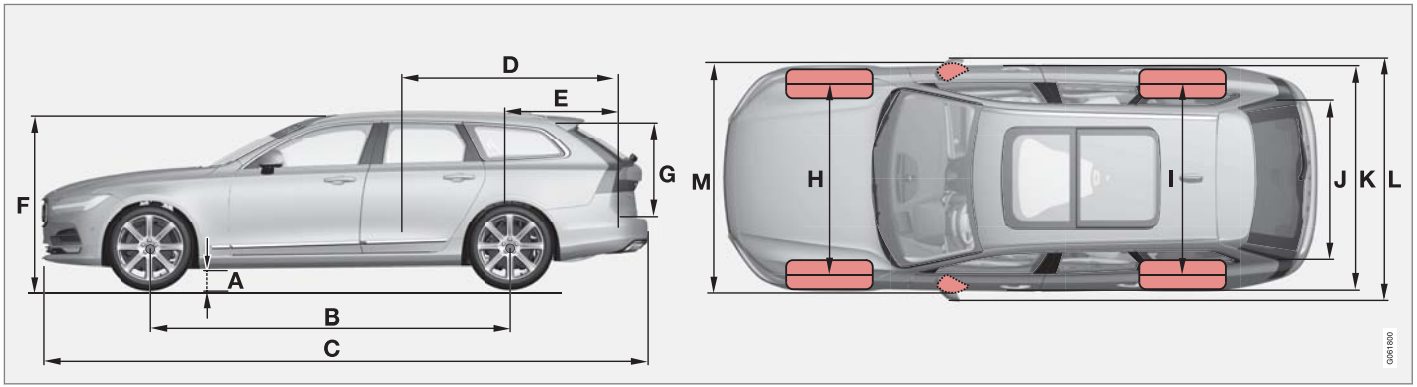
オーナーズマニュアルに掲載されている表示ラベルは、車両の表示ラベルと若干異なっている場合があります。ラベル掲載の目的は、ラベルの概観と車両に貼られている位置を示すことです。お客様の車両に関する情報は、車両内の各ラベルに記載されています。

関連情報

- エアコンディショナー – 仕様 (p. 727)

寸法

車両の全長や高さなどの寸法が表内に記載されています。



	寸法	mm	インチ
A	車高[A]	142	5.6
B	ホイールベース	2941	115.8
C	全長	4936	194.3
D	荷室の長さ(フロア上の寸法、バックレストを倒した状態)	1988	78.3
E	荷室の長さ(フロア上の寸法)	1153	45.4

	寸法	mm	インチ
F	全高[B]	1475	58.1
G	荷室の高さ	704	27.7
H	トレッド(フロント)	1628[C]	64.1[C]
		1618[D]	63.7[D]
		1617[E]	63.7[E]
		1623[F]	63.9[F]

	寸法	mm	インチ
I	トレッド(リア)	1629[C]	64.1[C]
		1619[D]	63.7[D]
		1618[E]	63.7[E]
		1624[F]	63.9[F]
J	荷室の幅(フロア上の寸法)	1130	44.5

	寸法	mm	インチ
K	全幅	1879[G] 1890[H]	74.0[G] 74.4[H]
L	全幅(ドアミラーを含む)	2019	79.5
M	全幅(格納式ドアミラーを含む)	1895	74.6

A 車両重量 + 乗員2名の場合。(タイヤのサイズ、シャシタイプなどにより多少異なります)。
B ルーフアンテナを含む(車両重量に対応)。
C 17/18インチホイール装着車に適用されます。
D 19インチホイール装着車に適用されます。
E 20インチホイール装着車に適用されます。
F 21インチホイール装着車に適用されます。
G ボディ幅。
H ドアモールディング部。

関連情報

- 重量 (p. 719)

重量

最大車両総重量などは車両のラベルに記載されています。

車両重量には、運転者、燃料タンク(90%給油状態)、全フルードが含まれます。

乗員やアクセサリーの重量、トウボール荷重(トレーラーけん引時)によって積載量は左右されます。これらは車両重量には含まれていません。

最大許容重量 = 車両総重量 − 車両重量

注意

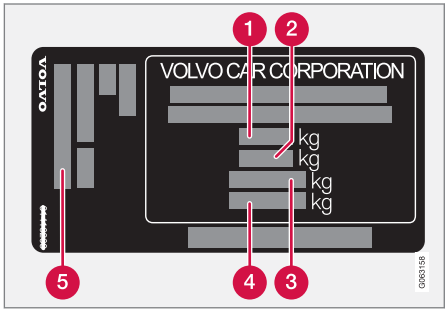
本書に記載の車両重量は、追加装備やアクセサリーのない、標準装備の車両に当てはまります。つまり最大許容重量は、追加されたアクセサリーの重量だけ減少します。

最大積載重量を減少させるアクセサリーの例としては、キネティック(Kinetic)、モメントゥム(Momentum)、およびスンムム(Summum)の各レベルのオプション装備、さらに、トウバー、ロードキャリア、スペースボックス、オーディオシステム、補助ライト、GPS、フューエルドリブンヒーター、スチールガードネット、カーペット、ラゲッジカバー、パワーシートなどがあります。

車両重量を確実に知るための方法は、実際に量ってみることです。

警告

車両走行性能は、搭載荷物の重量や、荷物を積む位置に影響を受けます。



表示ラベルはドアピラーに貼付されています。右リアドアを開けると確認できます。

1. 最大車両総重量
2. 最大けん引重量(車両 + トレーラー)
3. 最大許容前軸荷重
4. 最大許容後軸荷重
5. 装備レベル

最大荷重：車検証を参照してください。

最大ルーフ荷重：100 kg

関連情報

- タイプの表示 (p. 714)
- けん引重量およびボール荷重 (p. 720)

けん引重量およびボール荷重

トレーラーを使用して走行する際のけん引重量およびボール荷重が表内に記載されています。

最大重量、ブレーキ付きトレーラー

> **注意**
>
> トレーラー重量が 1,800 kg を超える場合は、トウバーに振動ダンパーを使用することをお薦めします。

エンジン	エンジンコード[A]	トランスミッション	最大重量、ブレーキ付きトレーラー(kg)	最大トウボール荷重(kg)
T4	B4204T44	オートマチック	1800	110
T4	B4204T31	オートマチック	1800	110
T5/Bi-Fuel	B4204T23	オートマチック	1800	110
T5	B4204T26	オートマチック	1800	110
T6 AWD	B4204T27	オートマチック	1800[B] 2200[C]	110
T6 AWD	B4204T29	オートマチック	2200	110
D3	D4204T16	マニュアル	1800	110
D3	D4204T16	オートマチック	1800	110
D3 AWD	D4204T4	オートマチック	2200	110
D4	D4204T14	マニュアル	1800	110
D4	D4204T14	オートマチック	1800	110

エンジン	エンジンコード[A]	トランスミッション	最大重量、ブレーキ付きトレーラー(kg)	最大トウボール荷重(kg)
D4 AWD	D4204T14	オートマチック	2200	110
D5 AWD	D4204T23	オートマチック	1800[B] 2200[C]	110

A エンジンコード、コンポーネントおよびシリアルナンバーは、エンジンに打刻されています。
B 表記の値を超えるけん引重量に対応して**いない**車両に適用されます。
C 表記の値を超えるけん引重量に対応している車両に適用されます。

重要

トレーラーを連結して走行する場合は、車両総重量(ボール荷重を含む)を 100 kg (220 lbs)まで超過することが許容されています。ただし、走行速度は 100 km/h (62 mph)以下に制限されています。連結車両に関する国内の法的要件(速度など)を順守する必要があります。

最大重量、ブレーキ非装備トレーラー

最大重量、ブレーキ非装備トレーラー(kg)	最大トウボール荷重(kg)
750	50

関連情報

- タイプの表示 (p. 714)
- 重量 (p. 719)
- トレーラーなどのけん引 (p. 532)
- トレーラー・スタビリティ・アシスト* (p. 534)

エンジン – 仕様

各エンジンタイプの仕様(出力など)が以下の表内に記載されています。

> **注意**
>
> 搭載されているエンジンの仕様は市場ごとに異なっていますので、あらかじめご了承ください。

エンジン	エンジンコード[A]	出力 (kW/rpm)	出力 (hp/rpm)	トルク (Nm/rpm)	気筒数
T4	B4204T31	140/5000	190/5000	300/1600-4000	4
T4	B4204T44	140/5000	190/5000	300/1400-4000	4
T5	B4204T26	184/5500	250/5500	350/1800-4800	4
T5/Bi-Fuel	B4204T23	187/5500	254/5500	350/1500-4800	4
T6 AWD	B4204T29	228/5700	310/5700	400/2200-5100	4
T6 AWD	B4204T27	235/5700	320/5700	400/2200-5400	4
D3	D4204T16	110/3750	150/3750	320/1750-3000	4
D3 AWD	D4204T4	110/4250	150/4250	350/1500-2500	4
D4 / D4 AWD	D4204T14	140/4250	190/4250	400/1750-2500	4
D5 AWD	D4204T23	173/4000	235/4000	480/1750-2250	4

[A] エンジンコード、コンポーネントおよびシリアルナンバーは、エンジンに打刻されています。

関連情報

- タイプの表示 (p. 714)
- エンジンオイル – 仕様 (p. 723)
- クーラント – 仕様 (p. 726)

エンジンオイル – 仕様

各エンジンタイプに対応するエンジンオイルのグレードおよび容量が表内に記載されています。

ボルボ社の推奨品：

エンジン	エンジンコード[A]	オイルグレード	オイルフィルターを含む容量（リットル、概算値）
T4	B4204T44	カストロール エッジ Professional V 0W-20 または VCC RBS0-2AE 0W-20	5.6
T4	B4204T31		5.6
T5/Bi-Fuel	B4204T23		5.6
T5	B4204T26		5.6
T6 AWD	B4204T27		5.6
T6 AWD	B4204T29		5.6

エンジン	エンジンコード[A]	オイルグレード	オイルフィルターを含む容量（リットル、概算値）
D3	D4204T16	カストロール エッジ Professional V 0W-20 または VCC RBS0-2AE 0W-20	5.2
D3 AWD	D4204T4		5.2
D4 / D4 AWD	D4204T14		5.2
D5 AWD	D4204T23		5.2

[A] エンジンコード、コンポーネントおよびシリアルナンバーは、エンジンに打刻されています。

関連情報

- タイプの表示（p. 714）
- エンジンオイルに対して過酷な走行条件（p. 725）
- エンジンオイルの点検と補充（p. 664）
- エンジンオイル（p. 663）

エンジンオイルに対して過酷な走行条件

過酷な走行条件では、通常よりも油温が上昇したり、オイル消費量が増加する場合があります。以下に過酷な走行条件をいくつか挙げます。

次のような状況で長時間走行する場合は、オイルレベルを通常よりも頻繁に点検してください。

- キャラバンやトレーラーけん引時
- 山道走行時
- 高速走行時
- 外気温が-30 ℃(-22 °F)以下、または+40 ℃(+104 °F)以上の環境で走行する場合

前述の項目は、低温で短距離を走行する際にも当てはまります。

過酷な条件下で走行する場合は、100%化学合成オイルの使用を推奨しています。エンジンにさらなる保護を提供します。

ボルボ社の推奨品：

重要

エンジンのサービスインターバルに適応できるように、工場で特別な合成エンジンオイルがエンジンに充填されています。このオイルは、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全を十分考慮して選定されています。

エンジンのサービスインターバルに適応するため、指定されたエンジンオイルを使用してください。オイルの補充および交換時には、かならず指定グレードのオイルを使用してください。異なるオイルを使用すると、エンジンの寿命、始動性能、燃費および環境保全に悪影響をおよぼします。

規定のグレードおよび粘度を備えたエンジンオイルを使用しなかった場合、エンジン関係のコンポーネントが損傷するおそれがあります。ボルボ・カー・コーポレーションは、こういった損傷に対するいかなる責任も負いません。

オイル交換は、ボルボ指定のサービス工場への依頼をお薦めします。

関連情報

- エンジンオイル – 仕様（p. 723）
- エンジンオイル（p. 663）

クーラント – 仕様

指定グレード： ボルボ認定調合済みクーラント。クーラントが濃縮タイプの場合は、50%の水[1]と混ぜてください。不確かな場合はボルボ・ディーラーにお問い合わせください。

冷却システムの損傷やエンジンの問題などを防ぐため、かならずボルボ認定のクーラントを使用してください。

⚠ 警告

飲み込むと危険です。臓器(腎臓)に障害を引き起こすおそれがあります。この製品には、エチレングリコール、抑制剤、吐剤、水などが含まれています。

関連情報

- クーラントの補充（p. 666）

トランスミッションフルード – 仕様

通常の走行条件下では、トランスミッションフルードの交換は基本的に不要です。ただし、悪条件で走行している場合、交換が必要になることがあります。

マニュアルトランスミッション

指定されたトランスミッションフルード：	BOT 350M3

オートマチックトランスミッション

指定されたトランスミッションフルード：	AW1

関連情報

- タイプの表示（p. 714）

ブレーキフルード – 仕様

油圧式ブレーキシステムにはブレーキフルードが使用されています。ブレーキフルードは、ブレーキペダルからマスターブレーキシリンダーを通って 1 つ以上のスレーブシリンダーへ油圧を伝達します。この油圧がメカニカルブレーキに作用します。

指定グレード： ボルボ純正または Dot 4、5.1 および ISO 4925 クラス 6 の組み合わせに適合する同等のフルード。

ⓘ 注意

ブレーキフルードは、ボルボ指定のサービス工場にて交換または充填されることをお薦めします。

関連情報

- エンジンルームの概要（p. 662）

[1] 水質は、基準 STD 1285.1 を満たしていなければなりません。

燃料タンク – 容量

燃料タンクの容量は以下の表内に記載されています。

	AWD	その他のモデル
リットル(概算値)	60	55
米ガロン(概算値)	15.9	14.5

関連情報

- 燃料の補給 (p. 515)

AdBlue®[2] タンク – 容量

添加剤 AdBlue 用の補充可能なタンクの容量は、約 11.7 リットルです。

関連情報

- AdBlue®の点検と補充 (p. 521)

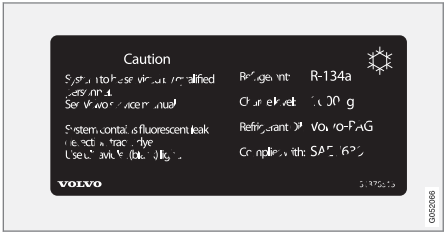
エアコンディショナー – 仕様

車両のエアコンディショナーシステムは、市場に応じて、R1234yf または R134a のいずれかのノンフロン冷媒を使用します。使用されている冷媒の情報は、ボンネットの内側に貼付されている表示ラベルに印刷されています。

エアコンディショナーシステムで使用されるフルードおよび潤滑剤の指定グレードおよび容量は以下の表に記載されています。

A/C ラベル

R134a 用ラベル



[2] Ver-band der Automobilindustrie e.V. (VDA)が所有する登録商標です。

R1234yf 用ラベル

R1234yf のシンボル説明

シンボル	意味
	注記
	移動式エアコンディショナーシステム(MAC)
	潤滑剤タイプ
	移動式エアコンディショナーシステム(MAC)の整備は、資格および技能を有するメカニックが行う必要があります。
	可燃性冷媒

冷媒

R134a 冷媒仕様車

重量	指定グレード
700 g (1.54 lbs)	R134a

⚠ 警告

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R134a が加圧充填されています。このシステムの保守や修理は、かならずボルボ指定のサービス工場にご依頼ください。

R1234yf 冷媒仕様車

重量	指定グレード
650 g	R1234yf

⚠ 警告

エアコンディショナーシステムには、冷媒 R1234yf が加圧充填されています。SAE J2845(自動車用 A/C システムに使用される冷媒の安全な点検整備および格納のための技術トレーニング)に従い、冷媒システムの点検整備および修理は、かならず資格および技能を有するメカニックが行い、システムの安全を確保する必要があります。

コンプレッサーオイル

容量	指定グレード
60 ml (2.03 fl. oz.)	PAG SP-A2

エバポレーター

重要

A/C システムのエバポレーターは、絶対に修理したり、以前に使用していたエバポレーターと交換したりしないでください。新しいエバポレーターは、SAE J2842 に基づいて認証および表示されている必要があります。

関連情報

- エアコンディショナーシステムの点検整備 (p. 661)

燃料消費量および CO_2 排出量

燃料消費量と CO_2 排出量は、さまざまな原因で悪化することがあります。

燃料消費量の増加には以下のような原因が考えられます。

- 車両に追加装備があり、車両の重量が増加している場合。
- 運転スタイル。
- モデルの基本バージョンに標準装備されているホイールとは異なるホイールが装着されており、転がり抵抗が増加している場合。
- 高速走行によって空気抵抗が増加した場合。
- 燃料の品質、道路および交通の状況、天候、車両の状態。

上記の例が組み合わされると、燃料消費量が大幅に増加する可能性があります。

注意

悪天候、トレーラーをけん引しながらの走行、あるいは標高の高い地域での走行と不適切な燃料の使用などが組み合わさると、車両の燃料消費量が大幅に増加します。

関連情報

- タイプの表示（p. 714）
- 重量（p. 719）
- 経済走行（p. 511）

承認タイヤ空気圧

各エンジンタイプに対する認定のタイヤ空気圧が表内に記載されています。

> **注意**
>
> 提供されているエンジンとタイヤ、またその組み合わせは、市場により異なっており、ご利用いただけないものもございます。あらかじめご了承ください。

エンジン	タイヤサイズ	速度	重量、1～3 名乗車		最大荷重		ECO プレッシャー[A]
			フロント (kPa)[B]	リア (kPa)	フロント (kPa)	リア (kPa)	フロント/リア (kPa)
すべてのエンジン	225/55 R17	0-160 km/h (0-100 mph)	230	230	260	260	260
	245/45 R18 255/40 R19	160+ km/h (100+ mph)	260	260	270	270	-
	255/35 R20	0-160 km/h (0-100 mph)	240	240	260	260	260
	245/35 R21	160+ km/h (100+ mph)	300	300	310	310	-
テンポラリースペアタイヤ		最高 80 km/h (最高 50 mph)	420	420	420	420	-

[A] 経済走行
[B] 国によっては、SI 単位であるパスカル(pascal、Pa)のほかに、バール(bar)が使用されます。1 bar = 100 kPa。

関連情報

- タイプの表示 (p. 714)
- タイヤ空気圧の点検 (p. 608)
- 適正タイヤ空気圧 (p. 610)

50 音順索引

数字

4WD..... 499

あ

アクセサリーおよび追加装備..... 39
取り付け..... 39
アクティブ・ヨー・コントロール..... 329
アクティブハイビーム..... 193
アクティブベンディングライト..... 196
アダプティブクルーズコントロール352, 355, 356, 358, 359, 360, 362, 363, 364, 365, 366, 368
追い越し..... 362, 363
機能..... 352
クルーズコントロール機能の変更... 366
故障診断..... 366
車間時間の設定..... 359, 360
速度の管理..... 356, 358
レーダーセンサー..... 387
アダプティブブレーキランプ..... 198
アプリ..... 550
アプローチライト..... 200
アラーム..... 321
アラームの機能解除..... 324
解除..... 322
モーションセンサーおよびチルトセンサー..... 321
アルコールロック..... 482, 483
アルコールロックバイパス..... 482
アレルギーおよび喘息を誘発する物質.. 246
アンテナ
位置..... 309
アンビエントライト..... 201, 202

い

イグニッション位置..... 480, 481
イモビライザー..... 296
イモビライザー..... 296
インストルメントの概要
左ハンドル車..... 116
右ハンドル車..... 117
インターネット、オンライン車両参照.. 584
インテグレーテッドチャイルドシート.. 110
下げる..... 112
跳ね上げ..... 111
インテリア・エア・クオリティ・システム246
インテリセーフ
運転者サポート..... 33
インフォテイメントシステム（オーディオおよびメディア)..... 548
インフォメーション・ディスプレイ119, 123
インフレータブルカーテン..... 95

う

ウインタータイヤ..... 623
ウインターホイール..... 623
ウインド
サンブラインド..... 207
ウインドおよびガラス..... 204
ウインドスクリーン
投影画像..... 179, 181
ヒーター..... 262
ウインドスクリーンウォッシャー..... 219
ウォッシャー
ウインドスクリーン..... 219
ウォッシャー液、補充..... 711
ヘッドライト..... 219
リアウインド..... 220, 221
ウォッシャー液..... 215, 711
ウォッシャーノズル、ヒーテッド..... 215
運転者サポートシステム..... 328
運転者プロフィール..... 173
選択..... 174
編集..... 174, 175, 177

え

エアクオリティ..... 245, 246
アレルギーおよびぜん息..... 246
クリーンエアフィルター..... 247
エアコン..... 268
エアコンディショナー..... 242, 253, 268
温度コントロール..... 266, 267, 268
自動調節..... 259
センサー..... 243
センターディスプレイ..... 253
ゾーン..... 242
体感温度..... 243
パーキング..... 269
ファンコントロール..... 264, 265
ボイスコントロール..... 244
リアシート..... 253
エアコンディショナー、自動調節..... 259
エアコンディショナー、フルード
容量およびグレード..... 727
エアコンディショナーシステム... 242, 253
修理..... 661
冷媒..... 727
エアディストリビューション..... 247
オプション表..... 250
空気吹出口..... 247, 249
デフロスト..... 261
変更..... 248
リサーキュレーション..... 260
エアバッグ..... 89
運転席側..... 90
作動/非作動..... 92
助手席側..... 91, 92
エアバッグ、エアバッグ参照..... 89
エアリサーキュレーション..... 260
エクストラヒーター（補助ヒーター)... 279
エタノール含有量..... 516
エラーメッセージ
アダプティブクルーズコントロール. 368
メッセージおよびシンボル参照 368, 386
エンジン
オーバーヒート..... 526
解除する..... 479
始動..... 478
Start/Stop 機能..... 504
エンジン・ドラッグ・コントロール.... 329
エンジンオイル..... 663, 725
過酷な走行条件..... 725
グレードおよび容量..... 723
フィルター..... 663
補充..... 664
エンジンオイルレベルの点検..... 665
エンジン温度
高..... 526
エンジン高温..... 526
エンジンの始動..... 478
衝突後..... 97
エンジンの仕様..... 722
エンジンブレーキ..... 484
エンジンルーム
エンジンオイル..... 663
概要..... 662
クーラント..... 666
エンジンをオフにする..... 479
エンジンを停止する..... 479

お

追い越しアシスト..... 362, 363, 381, 382
オイル、エンジンオイルも参照... 723, 725
オイルレベルゲージ..... 664
オイルレベル低下..... 664
応急手当..... 649
オーディオおよびメディア..... 548
オーディオ設定..... 548, 582
テキストメッセージ..... 582
電話..... 583
メディアを再生..... 558, 560
オートブレーキ..... 489
作動および解除..... 490
衝突後..... 491
オートマチックトランスミッション.... 493

オイル..... 726
キックダウン..... 497
トレーラー..... 532
オートリロック機能..... 286, 307
オートレベライザー..... 509
設定..... 511
オートロック..... 313
オーナーズマニュアル..... 24
エコラベル表示..... 26
センターディスプレイ内..... 19, 21
モバイルデバイスで利用する..... 23
オーナーズインフォメーション(オーナー様への情報)..... 18
オーバーヒート..... 526, 532
お客様の個人情報保護方針..... 38
オクタン値..... 516
オプション/アクセサリー..... 24
温度
コントロール..... 266, 267, 268
体感..... 243
オンライン車両..... 584
コネクテッド・サービス予約..... 655
システムアップデート..... 653
車両情報を送信する..... 656
未接続/接続不良..... 589

か

カーゴスペース..... 639
固定ポイント..... 642
セーフティネット..... 648
電源ソケット..... 634, 636
ライト..... 201
カーゴネット..... 648
カーモデム
車両をインターネットに接続する... 587
設定..... 588
外気温度計..... 129
外寸..... 717
快適環境維持機能..... 274
オン/オフ..... 274
回転方向..... 607
回避操作が不可能な場合の City Safety. 408
各種計器および操作ボタン..... 116, 117
ガソリン..... 516
ガソリン粒子フィルター..... 517
型式認定
リモートコントロールキーシステム. 297
レーダーシステム..... 392
カバー
カーゴスペース..... 644
カメラセンサー..... 410
カメラセンサーの故障診断..... 397, 400
カメラユニット..... 396, 400
カラーコード..... 707
カラーコード、塗装..... 707
カラーコード、ペイント..... 707
ガラス
ラミネーテッド/強化..... 204
環境..... 30
間欠ワイパー..... 216
冠水した道路..... 514

き

キー..... 283
キー のバッテリー が低下..... 289
キーボード..... 163, 166
言語の変更..... 166
キーレス
感圧面..... 306
設定..... 308
ロック/ロック解除..... 307
ギヤシフトインジケーター..... 498
ギヤセレクターインヒビター..... 496
解除する..... 496
ギヤセレクターインヒビターの解除.... 496

ギヤポジション
オートマチックトランスミッション. 493
救急用品キット..... 649
救急用品キット..... 649
三角警告板(停止表示板)..... 650
給油..... 515
燃料給油口フラップ..... 514
補充..... 515
AdBlue..... 521
緊急パンクリペアーキット..... 626
位置..... 625
概要..... 625
シーリング剤..... 625
実施、事後点検..... 626
タイヤの空気を充填する..... 630

く

クーラント..... 726
クーラント、注入..... 666
クーリングシステム
オーバーヒート..... 526
曇り
ヘッドライト内の凝結水..... 699, 702
クリーン・ゾーン・インテリア・パッケージ..... 246
クリーンエアフィルター..... 247
クルーズコントロール..... 343, 344
一時的解除..... 346, 347
解除する..... 348
速度の管理..... 344, 345
グローバルオープニング機能..... 283
グローブボックス..... 638
クロストラフィック対応
City Safety..... 406, 407

け

計器
燃料計..... 124
警告音
パーキングブレーキ..... 489
警告灯..... 132
アダプティブクルーズコントロール. 355
エアバッグ - SRS..... 132
警告..... 132
シートベルトリマインダー..... 132
充電不良..... 132
スタビリティ&トラクション・コントロール・システム..... 329
セーフティ..... 80
パーキングブレーキ作動..... 132
ブレーキシステムの不具合..... 132
メインバッテリーが充電されない... 132
油圧低下..... 132
経済走行..... 502, 511
携帯電話、電話を参照..... 576
けん引..... 537
けん引重量およびトウボール荷重..... 720
けん引フック..... 538
言語..... 169

こ

小石などによる傷および引っかき傷706, 707
高圧洗浄..... 703
交通情報..... 557
後部衝撃吸収リクライニング機構..... 81
後部衝撃吸収リクライニング機構付フロントシート..... 81
コーナー・トラクション・コントロール 329
コーナリングライト..... 197
個人情報（お客様の個人情報保護方針).. 38
個人情報保護方針（お客様の個人情報保護方針)..... 38
コンバインド・メーター・パネル..... 119
設定..... 123
コンパス..... 544
校正..... 544

さ

サービスと修理の予約..... 655
サービスプログラム..... 652
サービスポジション..... 710
サイクリストの検知..... 404
サイクルキャリア
　トウバー取り付け..... 536
再生..... 517, 519
最大ルーフ荷重..... 719
サイドエアバッグ..... 94
サウンドエクスペリエンス..... 549
座席、シート参照..... 224
三角警告板(停止表示板)..... 650
サンバイザー..... 639
　ミラーランプ..... 201
サンブラインド
　パノラマルーフ..... 211, 214
　ピンチプロテクション..... 204
　リアドア..... 207
サンルーフ
　ピンチプロテクション..... 204

し

シート
　位置を記憶..... 226, 227
　後部衝撃吸収リクライニング機構.... 81
　ヒーター..... 255, 256
　フロントパワーシート..... 225
　フロントマニュアルシート..... 224
　ベンチレーション..... 257
シートベルト..... 84
　シートベルトテンショナー..... 86
　シートベルトリマインダー..... 87
　妊婦の方..... 81
　バックル/バックル解除..... 84
シートベルト、シートベルト参照..... 84
シートベルトテンショナー..... 86
　リセット..... 87
シートベルトリマインダー..... 87
シーリング剤..... 625
システムアップデート..... 653
自動エンジン停止
　オートストップ..... 505
自動車旅行..... 512
自動洗車機..... 702
自動速度リミッター... 339, 341, 342, 343
シミや汚れ..... 694, 696, 697, 698
車間警告機能..... 349, 350
　機能の限界..... 351
車間時間の設定..... 350
車台番号..... 41
ジャッキ..... 617
車内内装..... 632
　グローブボックス..... 638
　サンバイザー..... 639
　電源ソケット..... 634
　トンネルコンソール..... 633
車内ヒーター（パーキングヒーター)... 278
車両移動..... 539
車両機能
　センターディスプレイ内..... 159
車両重量..... 719
車両状態..... 654
車両総重量..... 719
車両の状態
　タイヤ空気圧..... 614
車両をインターネットに接続する
　カーモデム経由..... 587
　携帯電話(Bluetooth)を使用する.... 585
　未接続/接続不良..... 589
　モバイル機器(Wi-Fi)経由..... 586
車両を持ち上げる..... 658
ジャンプスタート..... 527
収納スペース..... 632

グローブボックス..... 638
サンバイザー..... 639
トンネルコンソール..... 633
重量
車両重量..... 719
出力..... 722
衝突、衝突事故を参照..... 80
衝突回避アシスト. 441, 442, 443, 444, 445, 446, 447, 449
衝突回避アシストのシンボルおよびメッセージ..... 449
衝突回避ステアリングアシスト.... 441, 442, 443, 444, 445, 446, 447, 449
衝突警告システム..... 400, 413
歩行者保護..... 404
レーダーセンサー..... 387
衝突事故..... 80, 84, 89, 96
照明スイッチ..... 202
正面衝突回避ステアリングアシスト444, 445
触媒コンバーター
けん引..... 537
助手席エアバッグ・カットオフ・スイッチ92
シンボルおよびメッセージ
アダプティブクルーズコントロール. 368
オートブレーキ機能付衝突警告システム..... 412
センターディスプレイ・ステータスフィールド..... 161
パーキングエアコン..... 275
シンボルマーク
警告灯..... 132
表示灯..... 130

す

スキーハッチ..... 643
スキッド..... 513
煤フィルター..... 519
スタビライザー
トレーラー..... 534
スタビリティ・システム..... 329
スタビリティ&トラクション・コントロール・システム..... 329, 333
操作..... 331, 332
スチールガードネット..... 646
ステアリングフォースレベル、ステアリングフォース参照..... 328
ステアリングホイール..... 239, 240
ステアリングホイールの調節..... 240
ステアリングリモコン..... 239
パドル..... 239
ヒーター..... 258, 259
ステアリングホイールのステアリングリモコン..... 239
ステアリングホイールの調節..... 240
ステアリングホイールのパドル..... 239
ステアリングホイールパドル..... 494
ステアリングホイールフォース、車速感応式..... 328
ステアリングホイールロック..... 239
ストップ/スタート機能..... 504
スピード違反取り締まりカメラ..... 429
スピンコントロール..... 329
スペアタイヤ..... 622, 623
滑りやすい路面での運転..... 513
スルーロードハッチ..... 643
寸法..... 717
トウバー..... 529

せ

清掃..... 696, 698
シートベルト..... 696
自動洗車機..... 702
洗車.... 699, 700, 702, 703, 704, 705
センターディスプレイ..... 694
内装..... 694, 696, 697, 698
布製内装..... 694, 696, 697

ホイールリム..... 705
セーフティ..... 80
妊婦の方..... 81
セーフティモード..... 96
スタート/ムーブメント..... 97
設定
カテゴリー..... 172
コンテンツ連動型..... 170
リセット..... 171
設定の登録..... 171
運転者プロフィール..... 177
名義変更..... 171
センサー
エアクオリティ..... 247
エアコンディショナー..... 243
洗車..... 699, 700, 702, 703, 704, 705
センターディスプレイ
エアコンディショナー..... 253
外観の変更..... 168
概要..... 146
キーボード..... 163
機能ビュー..... 159
スイッチオフおよび音量調整..... 168
ステータスバーのシンボル..... 161
清掃..... 694
設定..... 169, 170
操作..... 149, 152, 156, 161
ビュー..... 152
メッセージ..... 177, 178
セントラルロック..... 310
全輪駆動(AWD)..... 499

そ

走行
クーリングシステム..... 526
トレーラーなどのけん引..... 532
走行距離..... 124
走行中にご注意いただきたいこと..... 512
走行統計..... 127
走行特性の最適化..... 328, 499
速度記号、タイヤ..... 606
速度リミッター..... 335, 338, 339, 343
一時的解除..... 337
開始..... 336
解除..... 338
側面衝撃吸収システム..... 94, 95
ソフトウェアアップデート..... 37

た

対向車対応 City Safety ブレーキ..... 409
タイプの表示..... 714
タイヤ..... 604
圧力..... 730
ウインタータイヤ..... 623
回転方向..... 607
仕様..... 730
タイヤ空気圧表..... 730
タイヤプレッシャーモニタリング... 611
取り付け..... 620
取り外し..... 618
トレッド磨耗インジケーター..... 608
トレッド溝の深さ..... 623
パンク修理..... 625
保管..... 604
ローテーション..... 604
タイヤ空気圧
推奨..... 610
調節..... 609
点検..... 608
表示ラベル..... 610
タイヤ空気圧表..... 730
タイヤサイズ..... 606, 616
タイヤの空気を充填する..... 630
タイヤプレッシャーモニター..... 611
アクション..... 615
ステータス..... 614
調整..... 612
単位..... 169

ち

チャイルドシート..... 98, 101, 102
アッパーマウンティングポイント.... 99
インテグレーテッドチャイルドシート..... 110
取付位置に関する表..... 104
ポジショニング/フィッティング 101, 102
ロアマウンティングポイント..... 100
i-Size/ISOFIX マウンティングポイント..... 101
i-Size 表..... 106
ISOFIX 表..... 107
チャイルドセーフティ..... 98
チャイルドロック..... 312
チルトセンサー..... 321

つ

追突回避ステアリングアシスト... 446, 447
ツール..... 616

て

手洗い..... 700
ディーゼル..... 518
燃料切れ..... 519
ディーゼル微粒子除去フィルター..... 519
ディスプレイ
ドライバーインフォメーション..... 119
ディスプレイ照度..... 202
ディスプレイのメッセージ..... 142, 177
管理..... 143, 178
保存済み..... 144, 178
デイタイムランニングライト..... 191
データ
記録..... 37
車両とサービス工場間での転送..... 652
データ共有..... 591
データリンクコネクター..... 40
テールゲート
キック動作による開閉..... 317
車内からロック解除する..... 311
パワーシート..... 314
ロック/ロック解除..... 287, 308
デッドロック..... 324
解除..... 325
デフロスト..... 261
テレビ
視聴..... 567
設定..... 568
電気系統..... 676
電源ソケット..... 634
使用..... 636
電動格納式ドアミラー..... 209
電動パーキングブレーキ..... 486
電動パノラマルーフ..... 211
テンポラリースペアタイヤ
スペアタイヤ..... 622
電話..... 575
削除する..... 579
自動で接続する..... 577
手動で接続する..... 578
接続..... 576
切断する..... 579
通話..... 580, 582
テキストメッセージ..... 581
別の物に変更..... 579
ボイスコントロール..... 184
電話を接続する..... 576

と

ドアミラー..... 208, 209
位置を記憶..... 226, 227
防眩機能..... 208
リセット..... 209
ドアミラーのリセット..... 209
冬季の運転..... 513
トウバー..... 529

折り畳み式..... 530
仕様..... 529
時計、調節..... 129
塗装
カラーコード..... 707
塗装面の損傷と補修..... 706, 707
トップビュー..... 169
ドライバー・アラート・コントロール
操作..... 432
ドライバーディスプレイ..... 119
アプリケーションメニュー.... 140, 141
設定..... 123
メッセージ..... 142
ドライバーパフォーマンス..... 127, 128
ドライブトレイン
トランスミッション..... 491
ドライブモード..... 499
エコ..... 502
変更..... 501
トラクション・コントロール..... 329
トラブルシューティング
アダプティブクルーズコントロール. 366
トランスミッション..... 491
オートマチック..... 493
マニュアル..... 492
トランスミッションオイル
グレード..... 726
トリップコンピューター..... 124, 126
トリップメーター、リセット..... 127
トリップメーター(走行距離計)..... 124
トレーラー..... 534
ケーブル..... 532
蛇行 534
トレーラーなどのけん引..... 532
ランプ..... 535
トレーラー・スタビリティ・アシスト.. 534
トレーラースタビリティアシスト..... 330
トレーラーなどのけん引
けん引重量..... 720
トウボール荷重..... 720
トレッド..... 608
トレッド磨耗インジケーター..... 608
トレッド溝の深さ..... 608, 623
トンネルコンソール..... 633
トンネルの検知..... 192

な

内装..... 694, 696, 697, 698

に

二酸化炭素の排出..... 729
日常の手入れ699, 700, 702, 703, 704, 705
レザー製内装..... 697
荷物固定用アイレット
カーゴスペース..... 642
荷物の積み込み
概要..... 640
長尺物..... 640
荷物固定用アイレット..... 642
荷物の積み込みに関する推奨事項..... 640

ね

ネット
カーゴスペース..... 648
燃料
識別マーク..... 518
燃料切れ
ディーゼル..... 519
燃料計..... 124
燃料蒸気..... 516
燃料タンク
容量..... 727

は

パーキング
坂道..... 488
パーキングエアコンディショナー..... 269
シンボルおよびメッセージ..... 275
パーキングヒーター..... 278
パーキングブレーキ..... 486
作動および解除..... 487
自動作動..... 488
バッテリー電圧低下..... 489
パークアシスト... 450, 451, 452, 453, 454, 455
機能..... 450, 451, 452
パークアシスト･カメラ 456, 457, 459, 461, 462, 464, 465
設定..... 462
パークアシスト・カメラのガイドライン 459
パークアシスト・カメラの限界..... 462
パークアシスト・パイロット. 467, 468, 469, 471, 472, 474, 475
機能.... 467, 468, 469, 472, 474, 475
機能の限界..... 472
シンボルおよびメッセージ..... 475
操作..... 469, 471
パークアシスト・パイロット - PAP467, 468, 469, 471, 472, 474, 475
ハードディスク
領域..... 591
排出ガス規制..... 520
ハイビーム..... 193
バイブレーションダンパー..... 529
バッグフック..... 641
バッグホルダー 641
バックレスト
フロントシート､調節224, 225, 228, 229, 230, 231, 232
リアシート、倒す..... 235
バッテリー..... 527, 676
過負荷..... 527
警告灯..... 680
ジャンプスタート..... 527
バッテリーに表示されているシンボル 680
補助..... 679
メイン..... 676
メンテナンス..... 676
バッテリー電圧低下
バッテリー..... 527
パノラマルーフ
開閉..... 212
サンブラインド..... 211, 214
ピンチプロテクション..... 204
ベンチレーションポジション..... 213
バルブ、仕様..... 675
パワーウインド..... 205, 206
ピンチプロテクション..... 204
パワーシート..... 225
パワーセーブモード..... 527
パワーテールゲート..... 314
パンク..... 625
ハンドブレーキ..... 486, 487

ひ

ヒーター..... 277
ウインド..... 262, 263
シート..... 255, 256
ステアリングホイール..... 258, 259
パーキングヒーター..... 278
補助ヒーター..... 279
ヒーテッドウォッシャーノズル..... 215
非常点滅灯..... 199
ビデオ..... 562, 564
設定..... 563
ヒューズ
エンジンルーム内..... 683
カーゴスペース内..... 690
概要..... 681
グローブボックス下..... 687
交換..... 682
ヒューズボックス..... 681

表示灯..... 130
表示ラベル
位置..... 714
ヒル・スタート・アシスト..... 491
ヒル・スタート・アシスト(HSA).... 491
ピンチプロテクション..... 204
リセット..... 205

ふ

ファン
エアディストリビューション..... 248
空気吹出口..... 249
コントロール..... 264, 265
フェリー輸送..... 509
フォグランプ
フロント..... 196
リア..... 197
フットブレーキ..... 484
フューエル..... 516, 518
燃費..... 729
プライベートロック..... 319
作動/非作動..... 319
プリコンディショニング..... 269
開始/停止..... 270
タイマー..... 271
フルード、容量..... 711, 727
フルードおよびオイル..... 726, 727
ブレーキ..... 484
アダプティブブレーキランプ 198
アンチロックブレーキシステム、ABS 484
スリップ防止剤が散布された路面... 485
停車時のオートブレーキ..... 489
濡れた路面..... 485
ハンドブレーキ..... 486
ブレーキアシストシステム、BAS.... 485
ブレーキシステム..... 483
ブレーキランプ..... 198
メンテナンス..... 486
ブレーキアシスト
衝突後..... 491
ブレーキ機能..... 483
ブレーキシステム
フルード..... 726
ブレーキフルード
グレード..... 726
ブレーキランプ..... 198
フロントシート
エアコンディショナー..... 253
温度..... 266
ヒーター..... 255, 256
ファン..... 264
ベンチレーション..... 257
フロントシート、パワー
位置を記憶..... 226, 227
運転席から助手席シートを調節する. 234
サイドサポート..... 231
マッサージ..... 228, 229, 230
ランバーサポート..... 232
フロントシート、パワー..... 225
シートの調節..... 225
マルチファンクションコントロール 228, 229, 230, 231, 232
フロントシート、マニュアル..... 224
フロントワイパー..... 216
レインセンサー..... 217, 218

へ

ヘッドアップディスプレイ..... 179
ウインドスクリーンの交換..... 662
作動および解除..... 181
清掃..... 695
設定..... 181
保存位置..... 181, 226, 227
ヘッドライト光軸調整..... 190
ヘッドライト制御..... 188, 202
ヘッドライト内の凝結水700, 702, 703, 704

ヘッドライトビーム
車高調節..... 190
ヘッドレスト..... 237
ベンチレーション..... 247, 248, 249
シート..... 257

ほ

ホイール
清掃..... 705
タイヤチェーン..... 624
取り付け..... 620
取り外し..... 618
ホイールおよびタイヤ
タイヤロードインデックスおよび速度記号..... 606
ホイール交換..... 616
ホイールボルト..... 617
ロック可能..... 617
ホイールリム、サイズ..... 607
ホイールリムの清掃..... 705
ボイスコントロール..... 182
エアコンディショナー..... 244
設定..... 185
電話..... 184
ラジオおよびメディア..... 185
方向指示器..... 195
防錆..... 705
ホームセーフライト点灯時間..... 199
ホーン..... 239
歩行者保護システム..... 83
ポジションランプ..... 191
保守
防錆..... 705
補助バッテリー..... 679
補助ヒーター..... 279
ボンネット、開ける..... 660

ま

マニュアルトランスミッション..... 492
オイル..... 726

み

磨き..... 699
水たまりでの運転..... 514

め

名義変更..... 171
メーター・パネルライト..... 202
メッセージおよびシンボル
アダプティブクルーズコントロール. 368
オートブレーキ機能付衝突警告システム..... 412
メディアプレーヤー..... 557, 558, 560
対応するファイルフォーマット 565, 566
ボイスコントロール..... 185

も

モーションセンサー..... 321

ら

ライセンス契約..... 133, 592
ライト
アクティブハイビーム..... 193
アクティブベンディングライト..... 196
アダプティブブレーキランプ..... 198
アプローチライト..... 200
コーナリングライト..... 197
コントロール..... 188, 200, 202
自動点灯機能、車内..... 200
車内..... 200, 202
照明スイッチ..... 202
設定..... 189

ディスプレイ照度..... 202
デイタイムランニングライト..... 191
ハイビーム..... 193
バルブ、仕様..... 675
非常点滅灯..... 199
フォグランプ..... 196
ブレーキランプ..... 198
ヘッドライト光軸補正..... 190
方向指示器..... 195
ホームセーフライト..... 199
ポジションランプ..... 191
メーター・パネルライト..... 202
ランプの位置..... 669
リアフォグランプ..... 197
ロービーム..... 192
ラゲッジカバー..... 643, 644
ラジオ..... 553
始動..... 554
設定..... 557
ボイスコントロール..... 185
放送局を検索する..... 555
ラジオのお気に入りおよび放送局を変更する..... 554
ラジオのお気に入り..... 556
ラベル
位置..... 714
ラミネーテッドガラス..... 204
ランオフ・ロード・プロテクション442, 443
ランプ
位置..... 669
仕様..... 675
トレーラー..... 535
変更..... 668
ランプ、バルブ交換..... 668
後退灯..... 673
デイタイムランニングライト/ポジションランプ..... 672
ハイビーム..... 671
プラスチックカバーを取り外す..... 669
フロント方向指示器..... 673
リアフォグランプ..... 674
ロービーム..... 670

り

リアウインド
ウォッシャー..... 220, 221
ヒーター..... 263
ワイパー..... 220, 221
リアシート
エアコンディショナー..... 253
温度..... 267
バックレストを倒す..... 235
ヒーター..... 256
ファン..... 265
ヘッドレスト..... 237
リアドア
サンブラインド..... 207
リセット、トリップメーター..... 127
リバースカメラ... 456, 457, 459, 461, 462, 464, 465
リバースセンサー. 450, 451, 452, 453, 454, 455
リフティングツール..... 617
リモートアップデート..... 653
リモートコントロール、HomeLink®
プログラム可能 540
リモートコントロールイモビライザー.. 296
リモートコントロールキー..... 283
運転者プロフィールへ接続..... 175
作動範囲..... 288
損失..... 292
脱着式キーブレード..... 294
電池の交換..... 289
リモートコントロールキーシステム、型式認定 297
利用規約
サービス..... 38
ユーザー..... 591
リンプホーム..... 491

る

ルーフ荷重、最大重量..... 719
ルームミラー..... 208
　防眩機能..... 208
ルームミラー/ドアミラー
　インテリア..... 208
　コンパス..... 544
　電動格納式..... 209
　ドア..... 208, 209
　ヒーター..... 263
　防眩機能..... 208
ルームランプ..... 200, 202
　オートマチック..... 200

れ

冷媒..... 661
　エアコンディショナーシステム..... 727
レインセンサー..... 217, 218
レインセンサーメモリー機能..... 218
レーダーセンサー..... 355, 387
　機能の限界..... 388
レーダーユニット..... 387
レーンアシスト
　操作..... 436
レーンアシスト - Lane Keeping Aid (LKA)..... 433, 435, 436, 438, 440
レザー製内装、清掃方法..... 697

ろ

ロード・サイン・インフォメーション423, 424, 425, 427
　機能の限界..... 430
　操作..... 425, 427, 429
ロードインデックス..... 606
ロードキャリア..... 641
ロービーム..... 192
ロック
　ロック..... 286
　ロック解除..... 286
ロック/ロック解除
　テールゲート..... 287, 308
ロック解除
　キーブレード付き..... 295
　設定..... 287
ロック確認 282
　設定..... 283
ロックホイールボルト..... 617

わ

ワイパーブレード..... 215
　交換..... 707, 709
　サービスポジション..... 710
ワイパーブレードおよびウォッシャー液 215
ワイパーブレードの清掃..... 703
ワックスがけ..... 699

A

A/C (エアコン)..... 268
ABS
　アンチロックブレーキ..... 484
ACC(アダプティブクルーズコントロール)....352, 355, 356, 358, 359, 360, 362, 363, 364, 365, 366, 368
AdBlue..... 520
　シンボルおよびメッセージ..... 524
　操作..... 521
　タンク容量..... 727
　補充..... 521
Android Auto..... 572, 573, 574
Apple CarPlay..... 569, 571
Auto hold..... 489
AWD(全輪駆動)..... 499

B

BLIS(ブラインド・スポット・インフォメーション・システム)..... 414, 415, 416
BLIS のエラーメッセージ..... 418
BLIS のメッセージ..... 418
Bluetooth
　車両をインターネットに接続する... 585
　接続..... 564
　設定..... 584
　電話..... 575

C

CD プレーヤー..... 562
City Safety 400, 401, 403, 404, 410, 412
Clean Zone..... 245
CO2 エミッション..... 729
Cross Traffic Alert - CTA.. 419, 420, 421, 422
CTA - Cross Traffic Alert.. 419, 420, 421, 422
CZIP (クリーン・ゾーン・インテリア・パッケージ)..... 246

D

DivX®..... 563
Drive-E
　環境理念..... 30
Driver Alert Control..... 431
Driver Alert Control の限界..... 433

E

ECO クライメート..... 502
ECO プレッシャー..... 610, 730
ECO モード..... 502
　機能ボタンによる作動..... 504

F

Four-C..... 509
FSC、環境ラベル..... 26

G

Gracenote®..... 561
GSI(ギヤセレクターレバーアシスタンス)..... 498

H

HomeLink®..... 540
　使用..... 543
　プログラム..... 541

I

IAQS (インテリア・エア・クオリティ・システム)..... 246
IC (インフレータブルカーテン)..... 95
ID, Volvo..... 28
Individual ドライブモード..... 499
iPod®、接続..... 564
ITPMS - インダイレクト・タイヤ・プレッシャー・モニタリング・システム..... 611

K

Key tag..... 283

L

Lane Keeping Aid (LKA) 433, 435, 436, 438, 440

P

PACOS（助手席エアバッグ・カットオフ・スイッチ)..... 92
PAP(パークアシスト・パイロット).467, 468, 469, 471, 472, 474, 475
Pilot Assist370, 373, 374, 375, 376, 377, 379, 381, 382, 383, 384, 386
　追い越し..... 381, 382
PIN コード..... 588
PPS（歩行者保護システム)..... 83

R

Red Key..... 292
　設定..... 293

S

Sensus
　接続およびエンターテイメント..... 34
Sensus Navigation..... 427
SIM カード..... 588
SIPS（側面衝撃吸収システム)..... 94, 95
Start/Stop
　解除する..... 506
　機能の限界..... 507
　車両機能..... 504
　走行..... 505

T

TSA(トレーラー・スタビリティ・アシスト）..... 534
TSA - トレーラースタビリティアシスト 330
TV..... 567

U

USB
　メディア接続用ジャック..... 565

V

VOL マーク..... 604
Volvo ID..... 28
　作成および登録..... 28

W

WHIPS（後部衝撃吸収リクライニング機構付フロントシート)..... 81
Wi-Fi
　インターネット接続を共有、ホットスポット..... 588
　車両をインターネットに接続する... 586
　テクノロジーおよびセキュリティ... 590
　ネットワークを削除..... 590

メモ

メモ

メモ

メモ

メモ

メモ

VOLVO

TP 26128 (Japanese), AT 1817, MY19, Copyright © 2000-2018 Volvo Car Corporation